

長野自動車道

安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事

設 計 図  
（川田橋）

令和 8 年 6 月

東日本高速道路株式会社 関東支社  
長野工事事務所



## 川田橋（上り線） 目次

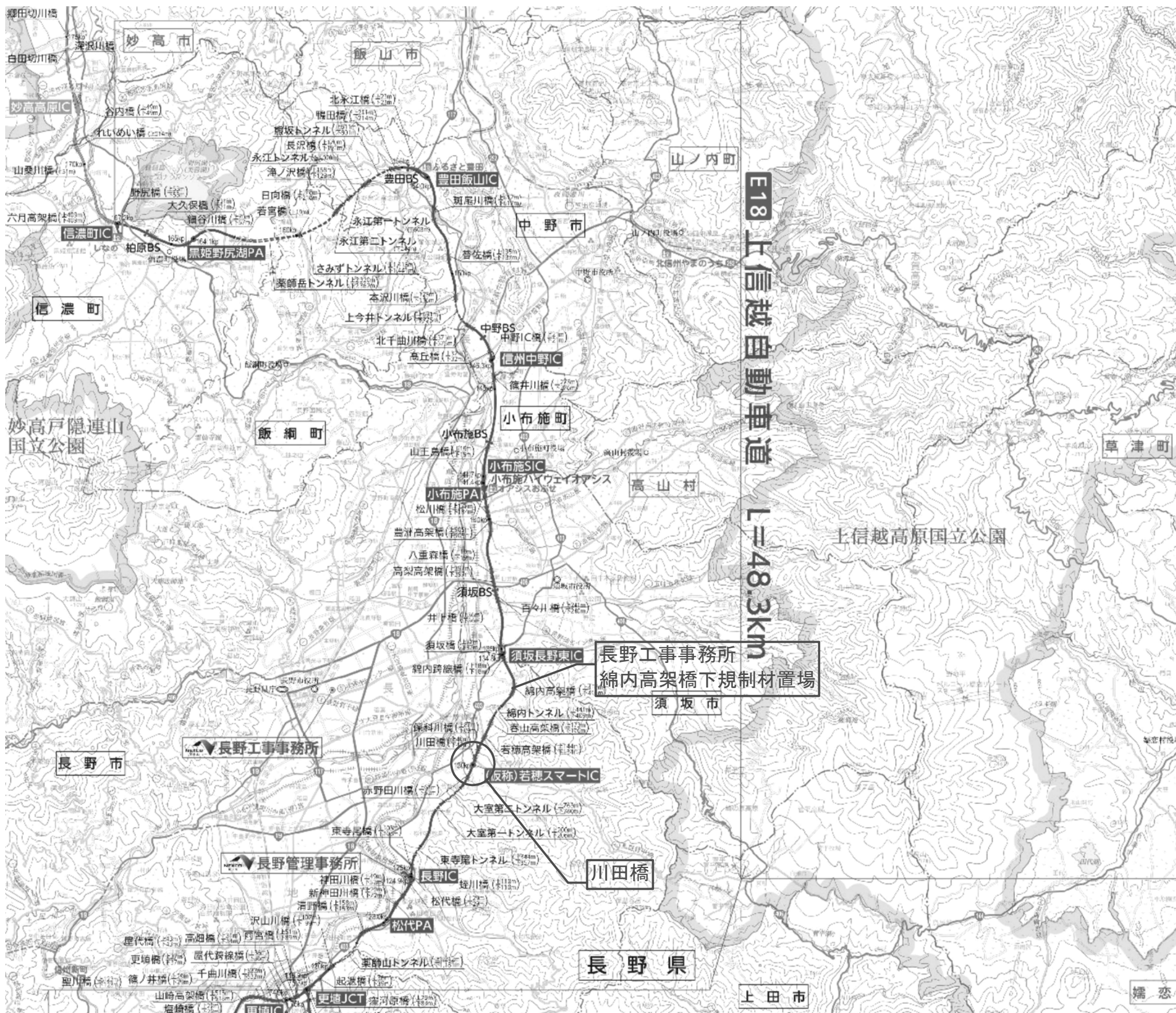
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1	位置図	31	端支点上横桁(その2)	61	支承詳細図(その4)	91	撤去図(その3)(参考図)
2	交通誘導警備員配置図(通常)	32	中間横桁(その1)	62	支承詳細図(その5)	92	撤去図(その4)(参考図)
3	交通誘導警備員配置図(片側通行)	33	中間横桁(その2)	63	橋面排水工(その1)	93	撤去図(その5)(参考図)
4	交通誘導警備員配置図(通行止)	34	中間横桁(その3)	64	橋面排水工(その2)	94	撤去図(その6)(参考図)
5	数量総括表	35	中間横桁(その4)	65	伸縮装置(その1)	95	撤去図(その7)(参考図)
6	橋梁拡幅一般図	36	中間横桁(その5)	66	伸縮装置(その2)		
7	上部工拡幅構造一般図(その1)	37	中間横桁(その6)	67	伸縮装置(その3)		
8	上部工拡幅構造一般図(その2)	38	中間横桁(その7)	68	伸縮装置(その4)		
9	A1橋台拡幅構造一般図	39	中間横桁(その8)	69	飛雪防止網(その1)		
10	A2橋台拡幅構造一般図	40	横リブ	70	飛雪防止網(その2)		
11	線形図(その1)	41	縦桁図(その1)	71	はく落防止		
12	線形図(その2)	42	縦桁図(その2)	72	橋名板・橋歴板		
13	線形図(その3)	43	縦桁図(その3)	73	A1橋台支承交換詳細図(その1)		
14	線形図(その4)	44	縦桁図(その4)	74	A1橋台支承交換詳細図(その2)		
15	キャンバー図	45	縦桁図(その5)	75	A1橋台支承交換詳細図(その3)		
16	支承配置図	46	縦桁図(その6)	76	A1橋台支承交換詳細図(その4)		
17	断面構成図(その1)	47	床版配筋図(その1)	77	A1橋台支承交換詳細図(その5)		
18	断面構成図(その2)	48	床版配筋図(その2)	78	A1橋台支承交換詳細図(その6)		
19	断面構成図(その3)	49	床版配筋図(その3)	79	A1橋台支承交換詳細図(その7)		
20	共通詳細図(その1)	50	床版配筋図(その4)	80	A2橋台支承交換詳細図(その1)		
21	共通詳細図(その2)	51	床版配筋図(その5)	81	A2橋台支承交換詳細図(その2)		
22	共通詳細図(その3)	52	床版配筋図(その6)	82	A2橋台支承交換詳細図(その3)		
23	共通詳細図(その4)	53	床版配筋図(その7)	83	A2橋台支承交換詳細図(その4)		
24	共通詳細図(その5)	54	壁高欄配筋図(その1)	84	A2橋台支承交換詳細図(その5)		
25	主桁図G3(その1)	55	壁高欄配筋図(その2)	85	A2橋台支承交換詳細図(その6)		
26	主桁図G3(その2)	56	A1橋台壁高欄配筋図	86	A2橋台支承交換詳細図(その7)		
27	主桁図G3(その3)	57	A2橋台壁高欄配筋図	87	架設計画図(参考図)		
28	主桁図G3(その4)	58	支承詳細図(その1)	88	壁高欄撤去計画図(参考図)		
29	主桁図G3(その5)	59	支承詳細図(その2)	89	撤去図(その1)(参考図)		
30	端支点上横桁(その1)	60	支承詳細図(その3)	90	撤去図(その2)(参考図)		



## 川田橋（ 下り線 ） 目次

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
96	数量総括表	126	横リブ	156	A1橋台支承交換詳細図(その4)
97	橋梁拡幅一般図	127	床版配筋図(その1)	157	A1橋台支承交換詳細図(その5)
98	上部工拡幅構造一般図(その1)	128	床版配筋図(その2)	158	A1橋台支承交換詳細図(その6)
99	上部工拡幅構造一般図(その2)	129	床版配筋図(その3)	159	A1橋台支承交換詳細図(その7)
100	A1橋台拡幅構造一般図	130	床版配筋図(その4)	160	A2橋台支承交換詳細図(その1)
101	A2橋台拡幅構造一般図	131	床版配筋図(その5)	161	A2橋台支承交換詳細図(その2)
102	線形図(その1)	132	床版配筋図(その6)	162	A2橋台支承交換詳細図(その3)
103	線形図(その2)	133	床版配筋図(その7)	163	A2橋台支承交換詳細図(その4)
104	線形図(その3)	134	壁高欄配筋図(その1)	164	A2橋台支承交換詳細図(その5)
105	線形図(その4)	135	壁高欄配筋図(その2)	165	A2橋台支承交換詳細図(その6)
106	キャンバー図	136	壁高欄配筋図(その3)	166	A2橋台支承交換詳細図(その7)
107	支承配置図	137	A1橋台壁高欄配筋図	167	架設計画図(参考図)
108	断面構成図(その1)	138	支承詳細図(その1)	168	壁高欄撤去計画図(参考図)
109	断面構成図(その2)	139	支承詳細図(その2)	169	撤去図(その1)(参考図)
110	断面構成図(その3)	140	支承詳細図(その3)	170	撤去図(その2)(参考図)
111	共通詳細図(その1)	141	支承詳細図(その4)	171	撤去図(その3)(参考図)
112	共通詳細図(その2)	142	支承詳細図(その5)	172	撤去図(その4)(参考図)
113	共通詳細図(その3)	143	橋面排水工(その1)	173	撤去図(その5)(参考図)
114	共通詳細図(その4)	144	橋面排水工(その2)	174	撤去図(その6)(参考図)
115	共通詳細図(その5)	145	伸縮装置(その1)	175	撤去図(その7)(参考図)
116	主桁図G3(その1)	146	伸縮装置(その2)	176	撤去図(その8)(参考図)
117	主桁図G3(その2)	147	伸縮装置(その3)	177	撤去図(その9)(参考図)
118	主桁図G3(その3)	148	伸縮装置(その4)	178	交通規制図(参考図)(上下線共通)
119	主桁図G3(その4)	149	飛雪防止網(その1)		
120	主桁図G3(その5)	150	飛雪防止網(その2)		
121	端支点上横桁(その1)	151	はく落防止		
122	端支点上横桁(その2)	152	橋名板・橋歴板		
123	中間横桁(その1)	153	A1橋台支承交換詳細図(その1)		
124	中間横桁(その2)	154	A1橋台支承交換詳細図(その2)		
125	中間横桁(その3)	155	A1橋台支承交換詳細図(その3)		





長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋 位置図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		
事務所名	長野工事事務所		



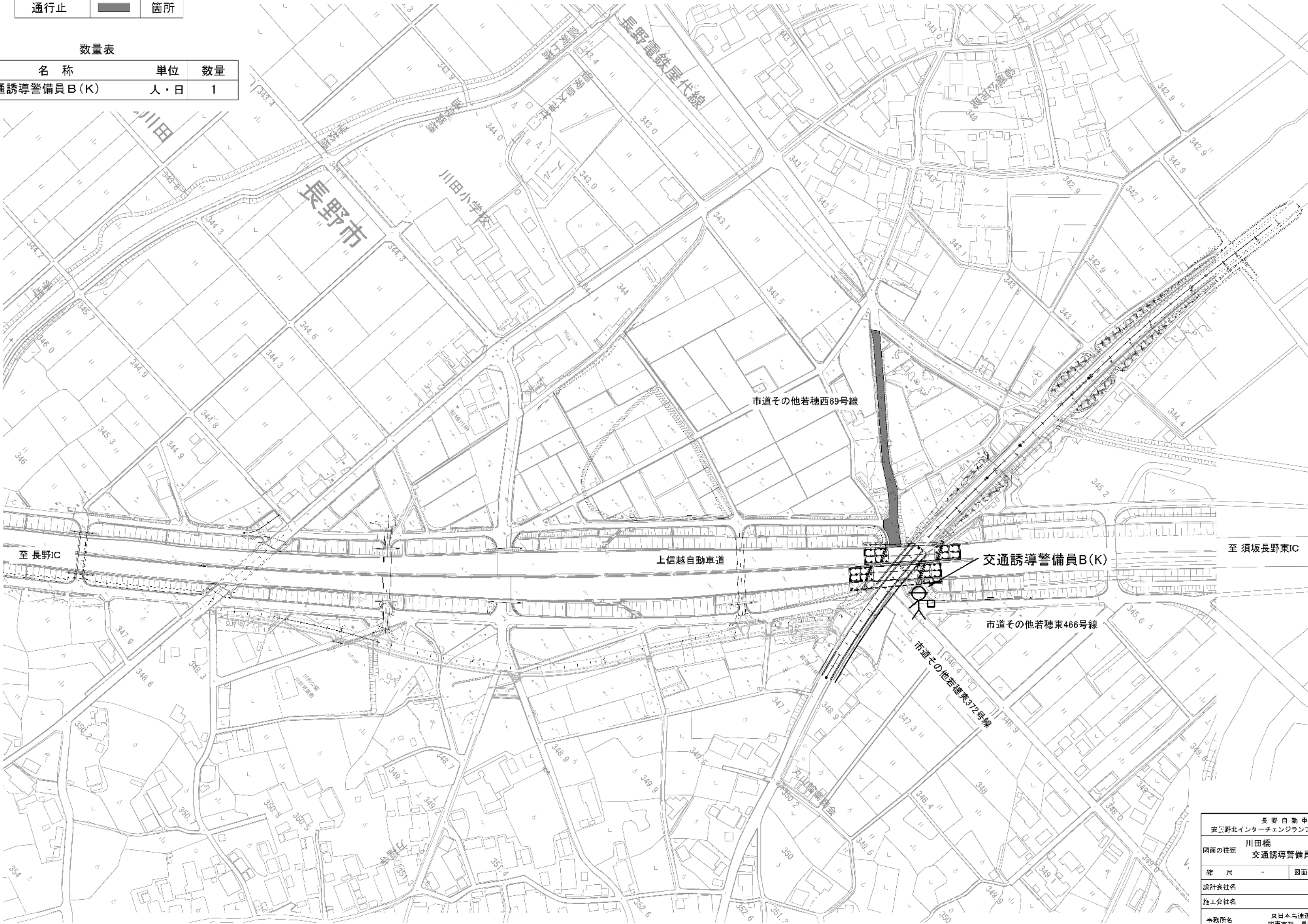
交通誘導警備員配置図  
(通常)

凡例

名 称	記 号	単 位
通行止		箇所

数量表

名 称	単 位	数 量
交通誘導警備員B(K)	人・日	1



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部分）工事
図面の種類 川田橋 交通誘導警備員配置図(通常)
縮 尺 -
図面番号 /
設計会社名 -
施工会社名 -
事務所名 只日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所



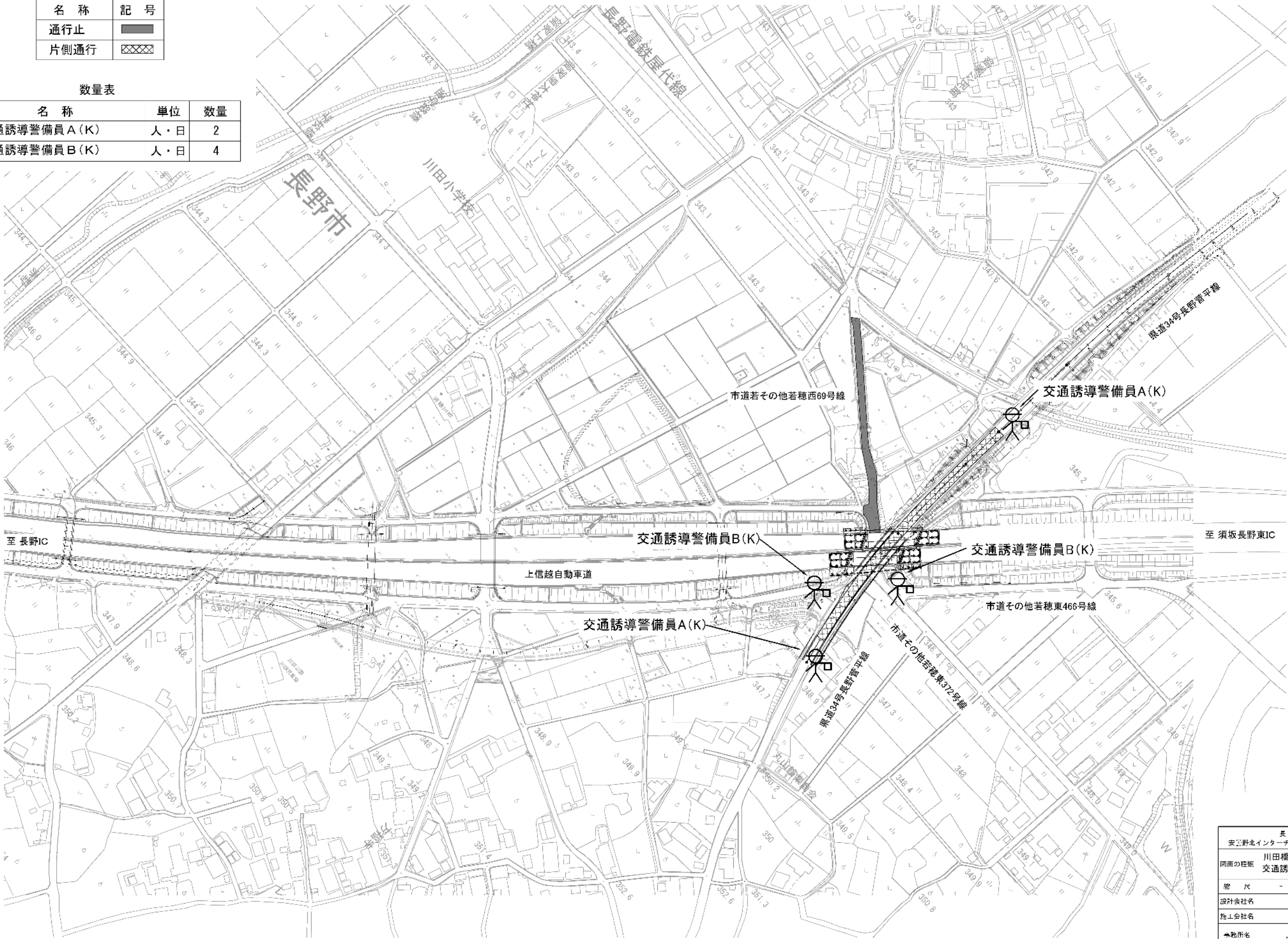
交通誘導警備員配置図  
(片側通行)

凡例

名 称	記 号
通行止	■
片側通行	▨

数量表

名 称	単位	数量
交通誘導警備員A(K)	人・日	2
交通誘導警備員B(K)	人・日	4



長野市 長野三連	
安曇野北インターチェンジランプ橋 (橋上部分) 工事	
図面の種類	川田橋 交通誘導警備員配置図(片側通行)
縮 尺	- 図面番号 /
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	只口本高道路株式会社 岡田支社 長野工務事務所



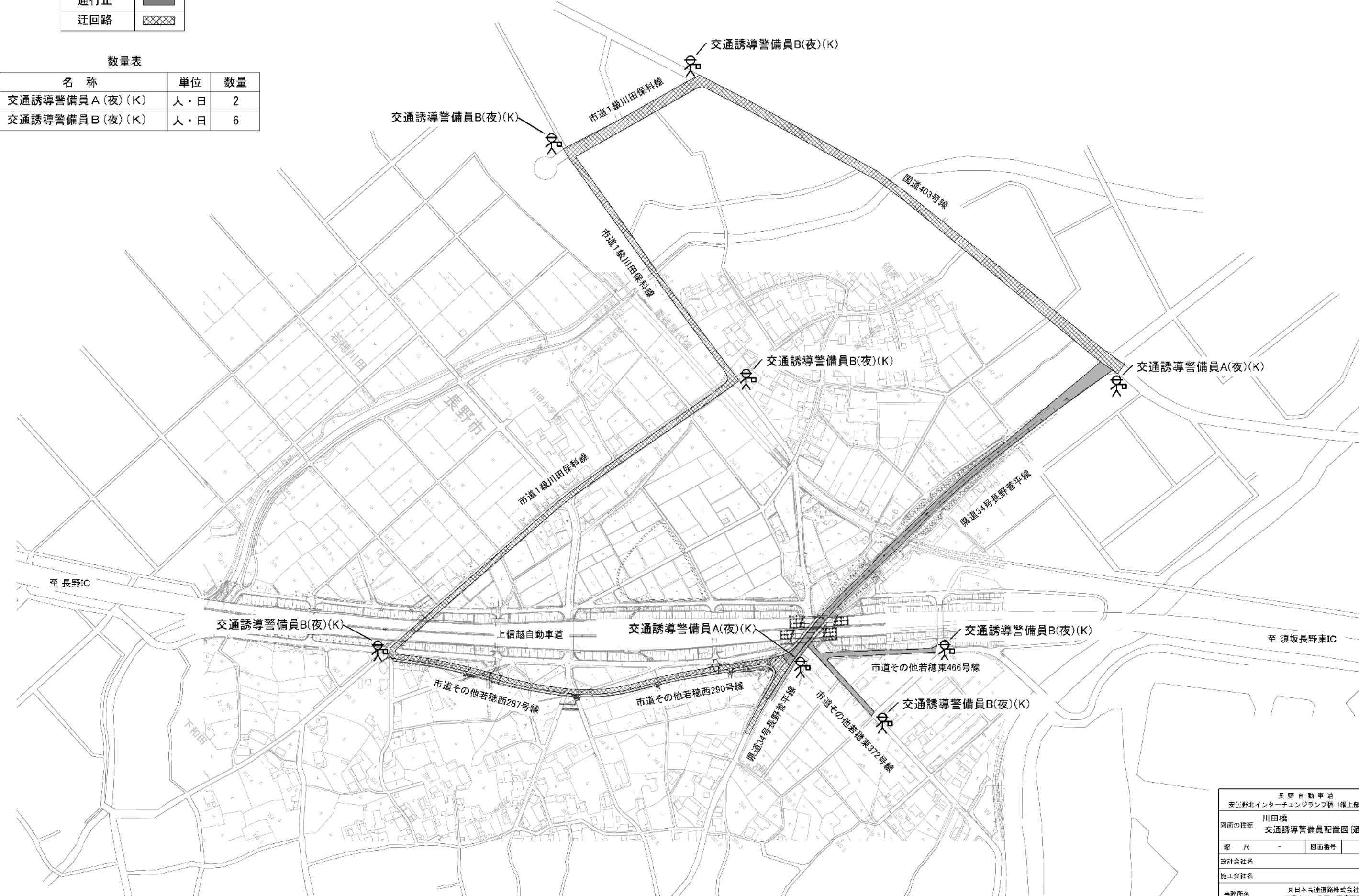
交通誘導警備員配置図  
(通行止)

凡例

名 称	記 号
通行止	■
迂回路	XXXX

数量表

名 称	単位	数量
交通誘導警備員 A (夜) (K)	人・日	2
交通誘導警備員 B (夜) (K)	人・日	6



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（橋上部工）工事	
川田橋 交通誘導警備員配置図（通行止）	
縮 尺	図面番号
-	/
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	
只日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	



川田橋（ 上り線 ） 数量総括表

上部工

単価表の項目				単 位	数 量	摘 要
項 目		種 別				
コン クリ ート 工	コンクリート	A1-1A (K)		m <sup>3</sup>	63. 8	RC床版
		A1-1B (K)		m <sup>3</sup>	16. 2	2次床版
		A1-4 (K)		m <sup>3</sup>	14. 2	壁高欄
	型わく	A (K)		m <sup>2</sup>	237. 4	RC床版、壁高欄
	鉄筋	A (K)	D16～D25	t	12. 525	RC床版（エンクローズ溶接 D22-59箇所、D19-408箇所）
			D13	t	0. 693	
			計	t	13. 218	
			D16	t	0. 122	壁高欄
			D13	t	1. 735	
		計	t	1. 857		
A (E) (K)	D13 (防錆処理鉄筋)		t	0. 247		
鋼 構 造 物 工	鋼構造物の製作	製作材料費（鋼板）A (K)		t	23. 978	SS400, SM400
		製作材料費（鋼板）B (K)		t	50. 847	SM490
		製作材料費（形鋼）A (K)		t	0. 423	
		大型部材の製作 (K)		個	104	44. 110 t
		小型部材の製作 (K)		個	1796	31. 138 t
		T継手溶接工 (K)		m	664	
	鋼構造物の防錆	鋼構造物の塗装 C-5 (K)		m <sup>2</sup>	686. 3	外面塗装
		鋼構造物の塗装 D-4 (K)		〃	568. 9	内面塗装
	鋼構造物の輸送	鋼橋の輸送 (K)		t	77. 854	
	鋼構造物の架設	鋼橋の架設 (K)		t	77. 854	
		高力ボルト本締工 (K)		t	3. 342	高力ボルト組数 S10T:6400本
				t	0. 084	高力ボルト組数 F10T:148本
		鋼橋の現場溶接工 (K)		m	6. 8	加重平均板厚=19. 4mm
支 承 及 び 付 属 物 工	支承	E-○ (K)		箇所	2	高面圧ゴム支承
	支承取替工	E-○ (K)		基	4	高面圧ゴム支承
	伸縮装置	A (K)		kg	5192	鋼フィンガージョイント (SM400)
	橋名板	橋名板 (K)		箇所	1	
	橋歴板	橋歴板 (K)		箇所	2	
雑 工	はく落防止対策工	A (K)		m <sup>2</sup>	157. 1	
	遮音壁用アンカーボルト	IV-C (H=1m) (K)		箇所	10	
	飛雪防止網用アンカーボルト	U-M16 (H=1m) (K)		箇所	15	
	床版水抜きパイプ設置工	床版水抜きパイプ設置工 (K)		箇所	1	
	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (TypeA) (K)		m <sup>3</sup>	20. 5	壁高欄（床版含む）
		アスファルト舗装版取壊し (TypeA) (K)		m <sup>2</sup>	69. 2	床版面t=75mm (+7ｽｶｰﾌﾞ) 撤去1. 3m3)
	撤去工	壁高欄 (K)		m	39. 9	ブロック撤去（床版含む）
		伸縮装置 (K)		箇所	2	鋼フィンガージョイント
		排水管 (K)		m	2. 1	VP150A
		遮音壁 (K)		m	14. 5	H=1m
落下物防止柵 (K)		m	20. 0	H=1m		

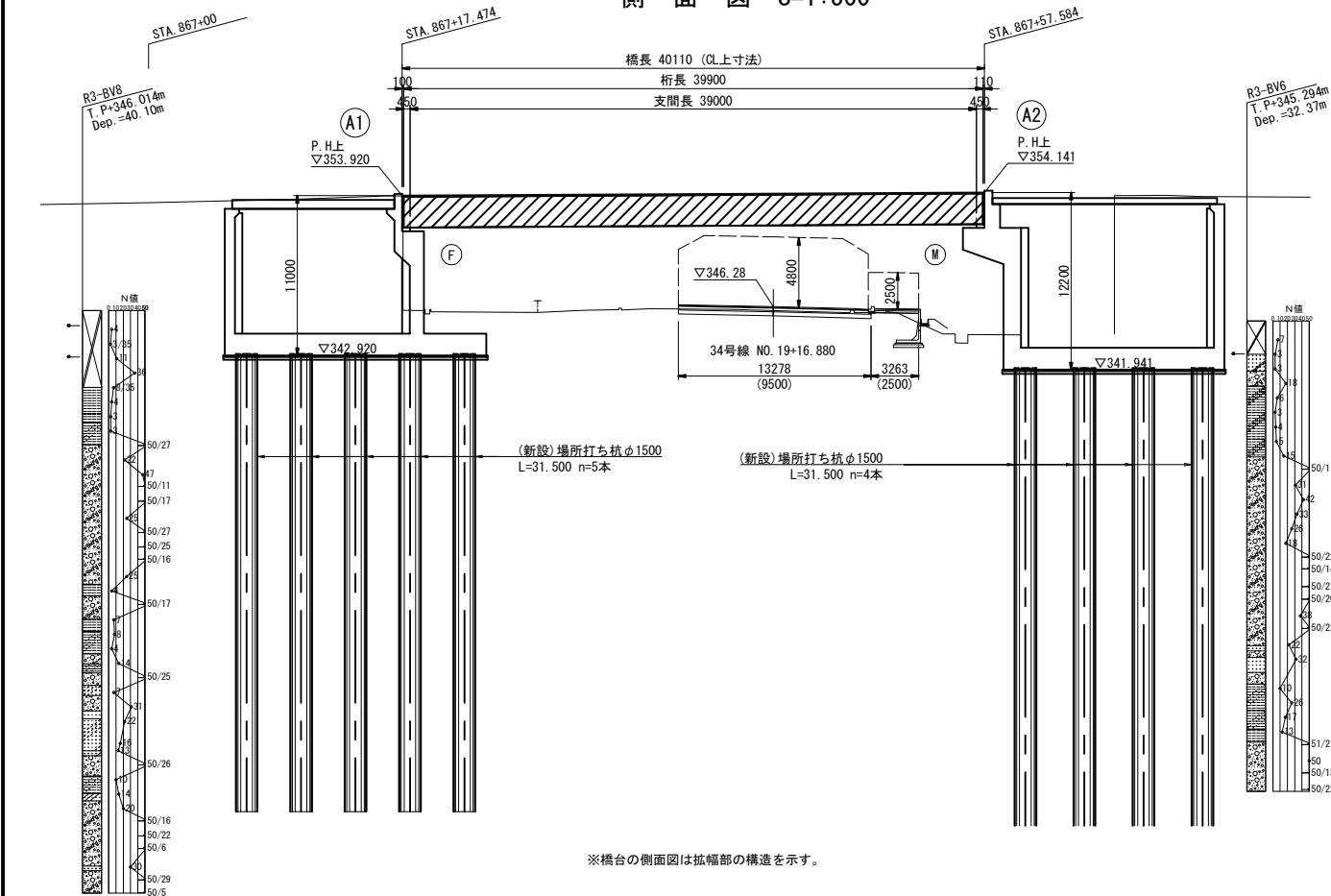
下部工

単価表の項目				単位	上り線		合計	摘 要
項 目		種 別			A1	A2		
コン クリ ート 工	コンクリート	[A1-1B]		[m <sup>2</sup> ]	[1. 4]	[1. 1]	[2. 5]	※伸縮装置取替に含む
		A1-4 (K)		m <sup>2</sup>	3. 2	5. 6	8. 8	壁高欄
	型わく	A (K)		m <sup>2</sup>	26. 6	41. 0	67. 6	
	鉄筋	A (K)	D16～D25	t	0. 065	0. 065	0. 130	
			D13	t	0. 227	0. 427	0. 654	
			計	t	0. 292	0. 492	0. 784	
		A (E) (K)	D13 (防錆処理鉄筋)	t	0. 018	0. 036	0. 054	

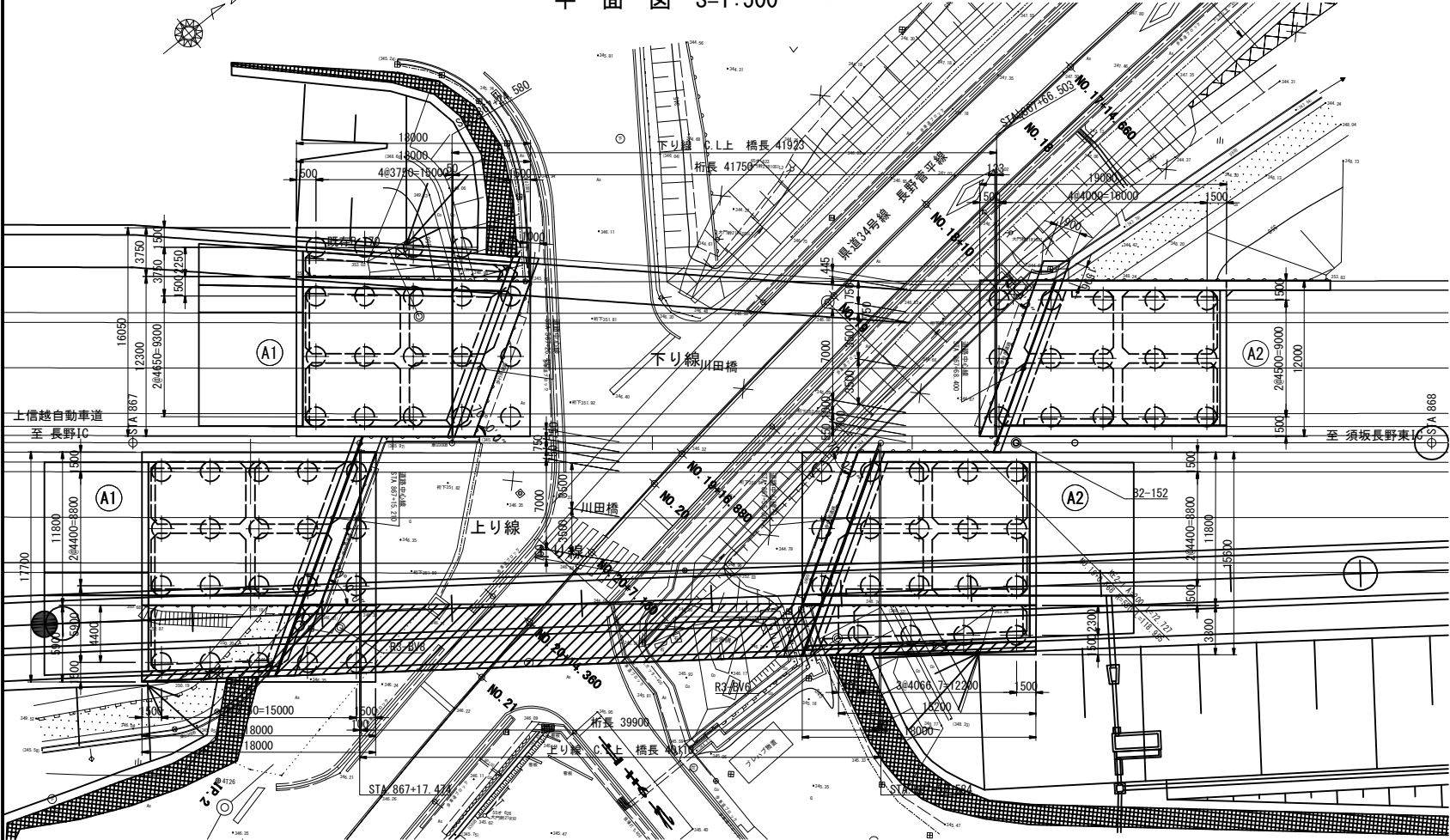
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 数量総括表		
縮 尺	-----	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



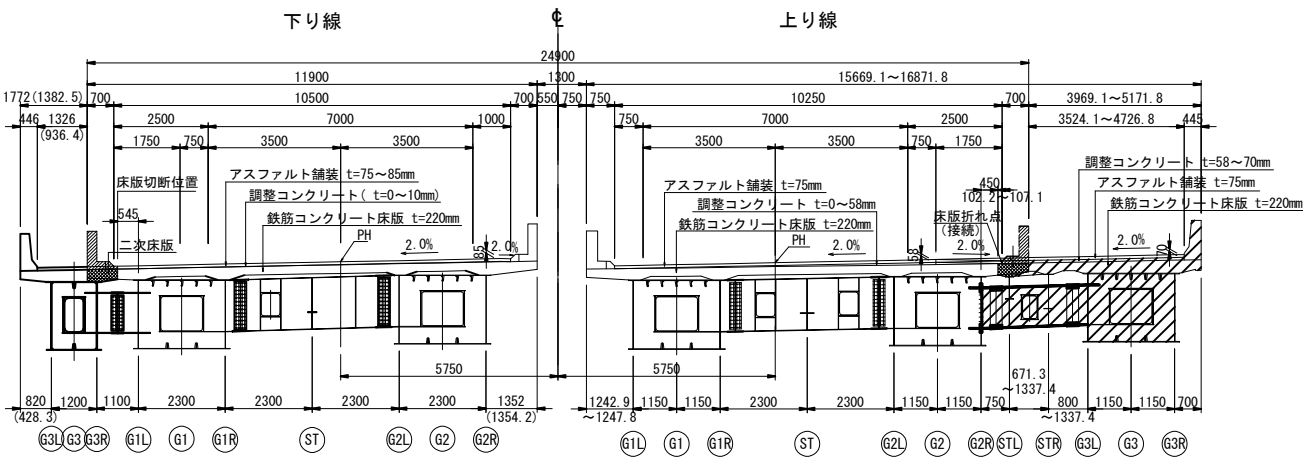
側面図 S=1:500



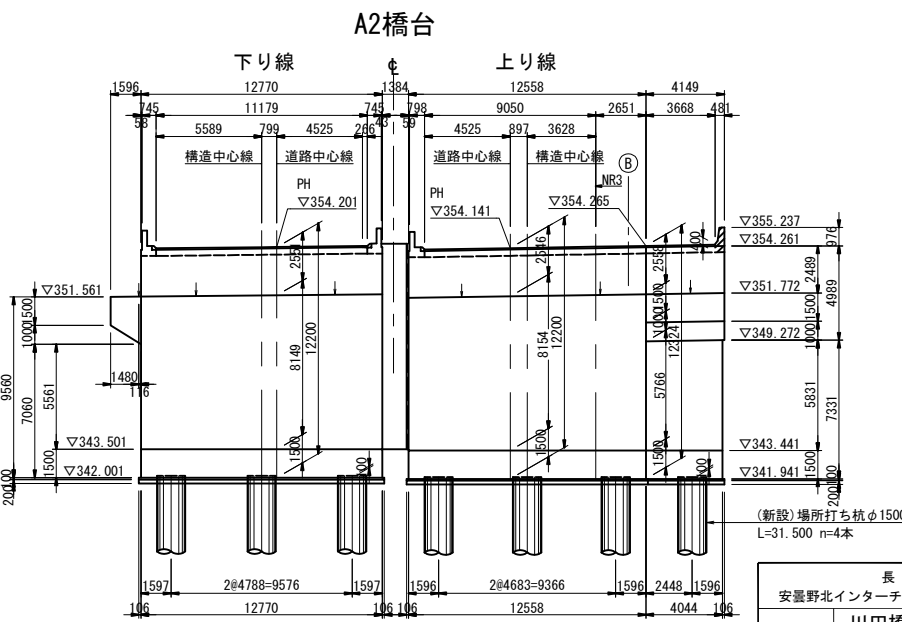
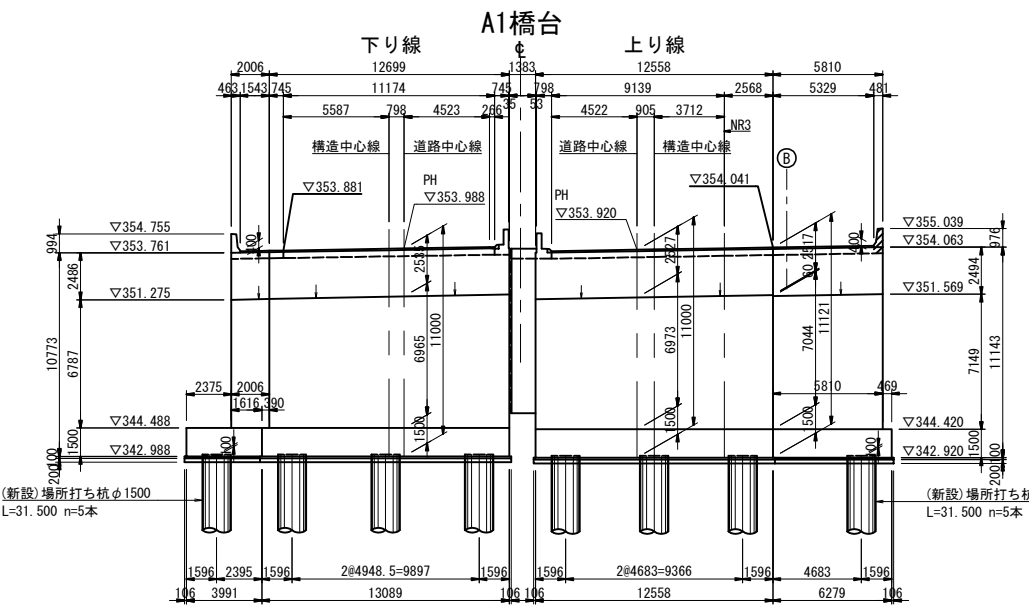
平面図 S=1:500



上部工断面図 S=1:200



下部工断面図 S=1:400



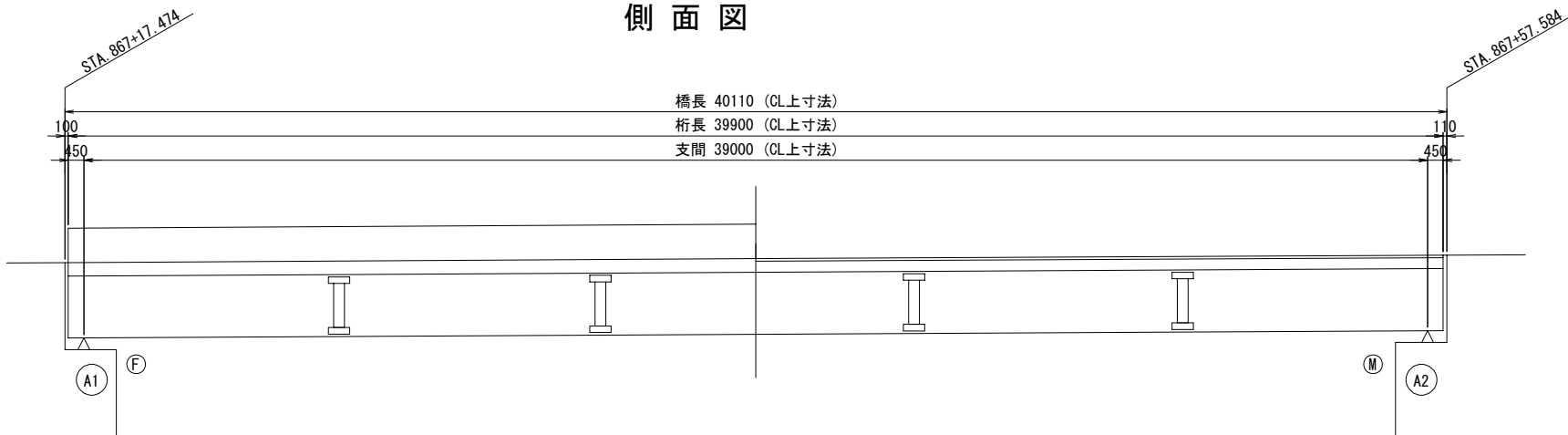
注)  
標高については、本業務で完成図と  
測量図の差異を調整したものである。  
本図は新標高を示す。  
※ 旧標高-0.306m=新標高

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 橋梁拡幅一般図	図示	図面番号 /
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

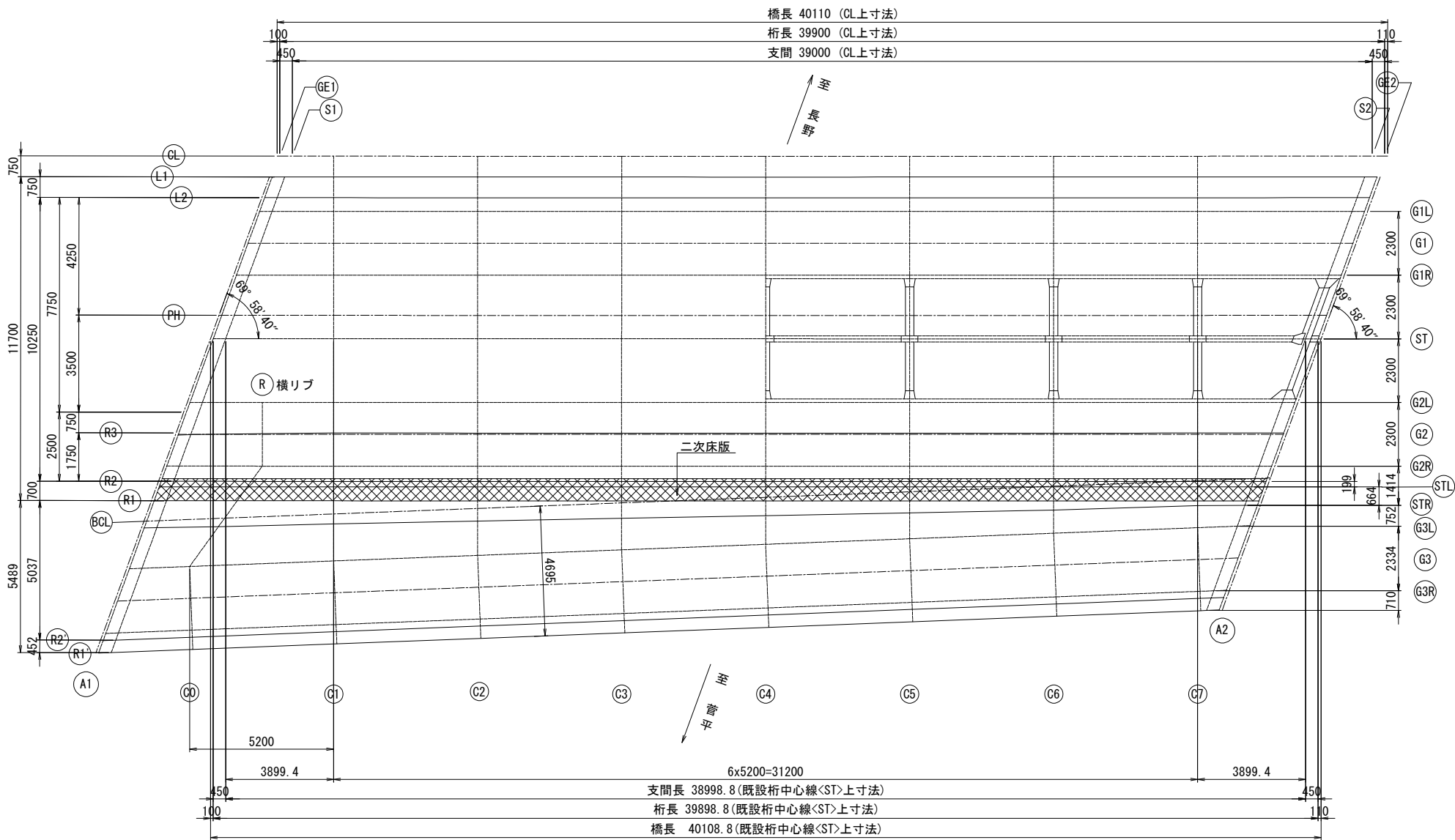


川田橋（上り線）上部工拡幅構造一般図(その1) S=1:200

側面図



平面図

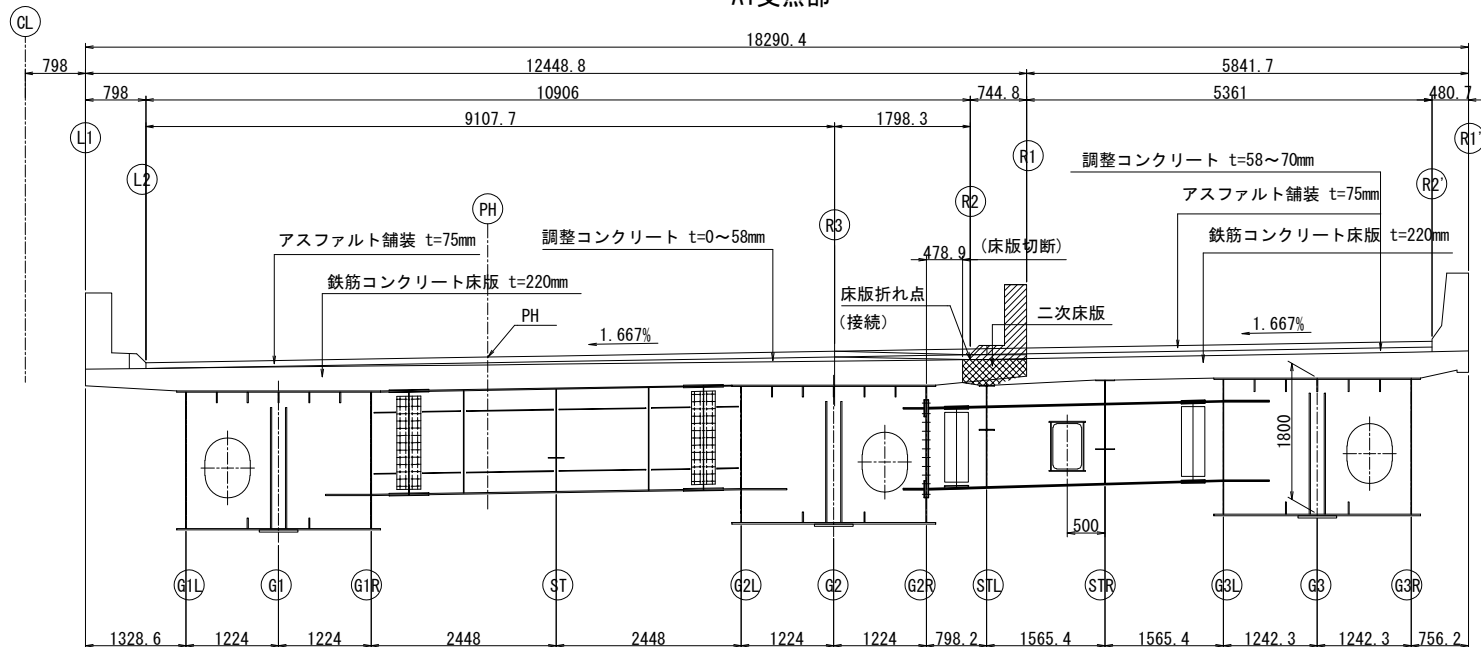


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 上部工拡幅構造一般図(その1)		
縮尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



断面図

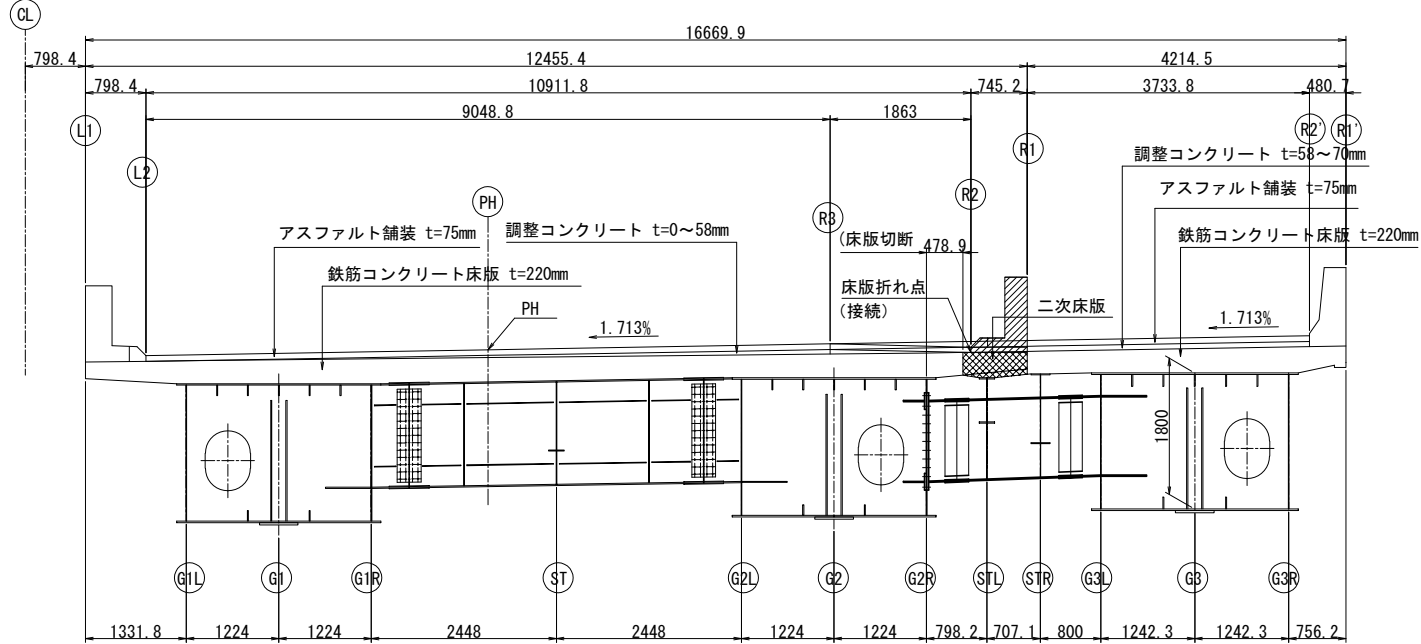
A1支点部



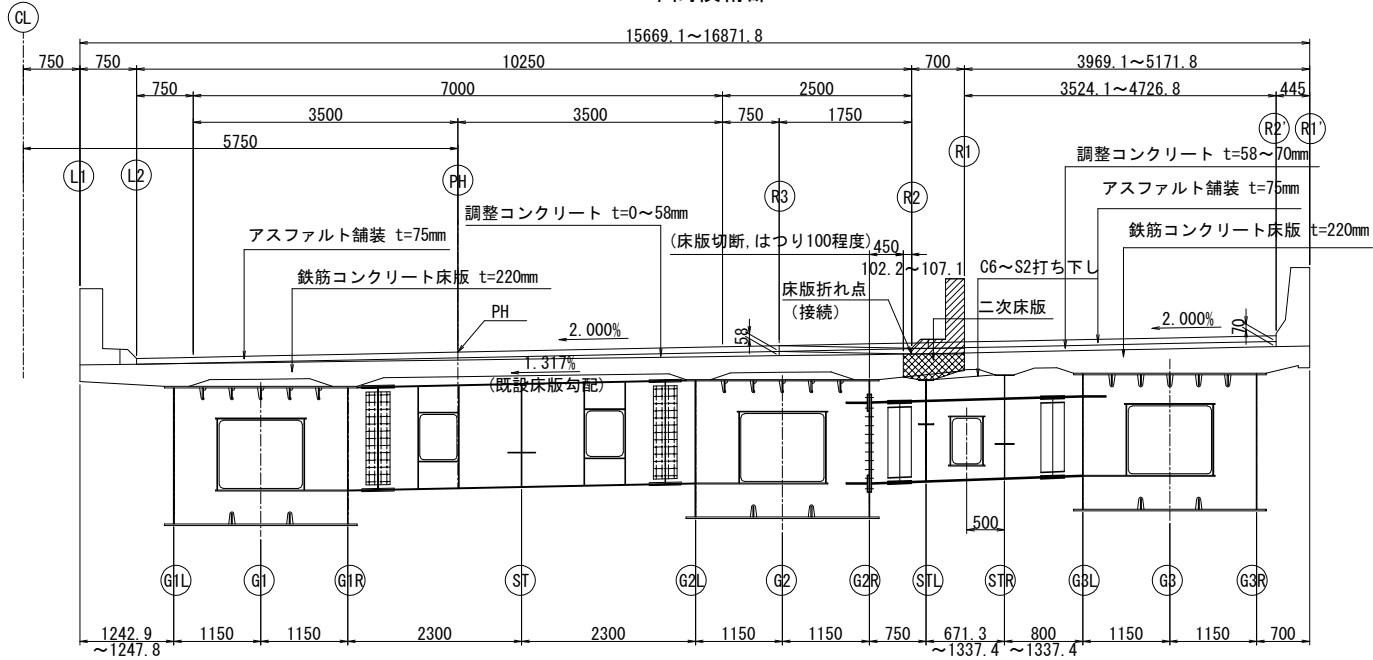
設計条件

道路規格	第1種 第2級 B規格		
形式	鋼単純非合成箱桁橋		
橋長	40.110m (CL上)		
桁長	39.900m (CL上)		
支間長	39.000m (CL上)		
有効幅員	15.937m~14.421m (CL法線方向)		
斜角	A1, A2: $\theta=69^{\circ} 58' 40''$ 桁線方向		
平面線形	A=1000		
縦断勾配	1.18% VCL=680m 1.26%		
横断勾配	2.0% ~ -2.00% (片勾配)		
設計活荷重	B活荷重		
設計水平震度	レベル1 Kh =0.26 レベル2 Kh =0.47		
舗装	アスファルト舗装 t=75mm		
床版	RC床版 t=220mm		
大型車交通量	1日1方向:3003台		
使用材料	主要鋼材 SM520, SM490Y, SM400, SS400, S10T		
	コンクリート	RC床版	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
		鉄筋	SD345
適用示方書	道路橋示方書・同解説 I~V (平成24年3月) 日本道路協会 H28.8 設計要領第二集 橋梁建設編 (東・中・西日本高速道路株式会社) R2.7 設計要領第二集 橋梁保全編 (東・中・西日本高速道路株式会社) R4.1 鋼橋構造詳細の手引き (改訂3版) (橋建協) H15.3 ガイドライン型設計適用上の考え方と標準図集 (橋建協)		

A2支点部



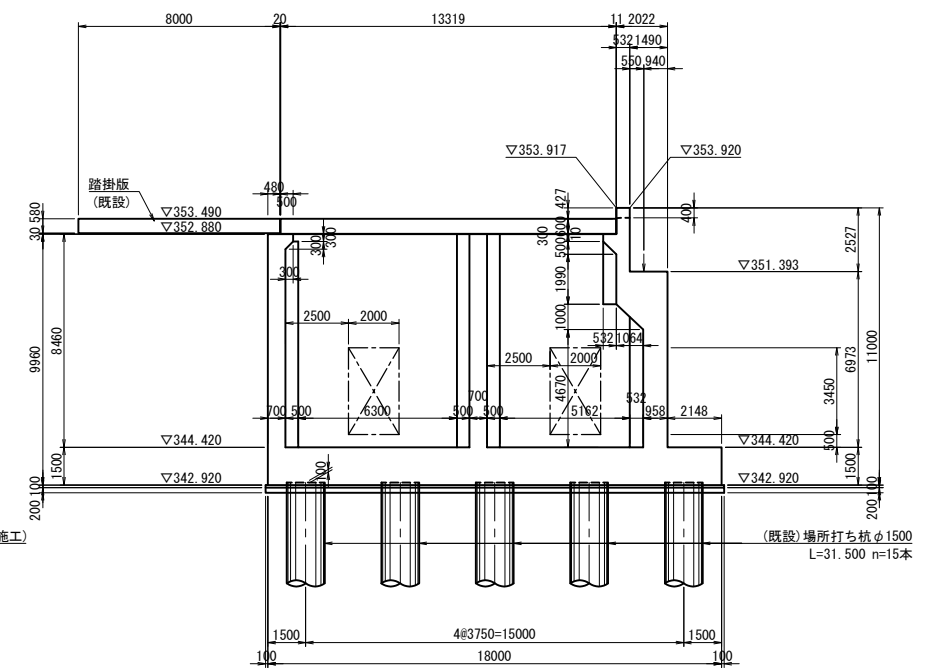
中間横桁部



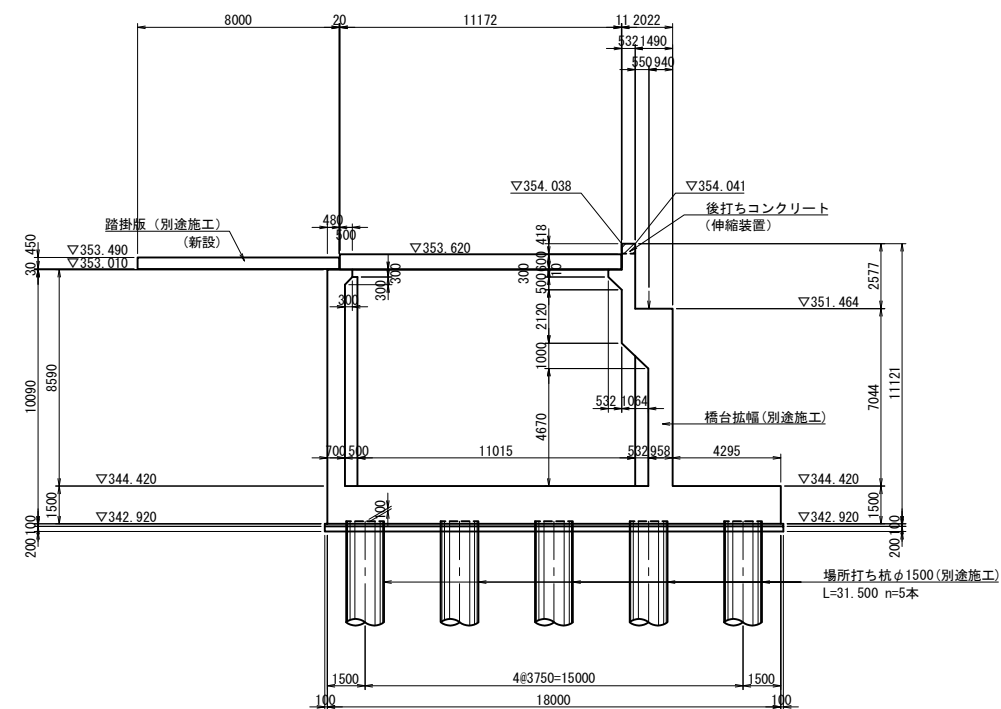
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 上部工拡幅構造一般図(その2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



断面図 (3-3)



断面图 (4-4)



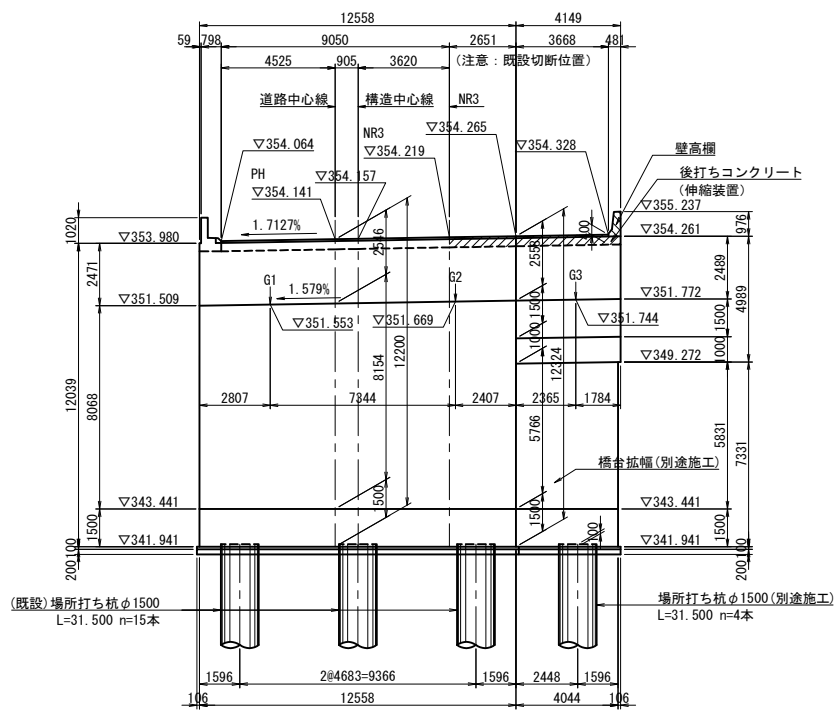
使用材料(新設部)

躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
フーチング	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
場所打ち杭	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (呼び強度)
	鉄筋	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

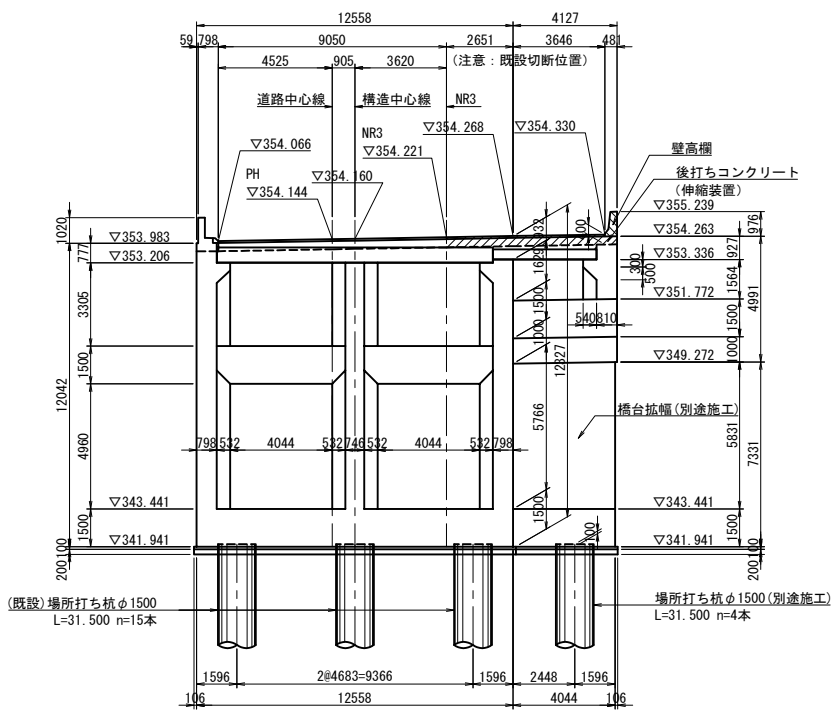
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） A1橋台拡幅構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



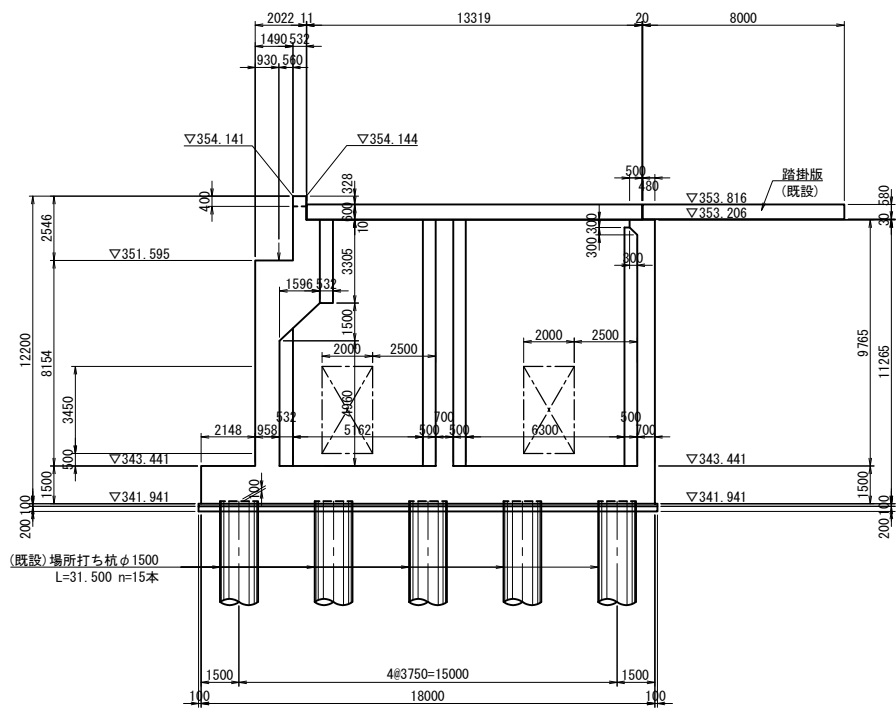
正面図 (1-1)



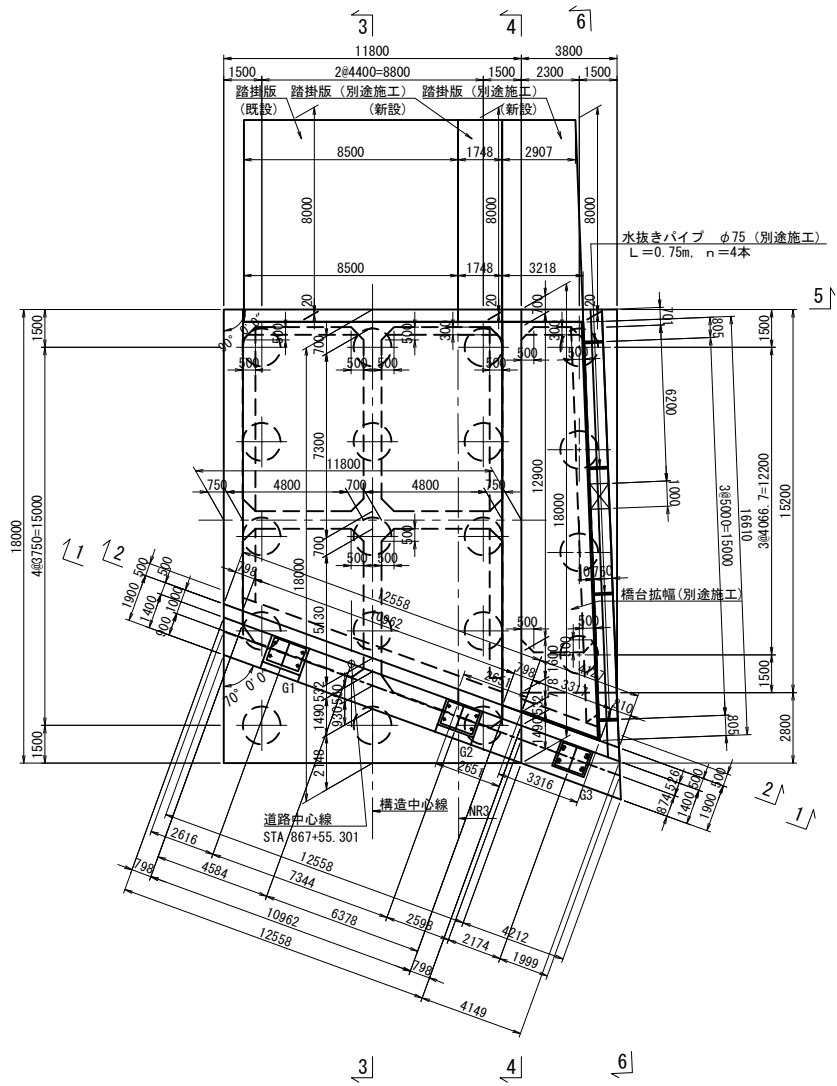
背面図 (2-2)



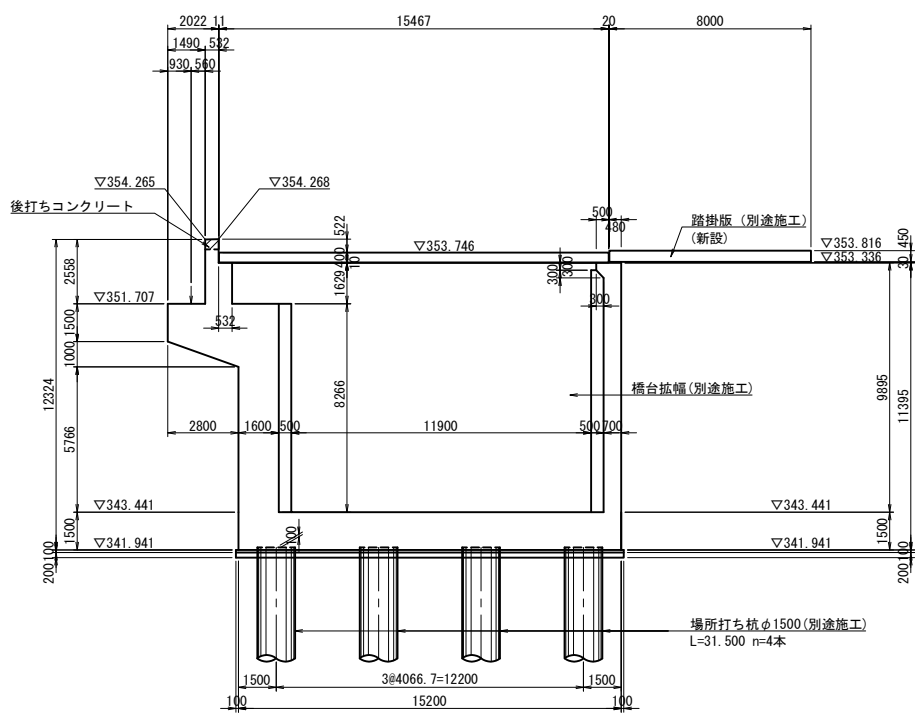
断面図 (3-3)



平面図



断面図 (4-4)



使用材料 (既設部)

躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
フーチング	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
場所打ち杭	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (呼び強度)
	鉄筋	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

使用材料 (新設部)

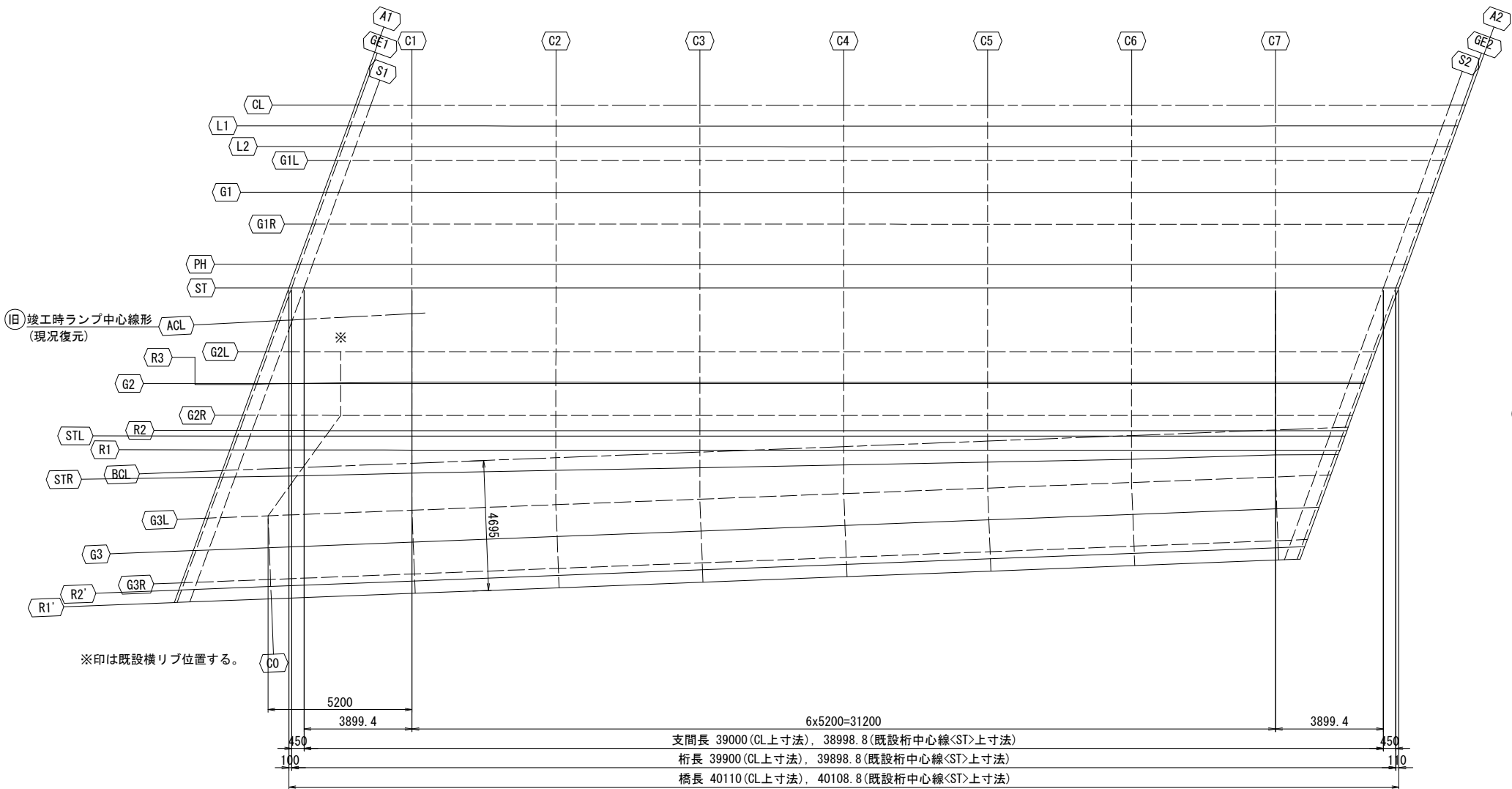
躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
フーチング	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
場所打ち杭	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (呼び強度)
	鉄筋	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

注)  
標高については、本業務で完成図と測量図の差異を調整したものである。  
本図は新標高を示す。  
※ 旧標高-0.306m=新標高

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） A2橋台拡幅構造一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



平面図



主要点の大座標

本線線形

変化点	測点	X座標	Y座標	要素
●本線 CL				
1	864+39.194	66876.359187	-22948.676359	R=3000.000
2	867+72.528	67131.682453	-22734.455301	A=1000.000
3	870+17.528	67319.040334	-22576.651593	A=700.000 R=2000.000

新ランプ線形

変化点	測点	X座標	Y座標	要素
●B(上りOFF) BCL				
1	5+98.591	67061.223322	-22773.517120	R=∞
2	7+62.481	67192.503856	-22675.409656	

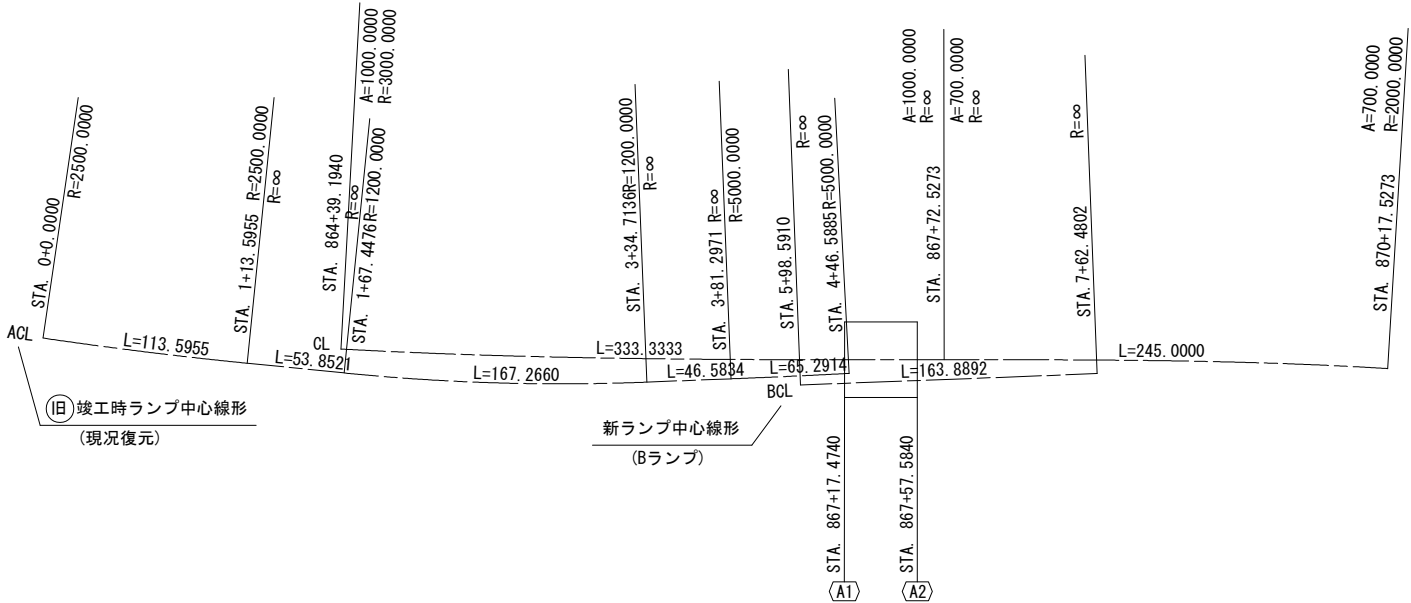
旧 竣工時ランプ線形(現況復元として記載)

変化点	測点	X座標	Y座標	要素
●Aランプ ACL				
1	0+0.0000	66752.3161	-23056.7966	R=2500.000
2	1+13.5955	66831.2144	-22975.0851	
3	1+67.4476	66869.4914	-22937.2047	R=∞
4	3+34.7136	66996.1816	-22828.199	R=1200.000
5	3+81.2971	67033.5232	-22800.349	R=∞
6	4+46.5885	67086.1147	-22761.6574	R=5000.000

※印は既設横リブ位置する。

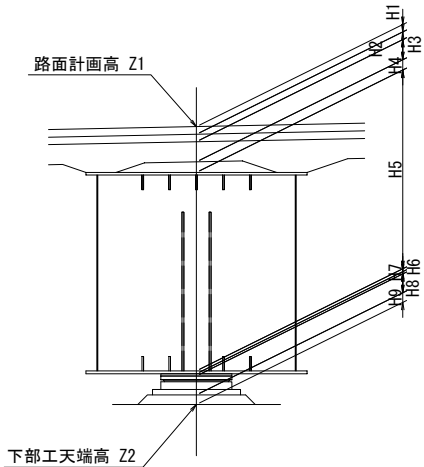
線形要素

平面線形要素



構造高表

	記号	S1 (A1橋台)			S2 (A2橋台)		
		G1	G2	G3	G1	G2	G3
路面高	Z1	353.879	354.001	354.108	354.092	354.218	354.300
舗装厚	H1	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075
調整コンクリート	H2	0.011	0.058	0.063	0.011	0.056	0.070
床版厚	H3	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
ハンチ高	H4	0.095	0.095	0.103	0.095	0.095	0.103
主桁高	H5	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800
下フランジ厚	H6	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010
小計	Σ H1~H6	2.211	2.258	2.271	2.211	2.256	2.278
ソールプレート	H7	0.041	0.041	0.040	0.041	0.041	0.040
支承高	H8	0.222	0.222	0.222	0.174	0.174	0.174
Σ H	Σ H1~H8	2.474	2.521	2.533	2.426	2.471	2.492
モルタル厚	H9	0.097	0.040	0.080	0.161	0.134	0.125
下部工天端	Z2	351.308	351.440	351.495	351.505	351.613	351.683



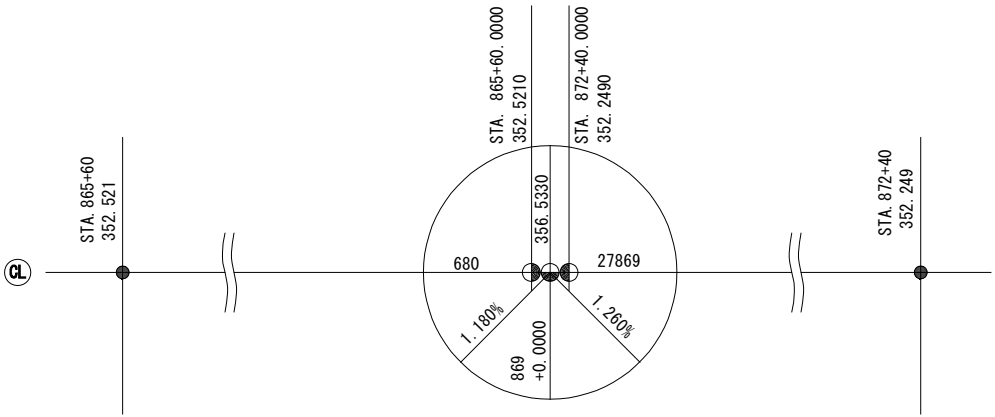
注)

- 旧 竣工時ランプ中心線形(Aランプ)は現況したのが復元に必要ため記載最新のランプ線形は図中のBランプ線形である。
- 桁下空間高は上部工完成図を反映した。現地では事前に計測して確認すること。

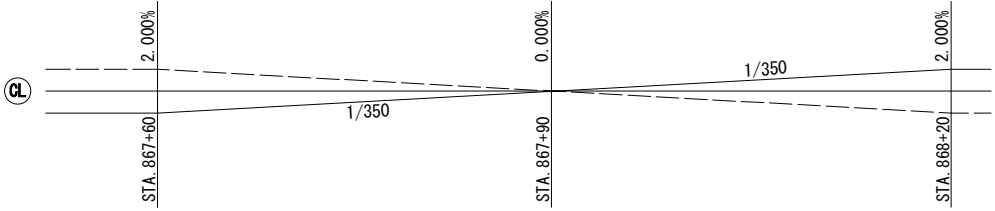
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 線形図(その1)		
縮尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



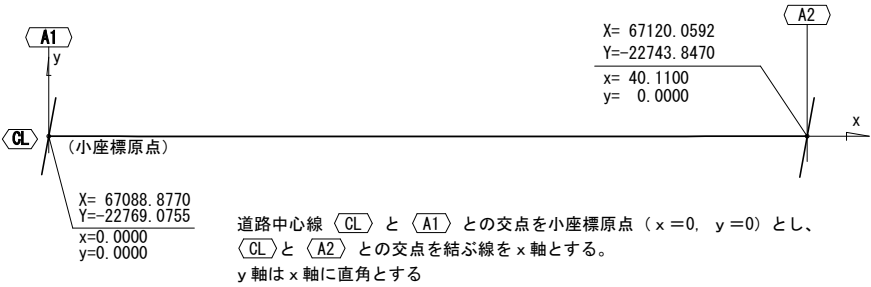
縦断勾配線形要素



横断勾配線形要素

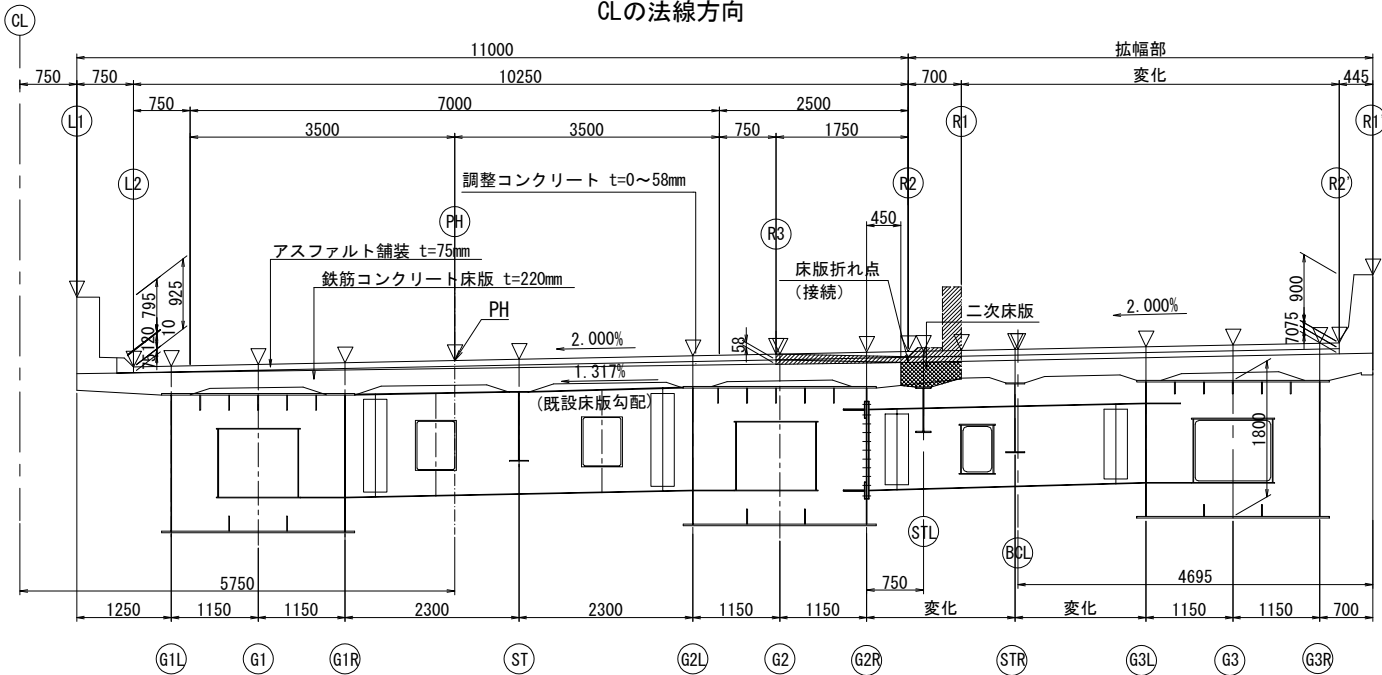


小座標の設定

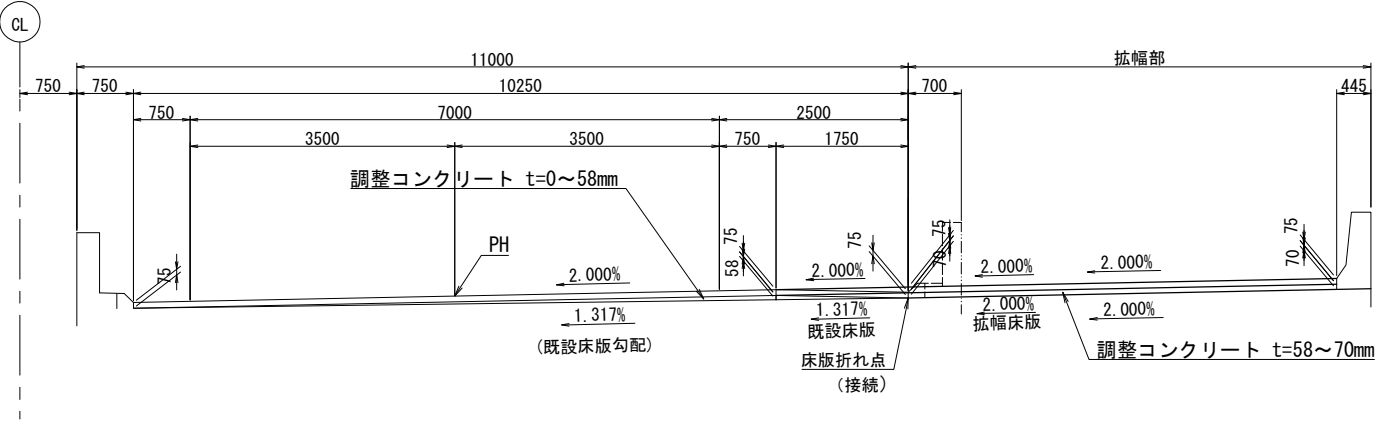


断面図

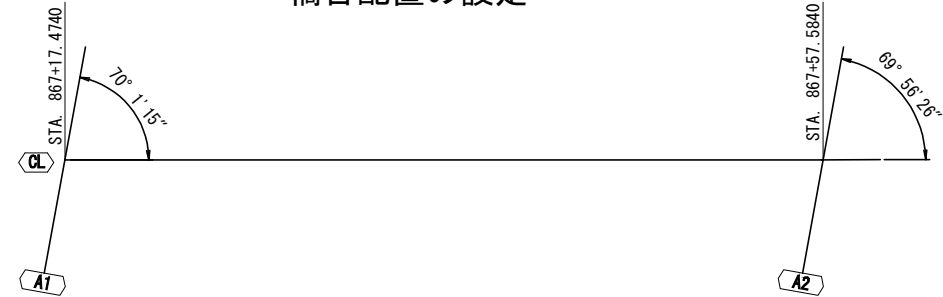
CLの法線方向



路面及び床版上面線の設置要領



橋台配置の設定



橋台位置の設定

- 1) パラペット前面線は下り線A1の測点 STA. 867+24.580 に  
対して70° となる線を下り線A1のパラペット前面線とする。(斜角の基準線)  
2) 下り線A2、上り線A1、A2のパラペット前面線は、上記1) で決定した下り線A1ラインに平行とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 線形図(その2)		
縮尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 上り線 ）線形図(その3)

小 座 標

		A1	GE1	S1	C0	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
CL	X	0.0000	0.1000	0.5500		2.0450	7.2450	12.4450	17.6450	22.8450	28.0450	33.2450	39.5500	40.0000	40.1100
	Y	0.0000	-0.0001	-0.0005		-0.0016	-0.0047	-0.0065	-0.0071	-0.0067	-0.0055	-0.0035	-0.0003	-0.0001	0.0000
	Z	353.9343	353.9349	353.9377		353.9468	353.9779	354.0080	354.0372	354.0654	354.0926	354.1189	354.1494	354.1516	354.1521
L1	X	-0.2733	-0.1733	0.2767		2.0449	7.2449	12.4449	17.6449	22.8449	28.0449	33.2449	39.2766	39.7266	39.8366
	Y	-0.7498	-0.7499	-0.7502		-0.7516	-0.7547	-0.7565	-0.7571	-0.7567	-0.7555	-0.7535	-0.7505	-0.7502	-0.7502
	Z	354.7726	354.7732	354.7760		354.7868	354.8179	354.8480	354.8772	354.9054	354.9326	354.9589	354.9881	354.9903	354.9908
L2	X	-0.5466	-0.4466	0.0034		2.0449	7.2449	12.4449	17.6449	22.8449	28.0449	33.2449	39.0031	39.4531	39.5631
	Y	-1.4995	-1.4996	-1.5000		-1.5016	-1.5047	-1.5065	-1.5071	-1.5067	-1.5055	-1.5035	-1.5006	-1.5004	-1.5003
	Z	353.8459	353.8465	353.8493		353.8618	353.8929	353.9230	353.9522	353.9804	354.0076	354.0339	354.0618	354.0640	354.0645
G1L	X	-0.7284	-0.6284	-0.1783		2.0448	7.2448	12.4448	17.6448	22.8448	28.0448	33.2448	38.8205	39.2704	39.3803
	Y	-1.9985	-1.9985	-1.9985		-1.9987	-1.9991	-1.9996	-2.0000	-2.0004	-2.0009	-2.0013	-2.0018	-2.0018	-2.0018
	Z	353.8548	353.8554	353.8582		353.8717	353.9028	353.9329	353.9621	353.9903	354.0175	354.0438	354.0710	354.0731	354.0737
G1	X	-1.1476	-1.0476	-0.5975		2.0447	7.2447	12.4447	17.6447	22.8447	28.0447	33.2447	38.4013	38.8512	38.9612
	Y	-3.1484	-3.1484	-3.1485		-3.1487	-3.1491	-3.1496	-3.1500	-3.1504	-3.1509	-3.1513	-3.1517	-3.1518	-3.1518
	Z	353.8752	353.8758	353.8786		353.8947	353.9258	353.9559	353.9851	354.0133	354.0405	354.0668	354.0920	354.0941	354.0947
G1R	X	-1.5668	-1.4667	-1.0166		2.0446	7.2446	12.4446	17.6446	22.8446	28.0446	33.2446	37.9821	38.4320	38.5420
	Y	-4.2984	-4.2984	-4.2984		-4.2987	-4.2991	-4.2996	-4.3000	-4.3004	-4.3009	-4.3013	-4.3017	-4.3017	-4.3017
	Z	353.8956	353.8962	353.8990		353.9177	353.9488	353.9789	354.0081	354.0363	354.0635	354.0898	354.1130	354.1151	354.1157
PH	X	-2.0952	-1.9952	-1.5452		2.0445	7.2445	12.4445	17.6445	22.8445	28.0445	33.2445	37.4537	37.9037	38.0137
	Y	-5.7481	-5.7482	-5.7486		-5.7516	-5.7547	-5.7565	-5.7571	-5.7567	-5.7555	-5.7535	-5.7515	-5.7512	-5.7512
	Z	353.9214	353.9220	353.9248		353.9468	353.9779	354.0080	354.0372	354.0654	354.0926	354.1189	354.1394	354.1416	354.1421
ST	X	-2.4051	-2.3051	-1.8550		2.0444	7.2444	12.4444	17.6444	22.8444	28.0444	33.2444	37.1438	37.5937	37.7037
	Y	-6.5983	-6.5983	-6.5984		-6.5987	-6.5991	-6.5996	-6.6000	-6.6004	-6.6009	-6.6013	-6.6016	-6.6017	-6.6017
	Z	353.9364	353.9371	353.9399		353.9638	353.9948	354.0249	354.0541	354.0823	354.1095	354.1358	354.1549	354.1571	354.1576
ACL	X	-2.8369	-2.7349	-2.2762		2.0443									
	Y	-7.7829	-7.7776	-7.7540		-7.5293									
	Z	353.9575	353.9580	353.9604		353.9824									
G2L	X	-3.2434	-3.1434	-2.6933	-0.5337	2.0442	7.2442	12.4442	17.6442	22.8442	28.0442	33.2442	36.3055	36.7554	36.8653
	Y	-8.8982	-8.8982	-8.8983	-8.8985	-8.8987	-8.8991	-8.8996	-8.9000	-8.9004	-8.9009	-8.9013	-8.9015	-8.9016	-8.9016
	Z	353.9772	353.9779	353.9807	353.9940	354.0098	354.0408	354.0709	354.1001	354.1283	354.1555	354.1818	354.1969	354.1990	354.1996
R3	X	-3.6763	-3.5744	-3.1156	-0.5338	2.0441	7.2441	12.4441	17.6441	22.8441	28.0441	33.2441	35.9043	36.3543	36.4643
	Y	-10.0858	-10.0805	-10.0570	-10.0293	-10.0016	-10.0047	-10.0065	-10.0071	-10.0067	-10.0055	-10.0035	-10.0022	-10.0020	-10.0020
	Z	353.9983	353.9988	354.0012	354.0166	354.0318	354.0629	354.0930	354.1222	354.1504	354.1776	354.2039	354.2169	354.2191	354.2196
G2	X	-3.6626	-3.5626	-3.1124	-0.5338	2.0441	7.2441	12.4441	17.6441	22.8441	28.0441	33.2441	35.8863	36.3362	36.4462
	Y	-10.0482	-10.0482	-10.0483	-10.0485	-10.0487	-10.0491	-10.0496	-10.0500	-10.0504	-10.0509	-10.0513	-10.0515	-10.0515	-10.0516
	Z	353.9976	353.9982	354.0011	354.0170	354.0328	354.0638	354.0939	354.1231	354.1513	354.1785	354.2048	354.2178	354.2200	354.2205
G2R	X	-4.0818	-3.9817	-3.5316	-0.5340	2.0440	7.2440	12.4440	17.6440	22.8440	28.0440	33.2440	35.4671	35.9170	36.0270
	Y	-11.1982	-11.1982	-11.1982	-11.1985	-11.1987	-11.1991	-11.1996	-11.2000	-11.2004	-11.2009	-11.2013	-11.2015	-11.2015	-11.2015
	Z	354.0180	354.0186	354.0214	354.0400	354.0558	354.0868	354.1169	354.1461	354.1743	354.2015	354.2278	354.2388	354.2410	354.2415
R2	X	-4.2814	-4.1814	-3.7315	-0.9324	2.0440	7.2440	12.4440	17.6440	22.8440	28.0440	33.2440	35.2663	35.7163	35.8263
	Y	-11.7459	-11.7460	-11.7465	-11.7492	-11.7516	-11.7547	-11.7565	-11.7571	-11.7567	-11.7555	-11.7535	-11.7526	-11.7523	-11.7523
	Z	354.0277	354.0283	354.0312	354.0486	354.0668	354.0979	354.1280	354.1572	354.1854	354.2126	354.2389	354.2488	354.2510	354.2515
STL	X	-4.3551	-4.2551	-3.8050	-1.0765	2.0440	7.2440	12.4440	17.6440	22.8440	28.0440	33.2440	35.1938	35.6437	35.7536
	Y	-11.9481	-11.9482	-11.9482	-11.9484	-11.9487	-11.9491	-11.9496	-11.9500	-11.9504	-11.9509	-11.9513	-11.9515	-11.9515	-11.9515
	Z	354.0313	354.0319	354.0347	354.0517	354.0708	354.1018	354.1319	354.1611	354.1893	354.2165	354.2428	354.2524	354.2546	354.2552
R1	X	-4.5365	-4.4365	-3.9865	-1.4384	2.0439	7.2439	12.4439	17.6439	22.8439	28.0439	33.2439	35.0111	35.4611	35.5711
	Y	-12.4456	-12.4457	-12.4462	-12.4487	-12.4516	-12.4547	-12.4565	-12.4571	-12.4567	-12.4555	-12.4535	-12.4527	-12.4525	-12.4524
	Z	354.0401	354.0407	354.0436	354.0595	354.0808	354.1119	354.1420	354.1712	354.1994	354.2266	354.2529	354.2616	354.2638	354.2643
BCL	X	-4.8081	-4.7066	-4.2501	-1.8941	2.0439	7.2439	12.4439	17.6439	22.8440	28.0440	33.2440	35.3047	35.7610	35.8726
	Y	-13.1908	-13.1869	-13.1694	-13.0787	-12.9271	-12.7270	-12.5269	-12.3267	-12.1266	-11.9265	-11.7263	-11.6470	-11.6295	-11.6252
	Z	354.0533	354.0539	354.0564	354.0693	354.0903	354.1174	354.1435	354.1686	354.1928	354.2160	354.2383	354.2469	354.2488	354.2492
STR	X	-4.8942	-4.7937	-4.3411	-2.1164	2.0439	7.2439	12.4439	17.6439	22.8439	28.0439	33.2439	34.9516	35.4022	35.5123
	Y	-13.4272	-13.4257	-13.4190	-13.3860	-13.2860	-13.1862	-13.0863	-12.9865	-12.8866	-12.7868	-12.6226	-12.6158	-12.6140	-12.6136
	Z	354.0575	354.0581	354.0608	354.0740	354.0975	354.1266	354.1546	354.1818	354.2080	354.2332	354.2562	354.2645	354.2667	354.2672
G3L	X	-5.4352	-5.3337	-4.8772	-3.1563	2.0438	7.2438	12.4438	17.6438	22.8438	28.0438	33.2439	34.6777	35.1340	35.2455
	Y	-14.9112	-14.9073	-14.8898	-14.8235	-14.6234	-14.4233	-14.2231	-14.0230	-13.8229	-13.6227	-13.4226	-13.3674	-13.3499	-13.3456
	Z	354.0838	354.0843	354.0869	354.0963	354.1243	354.1513	354.1774	354.2025	354.2267	354.2500	354.2722	354.2782	354.2801	354.2806
G3	X	-5.8606	-5.7592	-5.3026	-3.1120	2.0880	7.2880								



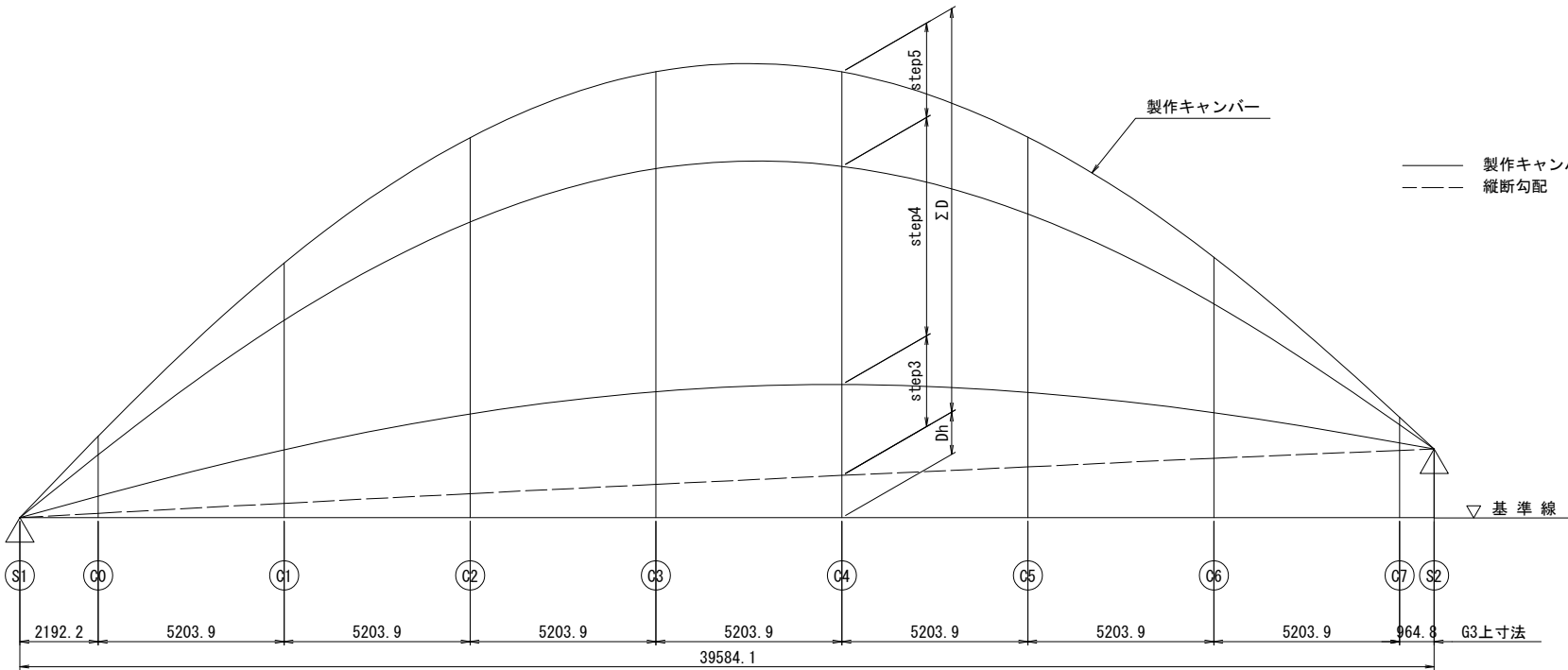
主桁、縦桁上の高さ

川田橋（ 上り線 ）線形図(その4)

		G1L	G1	G1R	ST	G2L	G2	G2R	STL	STR	G3L	G3	G3R
A1	路面高	353.8548	353.8752	353.8956	353.9364	353.9772	353.9976	354.018	354.031	354.0575	354.0838	354.1044	354.1251
	床版天端高	353.7764	353.7892	353.802	353.8276	353.8536	353.8672	353.8809	353.8913	353.9186	353.946	353.9676	353.9891
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.034	0.049	0.055	0.062	0.065	0.064	0.063	0.062	0.061
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.095	0.108	0.095	0.081	0.095	0.109	0.119	0.080	0.081	0.103	0.125
GE1	ウブ天端高	353.4742	353.4742	353.4742	353.5126	353.5522	353.5522	353.5522	353.5522	353.6186	353.6446	353.6446	353.6446
	路面高	353.8554	353.8758	353.8962	353.9371	353.9779	353.9982	354.0186	354.032	354.0581	354.0843	354.105	354.1257
	床版天端高	353.7771	353.7898	353.8026	353.8282	353.8541	353.8676	353.8814	353.8917	353.919	353.9464	353.9679	353.9895
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.034	0.049	0.056	0.062	0.065	0.064	0.063	0.062	0.061
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
S1	ハンチ高	0.082	0.095	0.108	0.095	0.082	0.095	0.109	0.119	0.080	0.082	0.103	0.125
	ウブ天端高	353.4748	353.4748	353.4748	353.5132	353.5526	353.5526	353.5526	353.5526	353.6190	353.6449	353.6449	353.6449
	路面高	353.8582	353.8786	353.899	353.9399	353.9807	354.0011	354.0214	354.035	354.0608	354.0869	354.1075	354.1282
	床版天端高	353.7798	353.7925	353.8053	353.8309	353.8567	353.8633	353.8833	353.8936	353.9208	353.9479	353.9695	353.9911
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.034	0.049	0.056	0.063	0.066	0.065	0.064	0.063	0.062
C0	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.095	0.108	0.095	0.082	0.095	0.109	0.119	0.080	0.081	0.103	0.125
	ウブ天端高	353.4775	353.4775	353.4775	353.5159	353.5547	353.5547	353.5547	353.5547	353.6208	353.6465	353.6465	353.6465
	路面高					353.994	354.017	354.04	354.052	354.074	354.0963	354.1196	354.1429
	床版天端高					353.8694	353.8846	353.8999	353.9081	353.931	353.9538	353.977	354.0002
C1	調整コンクリート厚					0.050	0.057	0.065	0.069	0.068	0.067	0.068	0.068
	床版厚					0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高					0.080	0.095	0.110	0.119	0.080	0.080	0.103	0.126
	ウブ天端高					353.5696	353.5696	353.5696	353.5696	353.6310	353.654	353.6540	353.654
	路面高	353.8717	353.8947	353.9177	353.9638	354.0098	354.0328	354.0558	354.071	354.0975	354.1243	354.1475	354.1708
C2	床版天端高	353.7933	353.8085	353.8236	353.8539	353.8842	353.8994	353.9145	353.9258	353.9525	353.9793	354.0025	354.0258
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.051	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.080	0.095	0.110	0.095	0.080	0.095	0.110	0.121	0.080	0.080	0.103	0.126
	ウブ天端高	353.4935	353.4935	353.4935	353.5389	353.5844	353.5844	353.5844	353.5844	353.6525	353.6795	353.6795	353.6795
C3	路面高	353.9028	353.9258	353.9488	353.9948	354.0408	354.0638	354.0868	354.102	354.1266	354.1513	354.1745	354.1978
	床版天端高	353.8244	353.8396	353.8547	353.885	353.9153	353.9305	353.9456	353.9568	353.9816	354.0063	354.0295	354.0528
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.050	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.080	0.095	0.110	0.095	0.080	0.095	0.110	0.121	0.080	0.080	0.103	0.126
C4	ウブ天端高	353.5246	353.5246	353.5246	353.5700	353.6155	353.6155	353.6155	353.6155	353.6816	353.7065	353.7065	353.7065
	路面高	353.9329	353.9559	353.9789	354.0249	354.0709	354.0939	354.1169	354.132	354.1546	354.1774	354.2006	354.2239
	床版天端高	353.8545	353.8697	353.8848	353.9151	353.9454	353.9606	353.9757	353.9869	354.0096	354.0324	354.0556	354.0789
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.050	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
C5	ハンチ高	0.080	0.095	0.110	0.095	0.080	0.095	0.110	0.121	0.080	0.080	0.103	0.126
	ウブ天端高	353.5547	353.5547	353.5547	353.6001	353.6456	353.6456	353.6456	353.6456	353.7096	353.7326	353.7326	353.7326
	路面高	353.9621	353.9851	354.0081	354.0541	354.1001	354.1231	354.1461	354.161	354.1818	354.2025	354.2257	354.249
	床版天端高	353.8837	353.8988	353.914	353.9443	353.9746	353.9897	354.0049	354.0161	354.0368	354.0575	354.0807	354.104
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.050	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
C6	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.080	0.095	0.110	0.095	0.080	0.095	0.110	0.121	0.080	0.080	0.103	0.126
	ウブ天端高	353.5838	353.5838	353.5838	353.6293	353.6747	353.6747	353.6747	353.6747	353.7368	353.7577	353.7577	353.7577
	路面高	353.9903	354.0133	354.0363	354.0823	354.1283	354.1513	354.1743	354.189	354.208	354.2267	354.2499	354.2731
	床版天端高	353.9119	353.9271	353.9422	353.9725	354.0028	354.0179	354.0331	354.0443	354.063	354.0817	354.1049	354.1281
C7	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.051	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.080	0.095	0.110	0.095	0.080	0.095	0.110	0.121	0.080	0.080	0.103	0.126
	ウブ天端高	353.6121	353.6121	353.6121	353.6575	353.7029	353.7029	353.7029	353.7029	353.7630	353.7819	353.7819	353.7819
	路面高	354.0175	354.0405	354.0635	354.1095	354.1555	354.1785	354.2015	354.217	354.2332	354.25	354.2732	354.2964
S2	床版天端高	353.9392	353.9543	353.9694	353.9997	354.03	354.0452	354.0603	354.0715	354.0882	354.105	354.1282	354.1514
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.051	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.080	0.095	0.108	0.095	0.082	0.095	0.108	0.118	0.080	0.082	0.103	0.124
	ウブ天端高	353.6907	353.6907	353.6907	353.7301	353.7694	353.7694	353.7694	353.7694	353.8195	353.8315	353.8315	353.8315
GE2	路面高	354.0731	354.0941	354.1151	354.1571	354.199	354.22	354.241	354.255	354.2667	354.2801	354.3014	354.3226
	床版天端高	353.9947	354.0079	354.021	354.0473	354.0735	354.0866	354.0997	354.1096	354.1217	354.1351	354.1564	354.1776
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.050	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.095	0.108	0.095	0.082	0.095	0.108	0.118	0.080	0.082	0.103	0.124
A2	ウブ天端高	353.6929	353.6929	353.6929	353.7323	353.7716	353.7716	353.7716	353.7716	353.8217	353.8334	353.8334	353.8334
	路面高	354.0737	354.0947	354.1157	354.1576	354.1996	354.2205	354.2415	354.255	354.2672	354.2806	354.3018	354.3231
	床版天端高	353.9952	354.0084	354.0215	354.0478	354.074	354.0872	354.1003	354.1102	354.1222	354.1356	354.1568	354.1781
	調整コンクリート厚	0.003	0.011	0.019	0.035	0.051	0.058	0.066	0.070	0.070	0.070	0.070	0.070
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
GE2	ハンチ高	0.082	0.095	0.108	0.095	0.082	0.095	0.108	0.118	0.080	0.082	0.103	0.124
	ウブ天端高	353.6934	353.6934	353.6934	353.7328	353.7722	353.7722	353.7722	353.7722	353.8222	353.8338	353.8338	353.8338

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 線形図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		





キャンバー表

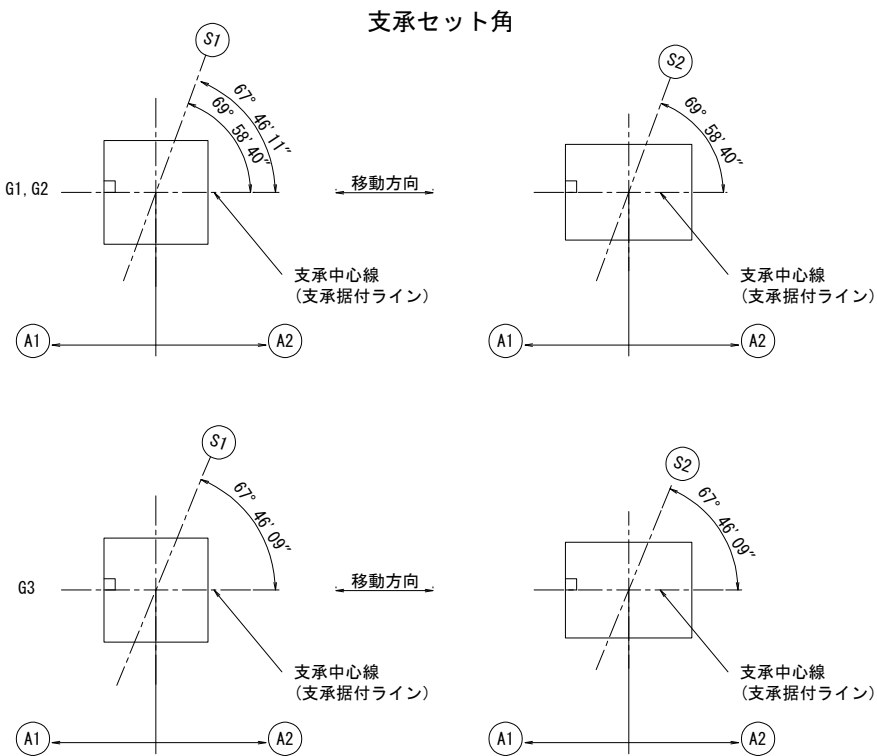
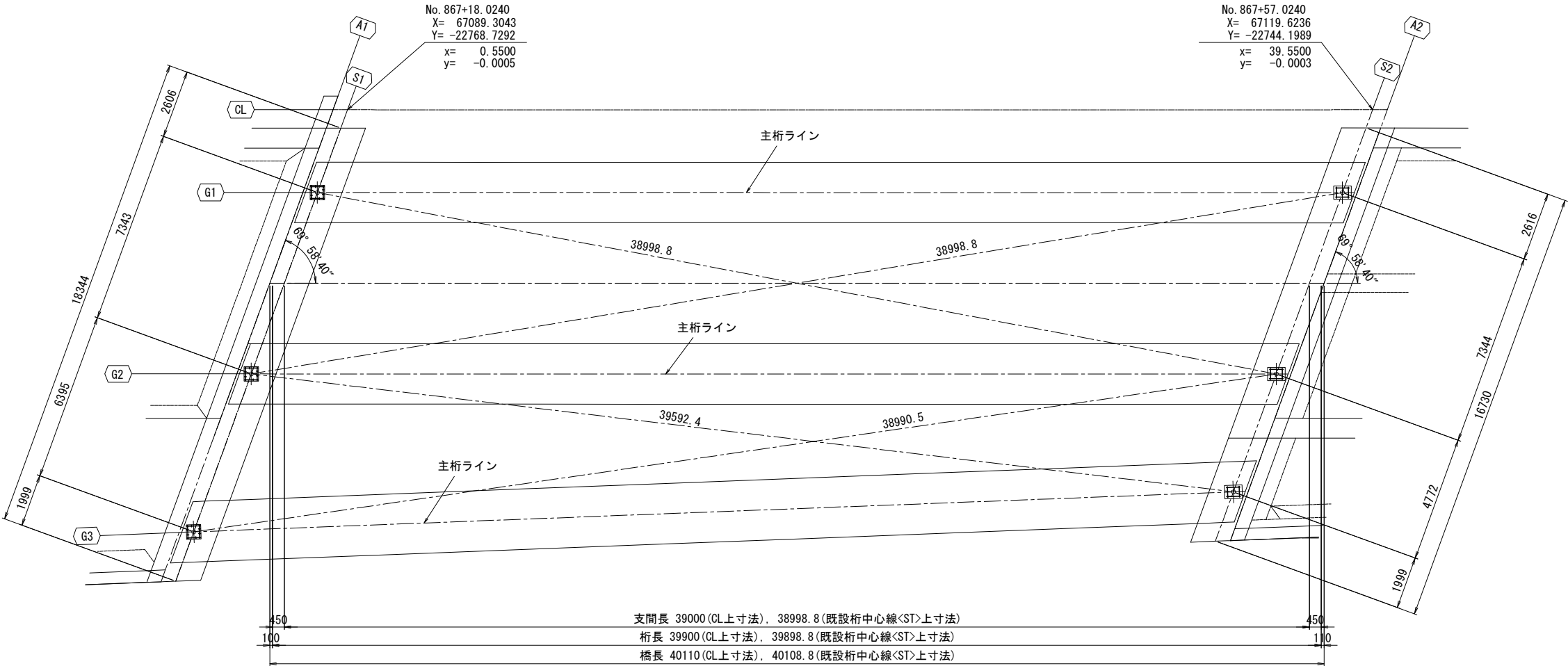
		S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2
G3	Dh	0	40	67	93	118	142	166	188	192
	step3	0	15	22	26	25	21	13	2	0
	step4	0	36	54	62	61	50	30	5	0
	step5	0	16	24	27	26	22	13	2	0
	ΣD	0	67	100	115	112	93	56	9	0

記号説明  
Dh：縦断勾配  
step3：新設主桁鋼重によるたわみ  
step4：新設横桁鋼+縦桁鋼重+上部工検査路+拡幅床版+縦桁ハンチ+主桁ハンチによるたわみ  
step5：二次床版支持縦桁STL鋼重+防護柵+二次床版+落下物防止柵+舗装+調整コンクリート+ガードレール撤去によるたわみ  
ΣD：死荷重合計

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） キャンバー図		
縮 尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（上り線）支承配置図 S=1:200



支承位置の座標および路面高

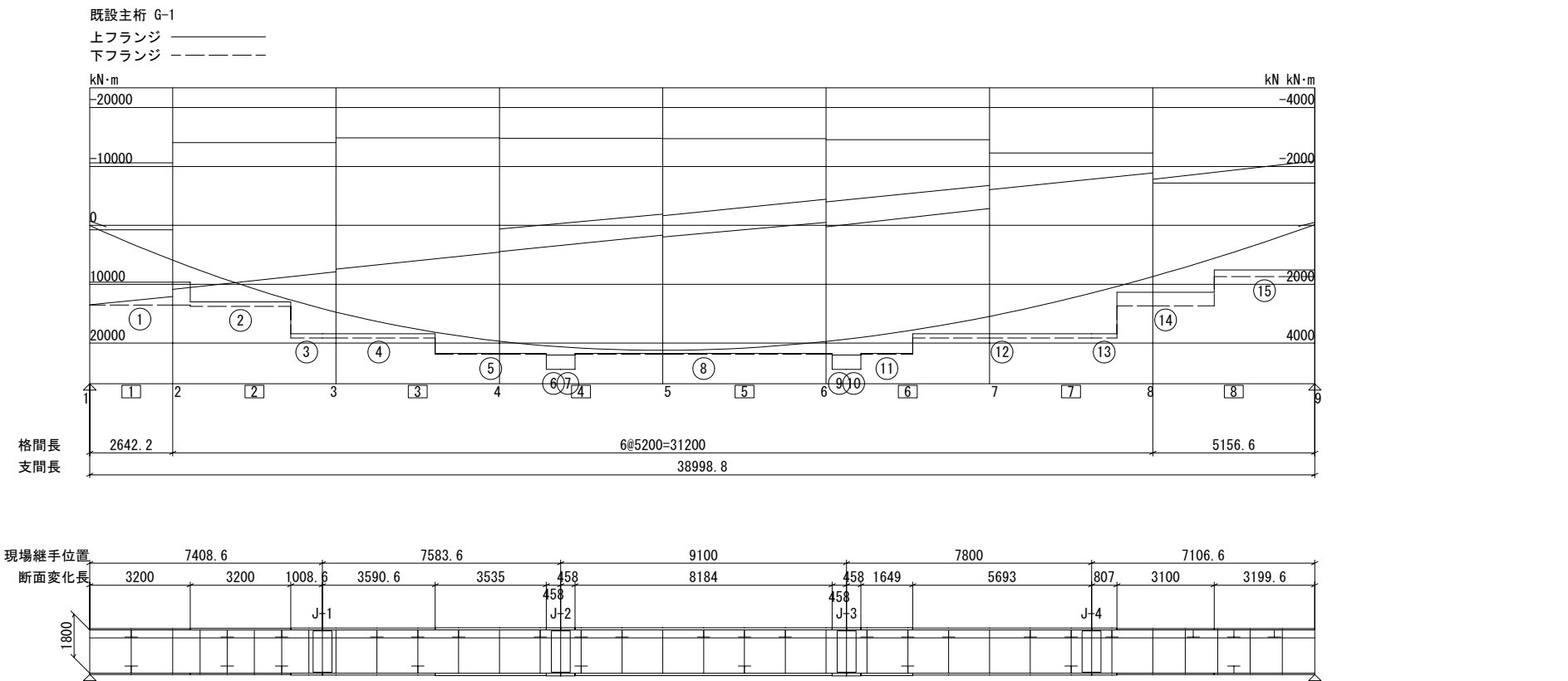
		S1			S2		
		G1	G2	G3	G1	G2	G3
大座標	X	67086.43215	67080.13709	67074.655	67116.74844	67110.45339	67106.36317
	Y	-22767.00363	-22763.2215	-22759.9278	-22742.47149	-22738.68936	-22736.23192
小座標	x	-0.597458	-3.1124492	-5.3026452	38.4013015	35.8863102	34.2521948
	y	-3.1484615	-10.0482514	-16.0569769	-3.1517201	-10.05151	-14.5346482
路面高	H	353.8786	354.0011	354.1075	354.0920	354.2178	354.2995

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 支承配置図		
縮尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 上り線 ） 断面構成図(その1) S=1:100

G1 既設桁



単位 : mm N/mm2																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
断面名	Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	Sec-5	
上フランジ 幅=2550 厚	10 (3)	12 (3)	15 (3)	15 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	15 (3)	15 (3)	11 (3)	10 (1)	
上フランジ 本数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
縦リブ 幅	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	130	
縦リブ 厚	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	10 (1)	
左腹板高=1800 厚	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	
右腹板高=1800 厚	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	
下フランジ 本数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
縦リブ 幅	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	130	
縦リブ 厚	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	10 (1)	
下フランジ 幅=2550 厚	10 (3)	10 (3)	16 (3)	16 (3)	19 (3)	22 (3)	22 (3)	19 (3)	22 (3)	22 (3)	19 (3)	16 (3)	16 (3)	10 (3)	10 (1)	
上フランジ σ	0	-98	-160	-148	-191	-195	-194	-196	-202	-184	-182	-181	-187	-121	-138	-84
上フランジ σ a	210	135	164	194	207	207	207	207	207	207	207	194	194	151	113	140
上フランジ σ a-σ	210	36	4	45	3	13	13	12	5	23	26	26	7	73	13	140
下フランジ σ	0	109	193	155	199	196	177	178	203	168	166	182	195	126	159	90
下フランジ σ a	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	140
下フランジ σ a-σ	210	101	17	55	11	14	33	32	7	42	44	28	15	84	51	140
腹板 τ	98	89	79	74	63	52	50	49	42	53	54	56	61	69	73	65
腹板 τ a	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
腹板 合成	0.67	0.64	1.13	0.83	1.10	1.00	0.98	0.98	1.01	0.91	0.90	0.91	1.05	0.61	0.82	0.37
計算点位置	左	右	右	J-1	右	右	J-2	右	最大値	左	J-3	左	左	J-4	左	右

材質 (1):SM400  
(2):SM490  
(3):SM490Y  
(4):SM570

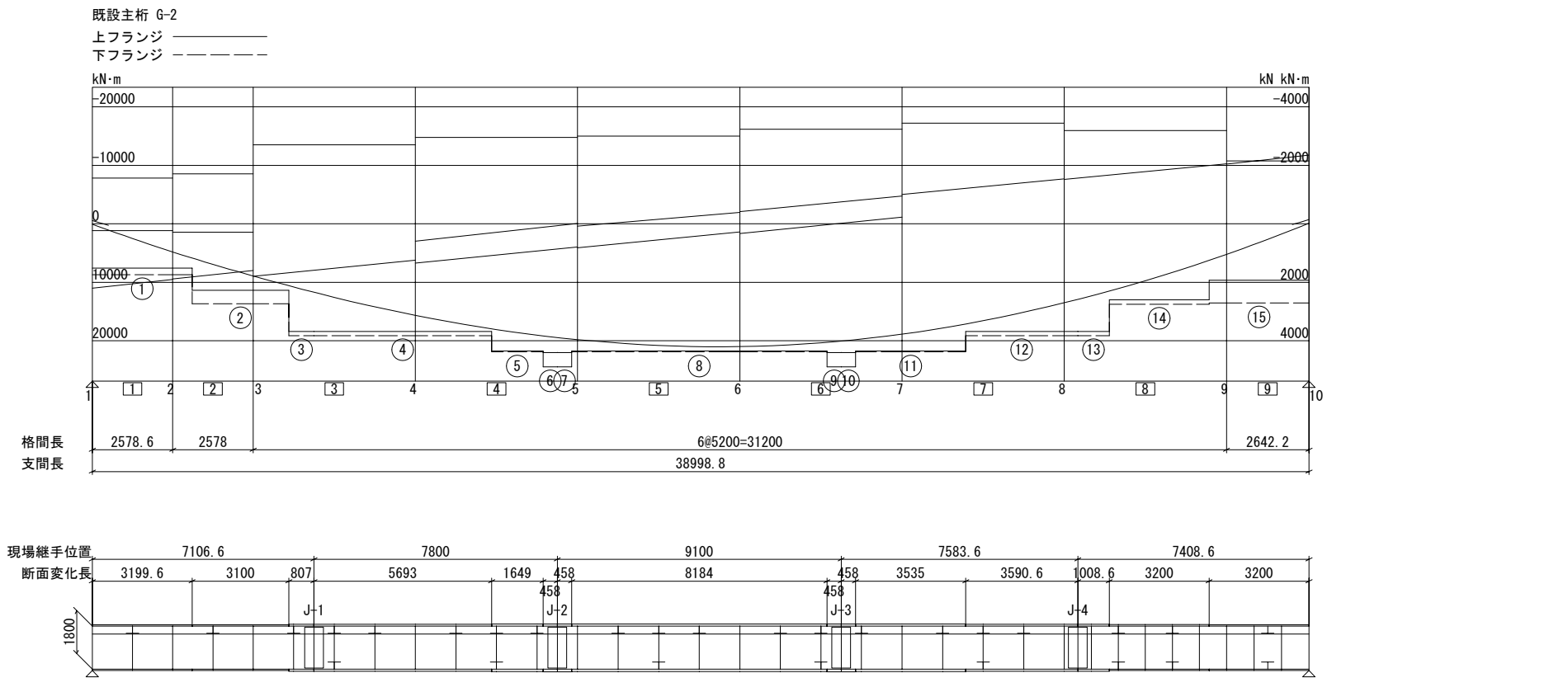
追加補強不要

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 断面構成図(その1)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 上り線 ） 断面構成図（その2） S=1:100

G2 既設桁



単位 : mm N/mm2																		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
断面名	Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15			
上フランジ 幅=2550 厚	10 (1)	11 (3)	15 (3)	15 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	15 (3)	15 (3)	12 (3)	10 (3)			
上フランジ 本数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
縦リブ	幅	130	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140			
	厚	10 (1)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)			
左腹板高=1800 厚	11 (1)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)			
右腹板高=1800 厚	11 (1)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)			
下フランジ 本数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			
縦リブ	幅	130	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140	140			
	厚	10 (1)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)			
下フランジ 幅=2550 厚	10 (1)	10 (3)	16 (3)	16 (3)	19 (3)	22 (3)	22 (3)	19 (3)	22 (3)	22 (3)	19 (3)	16 (3)	16 (3)	10 (3)	10 (3)			
上フランジ σ	0	-88	-141	-123	-188	-182	-182	-185	-200	-190	-188	-189	-180	-136	-146	-88	0	
下フランジ	σ a	140	113	151	194	194	207	207	207	207	207	194	194	164	135	210		
	σ a-σ	140	25	10	71	6	25	25	23	8	17	19	14	57	19	47	210	
	σ	0	94	163	128	196	183	166	169	201	173	172	189	188	142	176	97	0
	σ a	140	140	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210
	σ a-σ	140	46	47	82	14	27	44	41	9	37	38	21	22	68	34	113	210
	τ	78	69	76	72	61	56	55	54	42	53	55	56	69	77	81	90	89
	τ a	80	80	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
腹板	合成	0.95	0.93	0.87	0.65	1.06	0.92	0.91	0.92	0.99	0.97	0.96	0.97	1.05	0.78	1.01	0.61	0.55
	計算点位置	左	右	右	J-1	右	右	J-2	右	最大値	左	J-3	左	左	J-4	左	左	右

材質 (1):SM400  
(2):SM490  
(3):SM490Y  
(4):SM570

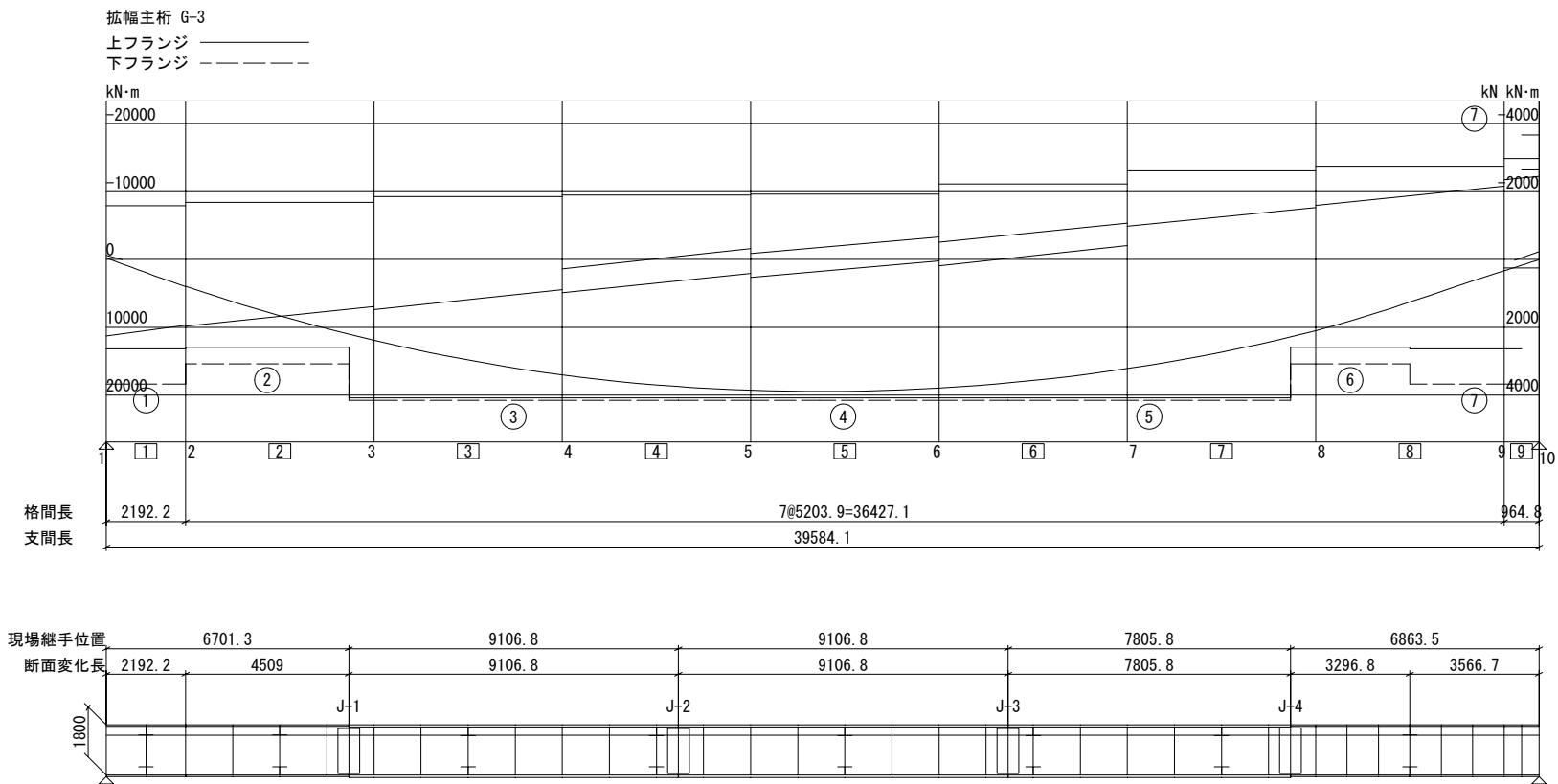
追加補強不要

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 断面構成図（その2）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 上り線 ） 断面構成図（その3） S=1:100

G3 拡幅部新設桁



単位 : mm N/mm2												
	1			2	3	4	5	6	7			
断面名	Sec-1			Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7			
上フランジ 幅=2550 厚	11 (3)			11 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)	11 (3)	11 (3)			
上フランジ 縦リブ	本数	5		5	5	5	5	5	5			
	幅	160		160	190	190	190	160	160			
	厚	16 (3)		16 (3)	19 (3)	19 (3)	19 (3)	16 (3)	16 (3)			
左腹板	高さ	1789	1789	1789	1785	1785	1785	1789	1789	1789	1789	1789
	厚	11 (3)		11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)			
右腹板	高さ	1789	1789	1789	1785	1785	1785	1789	1789	1789	1789	1789
	厚	11 (3)		11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)			
下フランジ 縦リブ	本数	5		2	2	2	2	2	5			
	幅	160		160	190	190	190	160	160			
	厚	16 (3)		16 (3)	19 (3)	19 (3)	19 (3)	16 (3)	16 (3)			
下フランジ 幅=2550 厚	10 (3)			10 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	10 (3)	10 (3)			
上フランジ	σ	-2	3	-55	-145	-181	-187	-175	-147	-80	-2	13
	σ a	151	210	151	151	194	194	194	151	151	151	210
	σ a-σ	149	207	96	6	13	6	19	4	71	149	197
下フランジ	σ	2	-3	58	172	186	193	180	175	83	2	-13
	σ a	210	135	210	210	210	210	210	210	210	210	135
	σ a-σ	208	132	152	38	24	17	30	35	127	208	121
腹板	τ	73	73	65	53	32	24	38	63	76	94	94
	τ a	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
	合成	0.37	0.37	0.29	0.78	0.81	0.85	0.79	0.87	0.45	0.62	0.62
計算点位置	左	左	右	J-1	J-2	最大値	J-3	J-4	左	右	右	
決定要因	上フランジ	B		B	E	B	E	B	B			
	下フランジ	D		E	C	A	C	E	D			

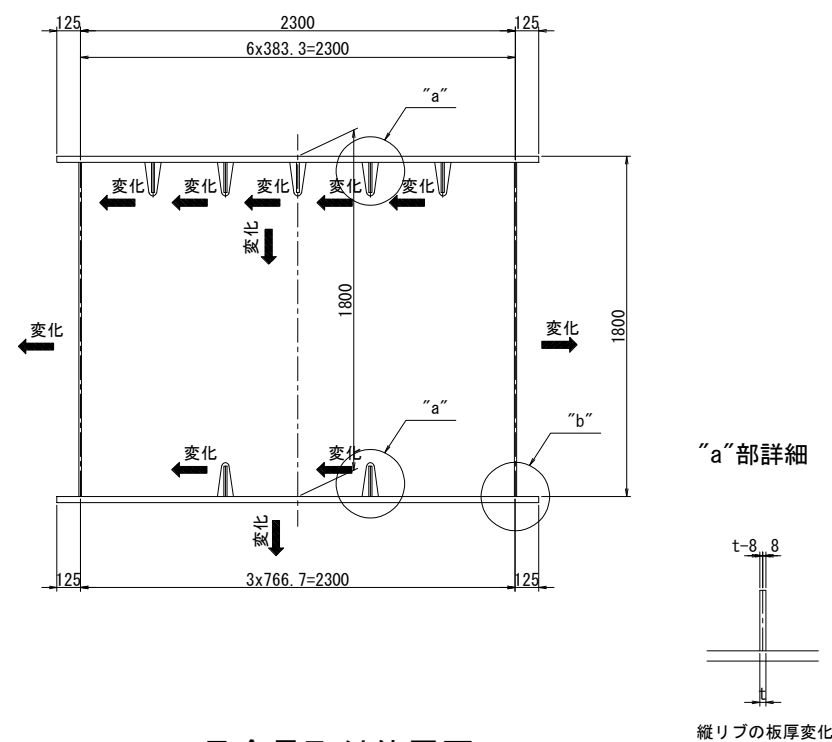
材質 (1):SM400  
(2):SM490  
(3):SM490Y  
(4):SM570

決定要因 A:引張応力度  
B:圧縮応力度  
C:孔引応力度  
D:圧縮補剛板の最小板厚  
E:フランジ板厚差  
F:二軸応力照査

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 断面構成図（その3）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



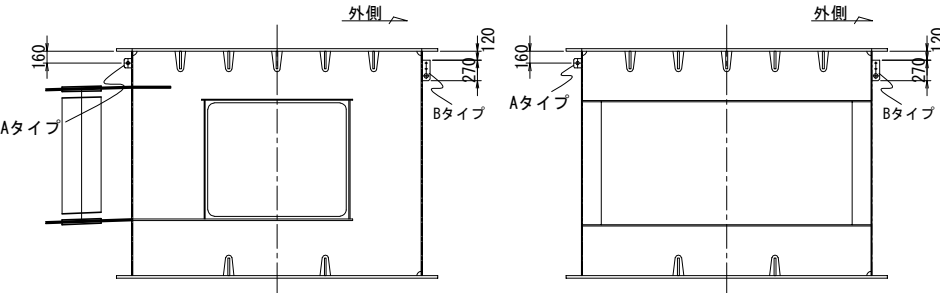
箱桁基本寸法図及び板逃げ方向 S=1:40



吊金具取付位置図 S=1:100

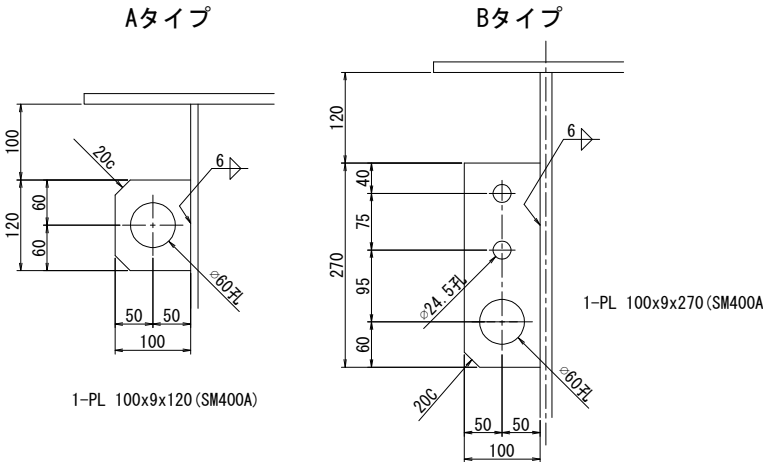
支点上横桁、中間横桁位置

横リブ、V. Stiff 中間位置

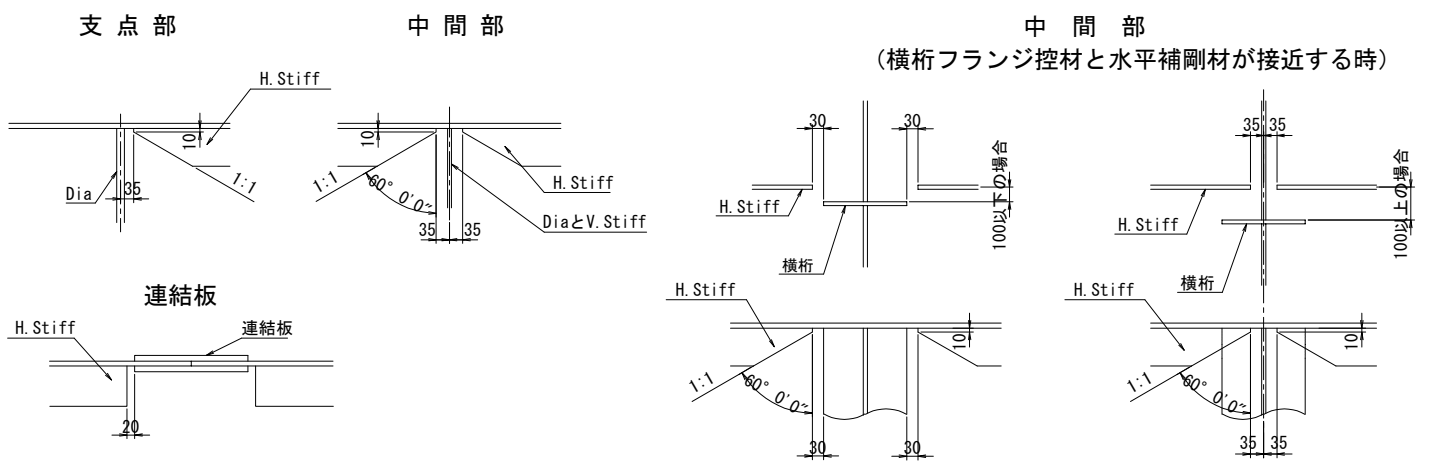


注) 横桁と干渉する金具Aは横桁をさけた位置に設ける、但し支点上横桁位置には設けない。  
設置間隔はAタイプで1.8m以下、Bタイプで1.0m以下

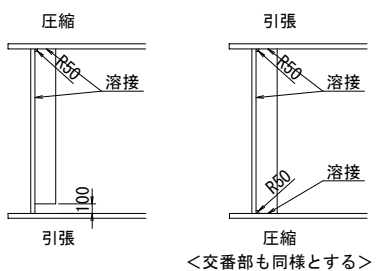
吊金具詳細 S=1:10



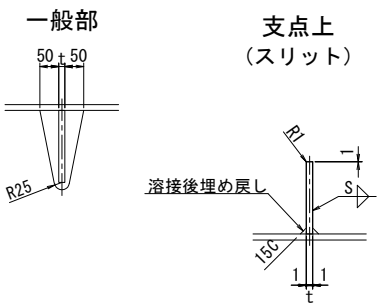
水平補剛材詳細



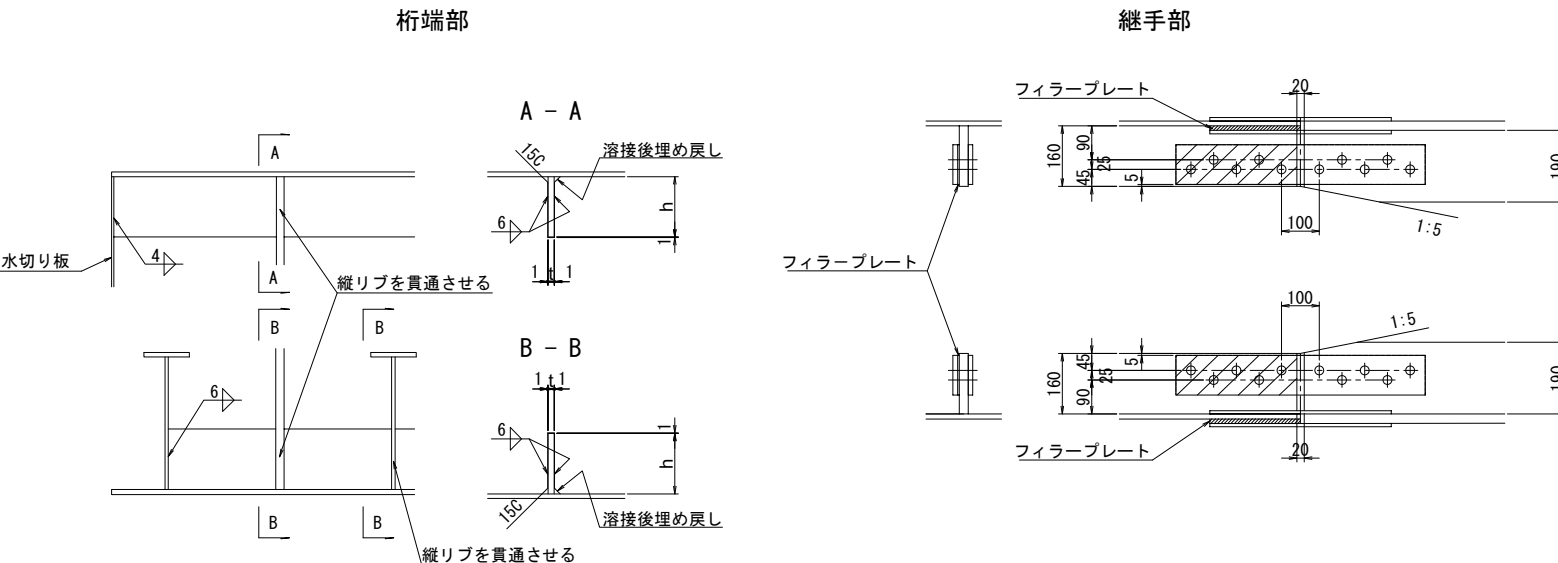
垂直補剛材の取付け方



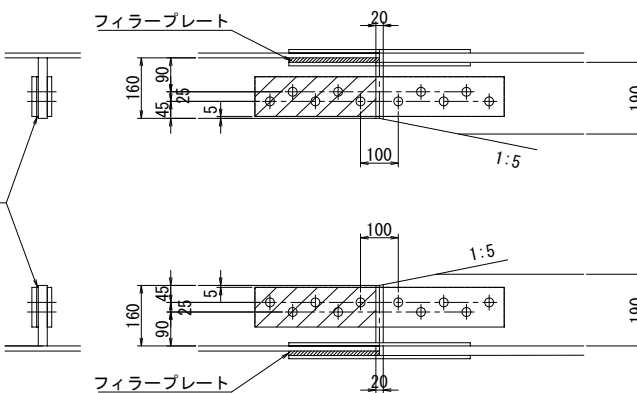
縦リブ貫通部スカーラップ詳細



縦リブ詳細



継手部



注記  
1. 縦リブ継手部のボルト孔はφ26.5とする。

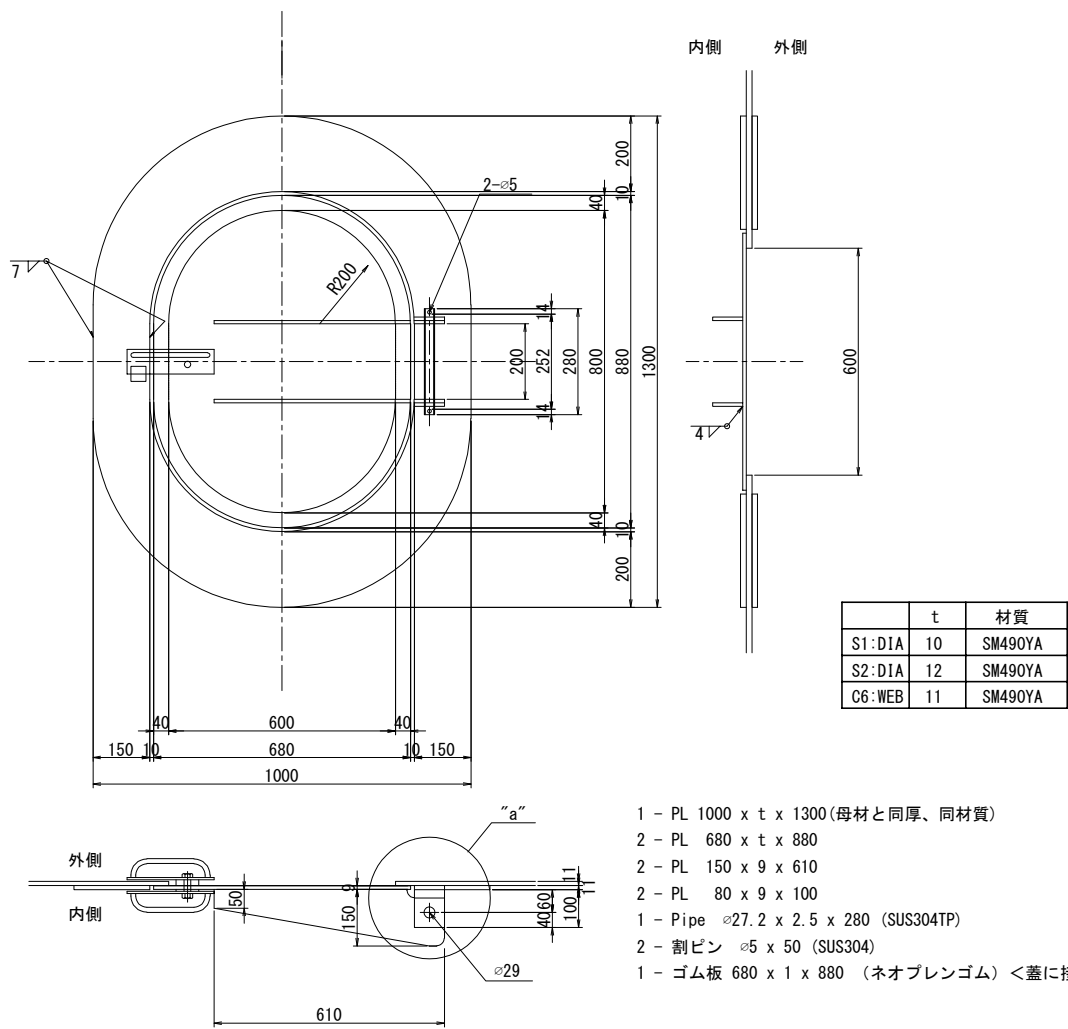
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 共通詳細図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



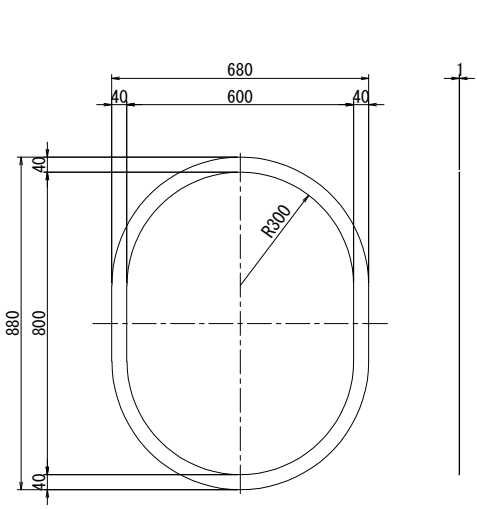




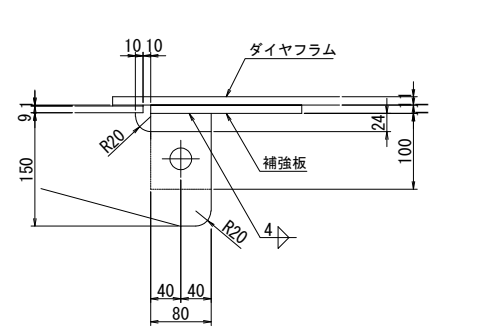
マンホール詳細



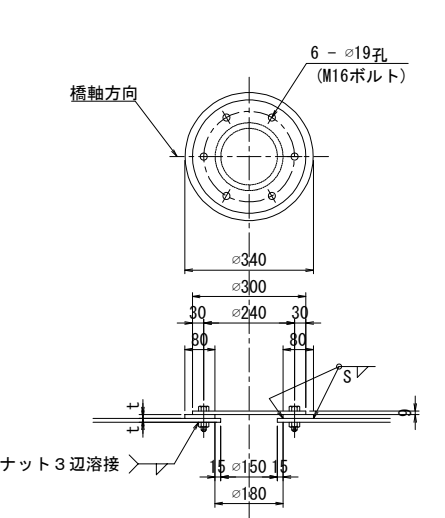
ゴム板詳細



“a”部詳細 S=1:5

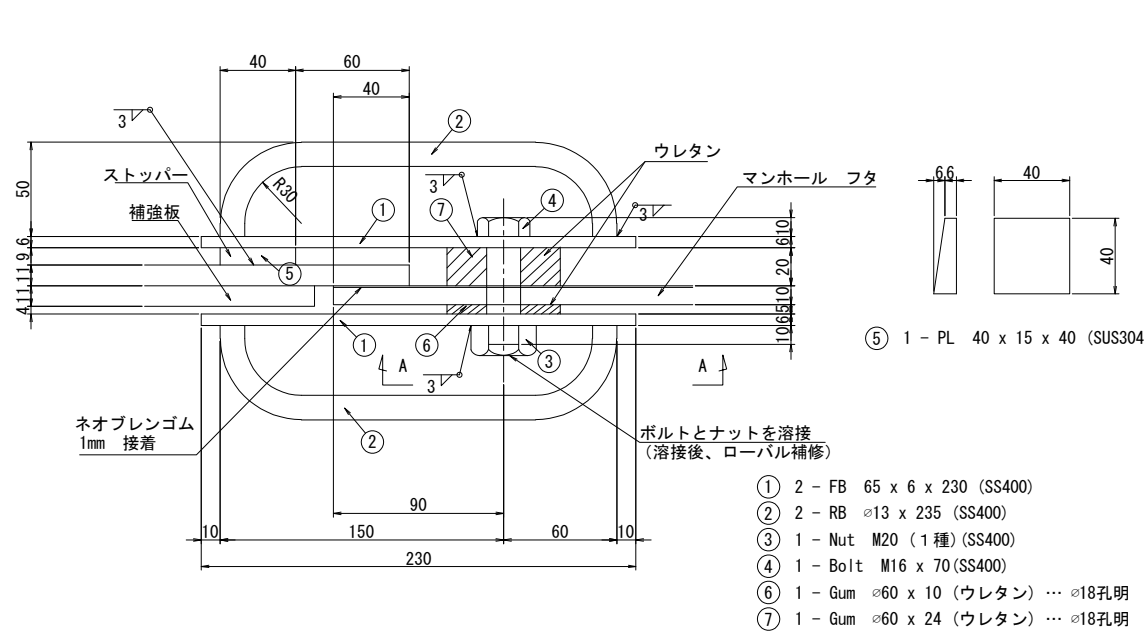


ハンドホール詳細

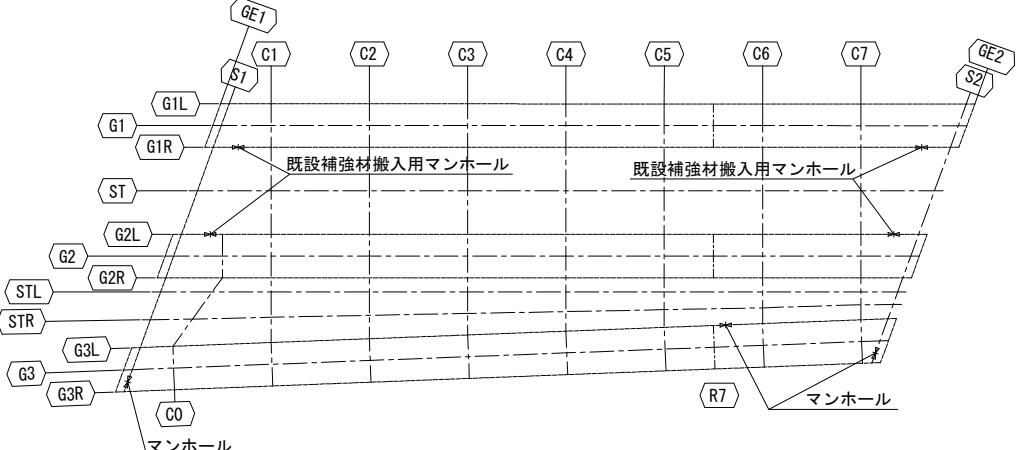


- 1 - PL  $\phi 300 \times 9$  (SS400)  
1 - PL  $\phi 340 \times t$  (母材と同厚、同材質)  
6 - B. N M16 x L (1-W付) (SUS304)

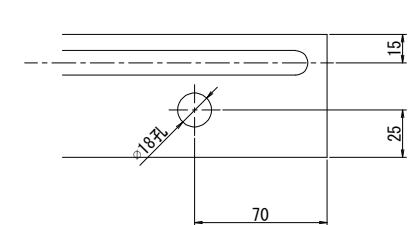
取手部詳細 S=1:2



マンホール配置図



A-A

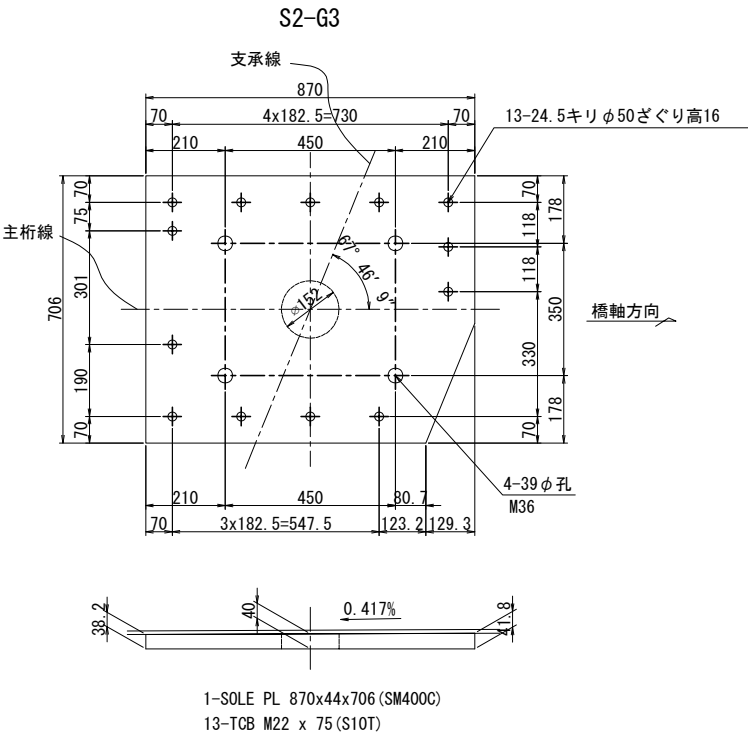
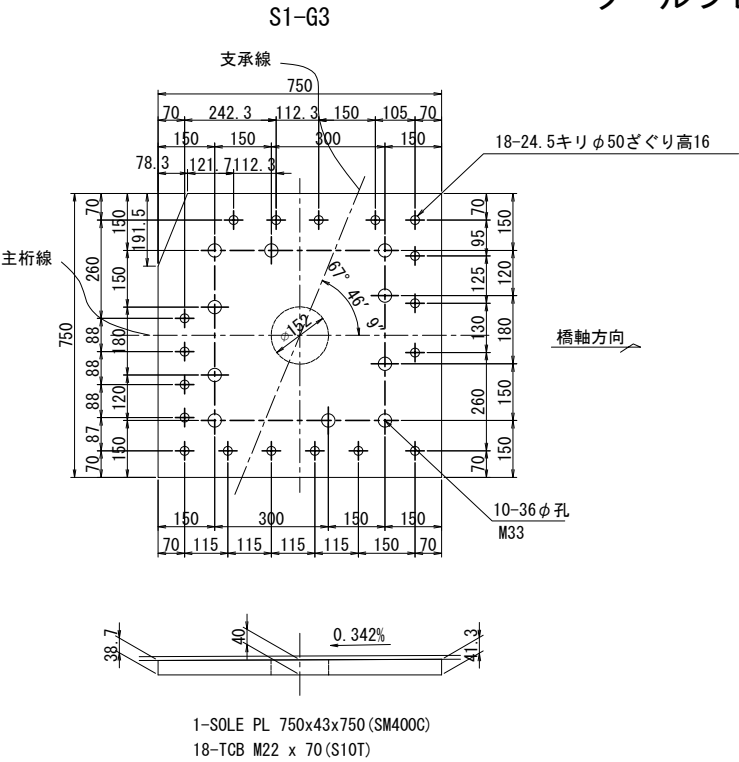


注記  
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

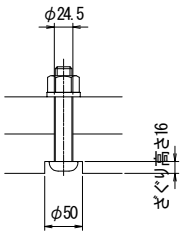
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 共通詳細図（その3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



ソールプレート詳細



ざぐり部詳細 S=1:10

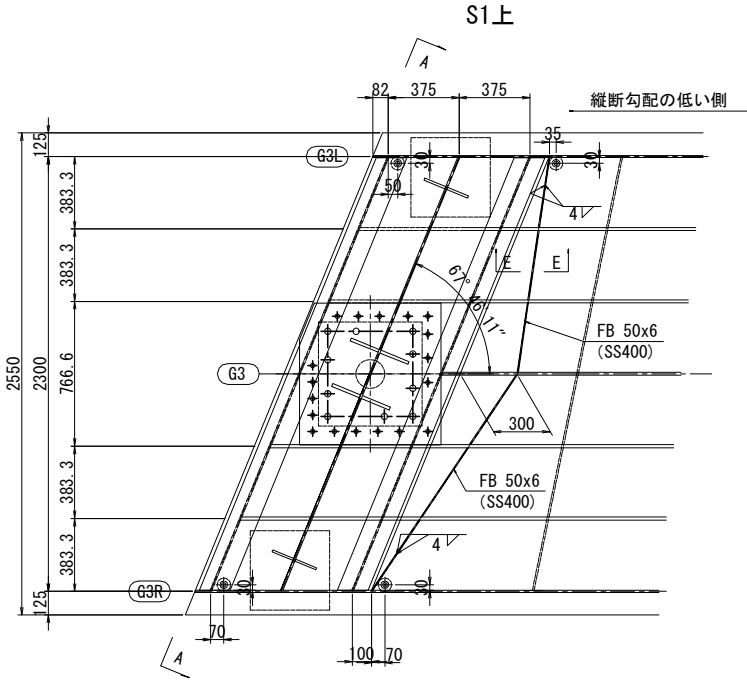


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 共通詳細図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

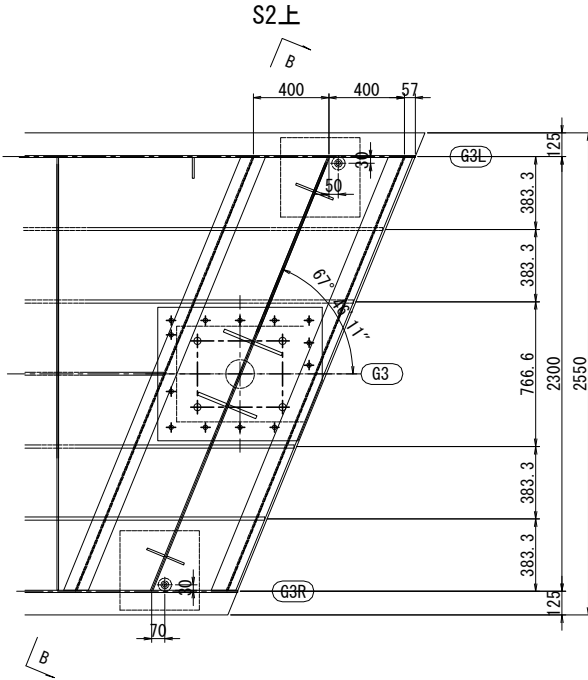


箱桁内排水及び支点補強リブ詳細

端支点部

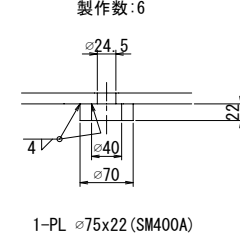


製作数:1  
支点補強リブ: 2-PL 150x16x2535 (SM490YA)  
2-PL 400x9x2474 (SM490YA)  
桁内排水: 1-FB 50x6x374 (SS400)  
2-FB 50x6x371 (SS400)  
2-FB 50x6x442 (SS400)  
1-FB 50x6x448 (SS400)  
4-PL  $\phi$ 75x22 (SM400A)

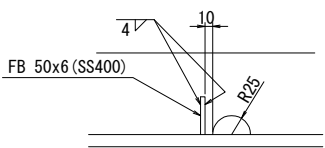


製作数:1  
支点補強リブ: 2-PL 120x10x2523 (SM490YA)  
2-PL 400x9x2474 (SM490YA)  
桁内排水: 2-PL  $\phi$ 75x22 (SM400A)

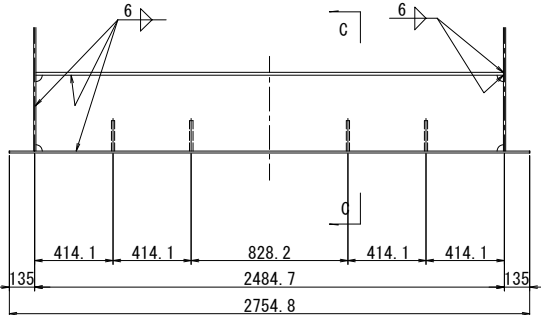
水抜き孔詳細 S=1:10



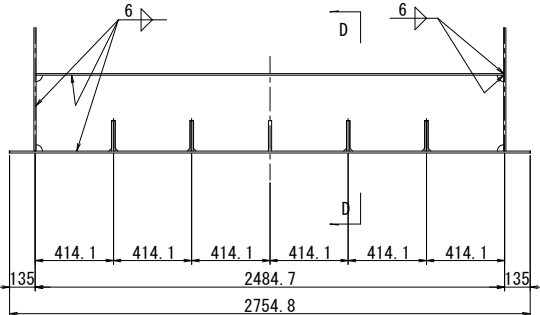
E-E S=1:10



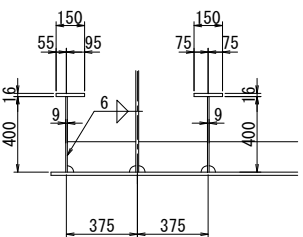
A - A



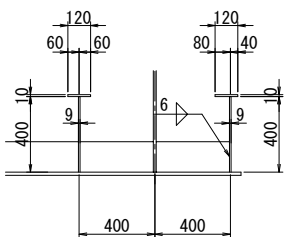
B - B



C - C



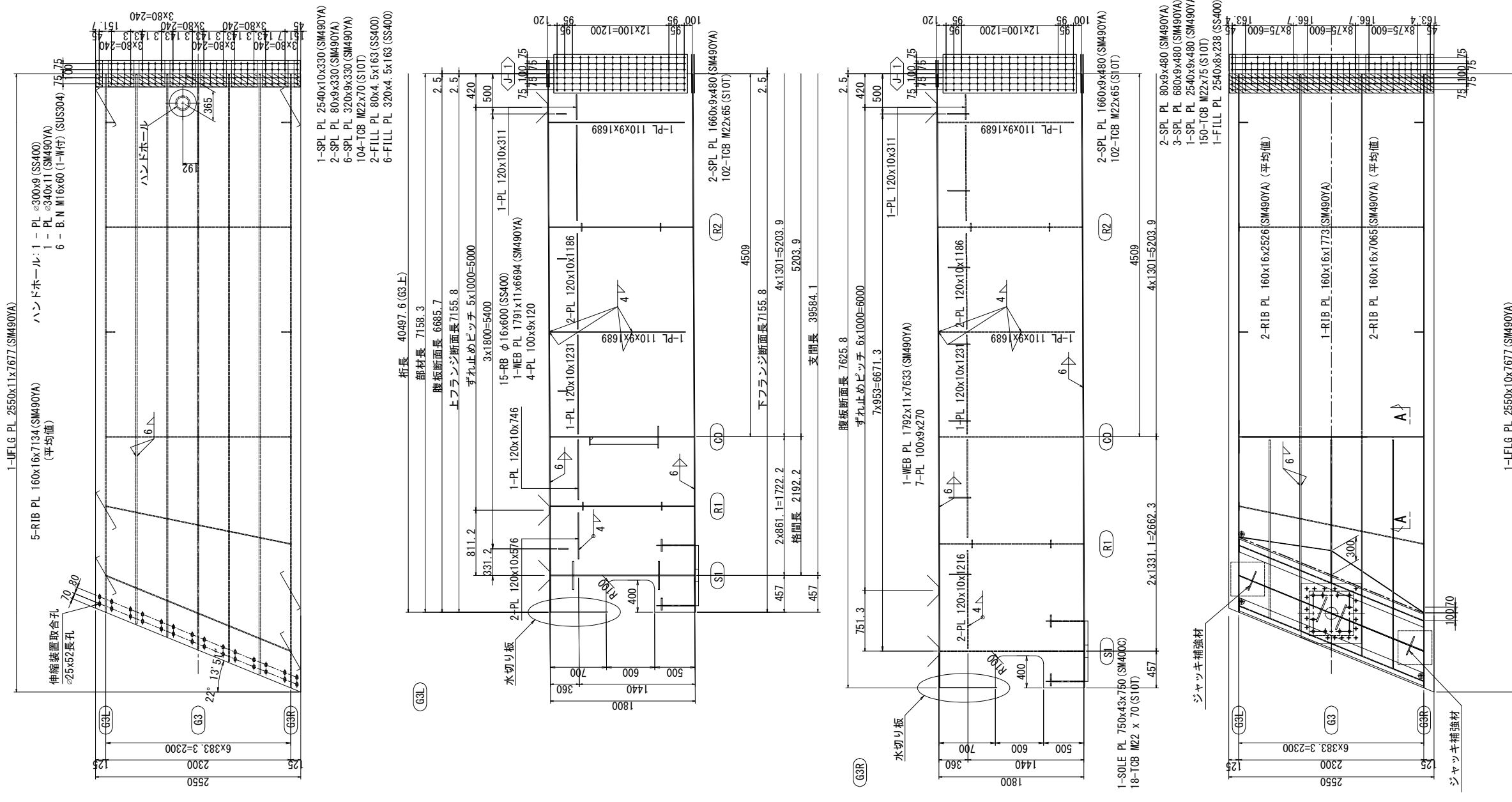
D - D



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 共通詳細図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

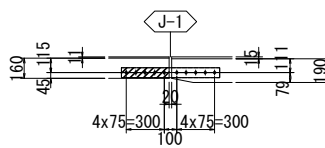


川田橋（上り線）主桁図G3（その1） S=1:60



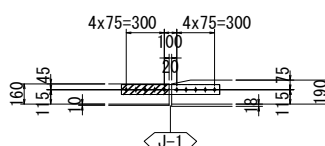
## 縦リブ接続詳細

(上フランジ`付縦リブ)



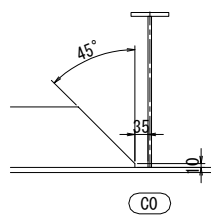
連接材料 (箇所数=5)  
 2-SPL PL 80x16x780 (SM490YA)  
 10-TCB M22x90 (S10T)  
 2-FILL PL 80x3.2x380 (SS400)

(下フランジ`付縦リブ)

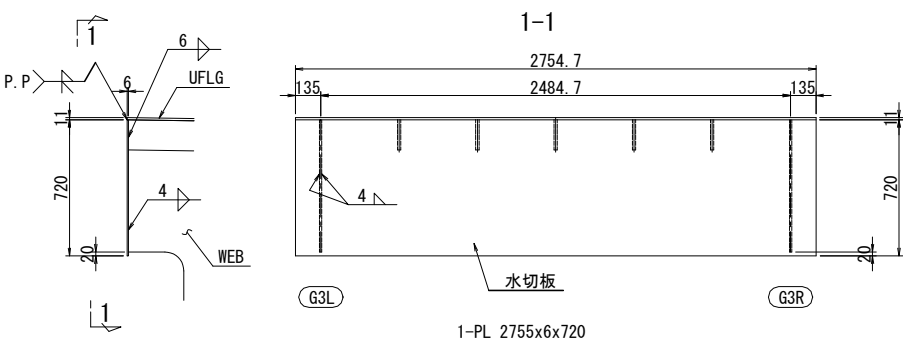


2-SPL PL 80x21x780 (SM490YB)  
10-TCB M22x100 (S10T)  
2-FILL PL 80x3.2x380 (SS400)

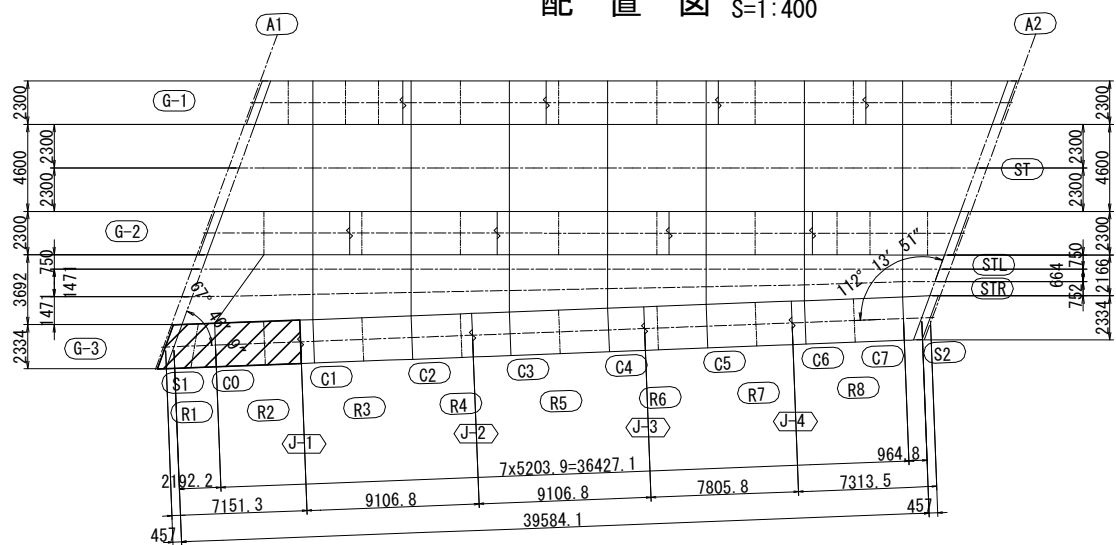
A-A S=1:10



水切り板詳細 S=1:40



配置図 S=1:400



注記:

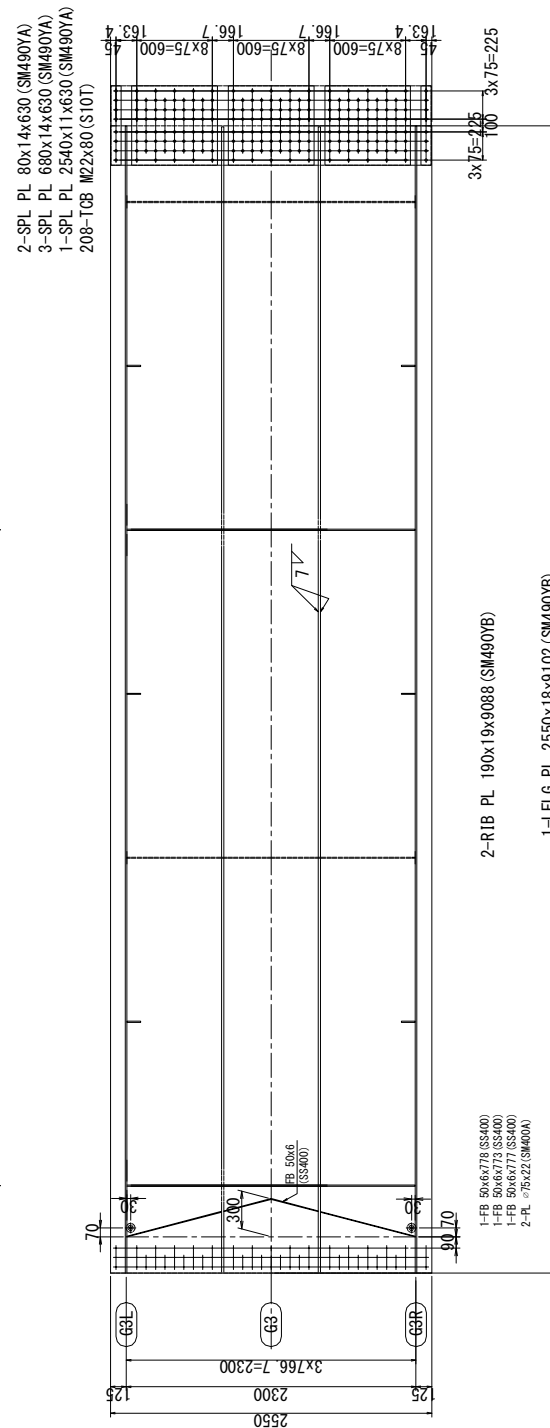
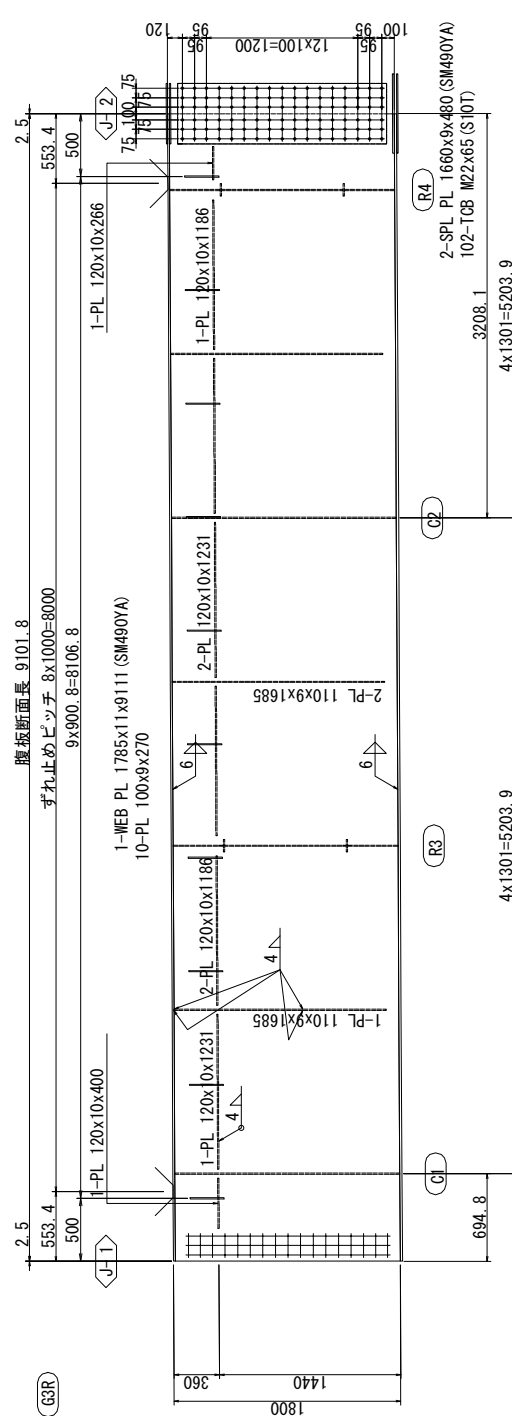
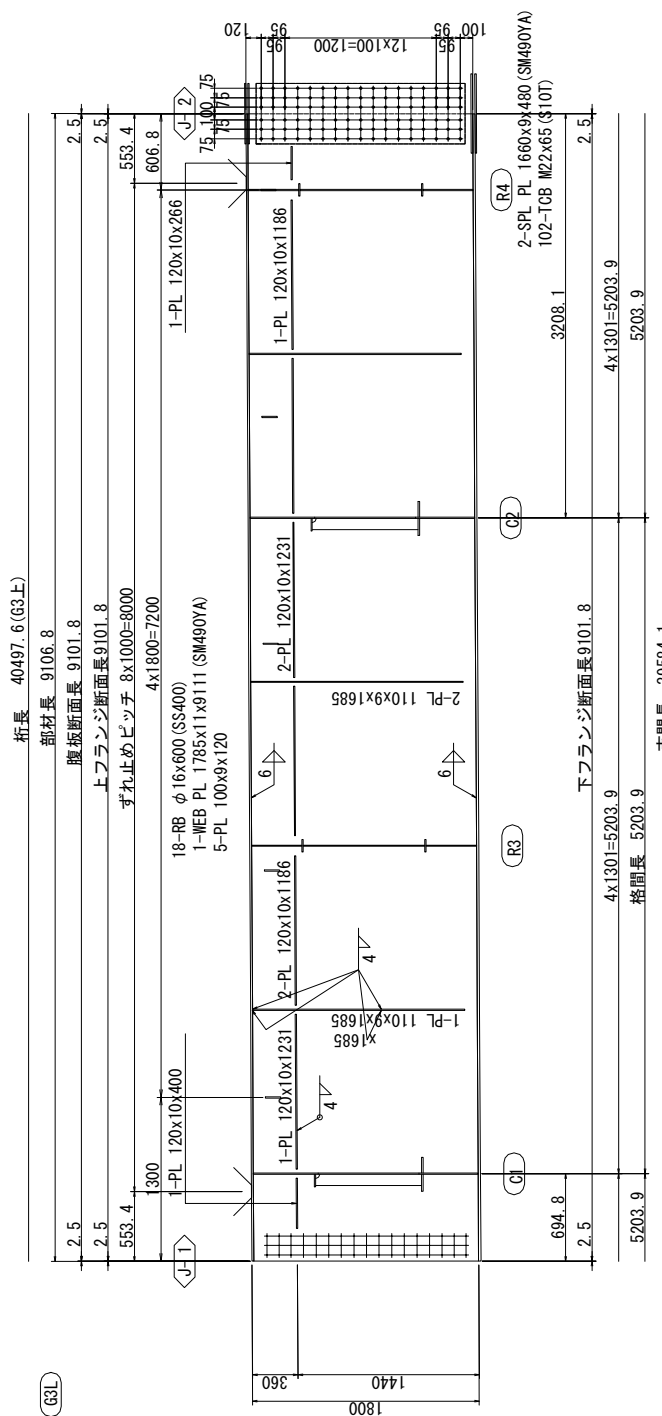
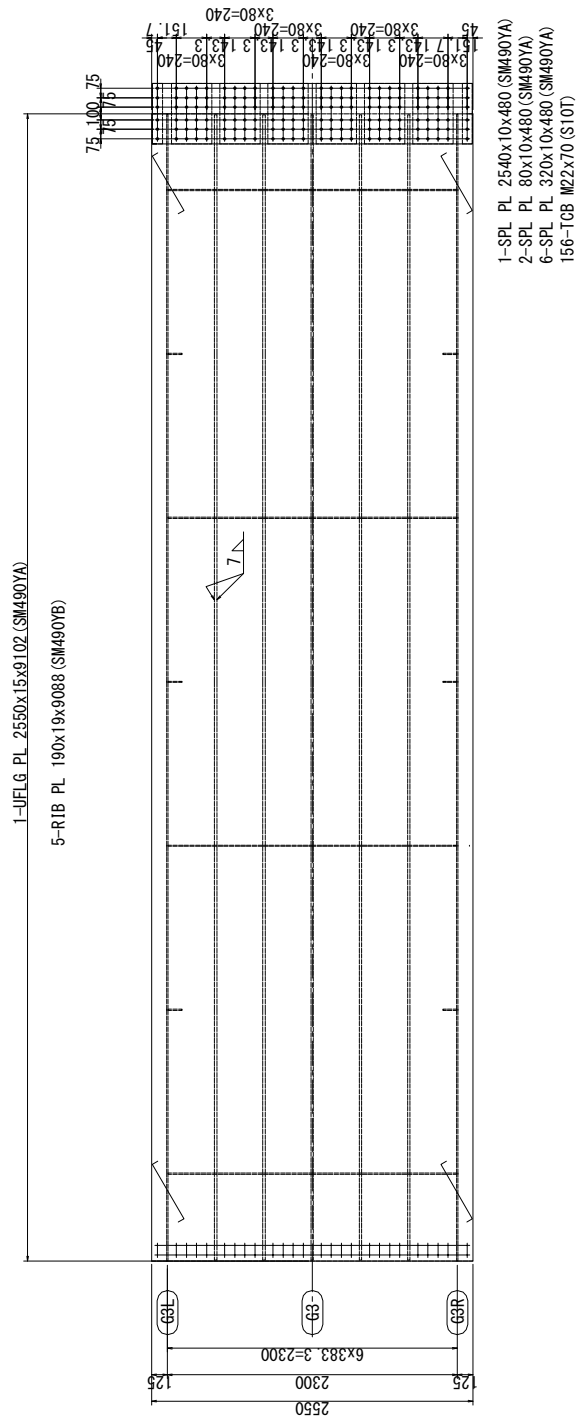
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
3. ④ 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事		
図面の種類	川田橋（上り線） 主桁図G3（その1）	
縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	



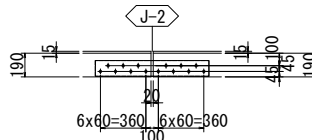
川田橋（上り線）主桁図G3(その2)

S=1 : 60



## 縦リブ接続詳細

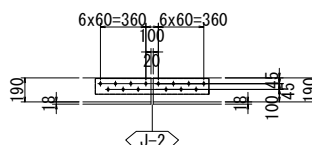
(上フランジ`付縦リブ)



連接材料 (箇所数=5)

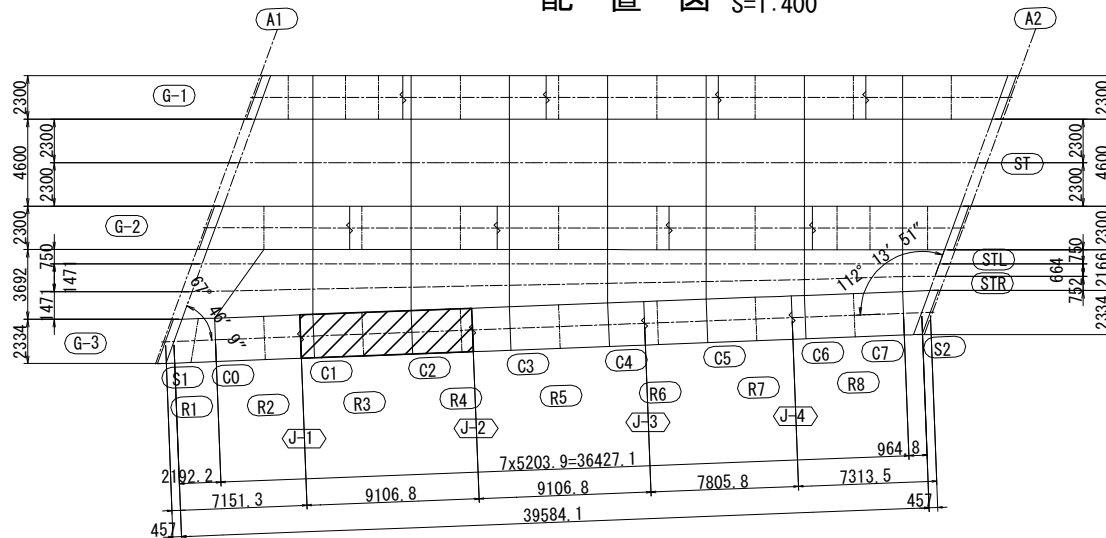
連接材料 (箇所数=5)  
 2-SPL PL 125x16x900 (SM490YA)  
 14-TCB M22x90 (S10T)

(下フランジ`付縦リブ)



連接材料 (箇所数=2)

2-SPL PL 125x16x900 (SM490YA)  
14-TCB M22x90 (S10T)



配置図 S=1:400

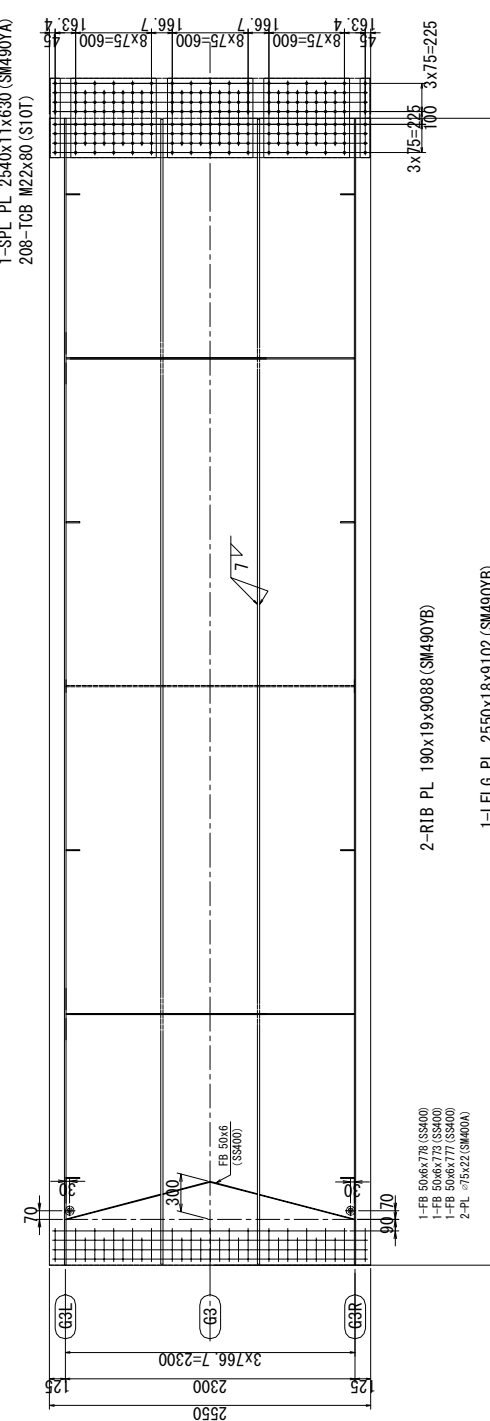
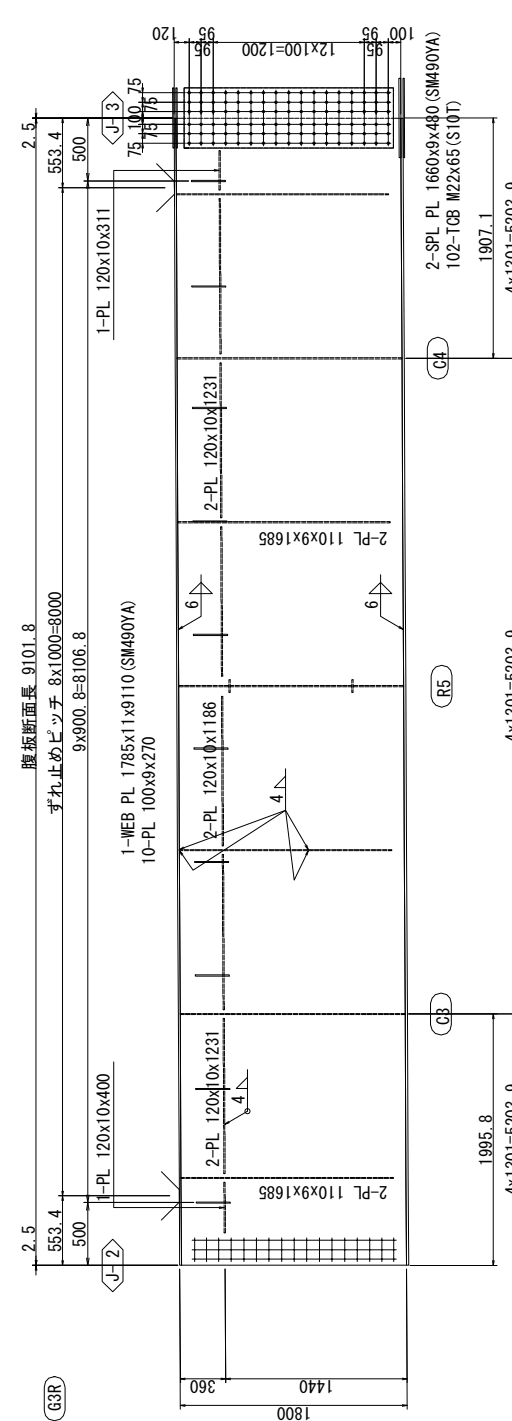
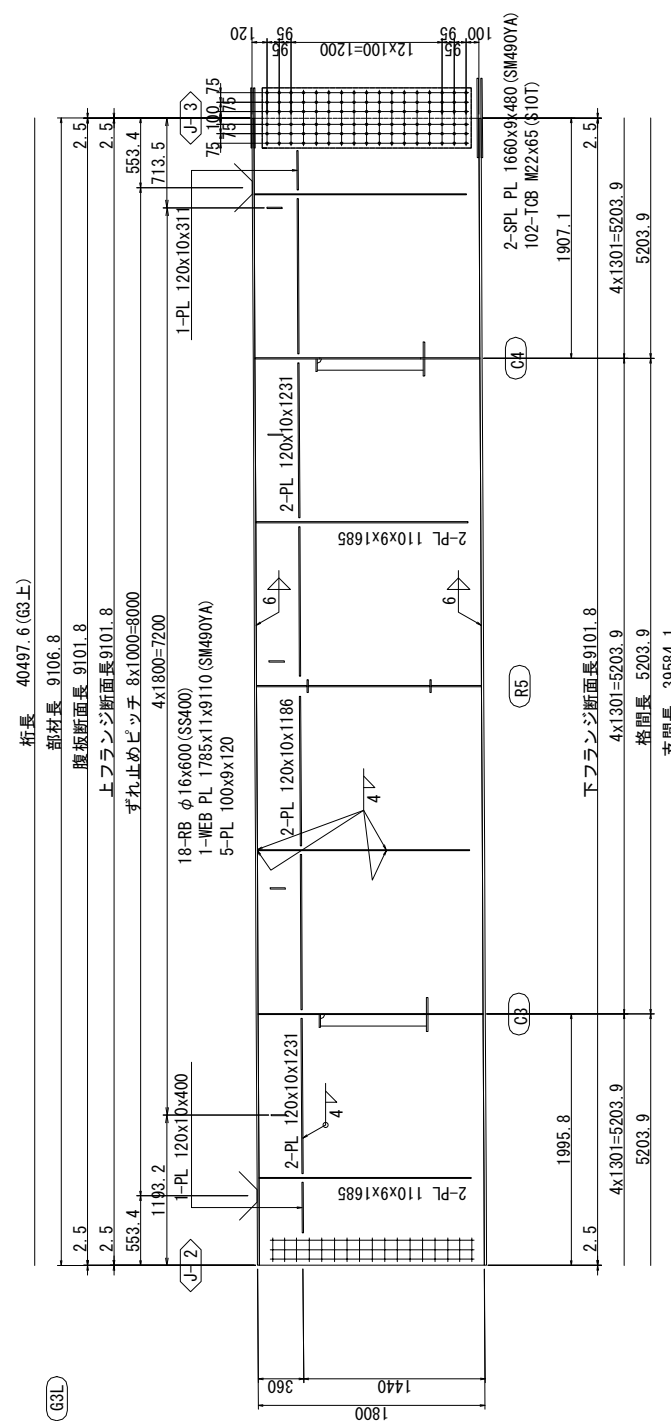
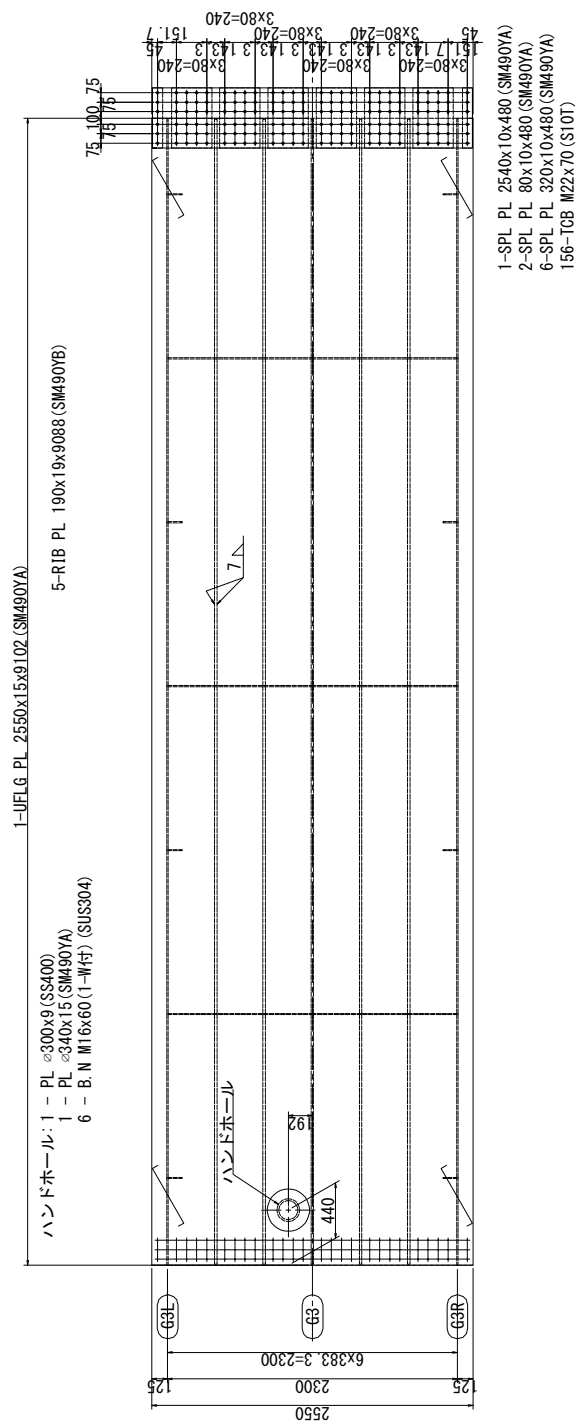
- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. ④ 印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 主桁図G3（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



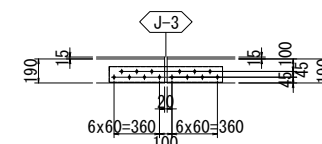
川田橋（上り線）主桁図G3（その3）

S=1 : 60



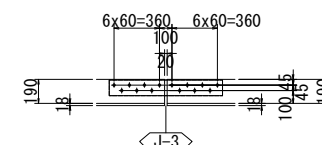
## 縦リブ接続詳細

(上フランジ`付縦リブ)



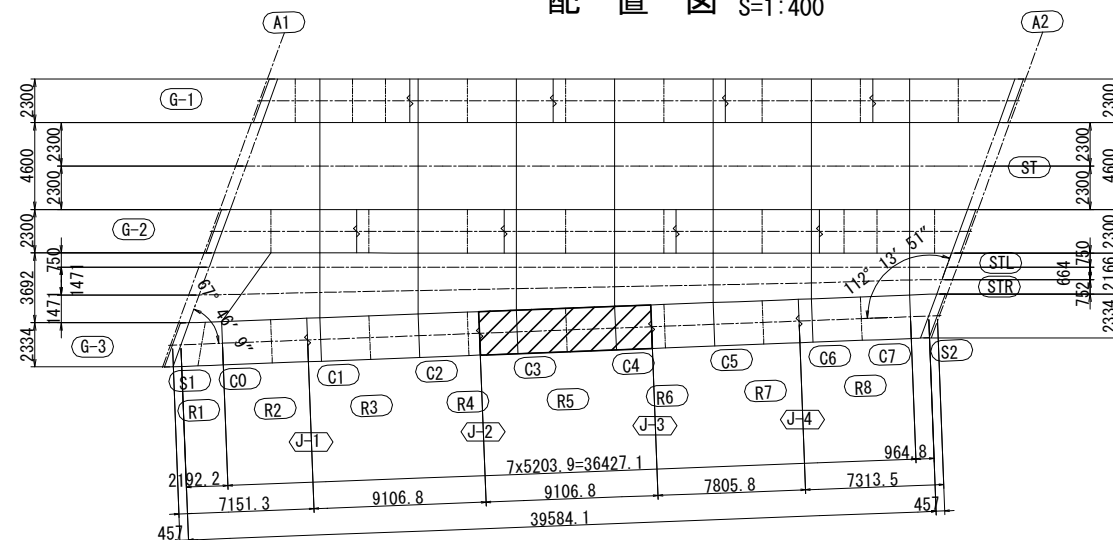
連接材料 (箇所数=5)  
 2-SPL PL 125x16x900 (SM490Y)  
 14-TCB M22x90 (S10T)

(下フランジ`付縦リブ)



連接材料 (箇所数=2)  
 2-SPL PL 125x16x900 (SM490Y)  
 14-TCB M22x90 (S10T)

配置図 S=1:400

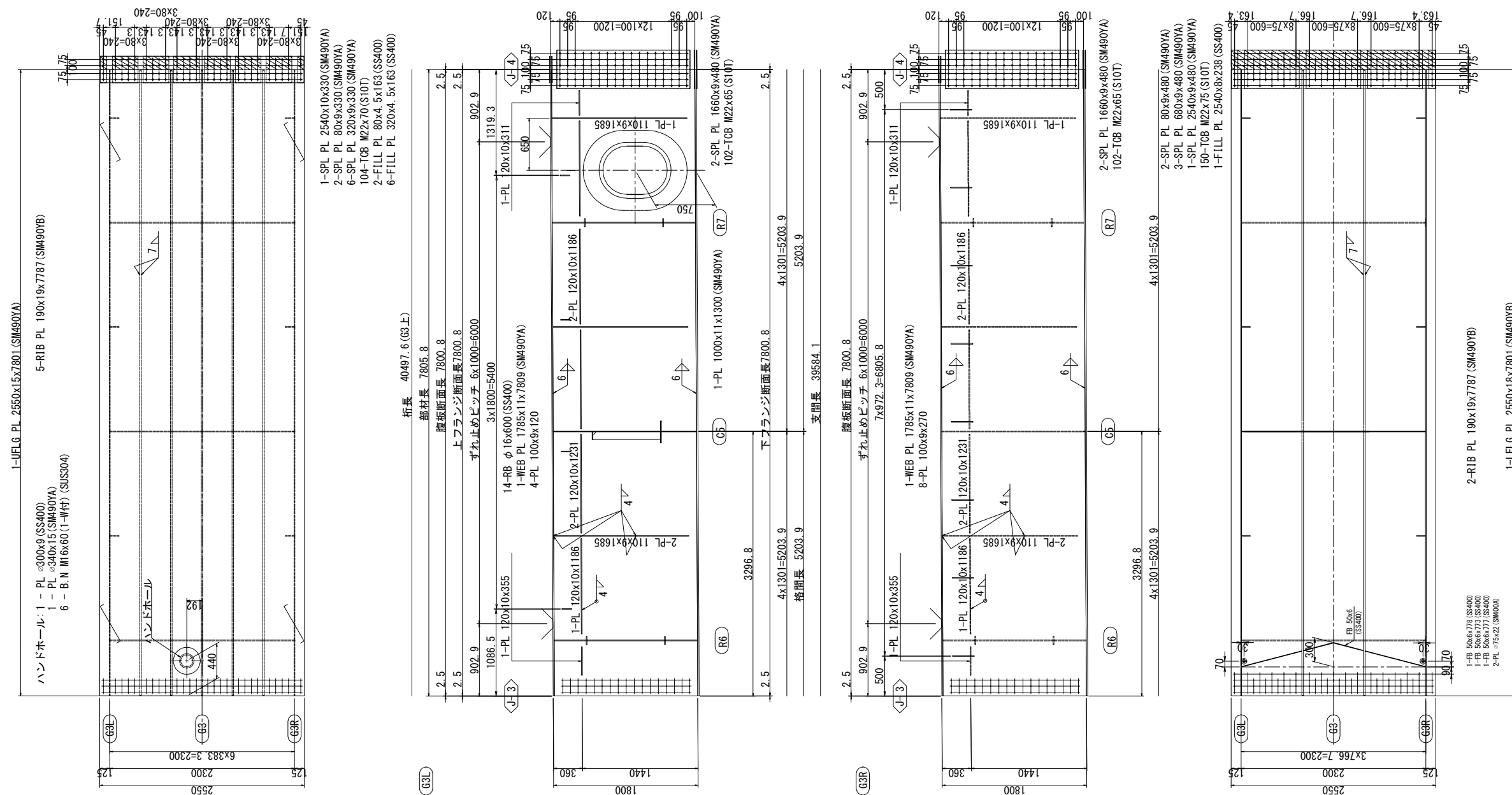


- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. ④ 印はトルシヤ形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 主桁図G3（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

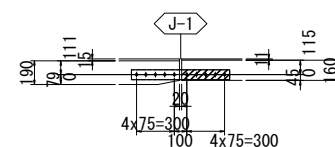


川田橋（上り線）主桁図G3（その4） S=1:60



## 縦リブ接続詳細

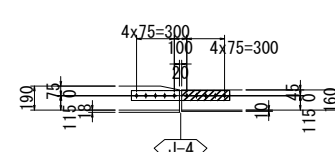
(上フランジ`付縦リブ)



連接材料 (箇所数=5)

2-SPL PL 80x16x780 (SM490YA)  
10-TCB M22x90 (S10T)  
2-FILL PL 80x3.2x380 (SS400)

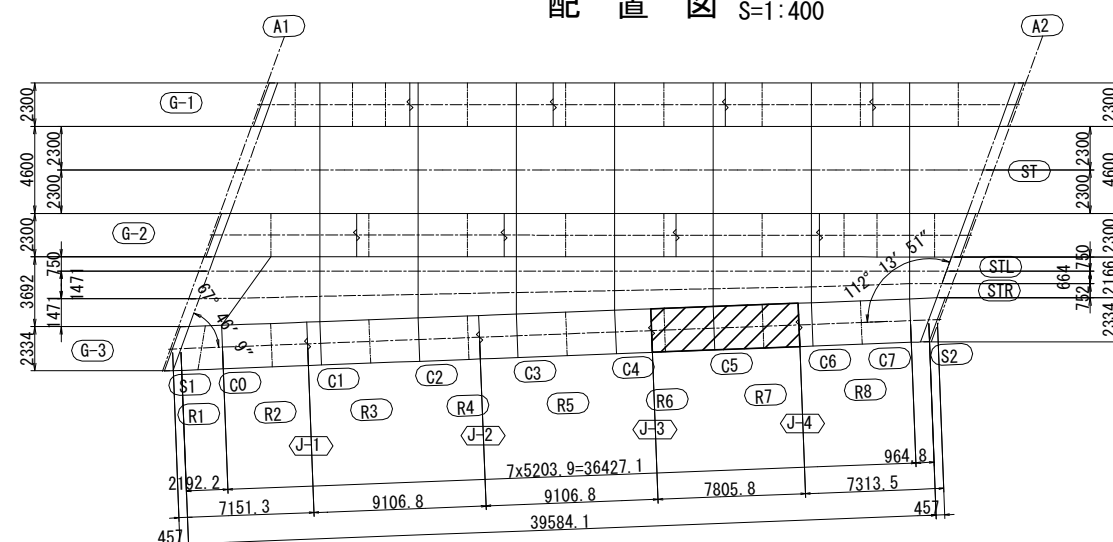
(下フランジ`付縦リブ)



連接材料 (箇所数=2)

2-SPL PL 80x21x780 (SM490YB)  
10-TCR M22x100 (S10T)

配置図 S=1:400



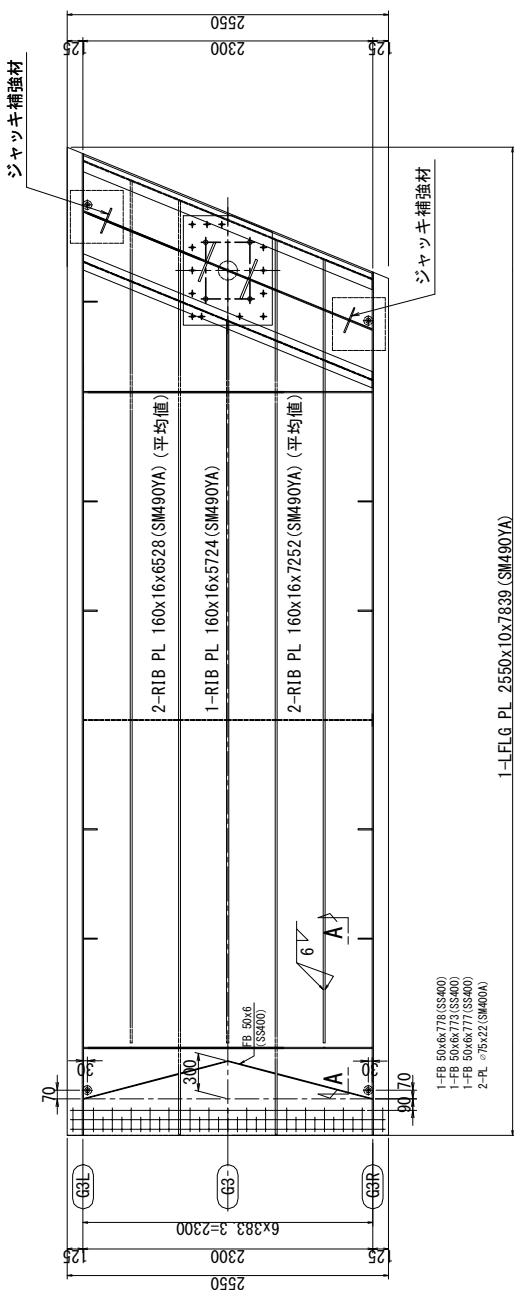
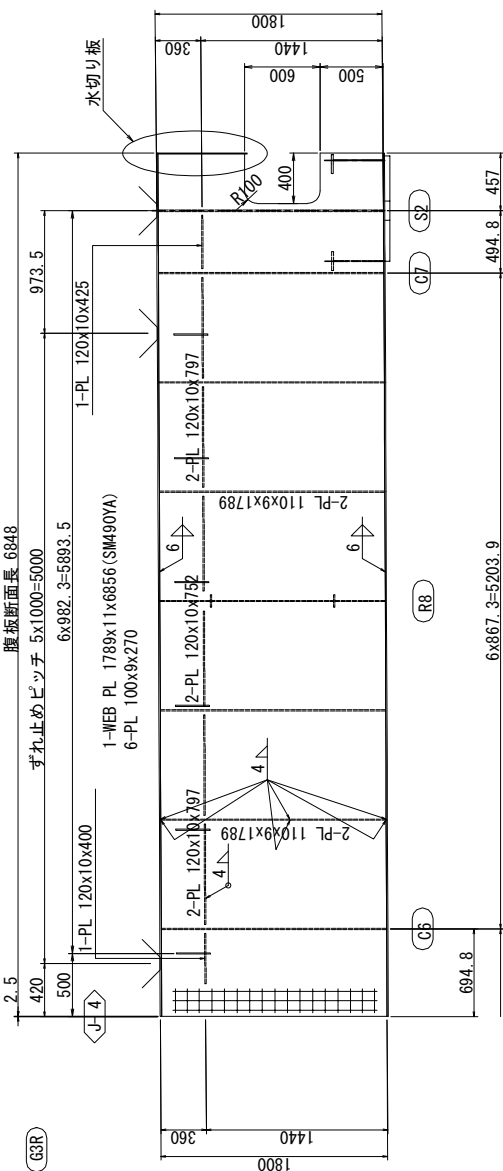
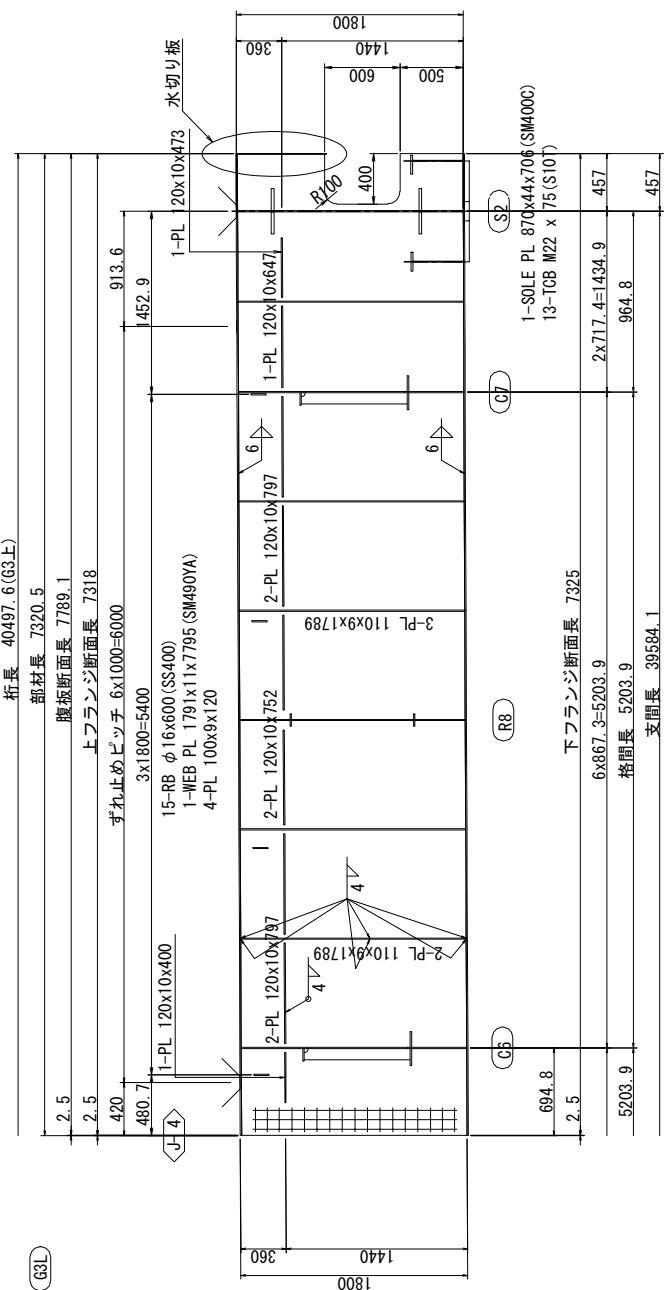
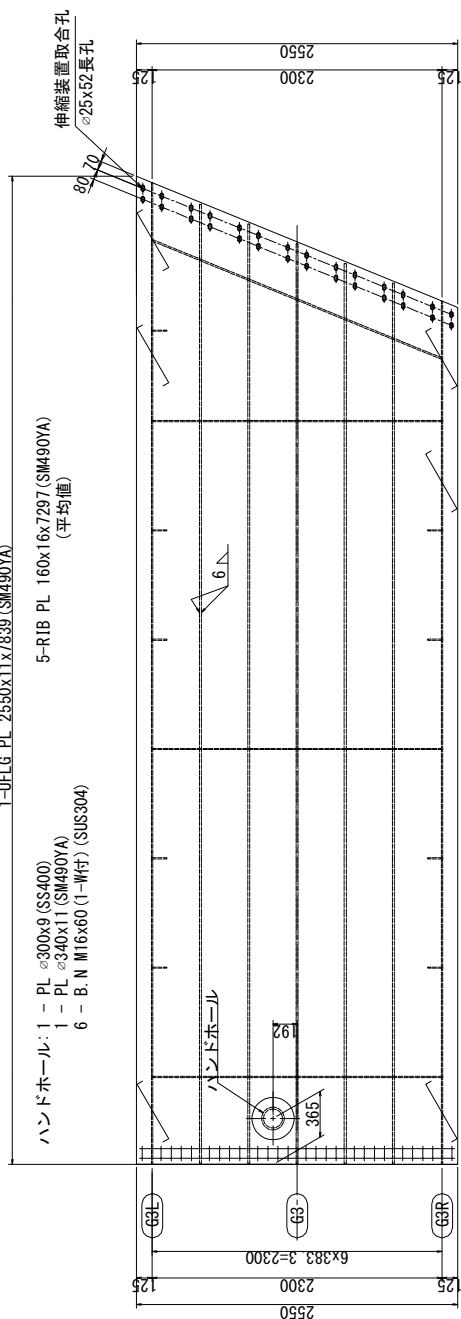
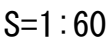
注記：

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
3. ㊦ 印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。
4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。

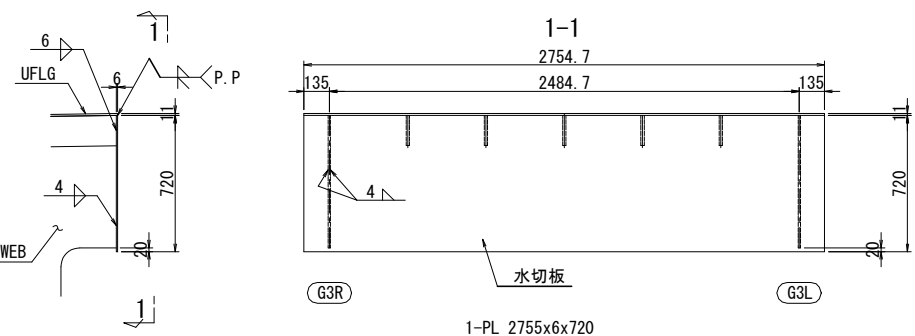
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 主桁図G3（その4）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



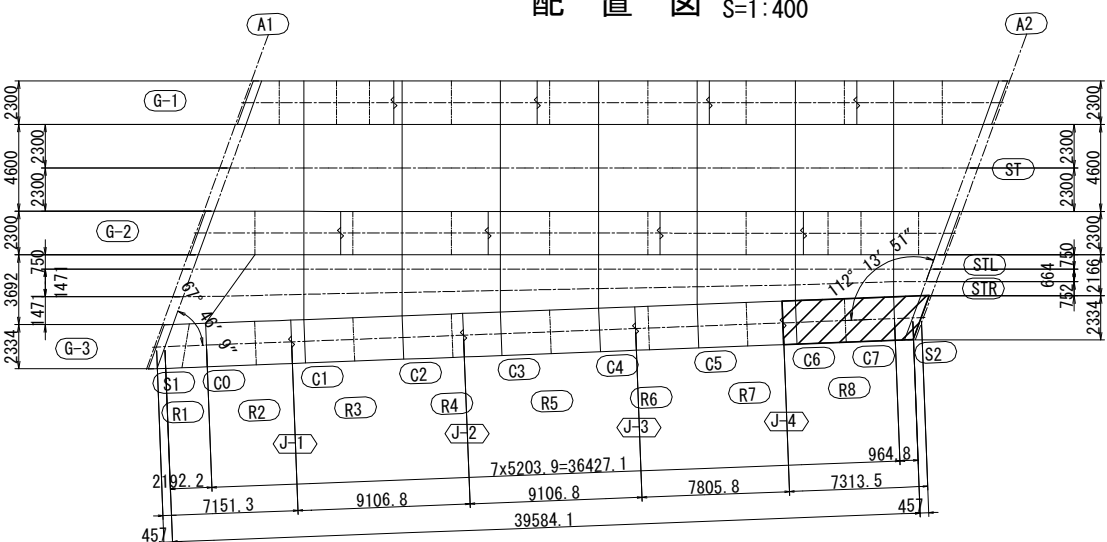
川田橋（上り線）主桁図G3（その5） S=1:60



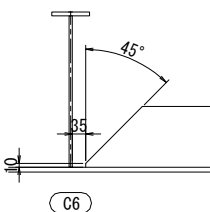
水切り板詳細 S=1:40



配置図 S=1:400



A-A S=1:10



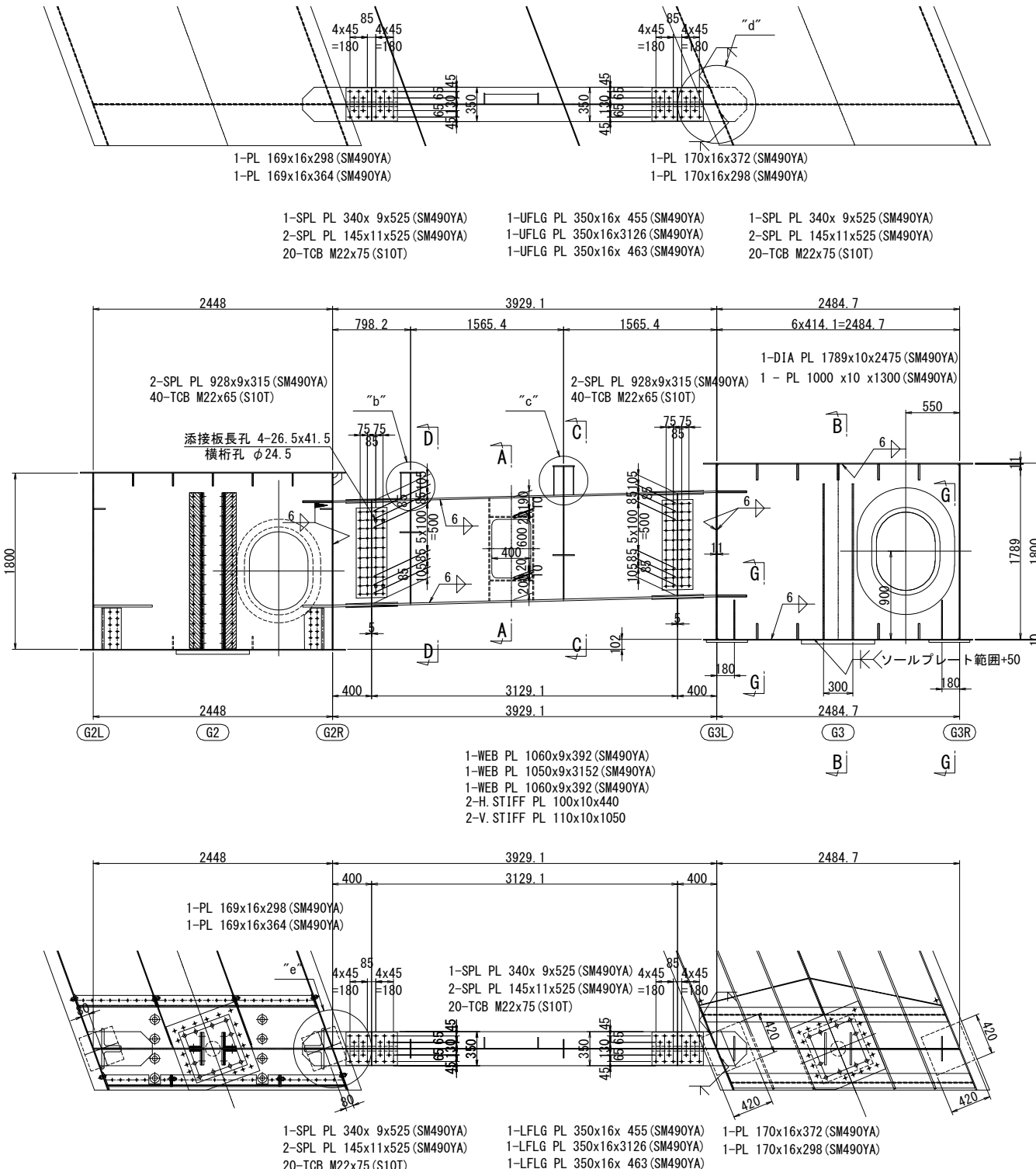
- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. ㊥ 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 主桁図G3（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

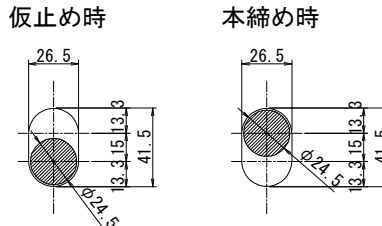


川田橋（上り線）端支点上横桁（その1） S=1:60

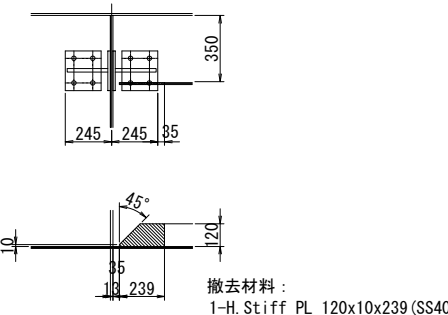
S1



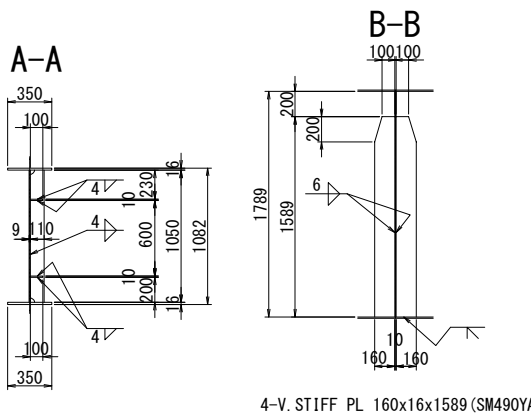
仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4



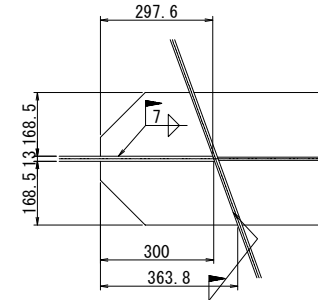
水平補剛材切断撤去 S=1:40



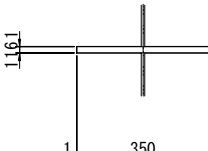
撤去材料：  
1-H. Stiff PL 120x10x239 (SS400)



“e”部詳細 S=1:20

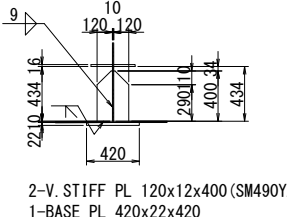


"a"部詳細 S=1:20

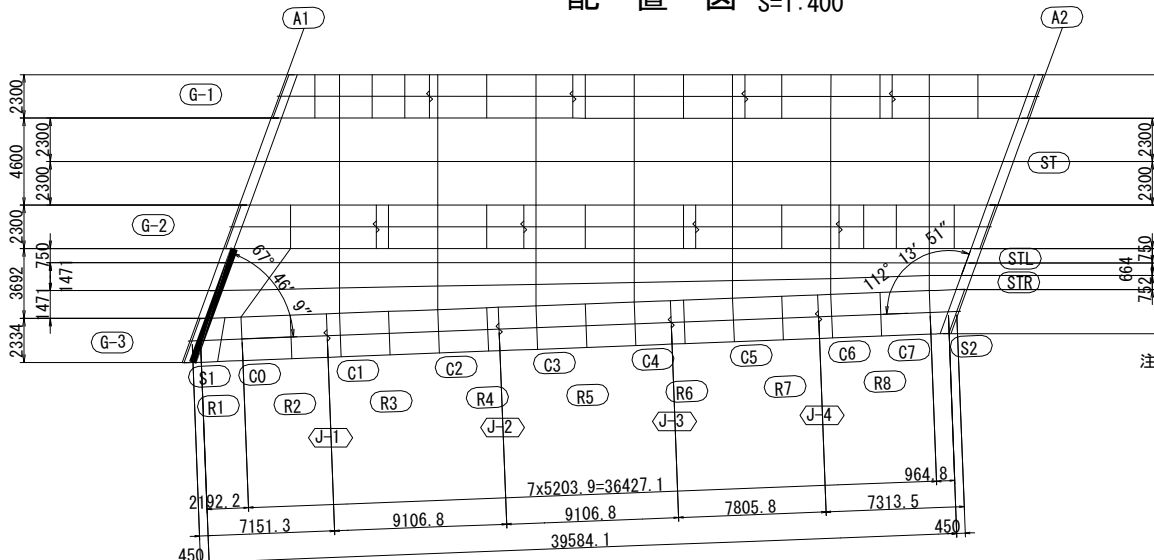


G-G

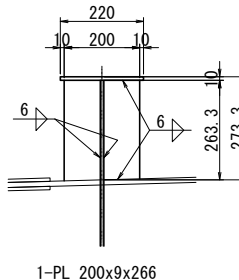
製作数:2



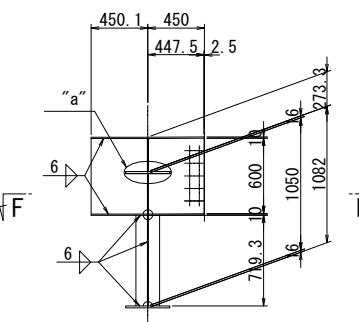
配置図 S=1:400



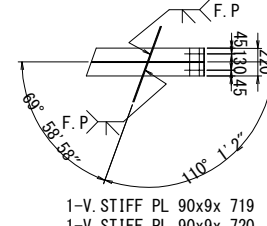
"c"部詳細 S=1:20



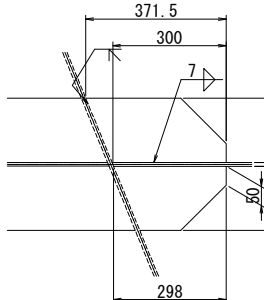
D-D



F-F



”d”部詳細 S=1:20

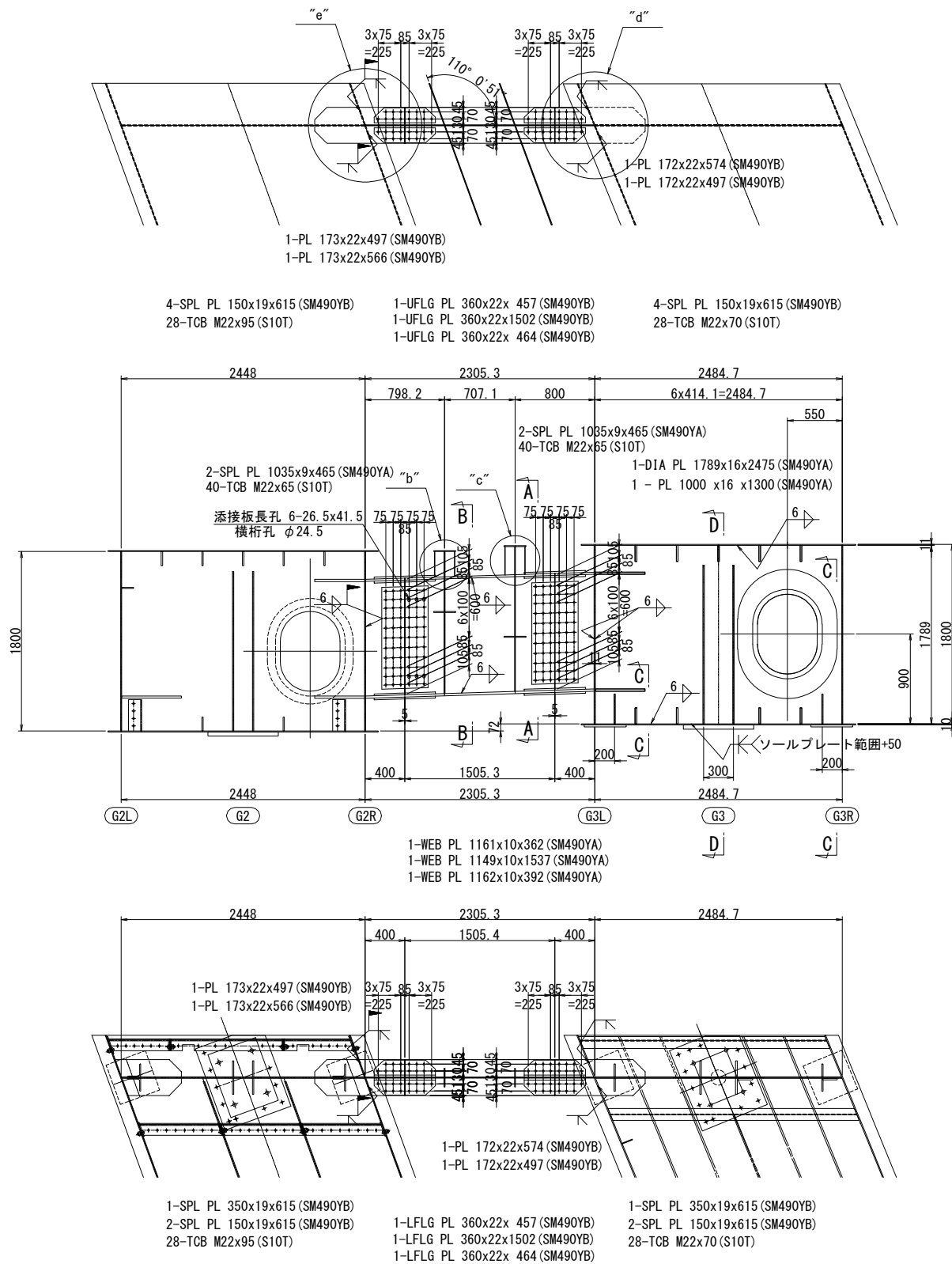


- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3.  $\oplus$  印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。

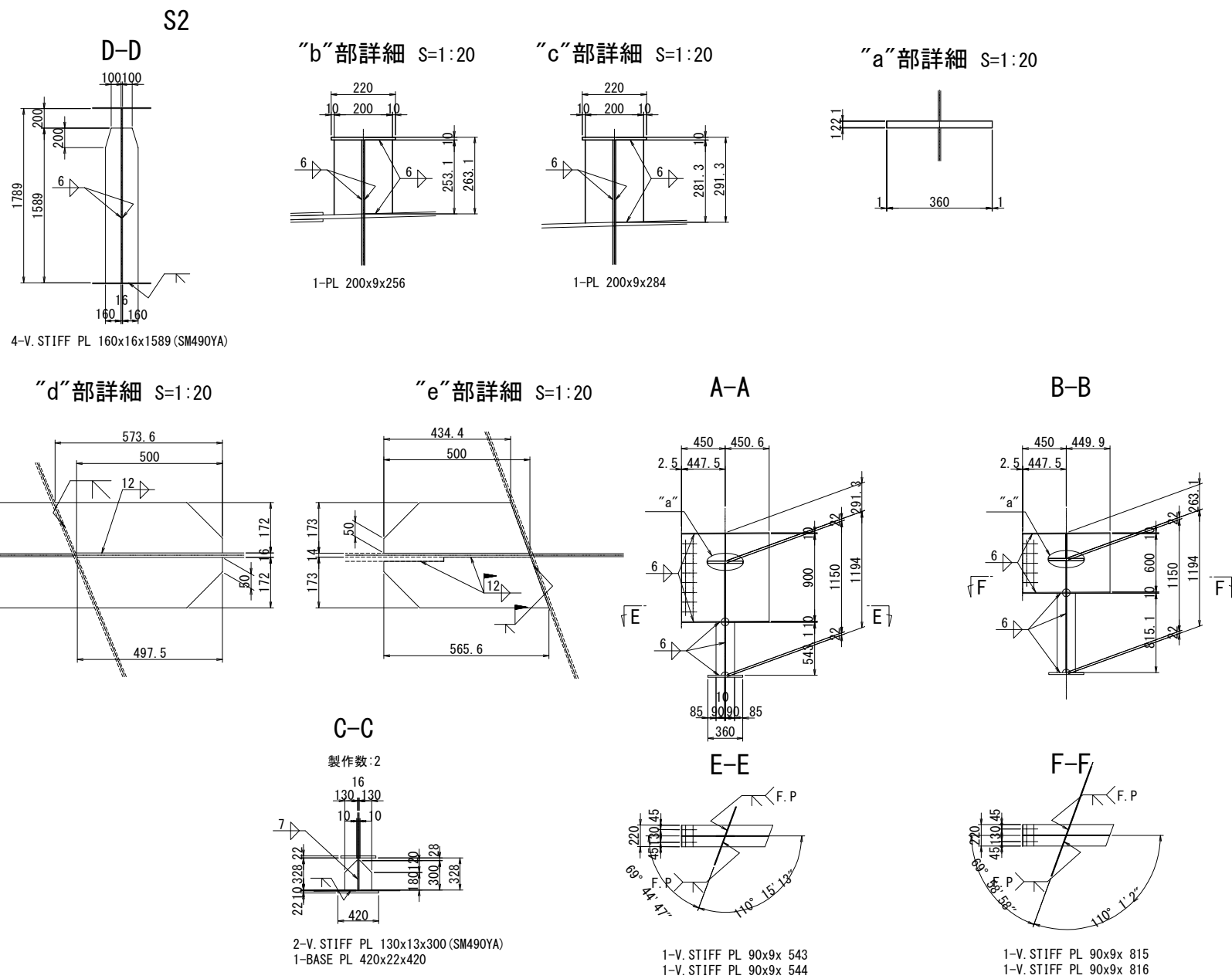
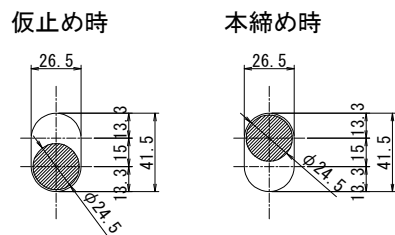
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 端支点上横橋（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野支店事務所		



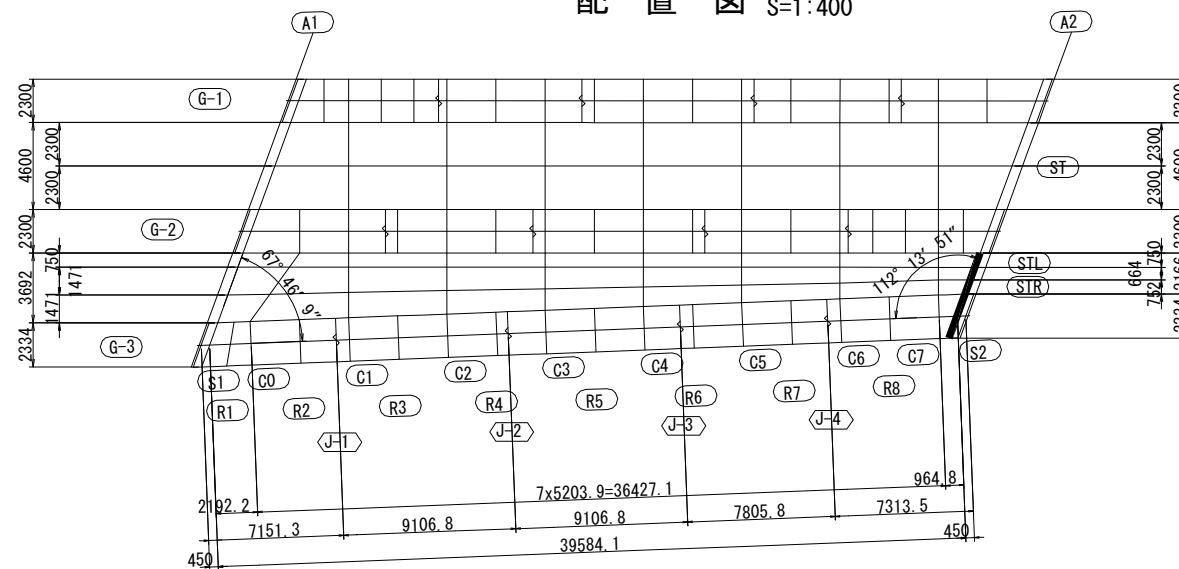
川田橋（上り線）端支点上横桁(その2) S=1:60



### 仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4



配置図 S=1:400



注記：

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
3.  $\oplus$  印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 端支点上横桁（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



C0

1-1

2-2

“a”部詳細 S=1:20

“b”部詳細 S=1:20

“c”部詳細 S=1:20

スカーラップなし

スカーラップ詳細 S=1:20

“d”部詳細 S=1:20

“e”部詳細 S=1:20

A-A

B-B

C-C

D-D

配置図 S=1:400

仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

仮止め時

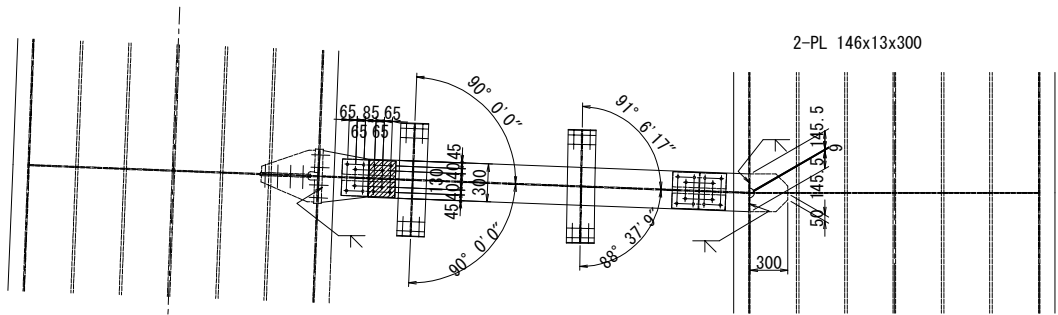
本締め時

- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. ㊦印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上り部)工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 中間横桁(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



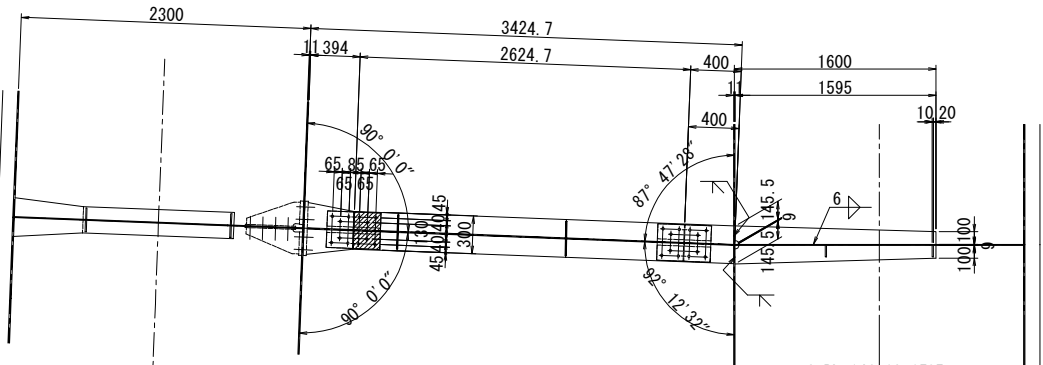
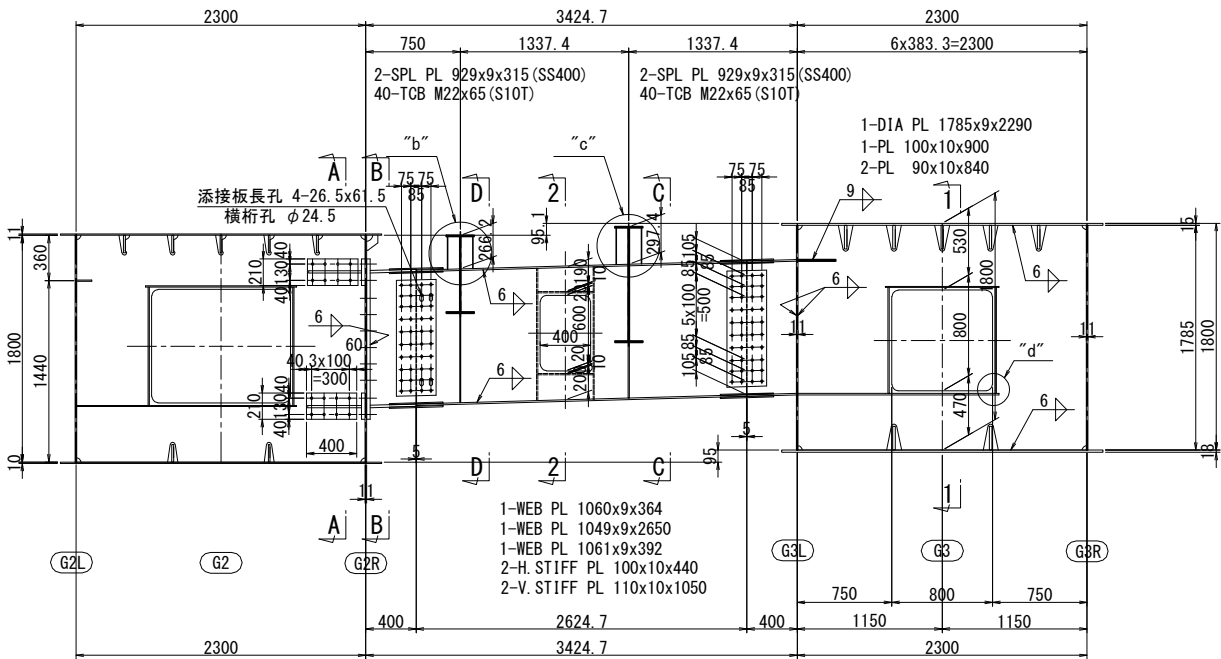
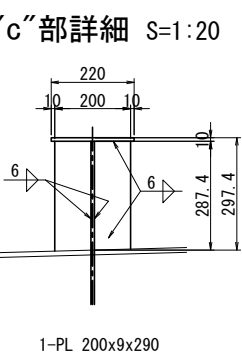
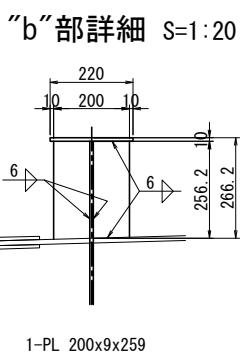
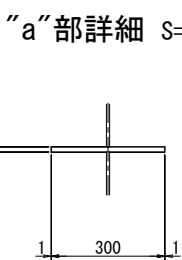
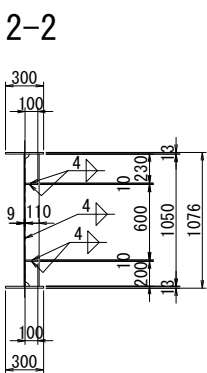
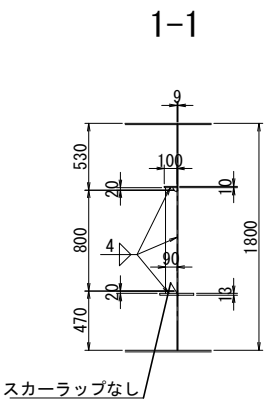
C1



1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

1-UFLG PL 410x16x 364  
1-UFLG PL 300x13x2620  
1-UFLG PL 300x13x 397

1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x70 (S10T)

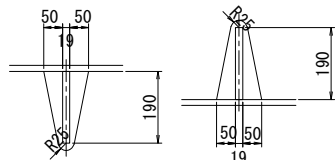


1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

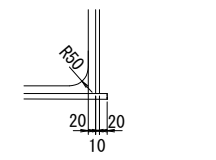
1-LFLG PL 410x16x 364  
1-LFLG PL 300x13x2620  
1-LFLG PL 300x13x 397

1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x70 (S10T)

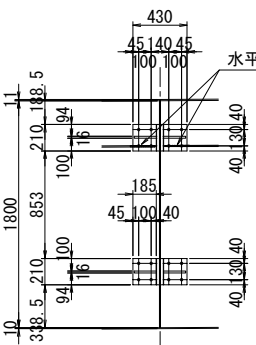
スカーラップ詳細 S=1:20



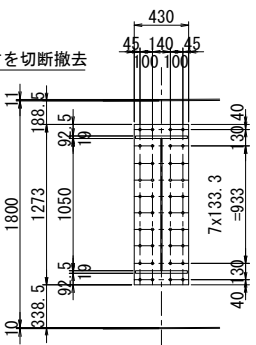
"d"部詳細 S=1:20



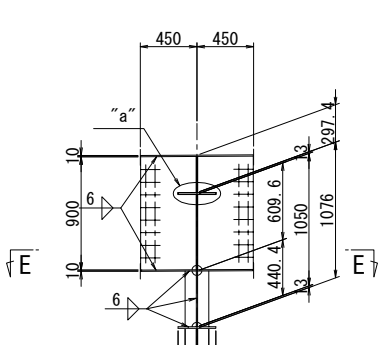
A-A



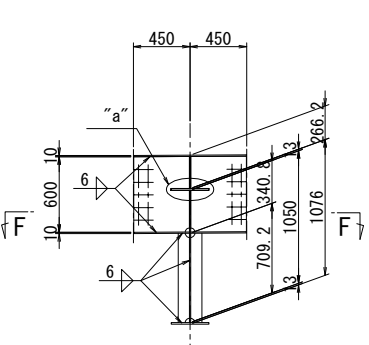
B-B



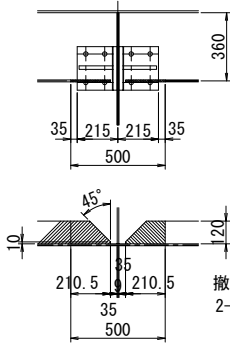
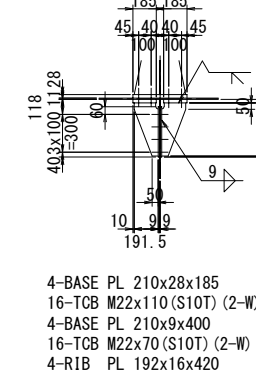
C-C



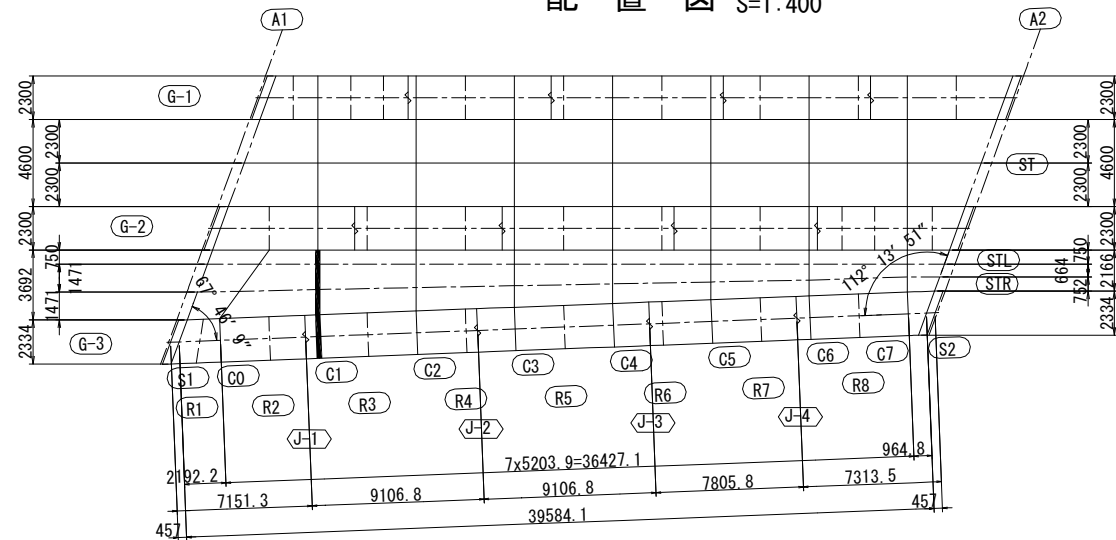
D-D



水平補剛材切断撤去 S=1:40

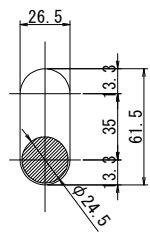


配置図 S=1:400

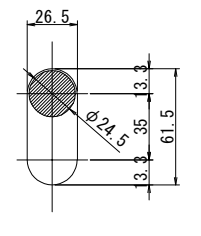


仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

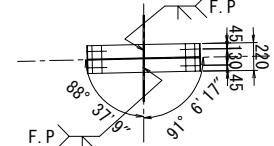
仮止め時



本締め時



F-F



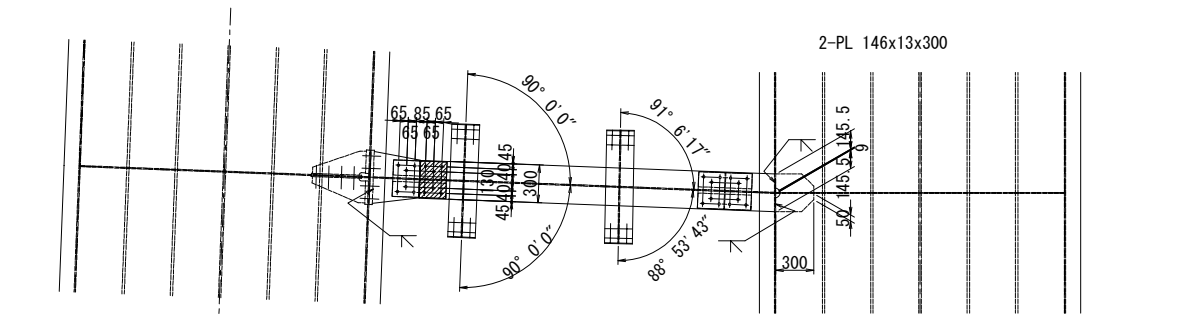
1-V. STIFF PL 90x9x 709  
1-V. STIFF PL 90x9x 710

- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 中 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。

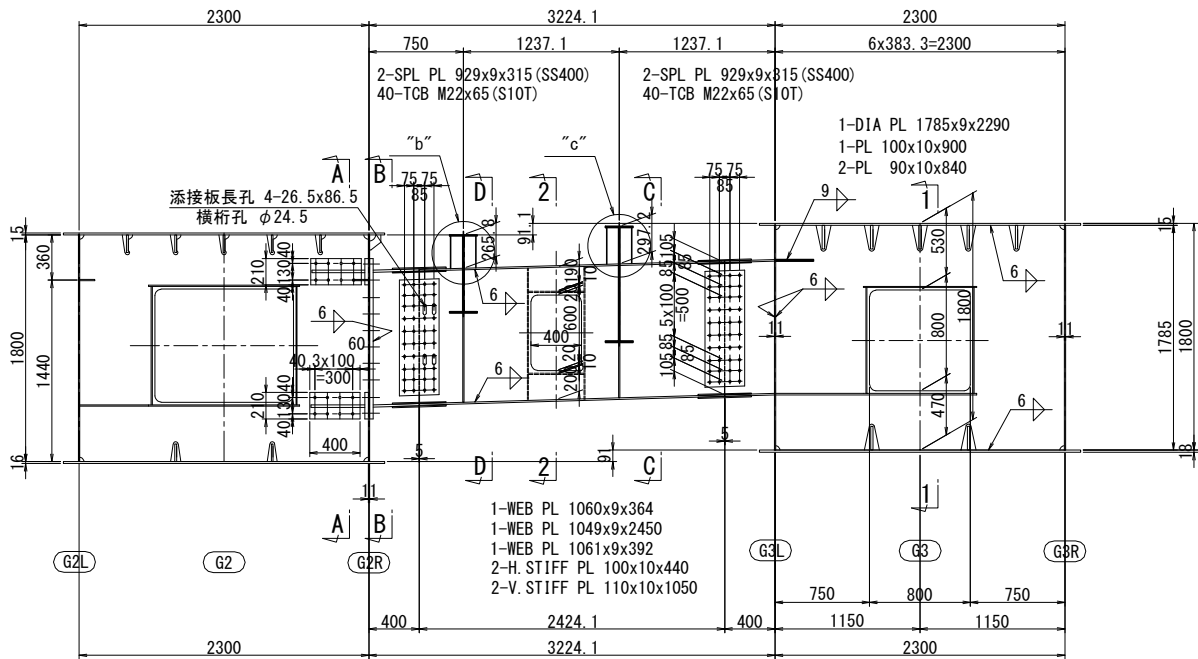
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 中間横桁(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



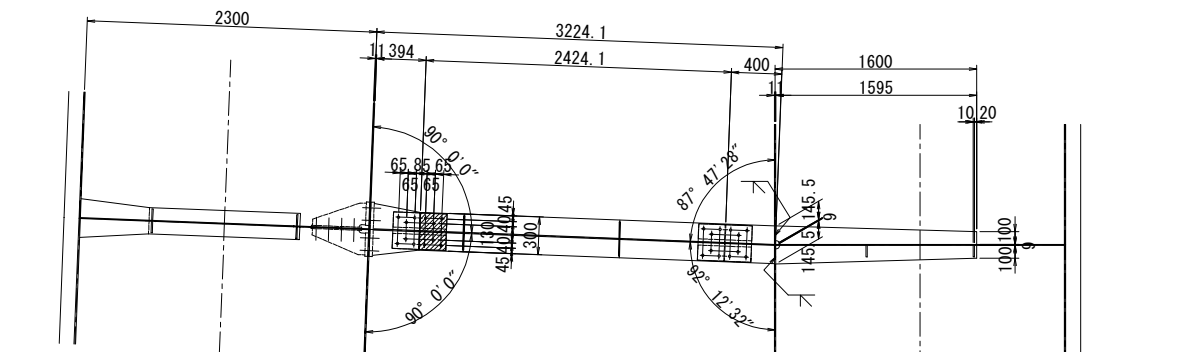
G2



1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 410x16x 364 1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 300x13x2419 2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-UFLG PL 300x13x 397 12-TCB M22x70 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

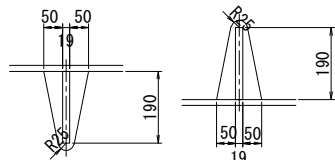


(主桁軸線直角方向)

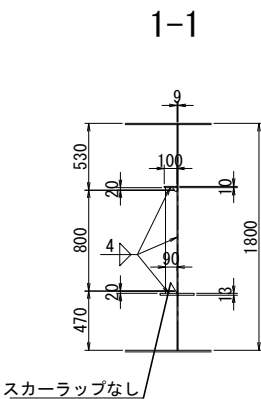
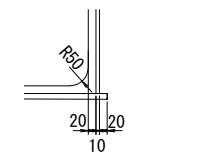


1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 410x16x 364 1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 300x13x2419 2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-LFLG PL 300x13x 397 12-TCB M22x70 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

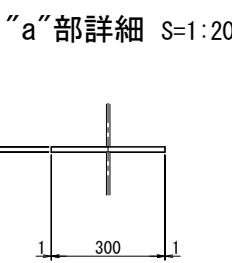
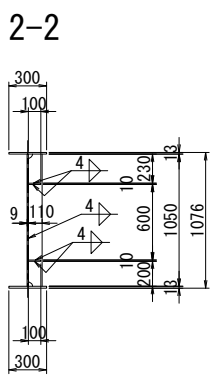
スカーラップ詳細 S=1:20



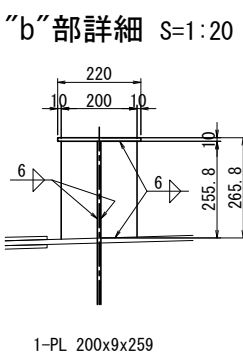
"d"部詳細 S=1:20



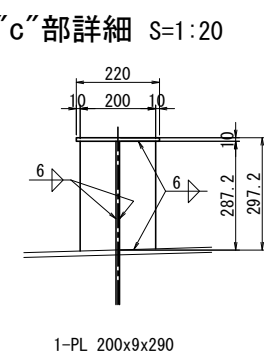
スカーラップなし



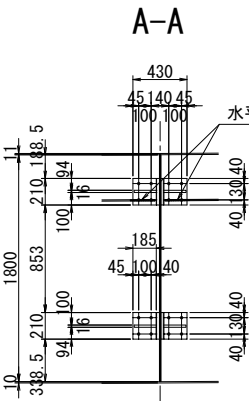
"a"部詳細 S=1:20



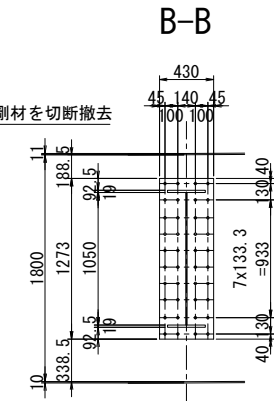
"b"部詳細 S=1:20



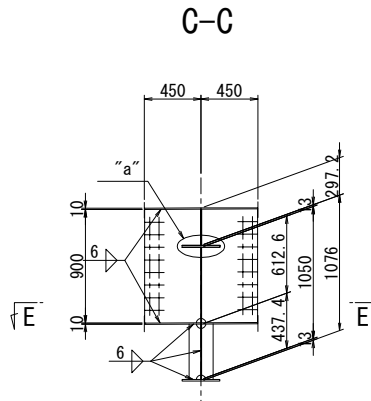
"c"部詳細 S=1:20



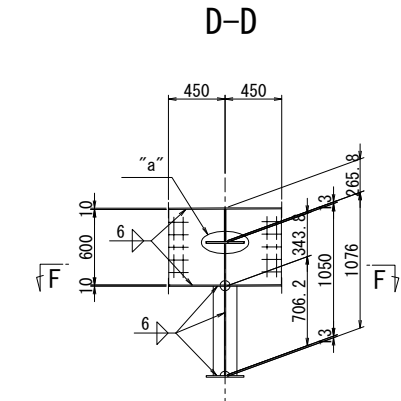
A-A



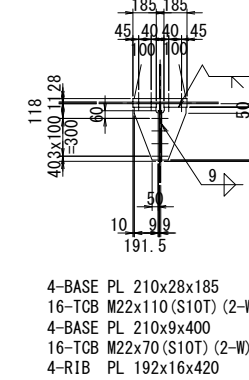
B-B



C-C

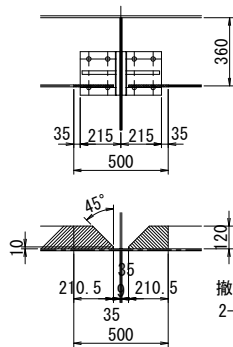


D-D



1-BASE PL 430x28x1273  
24-TCB M22x80 (S10T) (2-W)

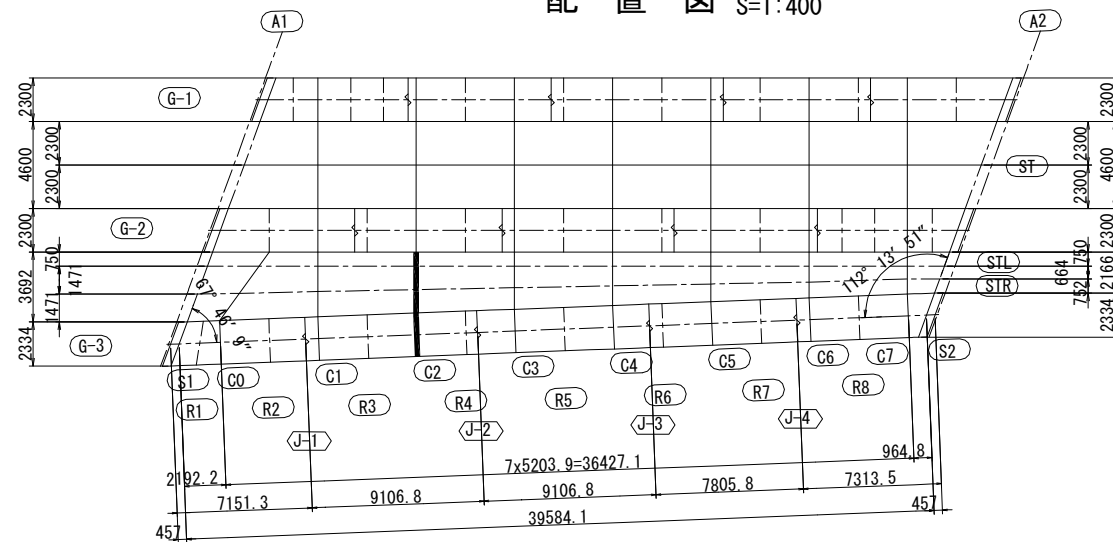
水平補剛材切断撤去 S=1:40



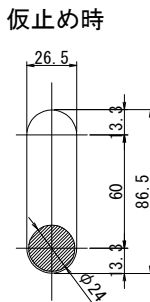
4-BASE PL 210x28x185  
16-TCB M22x110 (S10T) (2-W)  
4-BASE PL 210x9x400  
16-TCB M22x70 (S10T) (2-W)  
4-R1B PL 192x16x420

撤去材料:  
2-H. Stiff PL 120x10x211 (SS400)

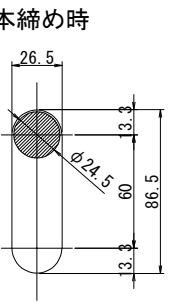
配置図 S=1:400



仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

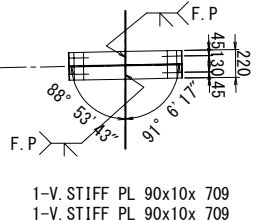


仮止め時



本締め時

F-F



1-V. STIFF PL 90x10x 709  
1-V. STIFF PL 90x10x 709

注記:  
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。  
3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 中間横桁(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



C3

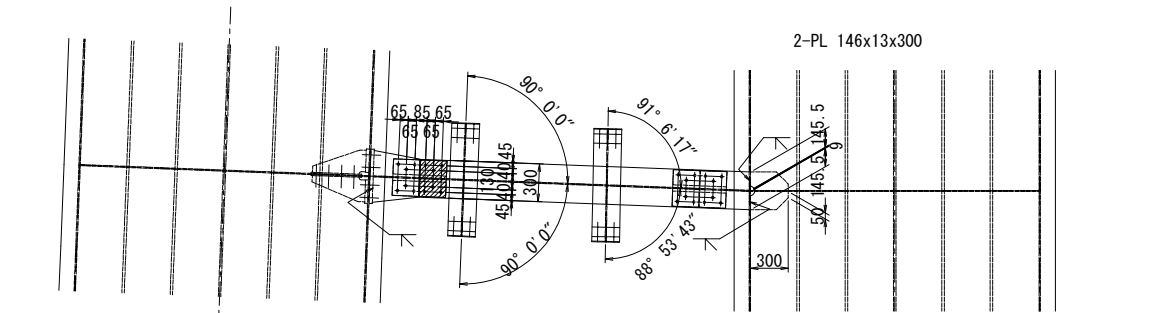
1-1

2-2

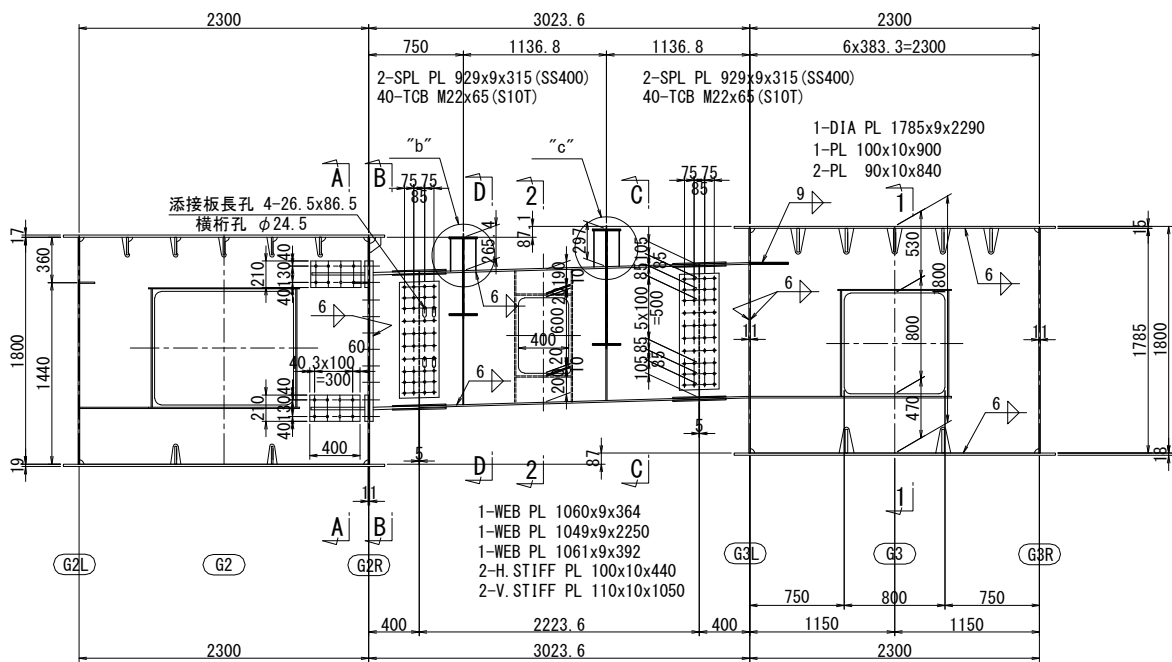
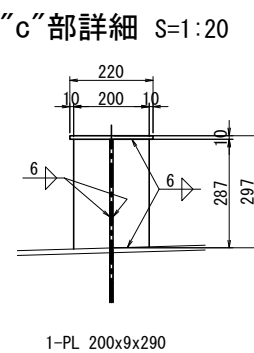
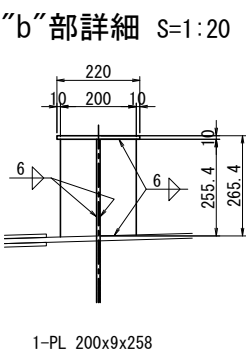
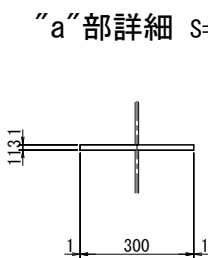
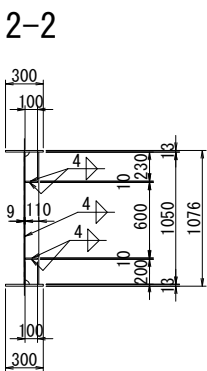
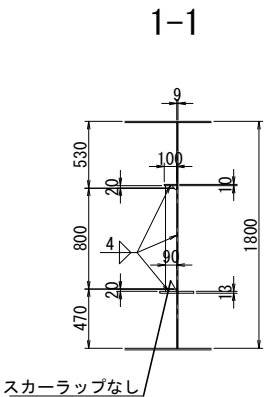
“a”部詳細 S=1:20

“b”部詳細 S=1:20

“c”部詳細 S=1:20

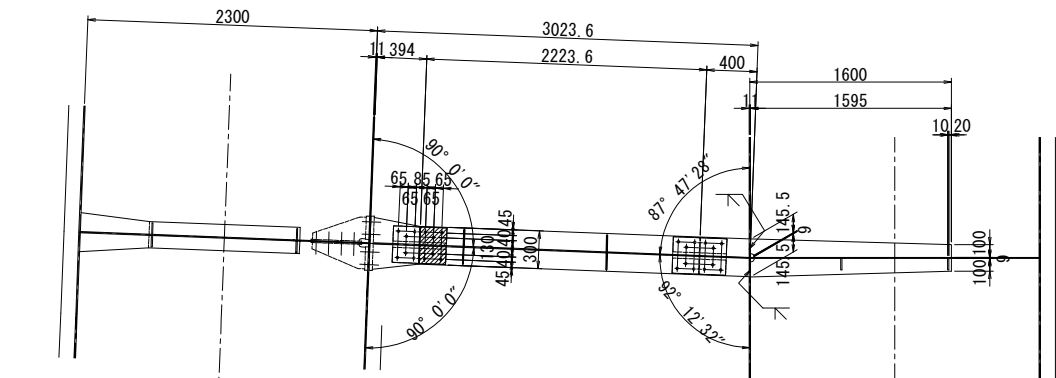


1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 410x16x 364  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 300x13x2219  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-UFLG PL 300x13x 397  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)



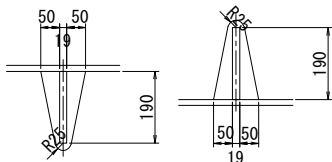
1-WEB PL 1060x9x364  
1-WEB PL 1049x9x2250  
1-WEB PL 1061x9x392  
2-H. STIFF PL 100x10x440  
2-V. STIFF PL 110x10x1050

(主桁軸線直角方向)

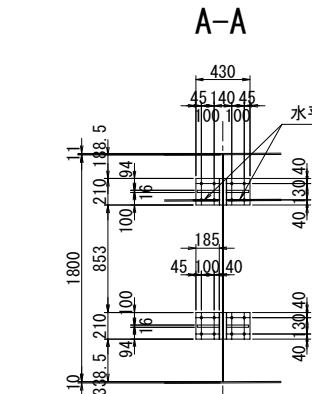
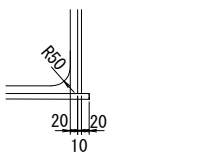


1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 410x16x 364  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 300x13x2219  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-LFLG PL 300x13x 397  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

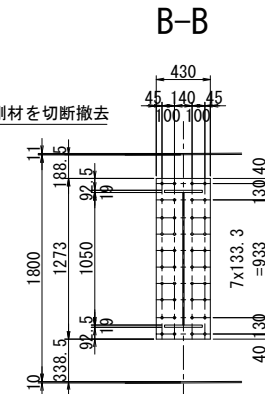
スカーラップ詳細 S=1:20



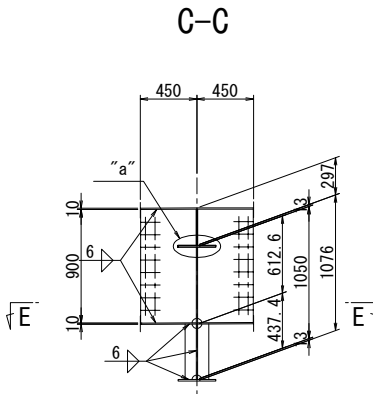
“d”部詳細 S=1:20



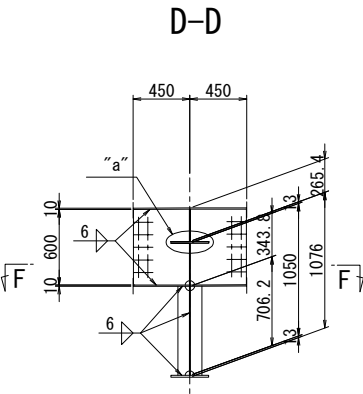
A-A



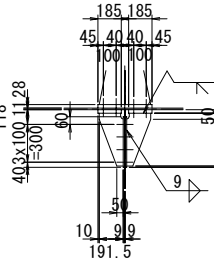
B-B



C-C

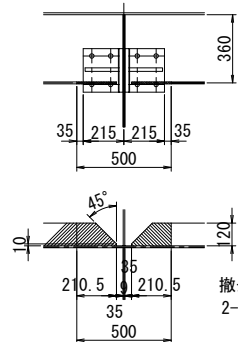


D-D



1-BASE PL 430x28x1273  
24-TCB M22x80 (S10T) (2-W)

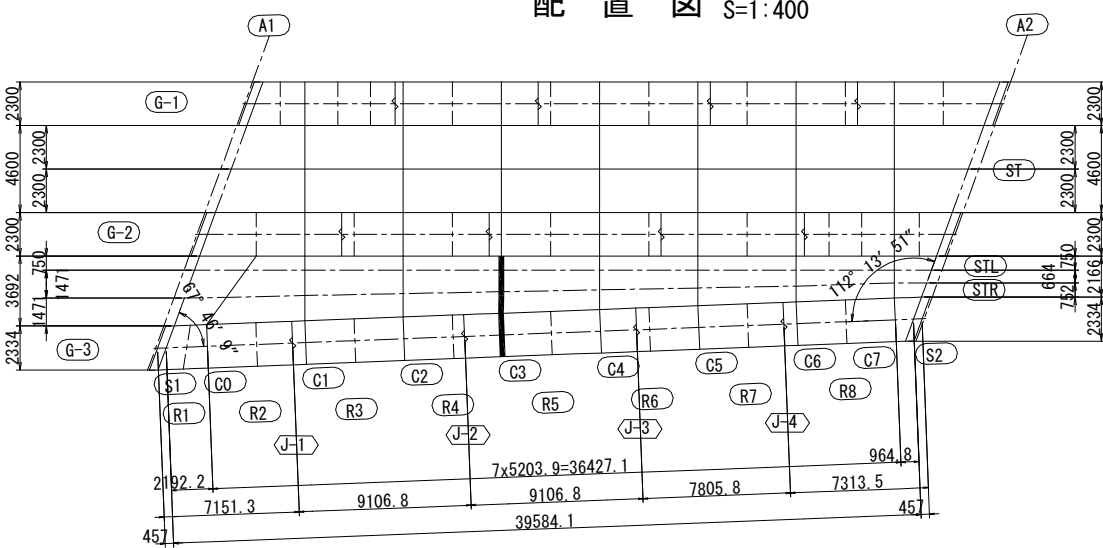
水平補剛材切断撤去 S=1:40



4-BASE PL 210x28x185  
16-TCB M22x110 (S10T) (2-W)  
4-BASE PL 210x9x400  
16-TCB M22x70 (S10T) (2-W)  
4-R1B PL 192x16x420

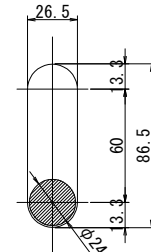
撤去材料:  
2-H. Stiff PL 120x10x211 (SS400)

配置図 S=1:400

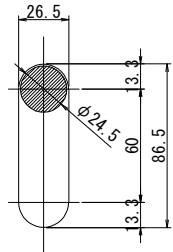


仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

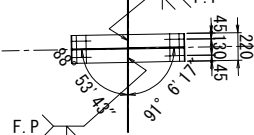
仮止め時



本締め時



F-F



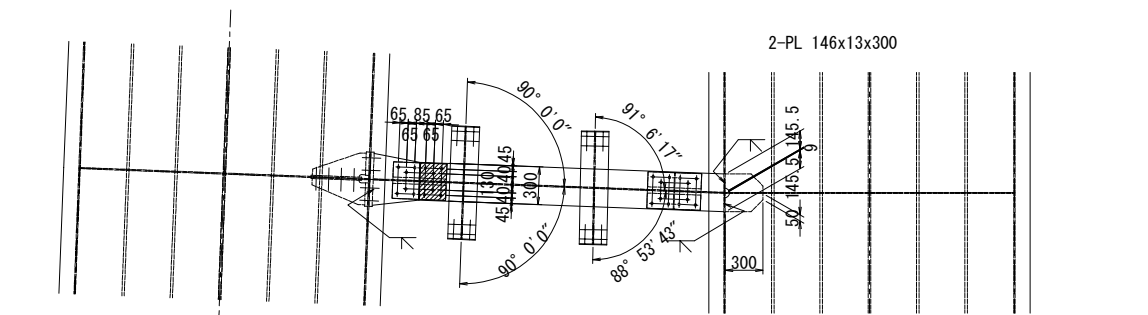
1-V. STIFF PL 90x10x 708  
1-V. STIFF PL 90x10x 709

- 注記:
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 中 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

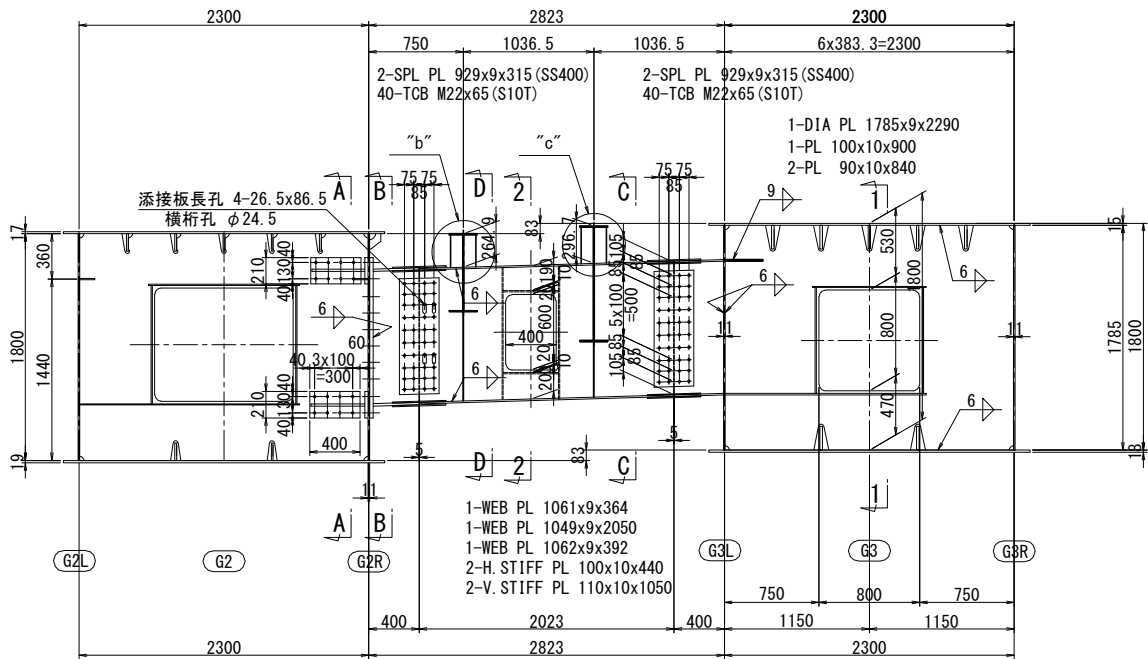
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 中間横桁(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



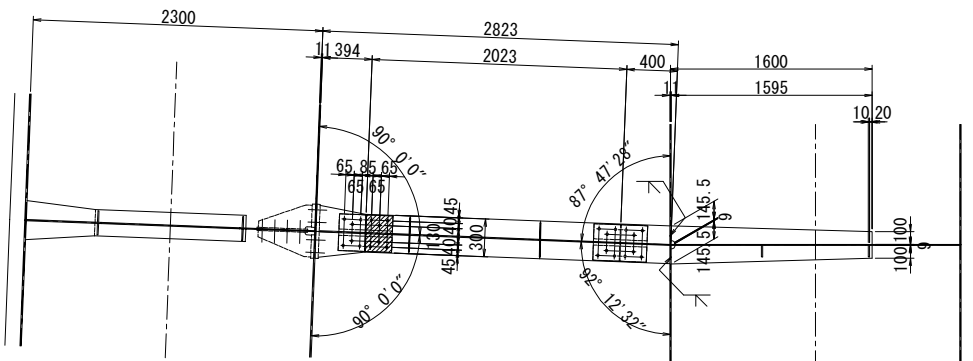
C4



1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 410x16x 364 1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 300x13x2018 2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-UFLG PL 300x13x 397 12-TCB M22x70 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

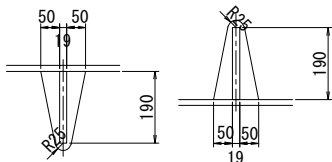


(主桁軸線直角方向)

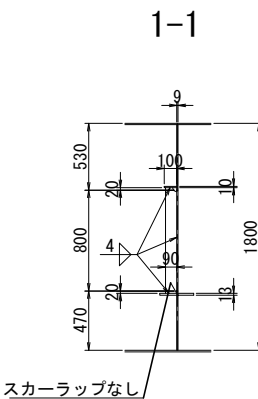
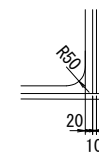


1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 410x16x 364 1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 300x13x2018 2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-LFLG PL 300x13x 397 12-TCB M22x70 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

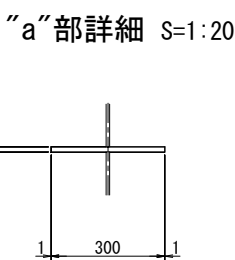
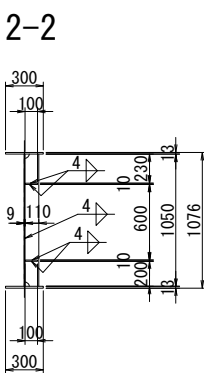
スカーラップ詳細 S=1:20



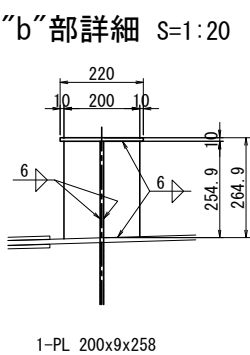
“d”部詳細 S=1:20



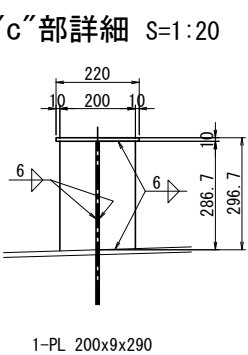
スカーラップなし



“a”部詳細 S=1:20

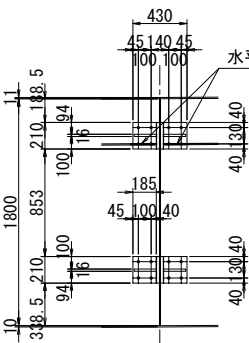


“b”部詳細 S=1:20

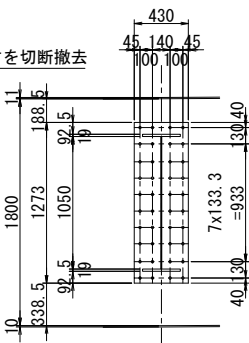


“c”部詳細 S=1:20

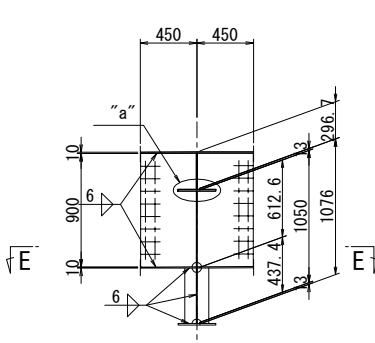
A-A



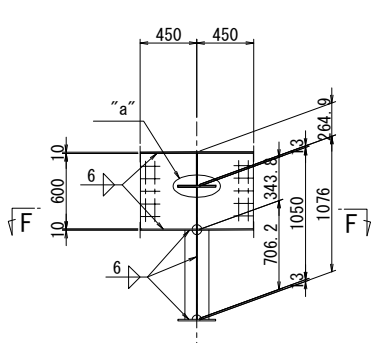
B-B



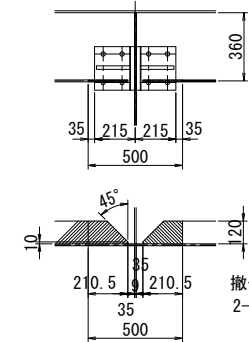
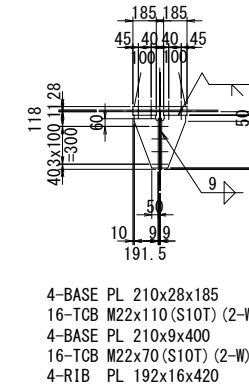
C-C



D-D

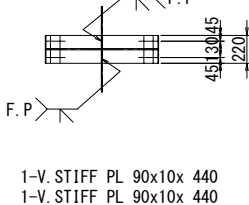


水平補剛材切断撤去 S=1:40

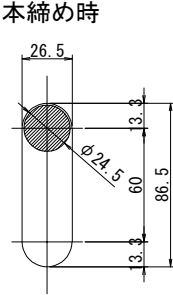
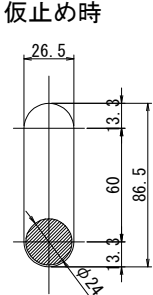


撤去材料:  
2-H. Stiff PL 120x10x211 (SS400)

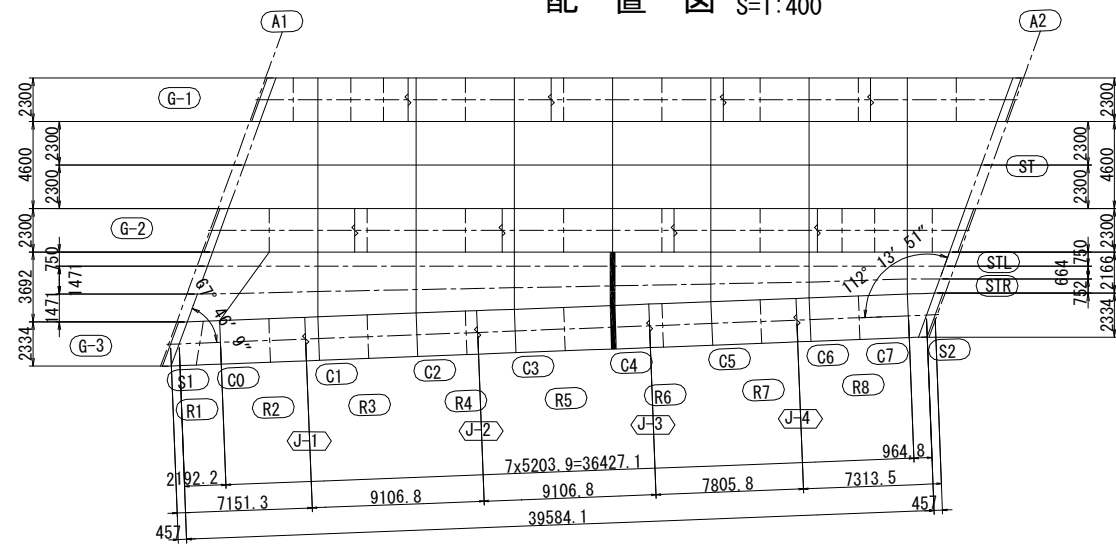
E-E



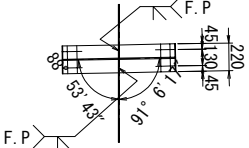
仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4



配置図 S=1:400



F-F



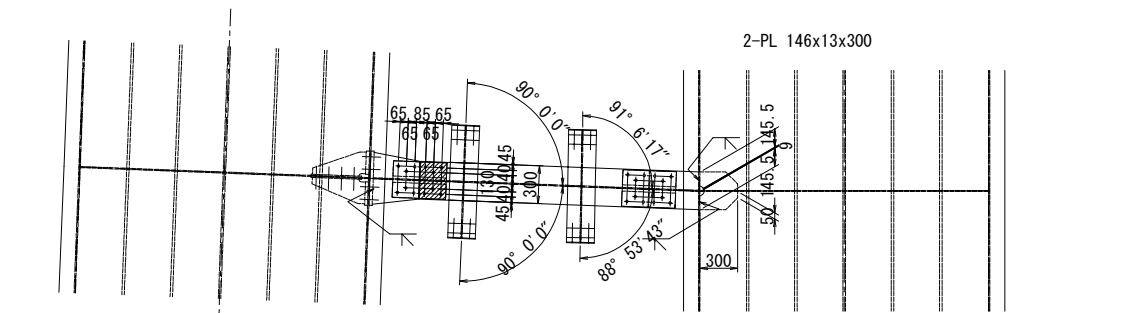
1-V. STIFF PL 90x10x 708  
1-V. STIFF PL 90x10x 708

- 注記:
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 中 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

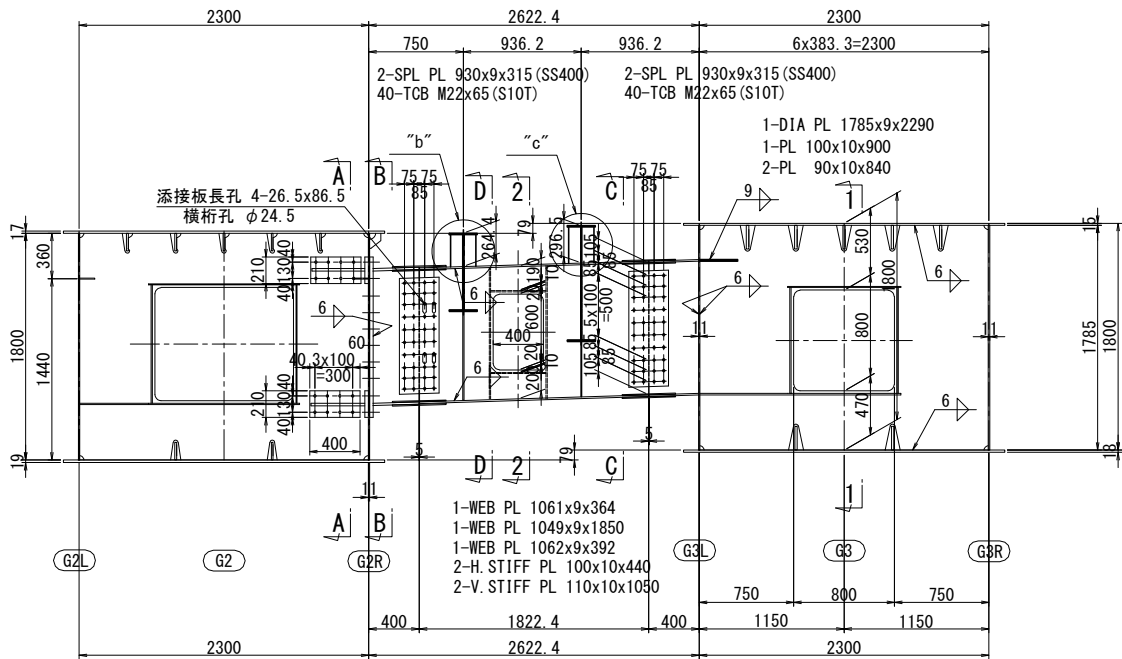
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 中間横桁(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



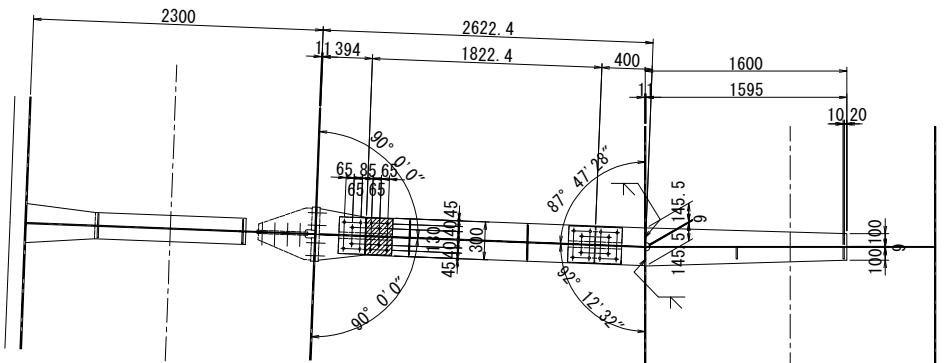
C5



1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 410x16x 364 1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-UFLG PL 300x13x1817 2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-UFLG PL 300x13x 397 12-TCB M22x70 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

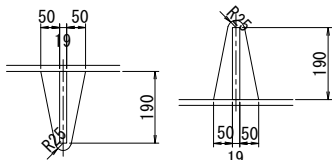


(主桁軸線直角方向)

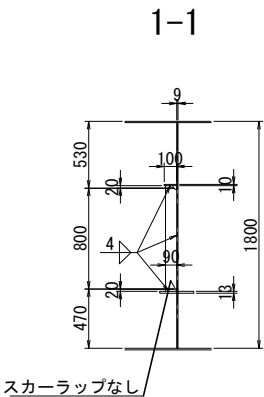
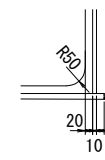


1-SPL PL 290x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 410x16x 364 1-SPL PL 290x9x425 (SS400)  
2-SPL PL 120x9x425 (SS400) 1-LFLG PL 300x13x1817 2-SPL PL 120x9x425 (SS400)  
12-TCB M22x75 (S10T) 1-LFLG PL 300x13x 397 12-TCB M22x70 (S10T)  
1-FILL PL 290x3. 2x210 (SS400)

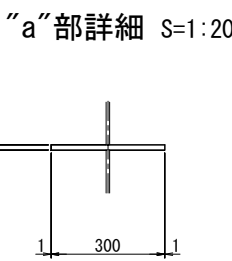
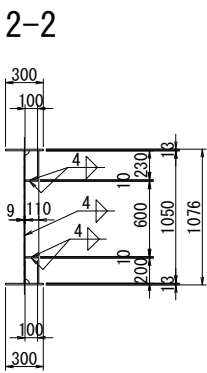
スカーラップ詳細 S=1:20



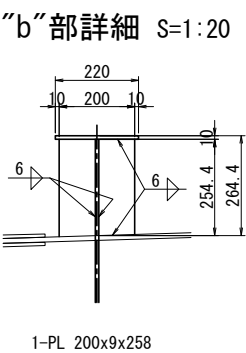
"d"部詳細 S=1:20



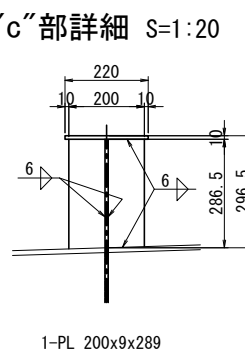
スカーラップなし



"a"部詳細 S=1:20

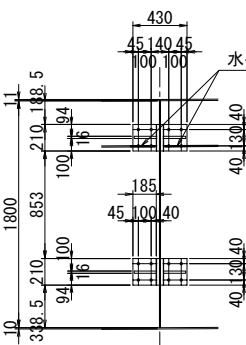


"b"部詳細 S=1:20

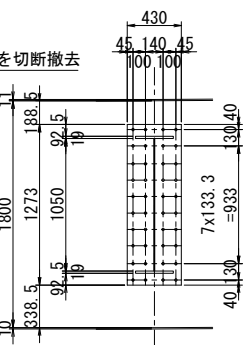


"c"部詳細 S=1:20

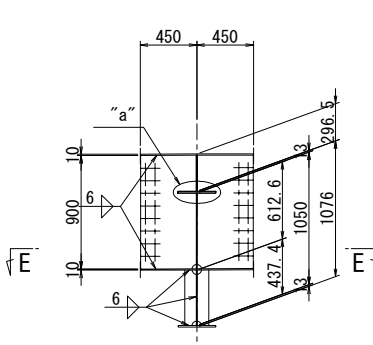
A-A



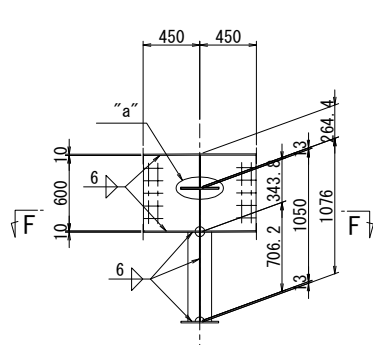
B-B



C-C

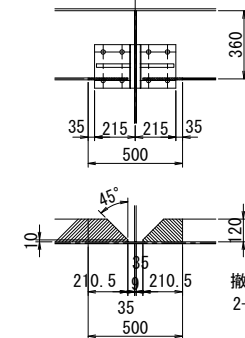
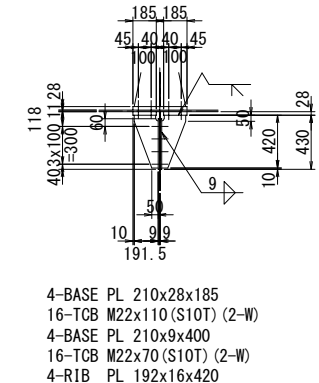


D-D



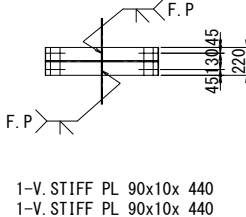
1-BASE PL 430x28x1273  
24-TCB M22x80 (S10T) (2-W)

水平補剛材切断撤去 S=1:40

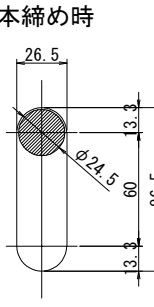
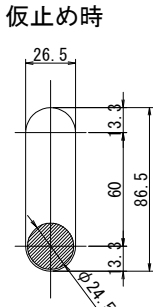


撤去材料:  
2-H. Stiff PL 120x10x211 (SS400)

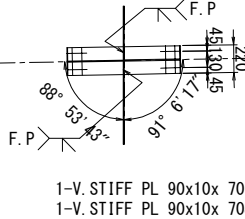
E-E



仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

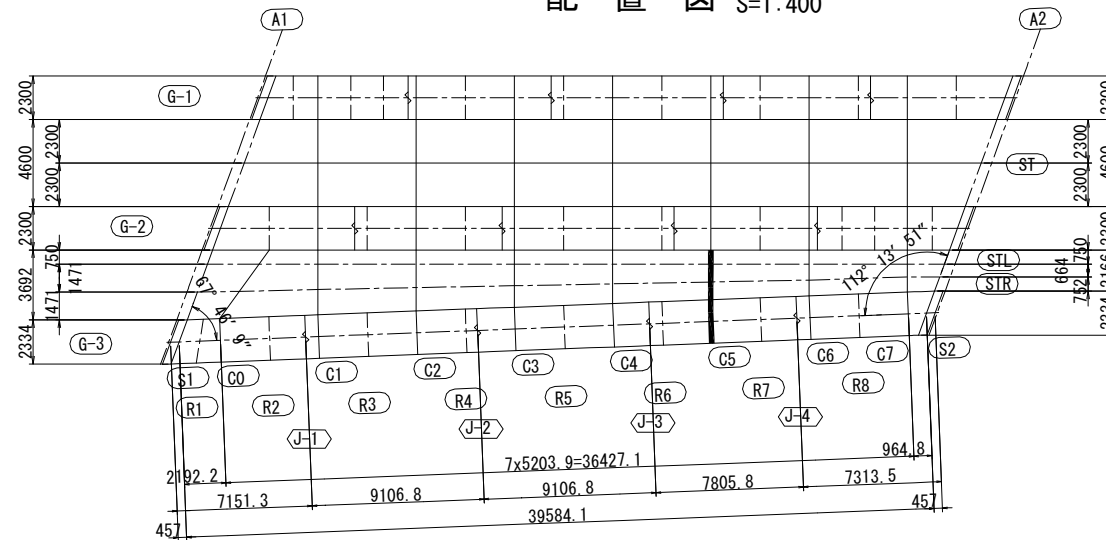


F-F



注記:  
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。  
3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

配置図 S=1:400



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 中間横桁(その6)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



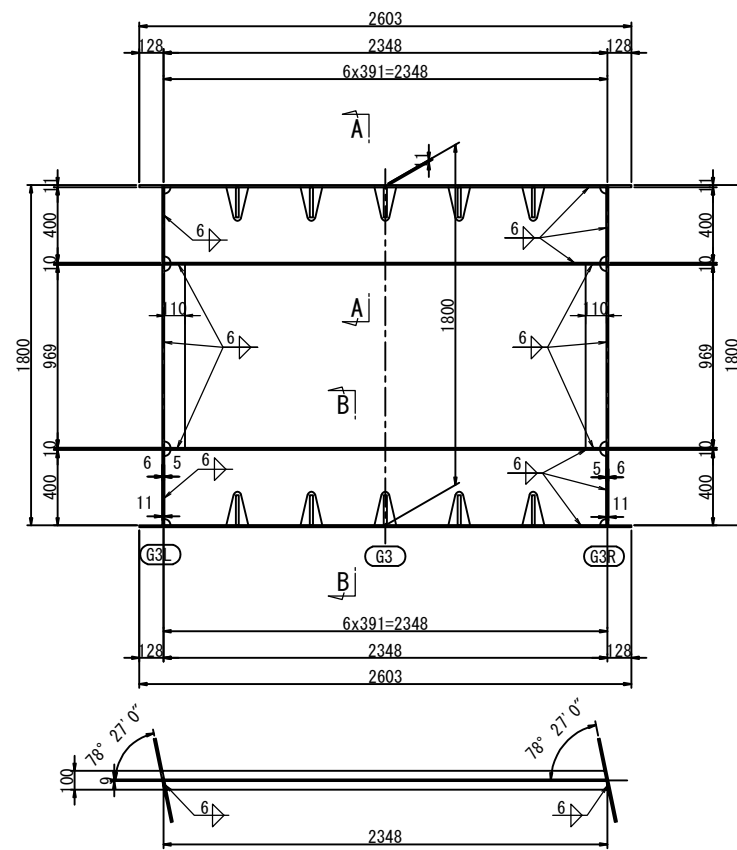






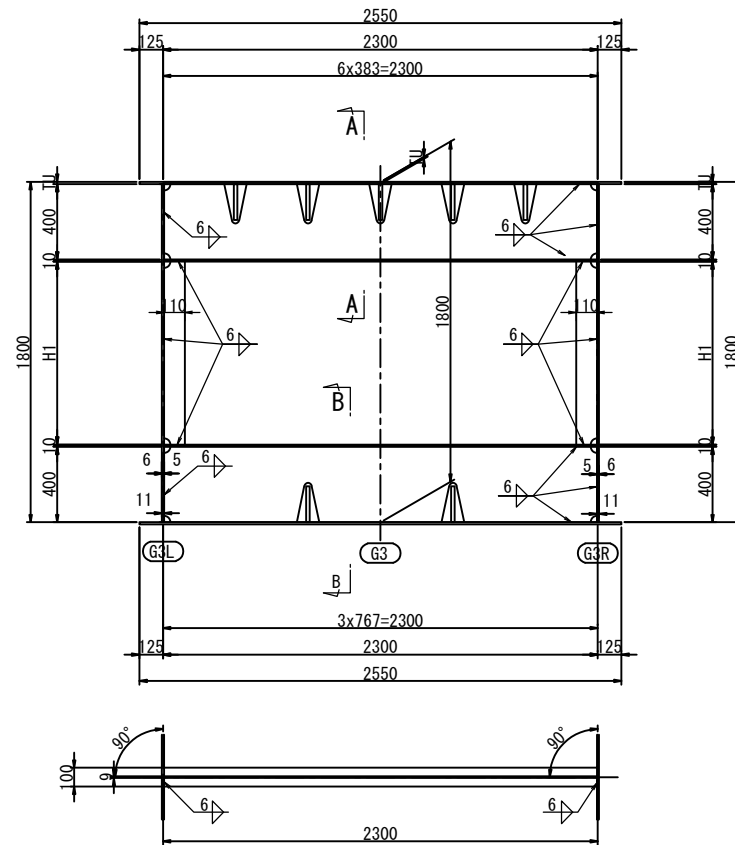


横リブ R1



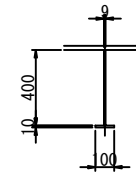
1-WEB PL 400x9x2338  
1-FLG PL 100x10x2358  
2-V. STIFF PL 110x9x969  
1-FLG PL 100x10x2358  
1-WEB PL 400x9x2338

横リブ R2-R8

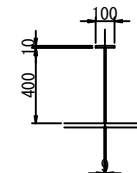


1-WEB PL 400x9x2290  
1-FLG PL 100x10x2290  
2-V. STIFF PL 110x9xH1  
1-FLG PL 100x10x2290  
1-WEB PL 400x9x2290

A - A

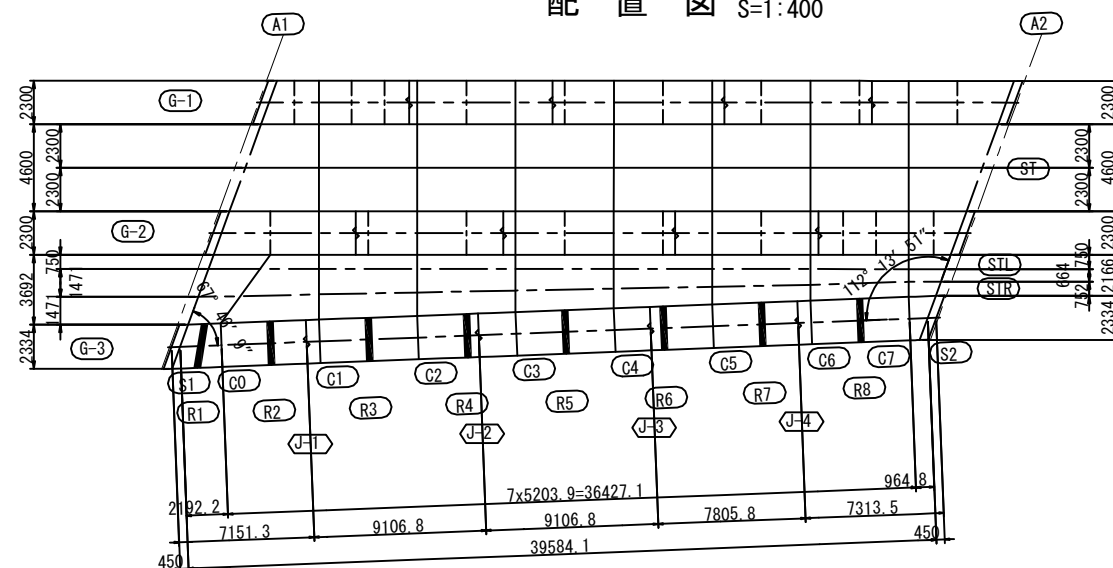


B - B

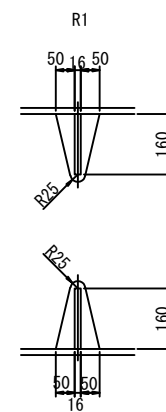


	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
TU	11	15	15	15	15	15	11
H1	969	965	965	965	965	965	969

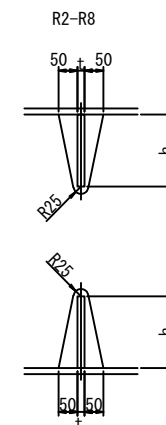
配置図 S=1:400



スカーラップ詳細 S=1:20



スカーラップ詳細 S=1:20



	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
t	16	19	19	19	19	19	16
h	160	190	190	190	190	190	160

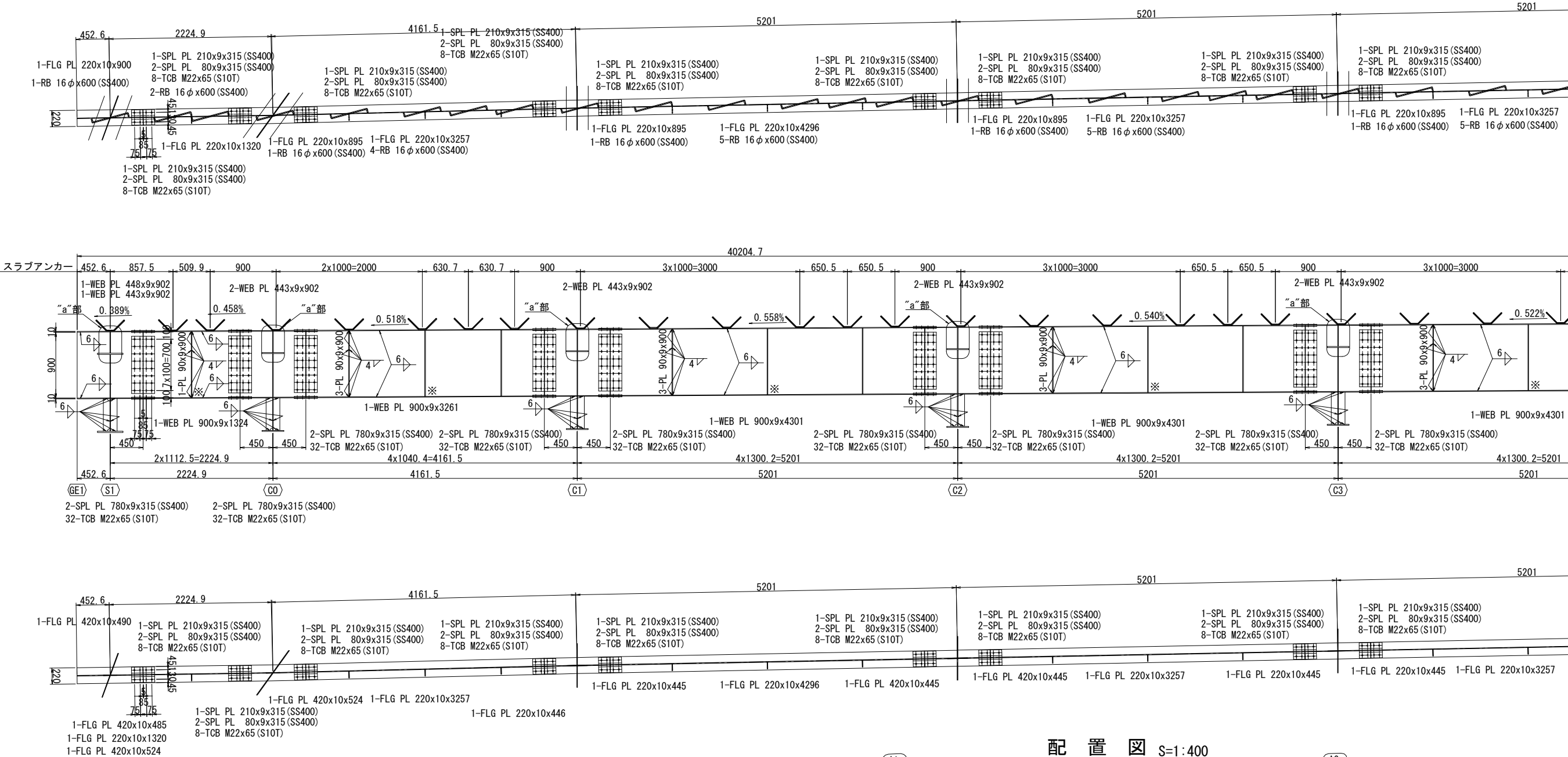
- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 各部詳細は共通詳細図参照。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 横リブ		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

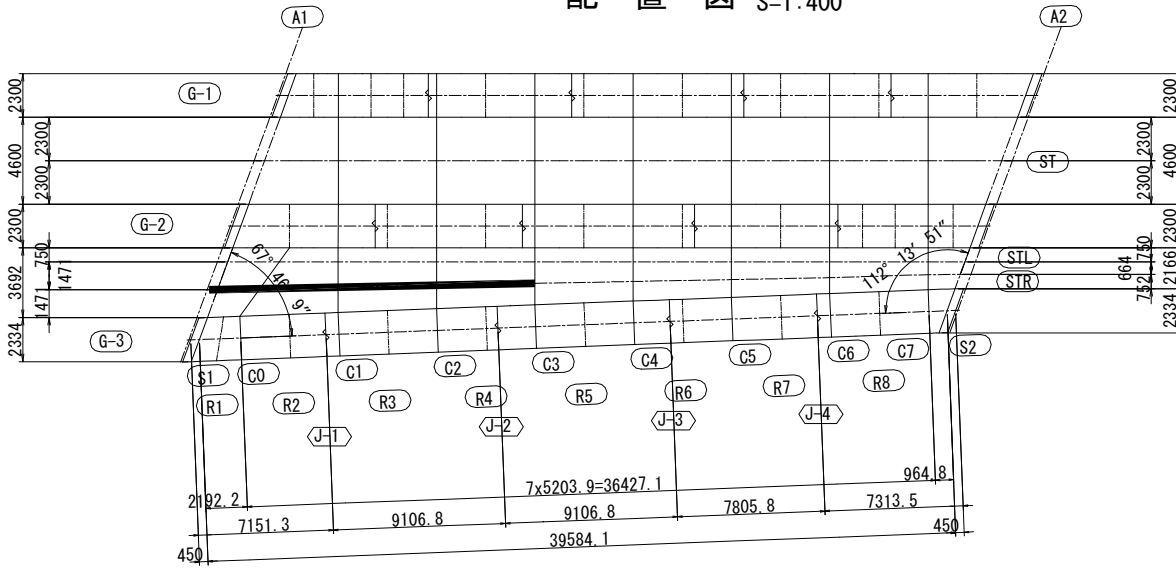


川田橋（上り線）縦桁図(その1) S=1:60

STR



配置図 S=1:400



- 注記
- 1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - 2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
  - 3. 高力ボルト孔径は、全てφ26.5とする。
  - 4. "a"部、スラブアンカー詳細は縦桁図（その3）を参照のこと。
  - 5. ※印は溶接しない。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 縦桁図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



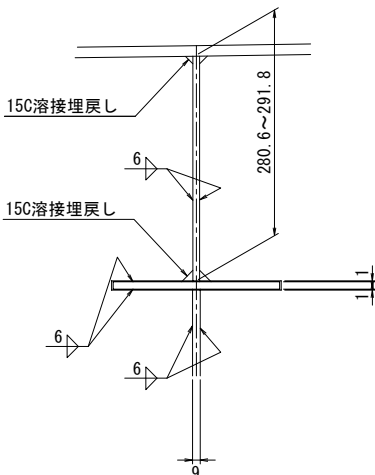
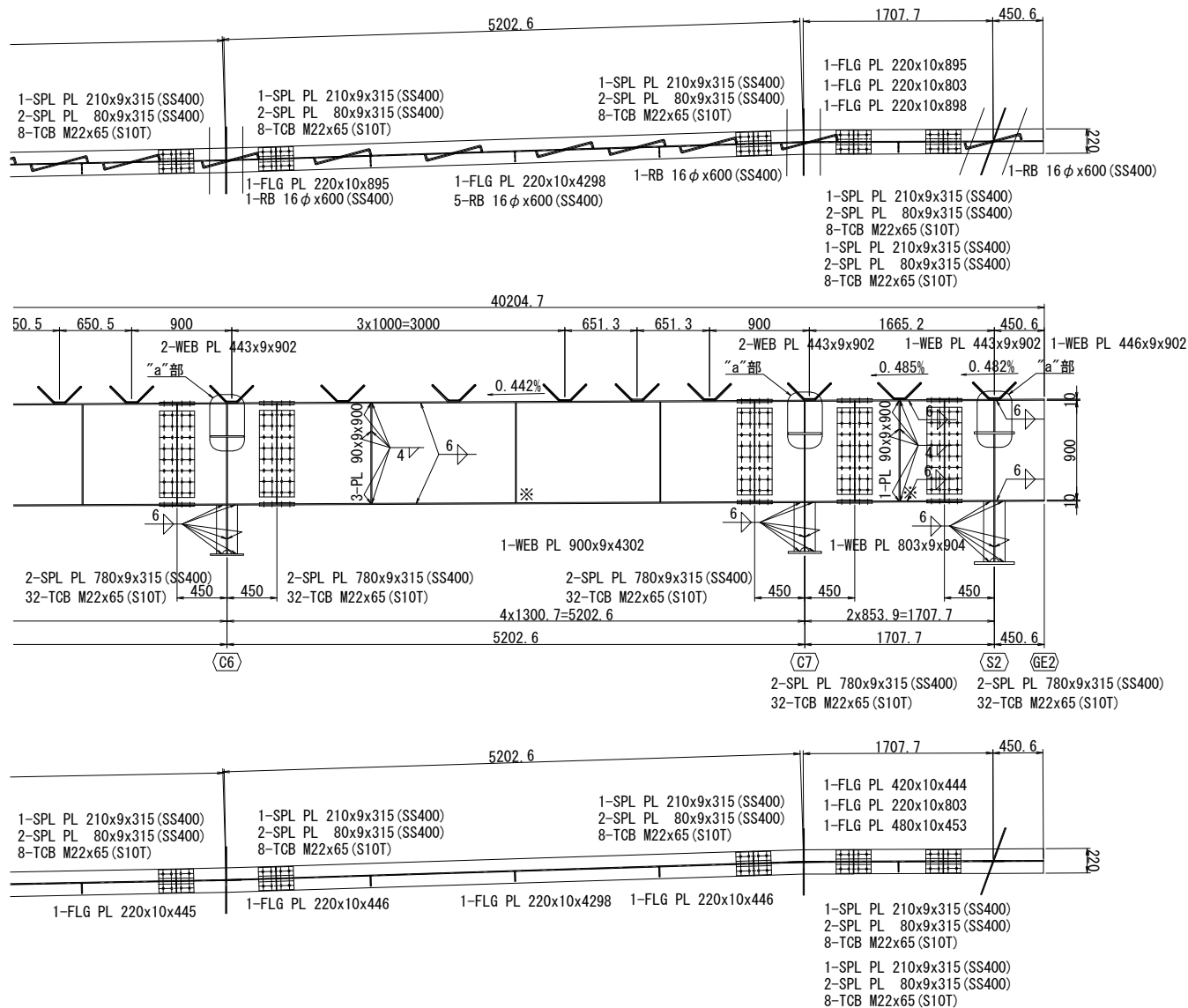




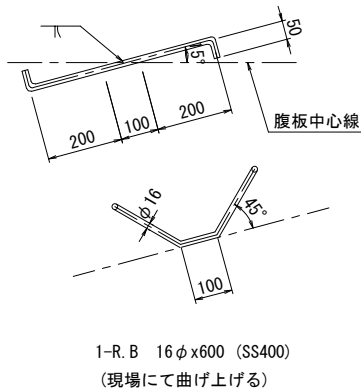
## 川田橋（上り線）縦桁図（その3） S=1:60

STR

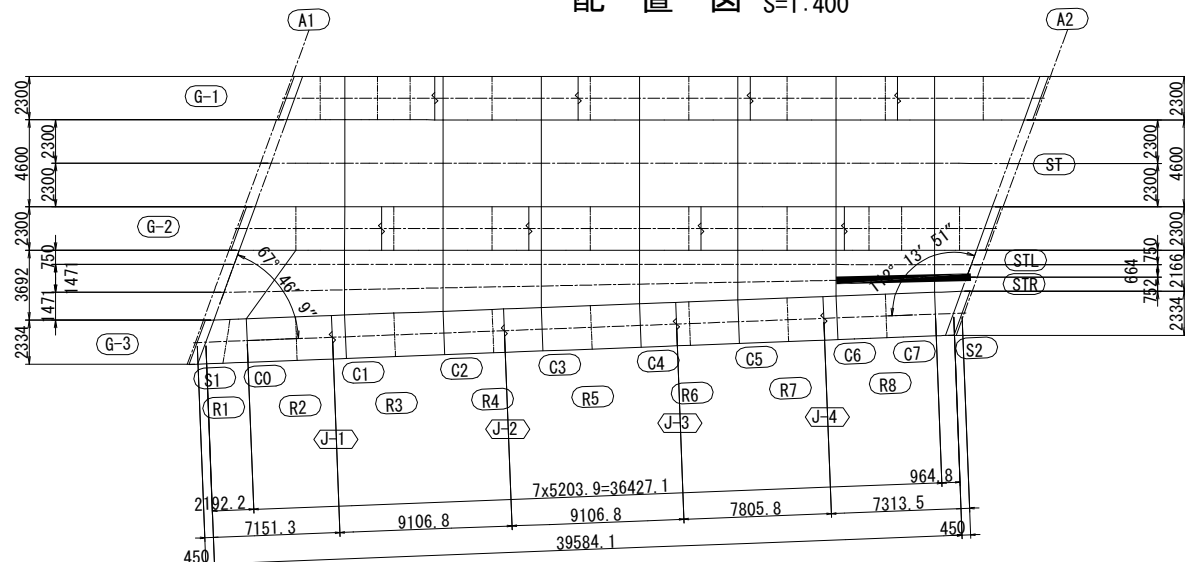
## "a"部詳細 S=1:2.5



スラブアンカー詳細図 S=1:5



配置図 S=1:400



注記

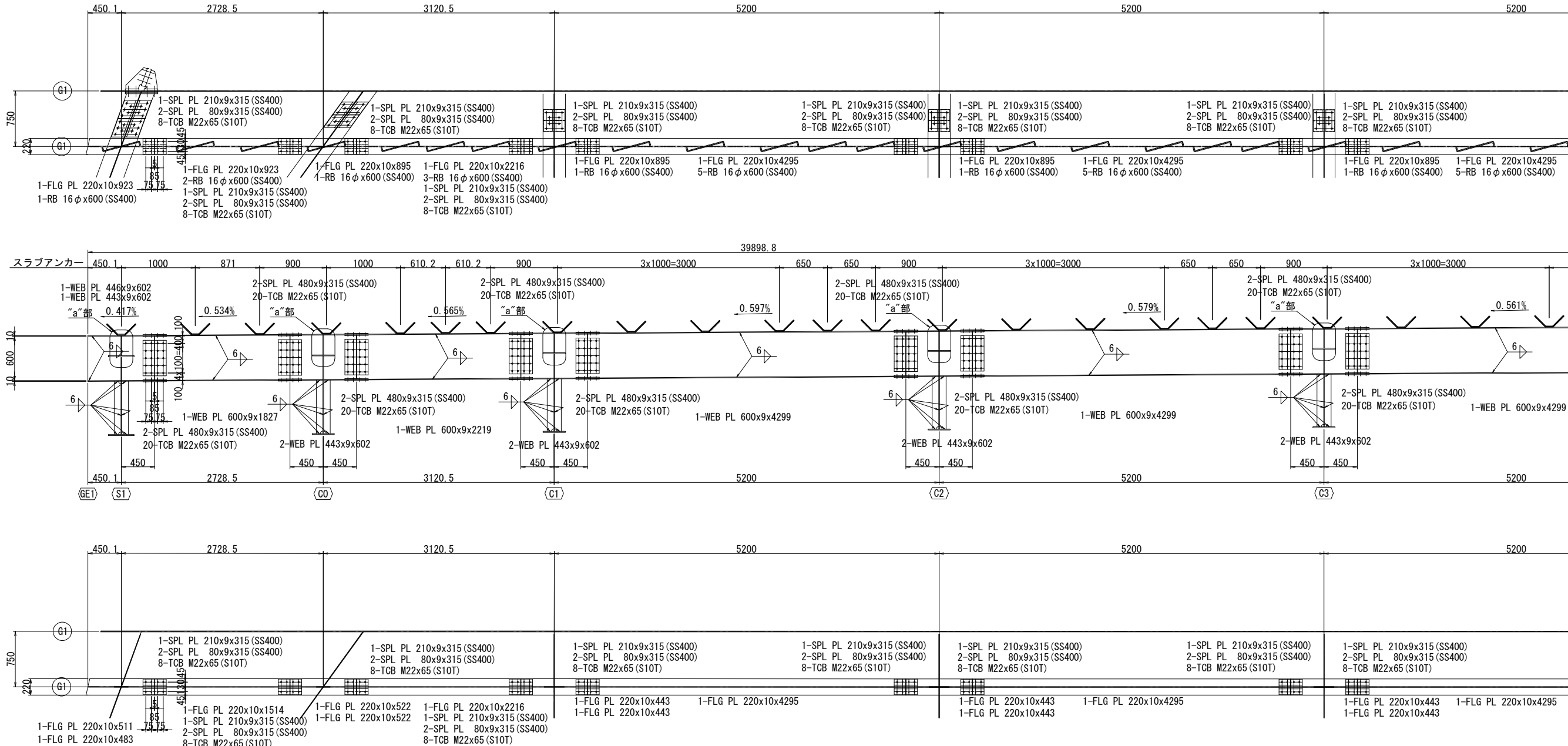
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
3. 高力ボルト孔径は、全てφ26.5とする。
4. ※印は溶接しない。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 縦断面図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

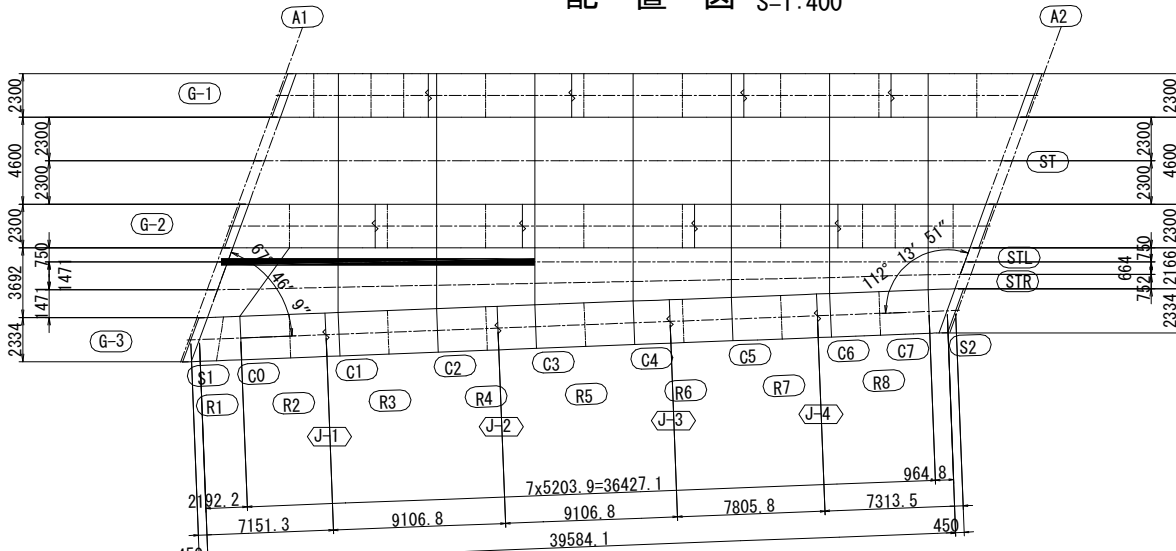


川田橋（上り線）縦桁図（その4） S=1:60

# STL



配置図 S=1:400



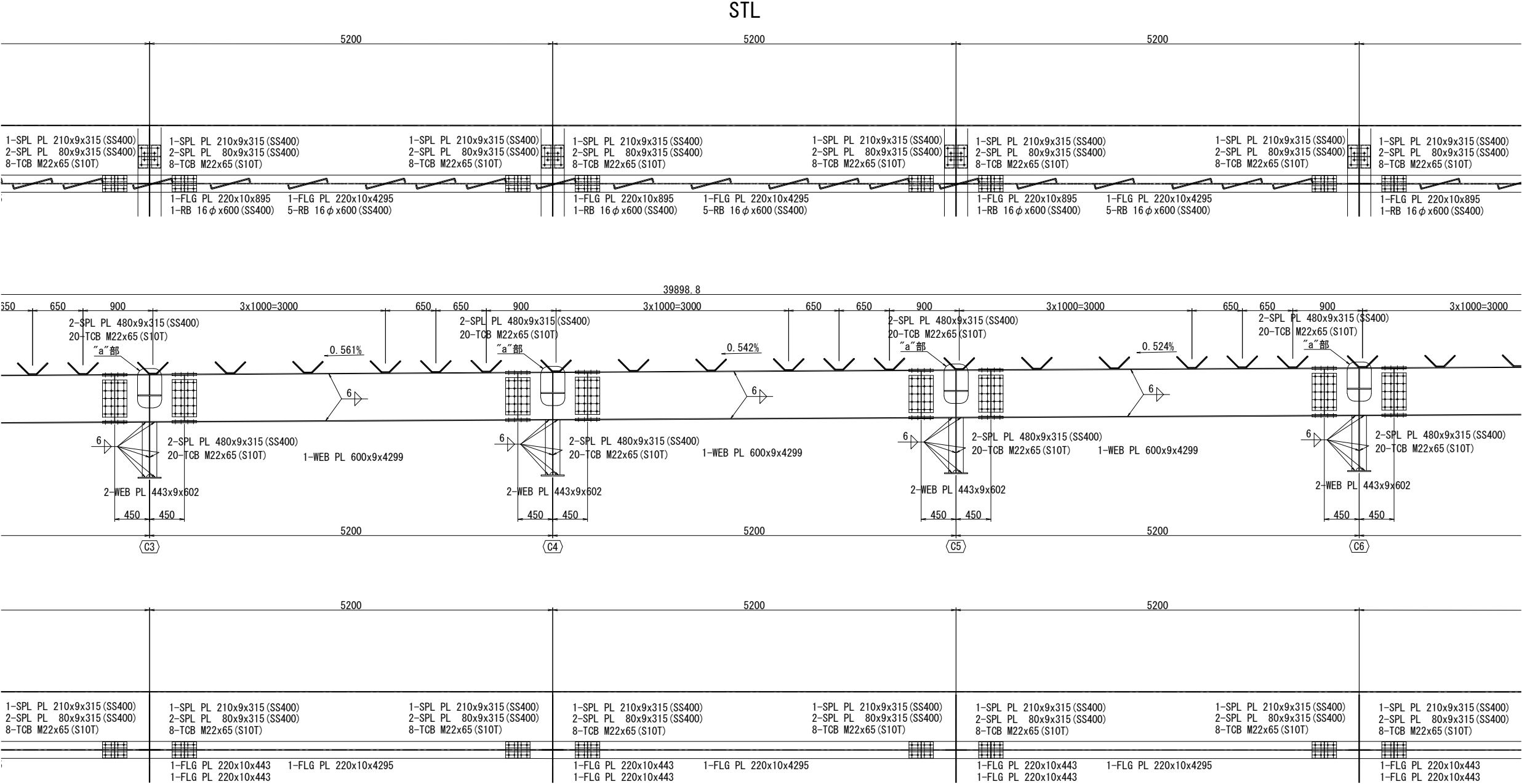
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
3. 高力ボルト孔径は、全てφ26.5とする。
4. “a”部、スラブアンカー詳細  
は縦桁図（その6）を参照のこと。

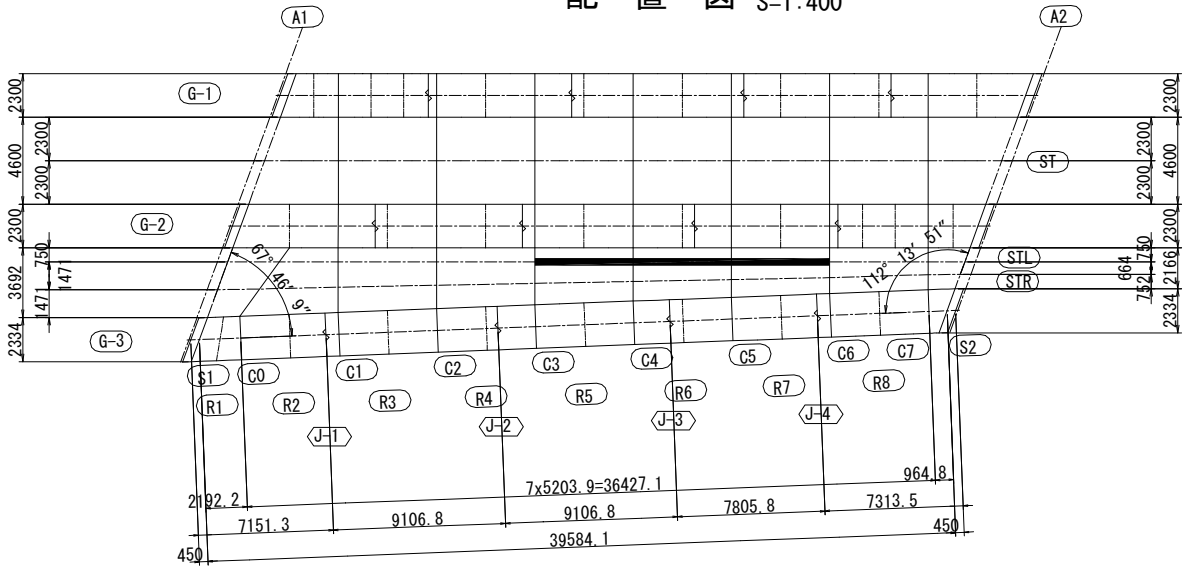
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 縦桁図（その４）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（上り線）縦桁図(その5) S=1:60



配置図 S=1:400



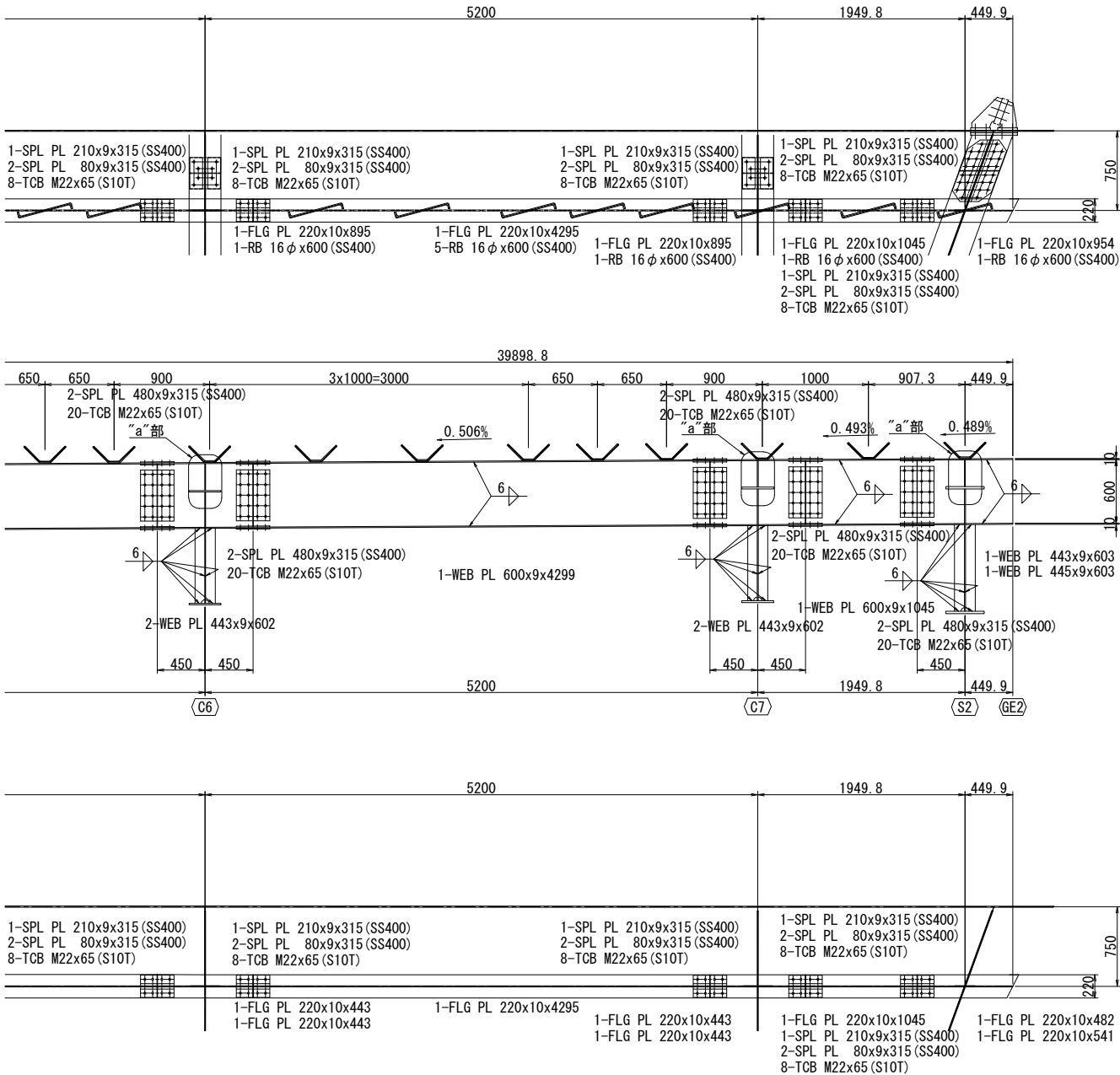
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
  3. 高力ボルト孔径は、全てφ26.5とする。
  4. "a"部、スラブアンカー詳細は縦桁図（その6）を参照のこと。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 縦桁図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

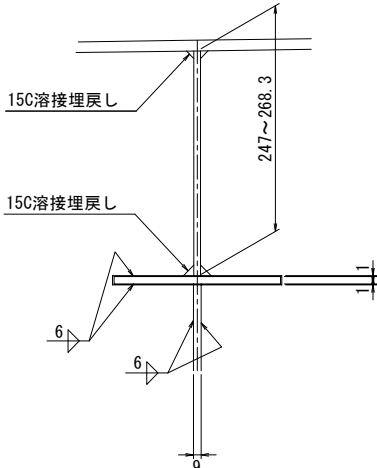


川田橋（上り線）縦桁図（その6） S=1:60

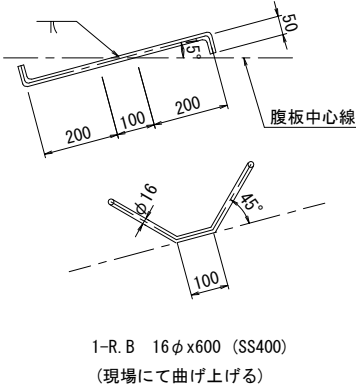
# STL



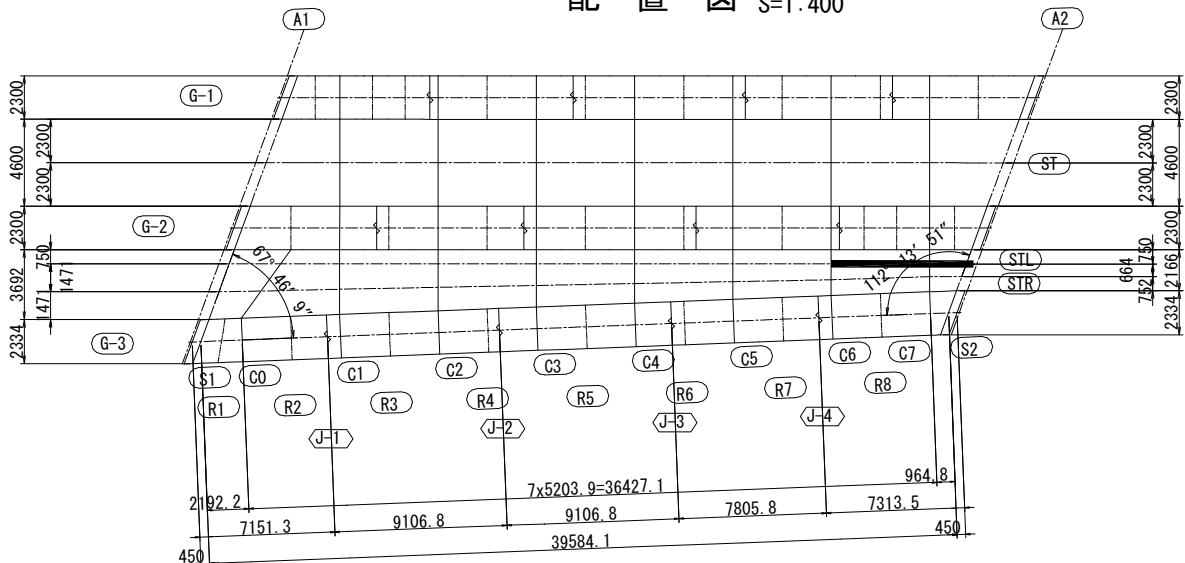
## "a"部詳細 S=1:2.5



スラブアンカー詳細図 S=1:5



配置図 S=1:400



注記

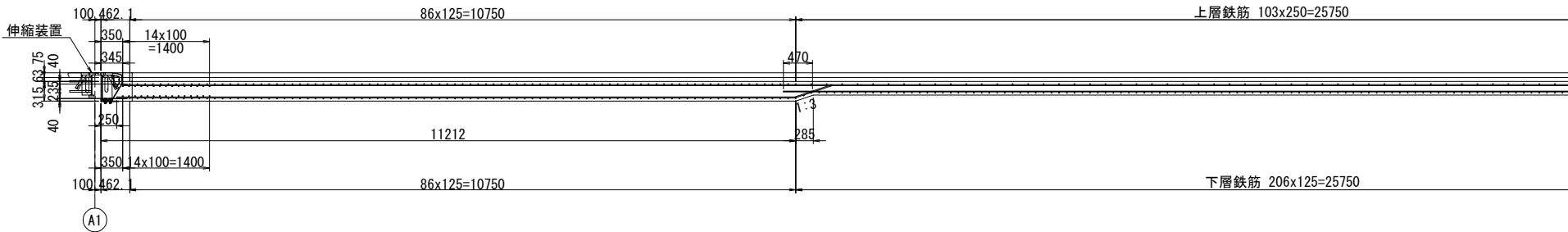
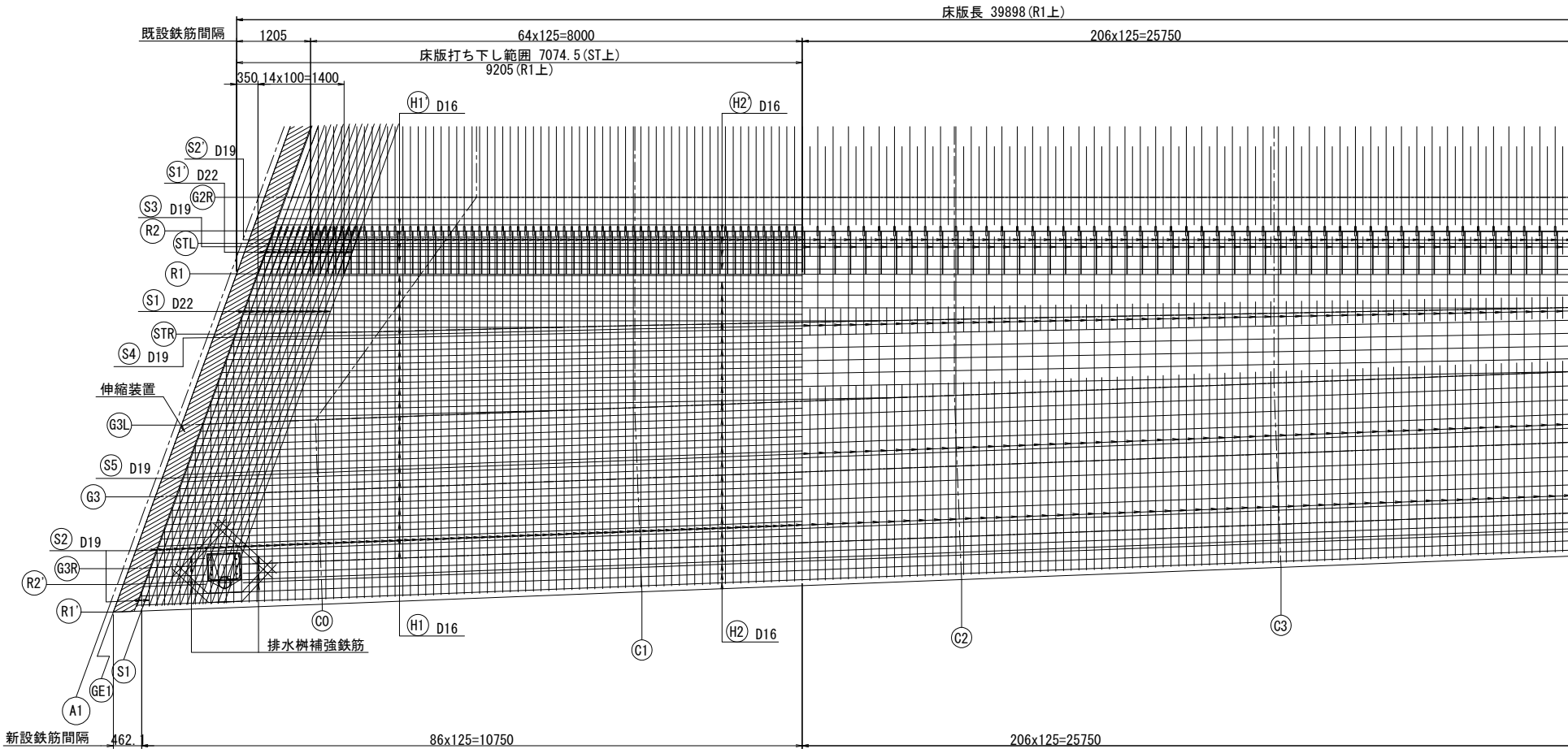
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、35Rとする。
3. 高力ボルト孔径は、全てφ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事			
図面の種類	川田橋（より線） 縦桁図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

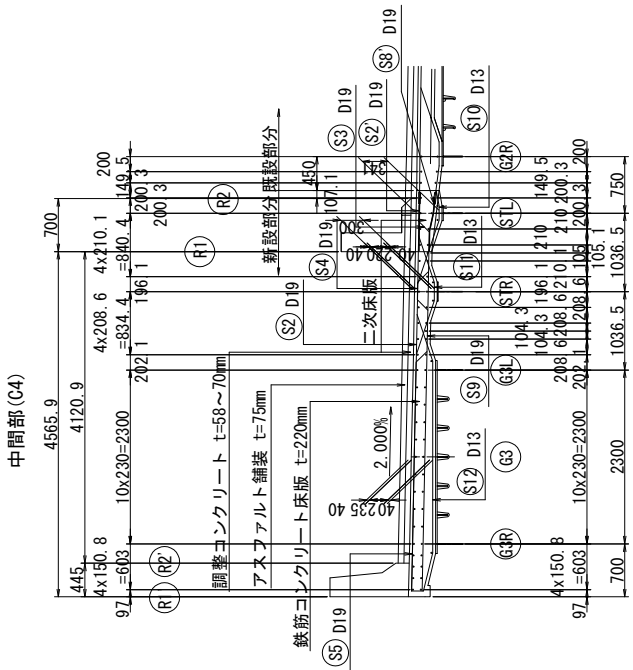
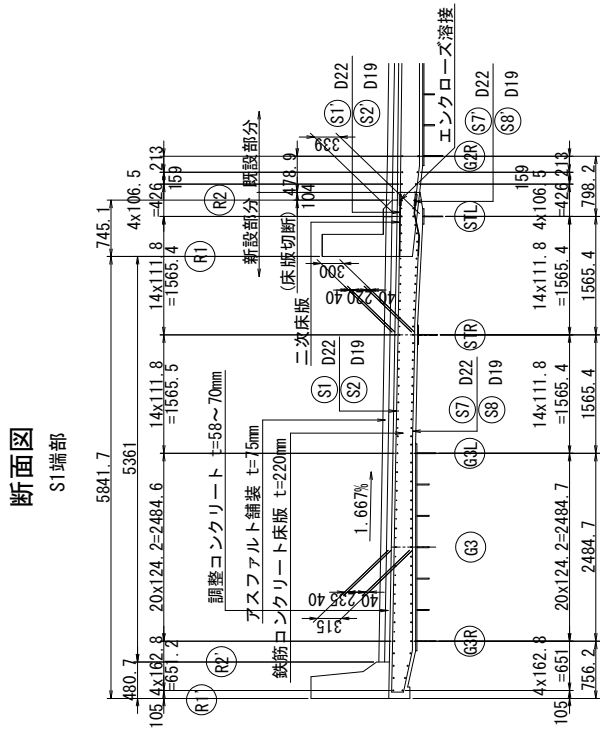
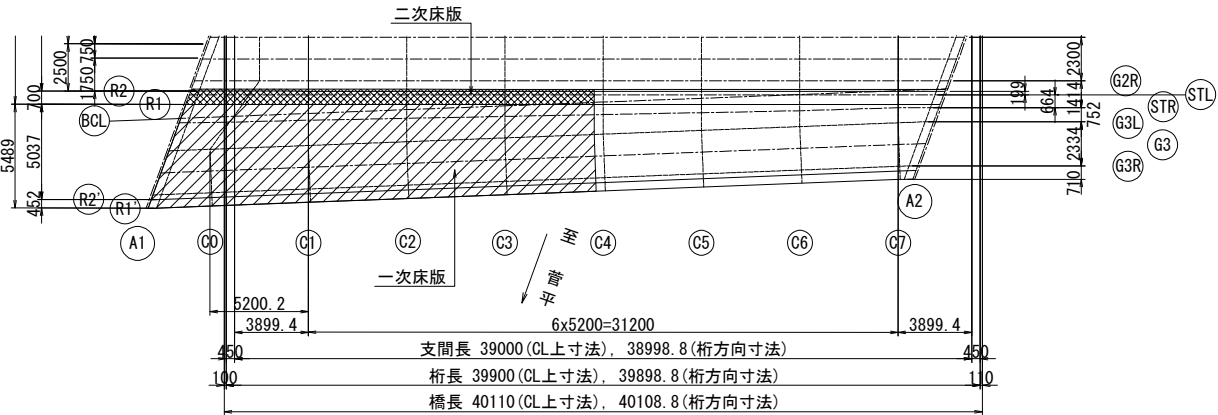


川田橋（上り線）床版配筋図（その1） S=1:100

上層鉄筋



配置図 S=1:400

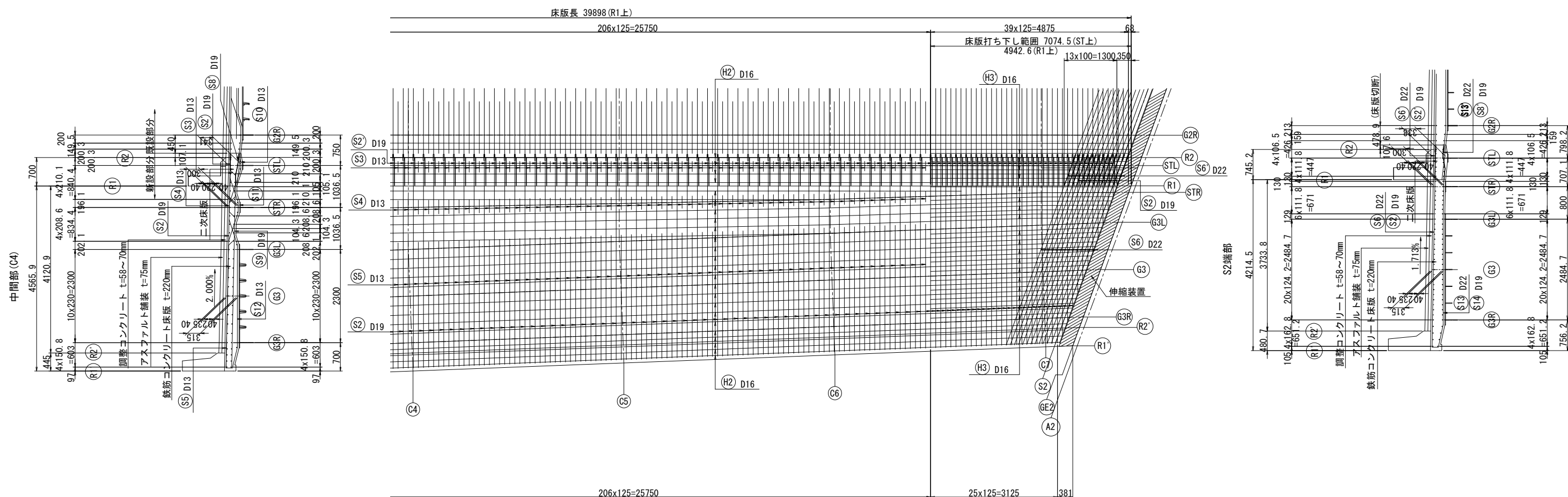


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 床版配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

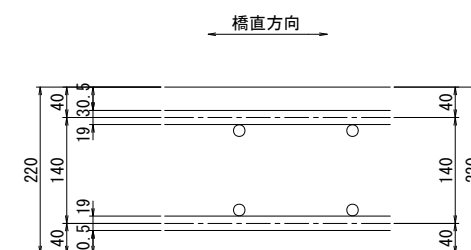


川田橋（上り線）床版配筋図（その2） S=1:100

上層鉄筋

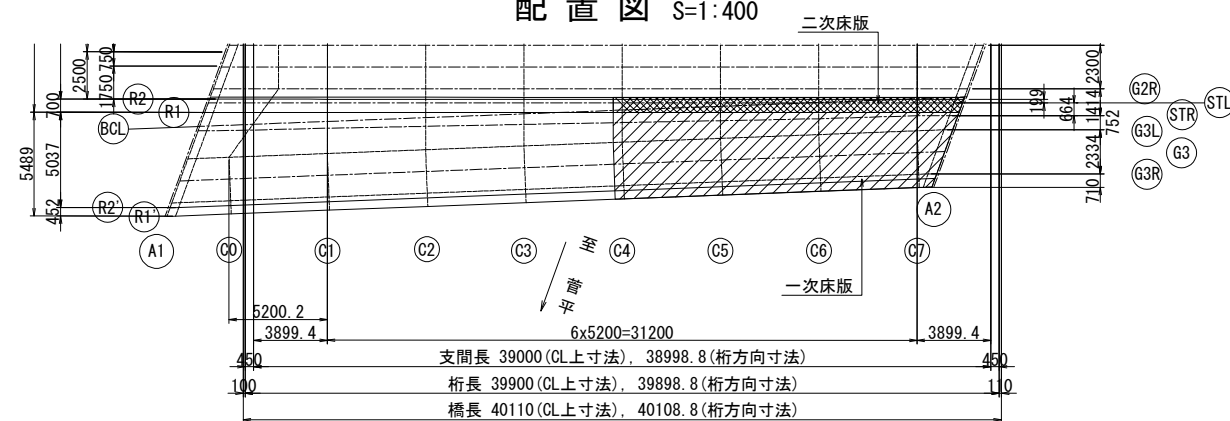


## かぶり詳細図 S=1:10



注：  
新設床版のかぶりは既設床版のかぶりに合せる

配置図 S=1:40

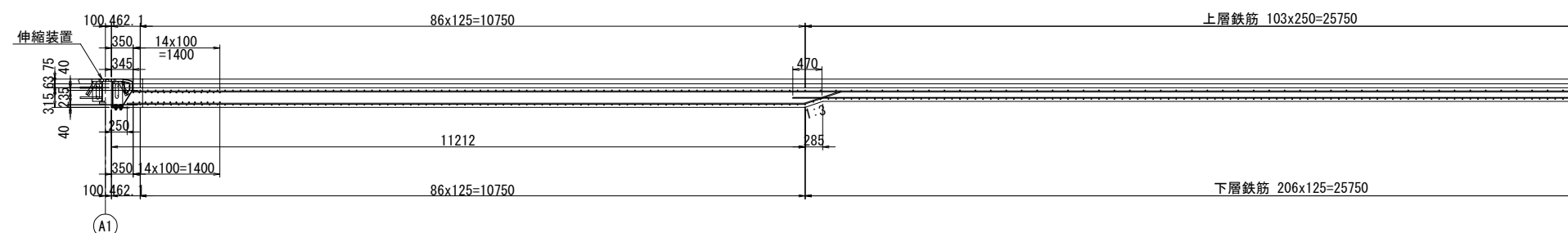
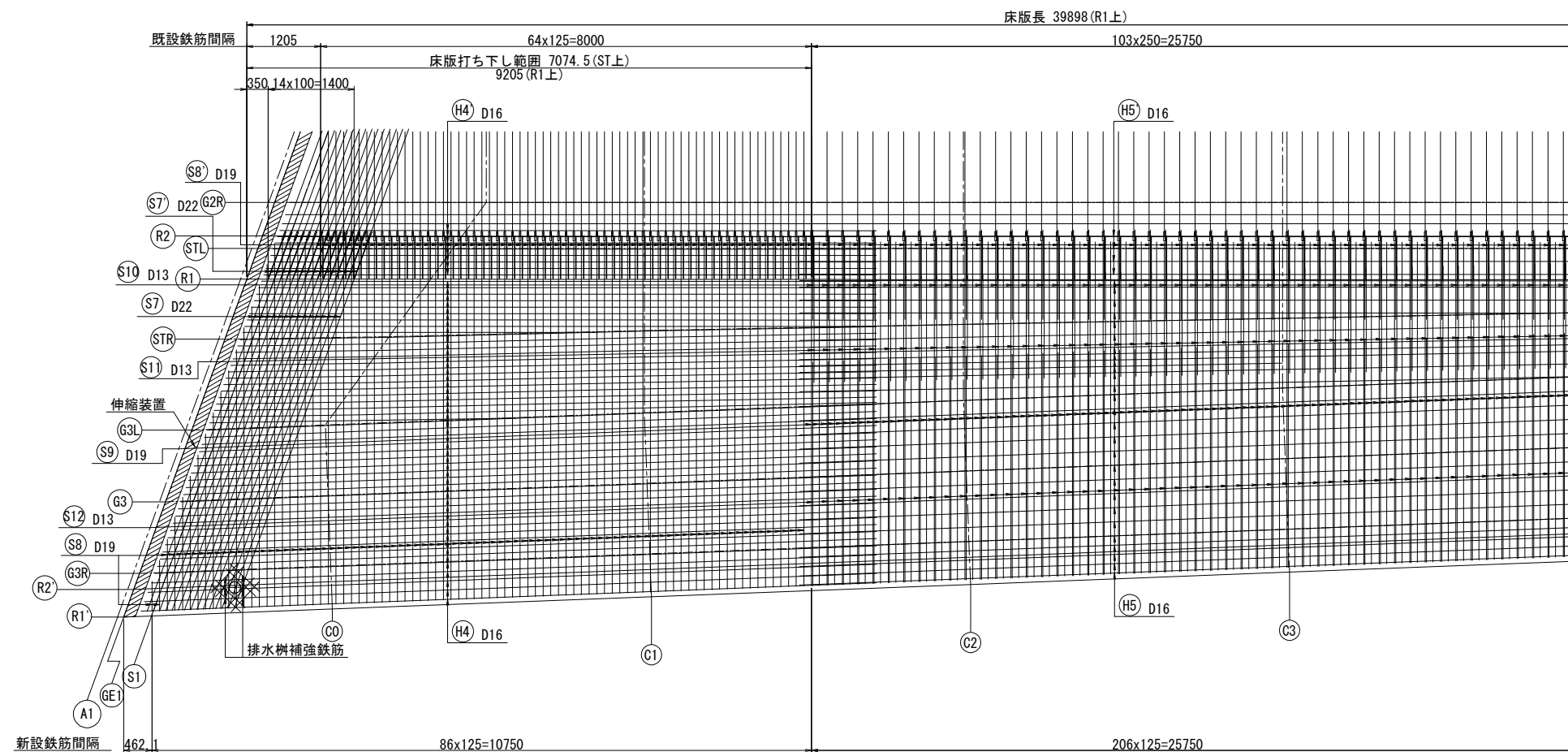
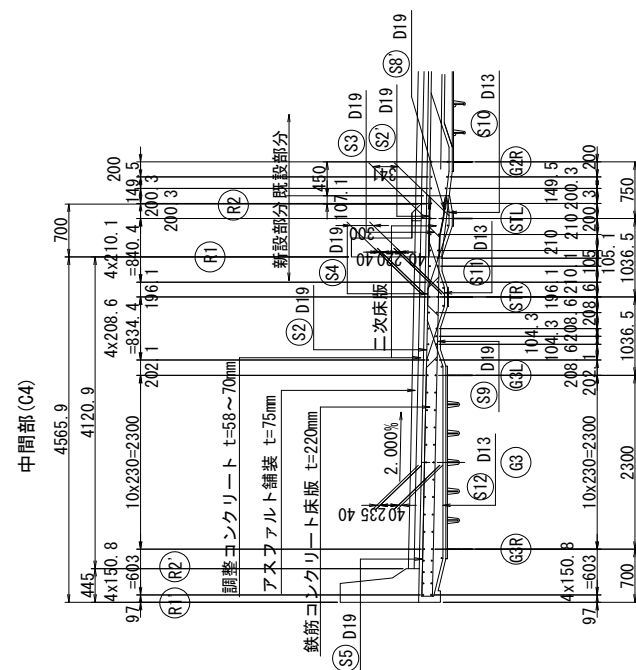
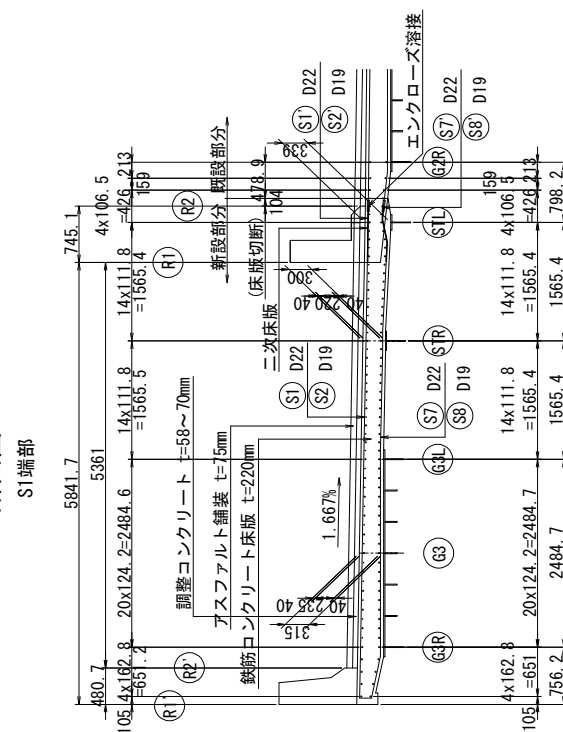


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（より線） 床版配筋図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

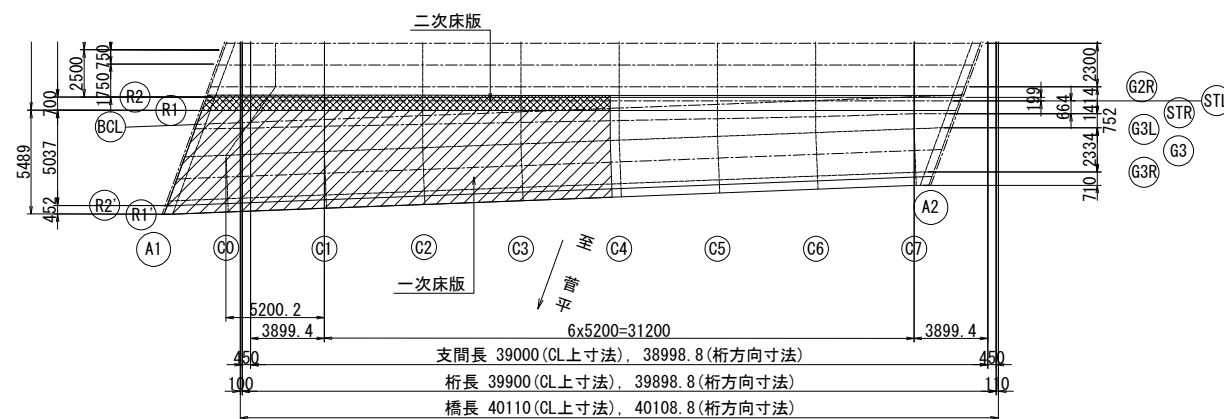


川田橋（上り線）床版配筋図（その3） S=1:100

## 下層鉄筋



配置図 S=1:400

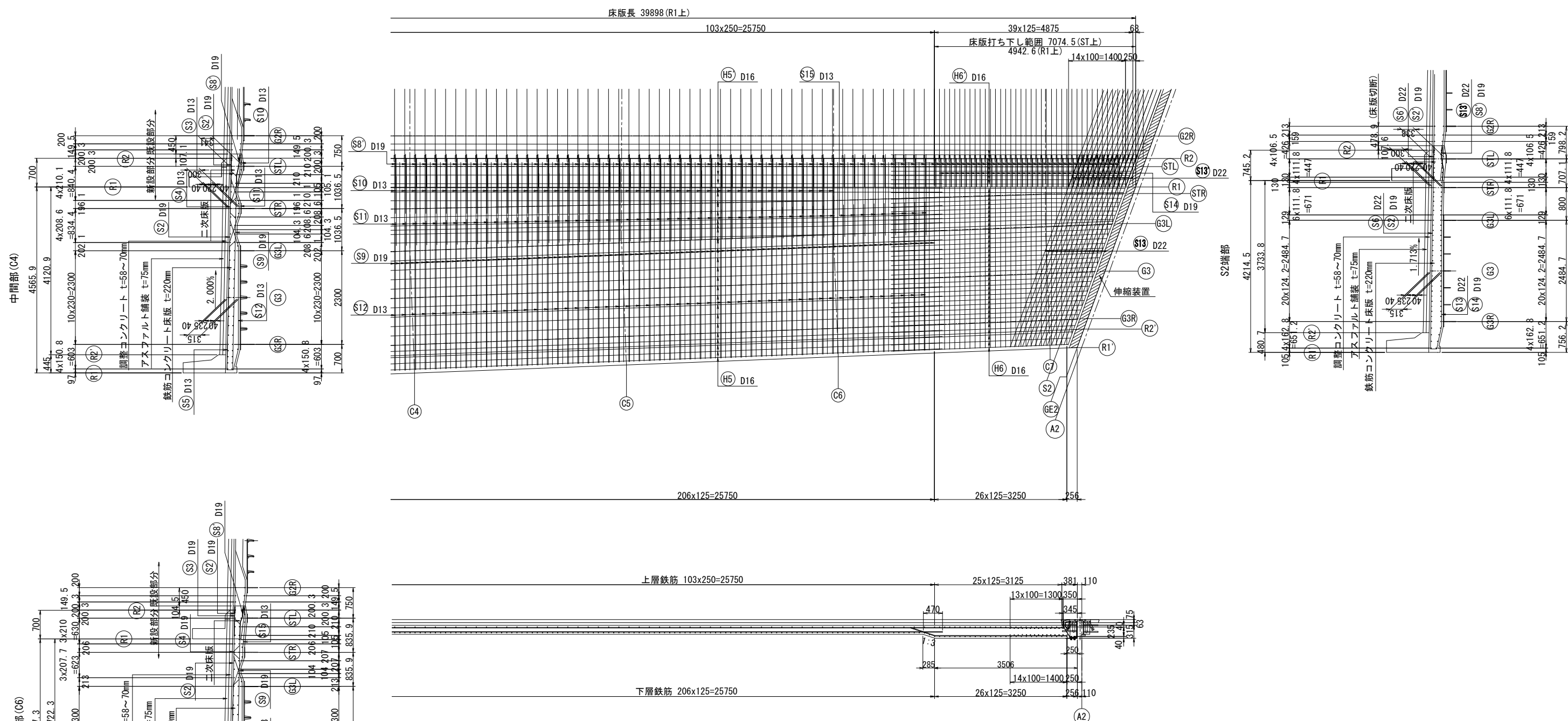


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上組工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 床版配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

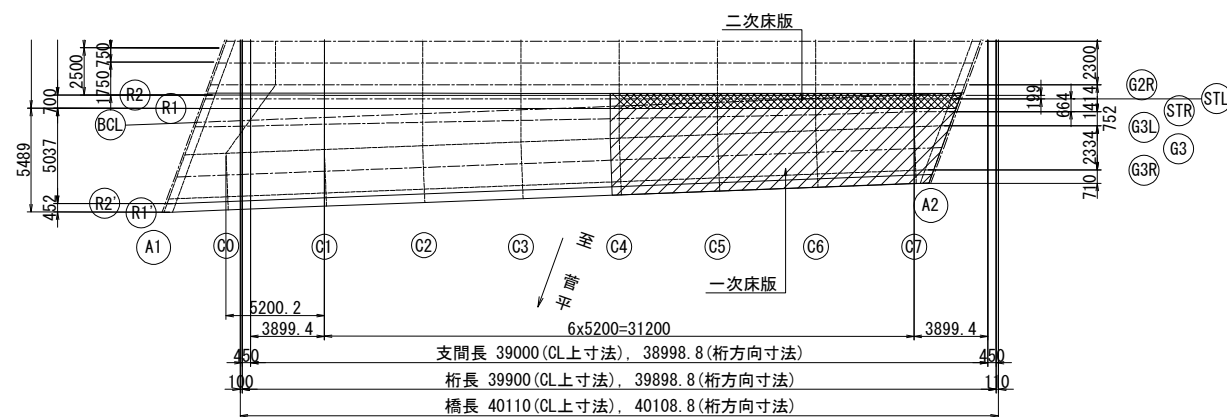


川田橋（上り線）床版配筋図（その4） S=1:100

下層鉄筋



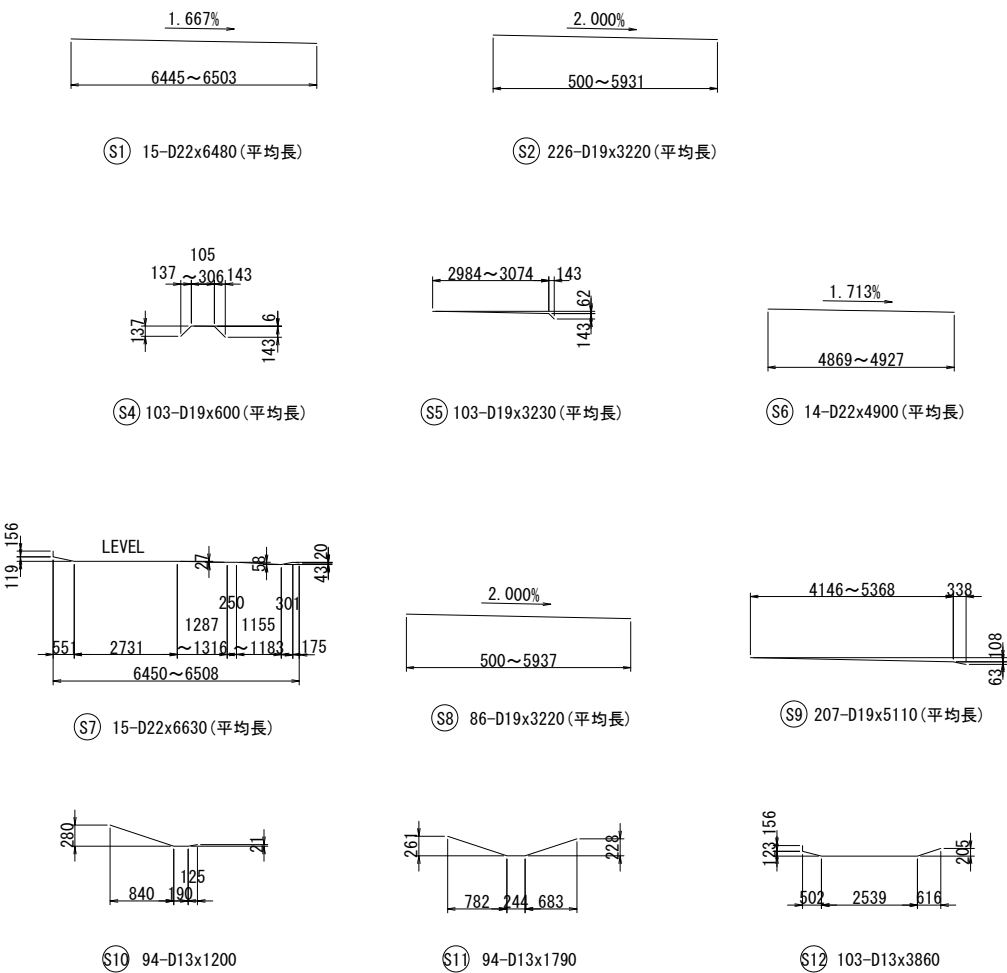
配置図 S=1:40



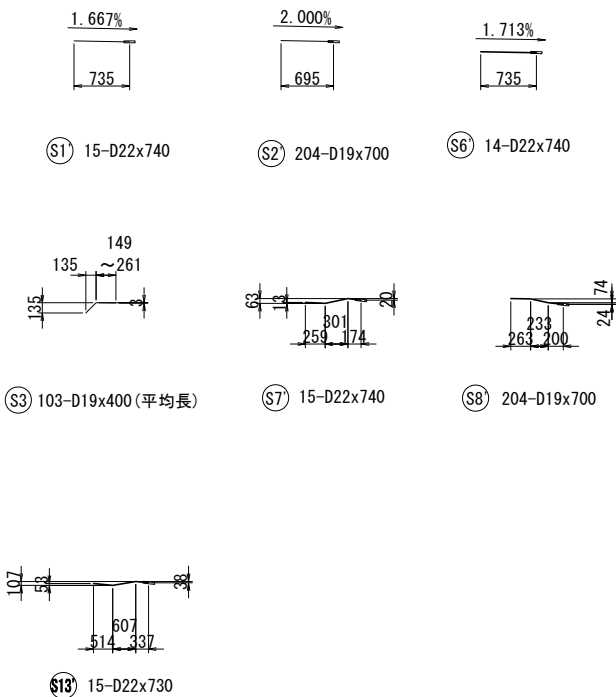
長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 床版配筋図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



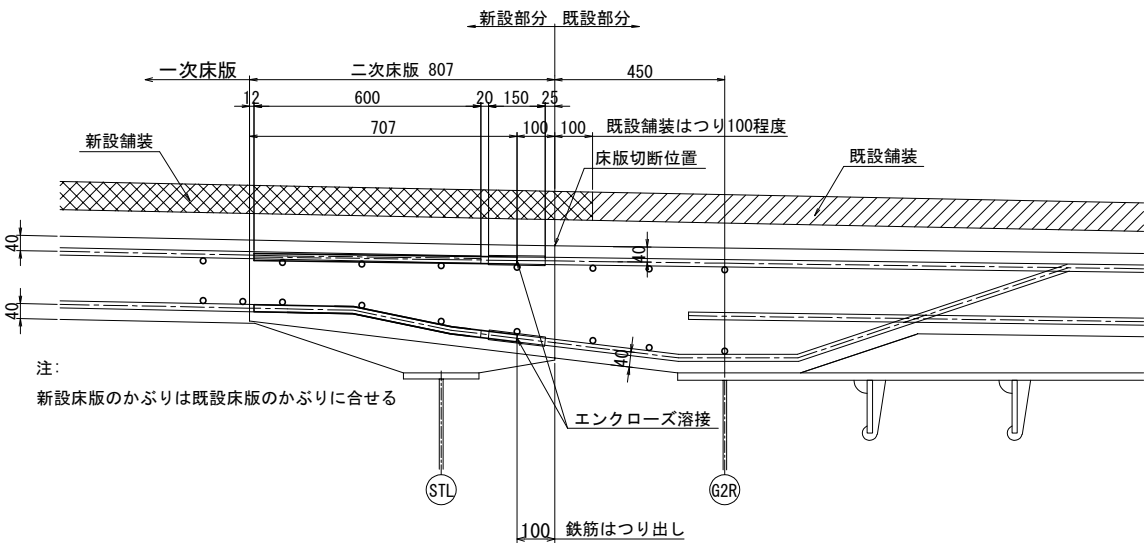
一次床版の主鉄筋詳細



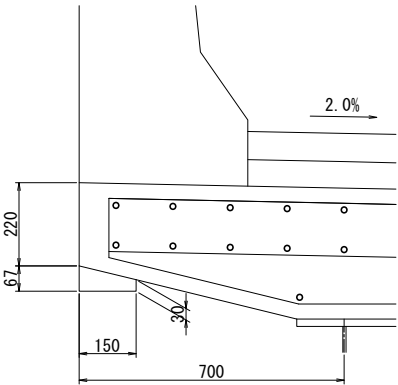
二次床版の主鉄筋詳細



新設鉄筋と既設鉄筋の継手詳細 S=1:20



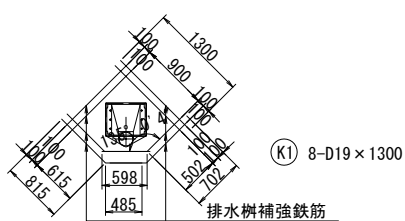
水切詳細 S=1:10



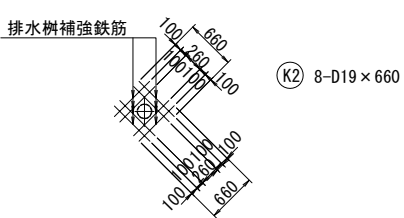
排水桝補強鉄筋詳細

(製作数: 1)

上層



下層



鉄筋曲げ加工表

$\theta \leq 90^\circ$

A diagram showing a bent bar with a circular arc of radius  $R$  and angle  $\theta$ . The bar has a horizontal segment of length  $l$  and a vertical segment of length  $a$ . The angle  $\theta$  is between the horizontal and vertical segments. The bar is shown in a bent position, with the original straight position indicated by dashed lines.

$\theta > 90^\circ$

A diagram showing a bent bar with a circular arc of radius  $R$  and angle  $\theta$ . The bar has a horizontal segment of length  $l$  and a vertical segment of length  $a$ . The angle  $\theta$  is between the horizontal and vertical segments. The bar is shown in a bent position, with the original straight position indicated by dashed lines.

$$\Delta l = 2 l - a$$

### 一 般 鉄 筋

$\theta=90^\circ$

$\theta=135^\circ$

径	R	a	$\Delta l$	R	a	$\Delta l$
D13	39	61	17	71.5	56	3
D16	48	75	21	88.0	69	4
D19	57	90	24	104.5	82	5
D22	66	104	28	121	95	5

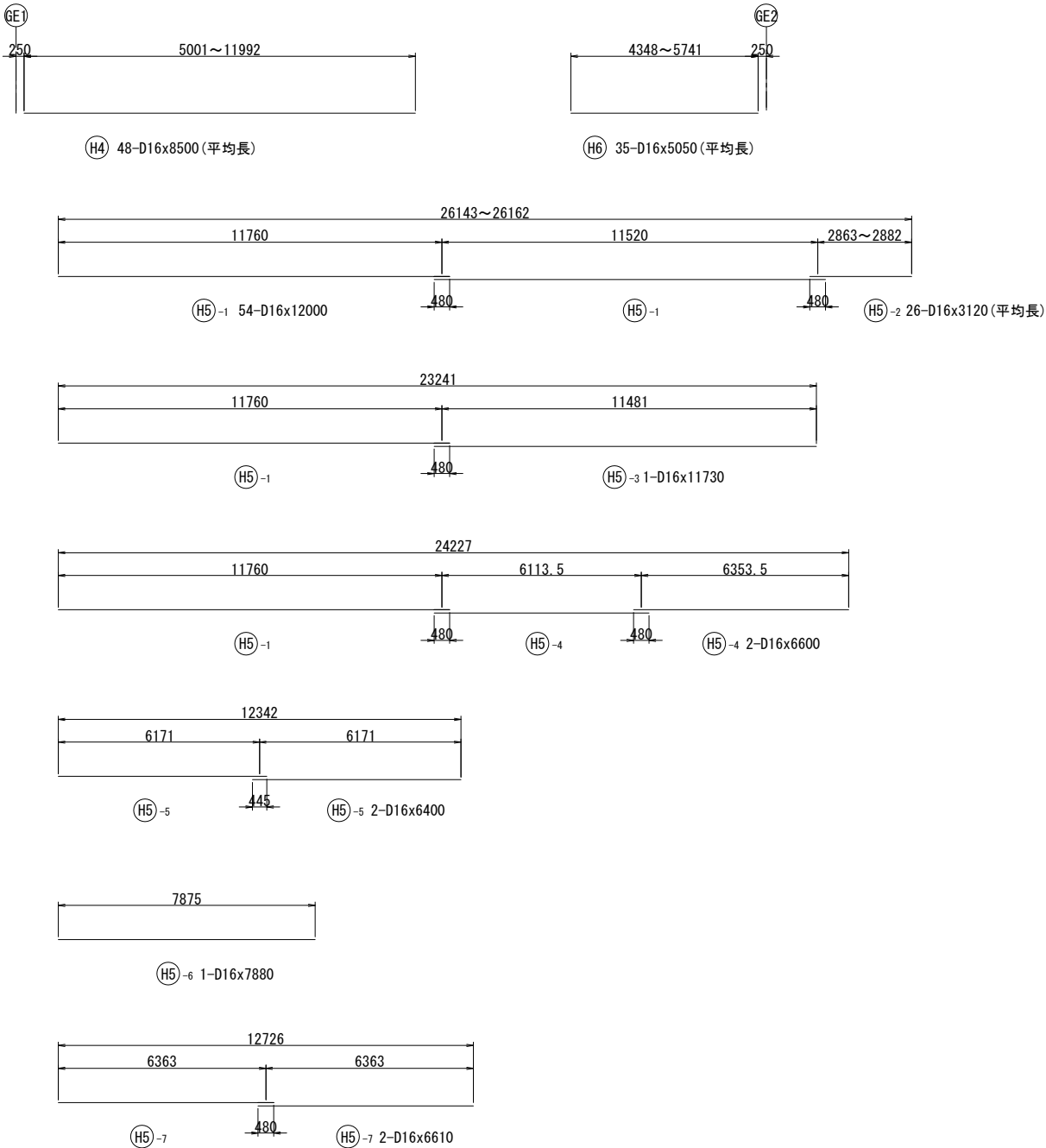
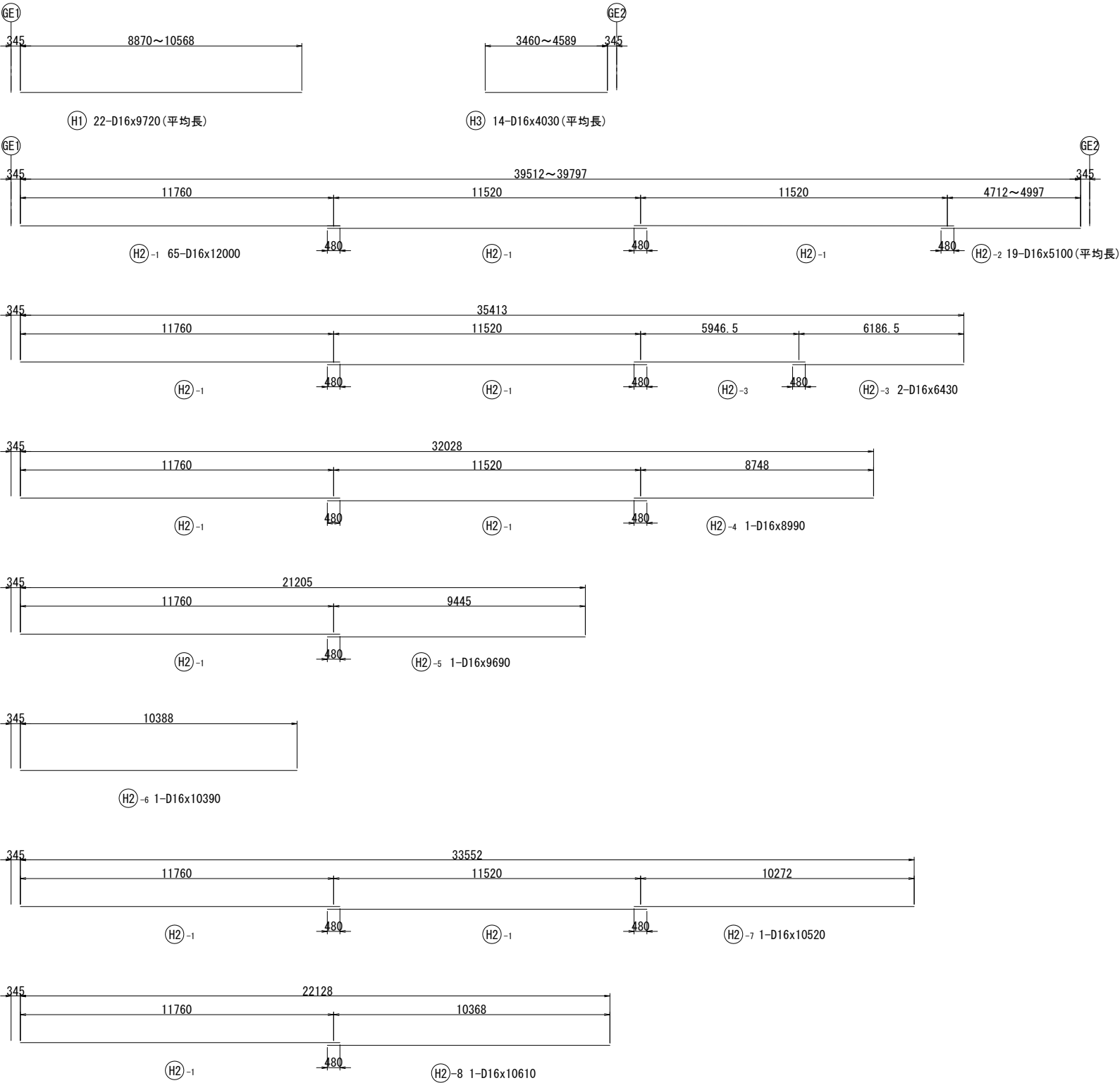
注記:  
1. 施工にあたっては事前に既設鉄筋は現地にて再度寸法を計測し確認後行なうこと。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 床版配筋図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 上り線 ） 床版配筋図（その6） S=1:200

一次床版の配力筋詳細



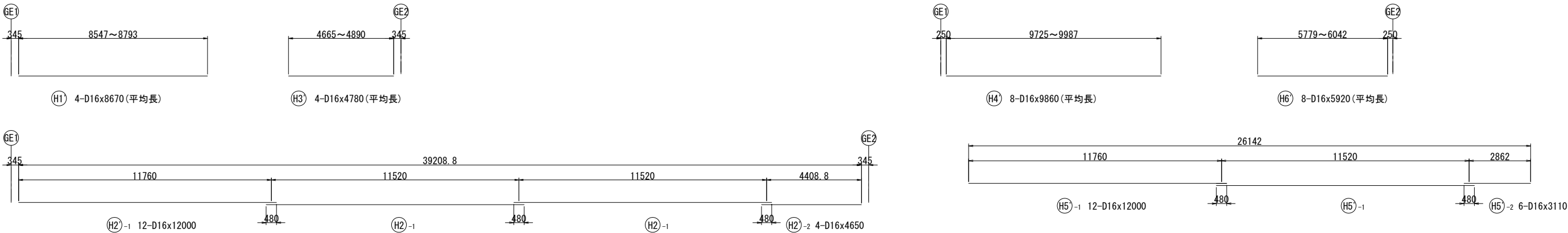
注記：  
1. 施工にあたっては事前に既設鉄筋は現地にて再度寸法を計測し確認後行なうこと。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 床版配筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 上り線 ） 床版配筋図(その7) S=1:100

二次床版の配力筋詳細 S=1:200



一次床版の鉄筋重量表

種別	径	長 さ	本数	単位重量	1本当り重量	重 量	摘 要
S 1	D22	6480	15	3.04	19.7	296	⎯⎯⎯ (平均長)
S 2	D19	3220	226	2.25	7.25	1639	⎯⎯⎯ (平均長)
S 4	D19	600	103	2.25	1.35	139	⎯⎯⎯ (平均長)
S 5	D19	3230	103	2.25	7.27	749	⎯⎯⎯ (平均長)
S 6	D22	4900	14	3.04	14.9	209	⎯⎯⎯ (平均長)
S 7	D22	6630	15	3.04	20.2	303	⎯⎯⎯ (平均長)
S 8	D19	3220	86	2.25	7.25	624	⎯⎯⎯ (平均長)
S 9	D19	5110	207	2.25	11.5	2381	⎯⎯⎯ (平均長)
S 10	D13	1200	94	0.995	1.19	112	⎯⎯⎯
S 11	D13	1790	94	0.995	1.78	167	⎯⎯⎯
S 12	D13	3860	103	0.995	3.84	396	⎯⎯⎯
S 13	D22	5040	15	3.04	15.3	230	⎯⎯⎯ (平均長)
S 14	D19	2870	36	2.25	6.46	233	⎯⎯⎯ (平均長)
S 15	D13	2000	9	0.995	1.99	18	⎯⎯⎯
H 1	D16	9720	22	1.56	15.2	334	⎯⎯⎯ (平均長)
H 2-1	D16	12000	65	1.56	18.7	1216	⎯⎯⎯
H 2-2	D16	5100	19	1.56	7.96	151	⎯⎯⎯ (平均長)
H 2-3	D16	6430	2	1.56	10.0	20	⎯⎯⎯
H 2-4	D16	8990	1	1.56	14.0	14	⎯⎯⎯
H 2-5	D16	9690	1	1.56	15.1	15	⎯⎯⎯
H 2-6	D16	10390	1	1.56	16.2	16	⎯⎯⎯
H 2-7	D16	10520	1	1.56	16.4	16	⎯⎯⎯
H 2-8	D16	10610	1	1.56	16.6	17	⎯⎯⎯
H 3	D16	4030	14	1.56	6.29	88	⎯⎯⎯ (平均長)
H 4	D16	8500	48	1.56	13.3	638	⎯⎯⎯ (平均長)
H 5-1	D16	12000	54	1.56	18.7	1010	⎯⎯⎯
H 5-2	D16	3120	26	1.56	4.87	127	⎯⎯⎯ (平均長)
H 5-3	D16	11730	1	1.56	18.3	18	⎯⎯⎯
H 5-4	D16	6600	2	1.56	10.3	21	⎯⎯⎯
H 5-5	D16	6400	2	1.56	9.98	20	⎯⎯⎯
H 5-6	D16	7880	1	1.56	12.3	12	⎯⎯⎯
H 5-7	D16	6610	2	1.56	10.3	21	⎯⎯⎯
H 6	D16	5050	35	1.56	7.88	276	⎯⎯⎯ (平均長)
K 1	D19	1300	8	2.25	2.93	23	⎯⎯⎯
K 2	D19	660	8	2.25	1.49	12	⎯⎯⎯
D22 (SD345)						1038	kg
D19 (SD345)						5800	kg
D16 (SD345)						4030	kg
D13 (SD345)						693	kg
合計						11561	kg
アスファルト舗装面積 (t=75mm)						210.1	m <sup>2</sup>
型 枠 面 積						115.1	m <sup>2</sup>
床版コンクリート体積 (A1-1A)						50.9	m <sup>3</sup>

二次床版の鉄筋重量表

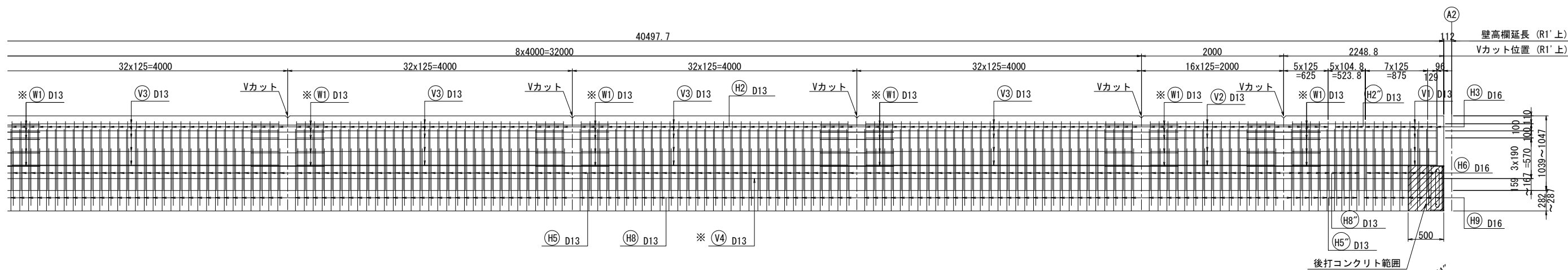
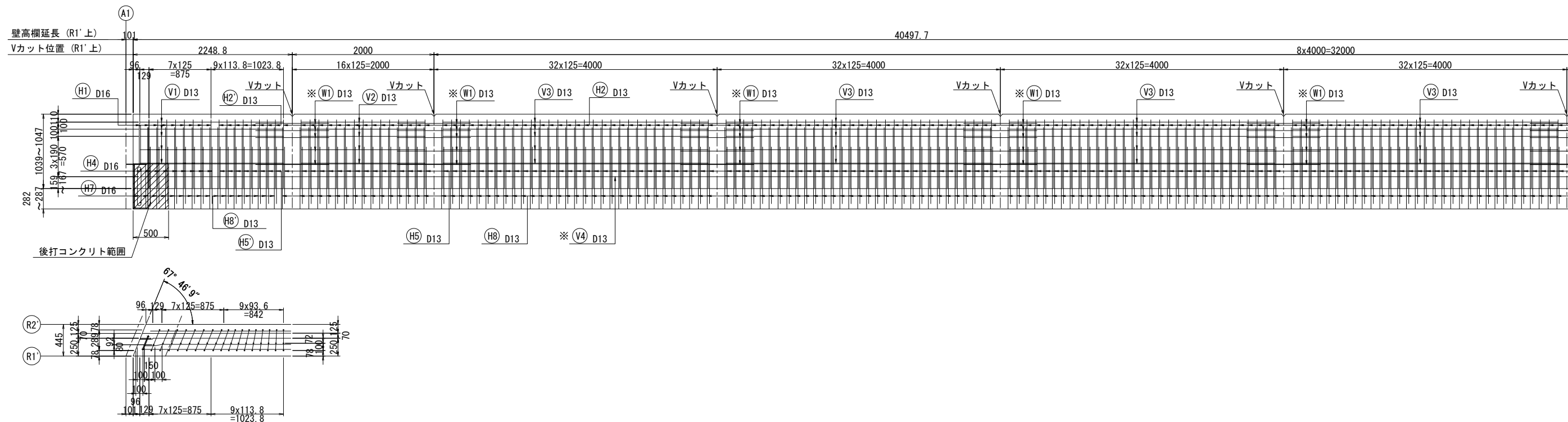
種別	径	長 さ	本数	単位重量	1本当り重量	重 量	摘 要
S 1'	D22	740	15	3.04	2.25	34	⎯⎯⎯
S 2'	D19	700	204	2.25	1.58	322	⎯⎯⎯
S 3	D19	400	103	2.25	0.9	93	⎯⎯⎯ (平均長)
S 6'	D22	740	14	3.04	2.25	32	⎯⎯⎯
S 7'	D22	740	15	3.04	2.25	34	⎯⎯⎯
S 8'	D19	700	204	2.25	1.58	322	⎯⎯⎯
S 13'	D22	730	15	3.04	2.22	33	⎯⎯⎯
H 1'	D16	8670	4	1.56	13.5	54	⎯⎯⎯ (平均長)
H 2'-1	D16	12000	12	1.56	18.7	224	⎯⎯⎯
H 2'-2	D16	4650	4	1.56	7.25	29	⎯⎯⎯
H 3'	D16	4780	4	1.56	7.46	30	⎯⎯⎯ (平均長)
H 4'	D16	9860	8	1.56	15.4	123	⎯⎯⎯ (平均長)
H 5'-1	D16	12000	12	1.56	18.7	224	⎯⎯⎯
H 5'-2	D16	3110	6	1.56	4.85	29	⎯⎯⎯
H 6'	D16	5920	8	1.56	9.24	74	⎯⎯⎯ (平均長)
D22 (SD345)						133	kg
D19 (SD345)						737	kg
D16 (SD345)						787	kg
合計						1657	kg
アスファルト舗装面積 (t=75mm)						96.0	m <sup>2</sup>
型 枠 面 積						25.9	m <sup>2</sup>
床版コンクリート体積 (A1-1B)						9.9	m <sup>3</sup>
エンクローズ溶接 (D22-59箇所、D19-408箇所)						467	箇所

注記：  
1. 施工にあたっては事前に既設鉄筋は現地にて再度寸法を計測し確認後行なうこと。

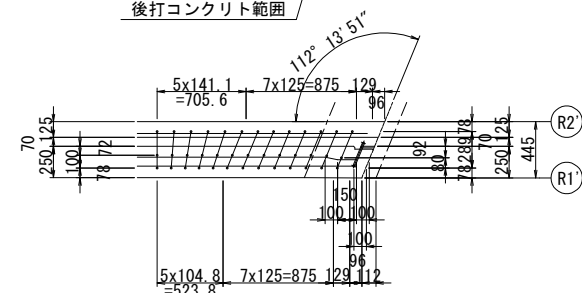
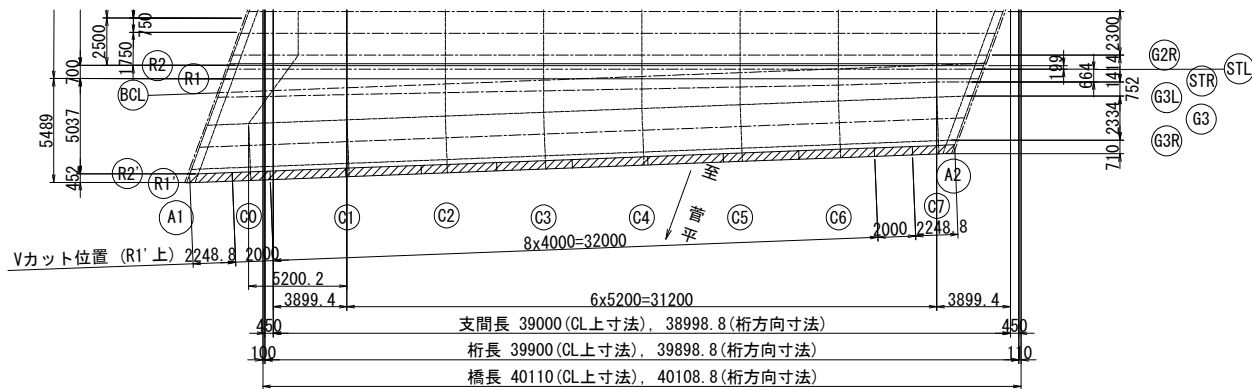
長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 床版配筋図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（上り線）壁高欄配筋図（その1） S=1:60



配置図 S=1:400



注記

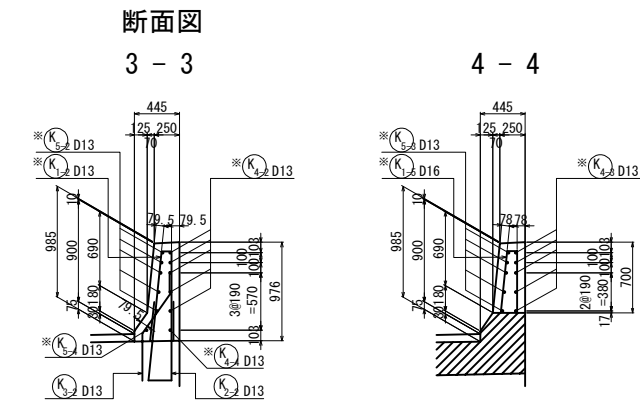
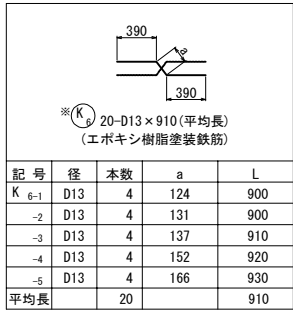
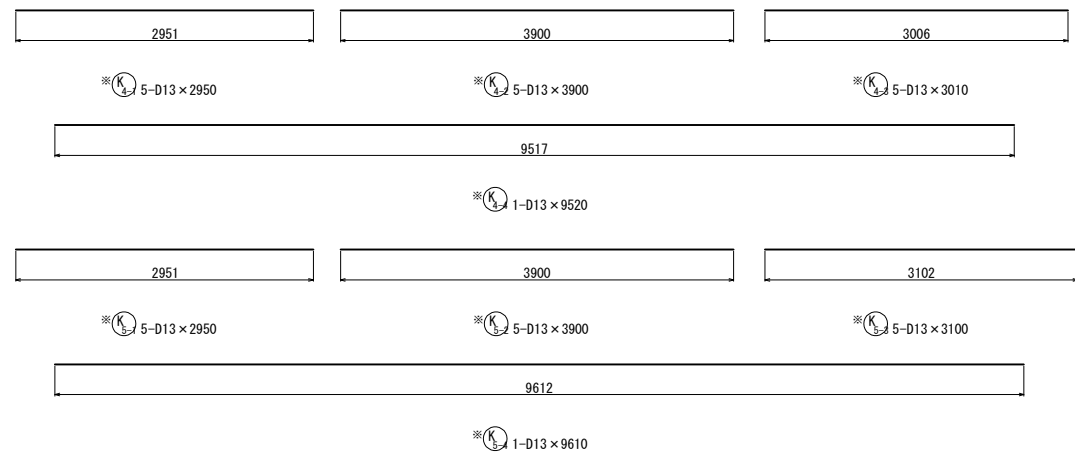
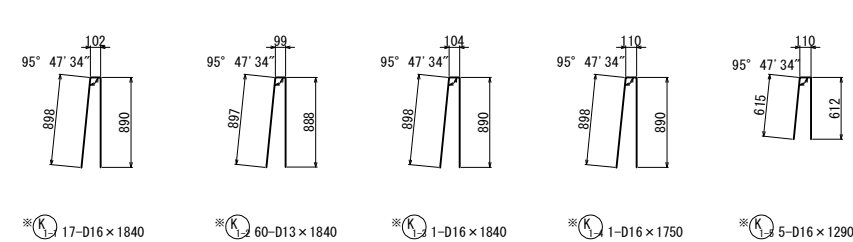
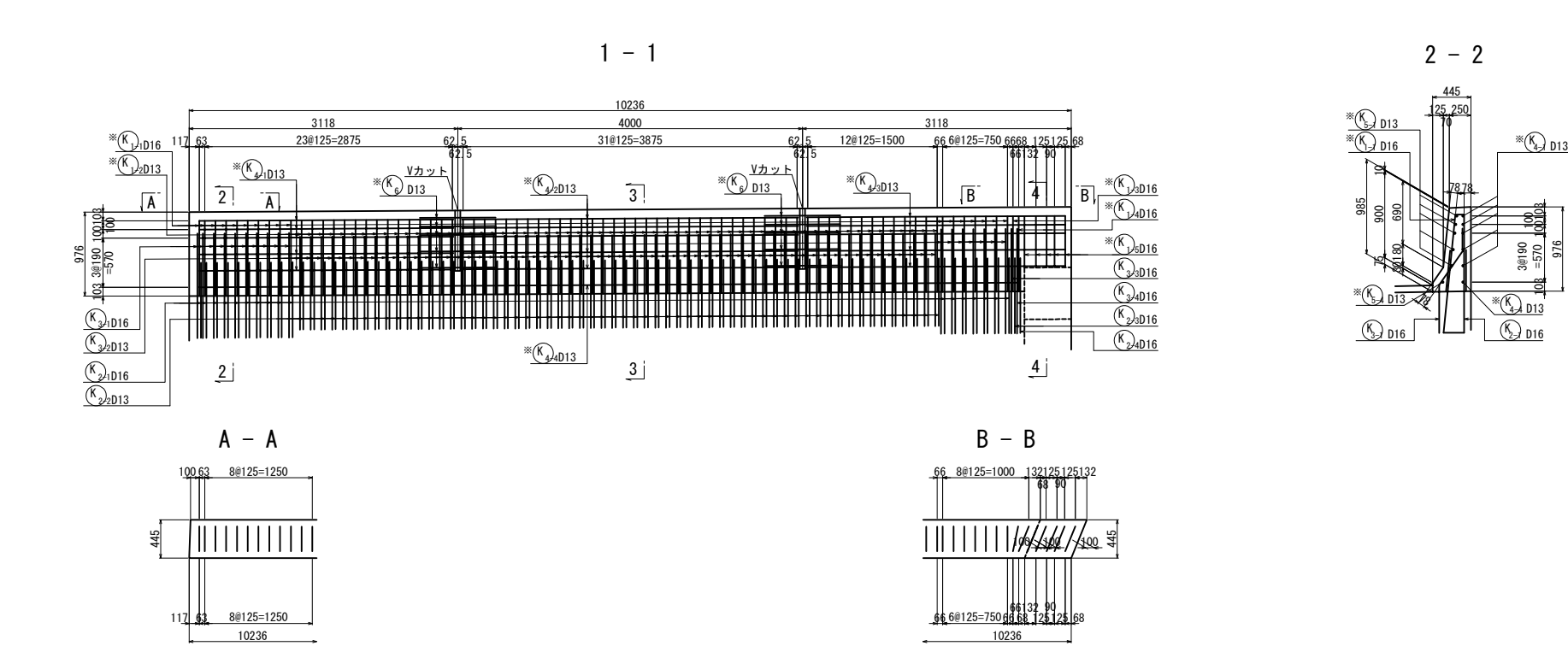
1. ※印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
2. 管路工が貫通したりその他埋設物により、かぶり70mmを確保できない場合、エポキシ樹脂鉄筋とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事	
図面の種類	川田橋（上り線） 壁高欄配筋図（その1）
縮 尺	図 示      図面番号      /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所





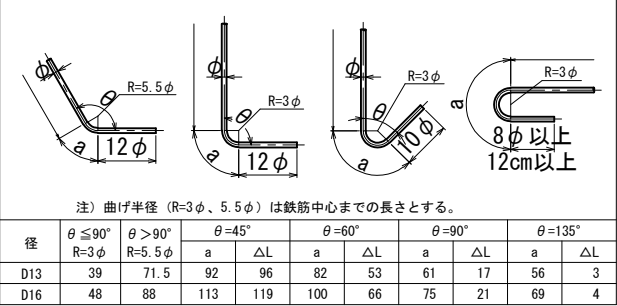




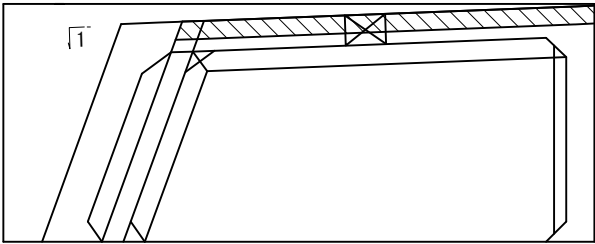
鉄筋表 (上部工施工)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
※ K 1-1	D16	1840	17	1.56	2.87	49	Λ
※ K 1-2	D13	1840	60	0.995	1.83	110	Λ
※ K 1-3	D16	1840	1	1.56	2.87	3	Λ
※ K 1-4	D16	1750	1	1.56	2.73	3	Λ
※ K 1-5	D16	1290	5	1.56	2.01	10	Λ
※ K 4-1	D13	2950	5	0.995	2.94	15	—
※ K 4-2	D13	3900	5	0.995	3.88	19	—
※ K 4-3	D13	3010	5	0.995	2.99	15	—
※ K 4-4	D13	9520	1	0.995	9.47	9	—
※ K 5-1	D13	2950	5	0.995	2.94	15	—
※ K 5-2	D13	3900	5	0.995	3.88	19	—
※ K 5-3	D13	3100	5	0.995	3.08	15	—
※ K 5-4	D13	9610	1	0.995	9.56	10	—
292 kg							
※ K 6	D13	910	20	0.995	0.905	18	—(平均長)
18 kg							
鉄筋質量集計 (SD345)							
総質量							
D13							227
D16							65
合 計							292
エポキシ樹脂塗装鉄筋							D13 18
合 計							18

鉄筋曲げ加工表



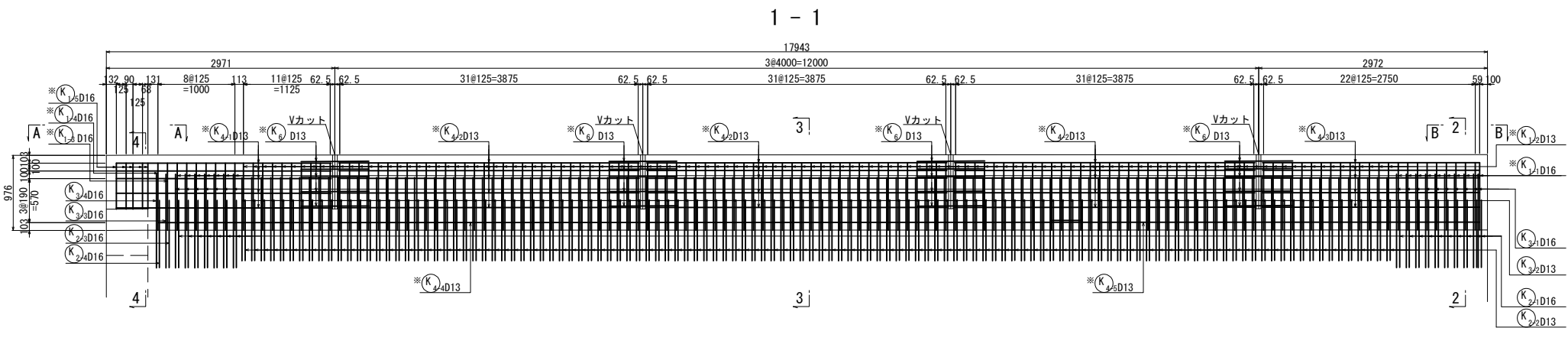
位置図



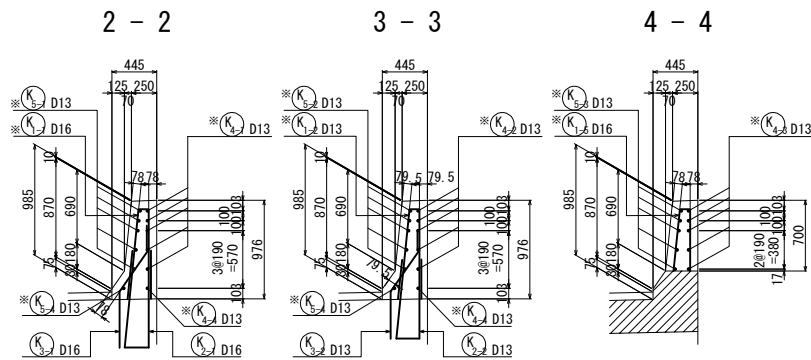
※印は、上部工施工を示す。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） A1橋台壁高欄配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

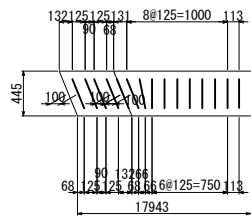




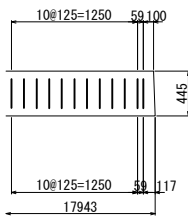
断面図



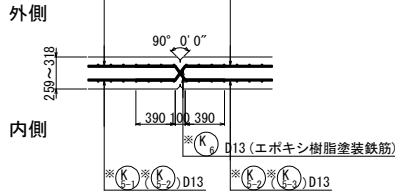
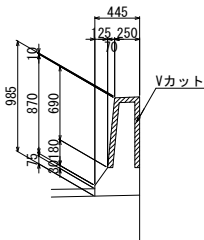
A - A



B - B



Vカット詳細図



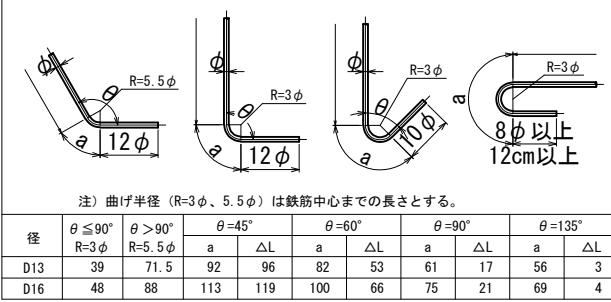
※(K<sub>6</sub>) 40-D13×910 (平均長)  
(エポキシ樹脂塗装鉄筋)

記号	径	本数	a	L
K <sub>6-1</sub>	D13	8	124	900
-2	D13	8	131	900
-3	D13	8	137	910
-4	D13	8	152	920
-5	D13	8	166	930
平均長		40		910

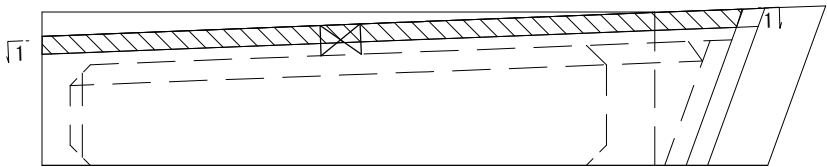
鉄筋表 (上部工施工)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
※ K 1-1	D16	1840	17	1.56	2.87	49	⧻
※ K 1-2	D13	1840	120	0.995	1.83	220	⧻
※ K 1-3	D16	1840	1	1.56	2.87	3	⧻
※ K 1-4	D16	1750	1	1.56	2.73	3	⧻
※ K 1-5	D16	1290	5	1.56	2.01	10	⧻
※ K 4-1	D13	2780	5	0.995	2.77	14	—
※ K 4-2	D13	3900	15	0.995	3.88	58	—
※ K 4-3	D13	2820	5	0.995	2.81	14	—
※ K 4-4	D13	12000	1	0.995	11.9	12	—
※ K 4-5	D13	6100	1	0.995	6.07	6	—
※ K 5-1	D13	2680	5	0.995	2.67	13	—
※ K 5-2	D13	3900	15	0.995	3.88	58	—
※ K 5-3	D13	2820	5	0.995	2.81	14	—
※ K 5-4	D13	10000	1	0.995	9.95	10	—
※ K 5-5	D13	8000	1	0.995	7.96	8	—
						492	kg
※ K 6	D13	910	40	0.995	0.905	36	—
						36	kg
鉄筋質量集計 (SD345)							総質量
						D13	427 kg
						D16	65 kg
						合計	492 kg
エポキシ樹脂塗装鉄筋							
						D13	36 kg
						合計	36 kg

鉄筋曲げ加工表



位置図



※印は、上部工施工を示す。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） A2橋台壁高欄配筋図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



支 承 詳 細 図 (その1) S=1:10

A1 (G1) A

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 固 定 支 承	
最 大 反 力			Rmax	3206 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	3108 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	1972 kN
最 大 活 荷 重 反 力			RL-i	1234 kN
最 水 平	大 力	橋 軸 方 向	Rheq1	1430 kN
		橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	683 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	592 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (RL-i/2)			δ cl	0.53 mm
最 大 回 転 角			Σ α e	0.0041 rad
水 変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	Δ L1	0 mm
	地 震 時	橋 軸 方 向	Δ Le1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2	0 mm

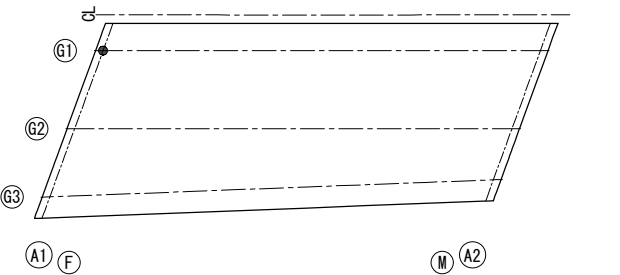
材 料 表

部 番	品 名	材 質	個 数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	44.8	Ge=1.0N/mm <sup>2</sup>
②	上 沓	SM490A	1	106.0	
③	ベースプレート	SM490A	1	470.4	
④	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	123.0	
⑤	せん断キー	SM490A	1	14.0	
⑥	アンカーボルト・ナット	SD345	8	89.6	
⑦	リングプレートボルト	-----	16	16.8	座金付
8	上沓取付ボルト	-----	8	7.6	六角穴付ボルト
⑨	せん断キー	SM490A	2	1.4	
⑩	取付プレート	SM490A	1	124.1	
⑪	セットボルト	-----	10	9.5	座金付
全質量 (kg)				1007.2	

注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. 部番 8 は、黒色酸化皮膜処理とする  
注) 3. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 4. 下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること  
注) 5. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 6. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑦ リングプレートボルト M33x100 強度区分 8.8 平座金 (F35)
- ⑧ 上沓取付ボルト M36x55 強度区分 10.9
- ⑪ セットボルト M33x85 強度区分 8.8 平座金 (F35)

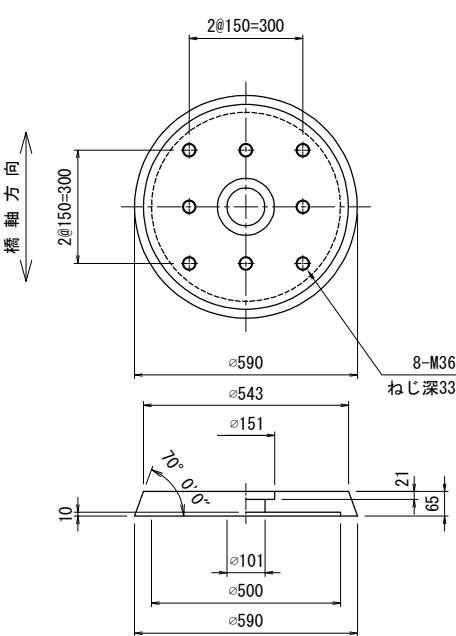
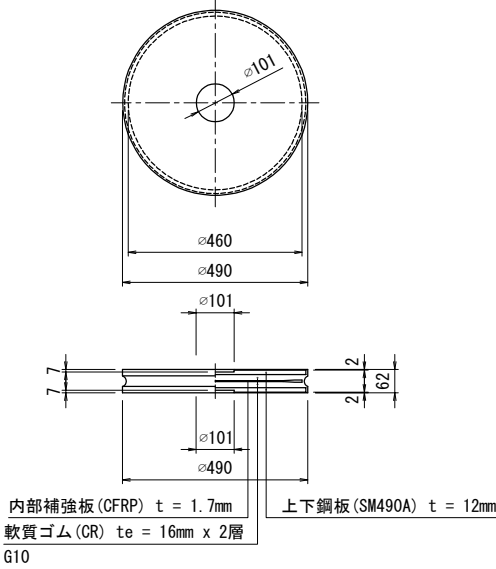
位 置 図



長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事				
図面の種類	川田橋（上り線） 支承詳細図（その1） A1 (G1) A			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP

② 上 沓 SM490A

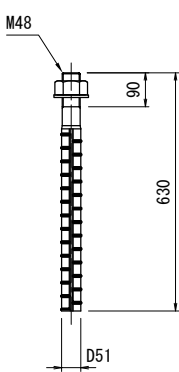
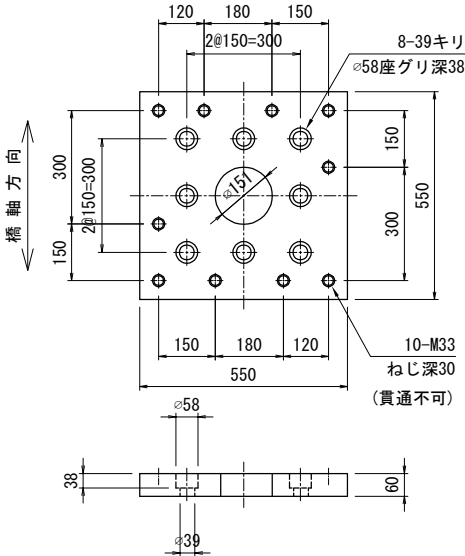
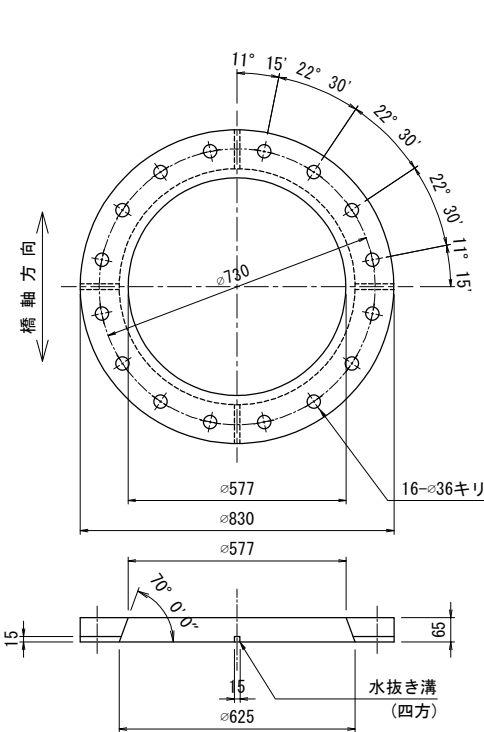
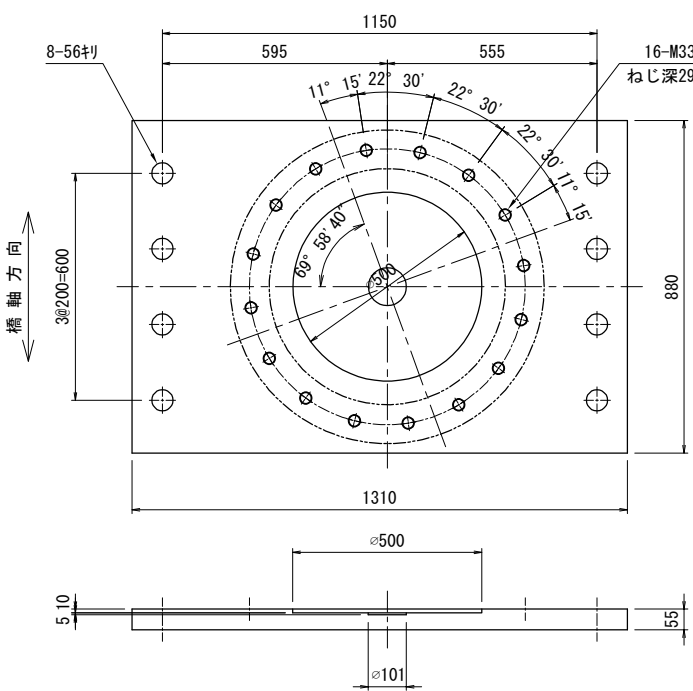


③ ベースプレート SM490A

④ 拘束リングプレート  
SM490A又はS35CN相当以上

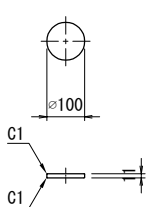
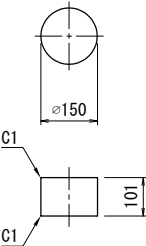
⑩ 取付プレート SM490A

⑥ アンカーボルト SD345



⑤ せん断キー SM490A

⑨ せん断キー SM490A





支 承 詳 細 図 (その2) S=1:10

A1 (G2) A

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 固 定 支 承	
最 大 反 力			Rmax	2648 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	1632 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	1972 kN
最 大 活 荷 重 反 力			R <sub>L-i</sub>	913 kN
最 水 平	大 力	橋 軸 方 向	Rheq1	1430 kN
		橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	683 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	592 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (R <sub>L-i</sub> /2)			δ c <sub>l</sub>	0.59 mm
最 大 回 転 角			Σ α e	0.0037 rad
水 変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	Δ L1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	Δ L2	0 mm
	地 震 時	橋 軸 方 向	Δ Le1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2	0 mm

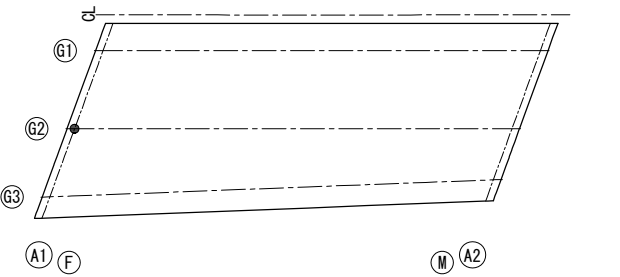
材 料 表

部 番	品 名	材 質	個 数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	34.8	Ge=1.0N/mm <sup>2</sup>
②	上 沓	SM490A	1	110.4	
③	ベースプレート	SM490A	1	455.0	
④	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	123.0	
⑤	せん断キー	SM490A	1	14.0	
⑥	アンカーボルト・ナット	SD345	8	89.6	
⑦	リングプレートボルト	-----	16	16.8	座金付
8	上沓取付ボルト	-----	8	7.6	六角穴付ボルト
⑨	せん断キー	SM490A	2	0.8	
⑩	取付プレート	SM490A	1	124.1	
⑪	セットボルト	-----	10	9.5	座金付
全質量 (kg)				985.6	

注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. 部番 8 は、黒色酸化皮膜処理とする  
注) 3. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 4. 下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること  
注) 5. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 6. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑦ リングプレートボルト M33x100 強度区分 8.8 平座金 (F35)
- ⑧ 上沓取付ボルト M36x55 強度区分 10.9
- ⑪ セットボルト M33x85 強度区分 8.8 平座金 (F35)

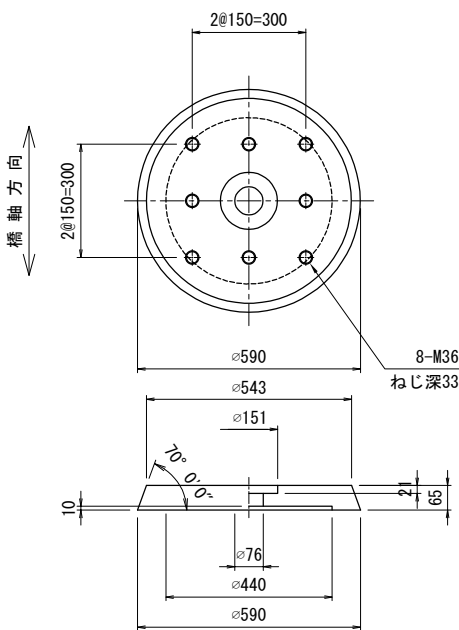
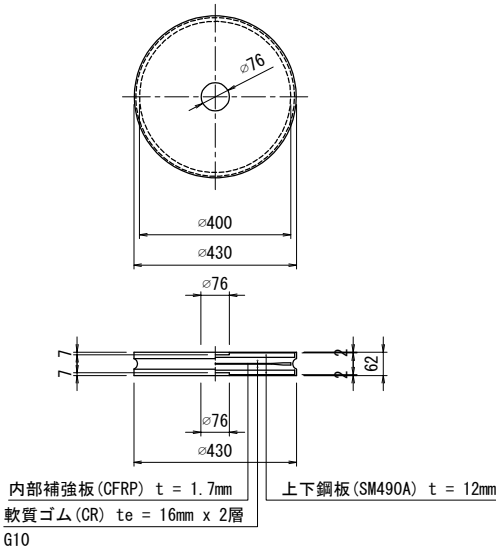
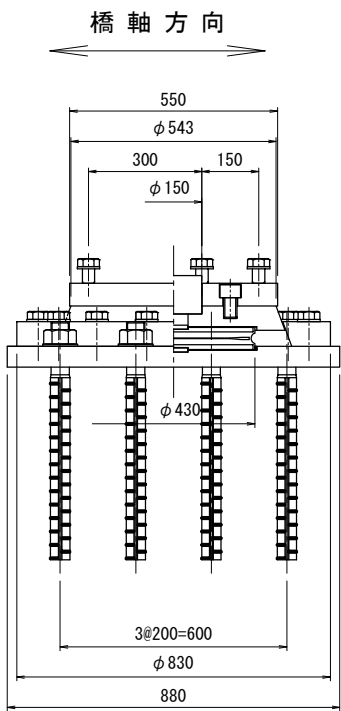
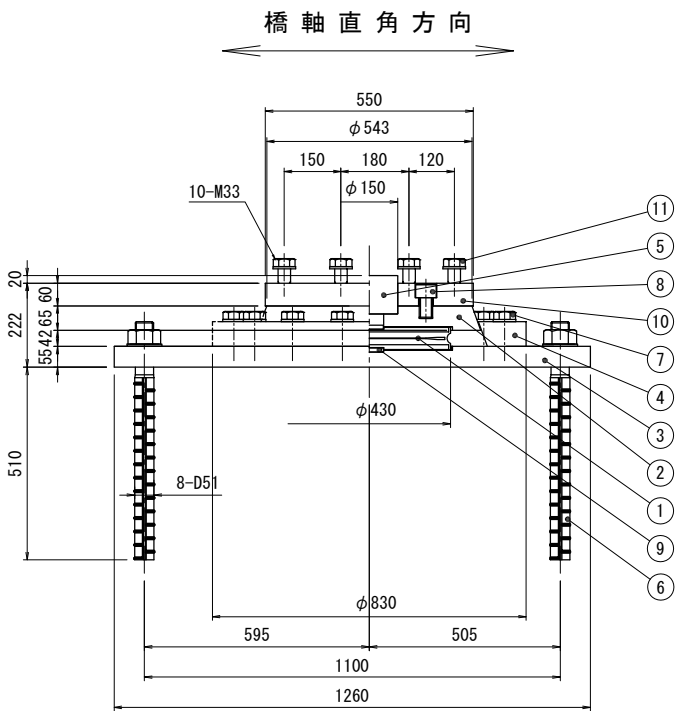
位 置 図



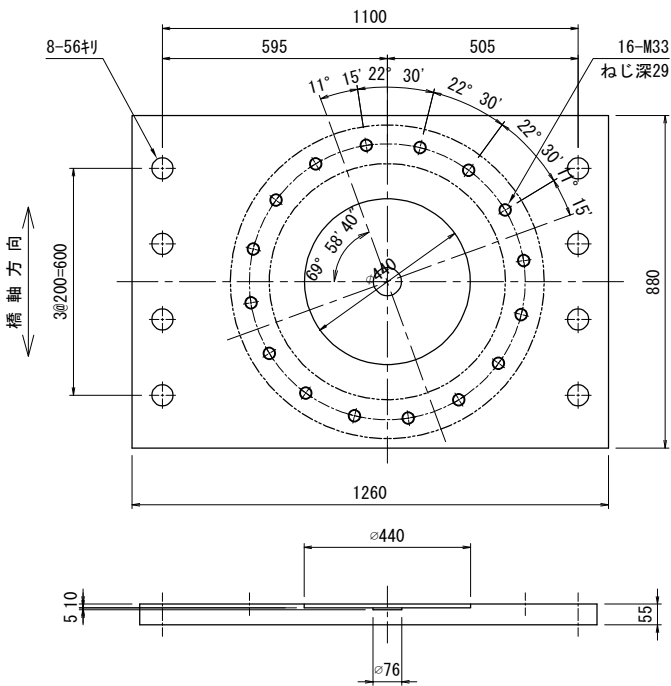
長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事				
図面の種類	川田橋 (上り線) 支承詳細図 (その2) A1 (G2) A			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP

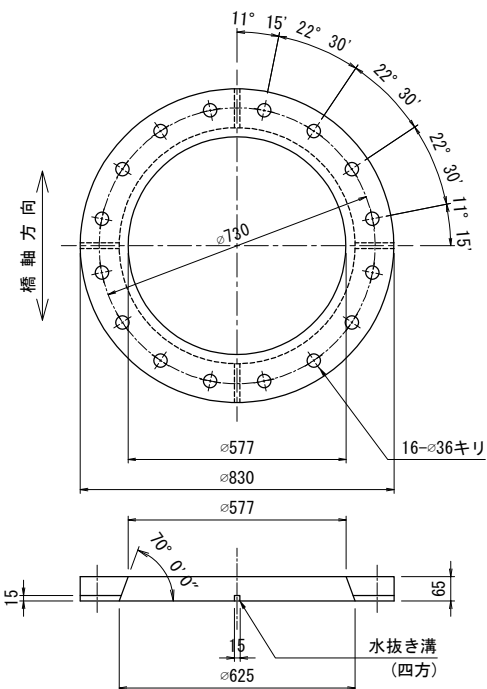
② 上 沓 SM490A



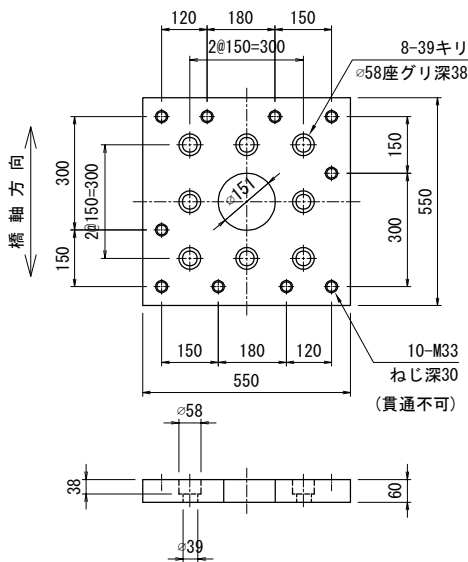
③ ベースプレート SM490A



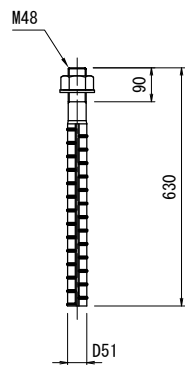
④ 拘束リングプレート SM490A又はS35CN相当以上



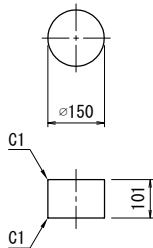
⑩ 取付プレート SM490A



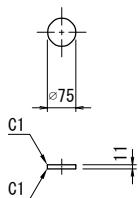
⑥ アンカーボルト SD345



⑤ せん断キー SM490A



⑨ せん断キー SM490A





支 承 詳 細 図 (その3) S=1:10  
A1 (G3) A

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 固 定 支 承	
最 大 反 力			Rmax	2648 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	1632 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	1972 kN
最 大 活 荷 重 反 力			RL-i	913 kN
最 水 平	大 力	橋 軸 方 向	Rheq1	1430 kN
		橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	683 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	592 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (RL-i/2)			δ cl	0.59 mm
最 大 回 転 角			Σ α e	0.0037 rad
水 変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	Δ L1	0 mm
	地 震 時	橋 軸 方 向	Δ Le1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2	0 mm

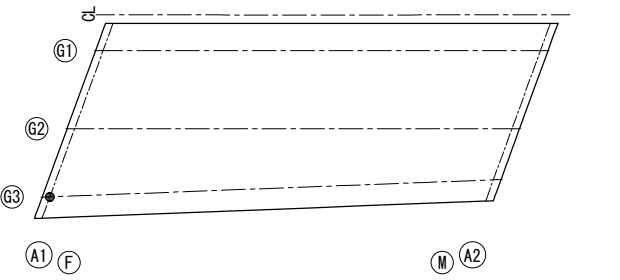
材 料 表

部 番	品 名	材 質	個 数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	34.8	Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A	1	110.4	
③	ベースプレート	SM490A	1	398.0	
④	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	123.0	
⑤	せん断キー	SM490A	1	14.0	
⑥	アンカーボルト・ナット	SD345	8	89.6	
⑦	リングプレートボルト	-----	16	16.8	座金付
8	上沓取付ボルト	-----	8	7.6	六角穴付ボルト
⑨	せん断キー	SM490A	2	0.8	
⑩	取付プレート	SM490A	1	124.1	
⑪	セットボルト	-----	10	9.5	座金付
全質量 (kg)				928.6	

注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. 部番 8 は、黒色酸化皮膜処理とする  
注) 3. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 4. 下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること  
注) 5. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 6. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

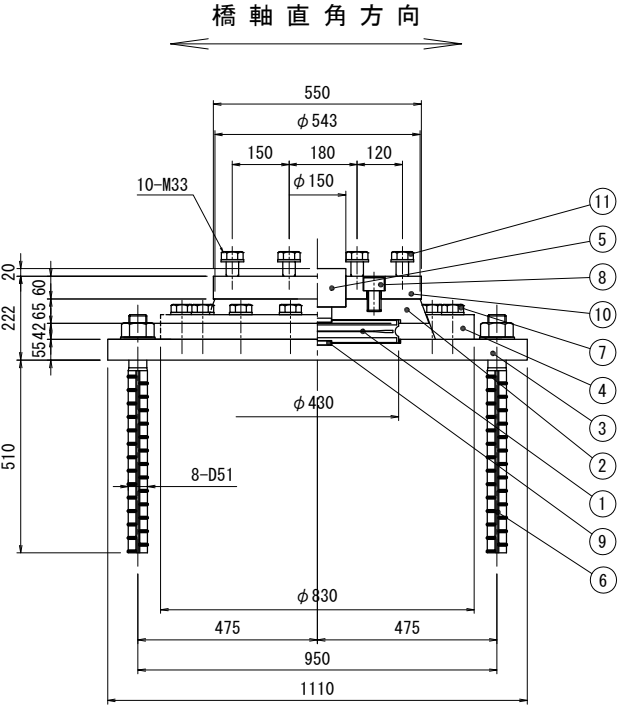
- ⑦ リングプレートボルト M33x100 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑧ 上沓取付ボルト M36x55 強度区分 10.9
- ⑪ セットボルト M33x85 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

位 置 図

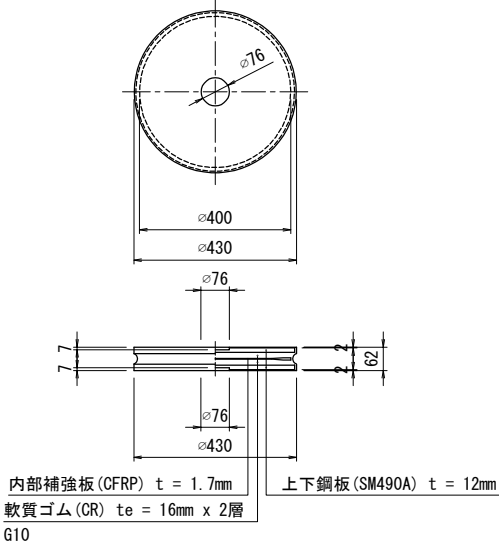
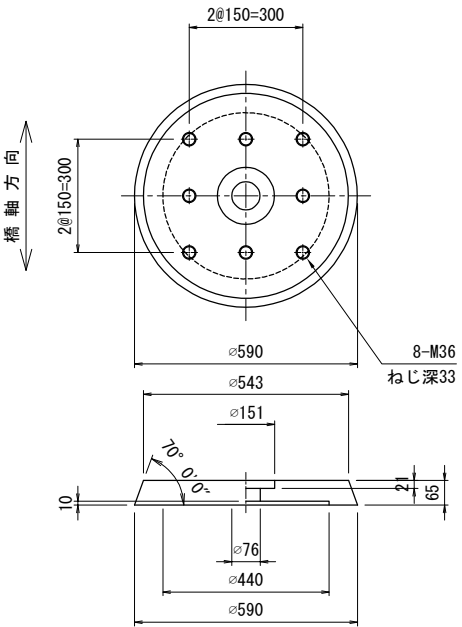


長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	川田橋 (上り線) 支承詳細図 (その3) A1 (G3) A		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

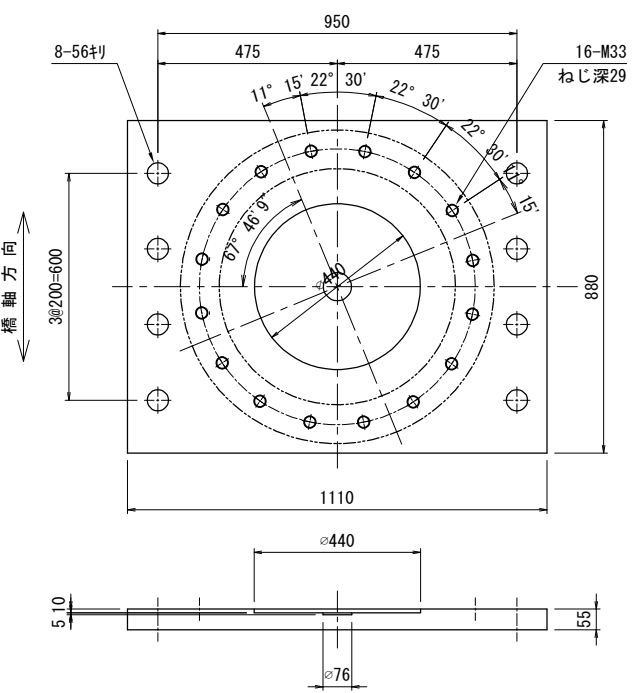
① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP



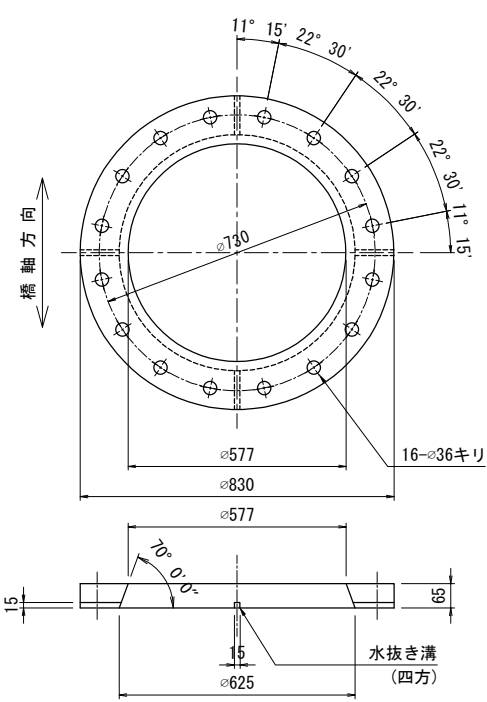
② 上 沓 SM490A



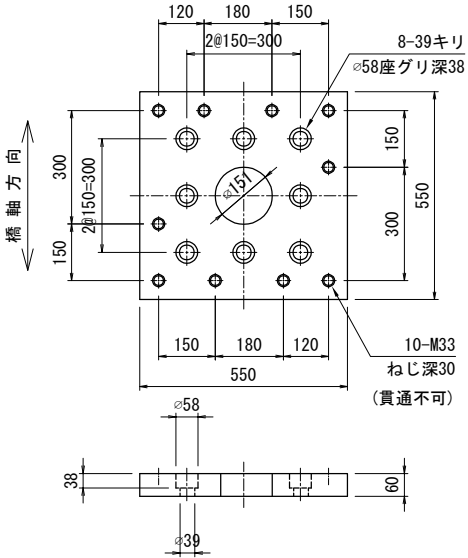
③ ベースプレート SM490A



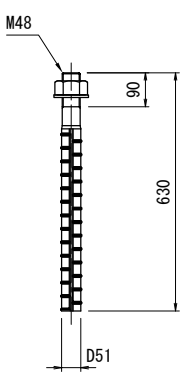
④ 拘束リングプレート SM490A又はS35CN相当以上



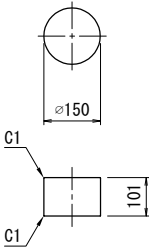
⑩ 取付プレート SM490A



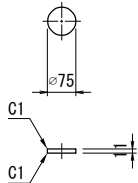
⑥ アンカーボルト SD345



⑤ せん断キー SM490A



⑨ せん断キー SM490A





支 承 詳 細 図 (その4) S=1:10  
A2 (G1, G2) C

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 可 動 支 承	
最 大 反 力			Rmax	3341 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	1957 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	2131 kN
最 大 活 荷 重 反 力			RI	1259 kN
最 水 平	大 力	橋 軸 方 向	Rheq1	350 kN
		橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	747 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	639 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (R <sub>L+1</sub> /2)			δ c1	0.55 mm
最 大 回 転 角			Σ α e	0.0040 rad
変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	Δ L1	44.1 mm
	地 震 時	橋 軸 方 向	Δ Le1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2	0 mm

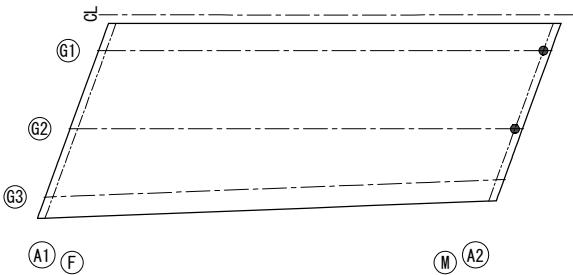
材 料 表

部番	品 名	材 質	個数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧すべりゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	45.5	CR Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A+SUS316	1	181.2	
③	ベースプレート	SM490A	1	441.9	
④	固定枠プレート	SM490A	1	148.2	
⑤	サイドブロック	SM490A	2	27.2	
⑥	せん断キー	SM490A	1	5.7	
⑦	アンカーボルト・ナット	SD345	4	44.4	
⑧	サイドブロックボルト	-----	10	8.9	座金付
⑨	固定枠ボルト	-----	8	4.6	座金付
⑩	セットボルト	-----	4	4.8	座金付
全質量 (kg)				912.4	

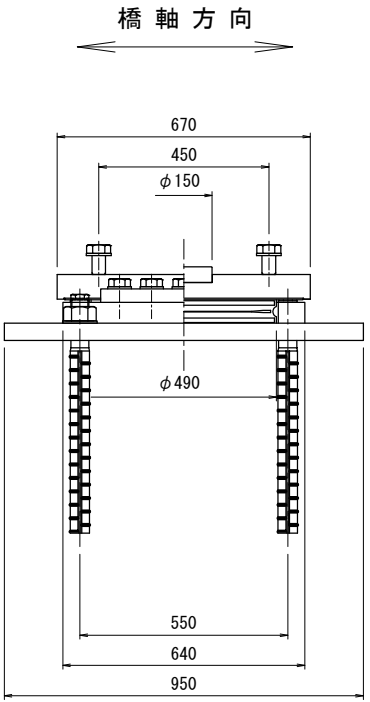
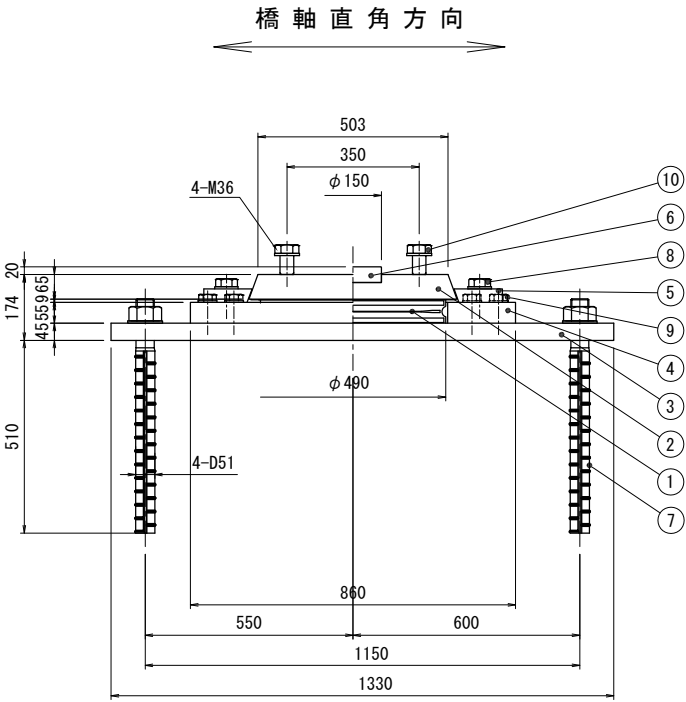
注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 3. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 4. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑧ サイドブロックボルト M33x75 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑨ 固定枠ボルト M27x85 強度区分 8.8  
平座金 (22H)
- ⑩ セットボルト M36x90 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

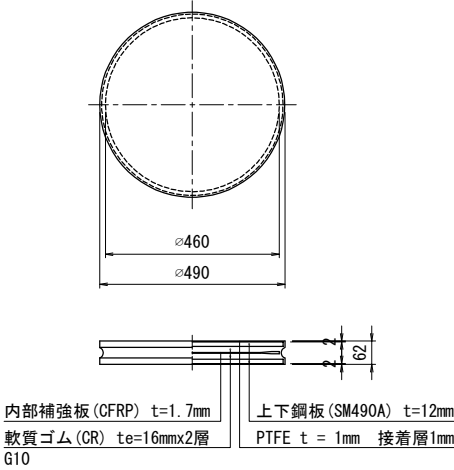
位 置 図



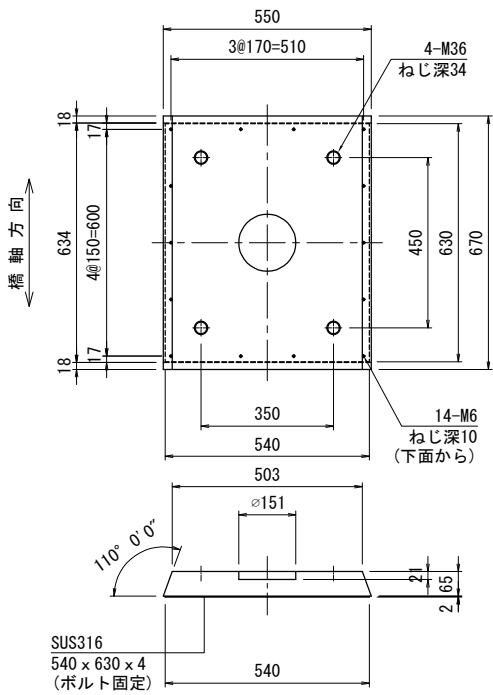
長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	川田橋 (上り線) 支承詳細図 (その4) A2 (G1, G2) C		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



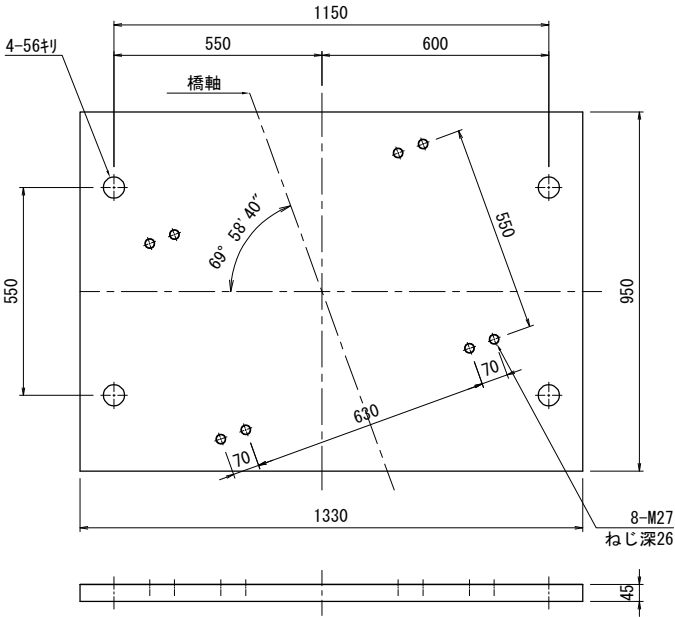
① 高面圧ゴム支承  
CR+SM490A+CFRP+PTFE



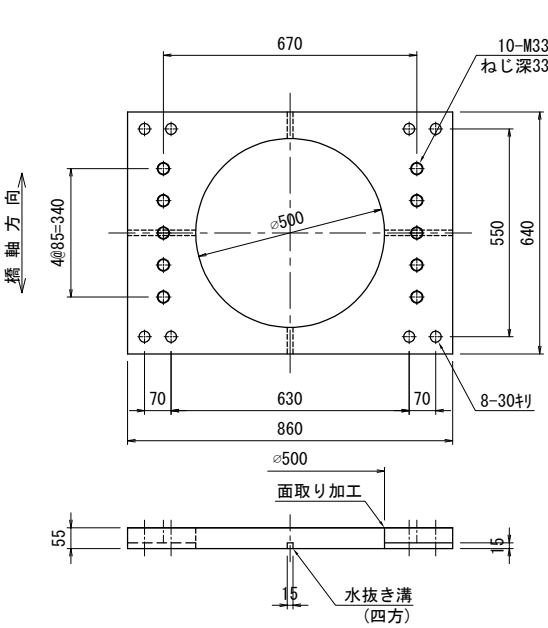
② 上 沓 SM490A+SUS316



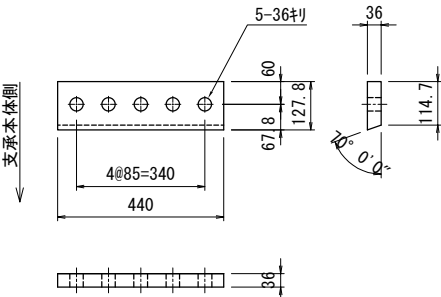
③ ベースプレート SM490A



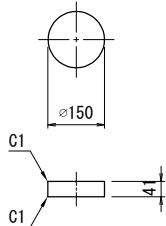
④ 固定枠プレート SM490A



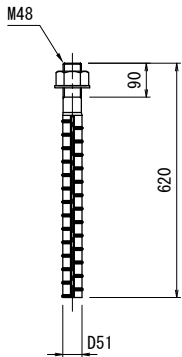
⑤ サイドブロック SM490A



⑥ せん断キー SM490A



⑦ アンカーボルト SD345





支 承 詳 細 図 (その5) S=1:10  
A2 (G3) C

設 計 条 件

支 承 条 件		レ ベ ル 2 対 応 可 動 支 承	
最 大 反 力	Rmax	3341	kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用	Rmax2	1957	kN
最 大 死 荷 重 反 力	Rd	2131	kN
最 大 活 荷 重 反 力	RI	1259	kN
最 水 平 力	Rheq1	350	kN
大 橋 軸 方 向	Rheq2	747	kN
橋 軸 直 角 方 向	Ru	639	kN
上 向 き の 地 震 力	$\delta c1$	0.55	mm
照 査 荷 重 時 変 位 量 (R <sub>L+1</sub> /2)	$\sum \alpha e$	0.0040	rad
最 大 回 転 角	変 位 量	常 時	橋 軸 方 向
橋 軸 方 向		橋 軸 方 向	$\Delta L1$
橋 軸 直 角 方 向		橋 軸 直 角 方 向	$\Delta Le1$
地 震 時			$\Delta Le2$
			0 mm

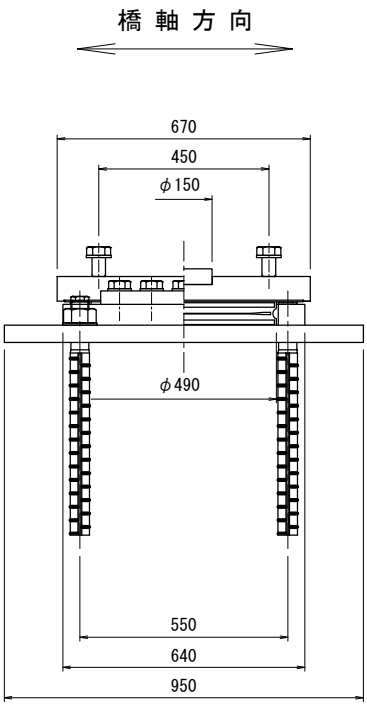
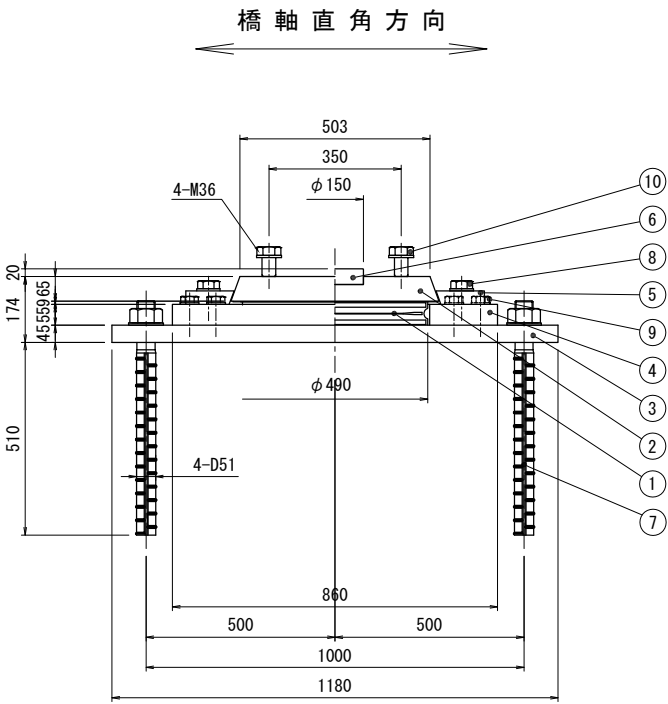
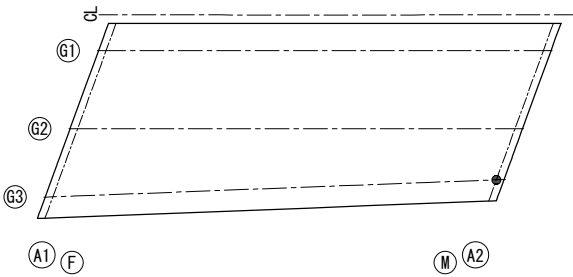
材 料 表

部番	品 名	材 質	個数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧すべりゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	45.5	CR Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A+SUS316	1	181.2	
③	ベースプレート	SM490A	1	391.6	
④	固定枠プレート	SM490A	1	148.2	
⑤	サイドブロック	SM490A	2	27.2	
⑥	せん断キー	SM490A	1	5.7	
⑦	アンカーボルト・ナット	SD345	4	44.4	
⑧	サイドブロックボルト	-----	16	8.9	座金付
⑨	固定枠ボルト	-----	16	4.6	座金付
⑩	セットボルト	-----	8	4.8	座金付
全質量 (kg)				862.1	

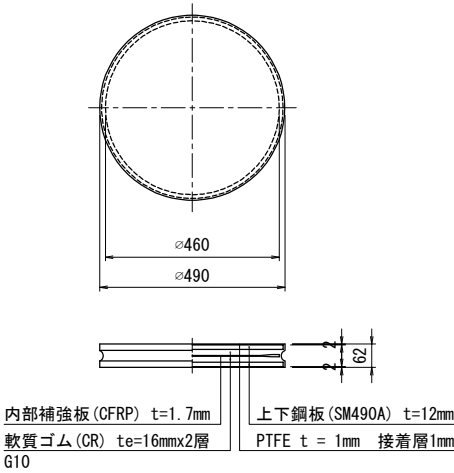
注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 3. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 4. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑧ サイドブロックボルト M33x75 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑨ 固定枠ボルト M27x85 強度区分 8.8  
平座金 (22H)
- ⑩ セットボルト M36x90 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

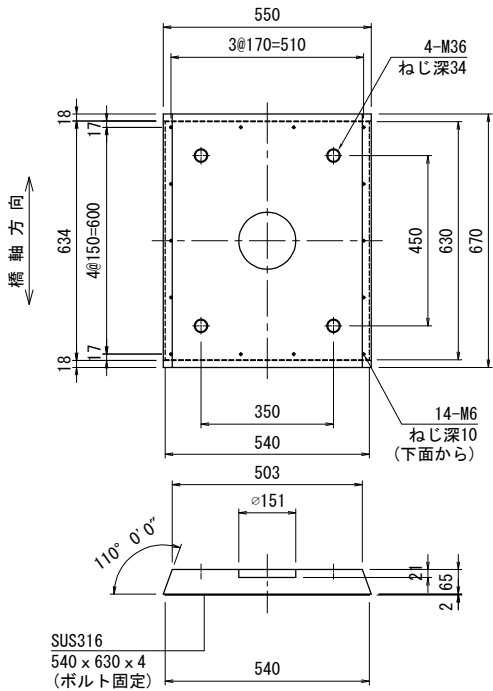
位 置 図



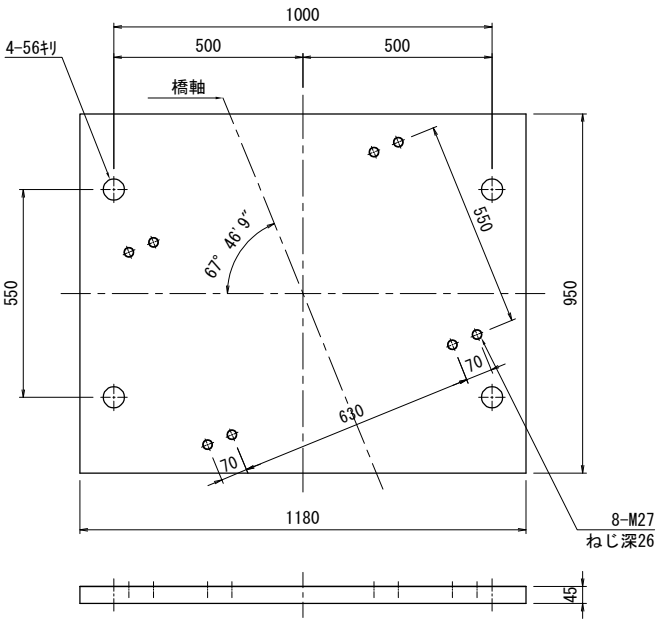
① 高面圧ゴム支承  
CR+SM490A+CFRP+PTFE



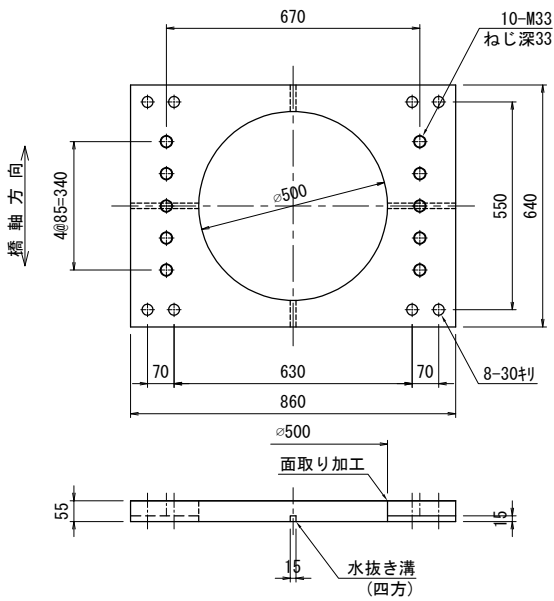
② 上 沓 SM490A+SUS316



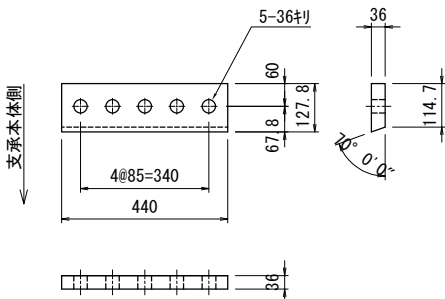
③ ベースプレート SM490A



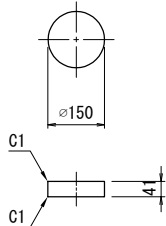
④ 固定枠プレート SM490A



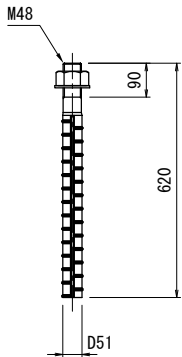
⑤ サイドブロック SM490A



⑥ せん断キー SM490A



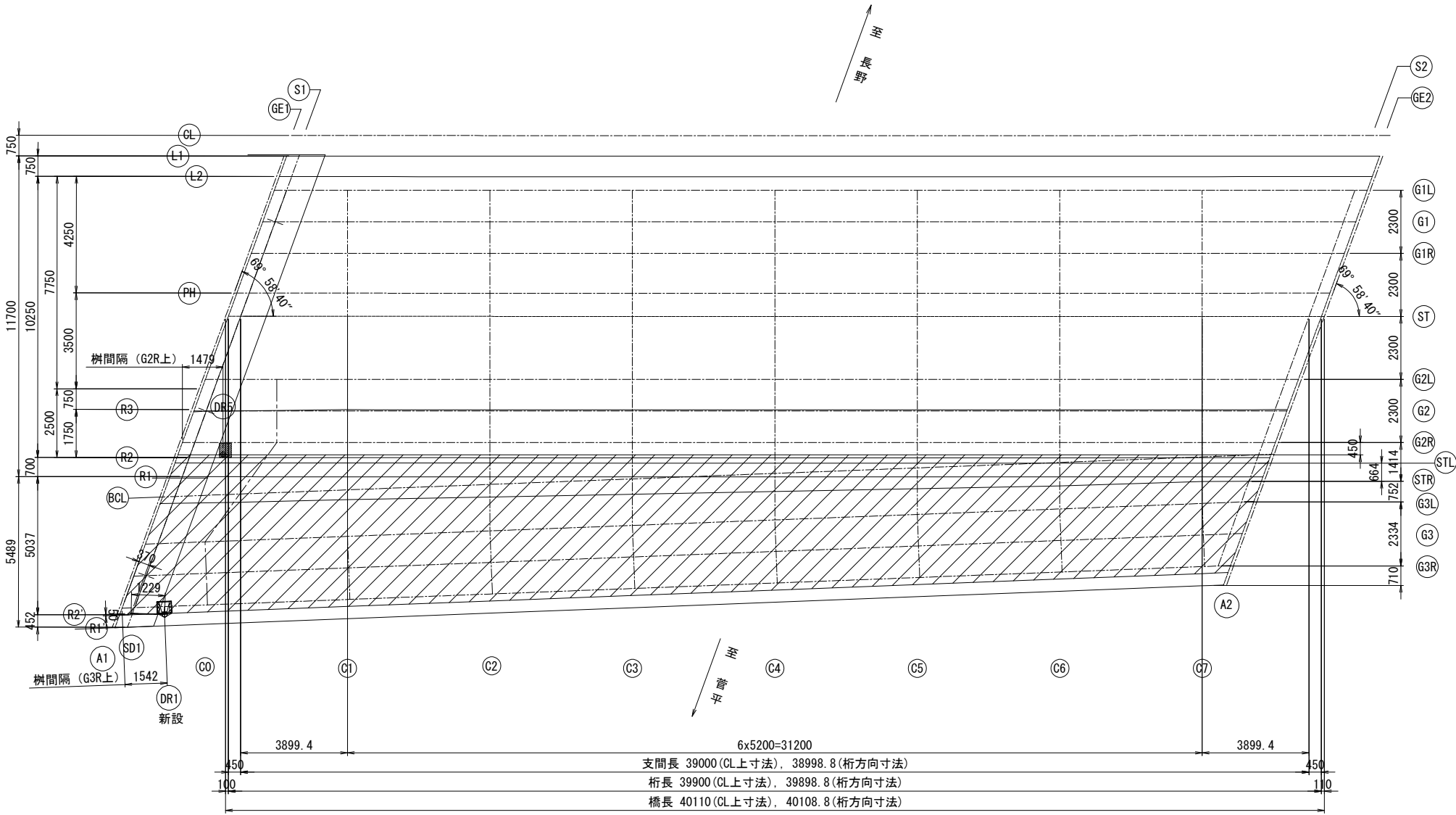
⑦ アンカーボルト SD345



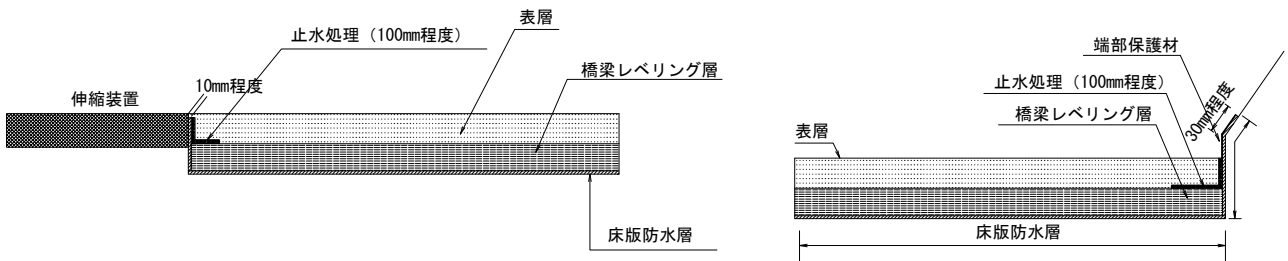
長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	川田橋 (上り線) 支承詳細図 (その5) A2 (G3) C		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



平 面 図



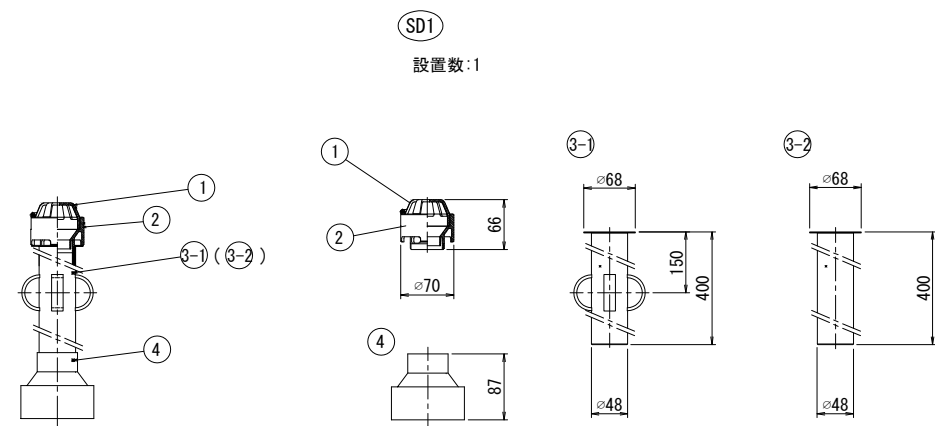
橋面防水（別途施工）



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 橋面排水工（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



床版水抜きパイプ詳細図 S=1：5



項目	名前	材料	数量	処理加工	注記
1	グレーチングドーム	SCS14（SUS316相当）	1		
2	アウター本体	PVC	1		色調：グレー
3-1	アウターパイプ取手付	PVC	1		色調：グレー
3-2	アウターパイプ取手無	PVC	1		色調：グレー
4	インクリーザ40*75	PVC	1		色調：グレー

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 橋面排水工（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

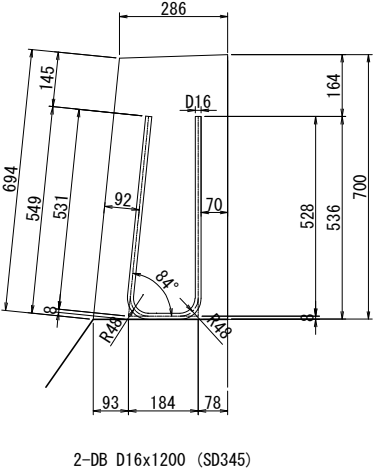
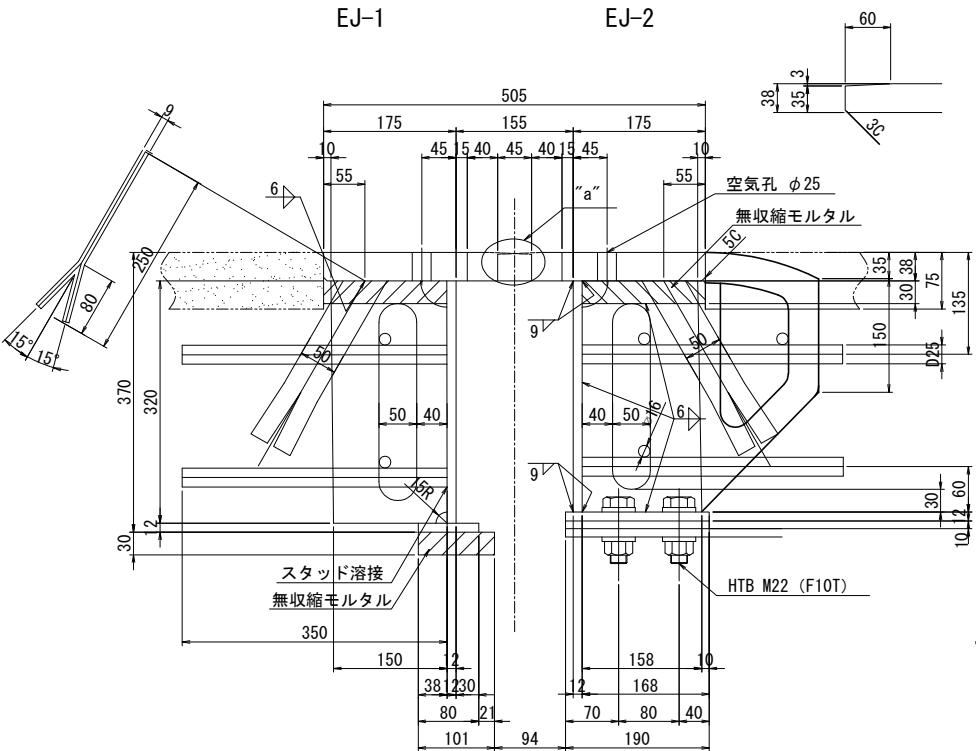
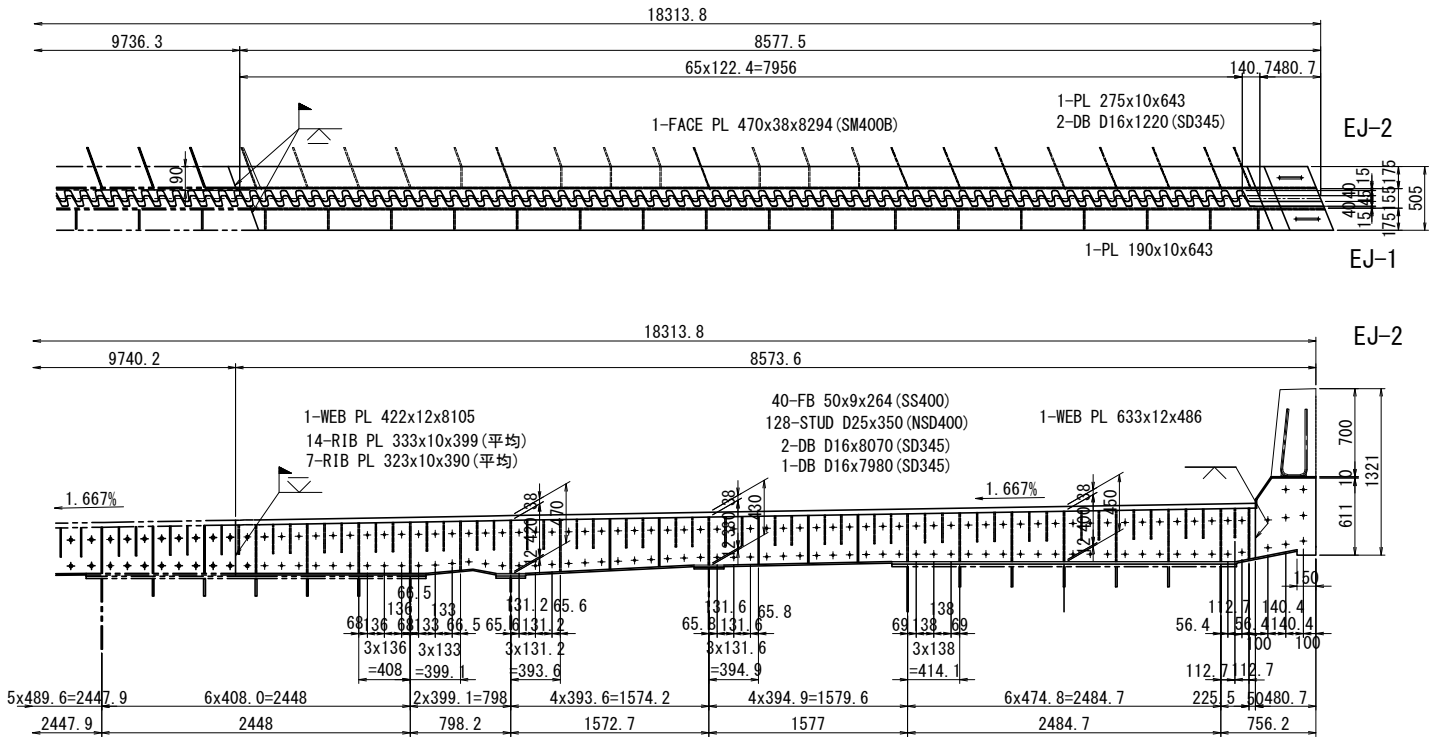


川田橋（上り線）伸縮装置(その1) S=1:60

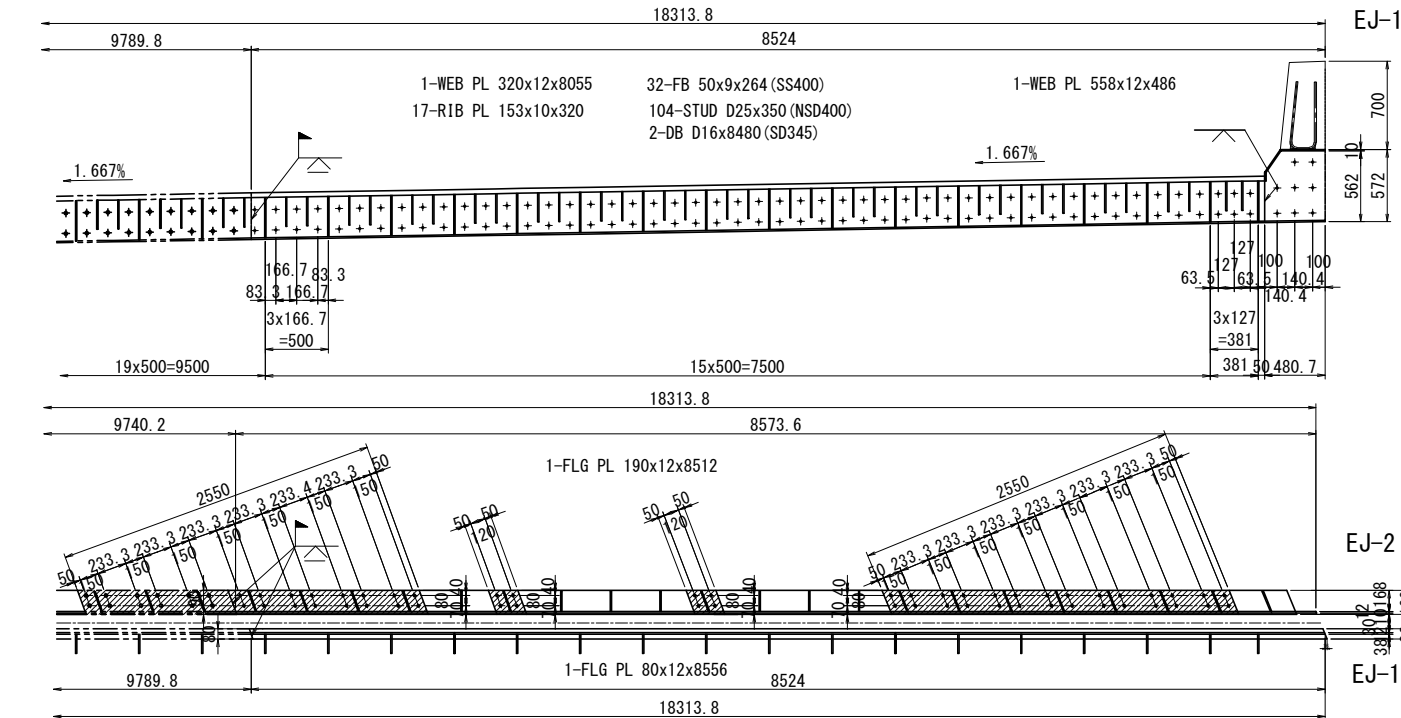
A1橋台

一般部断面図 S=1:10 “a”部詳細図 S=1:10

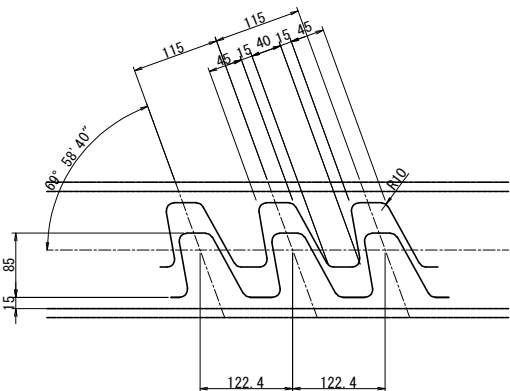
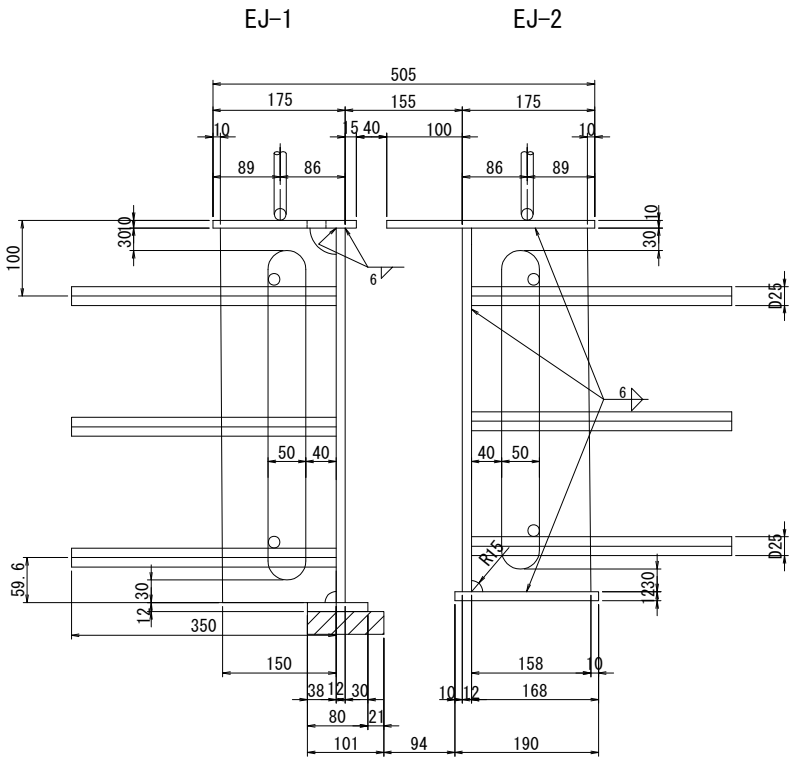
地覆鉄筋詳細 S=1:20



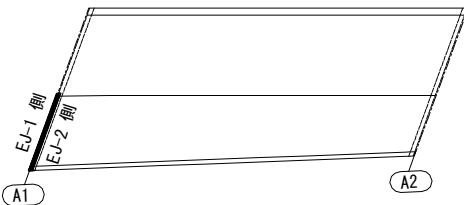
フィンガー詳細 S=1:10



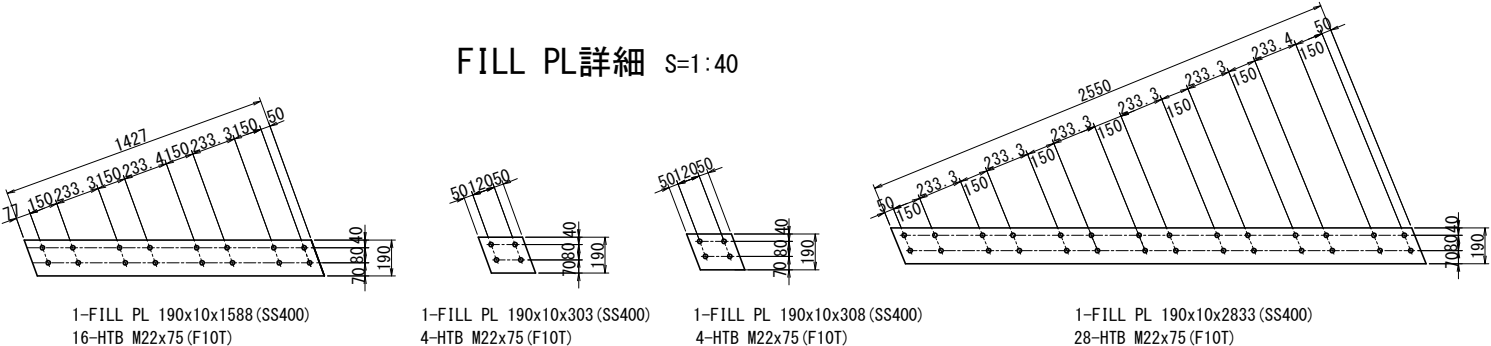
地覆部断面図 S=1:10



配置図 S=1:800



FILL PL詳細 S=1:40



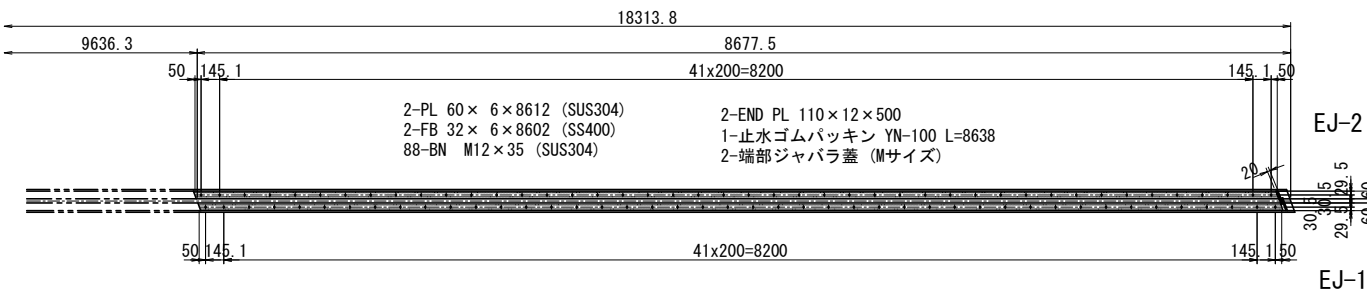
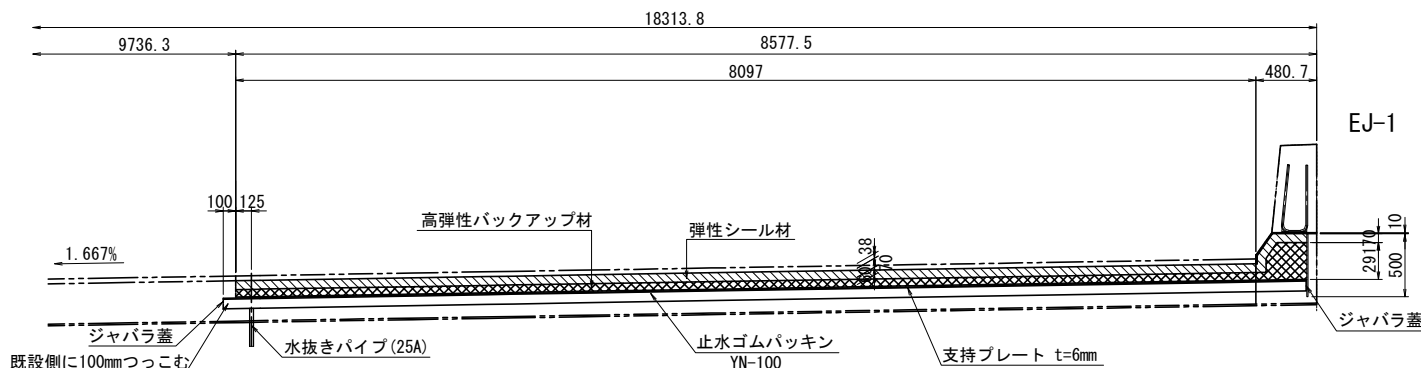
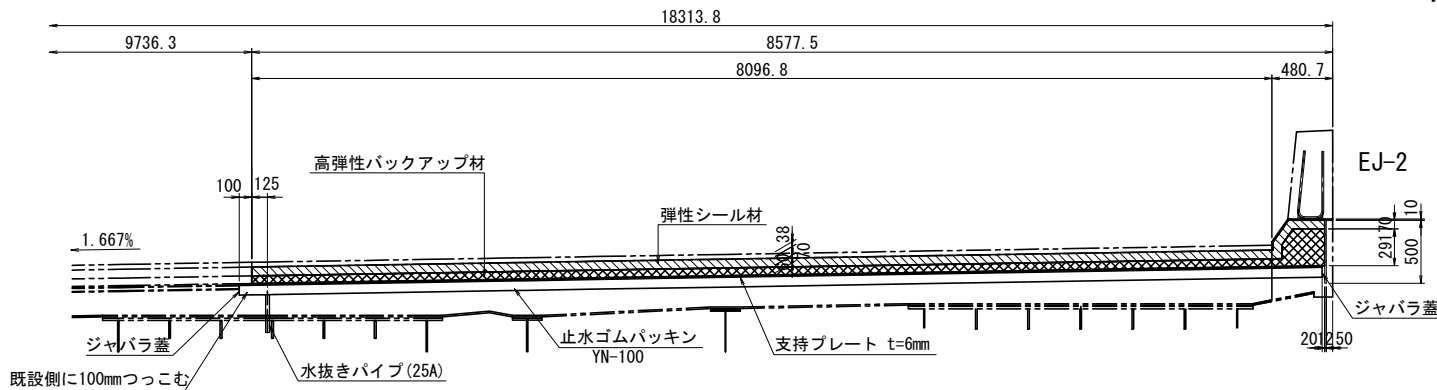
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
  3. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工の事。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 伸縮装置(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（上り線）伸縮装置（その2） S=1:60

A1橋台

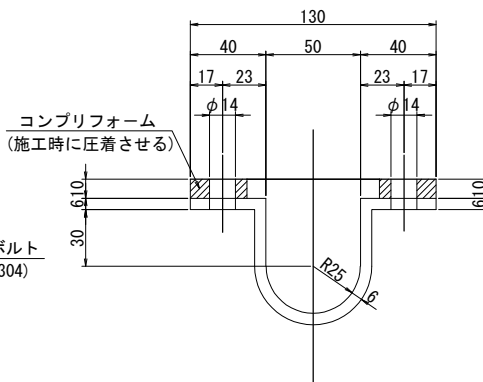
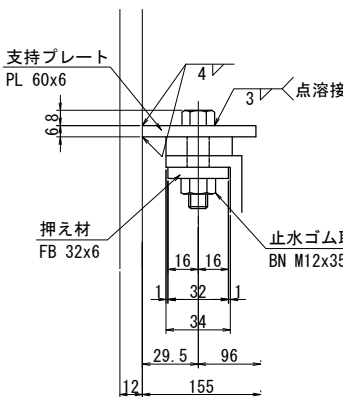
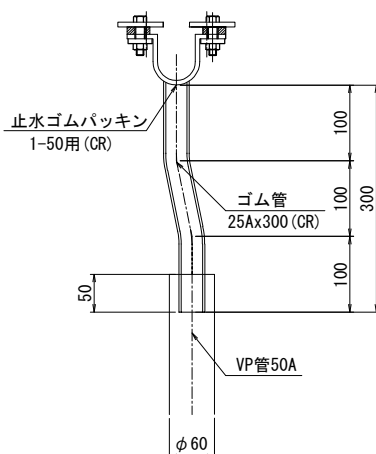
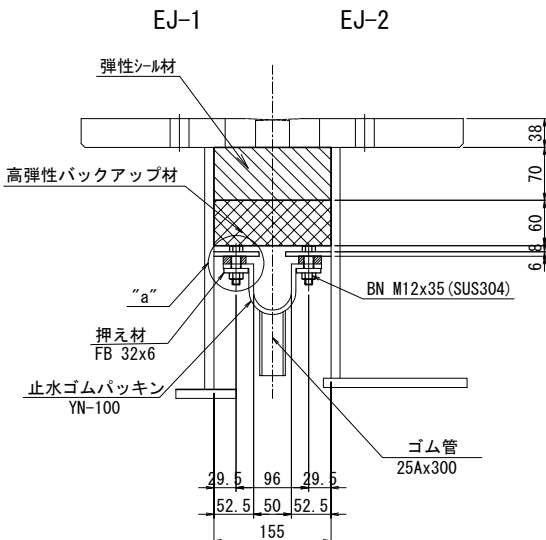


一般部断面図 S=1:10

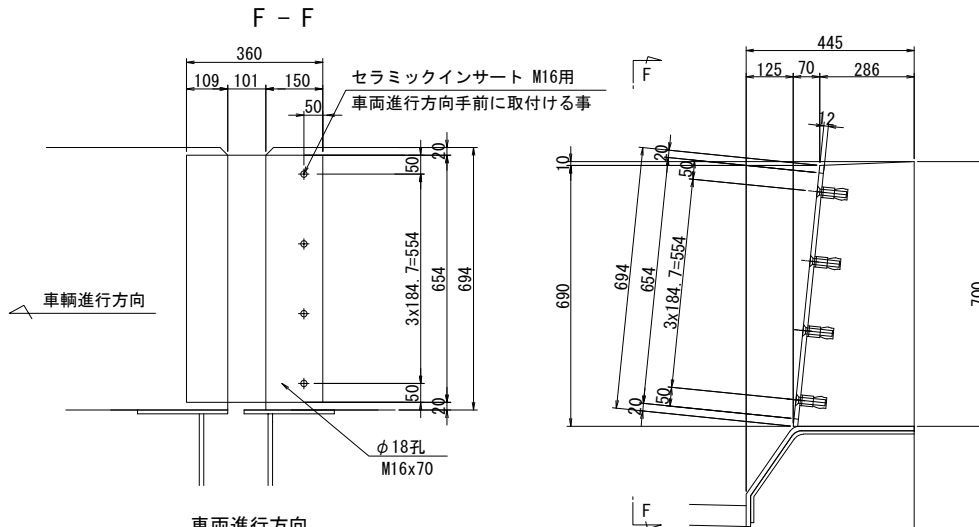
### 伸縮裝置導水管取付詳細 S=1:10

"a"部詳細図 S=1:4

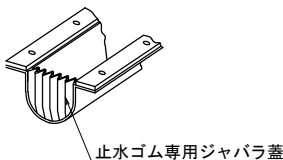
## 止水ゴムパッキン詳細 S=1:4



壁高欄塞ぎ板詳細図 S=1:20

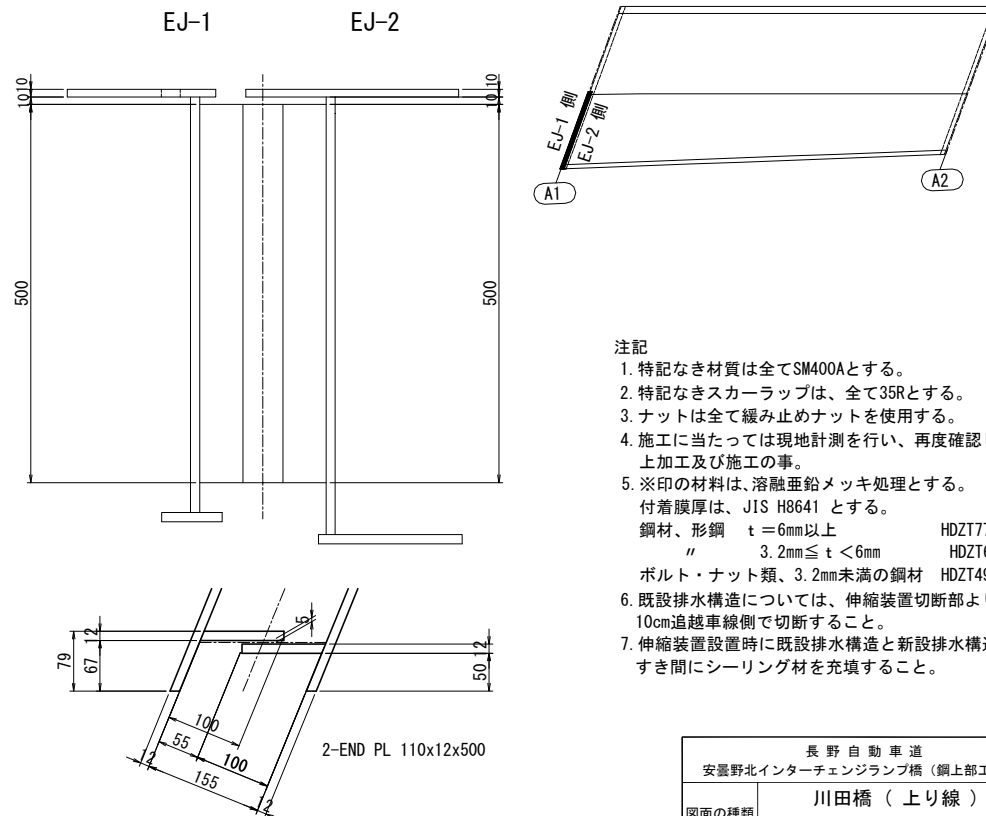


### 止水ゴムパッキン端部詳細図



エンドプレート詳細図 S=1:10

配置图 S=1:800



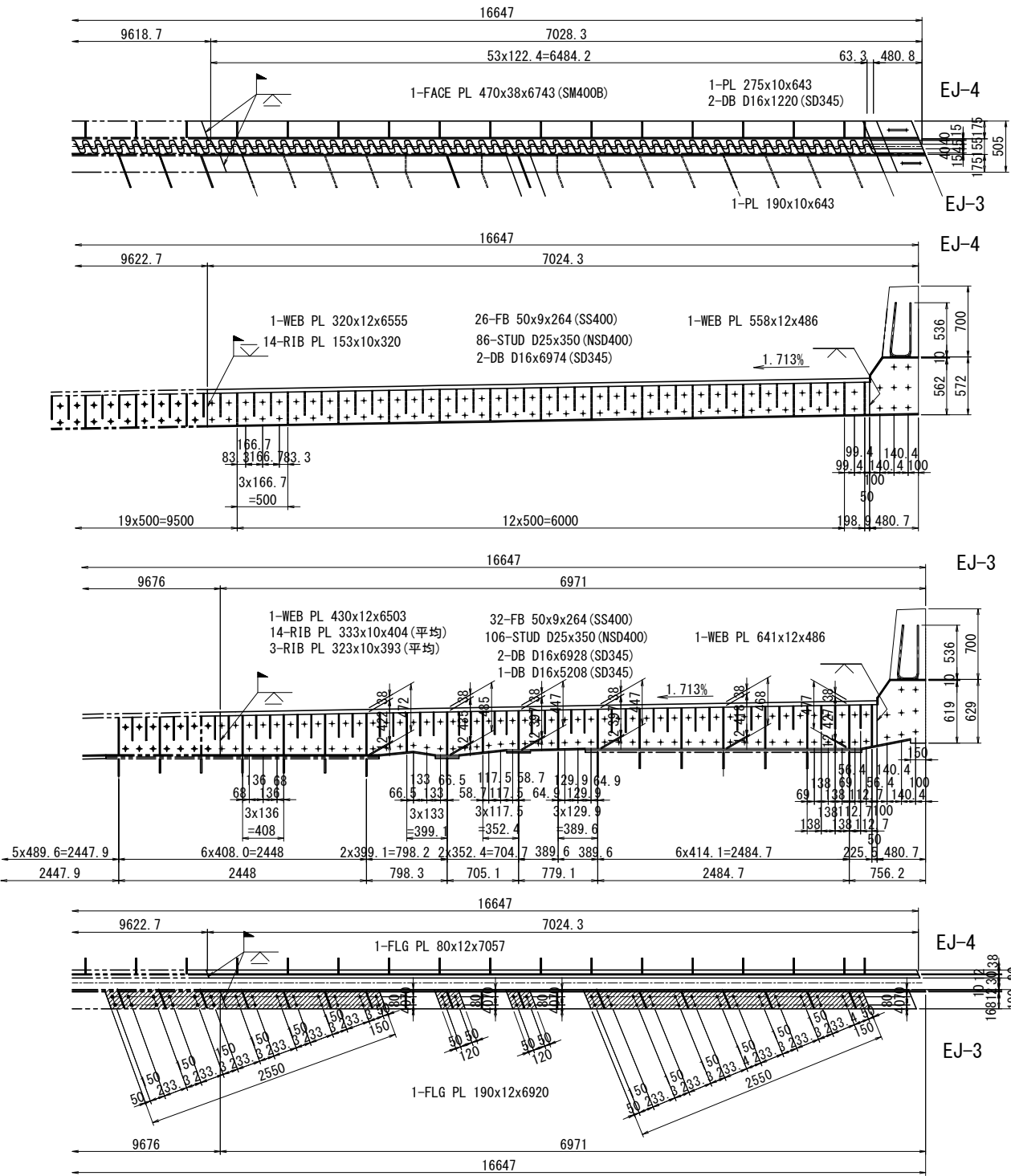
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
  3. ナットは全て緩み止めナットを使用する。
  4. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した  
上加工及び施工の事。
  5. ※印の材料は、溶融亜鉛メッキ処理とする。  
付着膜厚は、JIS H8641 とする。  
鋼材、形鋼  $t = 6\text{mm}$  以上 HDZT77  
"  $3.2\text{mm} \leq t < 6\text{mm}$  HDZT63  
ボルト・ナット類、 $3.2\text{mm}$ 未満の鋼材 HDZT49
  6. 既設排水構造については、伸縮装置切断部より  
10cm追越車線側で切断すること。
  7. 伸縮装置設置時に既設排水構造と新設排水構造の  
すき間にシーリング材を充填すること。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 伸縮装置（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

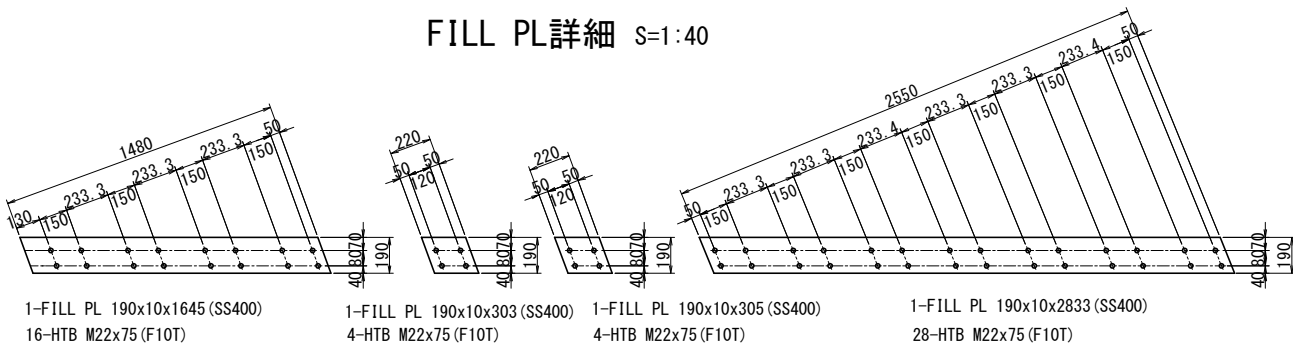


川田橋（上り線）伸縮装置(その3) S=1:60

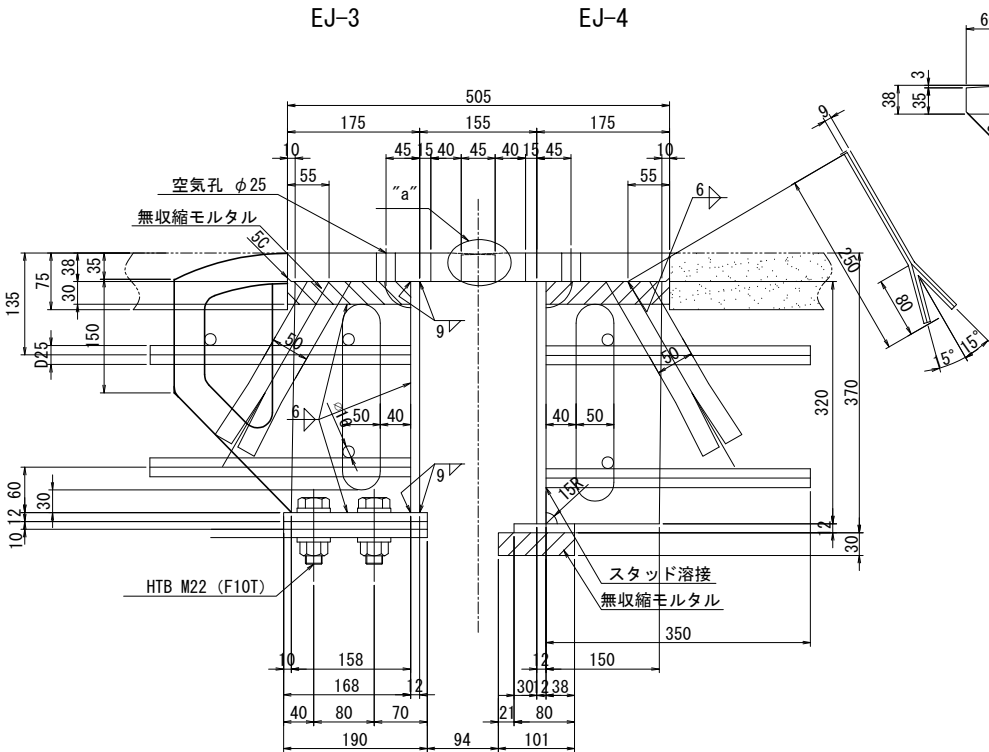
A2橋台



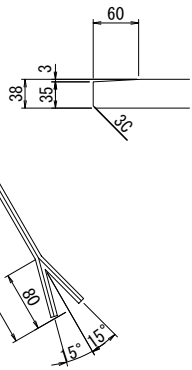
FILL PL詳細 S=1:40



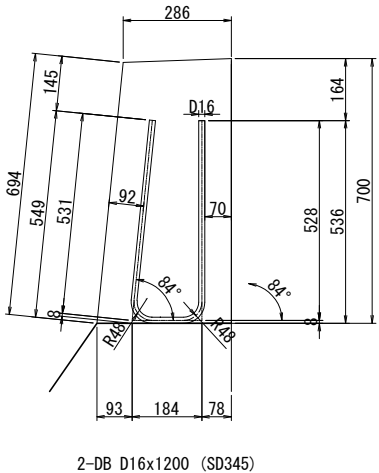
一般部断面図 S=1:10



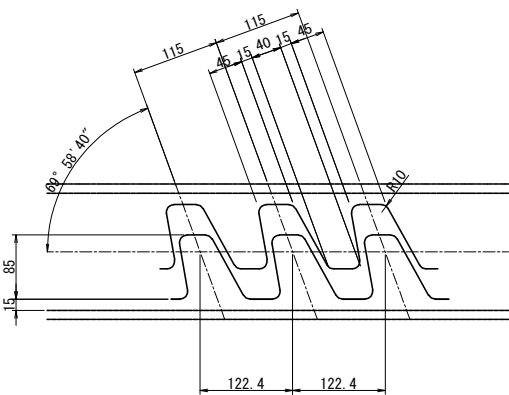
“a”部詳細図 S=1:10



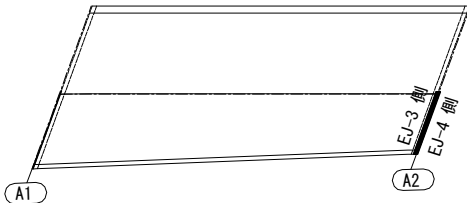
地覆鉄筋詳細 S=1:20



フィンガー詳細 S=1:10



配置図 S=1:800



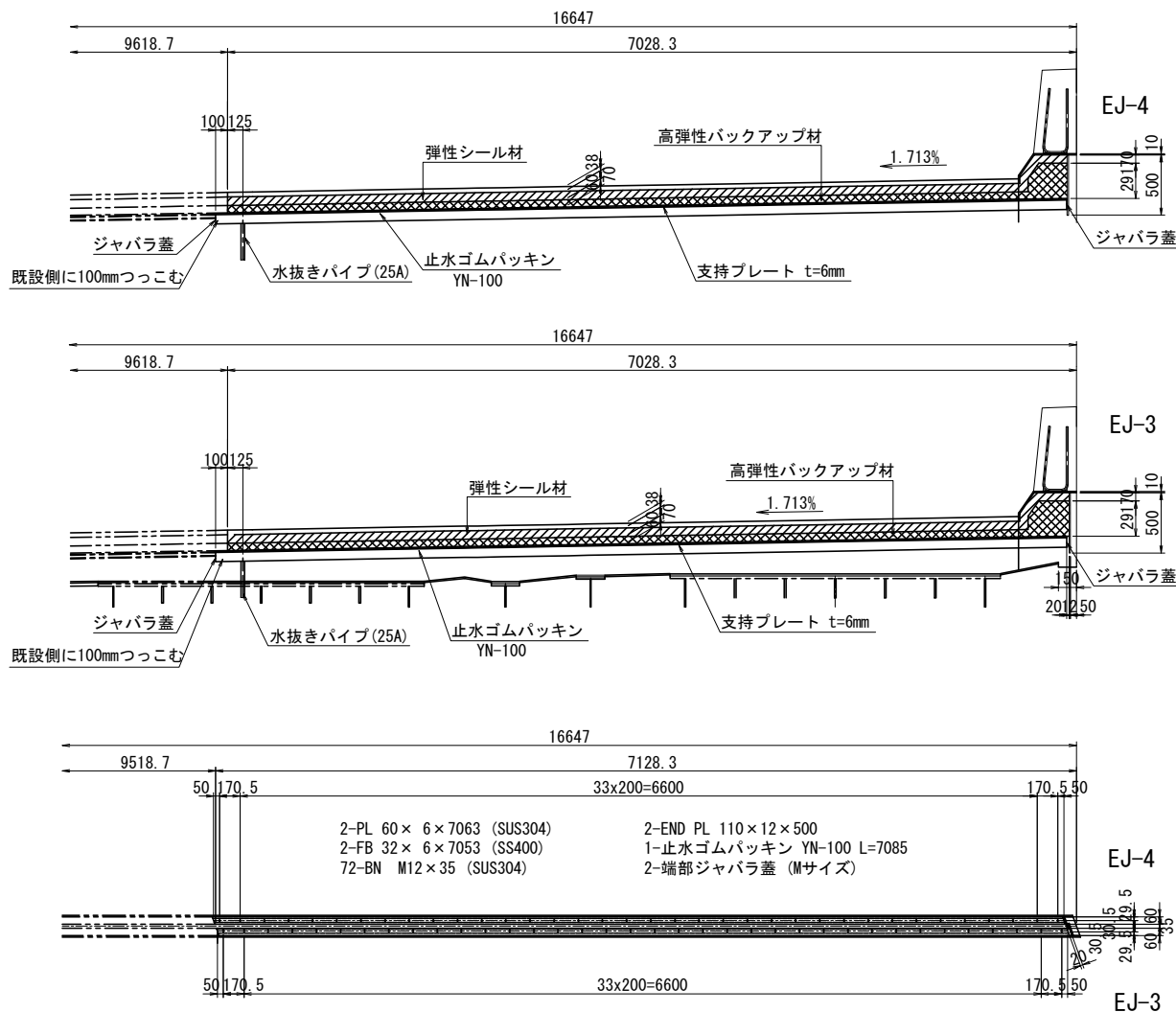
- 注記
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
  - 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工の事。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 伸縮装置(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

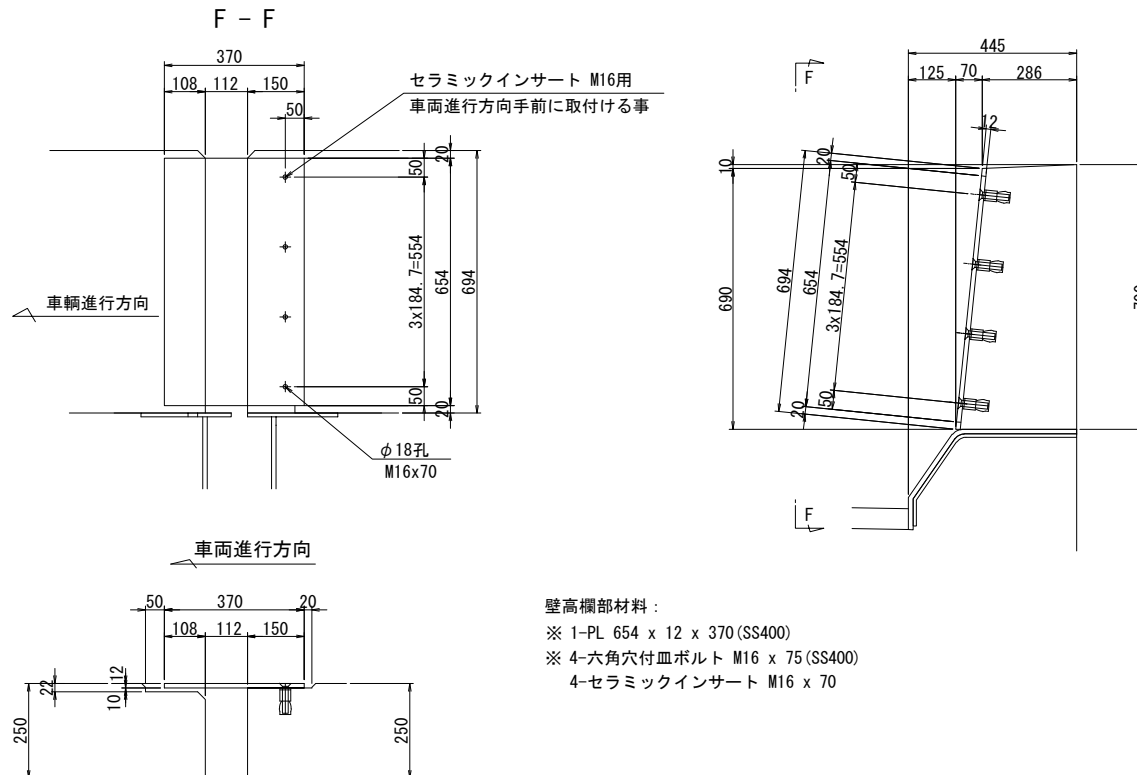


## 川田橋（上り線）伸縮装置（その4） S=1:60

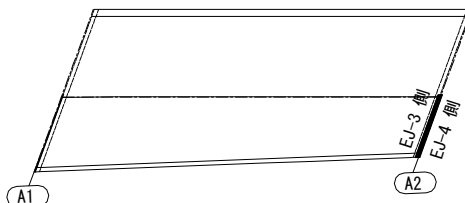
A2橋台



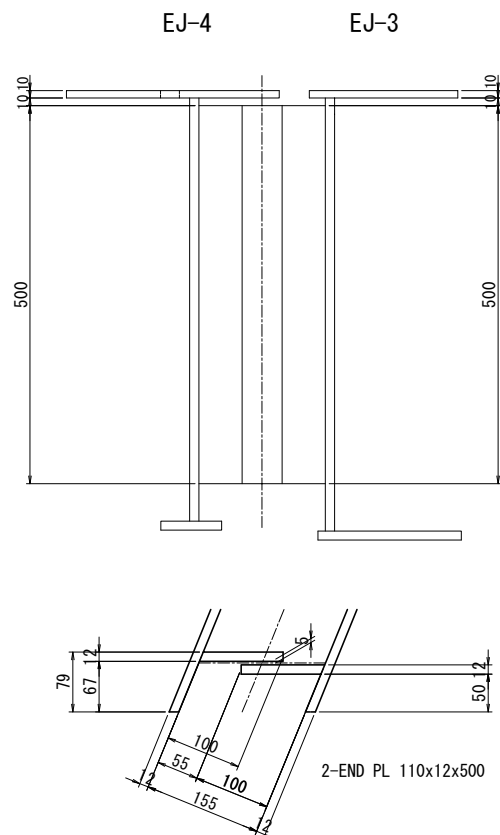
壁高欄塞ぎ板詳細図 S=1:20



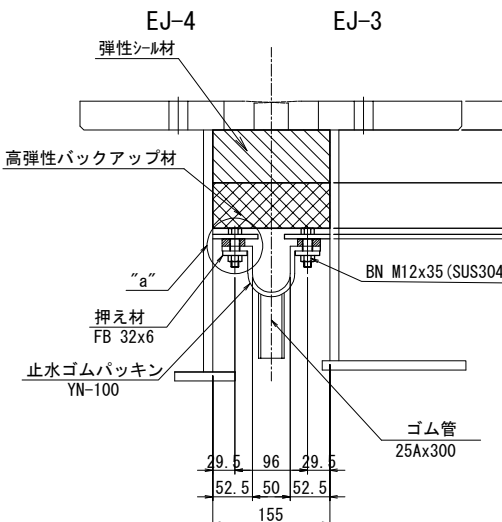
配置図 S=1:800



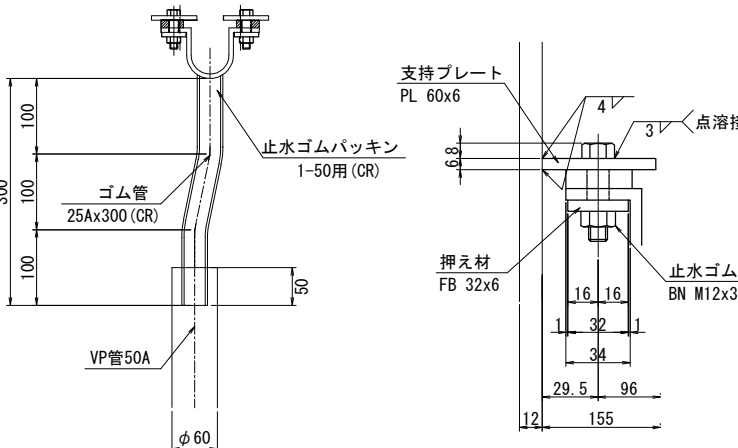
エンドプレート詳細図 S=1:10



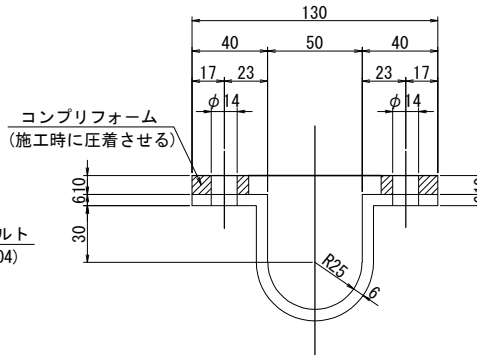
一般部断面図 S=1:10



伸縮装置導水管取付詳細 S=1:10      “b”部詳細図 S=1:4



## 止水ゴムパッキン詳細 S=1:4



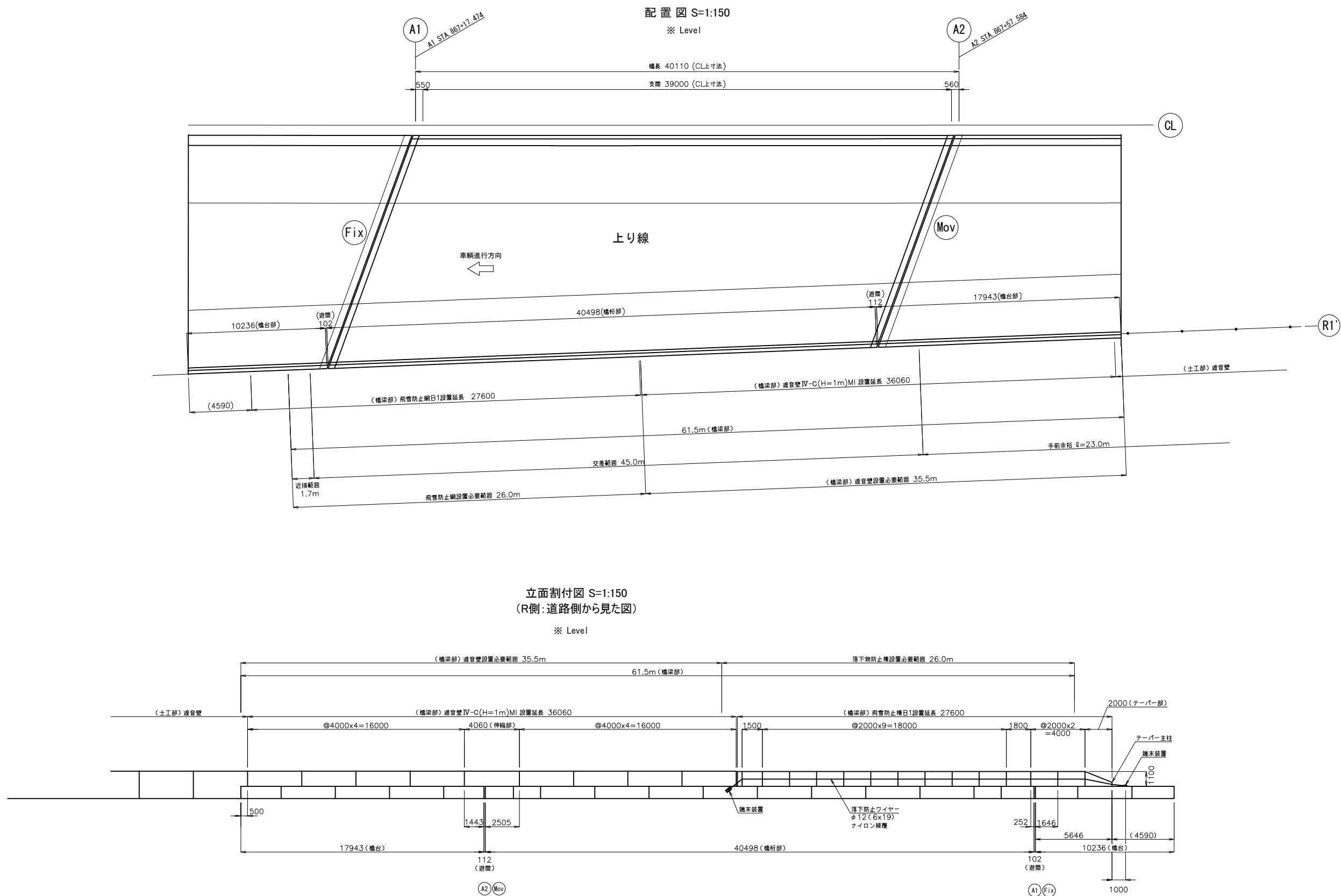
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35tとする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用する。
4. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工の事。
5. ※印の材料は、溶融亜鉛メッキ処理とする。  
付着厚は、JIS H8641 とする。  
鋼材、形鋼  $t=6\text{mm}$ 以上 HDZT77  
"  $3.2\text{mm} \leq t < 6\text{mm}$  HDZT63  
ボルト・ナット類、3.2mm未満の鋼材 HDZT49
6. 既設排水構造については、伸縮装置切断部より10cm追越車線側で切断すること。
7. 伸縮装置設置時に既設排水構造と新設排水構造のすき間にシーリング材を充填すること。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 伸縮装置（その4）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋(上り線) 飛雪防止網 (その1) S=1:150  
飛雪防止網・遮音壁 割付図



数量表						
上り線			1連当たり			
材 料 名	形状寸法	数量	単位	単位重量 (kg)	重量 (kg)	表面処理
遮音壁用アンカーボルト	IV-C(H=1m)標準部 遮音壁標準設計図集参照	8	箇所			
遮音壁用アンカーボルト	IV-C(H=1m)伸縮部 遮音壁標準設計図集参照	2	箇所			
飛雪防止網用アンカーボルト	M16x105x178(緩止N-Wは別途施工)1箇所当り2個	15	箇所	0.721	21.630	SS400 HDZT49

【注記】1.寸法は水平距離を示す。  
2.主柱は縦断勾配レベル用(水勾配加工有り)を壁高欄天端に対して直角に設置する。  
3.鋼材・部品類・アンカーボルトは溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZT)とする。  
4.アンカーと壁高欄の鉄筋が干渉する場合は、施工時に鉄筋の位置を調整して対応のこと。

※ 主柱アンカーボルト関係以外は別途施工とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(上り線) 飛雪防止網(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



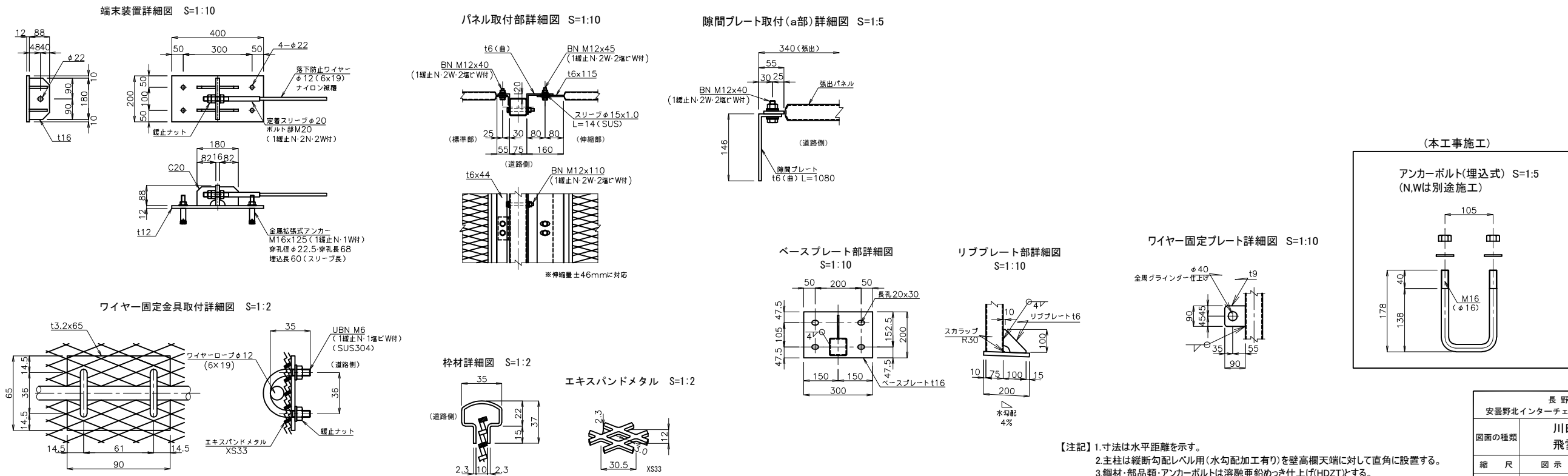
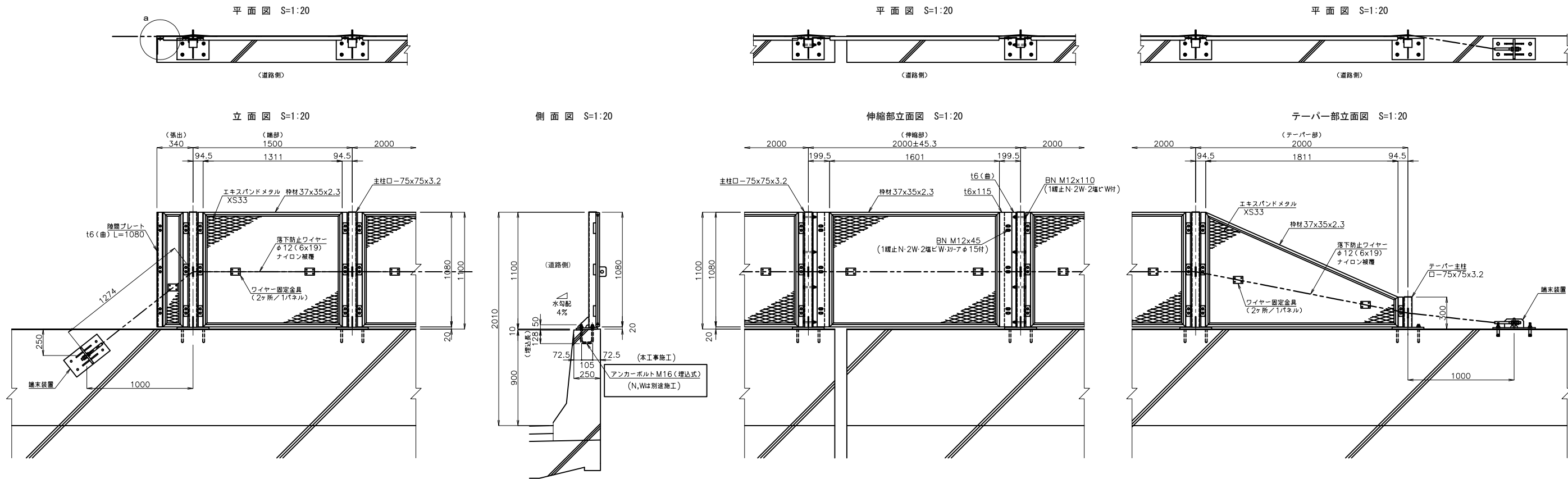
【設計条件】

風荷重  $2.9\text{kN/m}^2$   
( $300\text{kg/m}^2$ )

川田橋(上り線) 飛雪防止網 (その2)

橋梁部 詳細図

70 / 178



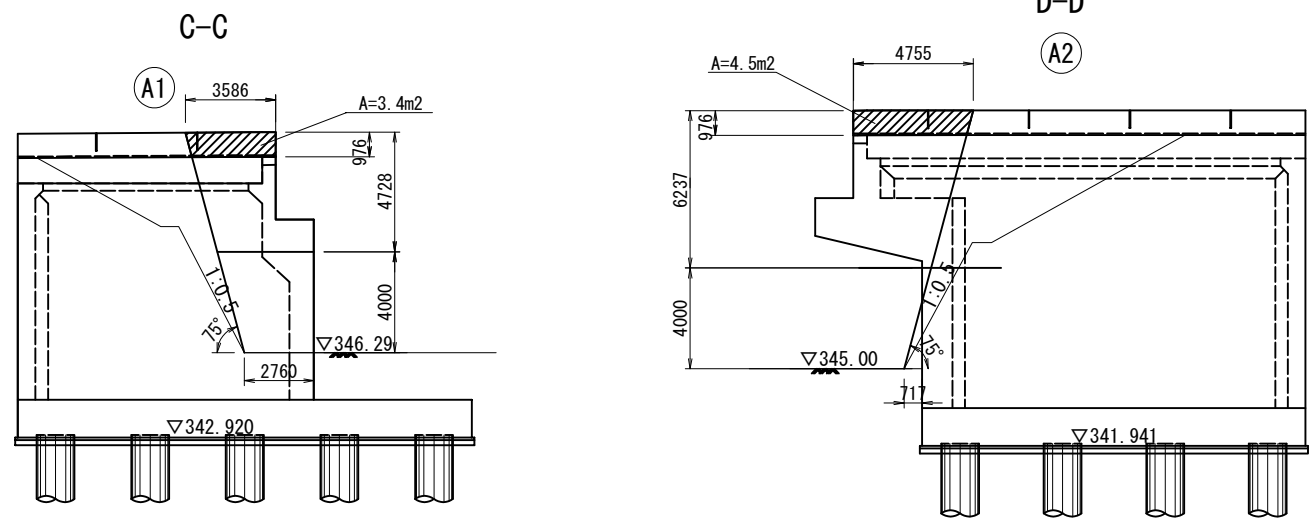
- 【注記】1.寸法は水平距離を示す。  
2.主柱は縦断勾配レール用(水勾配加工有り)を壁高欄天端に対して直角に設置する。  
3.鋼材・部品類・アンカーボルトは溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZT)とする。  
4.アンカーと壁高欄の鉄筋が干渉する場合は、施工時に鉄筋の位置を調整して対応のこと。

※ 主柱アンカーボルト以外は別途施工とする。

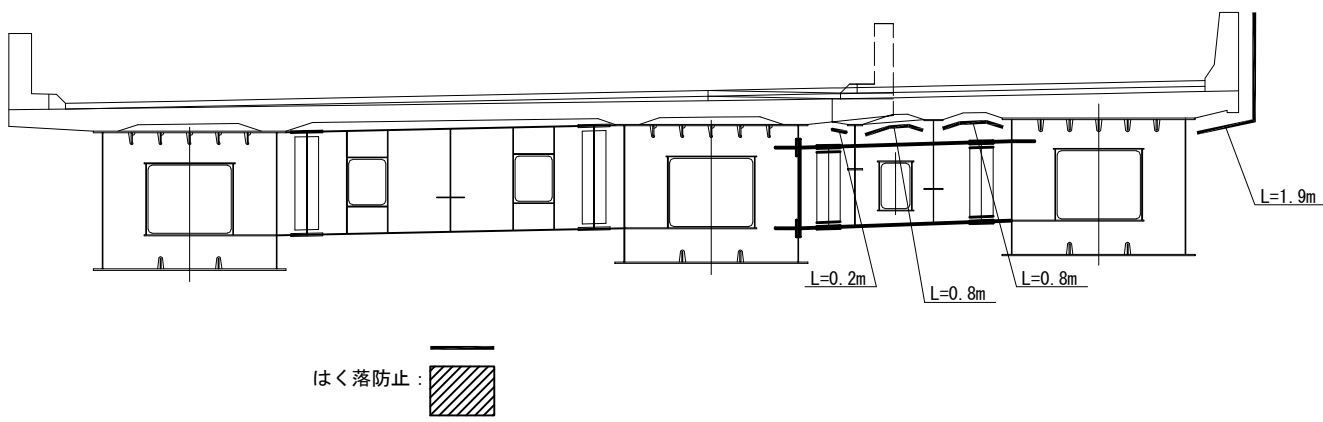
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(上り線) 飛雪防止網(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



側 面 図 S=1:300

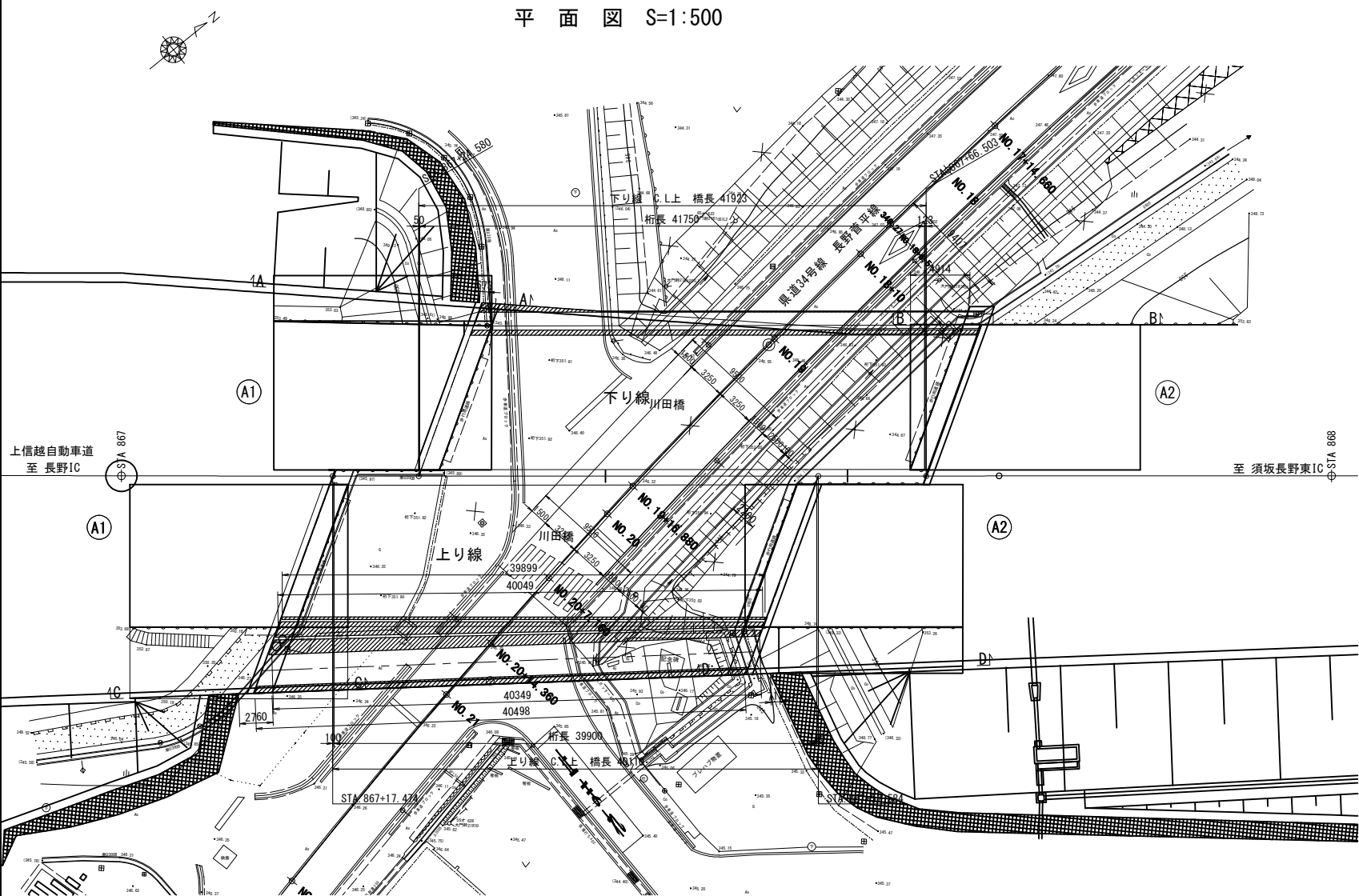


上部工断面図 S=1:100



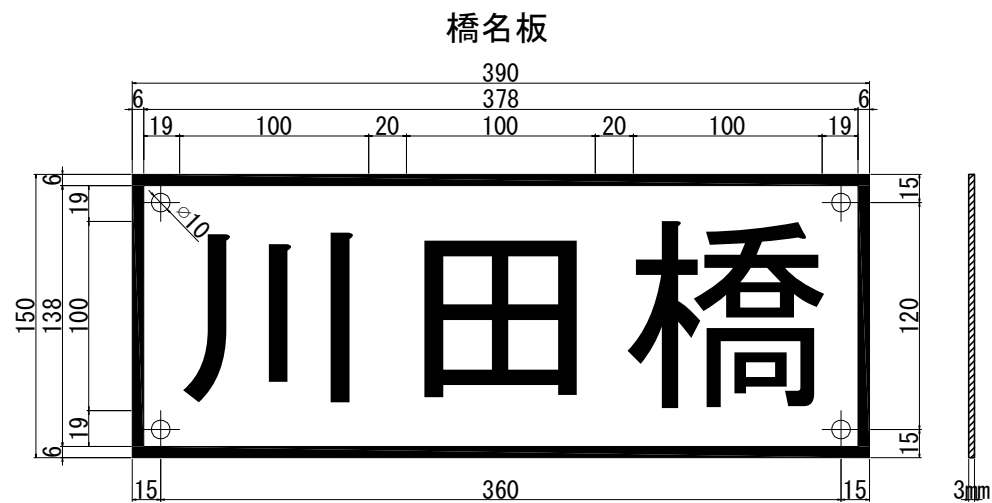
はく落防止 :

平 面 図 S=1:500

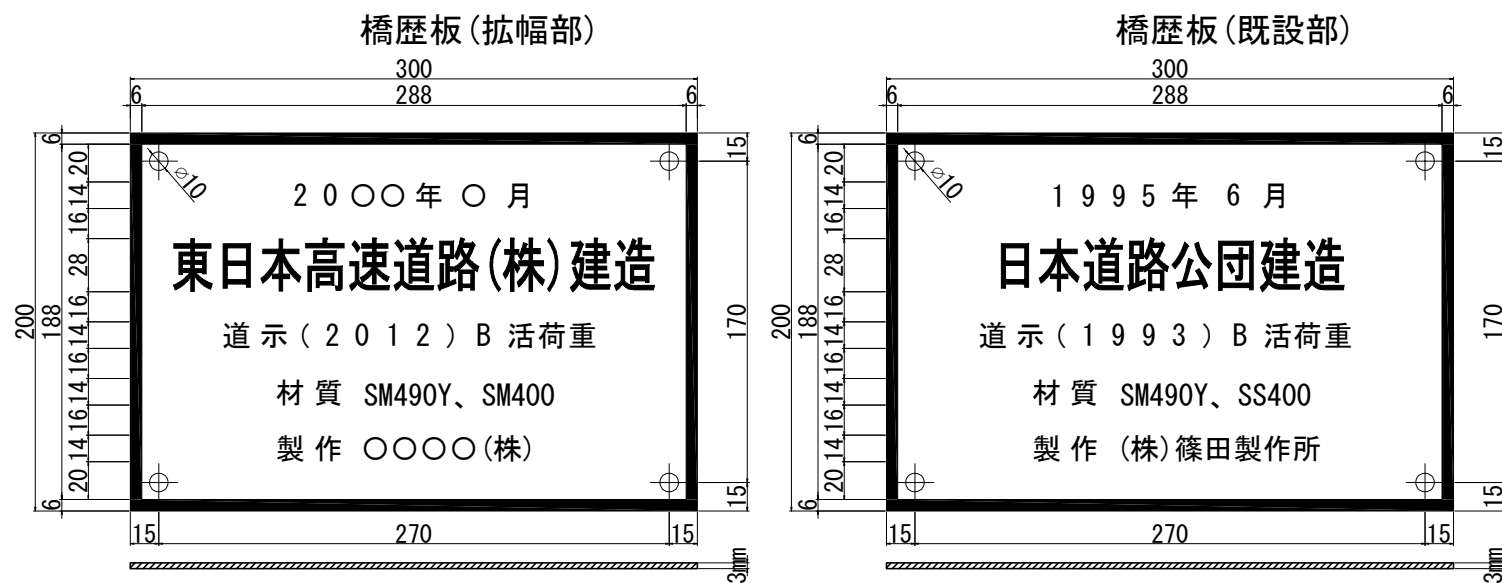
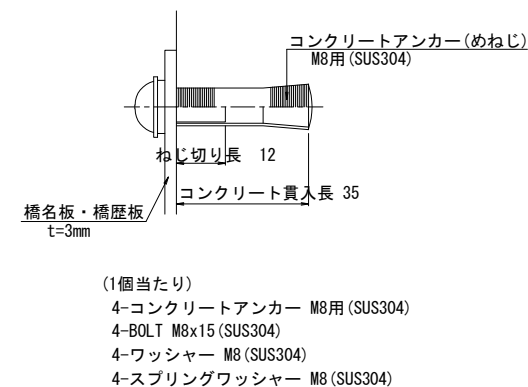


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） はく落防止		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

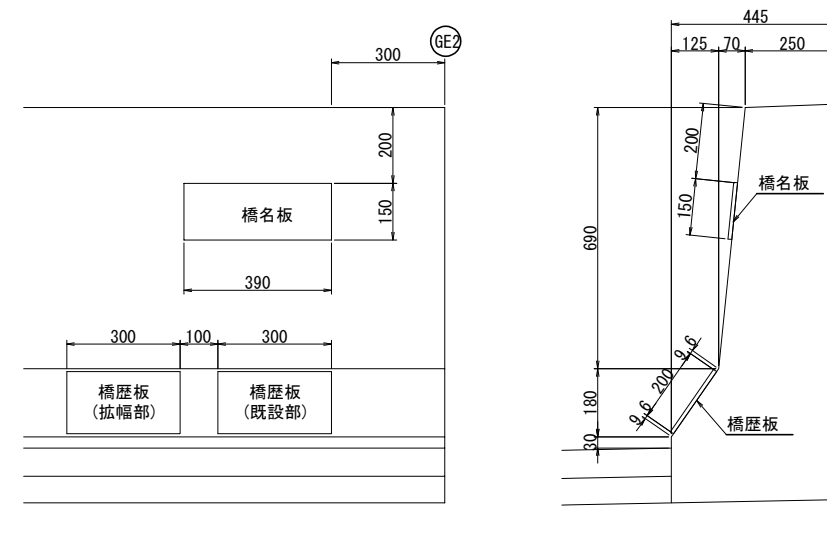




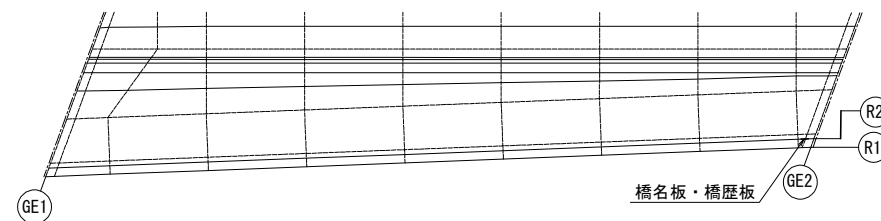
ボルト取付部詳細 S=1:2



取付位置 S=1:20



配置図 S=1:400



- 注)
1. 材料は、JIS H 4000A 5052P(アルミニウム板)の規定に適合したものを標準とし、表面は透明の高耐候性フィルムにより被覆することとする。
  2. 橋名板の文字は丸ゴシックとする。
  3. 橋歴板の文字はゴシックとする。
  4. 橋歴板及び橋歴板に用いる色は黒地に金色とする。また、縁6mmについても文字と同様に金色とする。

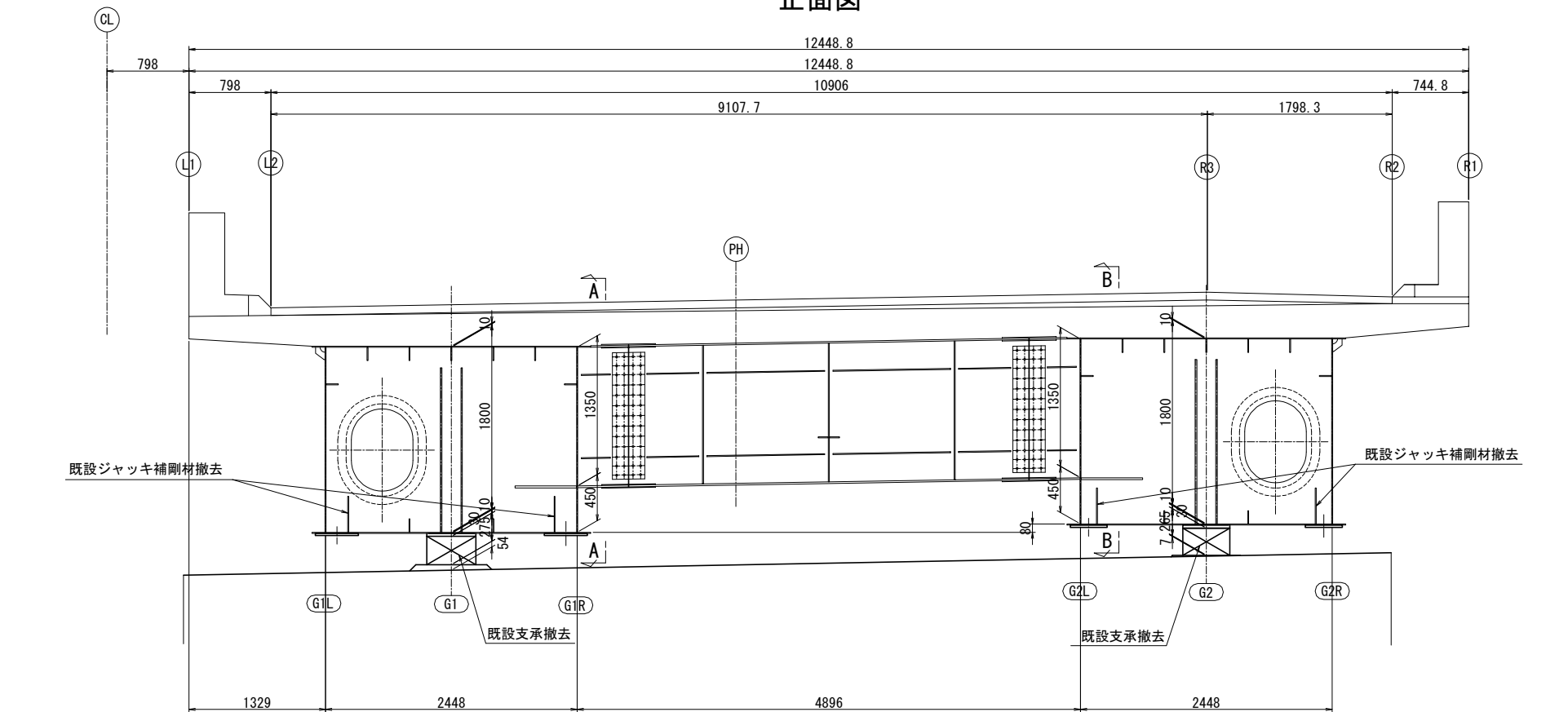
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(上り線) 橋名板・橋歴板		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



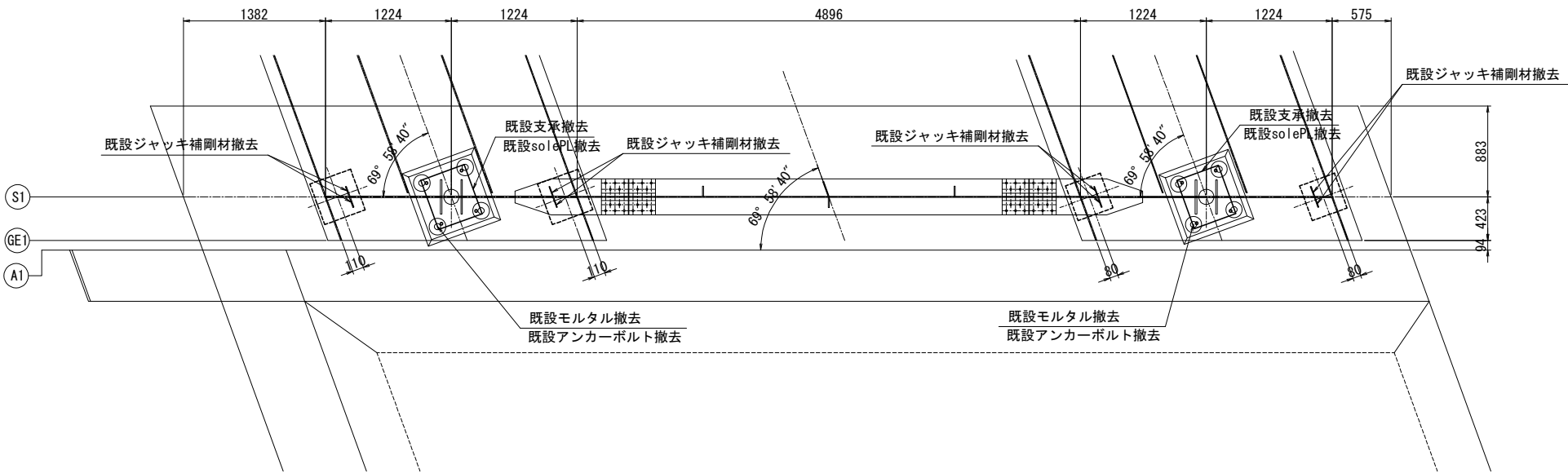
川田橋（ 上り線 ） A1橋台支承交換詳細図（その1） S=1:60

現状

正面図



平面図

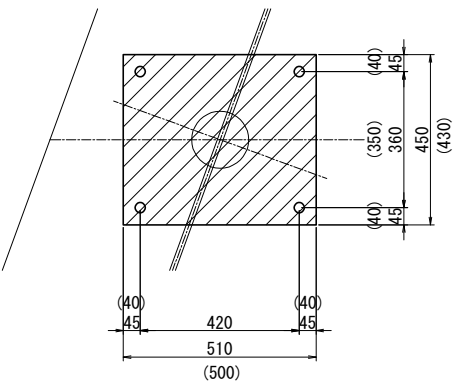


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ）		
	A1橋台支承交換詳細図（その1）		
縮 尺	S=1:60	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



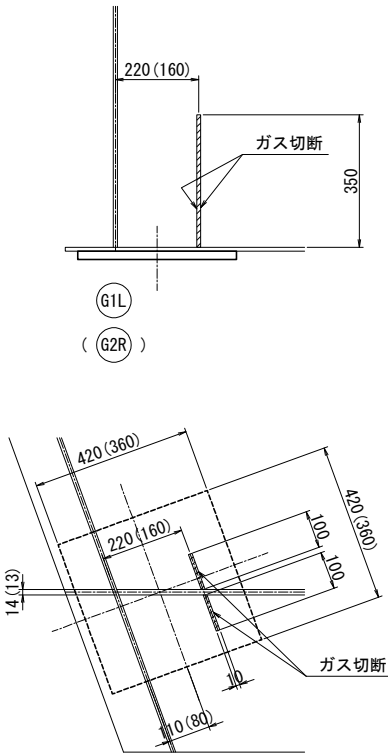
撤去詳細図

既設ソールプレート撤去

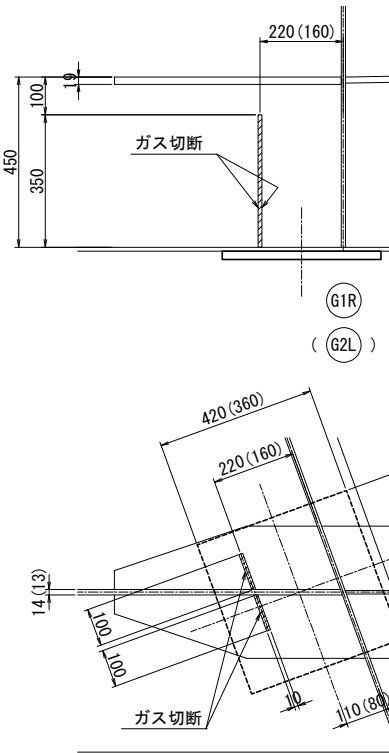


撤去材料：  
G1桁側：1-Sole PL 450x30x510 (SM400A)  
G2桁側：1-Sole PL 430x30x500 (SM400A)

既設ジャッキ補剛材撤去



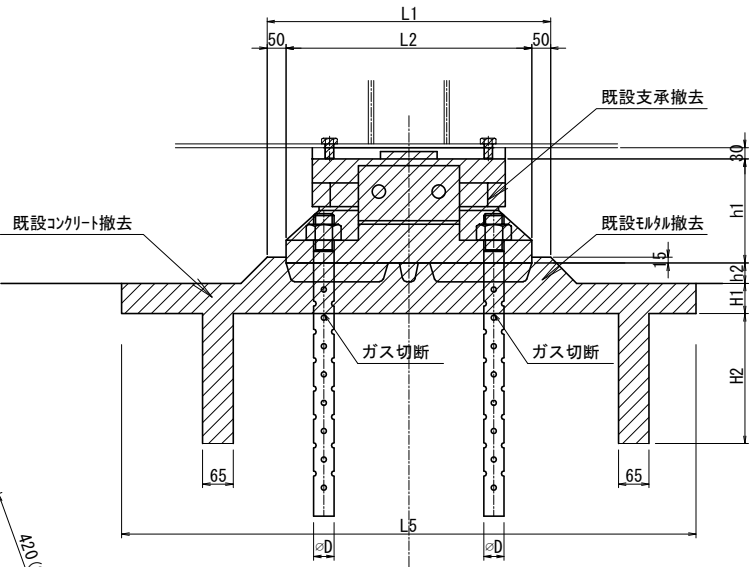
撤去材料：  
G1桁側：2-PL 100x10x350 (SS400)  
G2桁側：2-PL 100x10x350 (SS400)



撤去材料：  
G1桁側：2-PL 100x10x350 (SS400)  
G2桁側：2-PL 100x10x350 (SS400)

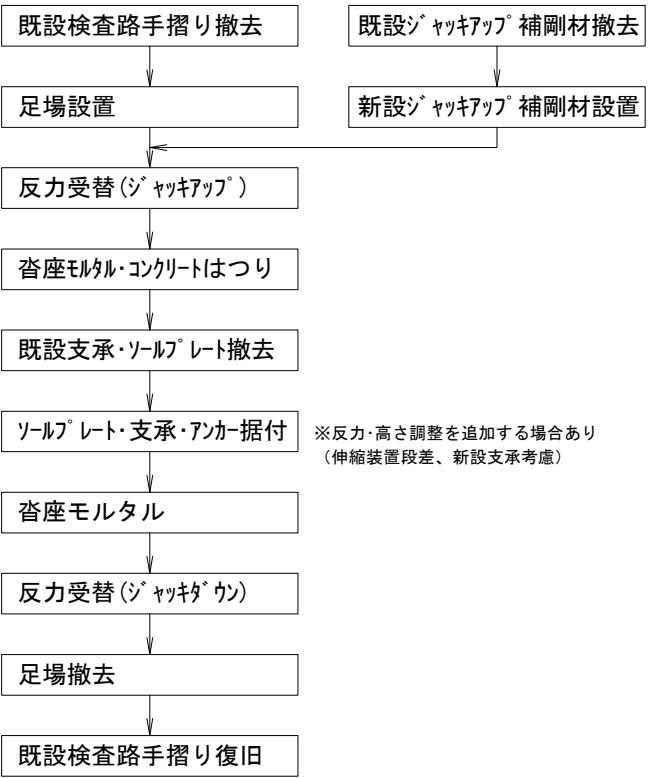
既設支承撤去

(新設支承範囲も含めて撤去)

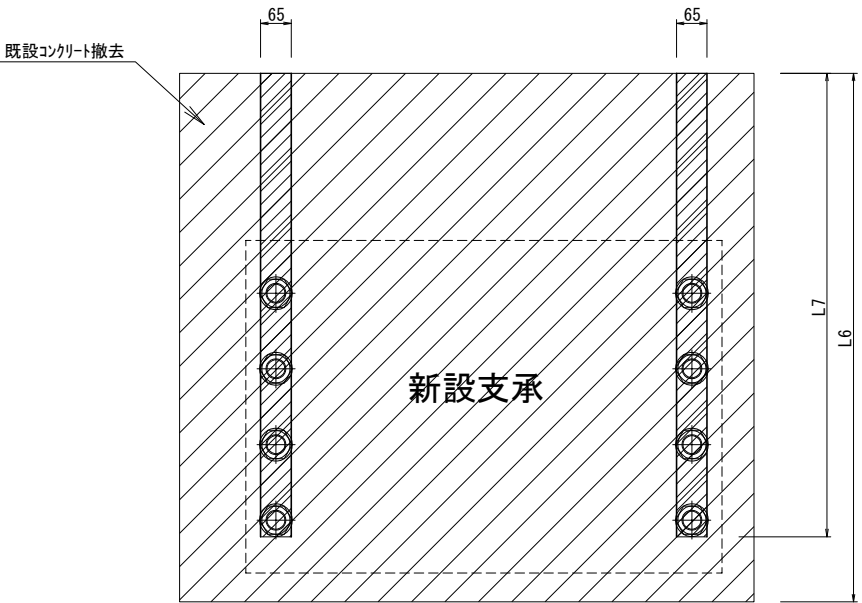


	G1	G2
h1	275	265
L1	750	720
L2	650	620
L3	150	150
L4	450	420
H1	80	80
D	65	60
h2	54	7
L	260	220
L5	1640	1520
L6	1400	1400
L7	790	790
H2	360	420

施工ステップ



撤去材料：  
既設支承撤去：2箇所 撤去重量 G1, G2 各 714kg  
既設アンカーボルト撤去：  
G1, G2各4箇所：1-アンカーボルト φ65xL (SS400)  
1-NUT M64 (SS400)  
既設モルタル撤去体積： G1： 0.02m<sup>3</sup> , G2： 0.02m<sup>3</sup>  
既設コンクリート撤去体積： G1： 0.22m<sup>3</sup> , G2： 0.21m<sup>3</sup>



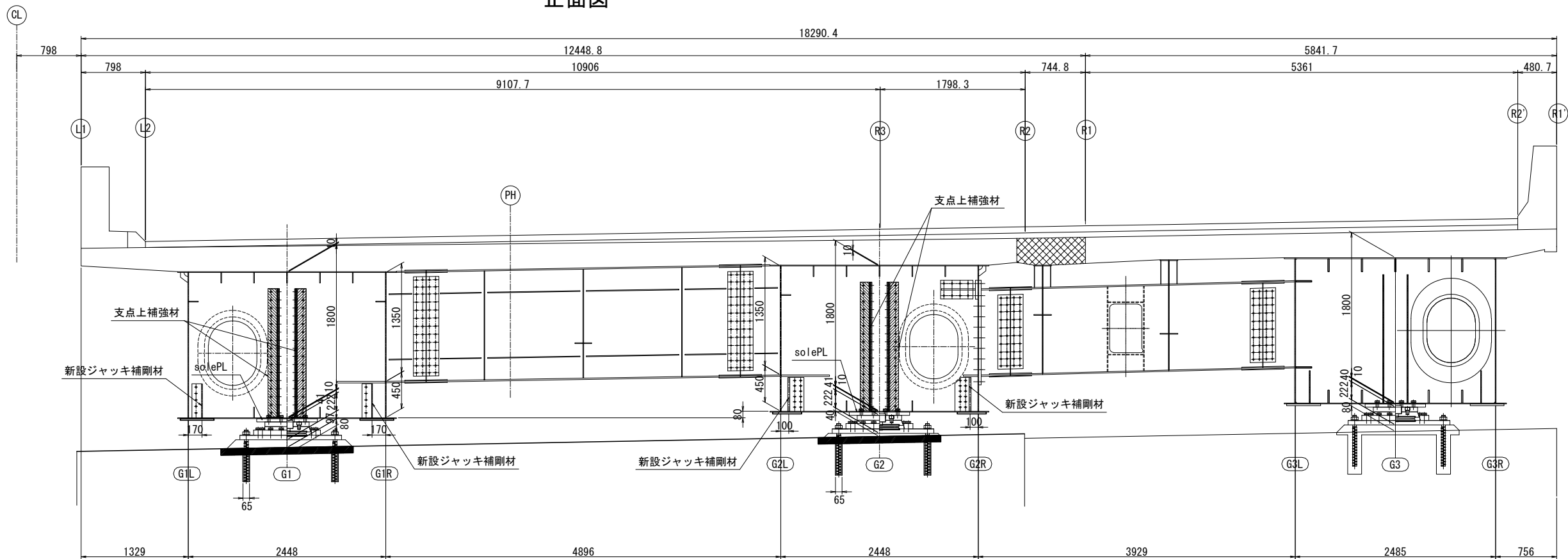
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 支承交換詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



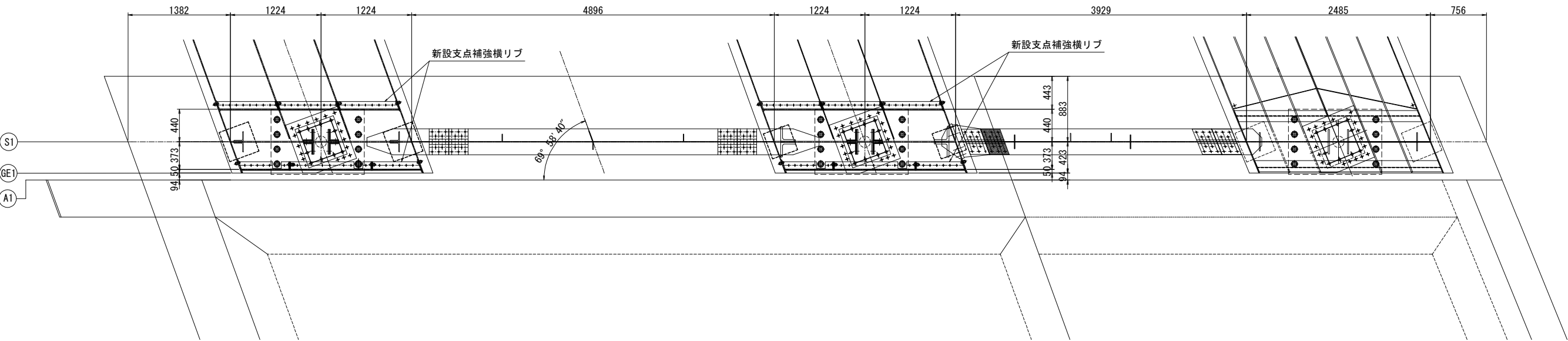
川田橋（ 上り線 ） A1橋台支承交換詳細図（その3） S=1:60

完成図

正面図



平面図

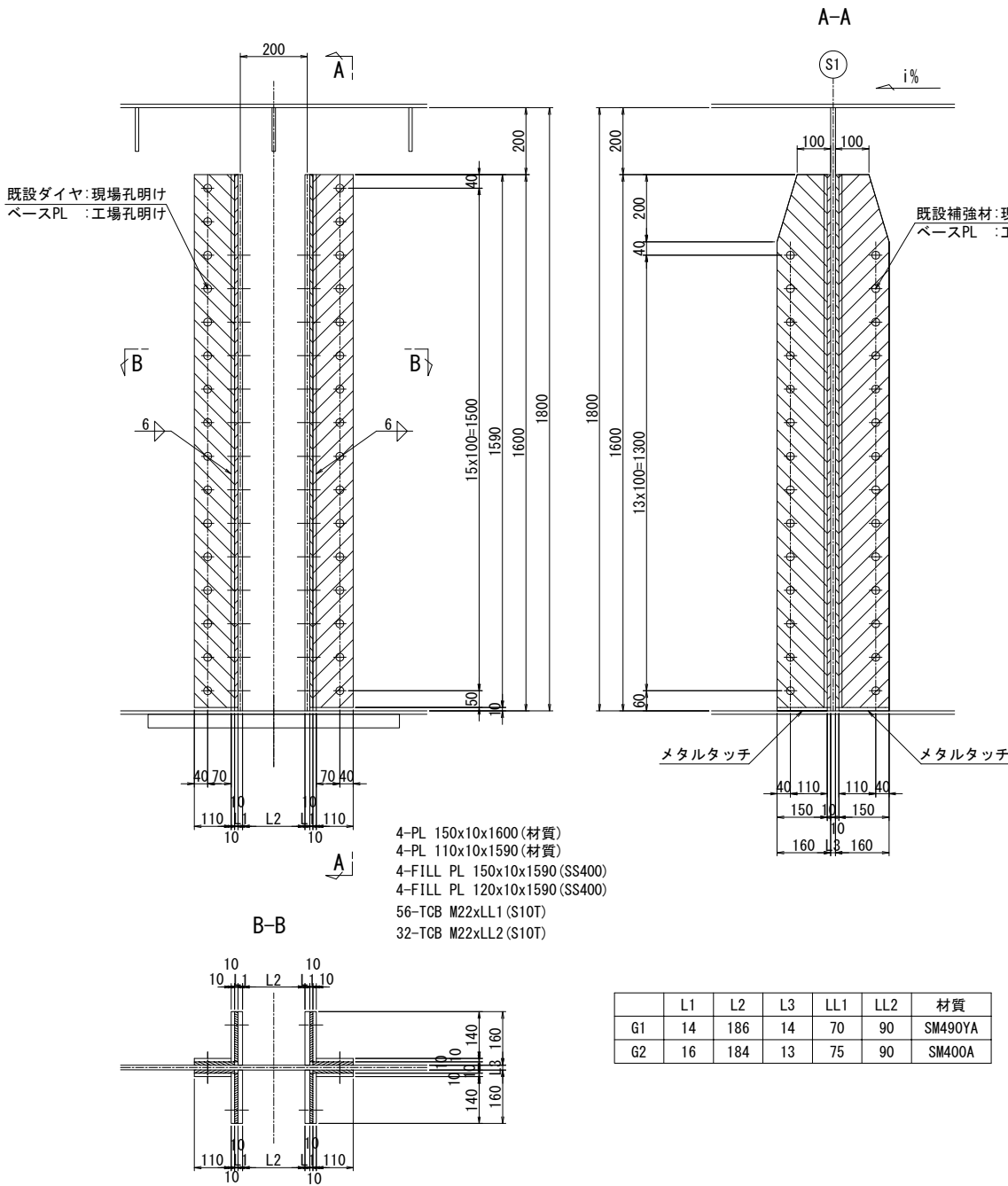


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ）		
	支承交換詳細図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

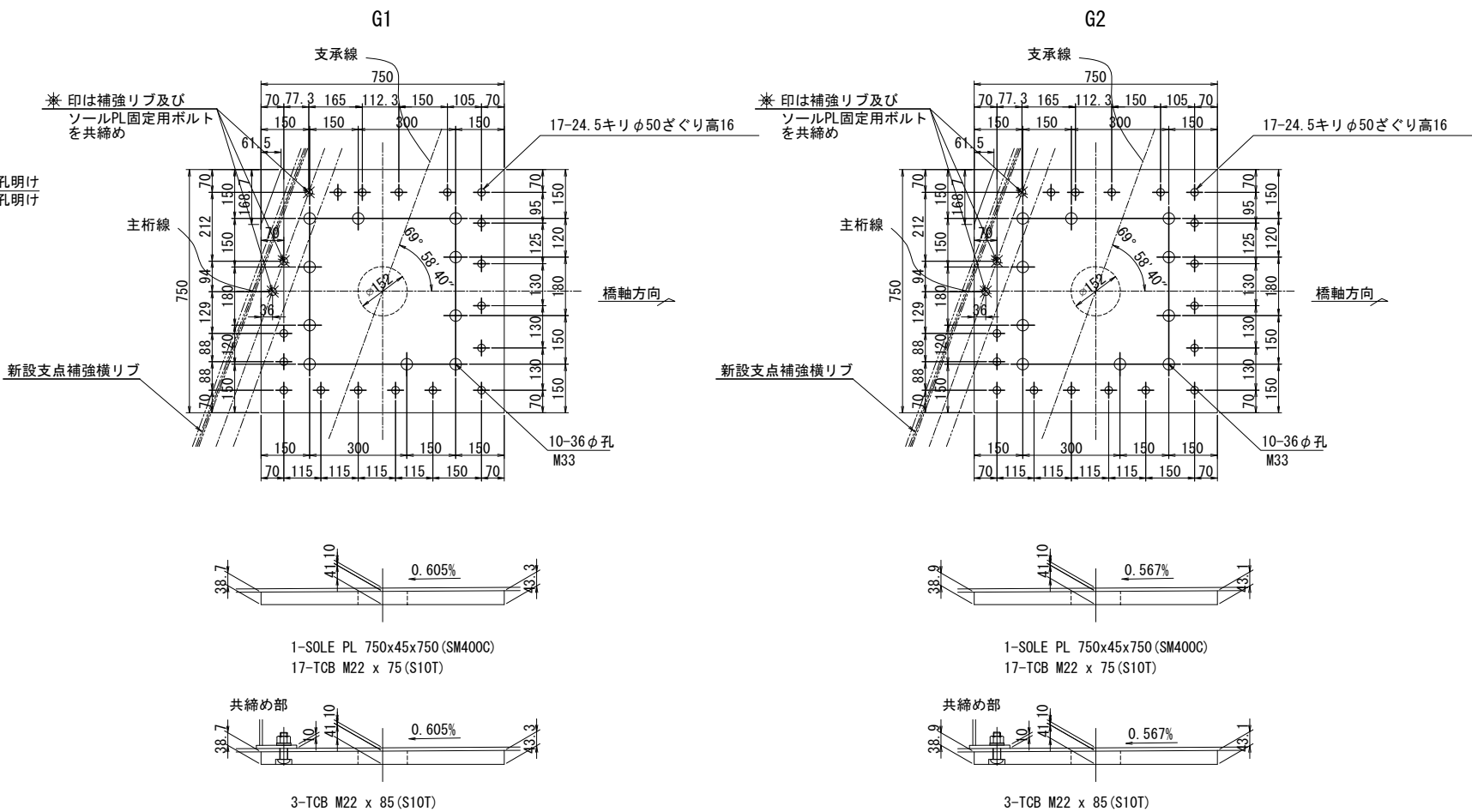


補強詳細図

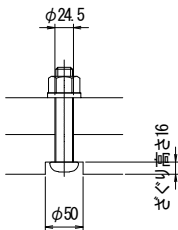
支点上補強材詳細



ソールプレート詳細



ざぐり部詳細 S=1:10



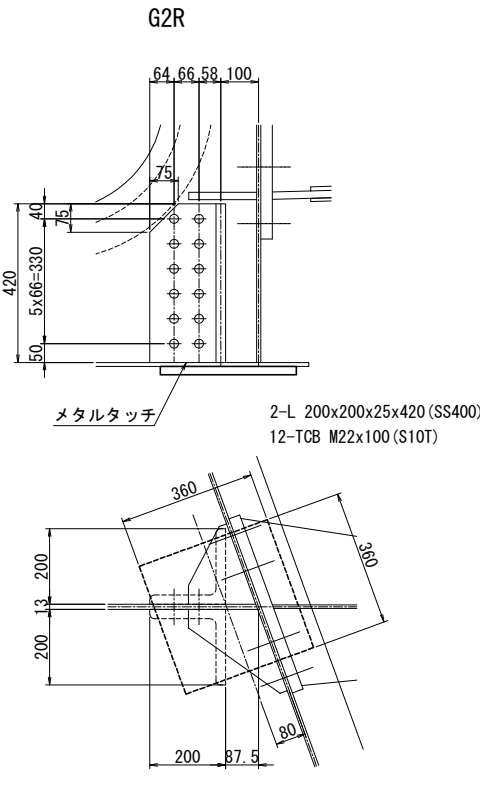
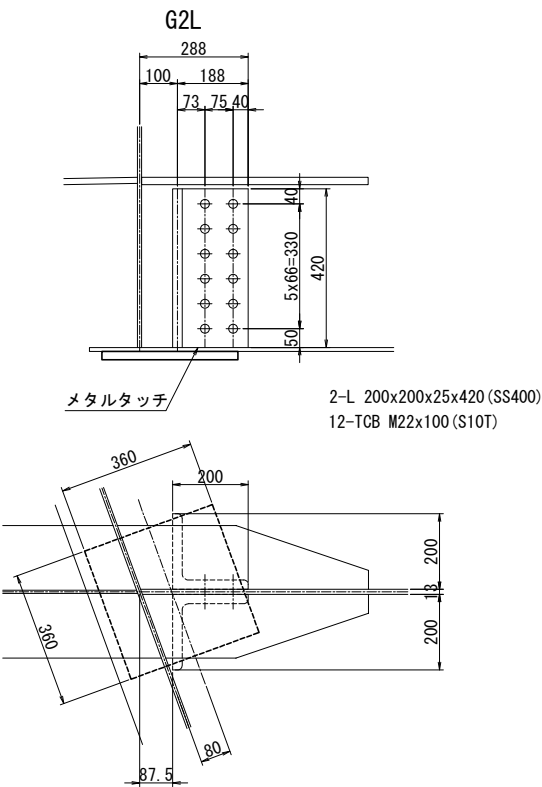
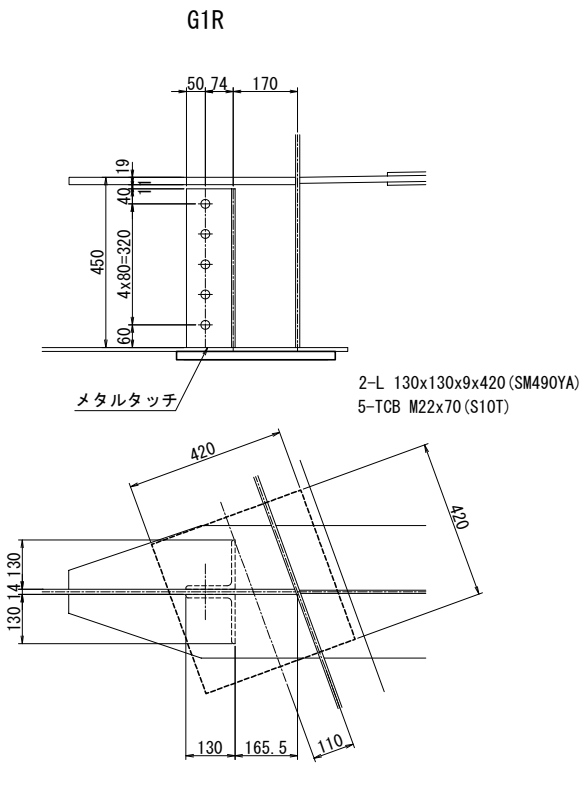
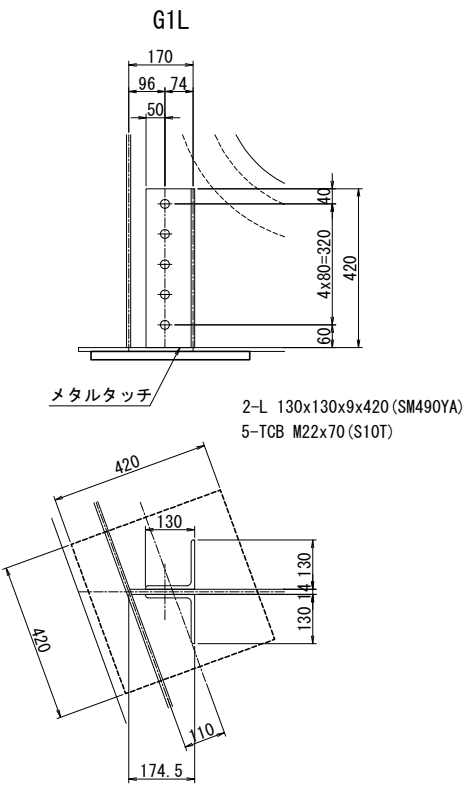
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
  3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 支承交換詳細図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



補強詳細図

新設ジャッキ補剛材詳細



注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。

2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。

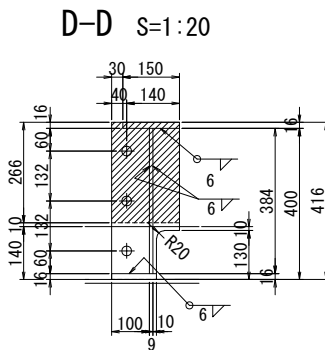
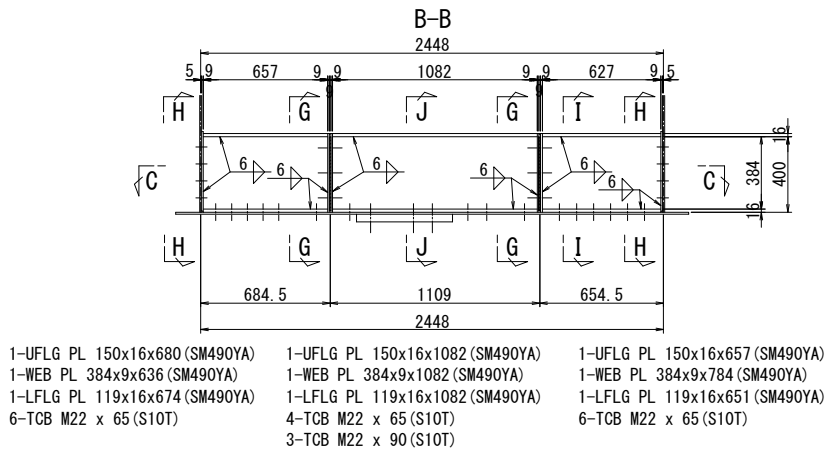
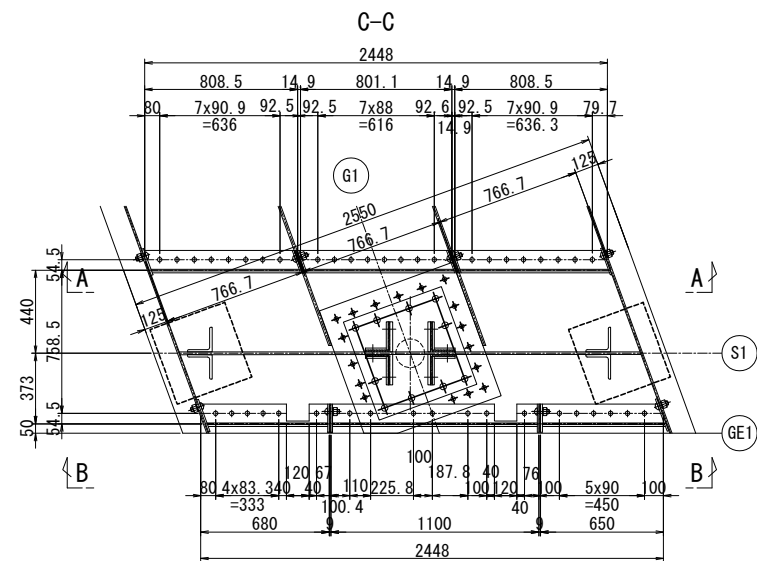
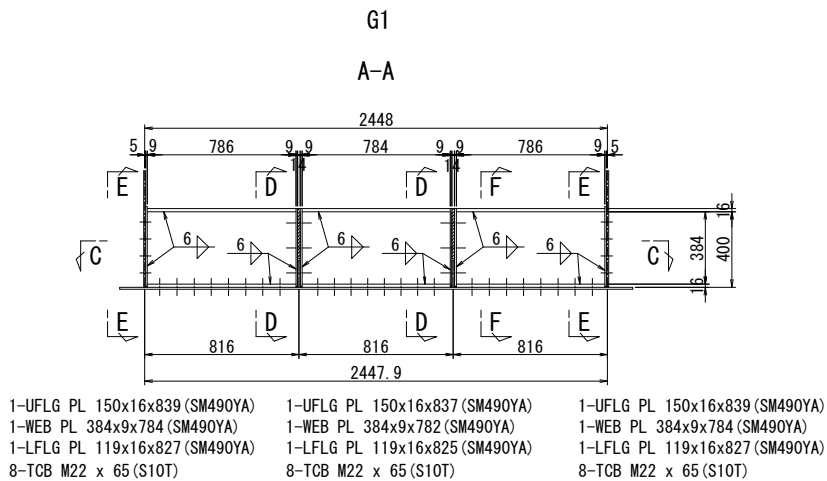
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ）		
	支承交換詳細図（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

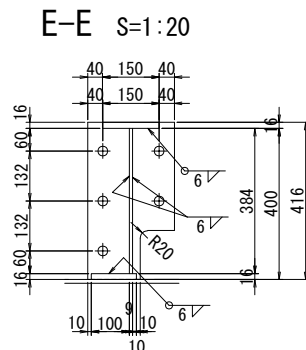


補強詳細図

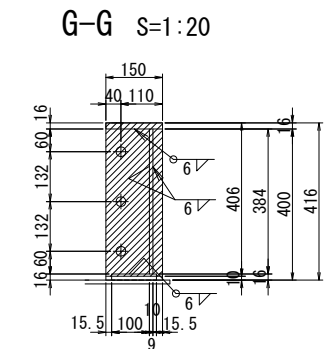
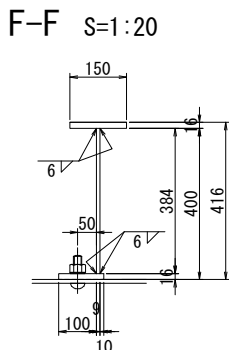
既設支点補強横リブの補強詳細



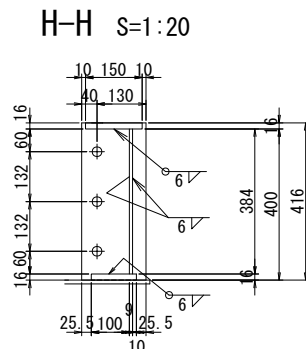
製作数:2  
2-BASE PL 195x9x416  
1-FILL PL 195x14x266 (SS400)  
3-TCB M22 x 70 (S10T)



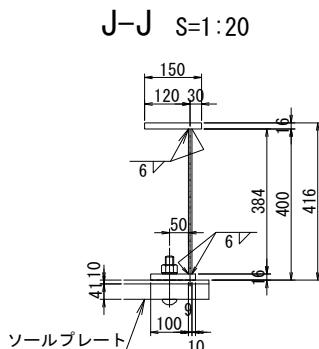
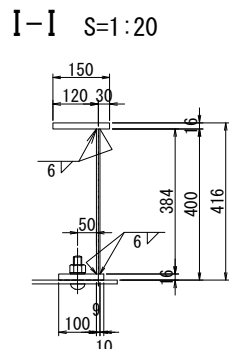
製作数:2  
1-BASE PL 245x9x416  
5-TCB M22 x 55 (S10T)



製作数:2  
2-BASE PL 150x9x416  
1-FILL PL 150x9x406 (SS400)  
3-TCB M22 x 65 (S10T)



製作数:2  
1-BASE PL 181x9x416  
3-TCB M22 x 55 (S10T)



注記

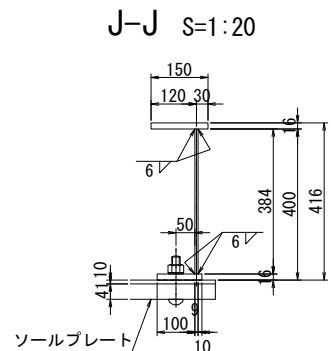
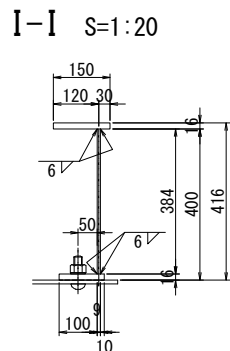
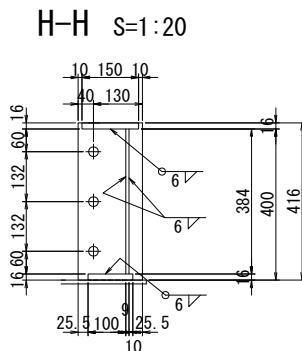
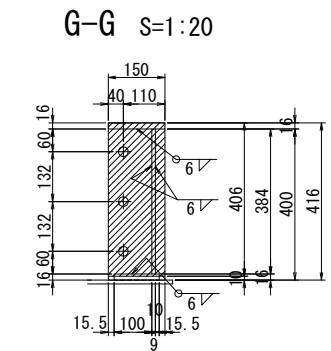
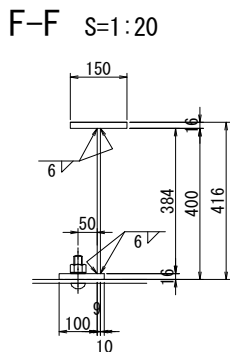
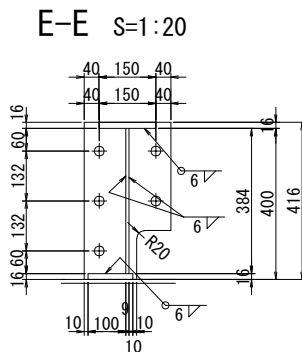
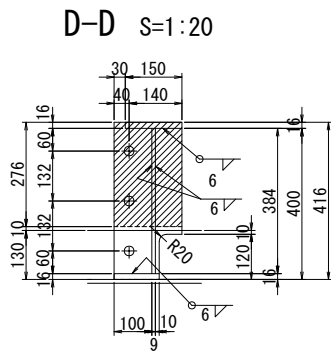
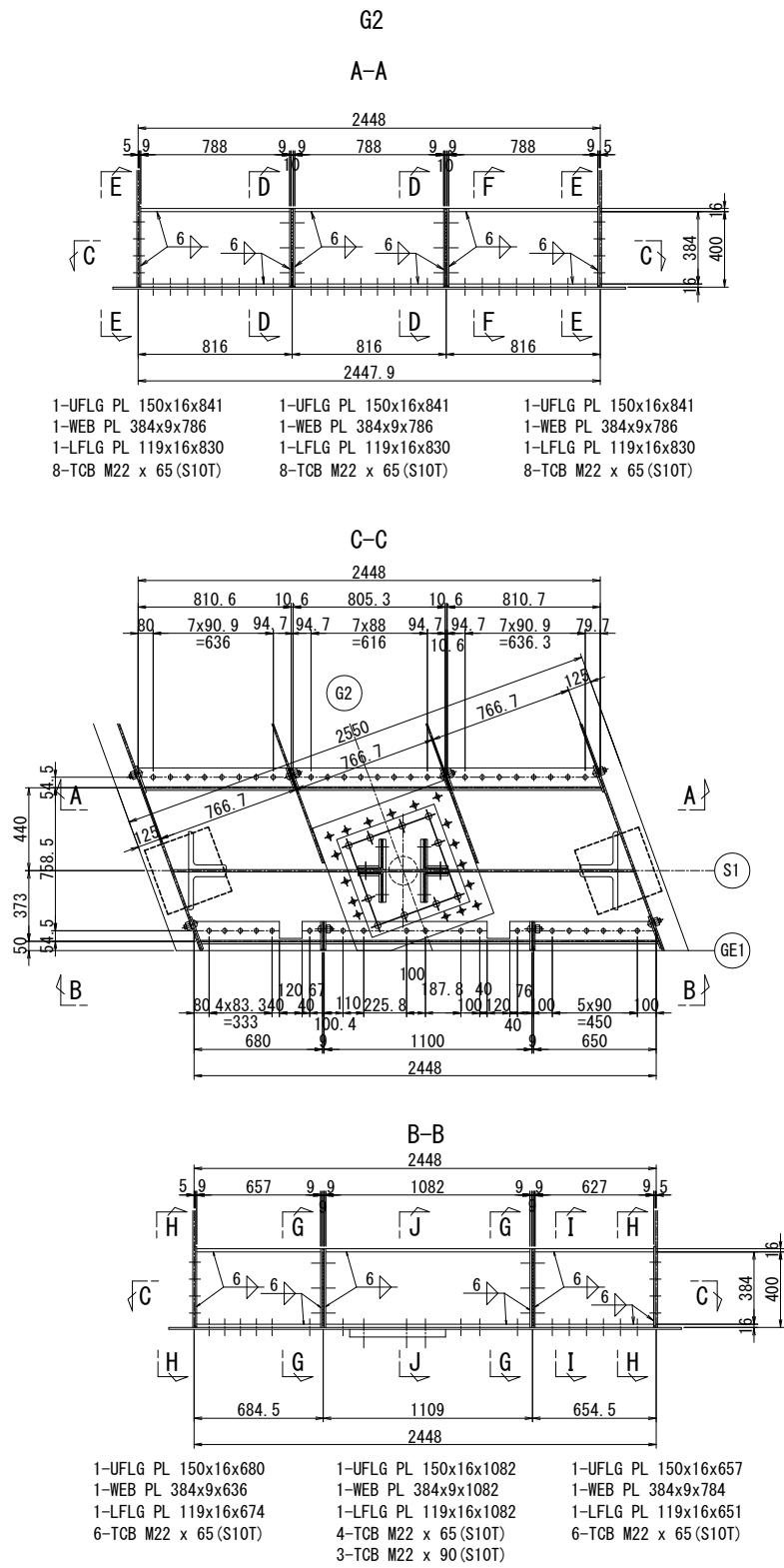
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） 支承交換詳細図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



補強詳細図

既設支点補強横リブの補強詳細



注記

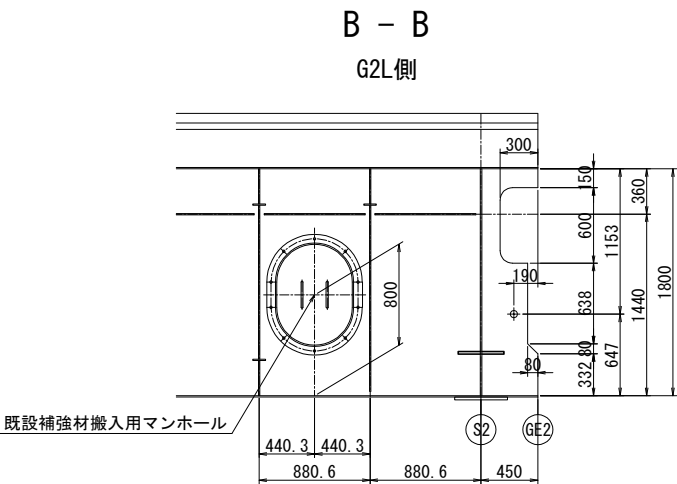
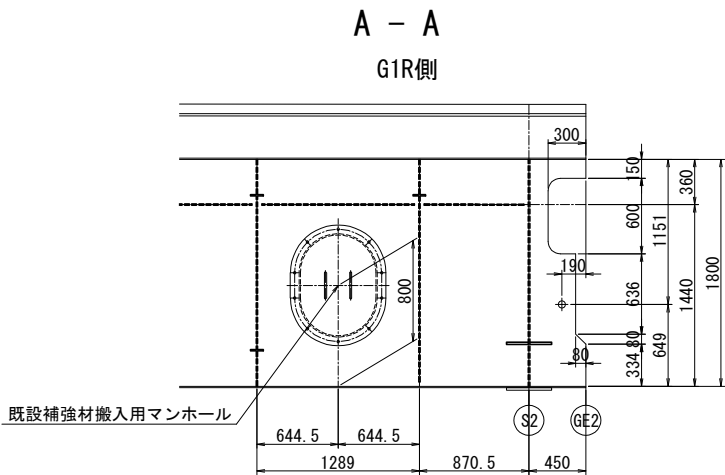
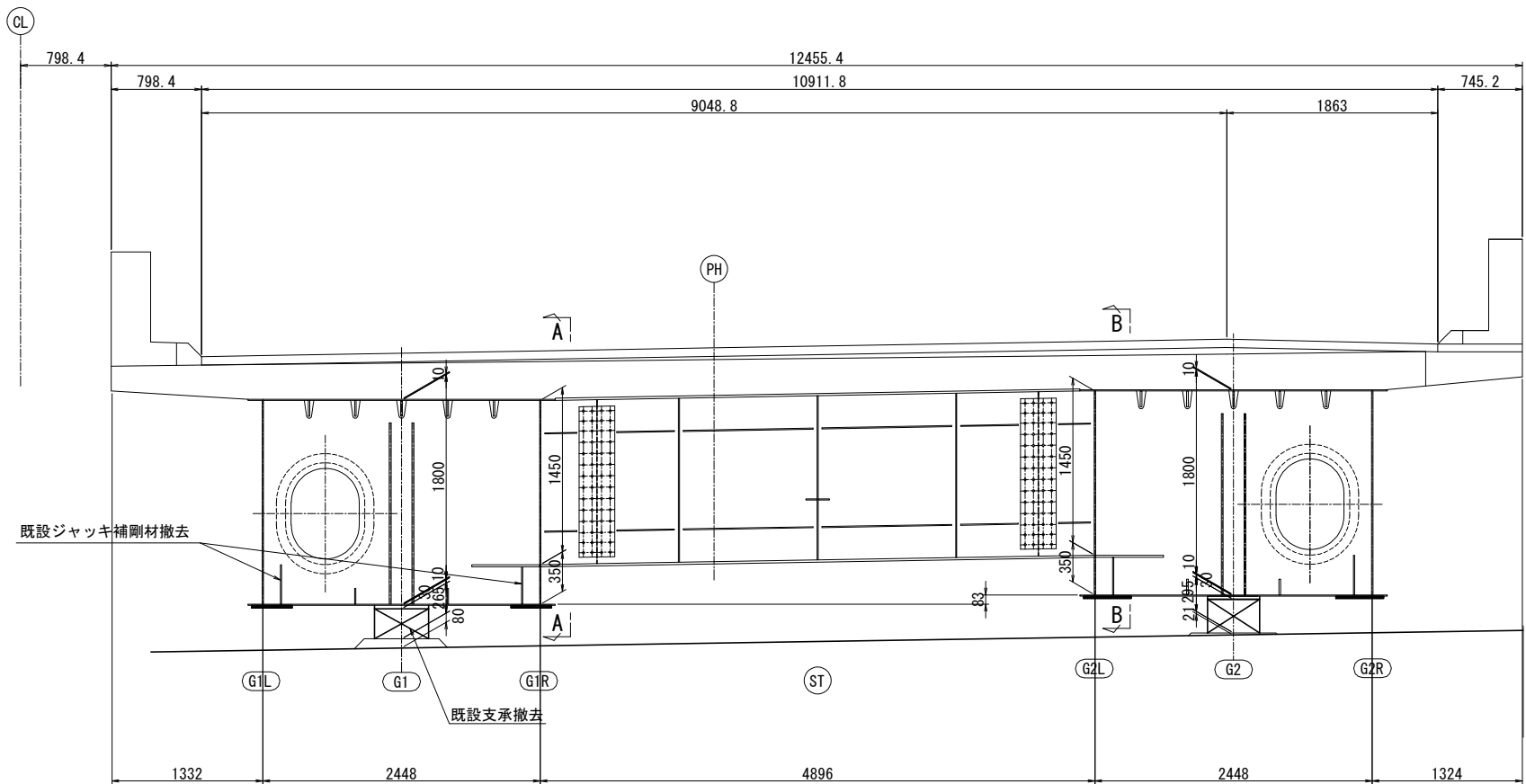
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、 $\phi 26.5$ とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 支承交換詳細図（その7）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

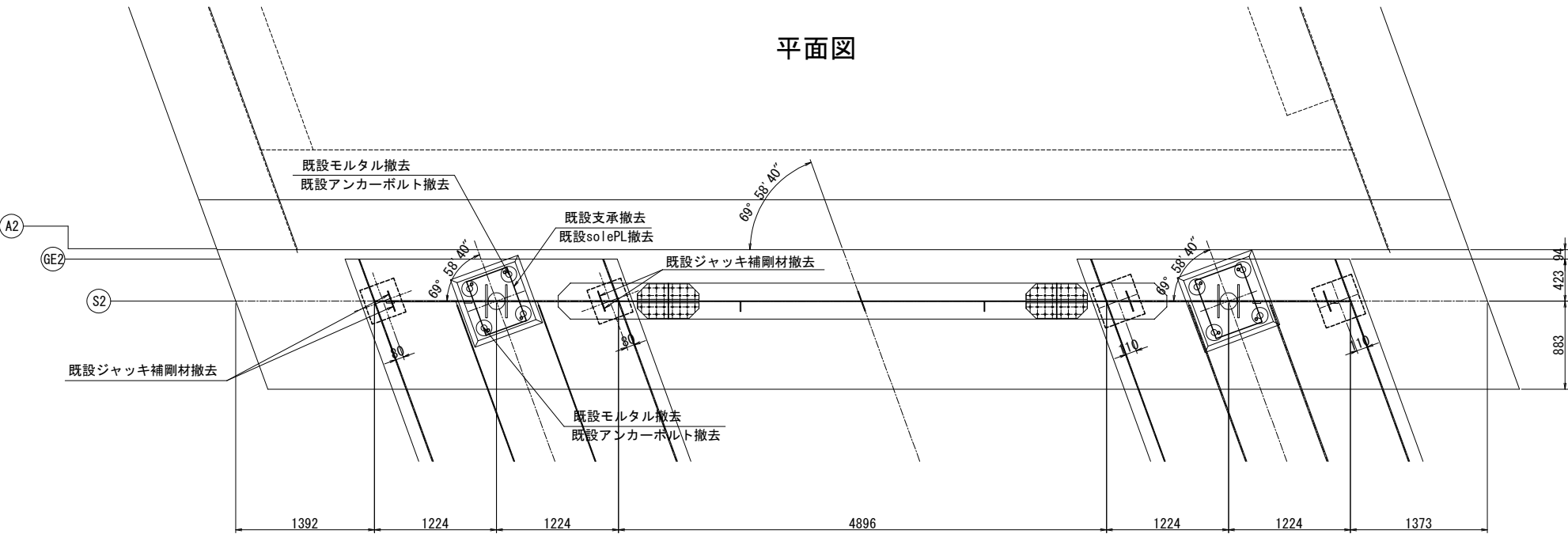


川田橋（ 上り線 ） A2橋台支承交換詳細図（その1） S=1:60

現状



平面図

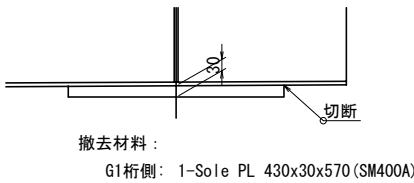
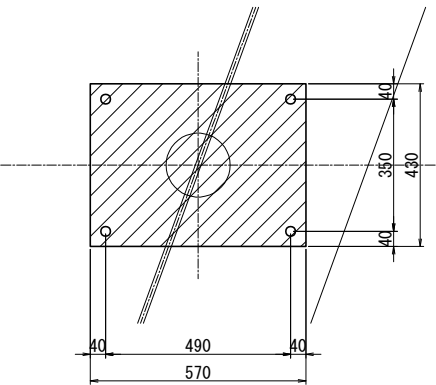


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ）		
	A2橋台支承交換詳細図（その1）		
縮 尺	S=1:60	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

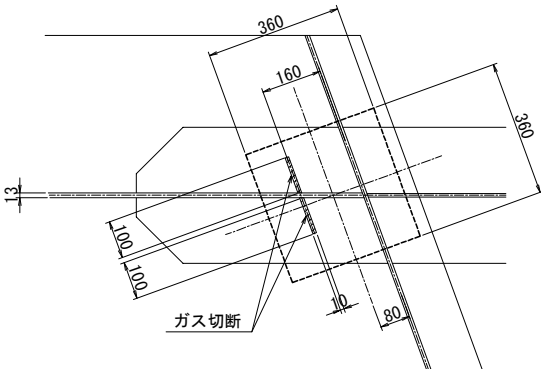
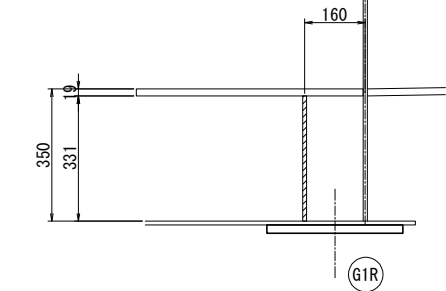
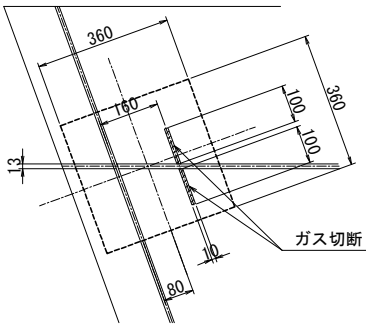
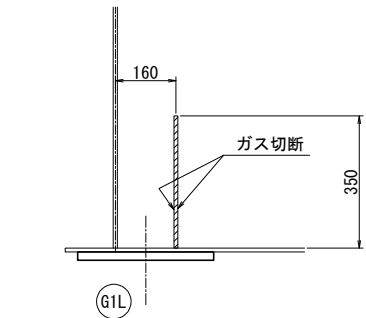


撤去詳細図

既設ソールプレート撤去

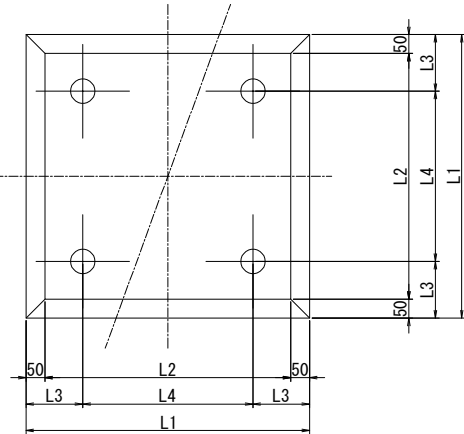
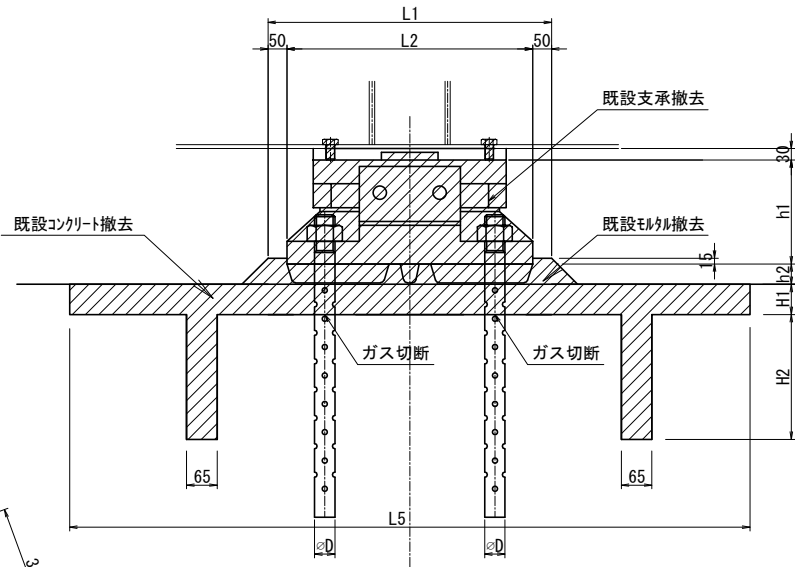


既設ジャッキ補剛材撤去



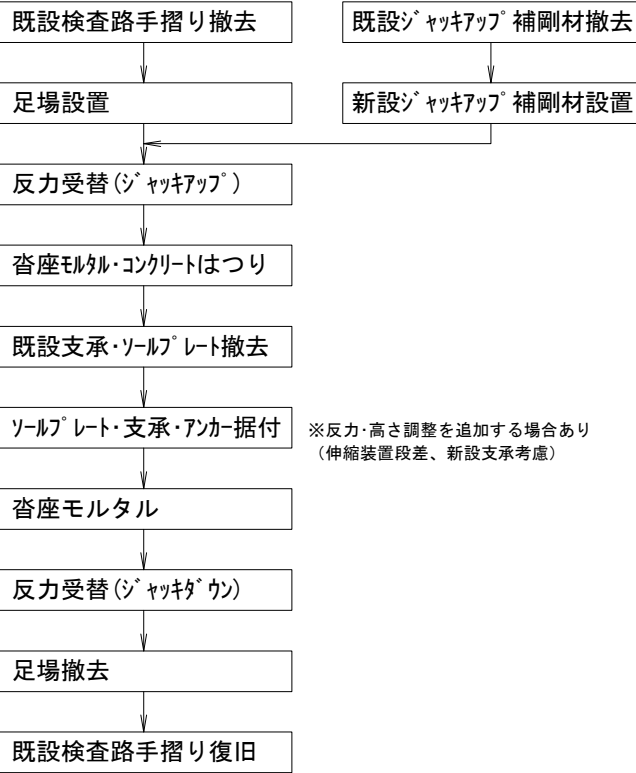
既設支承撤去

(新設支承範囲も含めて撤去)



	G1	G2
h1	265	275
L1	720	750
L2	620	650
L3	150	150
L4	420	450
H1	80	80
D	60	65
h2	80	21
L	220	260
L5	1880	1800
L6	1400	1400
L7	1200	1200
H2	290	330

施工程序



撤去材料:

既設支承撤去: 2箇所 撤去重量 G1, G2 各 947kg

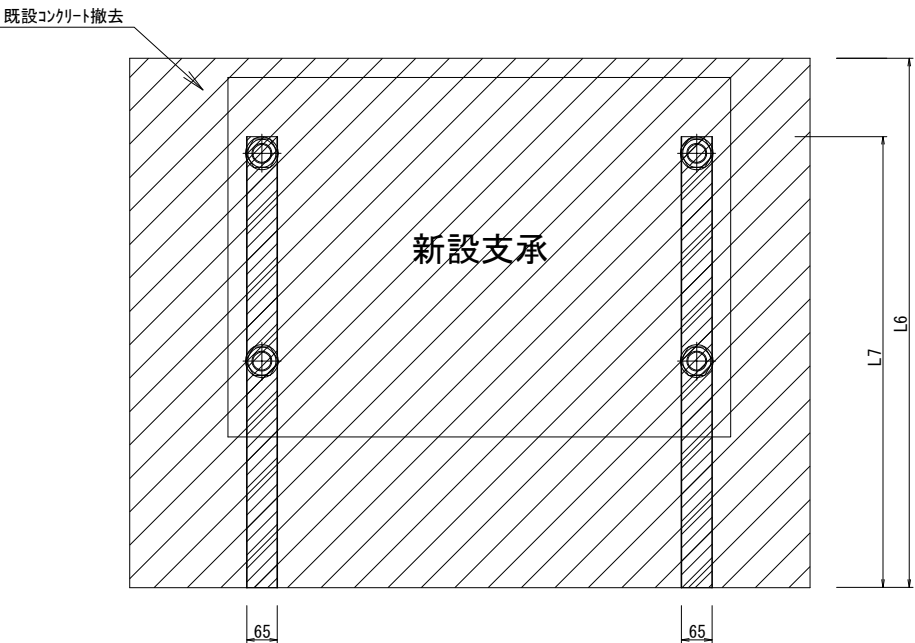
既設アンカーボルト撤去:

G1, G2各4箇所: 1-アンカーボルト  $\phi 65 \times L$  (SS400)

1-NUT M64 (SS400)

既設モルタル撤去体積: G1: 0.03m<sup>3</sup>, G2: 0.02m<sup>3</sup>

既設コンクリート撤去体積: G1: 0.26m<sup>3</sup>, G2: 0.25m<sup>3</sup>



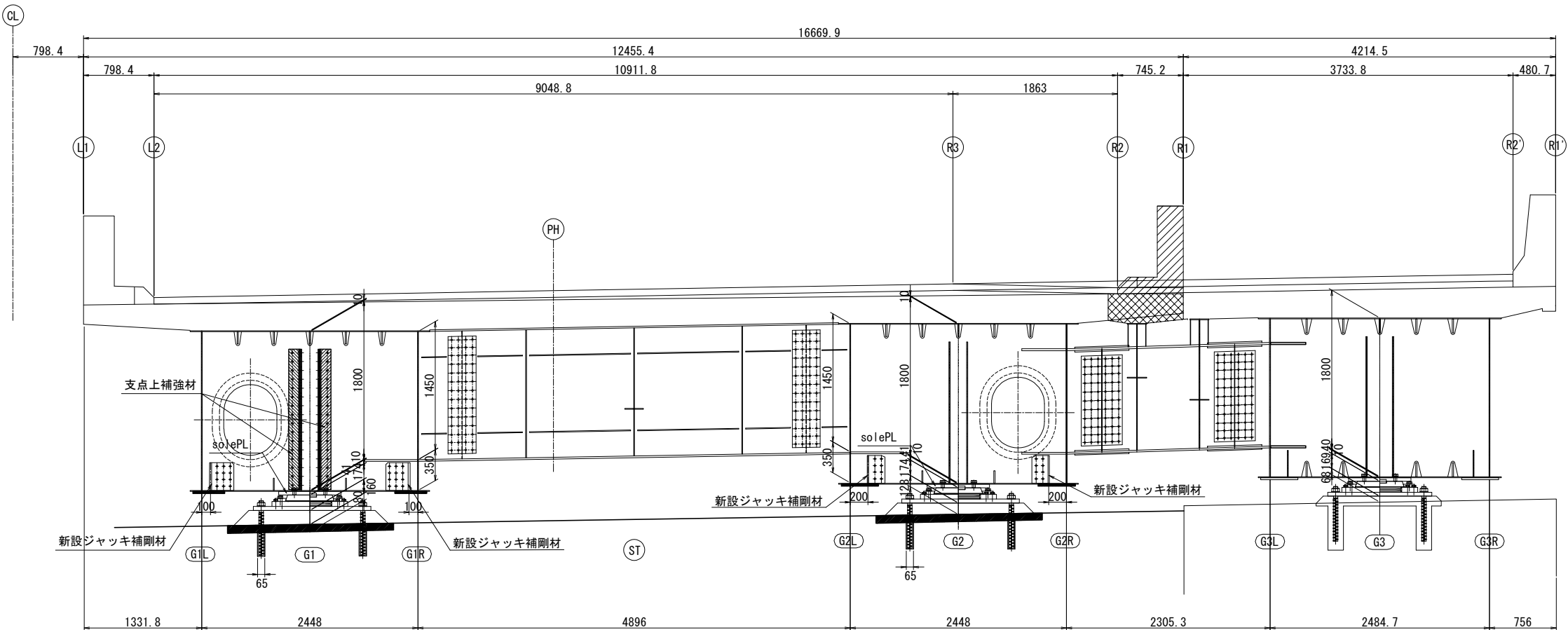
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ） A2橋台支承交換詳細図（その2）		
縮 尺	S=1:20	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



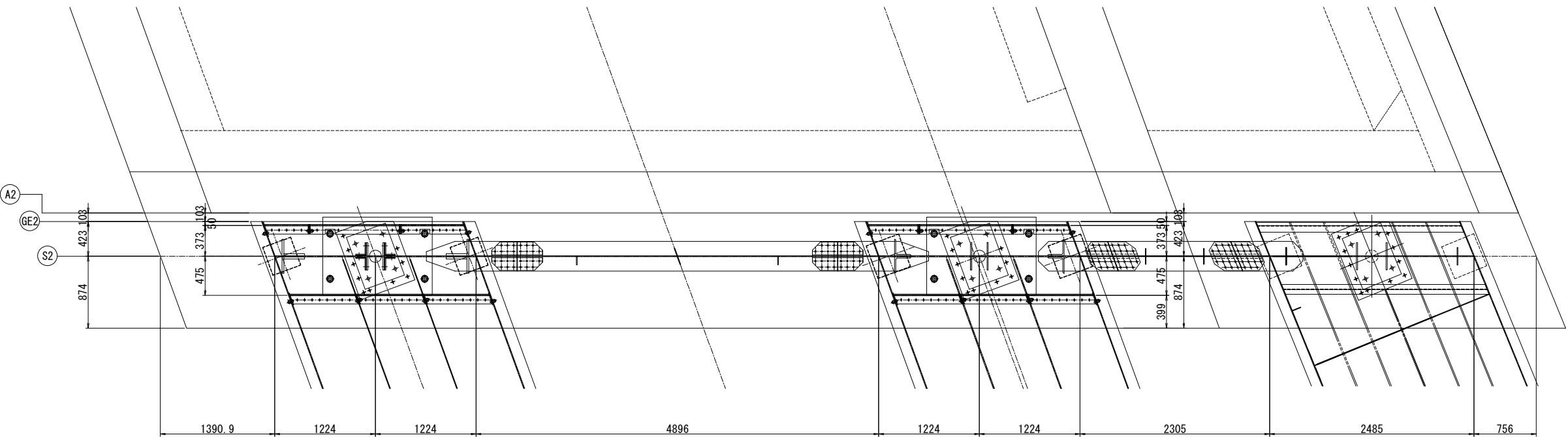
川田橋（ 上り線 ） A2橋台支承交換詳細図（その3） S=1:60

完成図

正面図



平面図

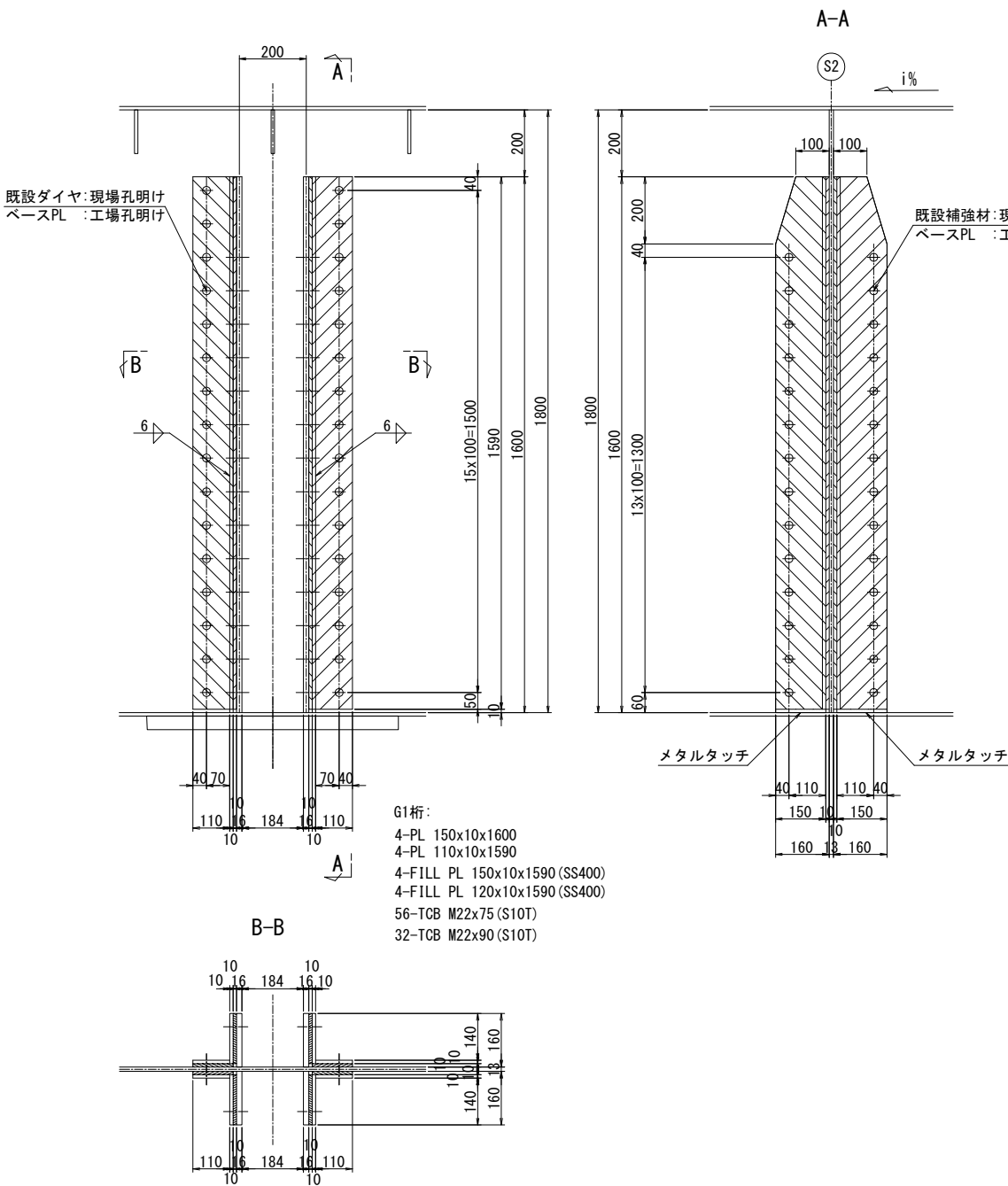


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ）		
	A2橋台支承交換詳細図（その3）		
縮 尺	S=1:60	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

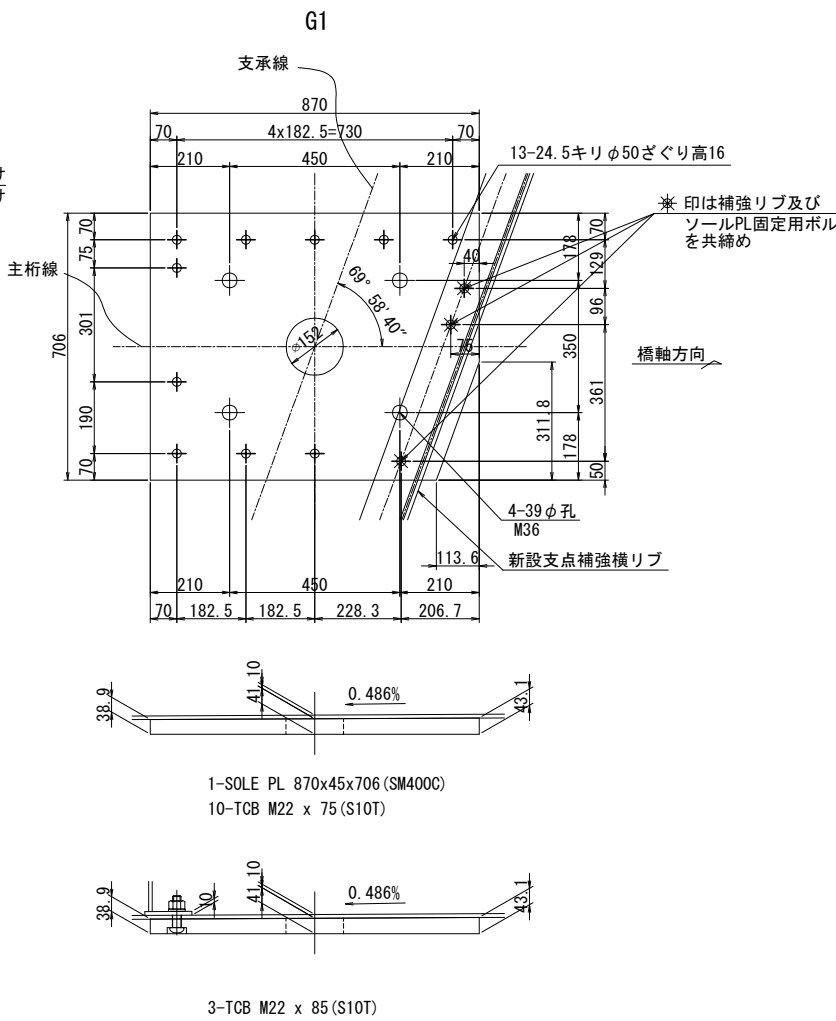


川田橋（上り線）A2橋台支承交換詳細図（その4） S=1:20

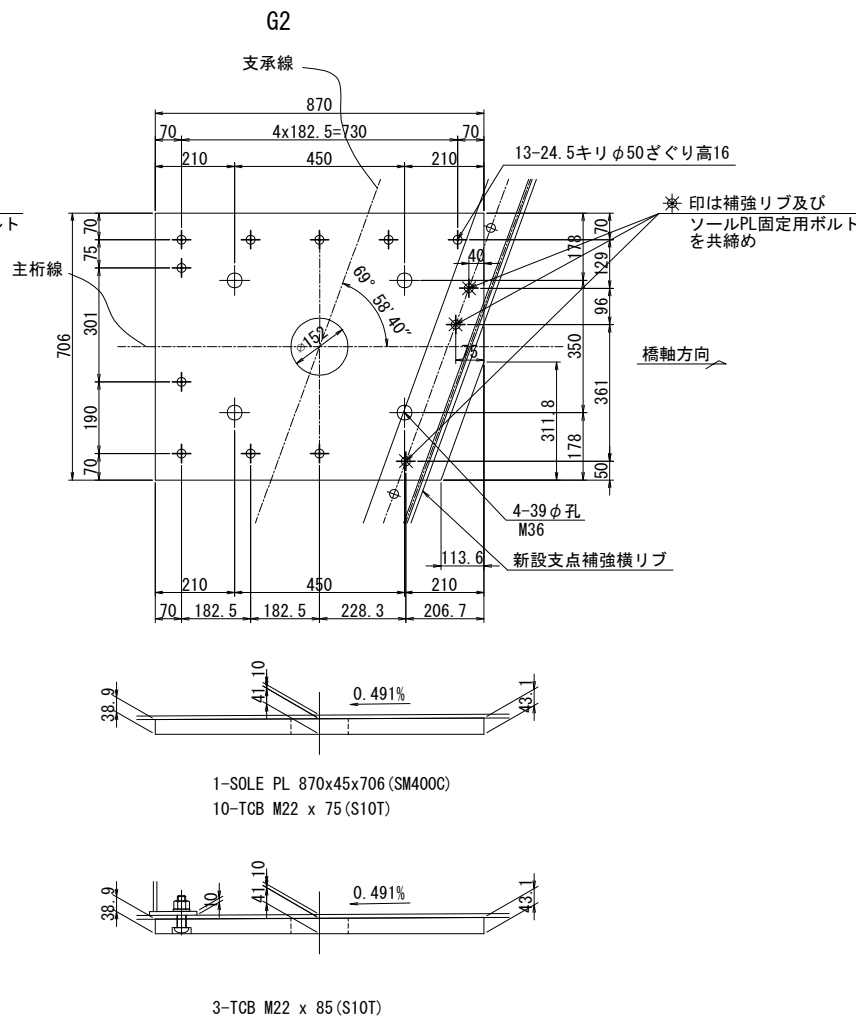
## 支点上補強材詳細



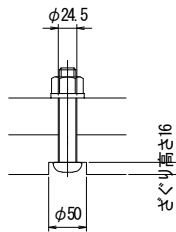
## 補強詳細図



## ソールプレート詳細



## ざぐり部詳細 S=1:10



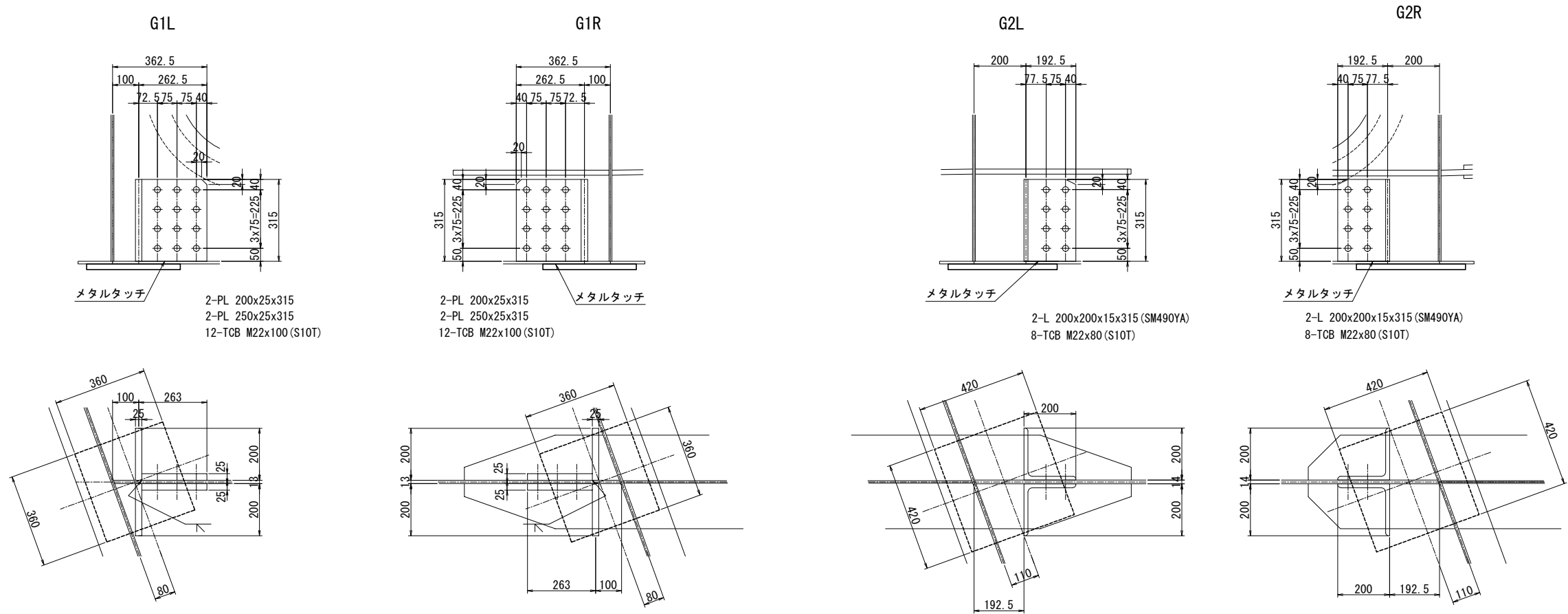
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、 $\phi 26.5$ とする。

長野自動車道		
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事		
橋台橋（上り線）		
図面の種類	A2橋台支承交換詳細図（その4）	
縮 尺	S=1:20	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	



補強詳細図  
新設ジャッキ補剛材詳細



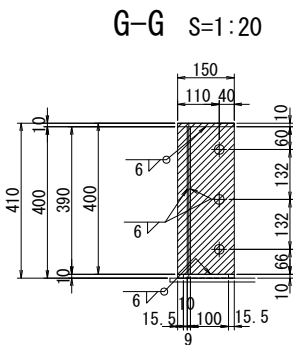
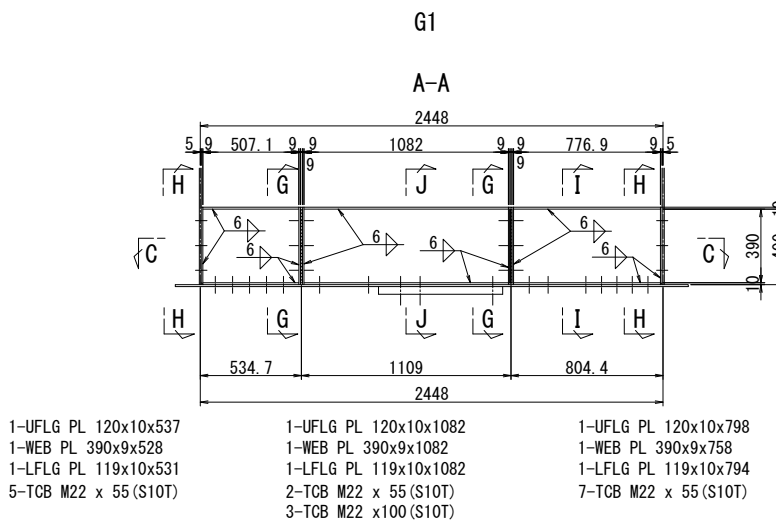
- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
  3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 上り線 ）		
	A2橋台支承交換詳細図（その5）		
縮 尺	S=1:20	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（上り線）A2橋台支承交換詳細図（その6） S=1:40

## 補強詳細図

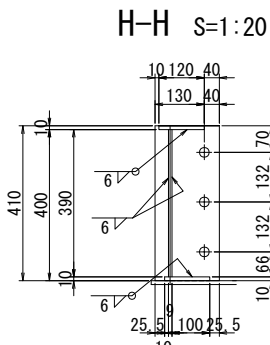


製作数:2

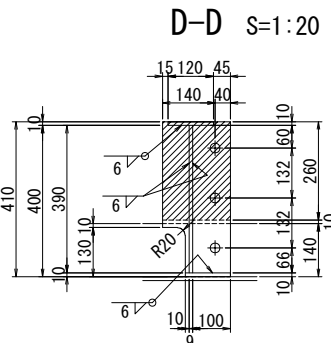
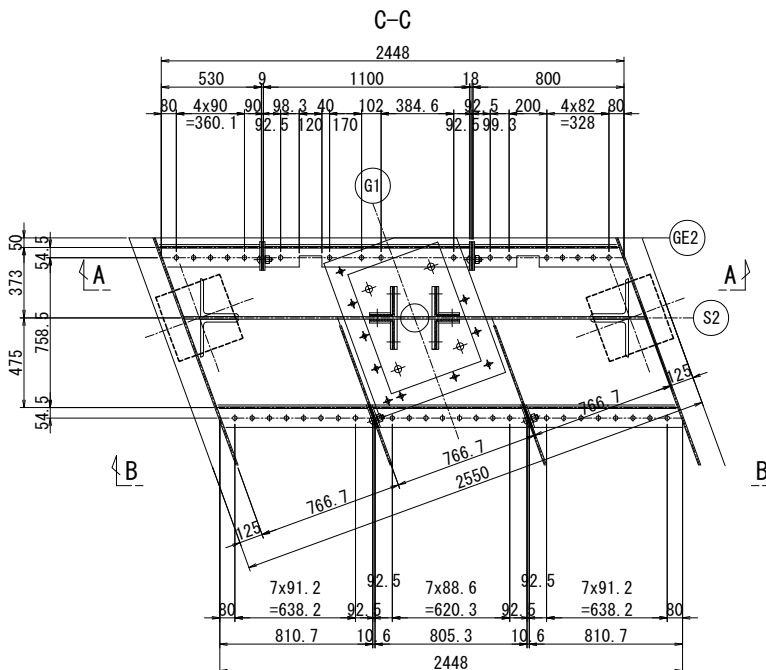
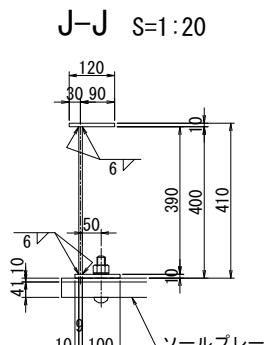
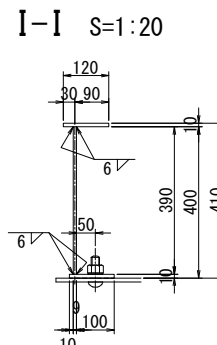
2-BASE PL 150x9x410

1-FILL PL 150x9x400 (SS400)

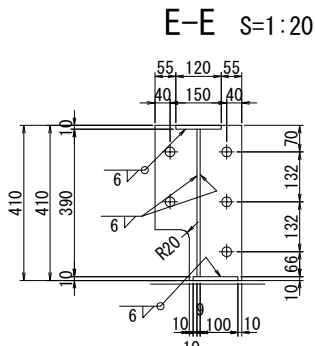
3-TCB M22 x 65 (S10T)



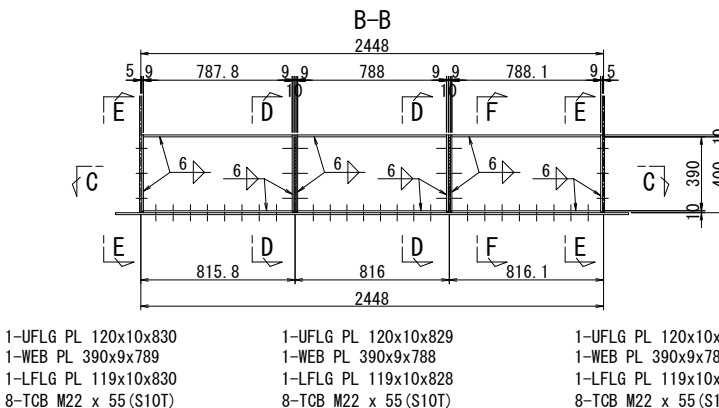
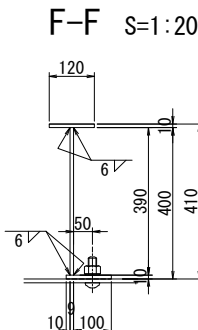
製作数:2  
1-BASE PL 184x9x410  
3-TCB M22 x 55(S10T)



製作数:2  
2-BASE PL 195x9x410  
1-FILL PL 195x10x260 (SS400)  
3-TCB M22 x 65 (S10T)



製作数:2  
1-BASE PL 248x9x410  
5-TCB M22 x 55(S10T)



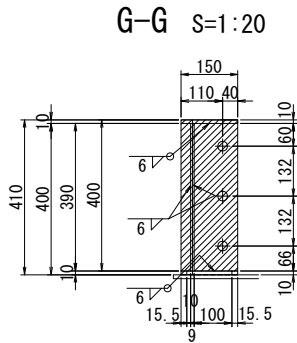
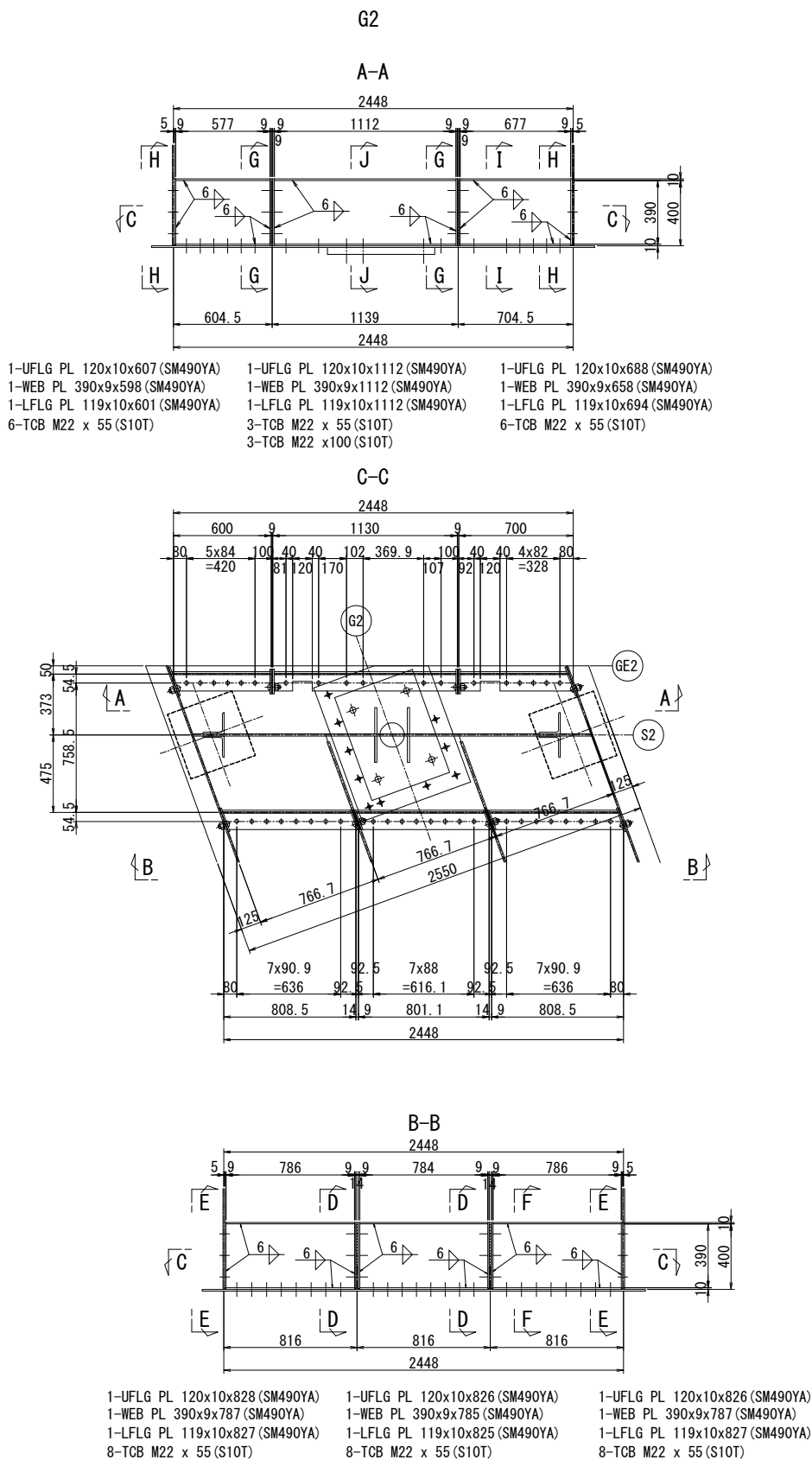
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、 $\phi 26.5$ とする。

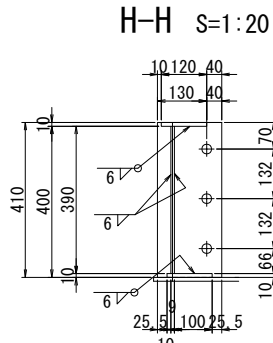
長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類		川田橋（上り線） A2橋台支承交換詳細図（その6）	
縮 尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



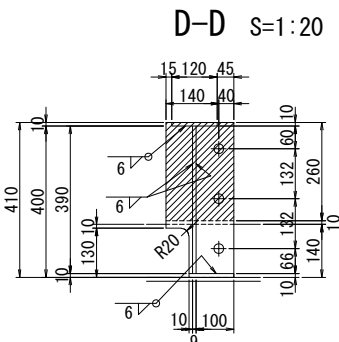
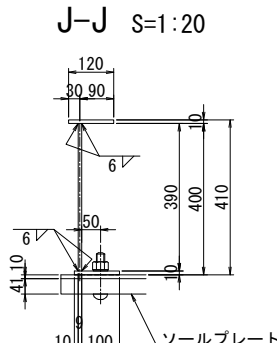
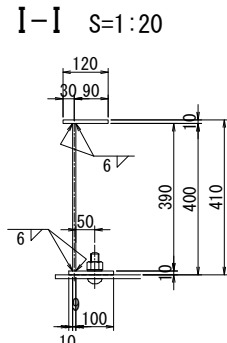
補強詳細図



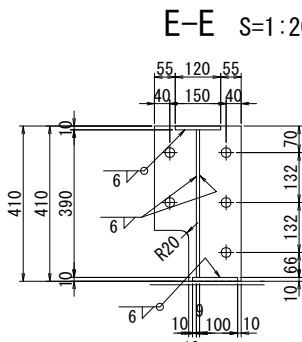
製作数:2  
2-BASE PL 150x9x410  
1-FILL PL 150x9x400 (SS400)  
3-TCB M22 x 65 (S10T)



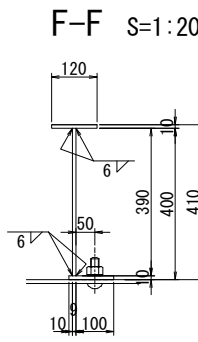
製作数:2  
1-BASE PL 184x9x410  
3-TCB M22 x 55 (S10T)



製作数:2  
2-BASE PL 195x9x410  
1-FILL PL 197x14x260 (SS400)  
3-TCB M22 x 70 (S10T)



製作数:2  
1-BASE PL 248x9x410  
5-TCB M22 x 55 (S10T)



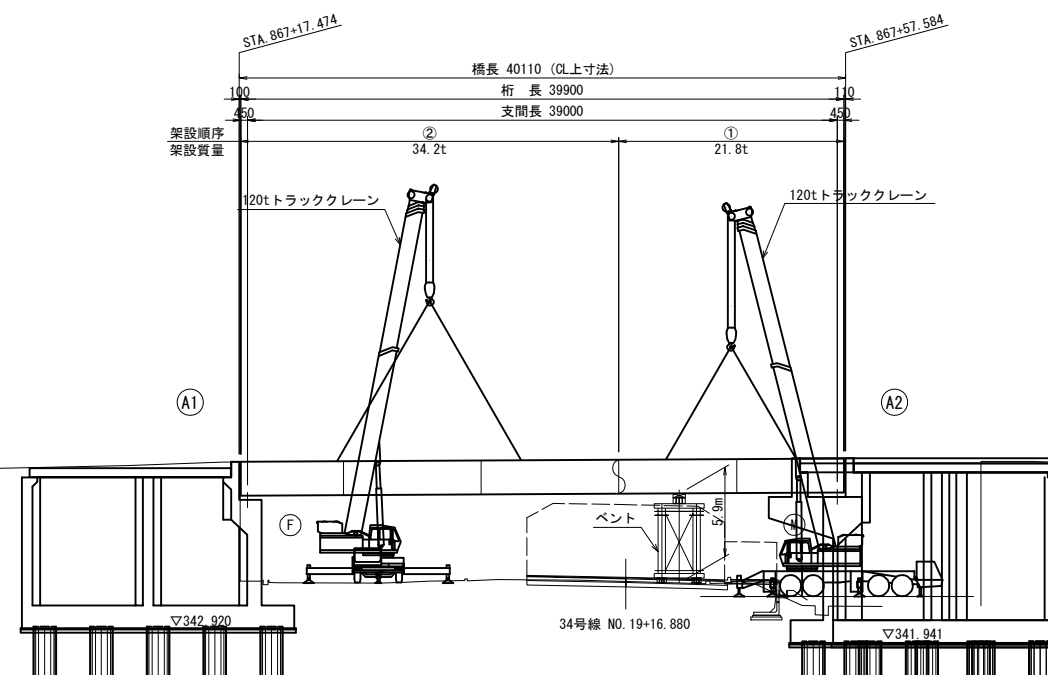
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

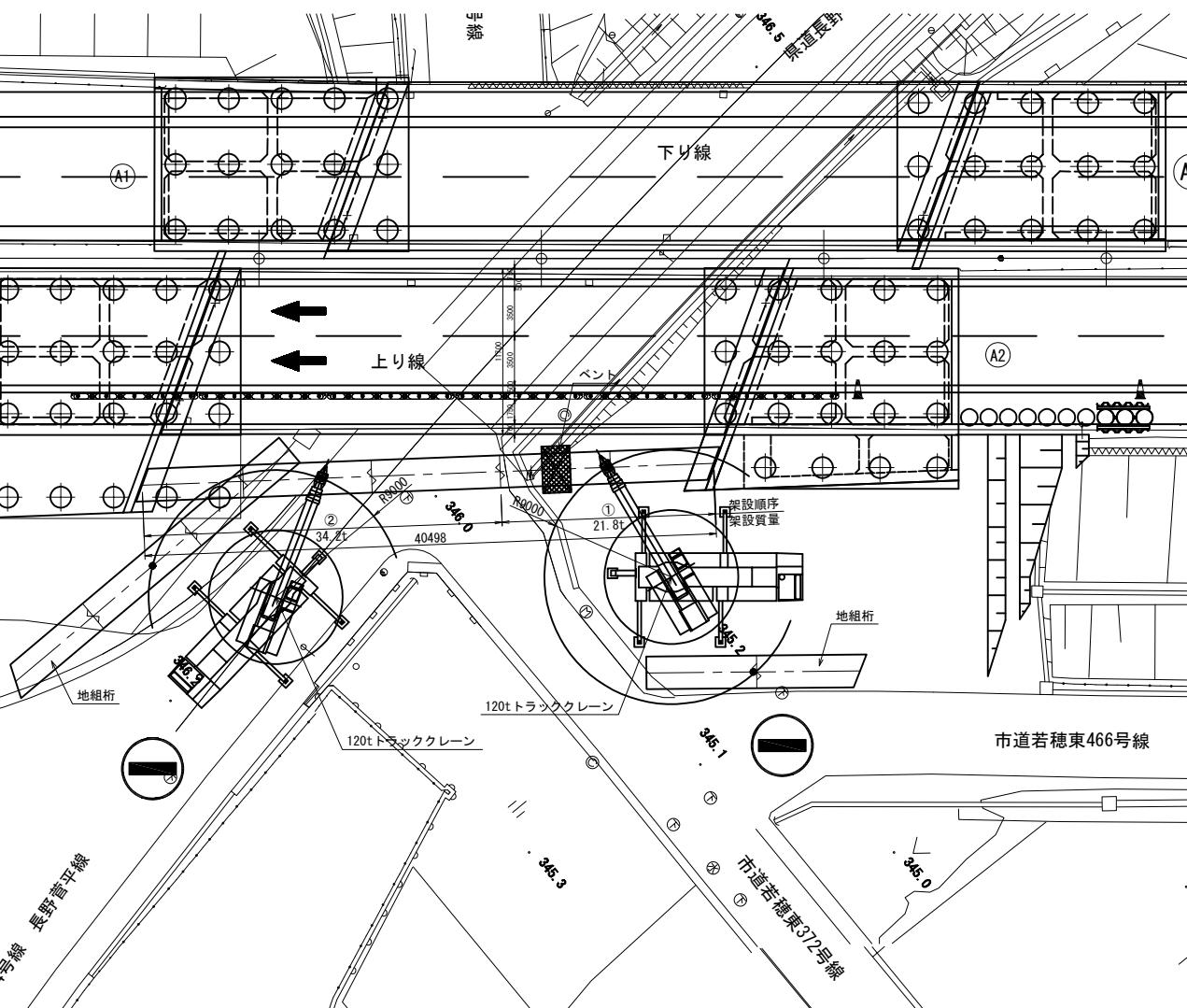
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線）		
	A2橋台支承交換詳細図（その7）		
縮尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



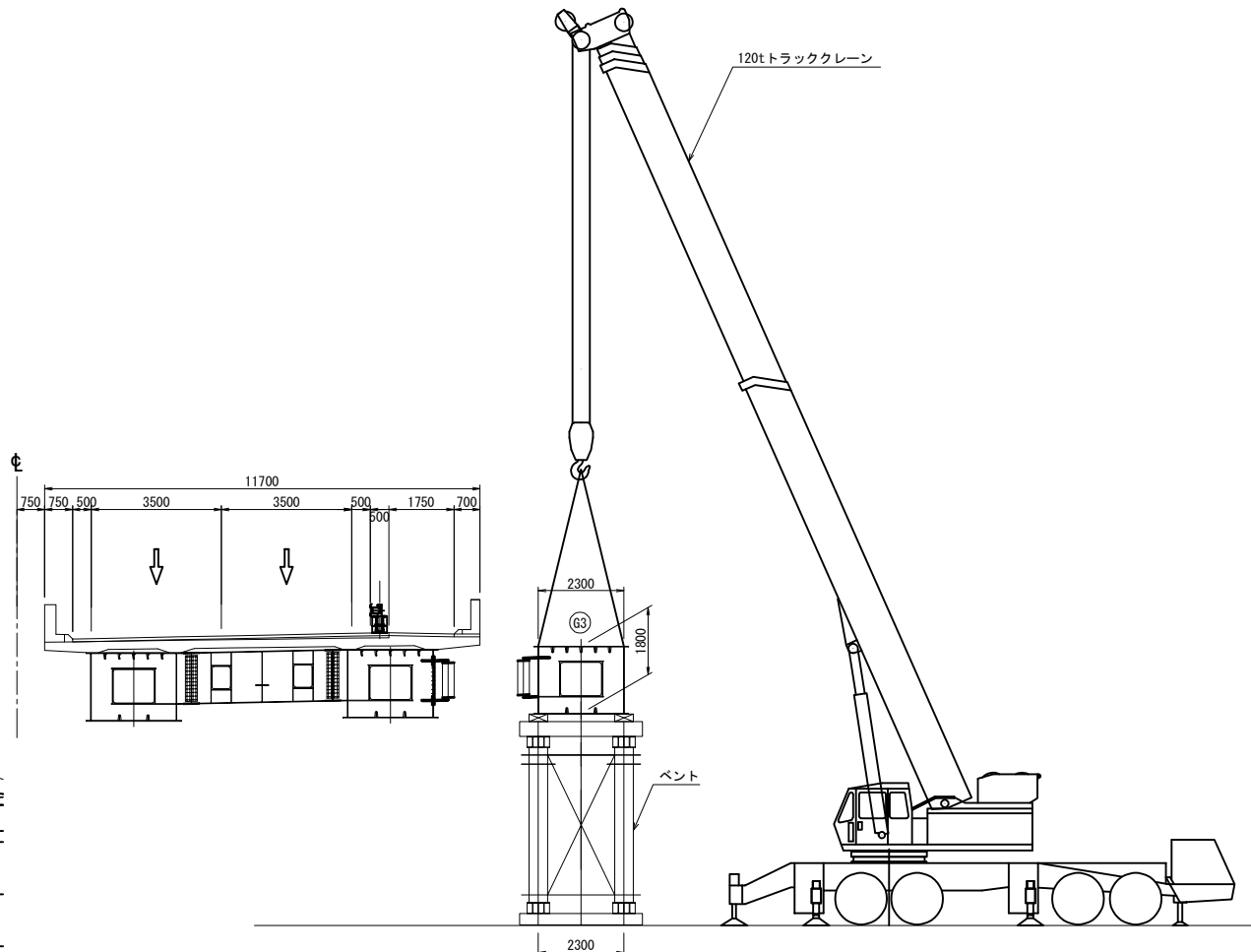
側 面 図 S=1:500



平面图 S=1:500



断面図 S=1:200



120t吊トラッククレーン定格総荷重表 (KATO NK-1200-V)

作業半径 (m)	ブーム長			吊上重量 (t)
	L=18.15 m	L=22.7 m	L=31.8 m	
8.0	48.1	47.5	40.1	
9.0	41.5	41.0	36.0	34.9
10.0	36.4	35.8	32.6	
11.0	32.0	31.5	29.7	
12.0	28.2	27.9	27.1	
14.0	22.5	22.1	23.0	
16.0	18.0	17.8	19.7	
18.0		14.3	16.3	
20.0		11.5	13.6	

フック等質量 : 0.7t

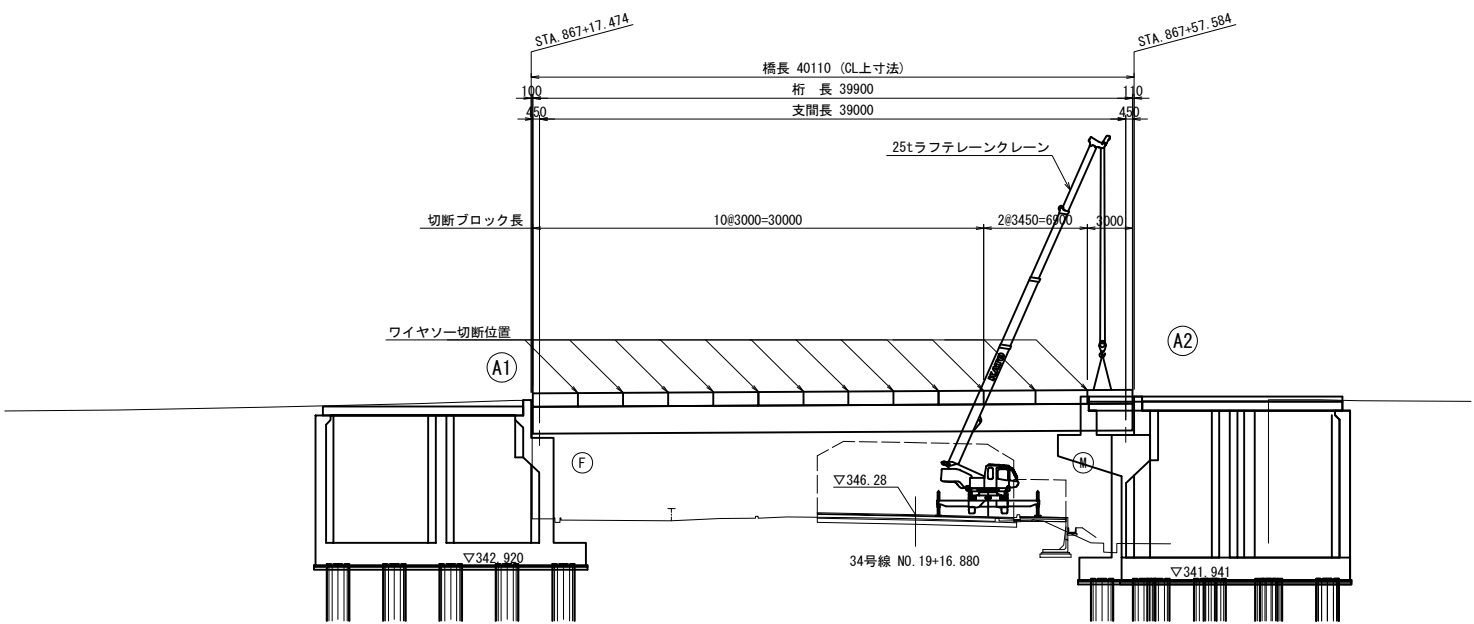
アウトリガー最大反力 : 51.7t

必要地耐力:  $13.6 \text{ t/m}^2$

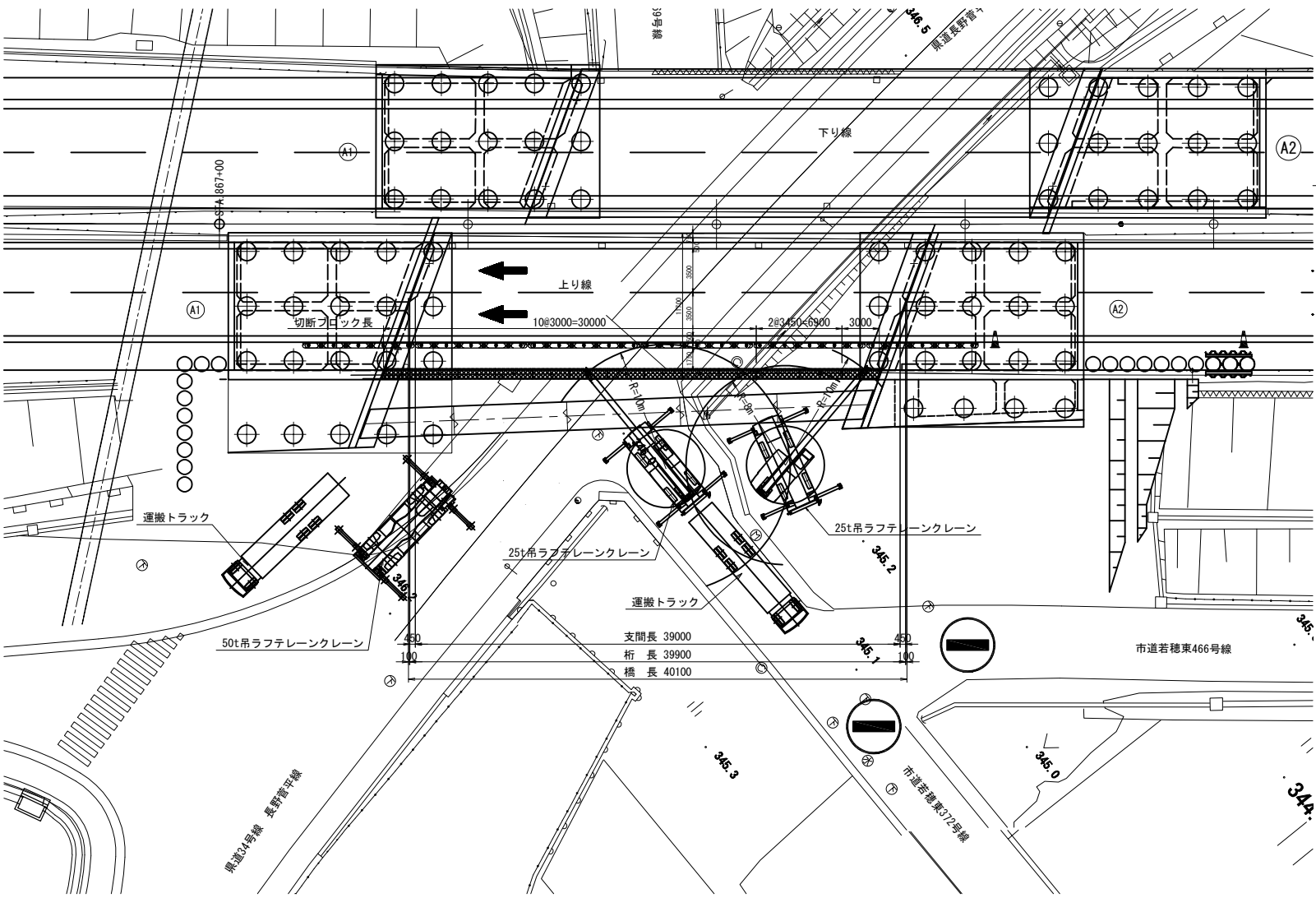
<p>長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事</p>			
図面の種類	<p>川田橋（上り線） 架設計画図（参考図）</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所</p>		



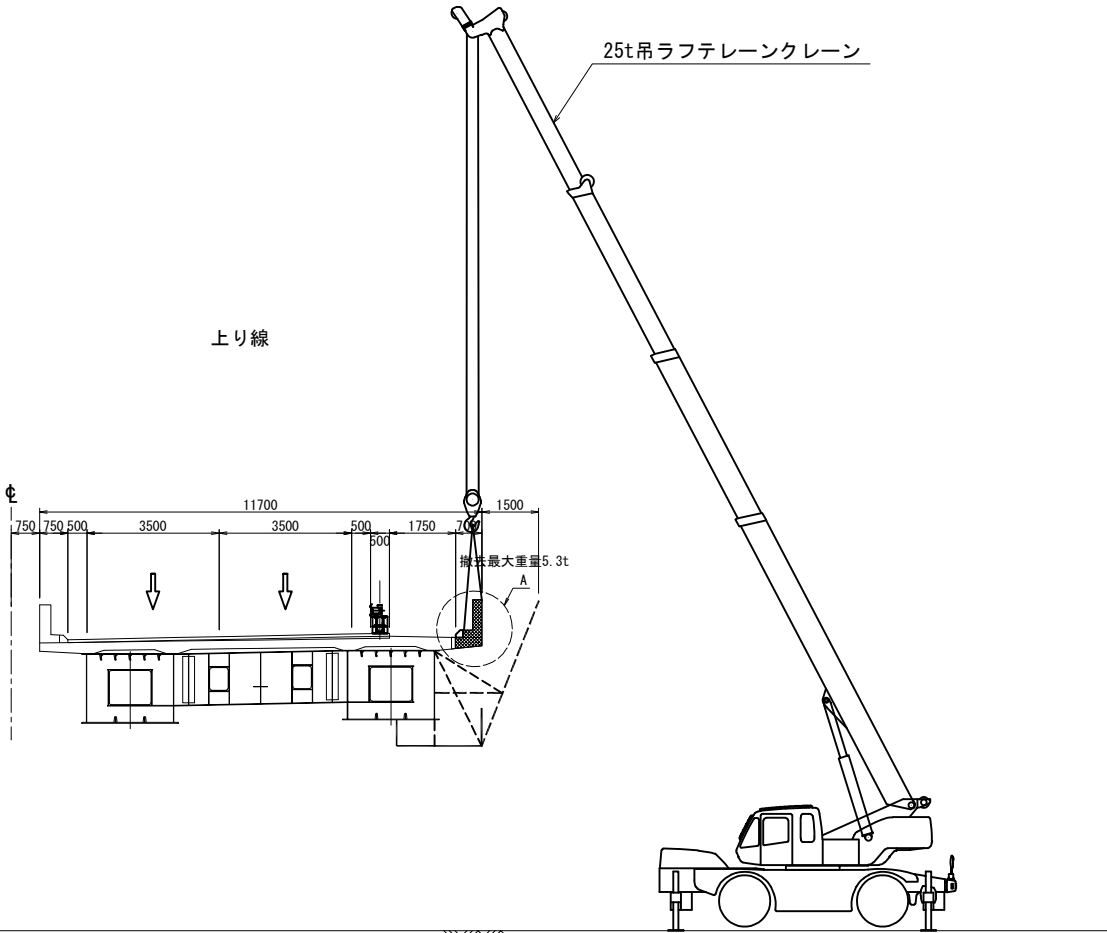
側面図 S=1:500



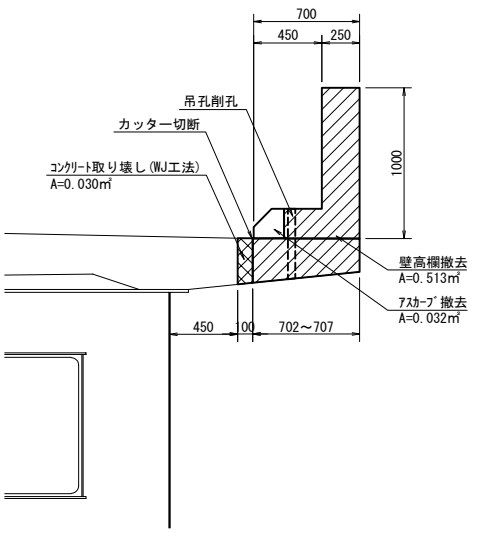
平面図 S=1:500



断面図 S=1:200



A部詳細



25t吊りラフテレーンクレーン 定格総荷重 (KATO SR-250VR)

作業半径 (m)	ブーム長 L=16.5m	ブーム長 L=23.5m	ブーム長 L=30.5m	吊上質量
8.0	11.4t	9.1t	7.0t	5.6t
9.0	9.2t	8.2t	6.4t	
10.0	7.5t	7.4t	5.9t	
11.0	6.2t	6.6t	5.3t	
12.0	5.2t	5.9t	4.9t	4.8t
13.0	4.4t	5.0t	4.5t	
14.0		4.4t	4.1t	
フック質量	フック0.23t			

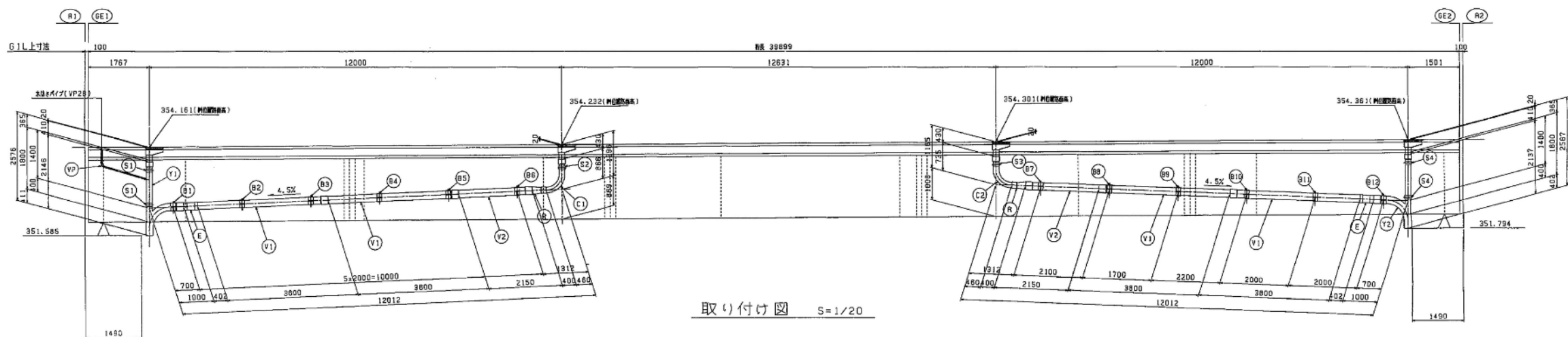
撤去ブロック重量 (3.5m) = 4.4t × 1.2 = 5.3t  
撤去ブロック重量 (3.0m) = 3.8t × 1.2 = 4.6t

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	川田橋(上り線) 壁高欄撤去計画図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

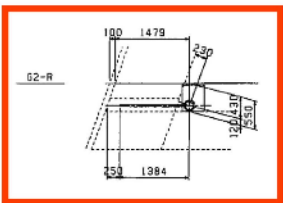
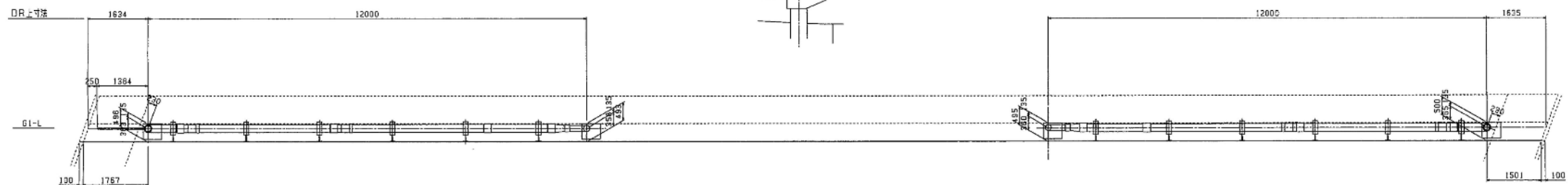
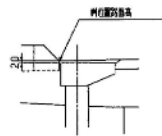


排水装置（その2）

中分側 S=1/50



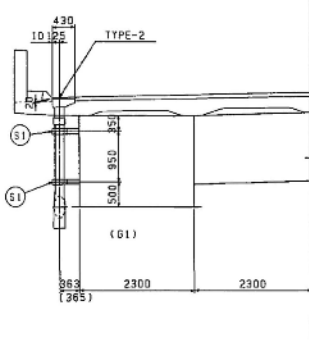
取り付け図 S=1/20



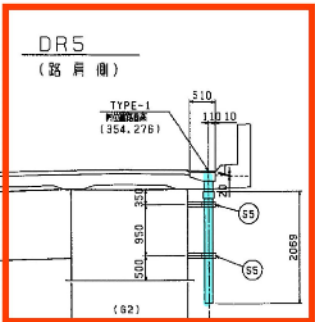
断面図 S=1/50

既設排水管撤去

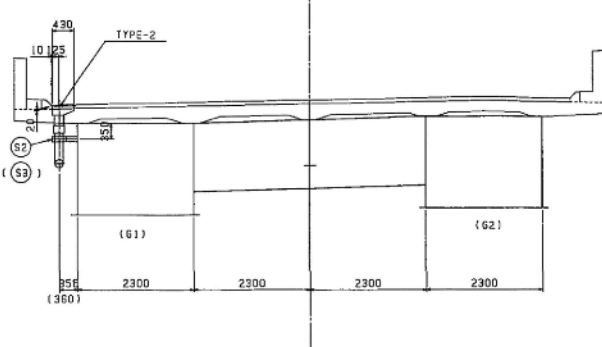
DR1 (DR4)  
(中分側)



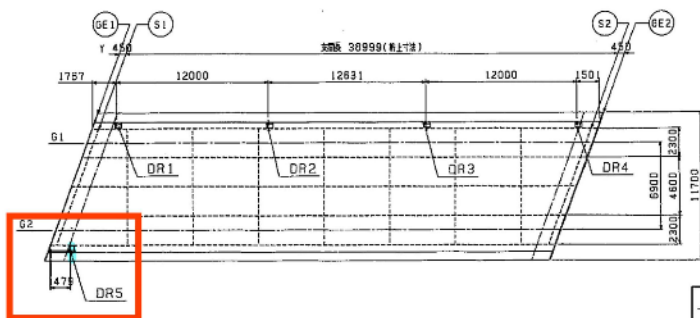
DR5  
(路肩側)



DR2 (DR3)  
(中分側)



平面図 S=1/200



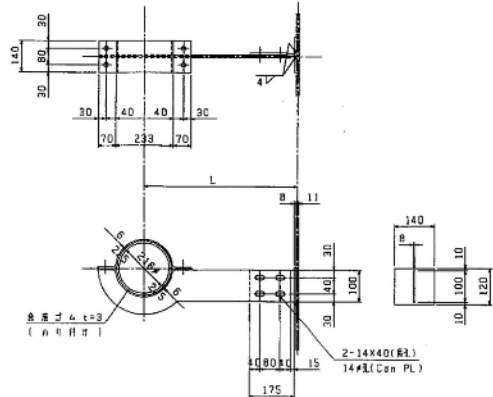
上野自動車道（長野～須賀長野東）完成図		64.4
工 中 小 補		126.3
名 川 田 橋		2.7
称 排水装置(2)		7.3
日本道路公団名古屋建設局		2.7
平8 マ景230号		7.3

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 撤去図(その1)(参考図)		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



排水装置(その3)

取付金具 ㊸ S=1/10



寸法表

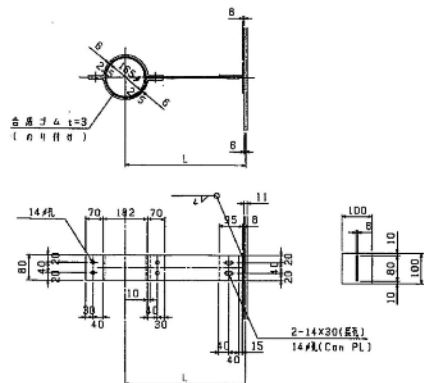
DR-1~2	L	L1
B1	363	521
B2	362	520
B3	361	519
B4	360	518
B5	359	517
B6	358	516

寸法表

DR-3~4	L	L1
B7	351	519
B8	351	519
B9	352	520
B10	363	521
B11	364	522
B12	365	523

2-PL 140x6x506  
1-PL 181x6x L1  
※1-PL 100x8x175  
※1-PL 120x8x140  
4-BN M12x30 (1-W付)  
4-BN M12x35 (2-W付)  
2-J4 140x3x344(ネオブレン)

取付金具 ㊸ S=1/10

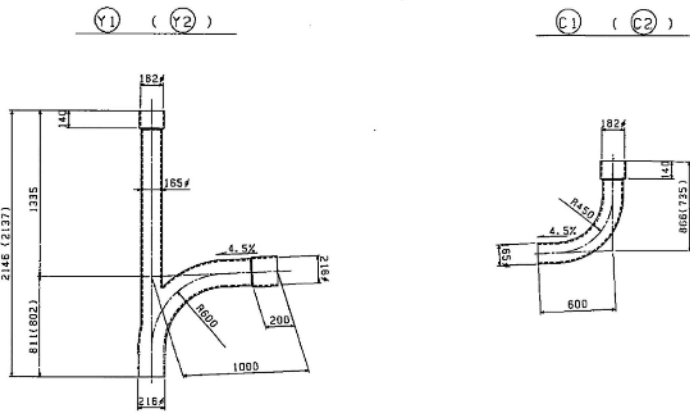


寸法表

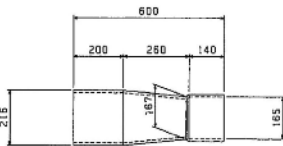
	L	L1	本数
S1	363	233	2
S2	358	228	1
S3	360	230	1
S4	365	235	2
S5	430	300	2

2-PL 80x6x426  
1-PL 80x6x L1  
※1-PL 80x8x 95  
※1-PL 100x8x100  
2-BN M12x30 (1-W付)  
2-BN M12x35 (1-W付)  
2-BN M12x35 (2-W付)  
2-J4 80x3x267(ネオブレン)

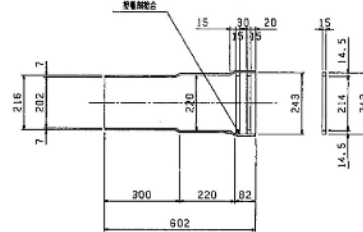
チーズ管及び曲管詳細 S=1/20



レジューサー ㊹ S=1/10

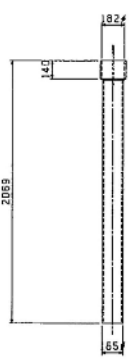


伸縮継手 ㊺ S=1/10

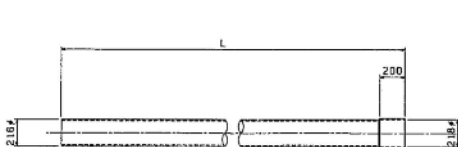


直管詳細 S=1/20

150A



200A

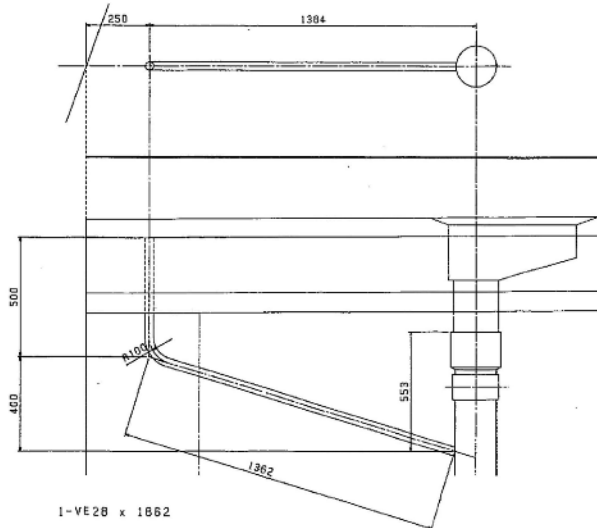


寸法表

	L	本数
V1	4000	4
V2	2350	2

水抜きパイプ詳細 S=1/10

(VP28)



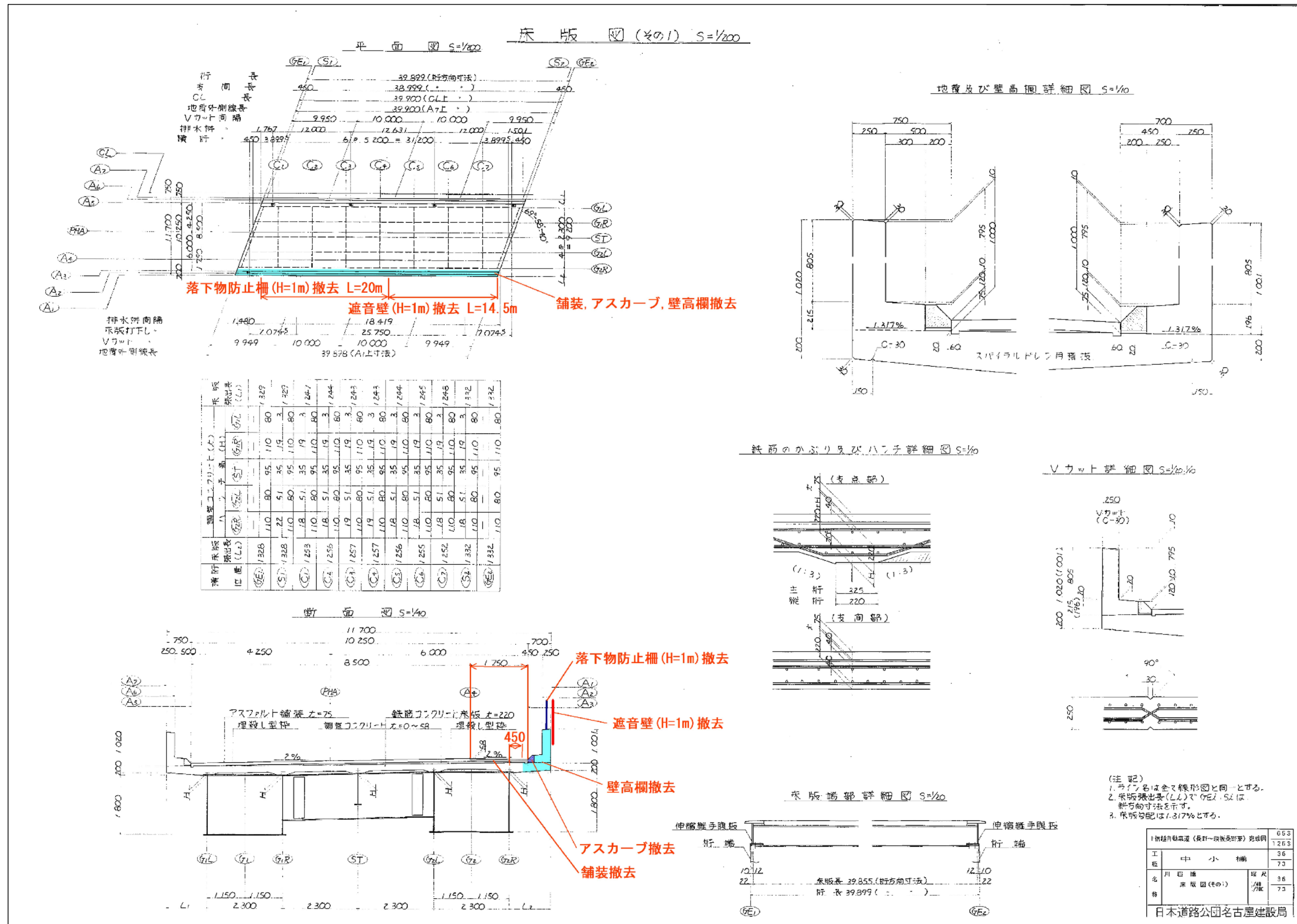
- (注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
  2. 取付金具は溶融亜鉛メッキを施す。(付着量はHDZ55とする。但し、ボルトナットは全てSUS304とする。)
  3. 本図付キ部材(※印)は、選定とする。
  4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナットを用いる。

上田自動車道(長野〜須坂長野間)完成図	645
工種	1263
中	28
小	73
橋	73
名	川田橋
排水装置(3)	編尺
	28
	73
日本道路公団名古屋建設局	
平8 第231号	

長野自動車道	安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事
図面の種類	川田橋(上り線)撤去図(その2)(参考図)
縮尺	図示
図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所



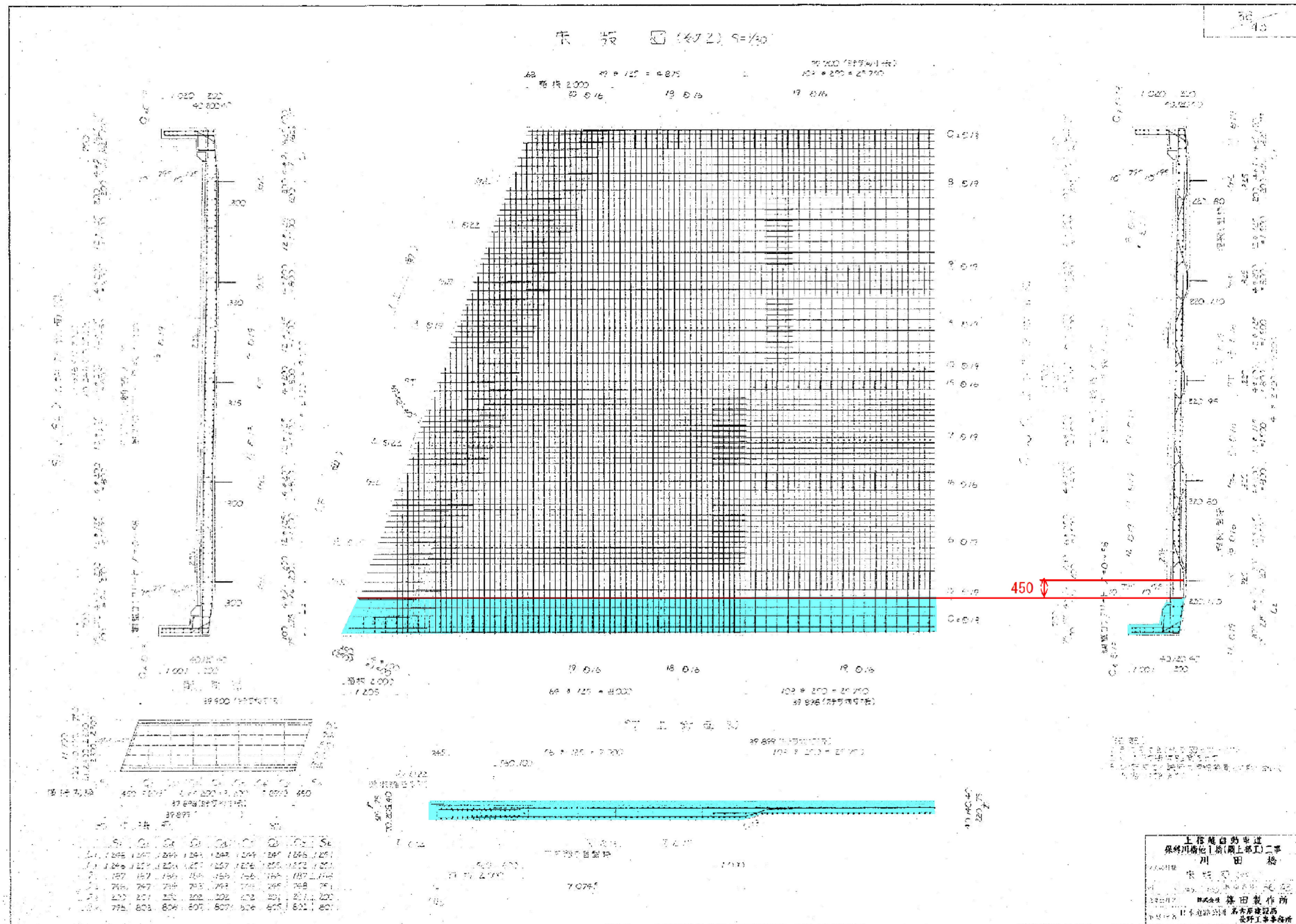
# 川田橋（上り線）撤去図(その3) (参考図)



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（上り線） 撤去図(その3) (参考図)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（上り線）撤去図（その4）（参考図）



<p>長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事</p>			
図面の種類	<p>川田橋（りり線） 撤去図（その4）（参考図）</p>		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所</p>		



川田橋（上り線）撤去図(その5)(参考図)

壁高欄撤去

路肩側撤去

壁高欄配筋図  $S=1/30$

床版図(その3)  $S=1/30$

高欄鉄筋がぶり詳細図  $S=1/10$

A~A断面

③地覆筋 ④斜筋  
①主筋 ②U筋  
(注) ①~④の番号は結束順を示す。

工場製コンクリート鉄石詳細図  $S=1/10$

〈寒冷地仕様〉

Vカット詳細図  $S=1/20, 1/10$

アスカーブ撤去

排水枘補強鉄筋図  $S=1/30$

〈中分側〉

〈路肩側〉

壁高欄断面図  $S=1/20$

〈中分側〉

〈路肩側〉

アスカーブ撤去

壁高欄撤去

〔注〕排水枘付近の鉄筋処理方法  
1. 上主筋は枘より50mm離して切断する。  
2. 下主筋は枘より50mm離して切断する。  
3. 配筋鉄筋は上下、枘より50mm離して切断する。

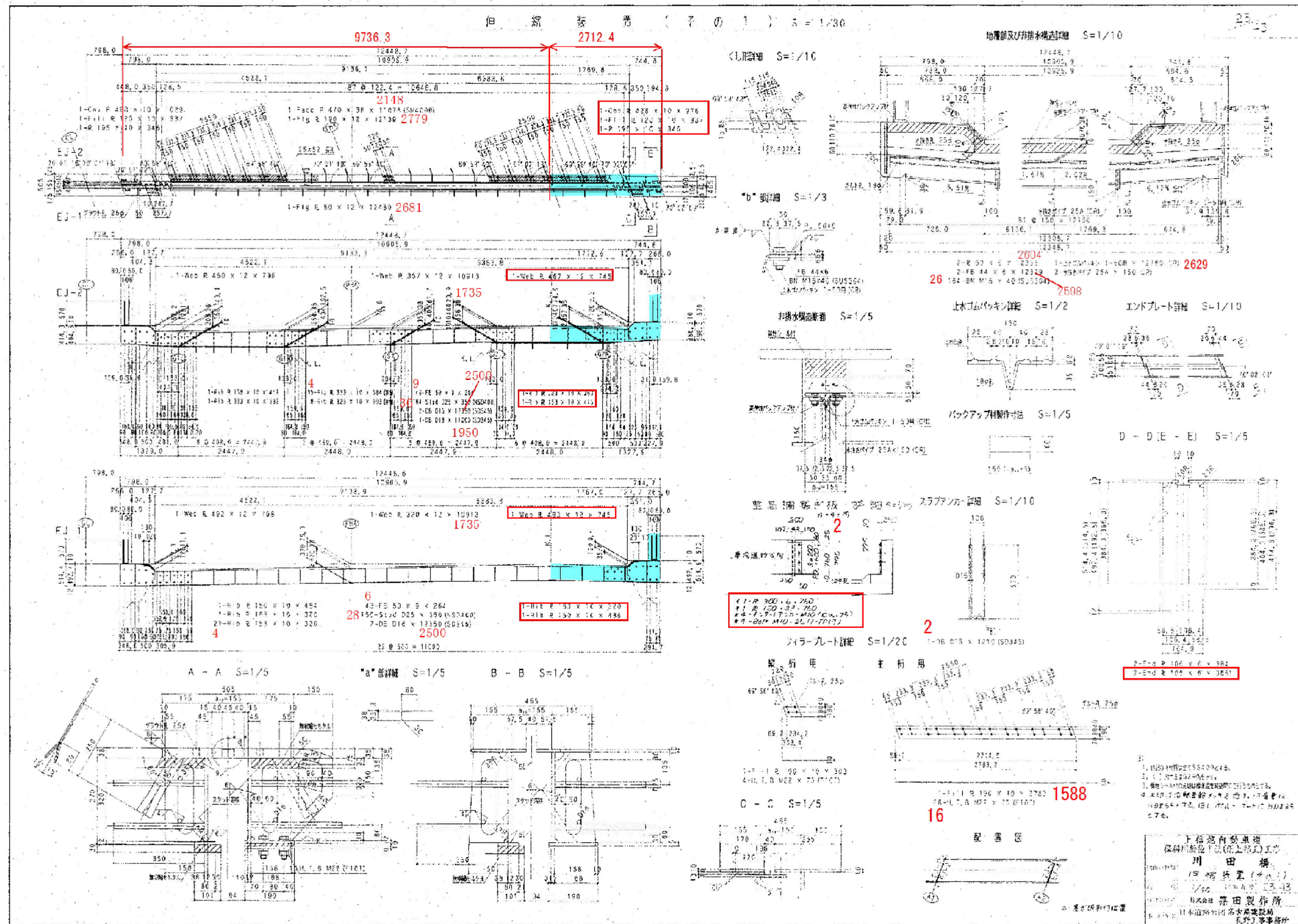
〔注 記〕  
1. ライフ線は全て線形図と同一とする。  
2. ( )内寸法は路肩側を示す。  
3. 端部付近の鉄筋は伸縮装置との取り合いにて現場にて操作する。

上信越自動車道(長野~須坂長野東)完成図		655
中 小 橋		1263
工 種	撤 去	38
	撤 去	73
名 称	川 田 橋	38
	床 版 図(その3)	73
日本道路公団名古屋建設局		
平8 マ第241号		

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(上り線) 撤去図(その5)(参考図)		
	縮 尺	図 示	図 面 番 号
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

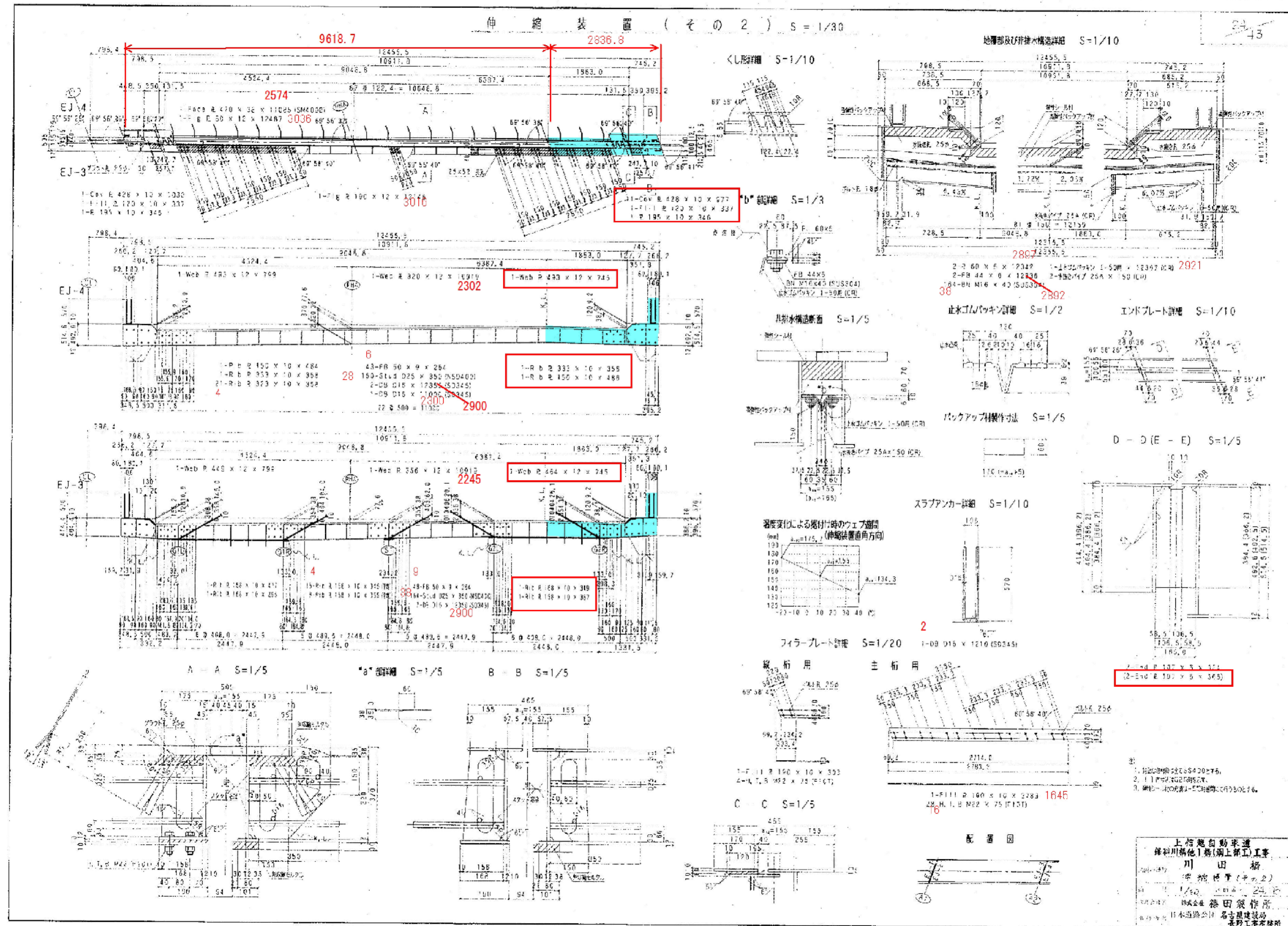


川田橋（上り線）撤去図（その6）（参考図）



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	上り橋（り線） 撤去図（その6）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		





図面の種類	長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上り線）工事		
	川田橋（上り線） 撤去図(その7) (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		
事務所名			



上部工

単価表の項目				単 位	数 量	摘 要
項 目		種 別				
コン クリ ート 工	コンクリート	A1-1A (K)		m³	19.3	RC床版
		A1-1B (K)		m³	10.4	2次床版
		A1-4 (K)		m³	14.5	壁高欄
	型わく	A (K)		m²	134.5	RC床版、壁高欄
	鉄筋	A (K)	D16～D25	t	5.539	RC床版
			D13	t	—	
			計	t	5.539	
			D16	t	0.115	壁高欄
			D13	t	1.618	
		計	t	1.733		
	A (E) (K)	D13 (防錆処理鉄筋)		t	0.256	
鋼 構 造 物 工	鋼構造物の製作	製作材料費（鋼板）A (K)		t	8.675	SS400, SM400
		製作材料費（鋼板）B (K)		t	33.402	SM490, SM520
		製作材料費（形鋼）A (K)		t	0.565	
		大型部材の製作 (K)		個	20	27.859 t
		小型部材の製作 (K)		個	980	14.783 t
		T継手溶接工 (K)		m	334	
	鋼構造物の防錆	鋼構造物の塗装 C-5 (K)		m²	343.8	外面塗装
		鋼構造物の塗装 D-4 (K)		m²	348.8	内面塗装
	鋼構造物の輸送	鋼橋の輸送 (K)		t	43.842	
	鋼構造物の架設	鋼橋の架設 (K)		t	43.842	
		高力ボルト本締工 (K)		t	1.524	高力ボルト組数 S10T:2906本
				t	0.007	高力ボルト組数 F10T:12本
		鋼橋の現場溶接工 (K)		m	6.5	加重平均板厚=18.9mm
支 承 及 付 属 物 工	支承	E-○ (K)		箇所	2	高面圧ゴム支承
	支承取替工	E-○ (K)		基	4	高面圧ゴム支承
	伸縮装置	A (K)		kg	1133	鋼フィンガージョイント (SM400)
	橋名板	橋名板 (K)		箇所	1	
	橋歴板	橋歴板 (K)		箇所	2	
雑 工	はく落防止対策工	A (K)		m²	85.6	
	飛雪防止網用アンカーボルト	U-M16 (H=1m) (K)		箇所	30	
	床版水抜きパイプ設置工	床版水抜きパイプ設置工 (K)		箇所	1	
	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し (TypeA) (K)		m³	21.3	壁高欄（床版含む）
		アスファルト舗装版取壊し (TypeA) (K)		m²	8.4	床版面t=75mm (+アスカーブ撤去1.3m³)
	撤去工	壁高欄 (K)		m	42.8	ブロック撤去 (床版+ウィング部1m含む)
		伸縮装置 (K)		箇所	2	鋼フィンガージョイント
		排水管 (K)		m	28.2	VP200A, VP150A
		落下物防止柵 (K)		m	36.0	H=1m
		飛雪防止網 (K)		m	20.0	H=2m
		管路φ50 (2) (K)		m	42.0	
		防鳥ネット (K)		m	36.0	

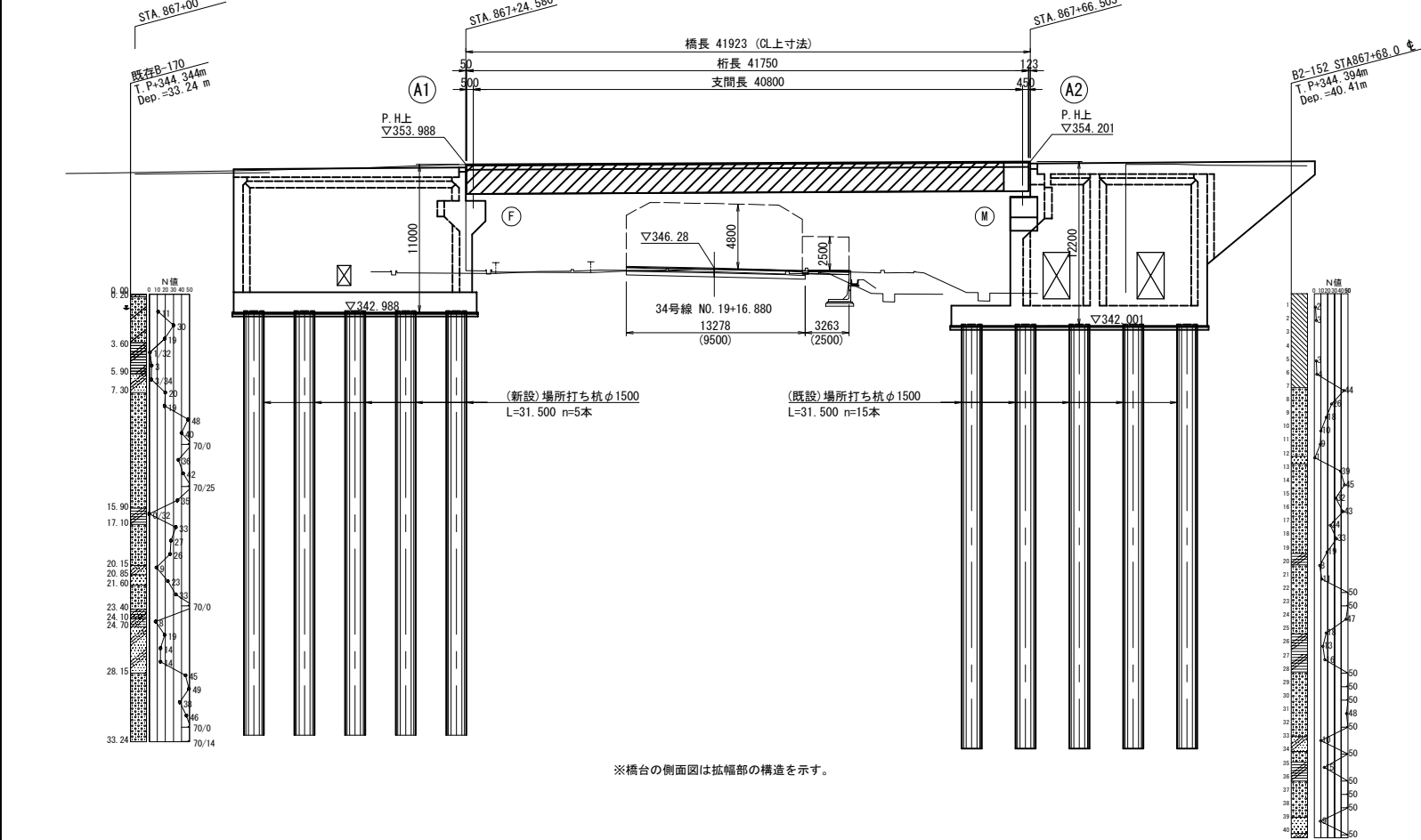
下部工

単価表の項目				単位	下り線		合計	摘 要
項 目		種 別			A1	A2		
コン クリ ート エ	コンクリート	[A1-1B]		[m³]	[0.5]	[0.1]	[0.6]	※伸縮装置取替に含む
		A1-4 (K)		m³	5.5	0.4	5.9	壁高欄
	型わく	A (K)		m²	37.3	2.2	39.5	
	鉄筋	A (K)	D16～D25	t	0.063	0.050	0.113	
			D13	t	0.415	0.011	0.426	
			計	t	0.478	0.061	0.539	
		A (E) (K)	D13 (防錆処理鉄筋)		t	0.045	—	0.045

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 数量総括表		
縮 尺	-----	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

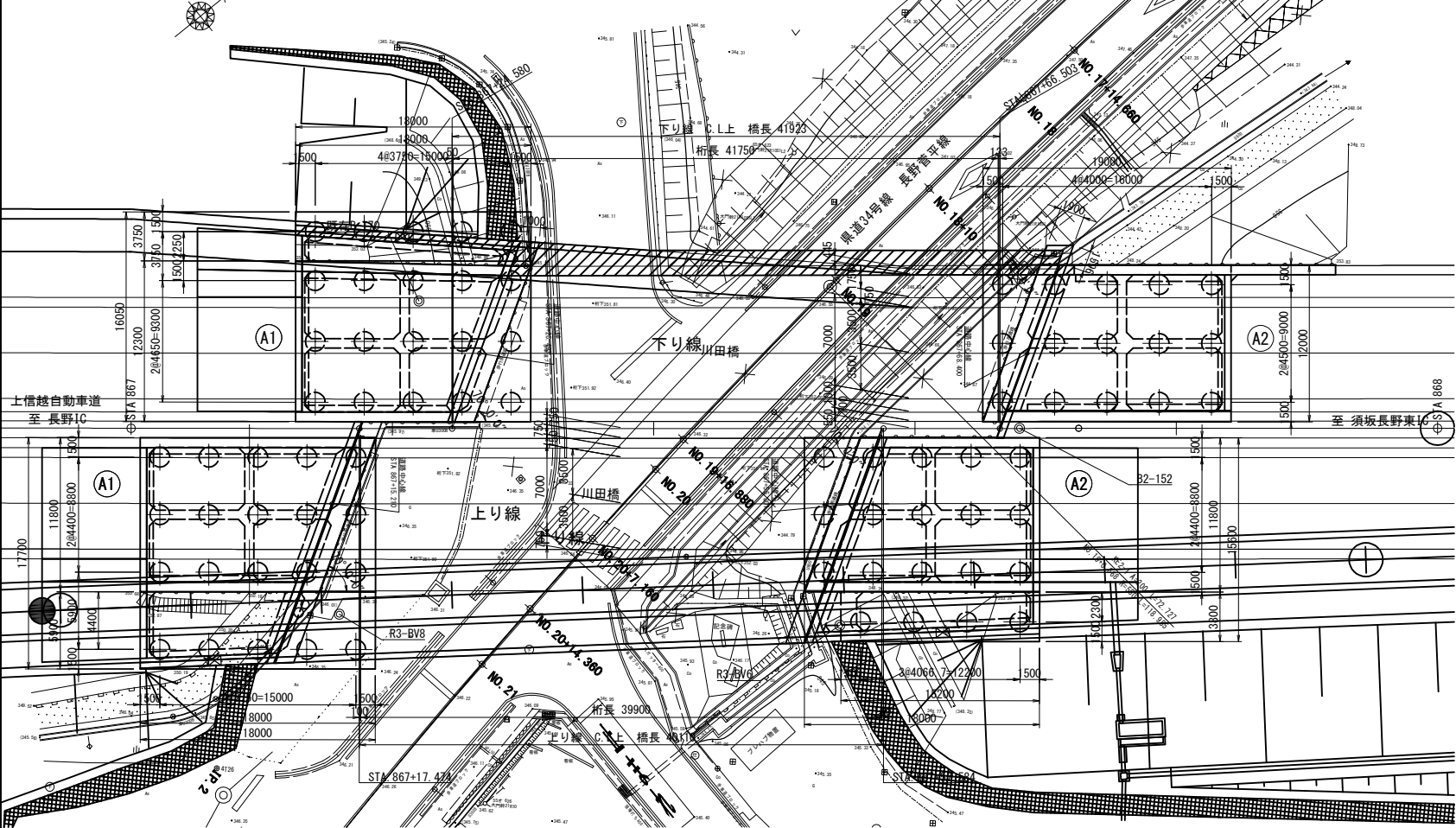


側面図 S=1:500

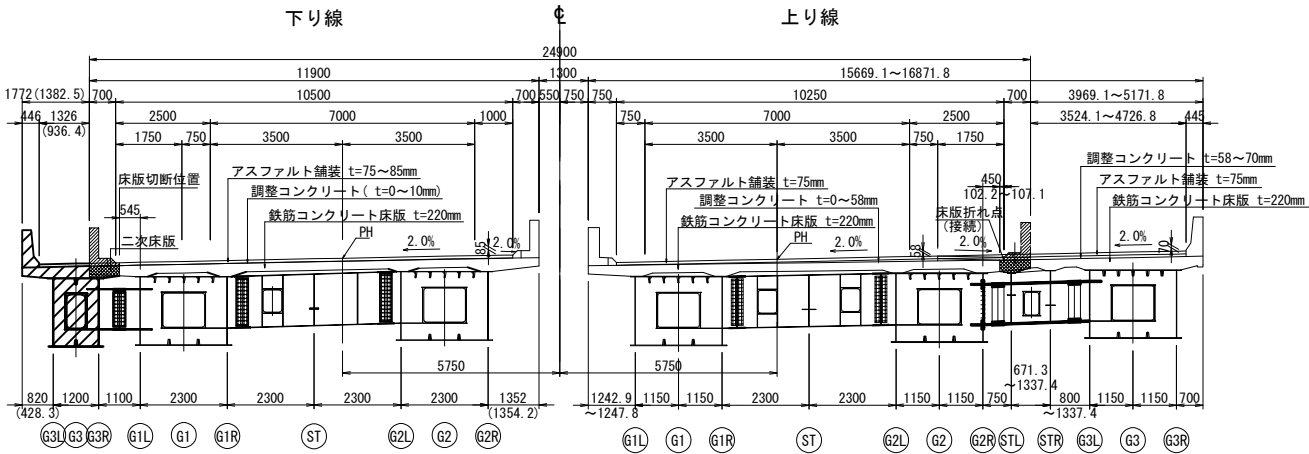


※橋台の側面図は拡幅部の構造を示す。

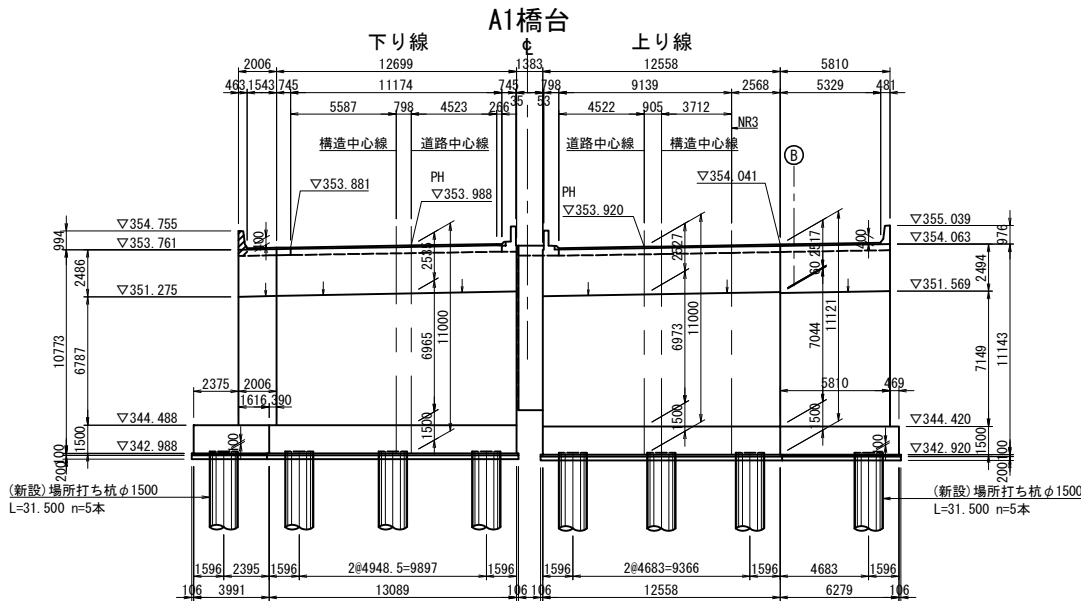
平面図 S=1:500



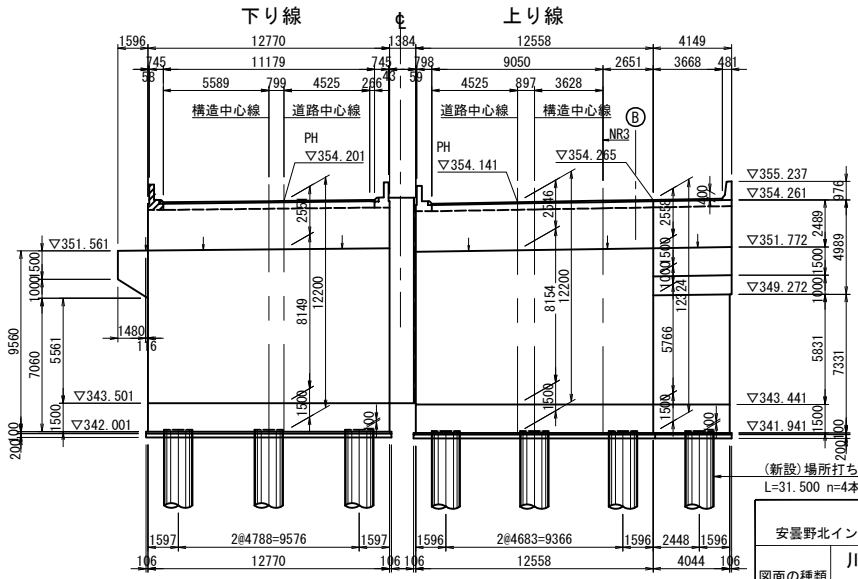
上部工断面図 S=1:200



下部工断面図 S=1:400



A2橋台

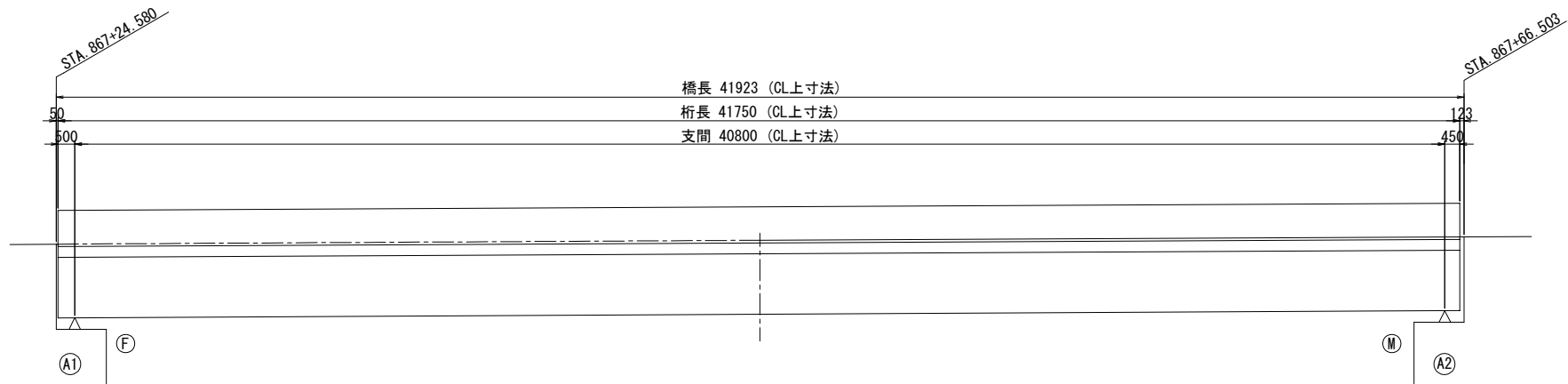


注)  
標高については、本業務で完成図と測量図の差異を調整したものである。  
本図は新標高を示す。  
※ 旧標高-0.306m=新標高

図面の種類	川田橋(下り線) 橋梁拡幅一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



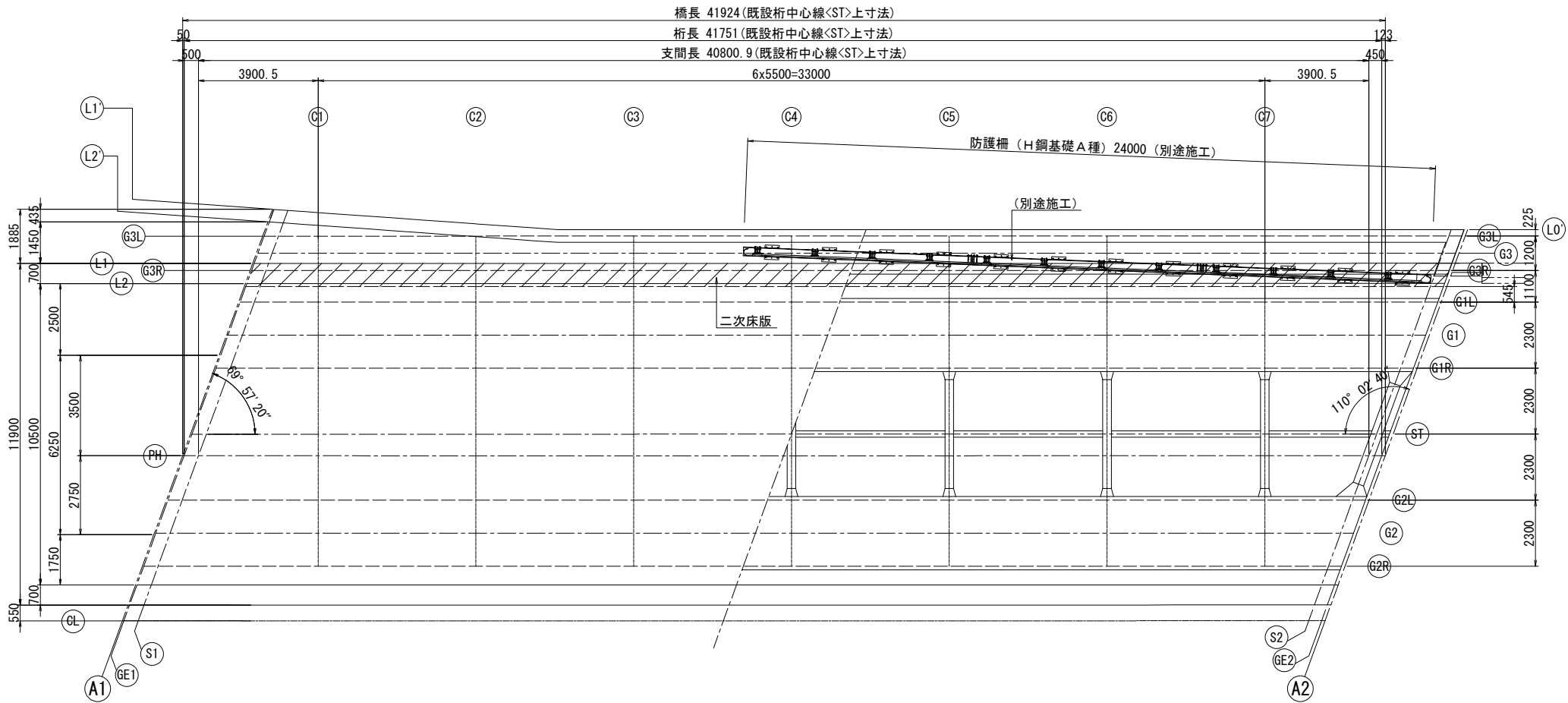
側面図



設計条件

道 路 規 格	第1種 第2級 B規格			
形 式	鋼単純非合成細箱桁橋			
橋 長	41.923m (CL上)			
桁 長	41.750m (CL上)			
支 間 長	40.800m (CL上)			
有 効 幅 員	12.620m~10.500m			
斜 角	A1, A2: $\theta=69^{\circ} 57' 20''$ 桁線方向			
平 面 線 形	A=1000			
縦 断 勾 配	<u>1.18%</u> VCL=680m <u>1.26%</u>			
横 断 勾 配	<u>2.0%</u> ~ <u>-2.00%</u> (片勾配)			
設 計 活 荷 重	B活荷重			
設計水平震度	レベル1 Kh =0.29 レベル2 Kh =0.52			
舗 装	アスファルト舗装t=75mm			
床 版	RC床版 t=220mm			
大型車交通量	1日1方向:2986台			
使用材料	主要鋼材	SM520, SM490Y, SM400, SS400, S10T		
	コンクリート	RC床版	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	地覆及び壁高欄 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345		
適用示方書	道路橋示方書・同解説 I~V (平成24年3月) 日本道路協会 H28.8 設計要領第二集 橋梁建設編 (東・中・西日本高速道路株式会社) R2.7 設計要領第二集 橋梁保全編 (東・中・西日本高速道路株式会社) R4.1 鋼橋構造詳細の手引き (改訂3版) (橋建協) H15.3 ガイドライン型設計適用上の考え方と標準図集 (橋建協)			

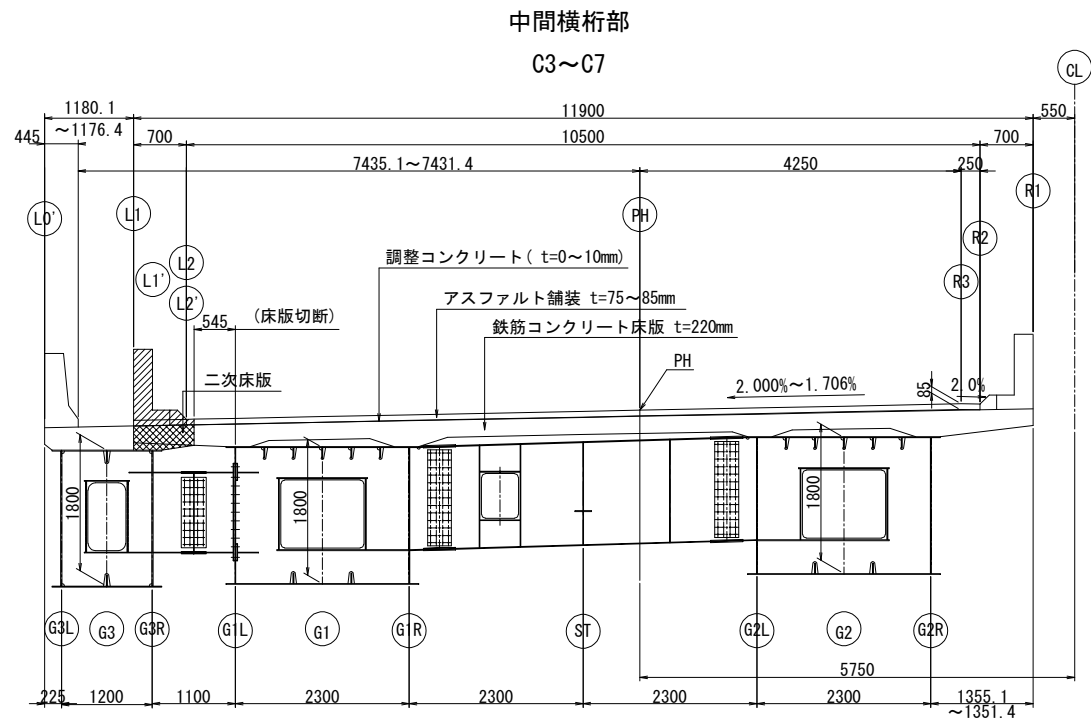
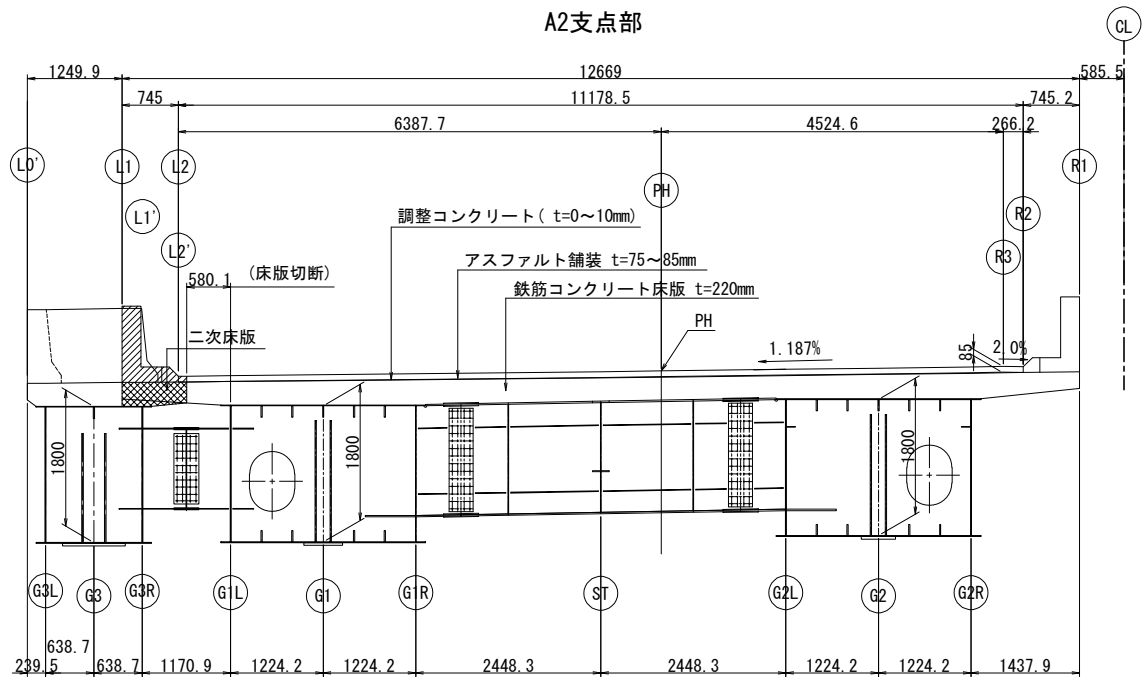
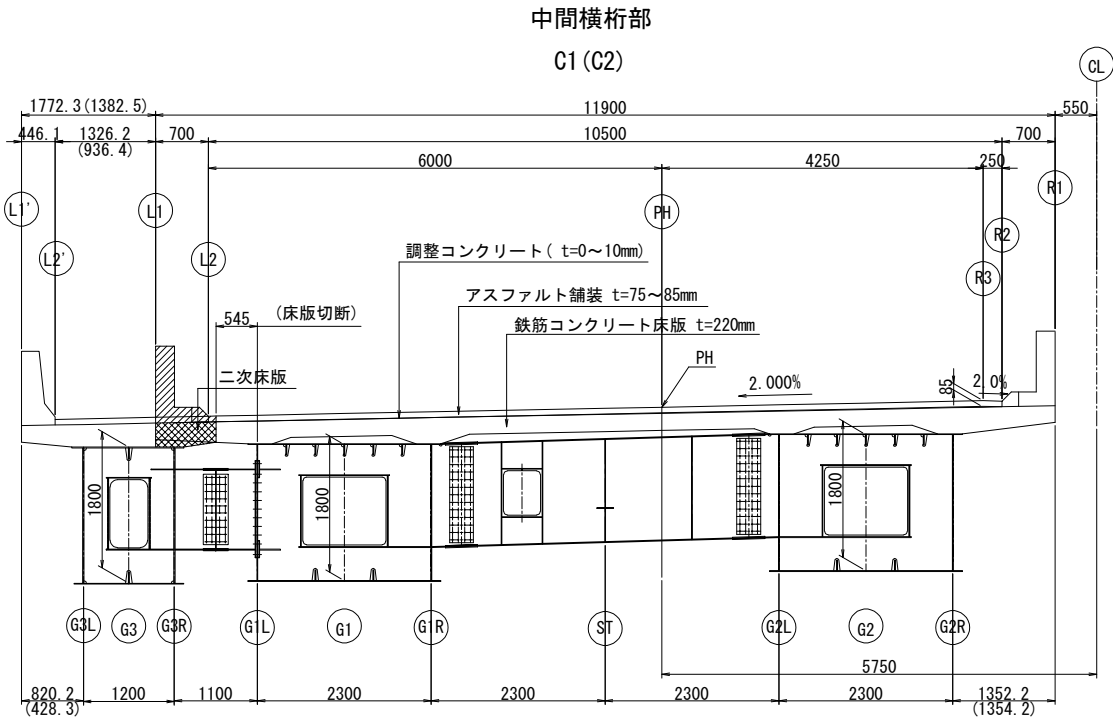
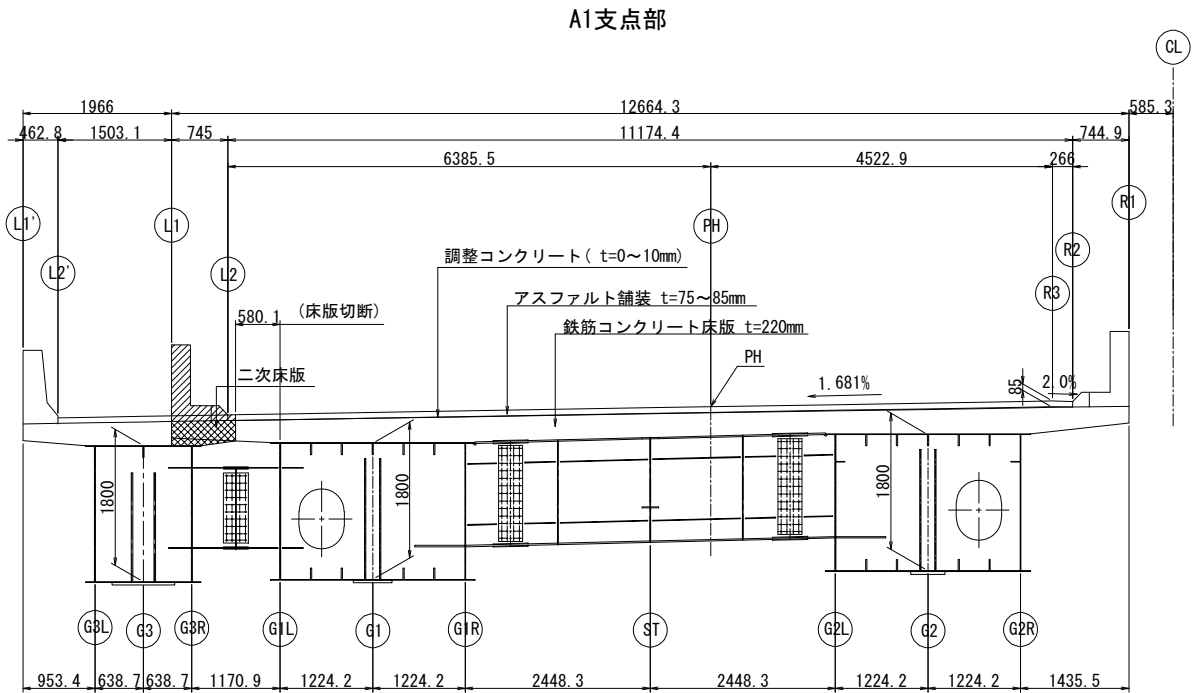
平面図



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋 (鋼上部工) 工事			
図面の種類	川田橋 (下り線) 上部工拡幅構造一般図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

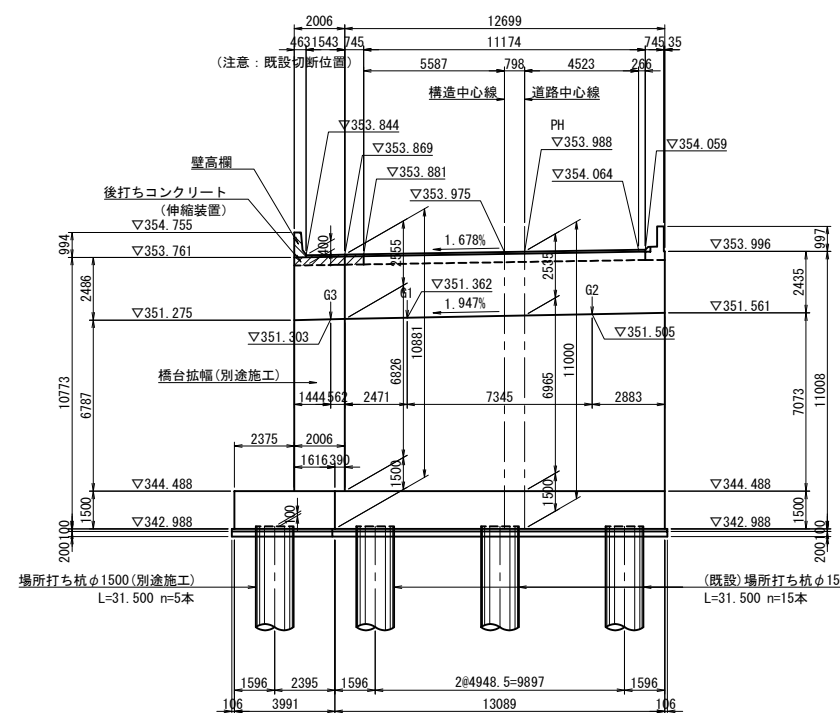


断面図

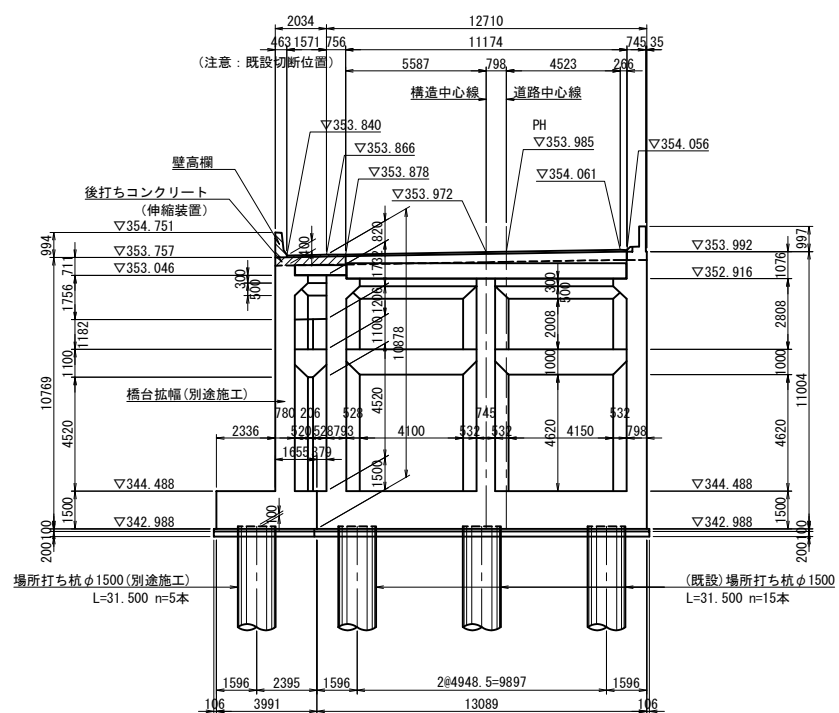


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 上部工拡幅構造一般図(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

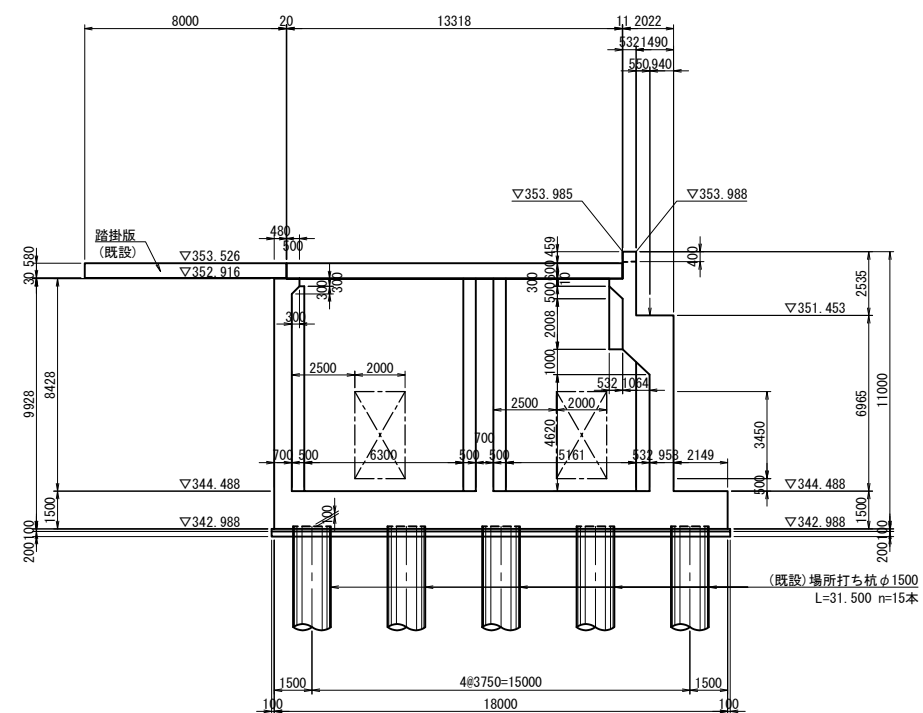




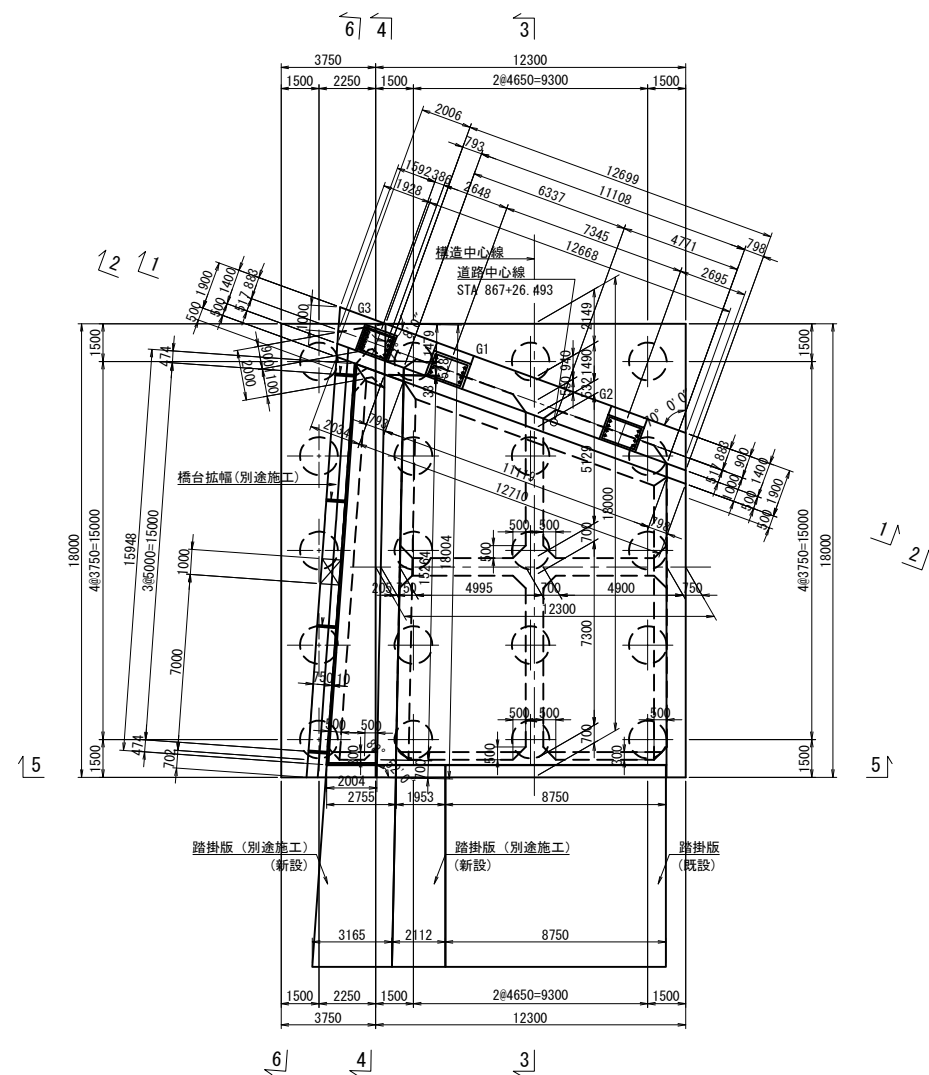
背面图 (2-2)



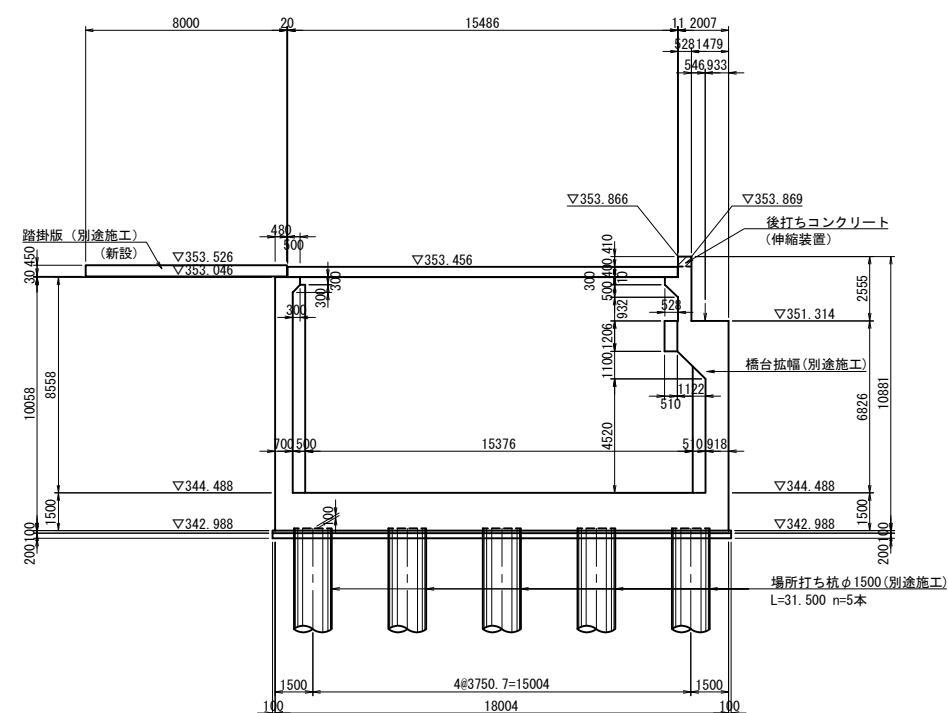
断面图 (3-3)



平面图



断面图 (4-4)



使用材料(既設部)

躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
フーチング	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
場所打ち杭	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (呼び強度)
	鉄筋	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

使用材料(新設部)

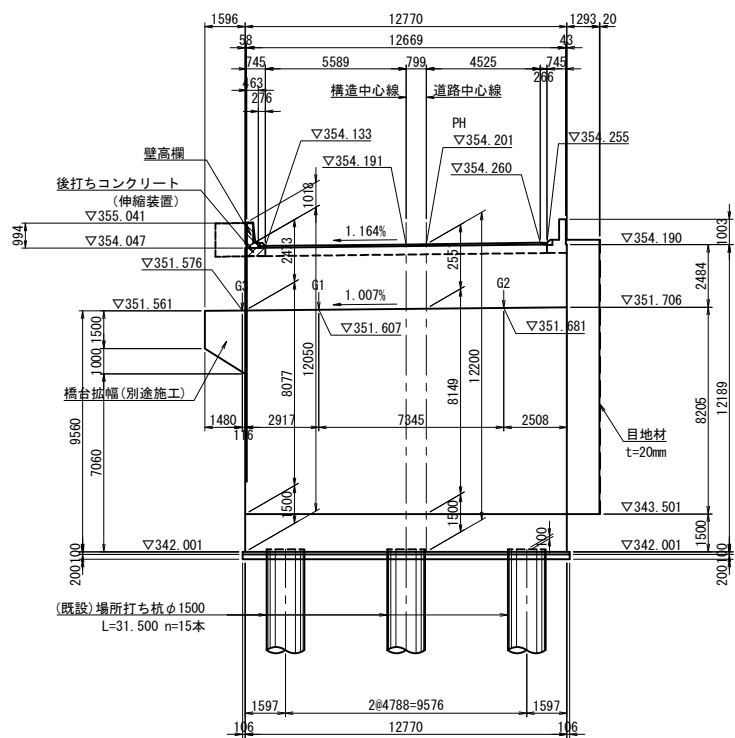
躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
フーチング	コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
	鉄筋	SD345
場所打ち杭	コンクリート	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ (呼び強度)
	鉄筋	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

注)  
標高については、本業務で完成図と測量図の差異を調整したものである。  
本図は新標高を示す。  
※ 旧標高－0.306m＝新標高

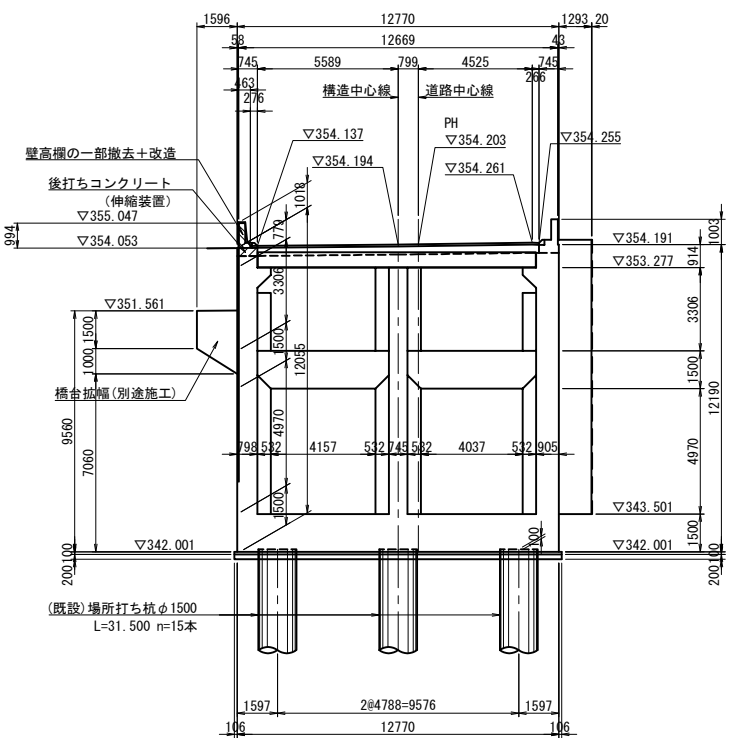
	長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） A1橋台拡幅構造一般図			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			



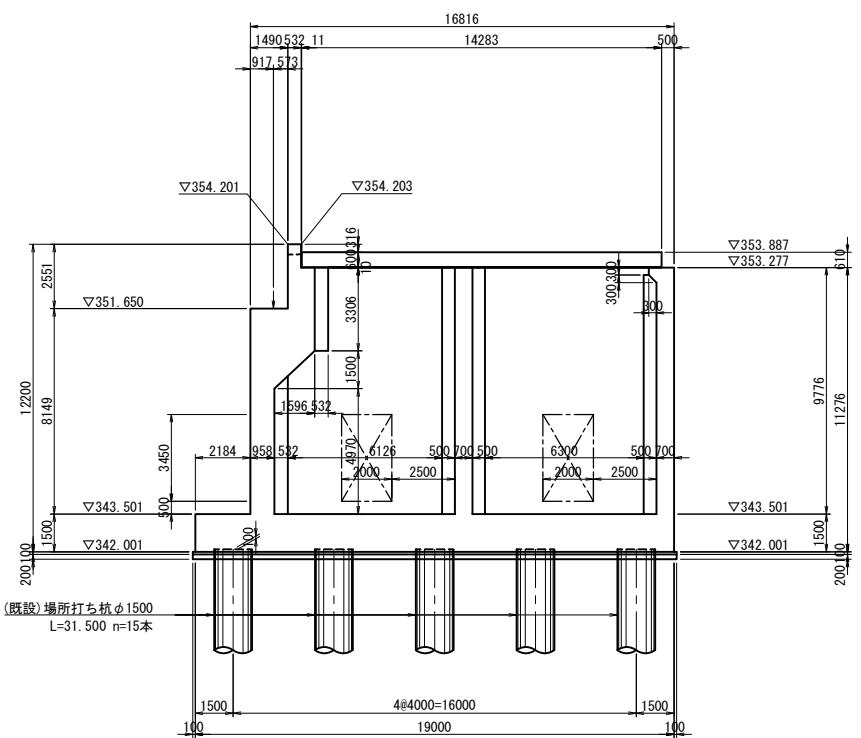
正面図（1-1）



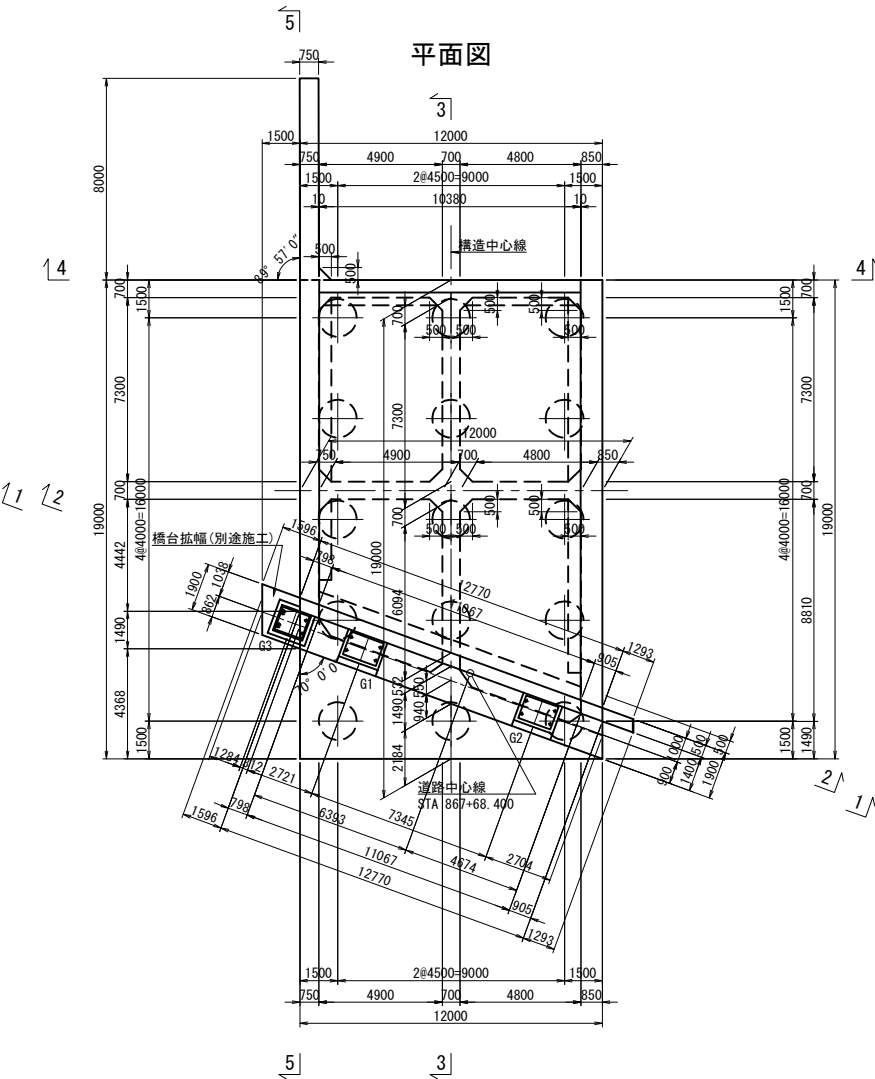
背面図（2-2）



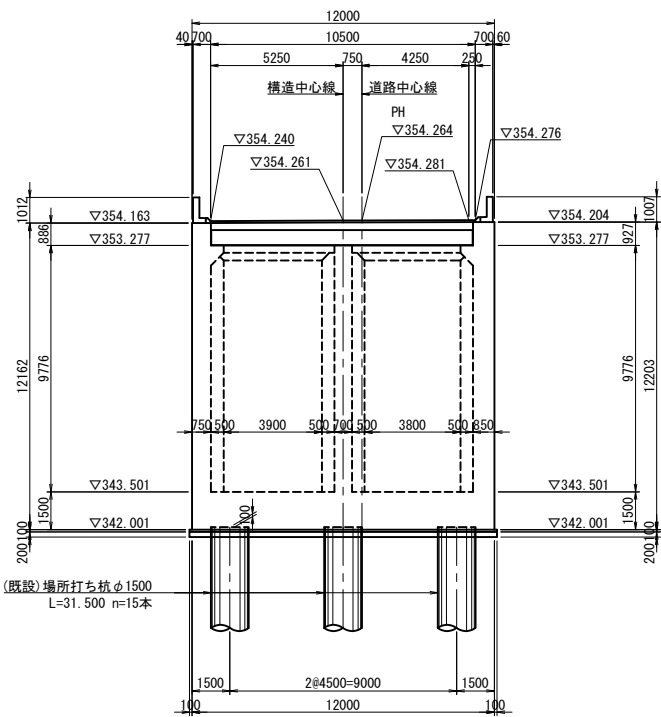
断面図（3-3）



平面図



断面図（4-4）



使用材料（既設部）

躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
	鉄筋	SD345
フーチング	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
	鉄筋	SD345
場所打ち杭	コンクリート	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$ (呼び強度)
	鉄筋	SD345
均しコンクリート		$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

使用材料（新設部）

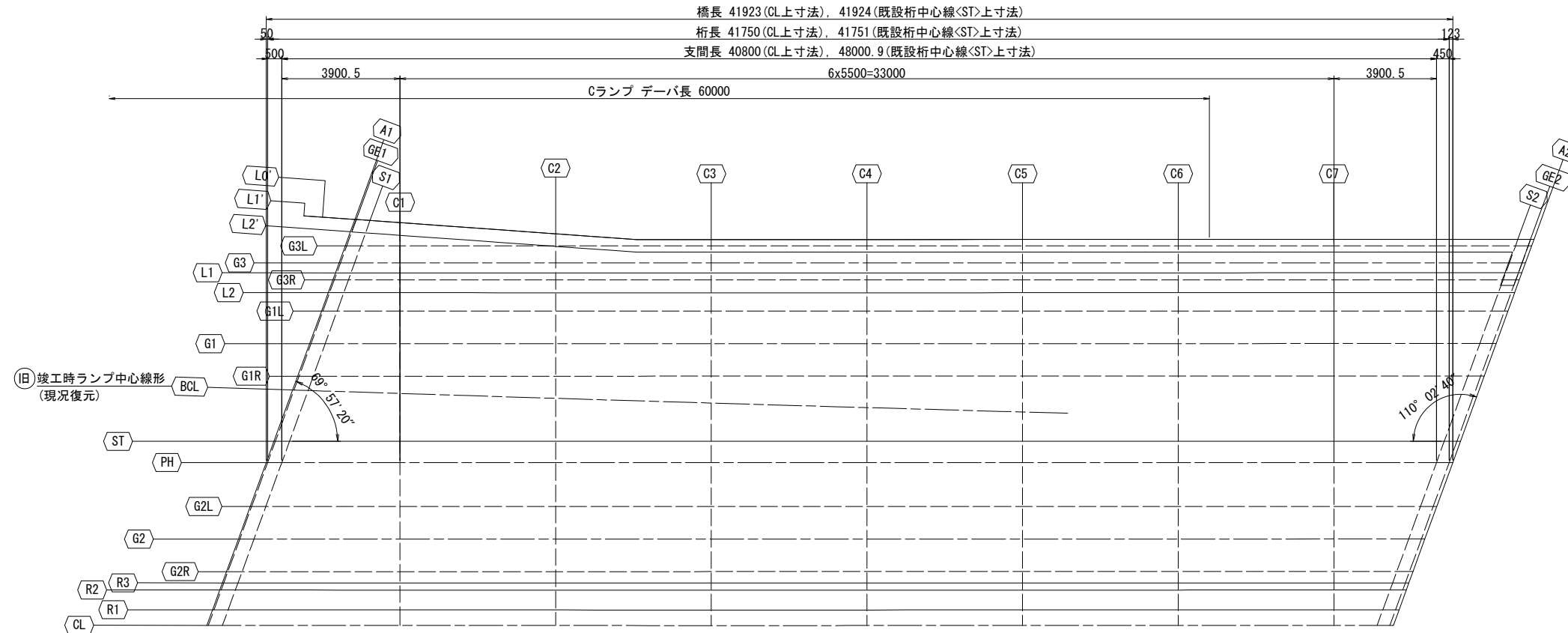
躯体	コンクリート	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$
	鉄筋	SD345

注)  
標高については、本業務で完成図と測量図の差異を調整したものである。  
本図は新標高を示す。  
※ 旧標高-0.306m=新標高

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） A2橋台拡幅構造一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

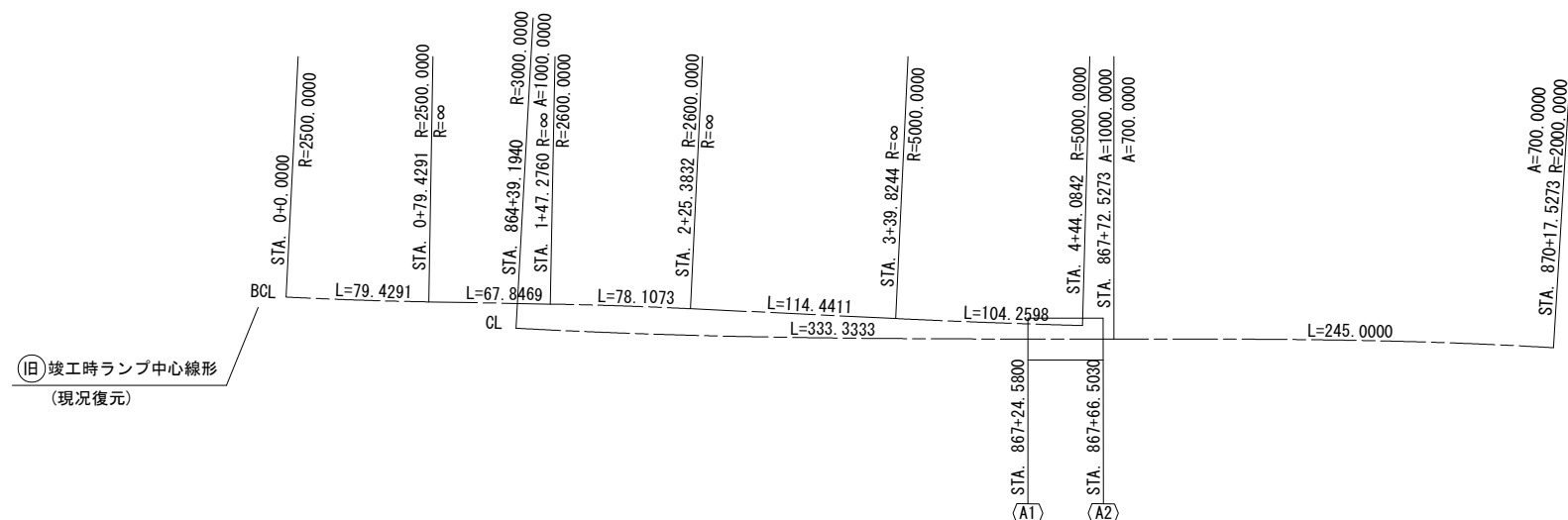


平面图



## 線形要素

## 平面線形要素

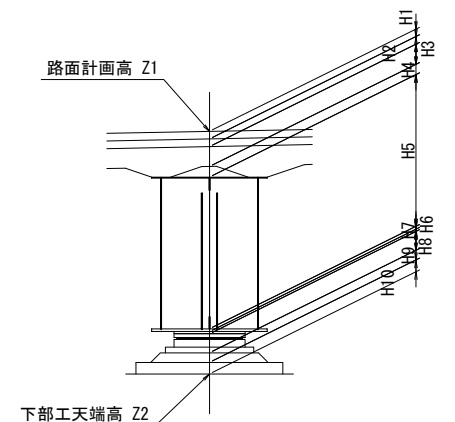


## 構造高表

	記号	S1 (A1橋台)			S2 (A2橋台)		
		G1	G2	G3	G1	G2	G3
路面高	Z1	353.917	354.041	353.866	354.149	354.236	354.119
舗装厚	H1	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.000
調整コンクリート	H2	0.002	0.008	0.000	0.001	0.007	0.000
床版厚	H3	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
ハンチ高	H4	0.102	0.102	0.092	0.102	0.102	0.092
主桁高	H5	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800
下フランジ厚	H6	0.010	0.010	0.015	0.010	0.010	0.015
小計	Σ H1～H6	2.209	2.215	2.202	2.208	2.214	2.127
ソールプレート	H7	0.041	0.041	0.041	0.042	0.040	0.042
支承高	H8	0.222	0.222	0.222	0.174	0.174	0.174
Σ H	Σ H1～H8	2.472	2.478	2.465	2.424	2.428	2.343
モルタル厚	H9	0.083	0.058	0.038	0.118	0.127	0.040
台座高	H10	0.000	0.000	0.060	0.000	0.000	0.160
下部工天端	Z2	351.362	351.505	351.303	351.607	351.681	351.576

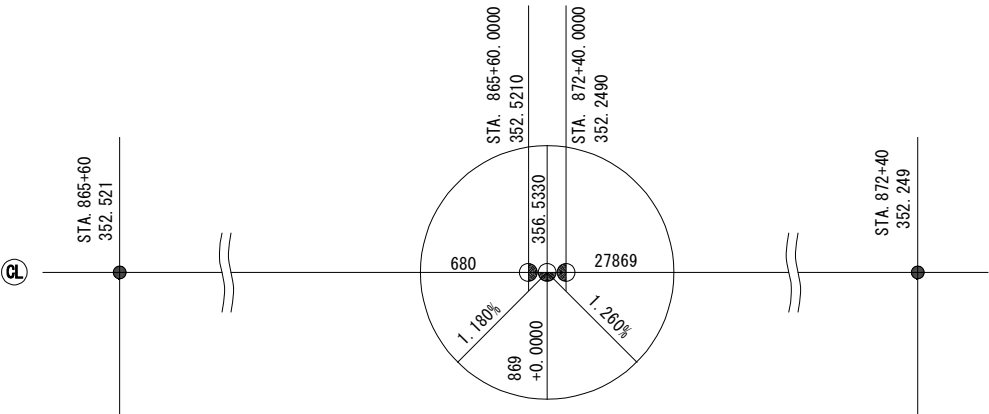
注)  
 旧 竣工時ランプ中心線形(Bランプ)は  
 現況したのが復元に必要なため記載  
 最新のランプ線形  
 は図中のCランプ線形である。

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 線形図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

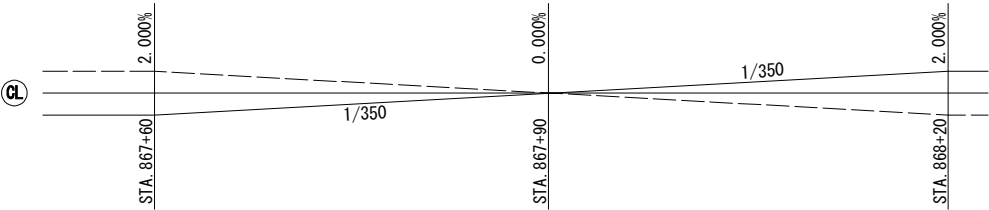




縦断勾配線形要素

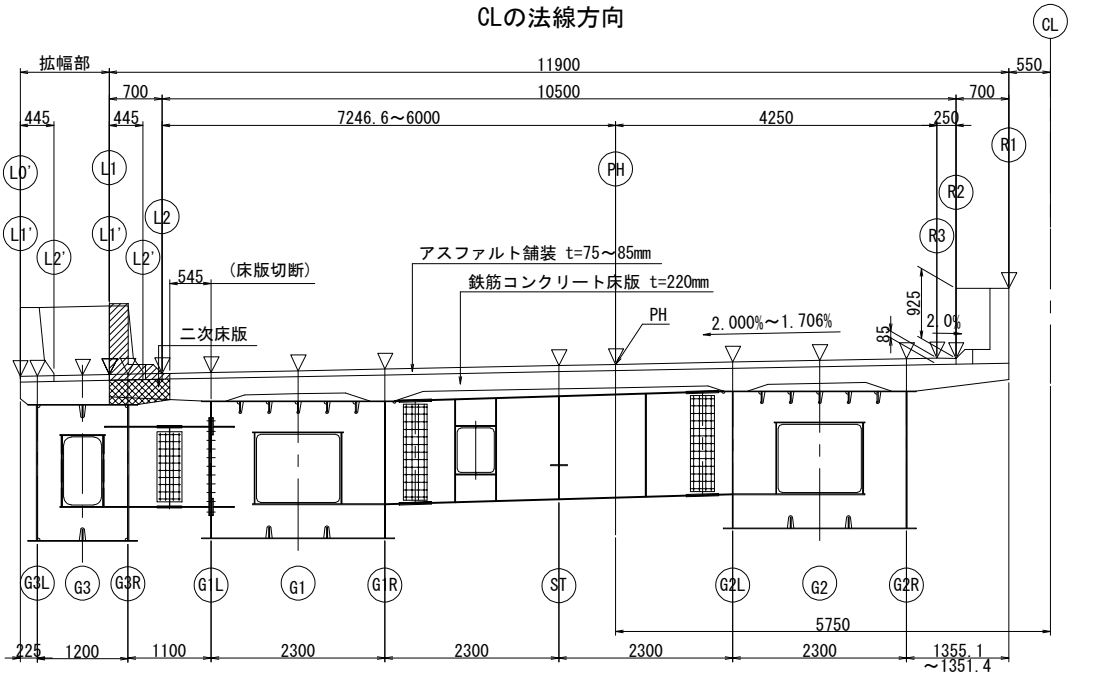


横断勾配線形要素

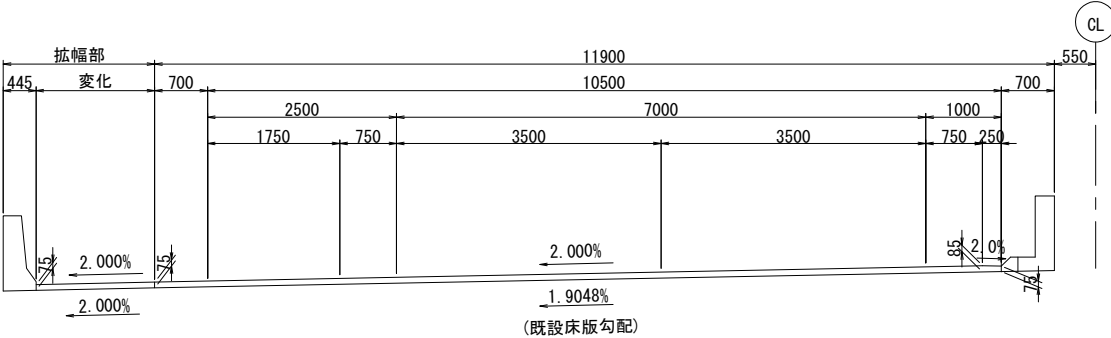


断面図

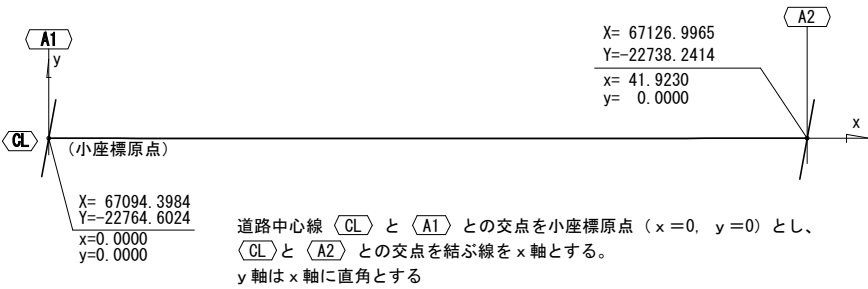
CLの法線方向



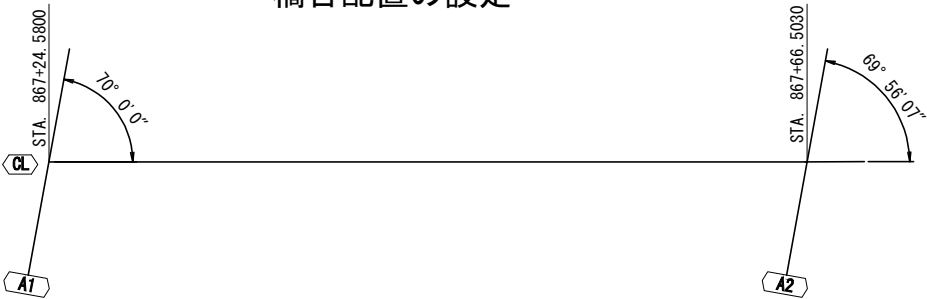
路面及び床版上面線の設置要領



小座標の設定



橋台配置の設定



橋台位置の設定

- 1) バラベット前面線は下り線A1の測点 STA 867+24.580 に  
対して70° となる線を下り線A1のバラベット前面線とする。(斜角の基準線)
- 2) 下り線A2、下り線A1、A2のバラベット前面線は、上記1) で決定した下り線A1ラインに平行とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 線形図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



小 座 標

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
L0'	X	5.2280	5.2768	5.7643	6.8205	12.3205	17.8205	23.3205	28.8205	34.3205	39.8205	46.3205	46.7705	46.8934
	Y	14.3321	14.3286	14.2940	14.2189	13.8278	13.6241	13.6244	13.6248	13.6252	13.6255	13.6259	13.6260	13.6260
	Z	353.8357	353.8360	353.8395	353.8470	353.8853	353.9188	353.9472	353.9745	354.0007	354.0490	354.1114	354.1157	354.1168
L1'	X	5.2280	5.2768	5.7642	6.8205	12.3205	17.8205	23.3205	28.8206	34.3206	39.8206	45.7991	46.2491	46.3721
	Y	14.3321	14.3286	14.2939	14.2185	13.8271	13.4367	13.0474	12.6587	12.2708	12.1941	12.1967	12.1969	12.1969
	Z	353.8357	353.8360	353.8395	353.8470	353.8853	353.9226	353.9587	353.9938	354.0278	354.0734	354.1251	354.1290	354.1300
L2'	X	5.0694	5.1182	5.6056	6.8205	12.3205	17.8205	23.3206	28.8206	34.3206	39.8206	45.6368	46.0868	46.2098
	Y	13.8973	13.8938	13.8590	13.7724	13.3810	12.9906	12.6012	12.2126	11.8246	11.7491	11.7516	11.7518	11.7518
	Z	353.8435	353.8438	353.8473	353.8559	353.8942	353.9315	353.9677	354.0027	354.0367	354.0810	354.1296	354.1333	354.1344
G3L	X	4.8874	4.9374	5.4375	6.8205	12.3205	17.8205	23.3205	28.8205	34.3205	39.8205	46.2384	46.6884	46.8114
	Y	13.3982	13.3983	13.3983	13.3984	13.3987	13.3991	13.3994	13.3998	13.4002	13.4005	13.4009	13.4010	13.4010
	Z	353.8524	353.8527	353.8555	353.8634	353.8939	353.9233	353.9517	353.9790	354.0052	354.0528	354.1135	354.1177	354.1189
G3	X	4.6685	4.7185	5.2187	6.8206	12.3206	17.8206	23.3206	28.8206	34.3206	39.8206	46.0196	46.4695	46.5925
	Y	12.7982	12.7982	12.7983	12.7984	12.7987	12.7991	12.7994	12.7998	12.8002	12.8005	12.8009	12.8009	12.8009
	Z	353.8631	353.8634	353.8663	353.8754	353.9059	353.9353	353.9637	353.9910	354.0172	354.0631	354.1192	354.1232	354.1243
L1	X	4.5405	4.5905	5.0905	6.8206	12.3206	17.8206	23.3206	28.8206	34.3206	39.8206	45.8922	46.3422	46.4652
	Y	12.4472	12.4472	12.4470	12.4462	12.4446	12.4440	12.4443	12.4454	12.4471	12.4491	12.4517	12.4519	12.4520
	Z	353.8694	353.8697	353.8726	353.8824	353.9130	353.9424	353.9708	353.9981	354.0243	354.0691	354.1226	354.1265	354.1276
G3R	X	4.4496	4.4996	4.9998	6.8206	12.3206	17.8206	23.3206	28.8206	34.3206	39.8206	45.8007	46.2506	46.3736
	Y	12.1982	12.1982	12.1983	12.1984	12.1987	12.1991	12.1994	12.1998	12.2002	12.2005	12.2009	12.2009	12.2009
	Z	353.8739	353.8742	353.8770	353.8874	353.9179	353.9473	353.9757	354.0030	354.0292	354.0733	354.1251	354.1290	354.1300
L2	X	4.2852	4.3352	4.8352	6.8206	12.3206	17.8206	23.3206	28.8206	34.3206	39.8206	45.6368	46.0868	46.2098
	Y	11.7474	11.7474	11.7471	11.7462	11.7446	11.7440	11.7443	11.7454	11.7471	11.7491	11.7516	11.7518	11.7518
	Z	353.8820	353.8823	353.8851	353.8964	353.9270	353.9564	353.9848	354.0121	354.0383	354.0810	354.1296	354.1333	354.1344
G1L	X	4.0484	4.0984	4.5985	6.8207	12.3207	17.8207	23.3207	28.8207	34.3207	39.8207	45.3994	45.8494	45.9724
	Y	11.0982	11.0982	11.0982	11.0984	11.0987	11.0991	11.0994	11.0998	11.1002	11.1005	11.1009	11.1009	11.1009
	Z	353.8936	353.8939	353.8968	353.9094	353.9399	353.9693	353.9977	354.0250	354.0512	354.0921	354.1363	354.1399	354.1408
G1	X	3.6289	3.6789	4.1790	6.8207	12.3207	17.8207	23.3207	28.8207	34.3207	39.8207	44.9799	45.4299	45.5528
	Y	9.9482	9.9482	9.9482	9.9484	9.9487	9.9491	9.9494	9.9498	9.9502	9.9505	9.9508	9.9509	9.9509
	Z	353.9142	353.9145	353.9174	353.9324	353.9629	353.9923	354.0207	354.0480	354.0742	354.1117	354.1487	354.1519	354.1528
G1R	X	3.2094	3.2594	3.7595	6.8208	12.3208	17.8208	23.3208	28.8208	34.3208	39.8208	44.5604	45.0104	45.1333
	Y	8.7981	8.7981	8.7982	8.7984	8.7987	8.7991	8.7994	8.7998	8.8002	8.8005	8.8008	8.8008	8.8009
	Z	353.9348	353.9351	353.9379	353.9554	353.9859	354.0153	354.0437	354.0710	354.0972	354.1313	354.1617	354.1646	354.1654
BCL	X	3.0315	3.0809	3.5752	6.8208	12.3209	17.8209	23.3209	28.8209					
	Y	8.3105	8.3089	8.2928	8.1883	8.0159	7.8497	7.6894	7.5353					
	Z	353.9435	353.9438	353.9470	353.9676	354.0015	354.0343	354.0659	354.0963					
ST	X	2.3704	2.4204	2.9205	6.8210	12.3210	17.8210	23.3210	28.8210	34.3210	39.8210	43.7214	44.1714	44.2943
	Y	6.4981	6.4981	6.4981	6.4984	6.4987	6.4991	6.4994	6.4998	6.5002	6.5005	6.5008	6.5008	6.5008
	Z	353.9759	353.9762	353.9791	354.0014	354.0319	354.0613	354.0897	354.1170	354.1432	354.1705	354.1897	354.1918	354.1924
PH	X	2.0970	2.1470	2.6470	6.8210	12.3210	17.8210	23.3210	28.8210	34.3210	39.8210	43.4478	43.8978	44.0208
	Y	5.7486	5.7486	5.7483	5.7462	5.7446	5.7440	5.7443	5.7454	5.7471	5.7491	5.7506	5.7508	5.7509
	Z	353.9893	353.9896	353.9925	354.0164	354.0470	354.0764	354.1048	354.1321	354.1583	354.1834	354.1993	354.2013	354.2018
G2L	X	1.5313	1.5814	2.0815	6.8211	12.3211	17.8211	23.3211	28.8211	34.3211	39.8211	42.8824	43.3323	43.4553
	Y	4.1980	4.1980	4.1981	4.1984	4.1987	4.1991	4.1994	4.1998	4.2002	4.2005	4.2007	4.2007	4.2007
	Z	354.0171	354.0174	354.0203	354.0474	354.0779	354.1073	354.1357	354.1630	354.1892	354.2098	354.2201	354.2216	354.2220
G2	X	1.1118	1.1619	1.6620	6.8212	12.3212	17.8212	23.3212	28.8212	34.3212	39.8212	42.4629	42.9128	43.0358
	Y	3.0480	3.0480	3.0480	3.0484	3.0487	3.0491	3.0494	3.0498	3.0502	3.0505	3.0507	3.0507	3.0507
	Z	354.0376	354.0379	354.0408	354.0704	354.1009	354.1303	354.1587	354.1860	354.2122	354.2294	354.2363	354.2375	354.2378
G2R	X	0.6923	0.7424	1.2425	6.8213	12.3213	17.8213	23.3213	28.8213	34.3213	39.8213	42.0434	42.4933	42.6163
	Y	1.8980	1.8980	1.8980	1.8984	1.8987	1.8991	1.8994	1.8998	1.9002	1.9005	1.9007	1.9007	1.9007
	Z	354.0582	354.0585	354.0614	354.0934	354.1239	354.1533	354.1817	354.2090	354.2352	354.2490	354.2532	354.2540	354.2542
R3	X	0.5470	0.5970	1.0970	6.8213	12.3213	17.8213	23.3213	28.8213	34.3213	39.8213	41.8972	42.3472	42.4702
	Y	1.4996	1.4996	1.4992	1.4962	1.4946	1.4940	1.4943	1.4954	1.4971	1.4991	1.5000	1.5002	1.5002
	Z	354.0653	354.0656	354.0685	354.1014	354.1320	354.1614	354.1898	354.2171	354.2433	354.2559	354.2592	354.2599	354.2601
R2	X	0.4559	0.5059	1.0059	6.8213	12.3213	17.8213	23.3213	28.8213	34.3213	39.8213	41.8060	42.2560	42.3790
	Y	1.2497	1.2496	1.2493	1.2462	1.2446	1.2440	1.2443	1.2454	1.2471	1.2491	1.2500	1.2501	1.2502
	Z	354.0598	354.0601	354.0630	354.0964	354.1270	354.1564	354.1848	354.2121	354.2383	354.2509	354.2541	354.2548	354.2549
R1	X	0.2006	0.2506	0.7506	6.8213	12.3213	17.8213	23.3213	28.8213	34.3213	39.8213	41.5507	42.0007	42.1237
	Y	0.5499	0.5498	0.5495	0.5462	0.5446	0.5440	0.5443	0.5454	0.5471	0.5491	0.5498	0.5500	0.5501
	Z	354.9833	354.9836	354.9865	355.0215	355.0520	355.0814	355.1098	355.1371	355.1633	355.1759	355.1787	355.1794	355.1795
CL	X	0.0000	0.0500	0.5500	6.8214	12.3214	17.8214	23.3214	28.8214	34.3214	39.8214	41.3500	41.8000	41.9230
	Y	0.0000	-0.0000	-0.0004	-0.0038	-0.0054	-0.0060	-0.0057	-0.0046	-0.0029	-0.0009	-0.0002	-0.0001	0.0000
	Z	353.9771	353.9774	353.9803	354.0165	354.0470	354.0764	354.1048	354.1321	354.1583	354.1834	354.1901	354.1921	354.1927

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 線形図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



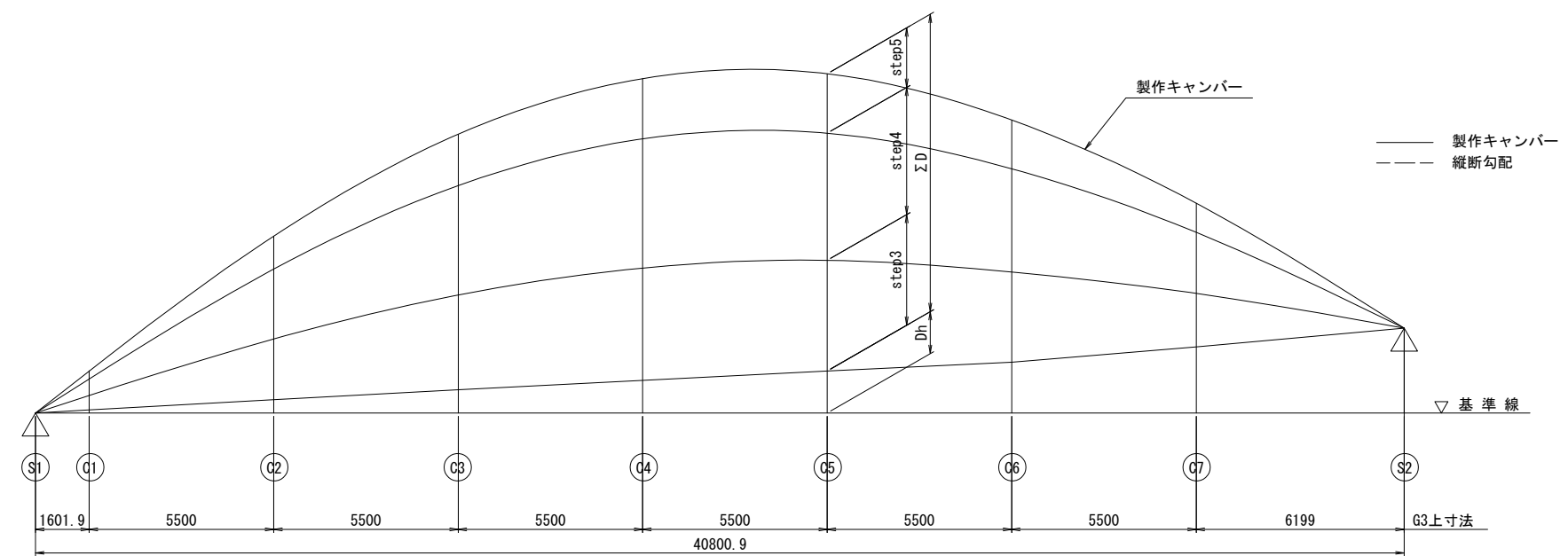
主桁、縦桁上の高さ

		G3L	G3	G3R	G1L	G1	G1R	ST	G2L	G2	G2R
A1	路面高	353.8524	353.8631	353.8739	353.8936	353.9142	353.9348	353.9759	354.017	354.0376	354.0582
	床版天端高	353.779	353.7891	353.7993	353.818	353.8375	353.857	353.8959	353.9349	353.9543	353.9738
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.092	0.102	0.083	0.102	0.122	0.102	0.083	0.102	0.121
	ウブ天端高	353.4771	353.4771	353.4771	353.5155	353.5155	353.5155	353.5739	353.6323	353.6323	353.6323
GE1	路面高	353.8527	353.8634	353.8742	353.8939	353.9145	353.9351	353.9762	354.017	354.0379	354.0585
	床版天端高	353.7793	353.7894	353.7996	353.8183	353.8378	353.8573	353.8962	353.9352	353.9546	353.9741
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.092	0.102	0.083	0.102	0.121	0.102	0.083	0.102	0.121
	ウブ天端高	353.4774	353.4774	353.4774	353.5158	353.5158	353.5158	353.5742	353.6326	353.6326	353.6326
S1	路面高	353.8555	353.8663	353.877	353.8968	353.9174	353.9379	353.9791	354.020	354.0408	354.0614
	床版天端高	353.7821	353.7923	353.8025	353.8211	353.8406	353.8601	353.8991	353.9381	353.9575	353.977
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.092	0.102	0.083	0.102	0.121	0.102	0.083	0.102	0.121
	ウブ天端高	353.4803	353.4803	353.4803	353.5186	353.5186	353.5186	353.5771	353.6355	353.6355	353.6355
C1	路面高	353.8634	353.8754	353.8874	353.9094	353.9324	353.9554	354.0014	354.047	354.0704	354.0934
	床版天端高	353.7899	353.8014	353.8128	353.8338	353.8557	353.8776	353.9214	353.9652	353.9871	354.009
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.080	0.092	0.103	0.080	0.102	0.124	0.102	0.080	0.102	0.124
	ウブ天端高	353.4894	353.4894	353.4894	353.5337	353.5337	353.5337	353.5994	353.6651	353.6651	353.6651
C2	路面高	353.8939	353.9059	353.9179	353.9399	353.9629	353.9859	354.0319	354.078	354.1009	354.1239
	床版天端高	353.8205	353.8319	353.8433	353.8643	353.8862	353.9081	353.9519	353.9957	354.0176	354.0395
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.081	0.092	0.103	0.080	0.102	0.124	0.102	0.080	0.102	0.124
	ウブ天端高	353.5199	353.5199	353.5199	353.5642	353.5642	353.5642	353.6299	353.6956	353.6956	353.6956
C3	路面高	353.9233	353.9353	353.9473	353.9693	353.9923	354.0153	354.0613	354.107	354.1303	354.1533
	床版天端高	353.8499	353.8613	353.8728	353.8937	353.9156	353.9375	353.9813	354.0251	354.047	354.0689
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.081	0.092	0.103	0.080	0.102	0.124	0.102	0.080	0.102	0.124
	ウブ天端高	353.5493	353.5493	353.5493	353.5936	353.5936	353.5936	353.6593	353.7250	353.7250	353.725
C4	路面高	353.9517	353.9637	353.9757	353.9977	354.0207	354.0437	354.0897	354.136	354.1587	354.1817
	床版天端高	353.8783	353.8897	353.9011	353.9221	353.944	353.9659	354.0097	354.0535	354.0754	354.0973
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.081	0.092	0.103	0.080	0.102	0.124	0.102	0.080	0.102	0.124
	ウブ天端高	353.5777	353.5777	353.5777	353.6220	353.622	353.6220	353.6877	353.7534	353.7534	353.7534
C5	路面高	353.979	353.991	354.003	354.025	354.048	354.071	354.117	354.163	354.186	354.209
	床版天端高	353.9056	353.917	353.9284	353.9494	353.9713	353.9932	354.037	354.0808	354.1027	354.1246
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.081	0.092	0.103	0.080	0.102	0.124	0.102	0.080	0.102	0.124
	ウブ天端高	353.605	353.6050	353.605	353.6493	353.6493	353.6493	353.715	353.7807	353.7807	353.7807
C6	路面高	354.0052	354.0172	354.0292	354.0512	354.0742	354.0972	354.1432	354.189	354.2122	354.2352
	床版天端高	353.9318	353.9432	353.9546	353.9756	353.9975	354.0194	354.0632	354.107	354.1289	354.1508
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.081	0.092	0.103	0.080	0.102	0.124	0.102	0.080	0.102	0.124
	ウブ天端高	353.6312	353.6312	353.6312	353.6755	353.6755	353.6755	353.7412	353.8069	353.8069	353.8069
C7	路面高	354.0528	354.0631	354.0733	354.0921	354.1117	354.1313	354.1705	354.210	354.2294	354.249
	床版天端高	353.9793	353.989	353.9987	354.0165	354.0351	354.0537	354.0909	354.1281	354.1467	354.1653
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.007	0.008	0.009
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.082	0.092	0.102	0.083	0.102	0.121	0.102	0.083	0.102	0.121
	ウブ天端高	353.677	353.6770	353.677	353.7131	353.7131	353.7131	353.7689	353.8247	353.8247	353.8247
S2	路面高	354.1135	354.1192	354.1251	354.1363	354.1487	354.1617	354.1897	354.220	354.2363	354.2532
	床版天端高	354.0398	354.045	354.0505	354.0608	354.0723	354.0843	354.1104	354.1389	354.154	354.1698
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	0.004	0.006	0.007	0.008
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.087	0.092	0.097	0.090	0.102	0.114	0.102	0.087	0.102	0.118
	ウブ天端高	353.733	353.7330	353.733	353.7503	353.7503	353.7503	353.7884	353.8320	353.8320	353.832
GE2	路面高	354.1177	354.1232	354.129	354.1399	354.1519	354.1646	354.1918	354.222	354.2375	354.254
	床版天端高	354.044	354.0491	354.0543	354.0644	354.0755	354.0872	354.1126	354.1404	354.1553	354.1707
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.002	0.004	0.006	0.007	0.008
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.087	0.092	0.097	0.091	0.102	0.114	0.102	0.087	0.102	0.117
	ウブ天端高	353.7371	353.7371	353.7371	353.7535	353.7535	353.7535	353.7906	353.8333	353.8333	353.8333
A2	路面高	354.1189	354.1243	354.13	354.1408	354.1528	354.1654	354.1924	354.222	354.2378	354.2542
	床版天端高	354.0451	354.0502	354.0554	354.0653	354.0763	354.088	354.1132	354.1408	354.1556	354.171
	調整コンクリート厚	0.000	0.000	0.000	0.001	0.002	0.002	0.004	0.006	0.007	0.008
	床版厚	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
	ハンチ高	0.087	0.092	0.097	0.091	0.102	0.114	0.102	0.087	0.102	0.117
	ウブ天端高	353.7382	353.7382	353.7382	353.7543	353.7543	353.7543	353.7912	353.8336	353.8336	353.8336

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 線形図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）キャンバー図 S=1:200



キャンバー表

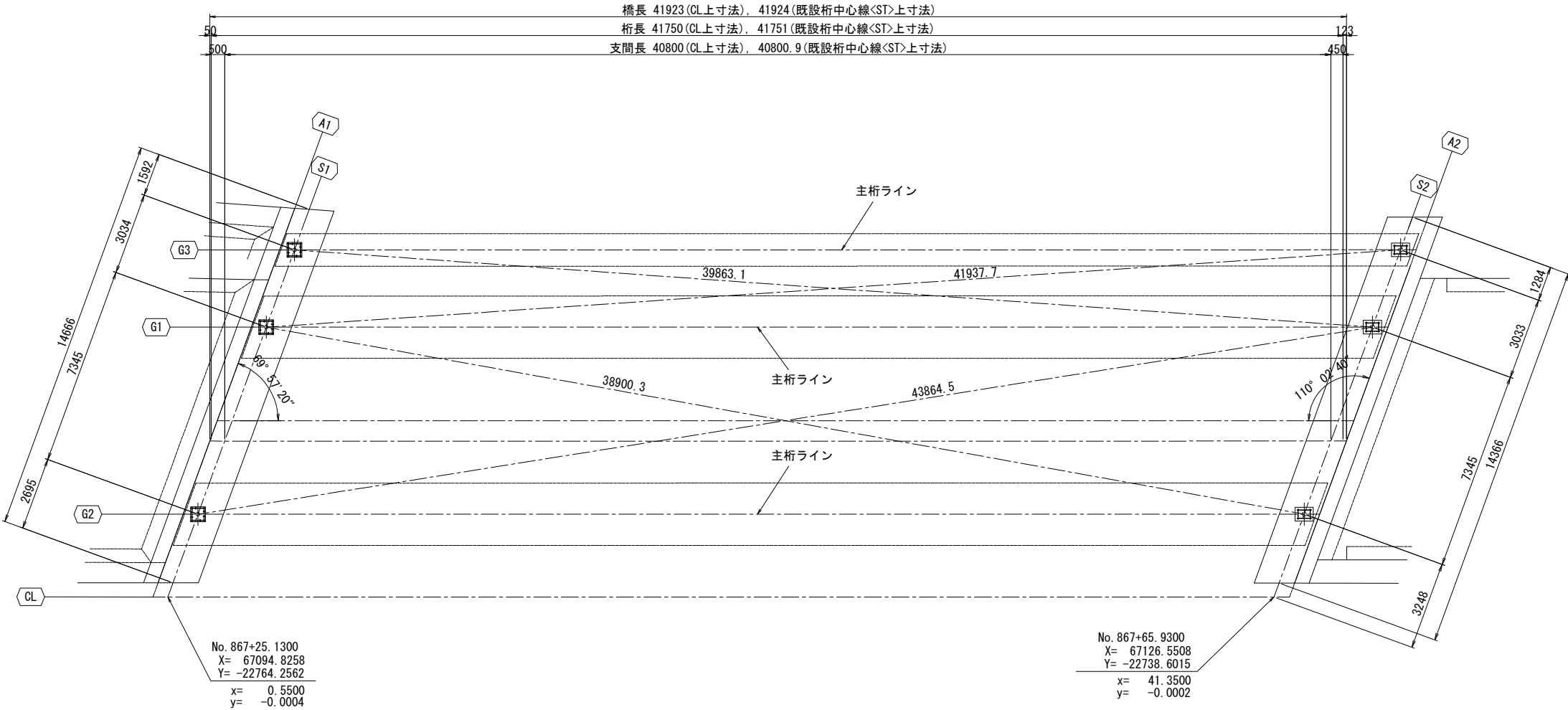
		S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2
G3	Dh	0	9	40	69	97	125	151	197	253
	step3	0	4	18	28	34	33	27	16	0
	step4	0	5	21	33	39	38	31	18	0
	step5	0	2	10	15	18	18	15	9	0
	Σ D	0	11	49	76	91	89	73	43	0

記号説明  
Dh：縦断勾配  
step3：新設主桁鋼重によるたわみ  
step4：新設横桁鋼+上部工検査路+拡幅床版+主桁ハンチによるたわみ  
step5：防護柵+二次床版+落下物防止柵+舗装+転落防止柵+ガードレール撤去+排水モルタルによるたわみ  
Σ D：死荷重合計

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） キャンバー図		
縮尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

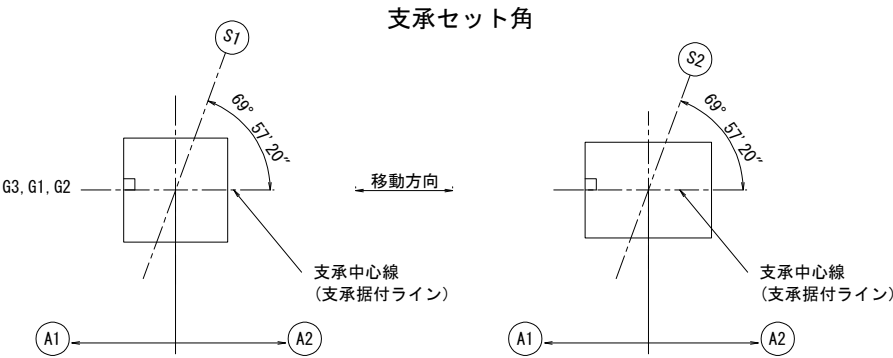


川田橋（下り線）支承配置図 S=1:200



支承位置の座標および路面高

		S1			S2		
		G3	G1	G2	G3	G1	G2
大座標	X	67106.50376	67103.90326	67097.6073	67138.231	67135.6305	67129.33454
	Y	-22771.27245	-22769.71005	-22765.92737	-22745.61906	-22744.05666	-22740.27399
小座標	x	5.2186536	4.1790149	1.6619948	46.0195619	44.9799232	42.4629031
	y	12.7982704	9.9482031	3.0480402	12.8009121	9.9508448	3.0506818
路面高	H	353.866	353.917	354.041	354.119	354.149	354.236

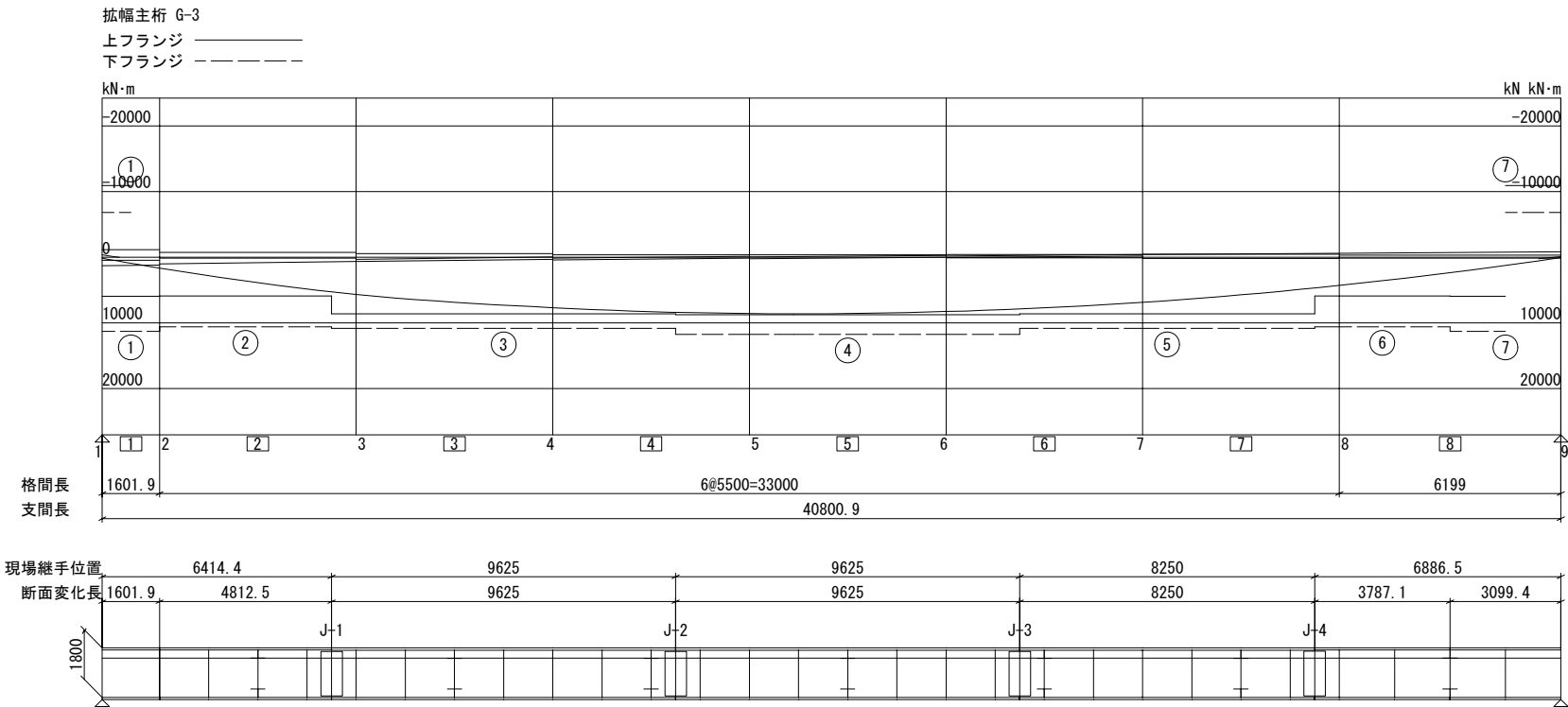


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 支承配置図		
縮尺	S=1:200	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 下り線 ） 断面構成図(その1) S=1:100

G3 拡幅部新設桁



単位 : mm N/mm2										
断面名	1	2	3	4	5	6	7			
上フランジ 幅=1450 厚	Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7			
上フランジ 本数	14 (3)	14 (3)	17 (3)	17 (3)	17 (3)	14 (3)	14 (3)			
縦リブ 幅	160	160	160	160	160	160	160			
縦リブ 厚	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)			
左腹板 高さ	1786	1786	1786	1783	1783	1786	1786	1786	1786	
左腹板 厚	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	
右腹板 高さ	1786	1786	1786	1783	1783	1786	1786	1786	1786	
右腹板 厚	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	
下フランジ 本数	1	0	0	0	0	0	1			
縦リブ 幅	160	160	160	160	160	160	160			
縦リブ 厚	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)			
下フランジ 幅=1450 厚	15 (3)	15 (3)	15 (3)	17 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (3)			
上フランジ σ	-2	8	-32	-103	-146	-137	-92	-46	2	
上フランジ σ a	114	210	114	114	149	149	114	114	210	
上フランジ σ a-σ	112	202	82	12	3	1	22	68	208	
下フランジ σ	2	-7	31	105	164	155	94	44	-2	
下フランジ σ a	210	127	210	210	210	210	210	210	127	
下フランジ σ a-σ	208	120	179	105	46	55	116	166	125	
腹板 τ	60	60	57	36	15	13	17	26	28	31
腹板 τ a	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120
腹板 合成	0.25	0.25	0.23	0.30	0.60	0.54	0.54	0.22	0.08	0.07
計算点位置	左	左	右	J-1	J-2	最大値	J-3	J-4	左	右
上フランジ孔引き後σ										
下フランジ孔引き後σ			128	201		189	115			
決定要因	上フランジ	D	D	B	B	B	D	D	D	
決定要因	下フランジ	E	D	C	A	C	D	E		

材質 (1):SM400  
(2):SM490  
(3):SM490Y  
(4):SM570

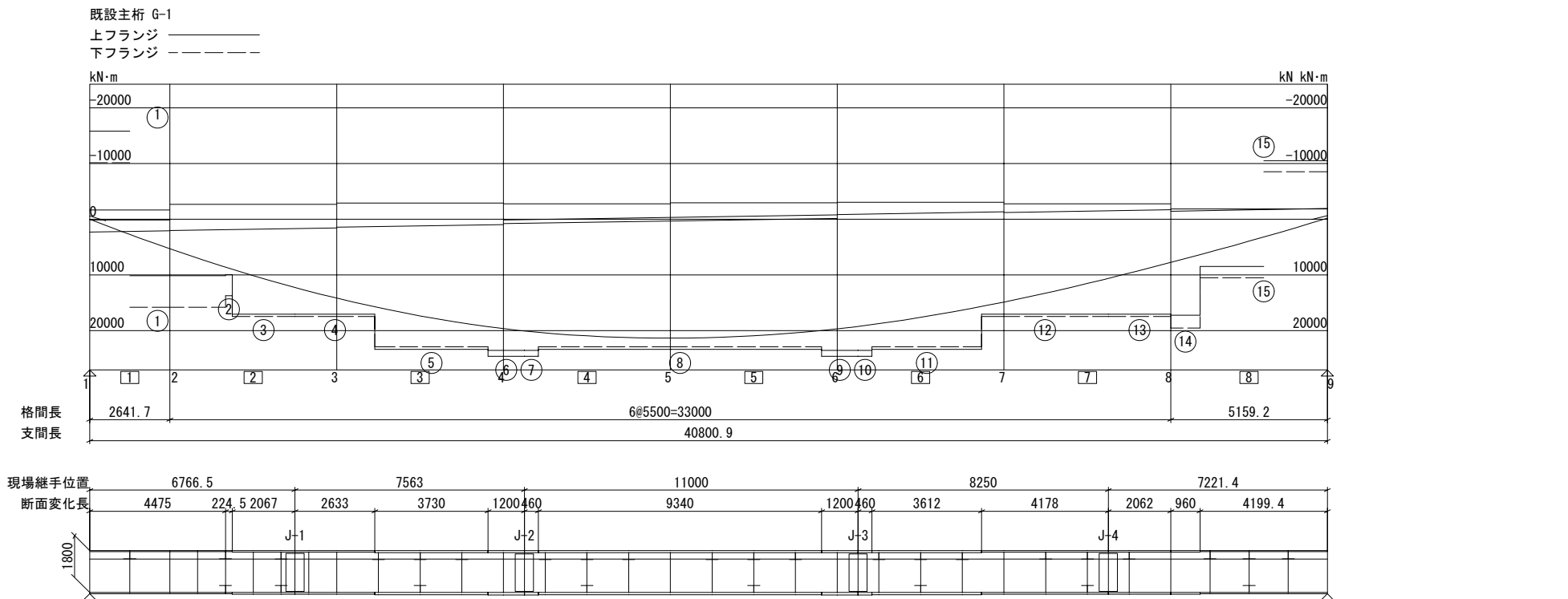
決定要因 A:引張応力度  
B:圧縮応力度  
C:孔引応力度  
D:圧縮補剛板の最小板厚  
E:フランジ板厚差  
F:二軸応力照査

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 断面構成図(その1)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）断面構成図（その2） S=1:100

G1 既設桁



		単位 : mm N/mm2														
断面名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
上フランジ 幅=2550 厚		10 (3)	10 (3)	14 (3)	14 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	10 (1)
上フランジ 縦リブ	本数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	幅	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
左腹板	厚	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (3)	16 (1)
	高さ	1790	1790	1790	1786	1786	1782	1782	1782	1782	1782	1782	1786	1786	1786	1790
右腹板	厚	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (1)
	高さ	1790	1790	1790	1786	1786	1782	1782	1782	1782	1782	1782	1786	1786	1786	1790
下フランジ 縦リブ	厚	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (3)	11 (1)
	本数	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	5	5
下フランジ 幅=2550 厚		10 (3)	10 (3)	14 (3)	14 (3)	20 (3)	22 (3)	22 (3)	20 (3)	22 (3)	22 (3)	20 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	10 (1)
上フランジ	σ	8	-115	-122	-133	-171	-174	-180	-182	-193	-179	-173	-171	-171	-84	-86
	σ a	210	135	135	185	185	210	210	210	210	210	210	185	185	185	113
	σ a-σ	202	20	13	52	14	36	30	28	17	31	37	39	14	69	101
下フランジ	σ	-8	115	137	148	190	178	172	174	197	172	165	175	190	129	84
	σ a	135	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	140
	σ a-σ	127	95	73	62	20	32	38	36	13	38	45	35	20	81	126
腹板	τ	83	82	82	76	69	60	51	50	41	52	57	58	67	71	76
	τ a	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	80
	合成	0.48	0.64	0.74	0.79	1.05	0.90	0.86	0.87	0.95	0.87	0.85	0.87	1.04	0.64	0.48
計算点位置		左	右	右	J-1	右	右	J-2	右	最大値	左	J-3	左	左	J-4	左

追加補強不要

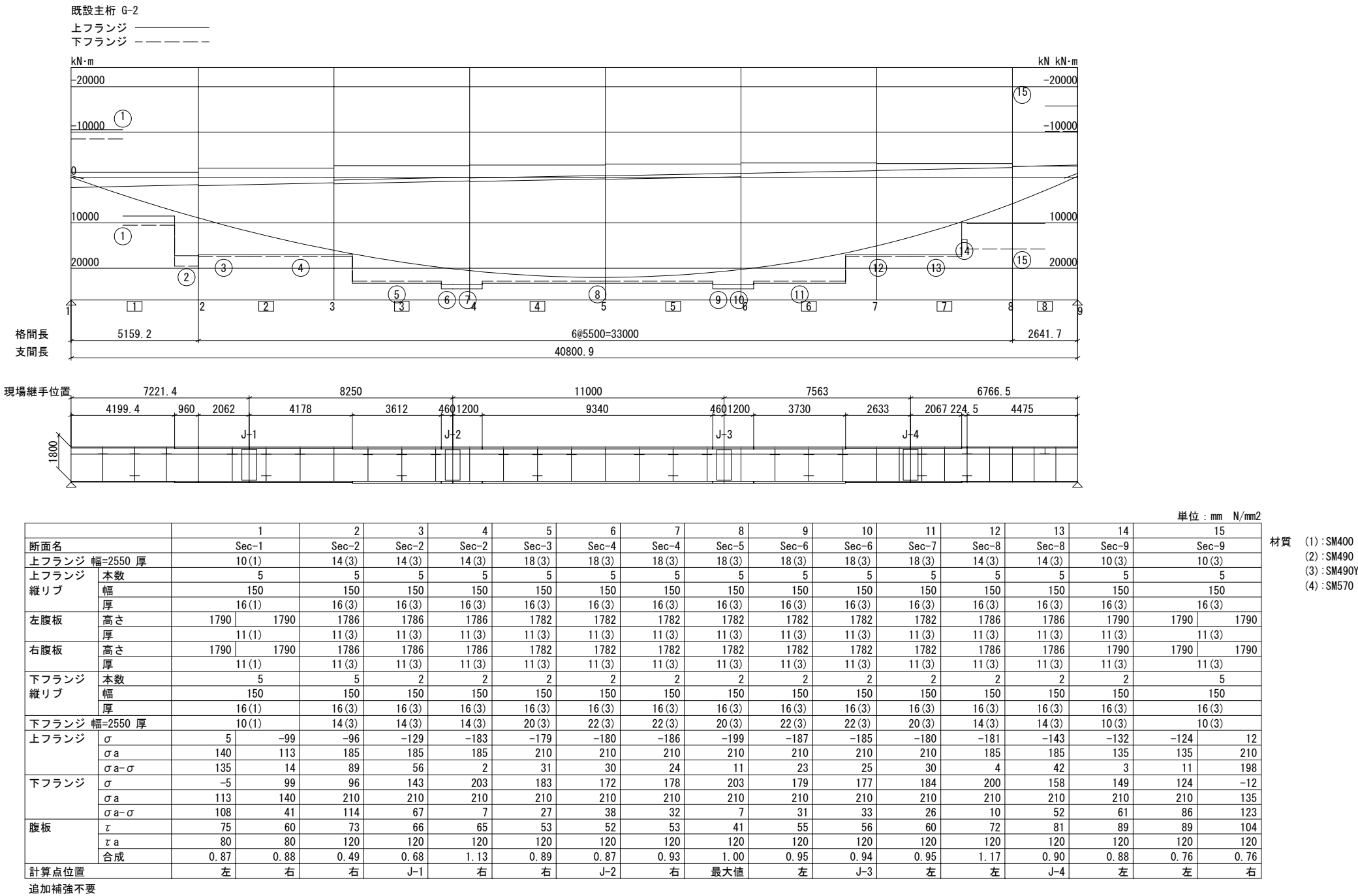
材質 (1):SM400  
(2):SM490  
(3):SM490Y  
(4):SM570

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 断面構成図（その2）		
縮 尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（ 下り線 ） 断面構成図(その3) S=1:100

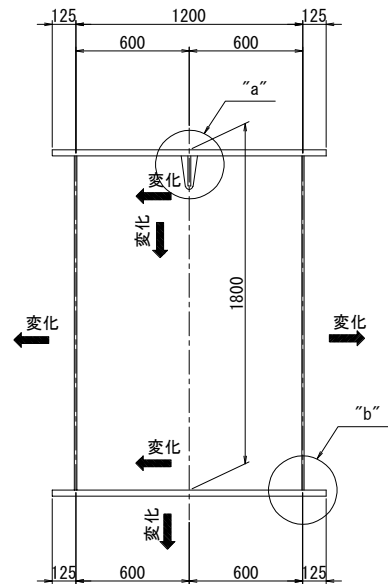
G2 既設桁



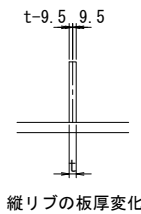
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 断面構成図(その3)		
縮 尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



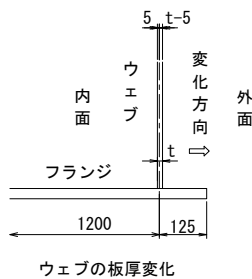
箱桁基本寸法図及び板逃げ方向 S=1:40



“a”部詳細

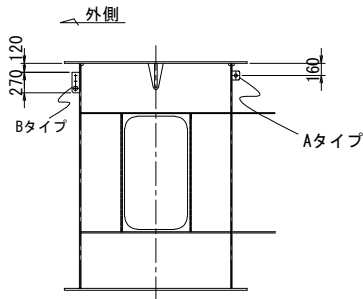


“b”部詳細

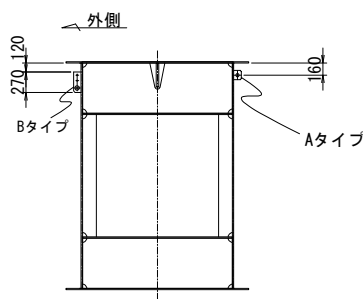


吊金具取付位置図 S=1:100

支点上横桁、中間横桁位置



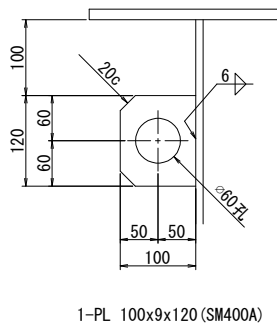
横リブ、V. Stiff中間位置



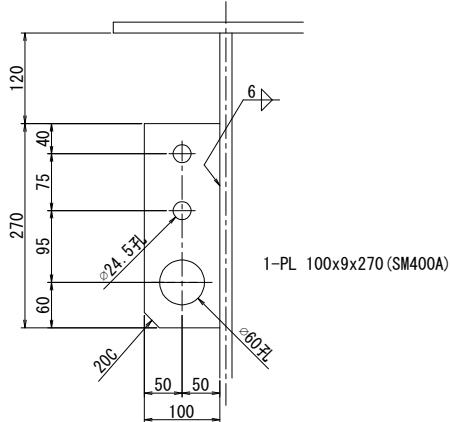
注) 横桁と干渉する金具Aは横桁をさけた位置に設ける、但し支点上横桁位置には設けない。  
設置間隔はAタイプで1.8m以下、Bタイプで1.0m以下

吊金具詳細 S=1:10

Aタイプ

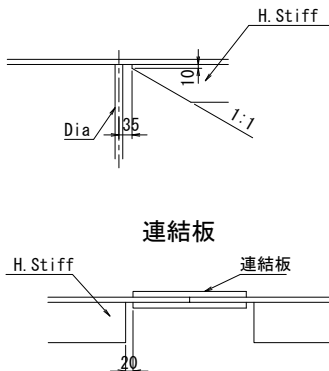


Bタイプ

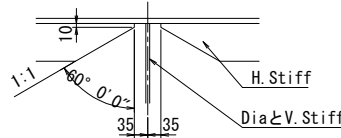


水平補剛材詳細

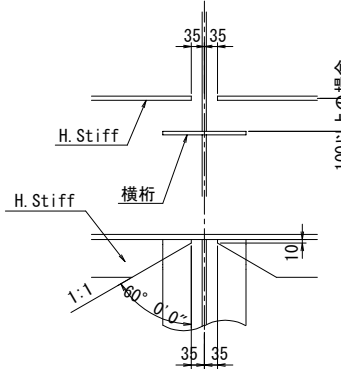
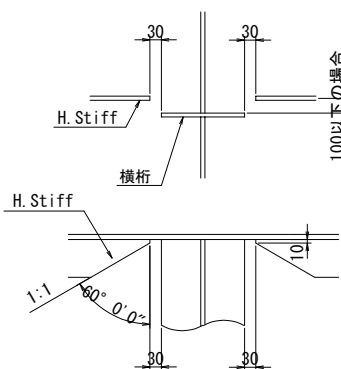
支点部



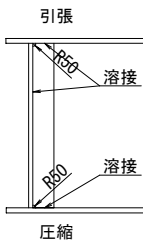
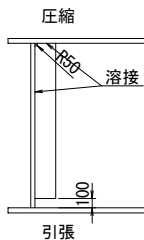
中間部



中間部  
(横桁フランジ控材と水平補剛材が接近する時)

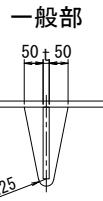


垂直補剛材の取付け方

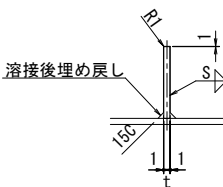


<交番部も同様とする>

縦リブ貫通部スカーラップ詳細

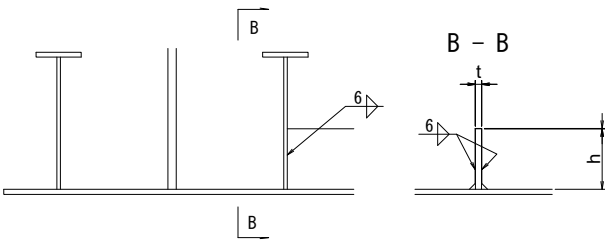
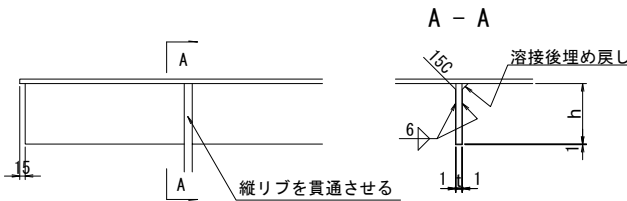


支点上  
(スリット)

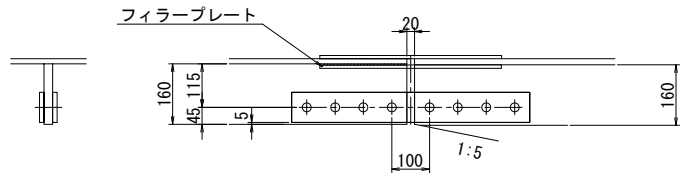


縦リブ詳細

桁端部



継手部



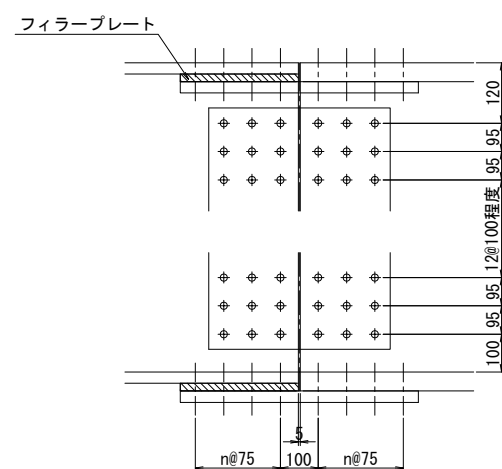
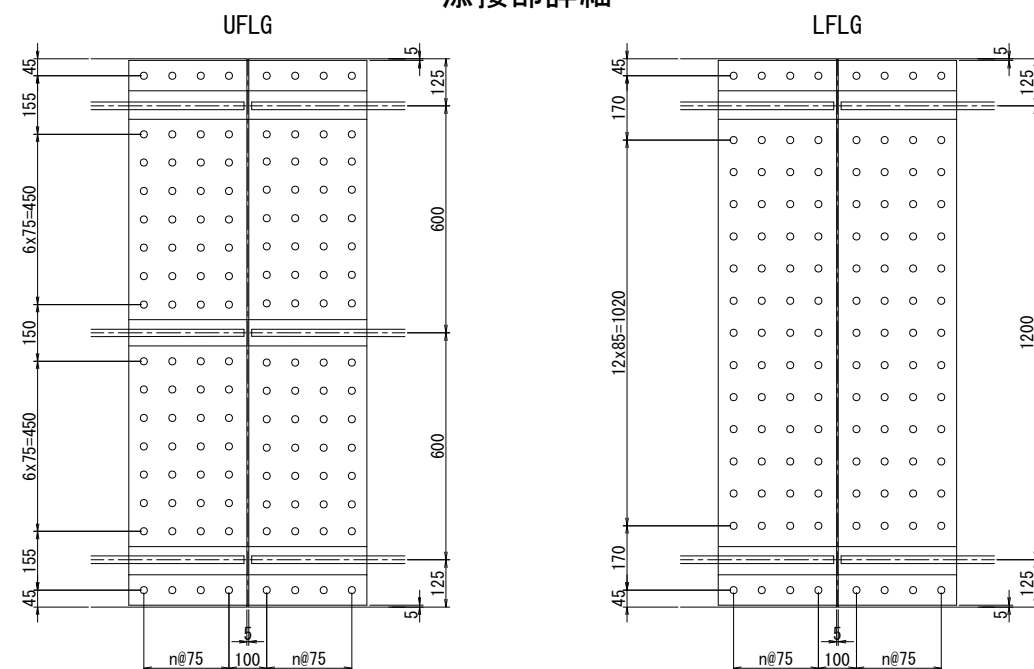
注記  
1. 縦リブ継手部のボルト孔はφ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 共通詳細図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

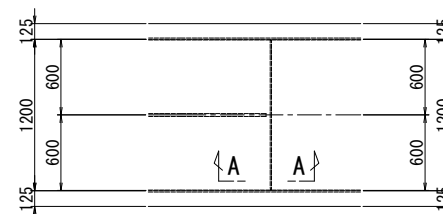


川田橋（下り線）共通詳細図（その2） S=1:20

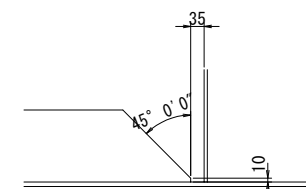
### 添接部詳細



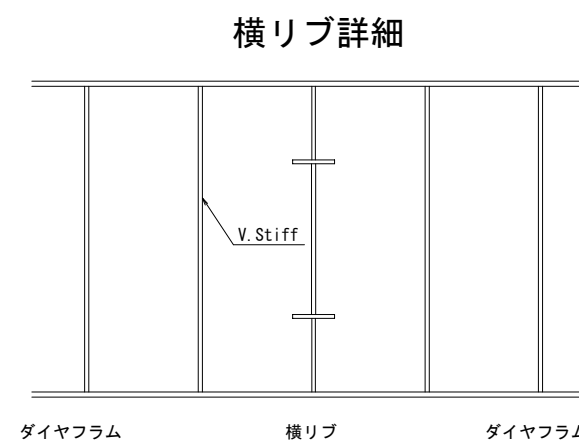
縦リブ本数変化部詳細 S=1:60



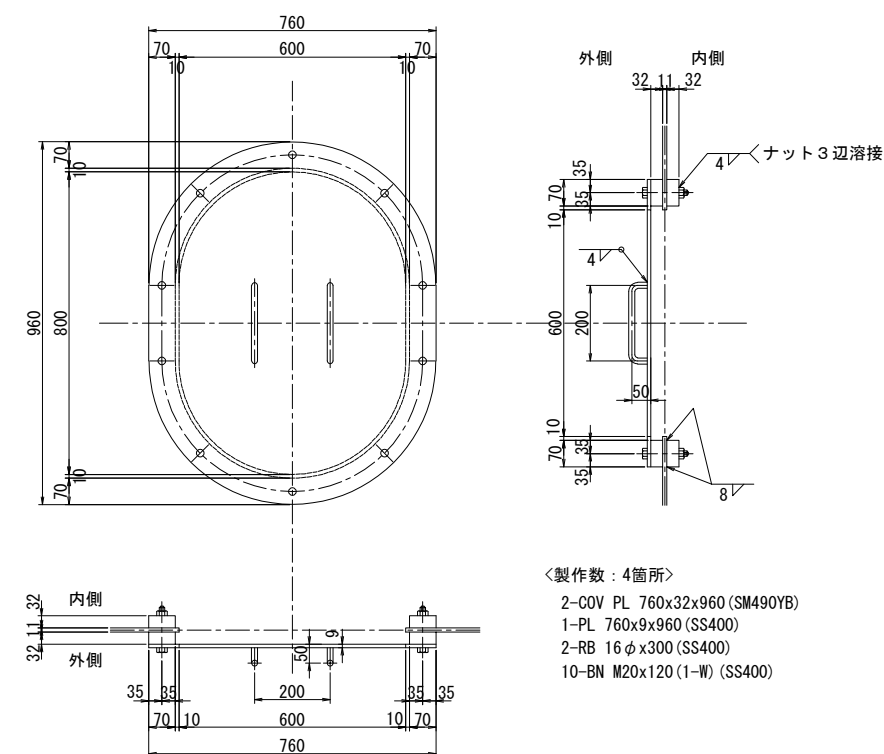
A—A



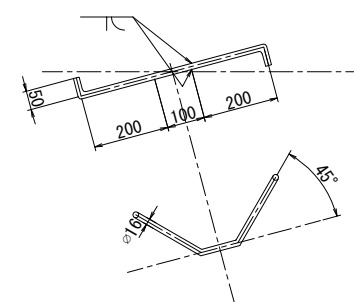
既設補強材搬入用マンホール



横リブ詳細



## スラブアンカー詳細



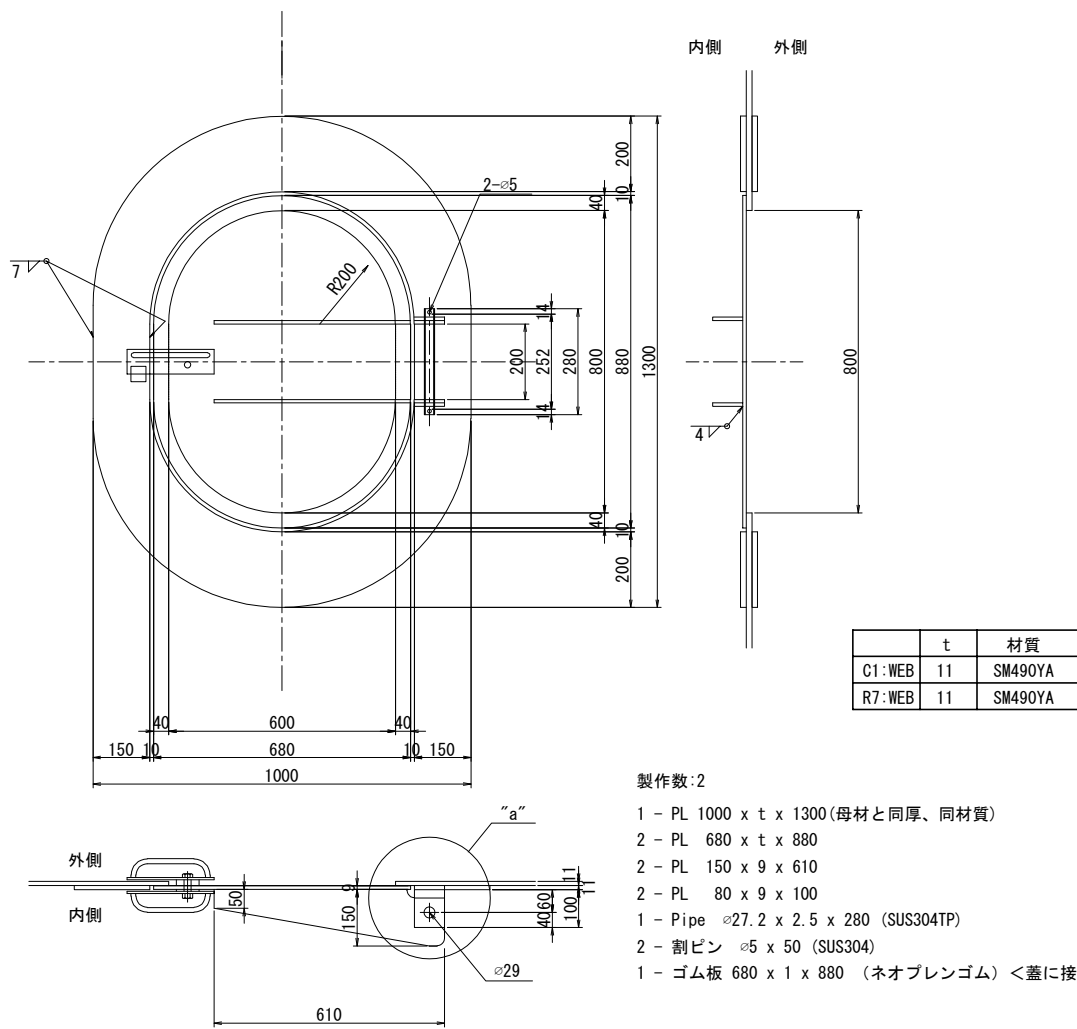
1-RB  $\phi 16 \times 600$  (SS400)  
床版打設時に現場にて曲げ上げる

注記：  
1. マンホール位置は支承交換詳細図を参照のこと。

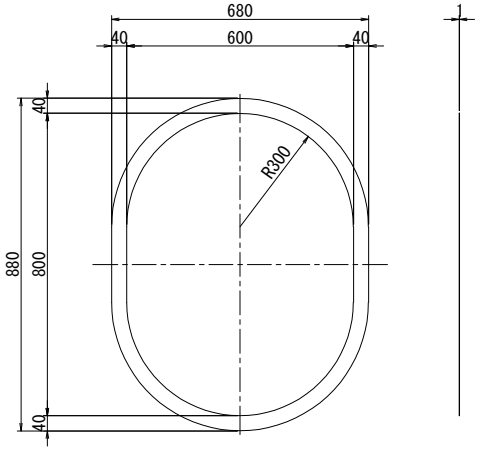
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 共通詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



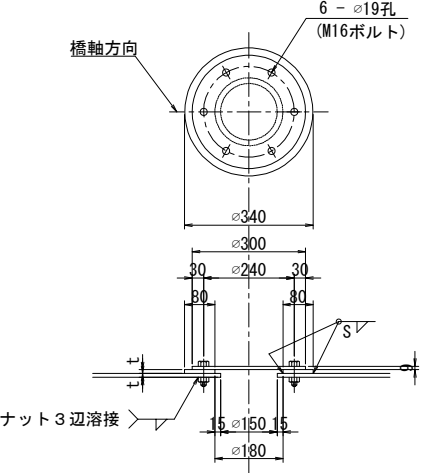
マンホール詳細



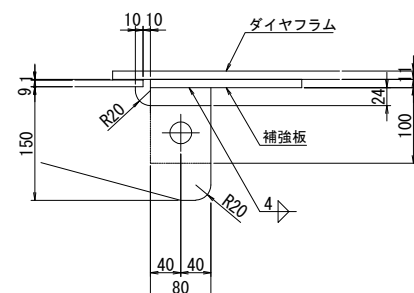
ゴム板詳細



ハンドホール詳細

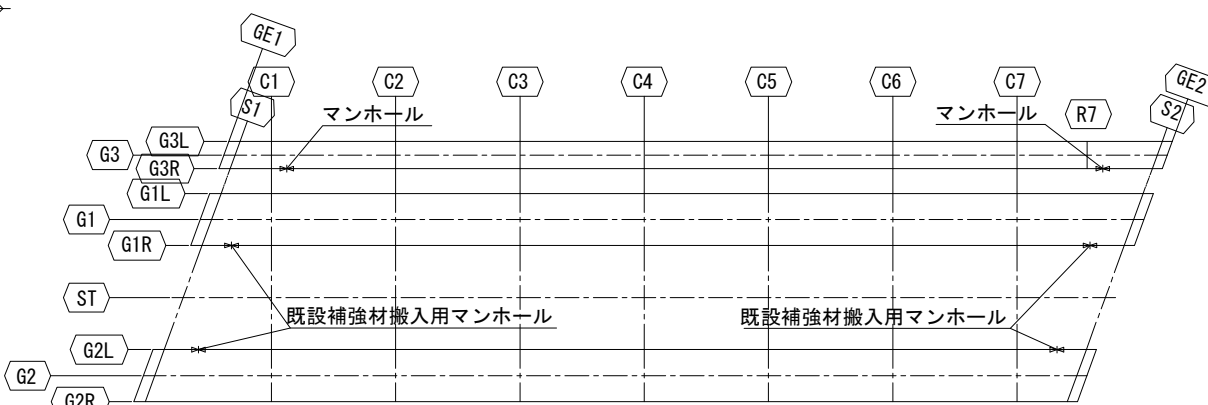


“a”部詳細 S=1:5

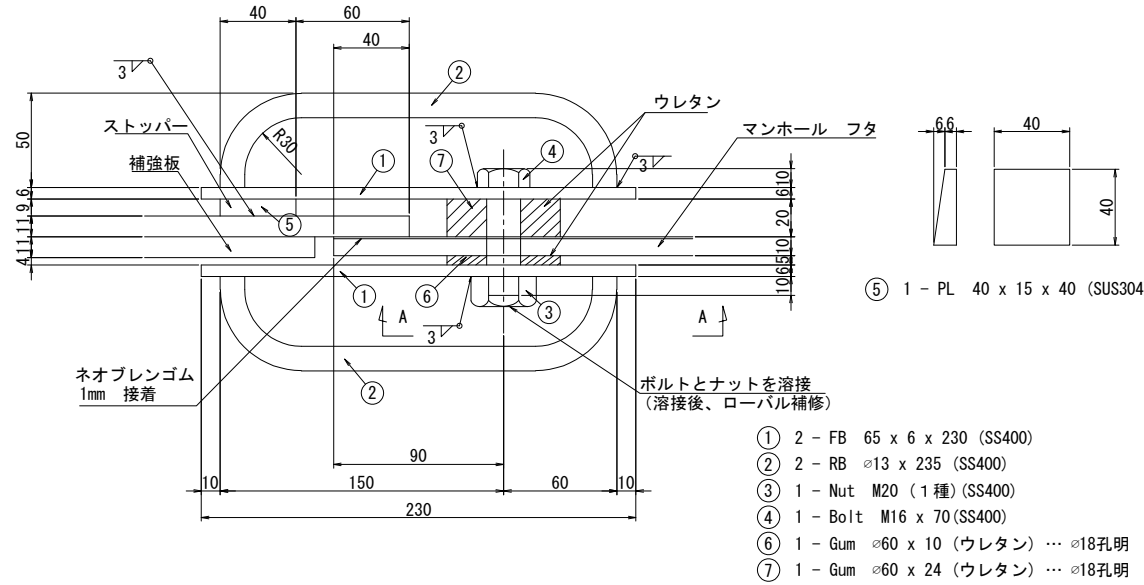


- 1 - PL  $\phi 300 \times 9$  (SS400)
- 1 - PL  $\phi 340 \times t$  (母材と同厚、同材質)
- 6 - B. N M16 x L (1-W付) (SUS304)

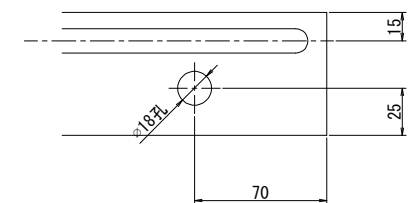
マンホール配置図



取手部詳細 S=1:2



A-A



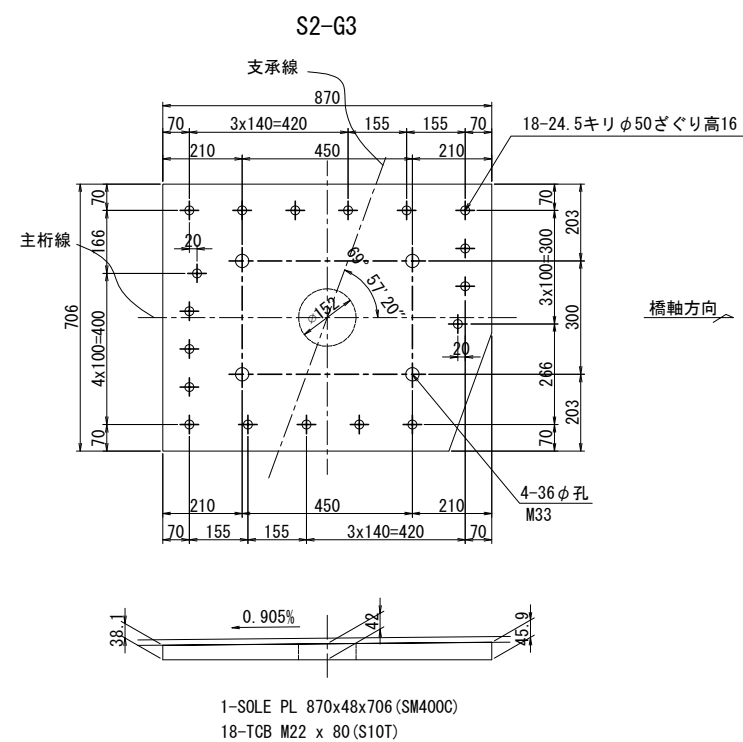
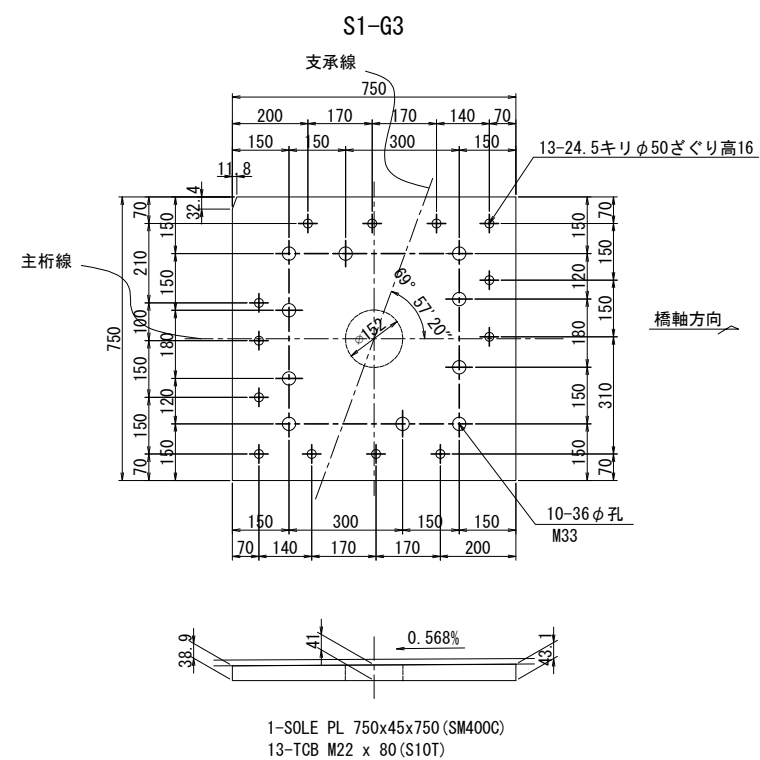
注記  
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 共通詳細図（その3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

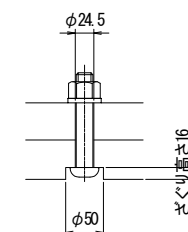


川田橋（下り線）共通詳細図（その4） S=1:20

## ソールプレート詳細



## ざぐり部詳細 S=1:10



長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上橋工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 共通詳細図（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



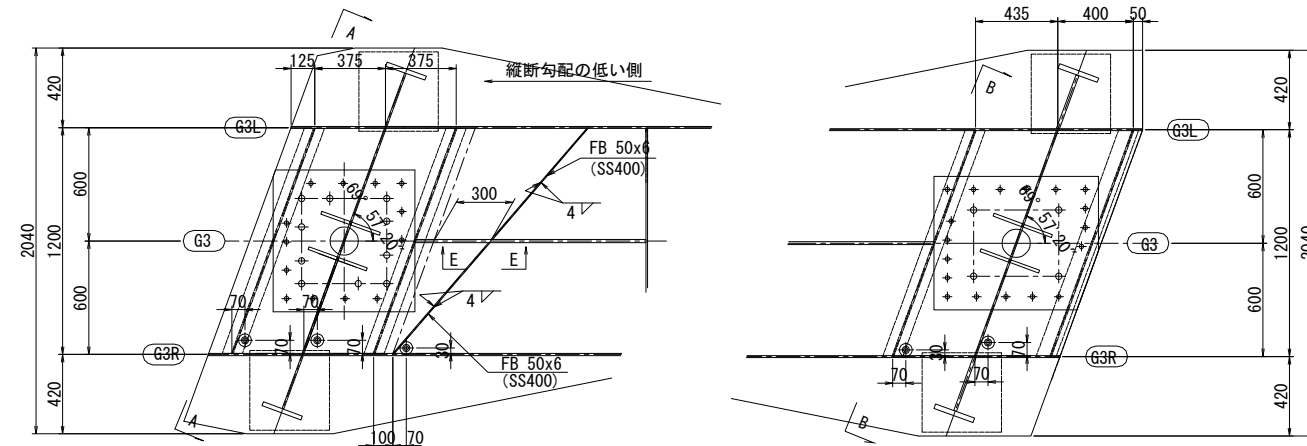
川田橋（下り線）共通詳細図（その5） S=1:40

### 箱桁内排水及び支点補強リブ詳細

端支点部

S1上

S2上



製作数:1

支点補強リブ: 2-PL 100x10x1303 (SM490YA)

2-PL 400x9x1267 (SM490YA)

桁内排水: 2-FB 50x6x775 (SS400)

3-PL  $\varnothing 75 \times 22$  (SM400A)

製作数:1

支点補強リブ: 2-PL 100x10x1303 (SM490YA)

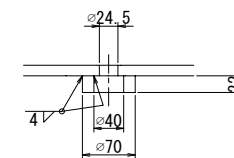
2-PL 400x9x1267 (SM490YA)

桁内排水: 2-PL  $\phi 75 \times 22$  (SM400A)

1993, 1994, 1995, 1996, 1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 26

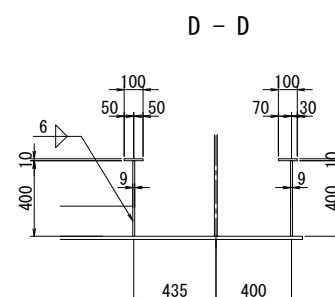
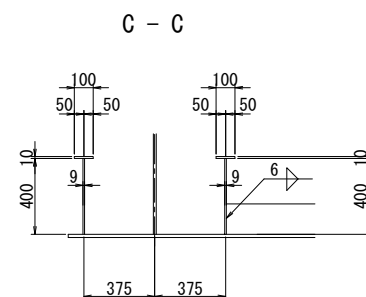
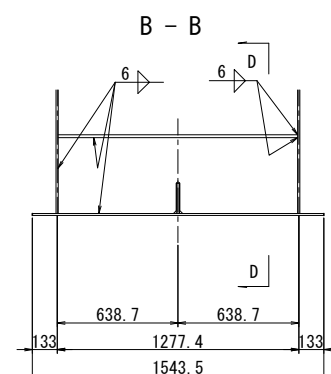
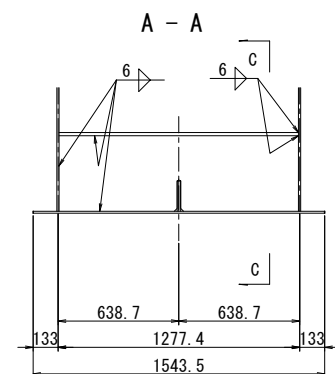
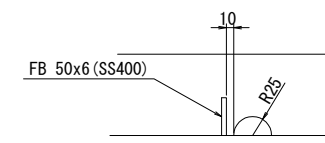
水抜き孔詳細 S=1:10

製作数:6



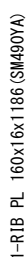
1-PL Ø75x22 (SM400A)

E-E S=1:10

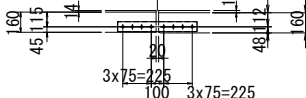


<p>長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事</p>			
図面の種類	<p>川田橋（下り線） 共通詳細図（その5）</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所</p>		





(上フランジ`付縦リブ)



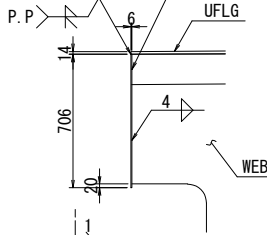
連接材料 (箇所数=1)  
 2-SPL PL 80x16x630 (SM490YA)  
 8-TCB M22x85 (S10T)

S=1 : 20



補強リブ

S=1:40



1-PL 1544x6x706

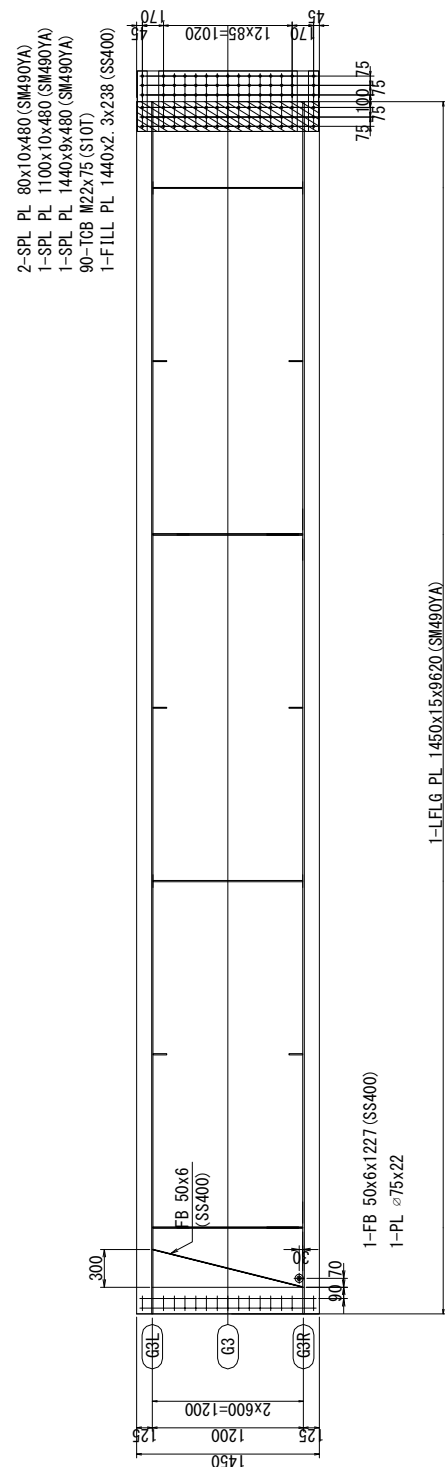
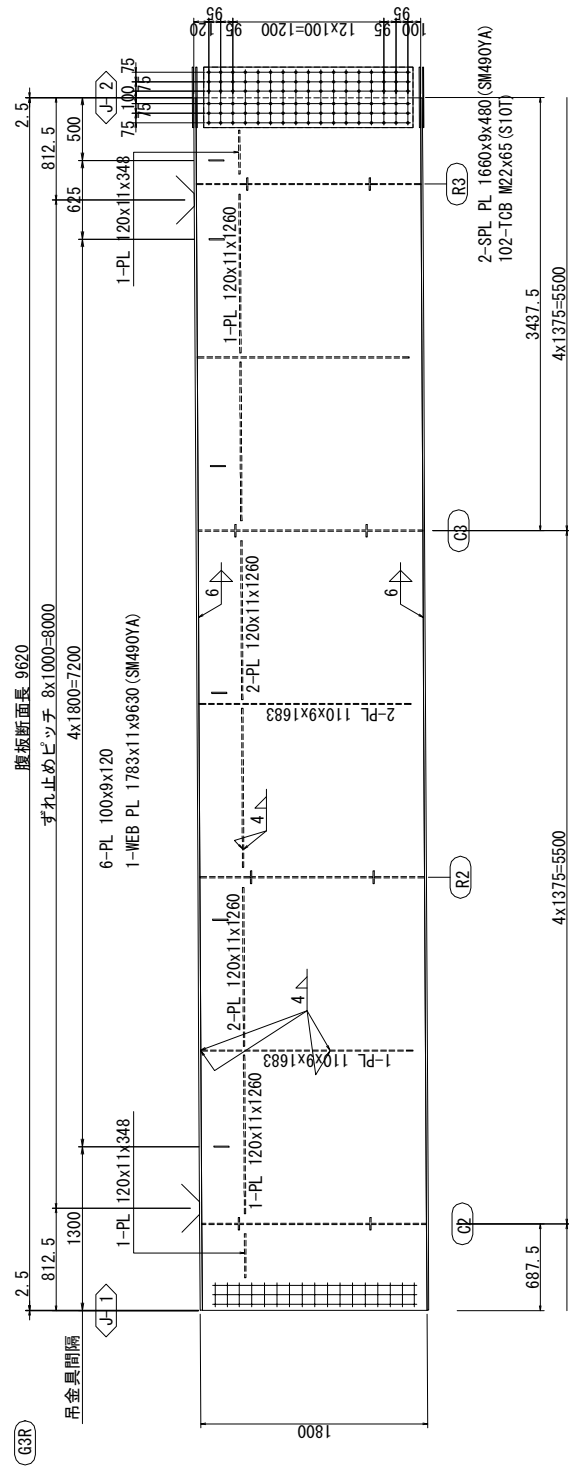
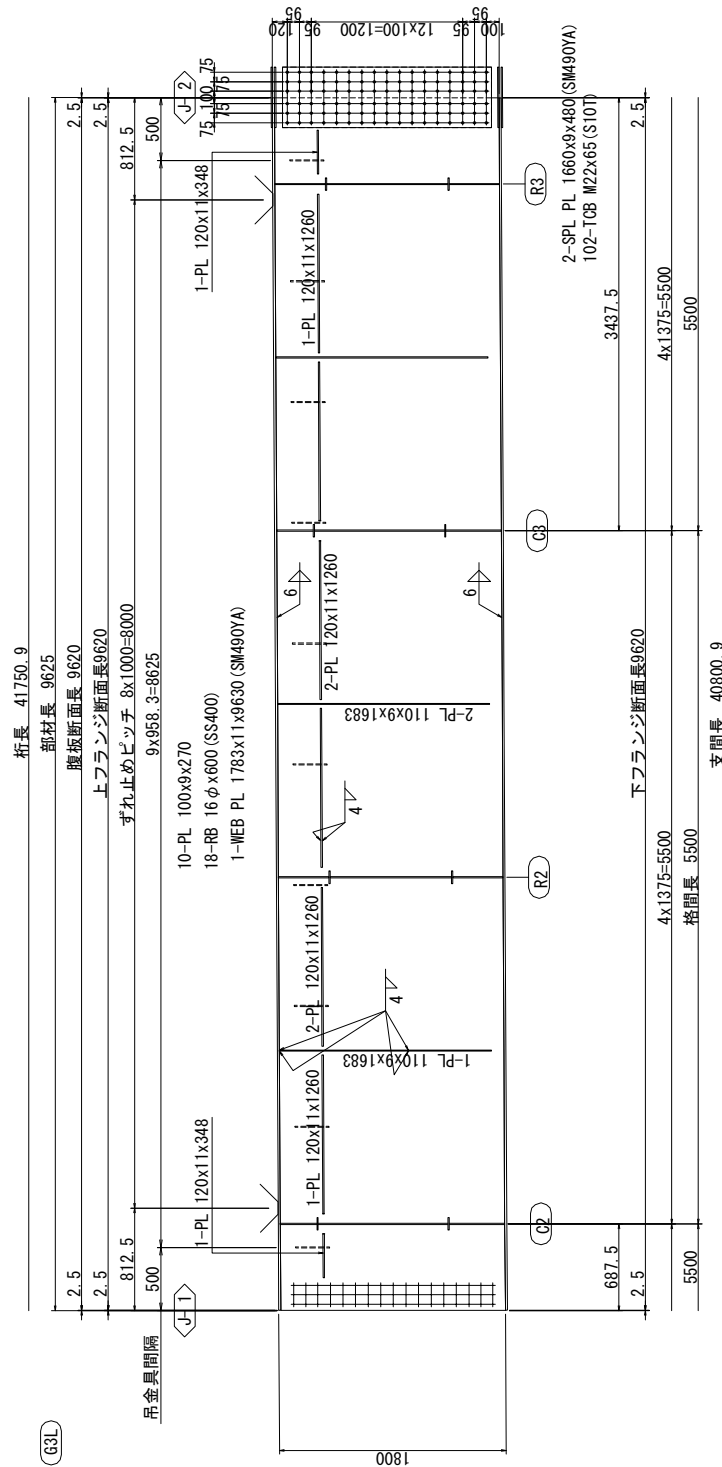
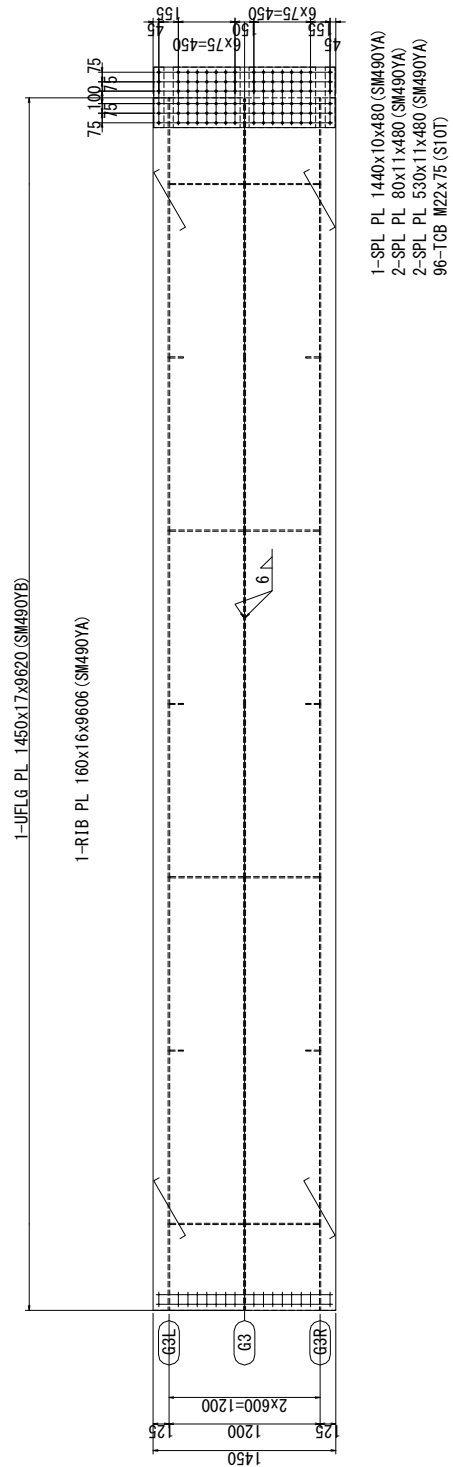
S=1 : 400



- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。
  5. ※印の部材は溶融亜鉛メッキとし、規格は JIS H8641 HDZ55 とする。

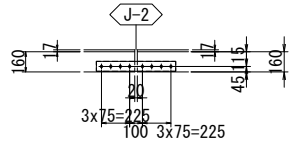
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）			
図面の種類	川田橋（下り線） 主桁図G3（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		





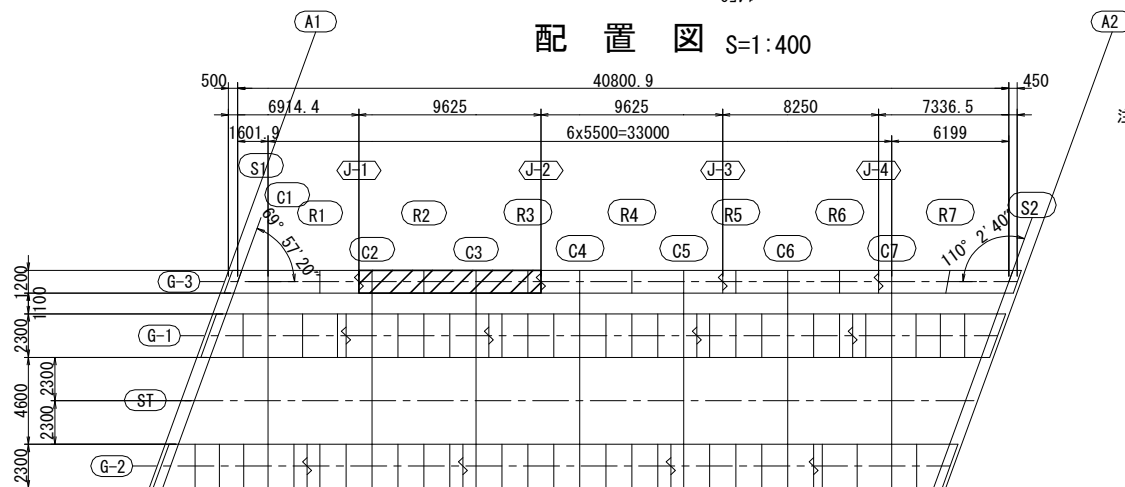
縦リブ接続詳細

(上フランジ付縦リブ)



接続材料 (箇所数=1)  
2-SPL PL 80x16x630 (SM490YA)  
8-TCB M22x85 (S10T)

配置図 S=1:400



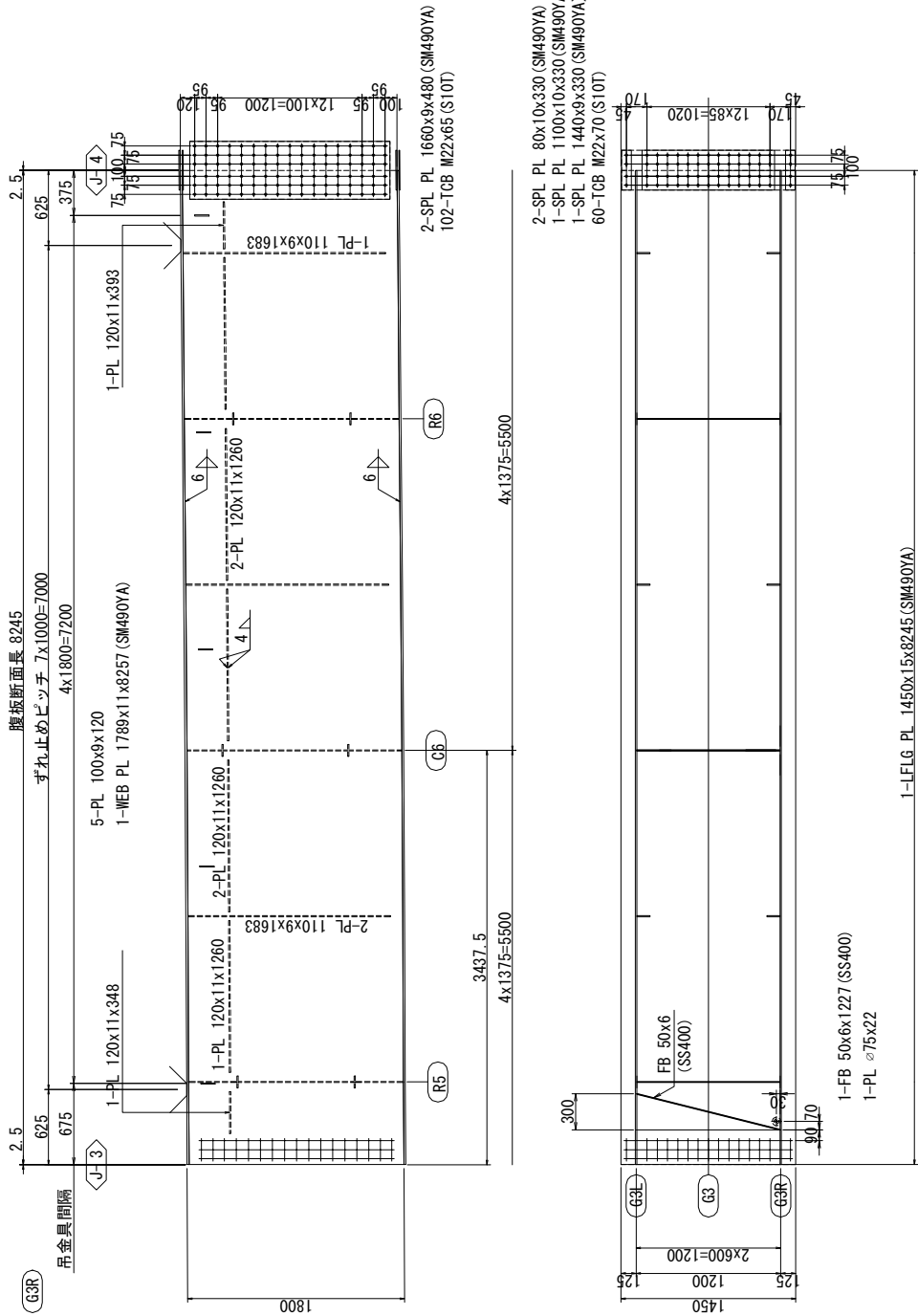
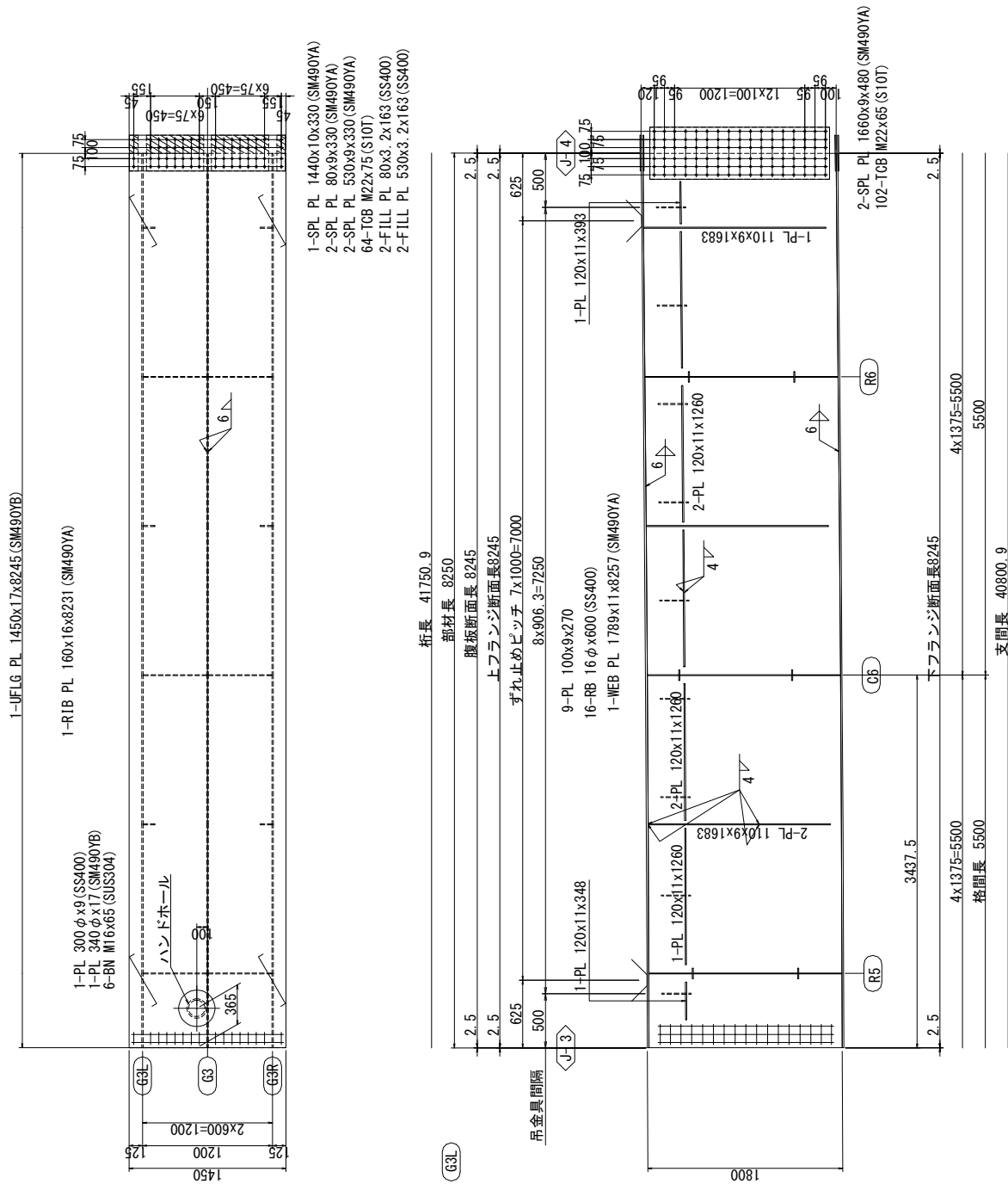
- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。
  5. ※印の部材は溶融亜鉛メッキとし、規格は JIS H8641 HDZ55 とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 主桁図G3(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



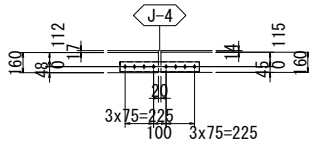






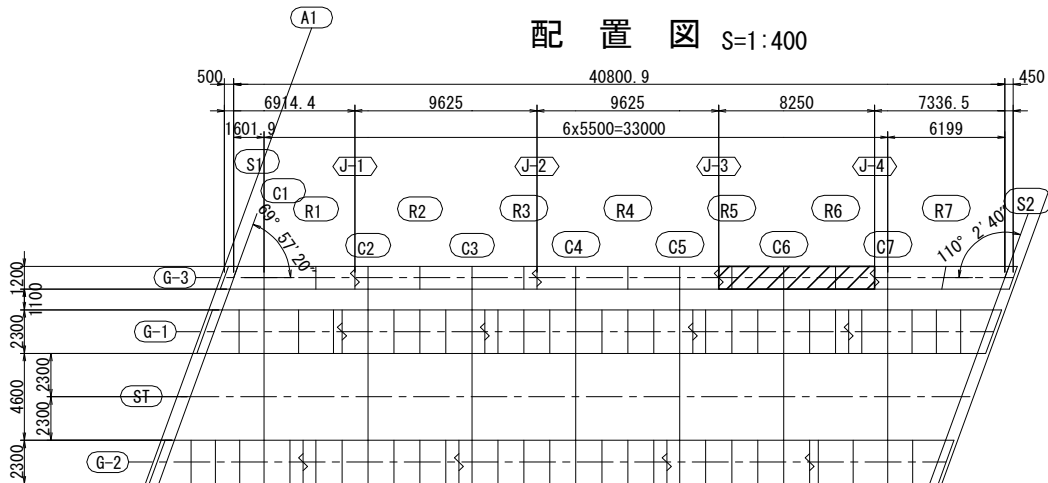
縦リブ接続詳細

(上フランジ付縦リブ)



接続材料 (箇所数=1)  
2-SPL PL 80x16x630 (SM490YA)  
8-TCB M22x85 (S10T)

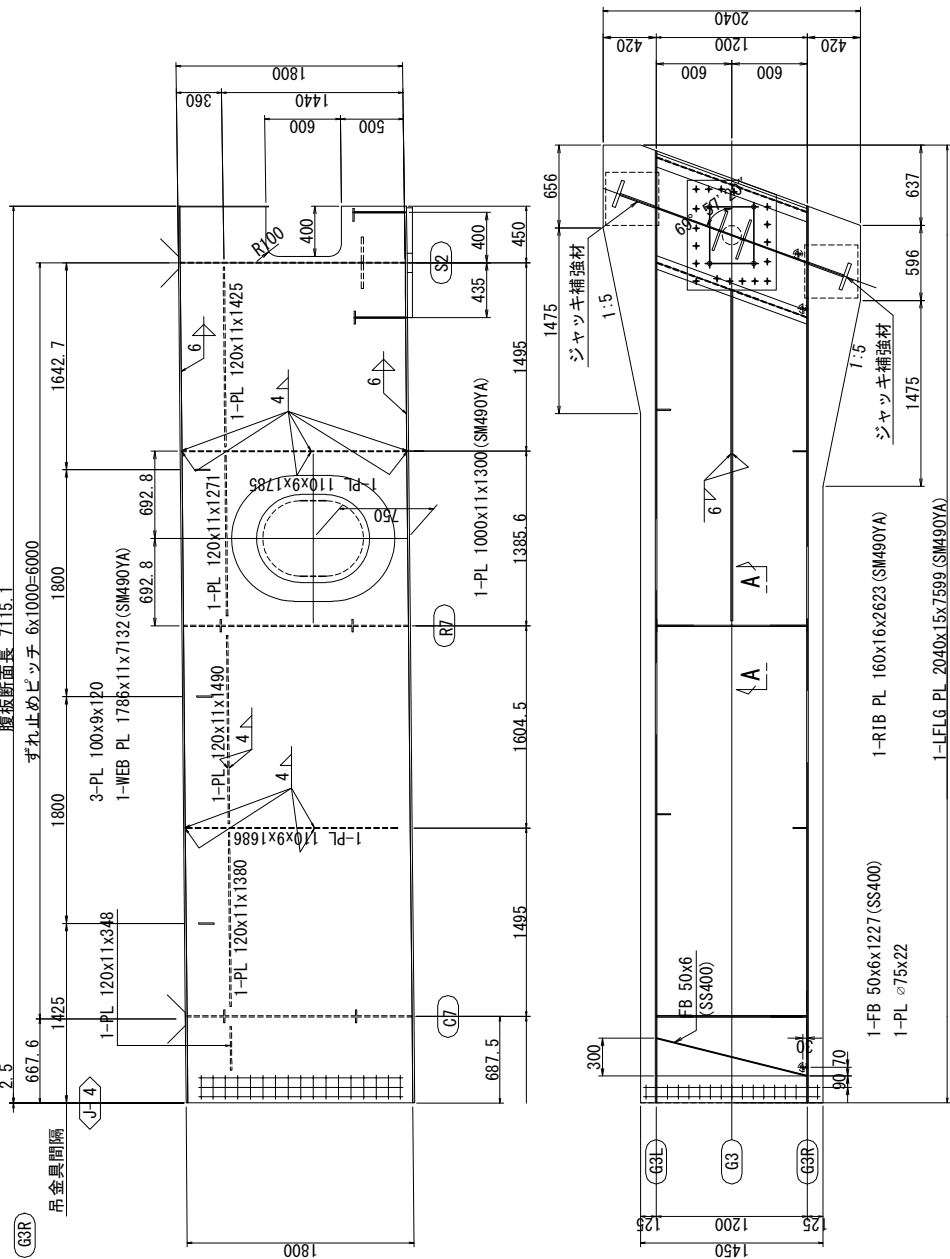
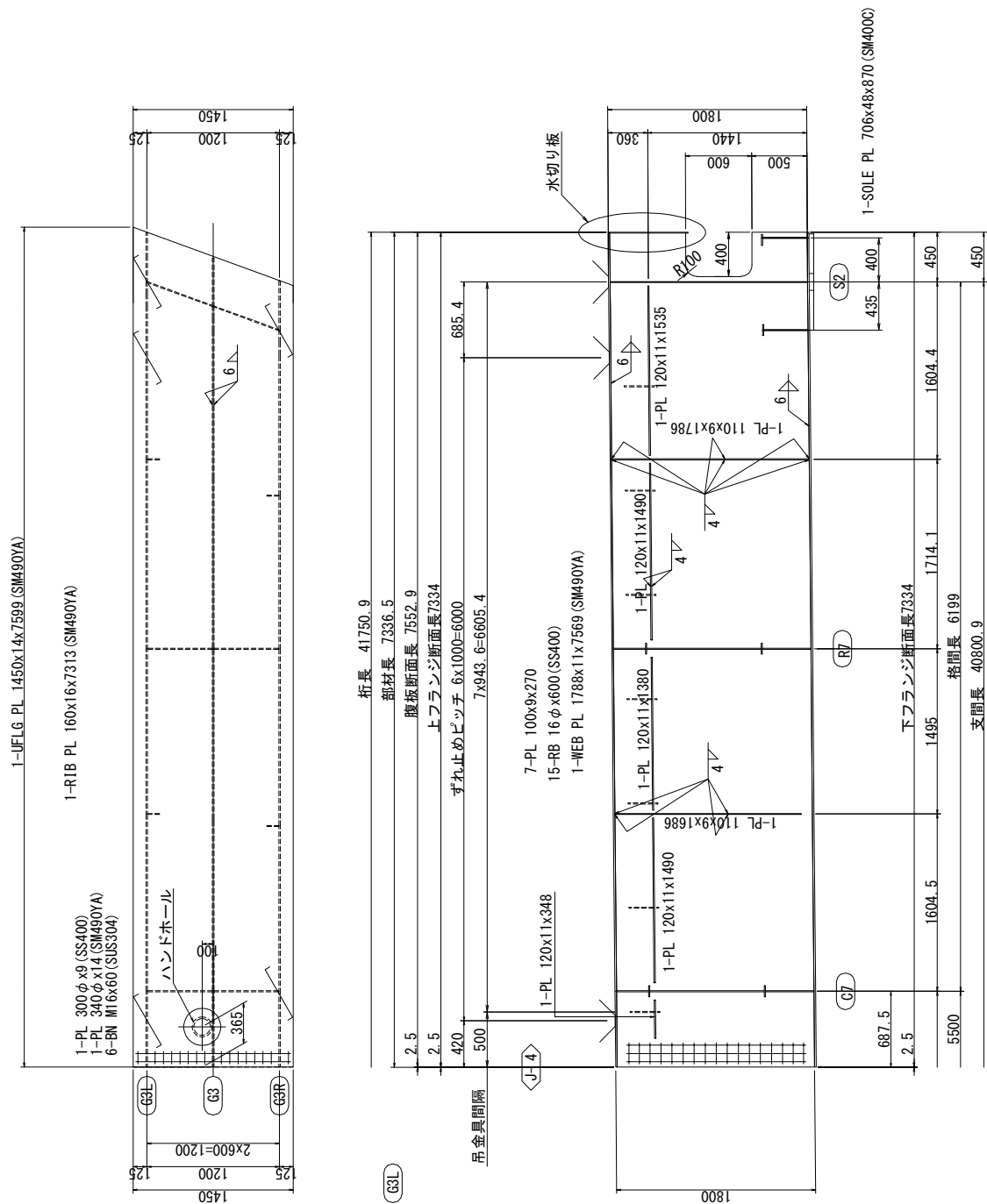
配置図 S=1:400



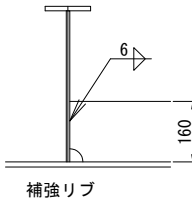
- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. φ印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。
  5. ※印の部材は溶融亜鉛メッキとし、規格は JIS H8641 HDZ55 とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 主桁図G3(その4)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

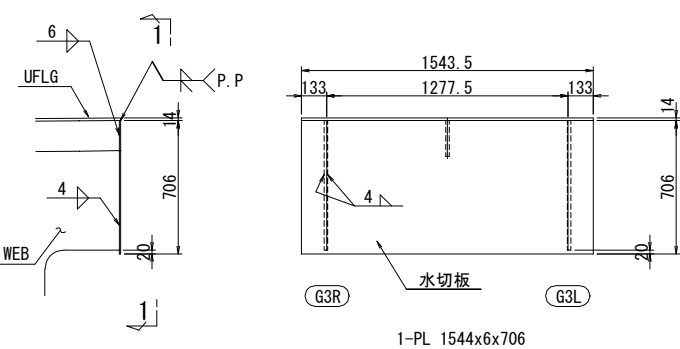




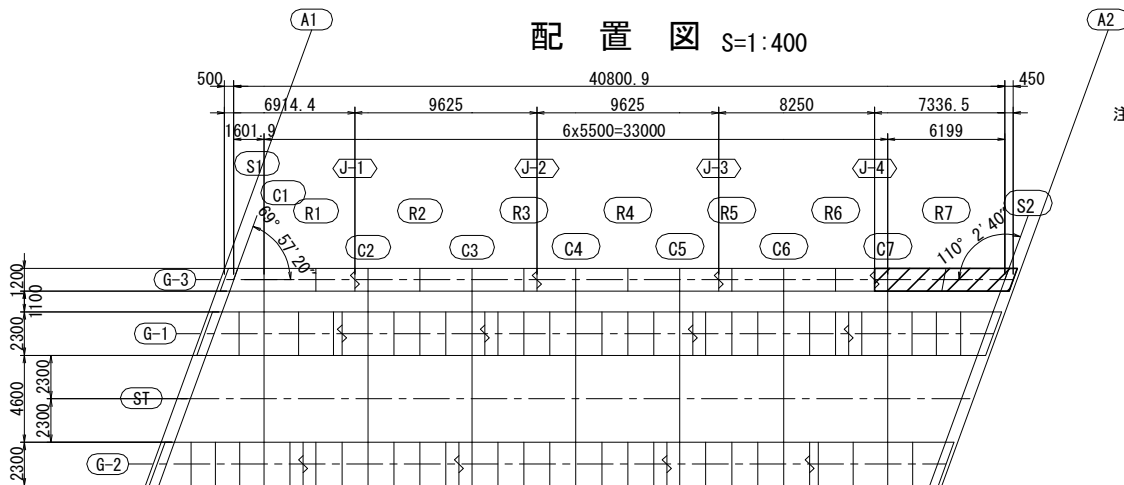
A-A S=1:20



水切り板詳細 S=1:40



配置図 S=1:400

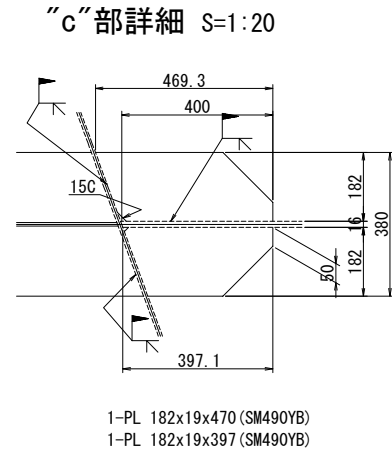
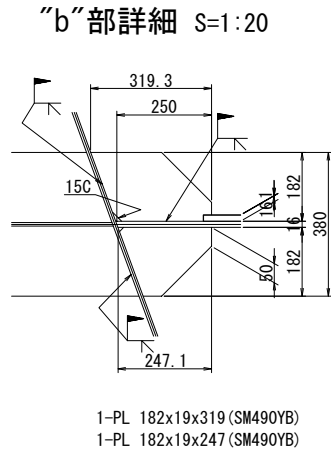
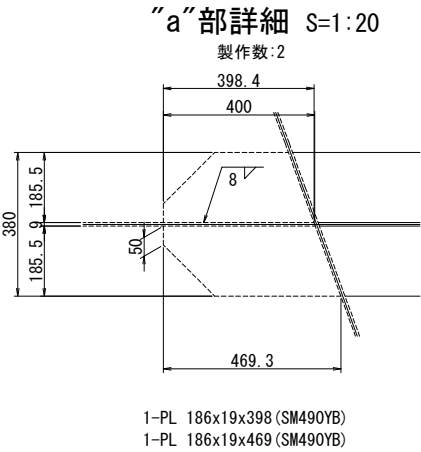
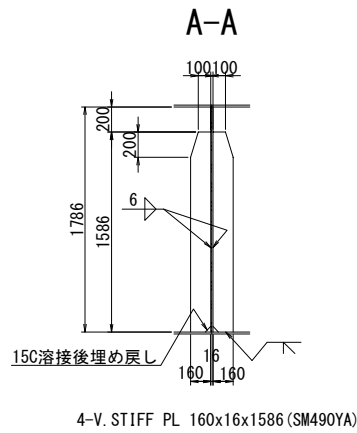
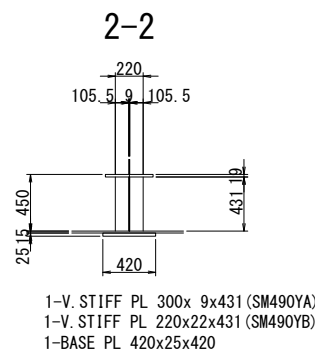
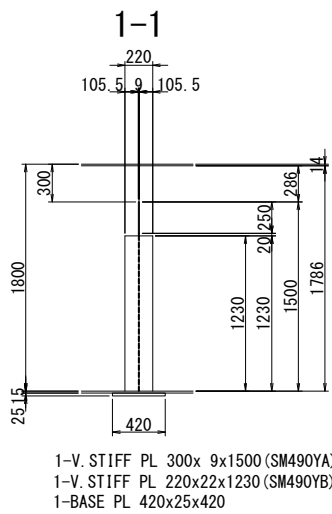
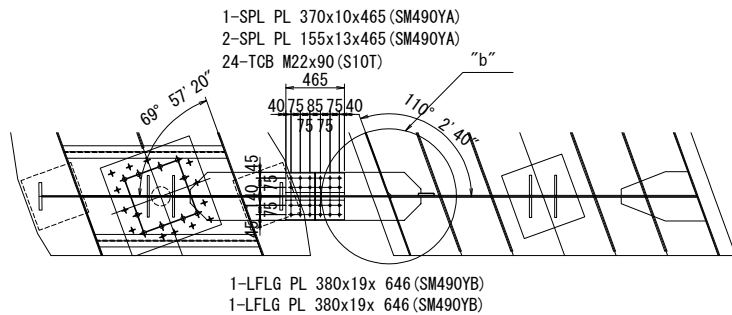
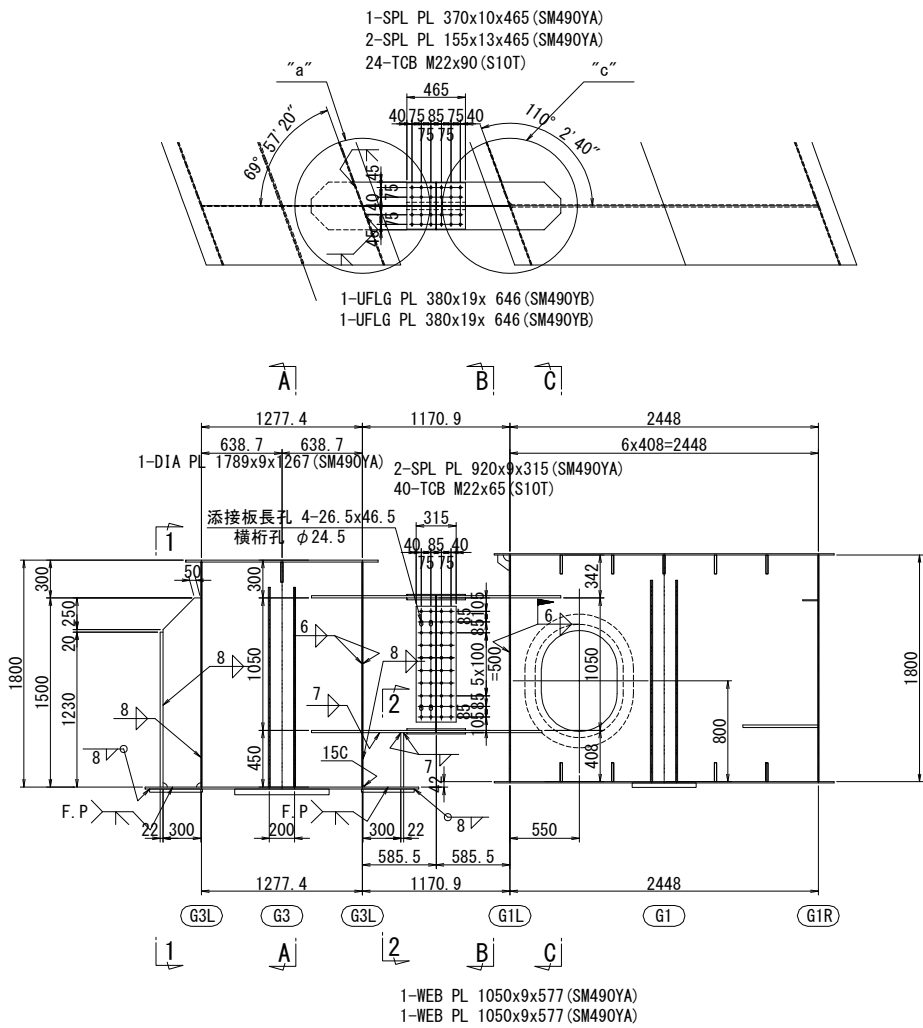


- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。
  4. 主桁各部詳細は共通詳細図参照。
  5. ※印の部材は溶融亜鉛メッキとし、規格は JIS H8641 HDZ55 とする。

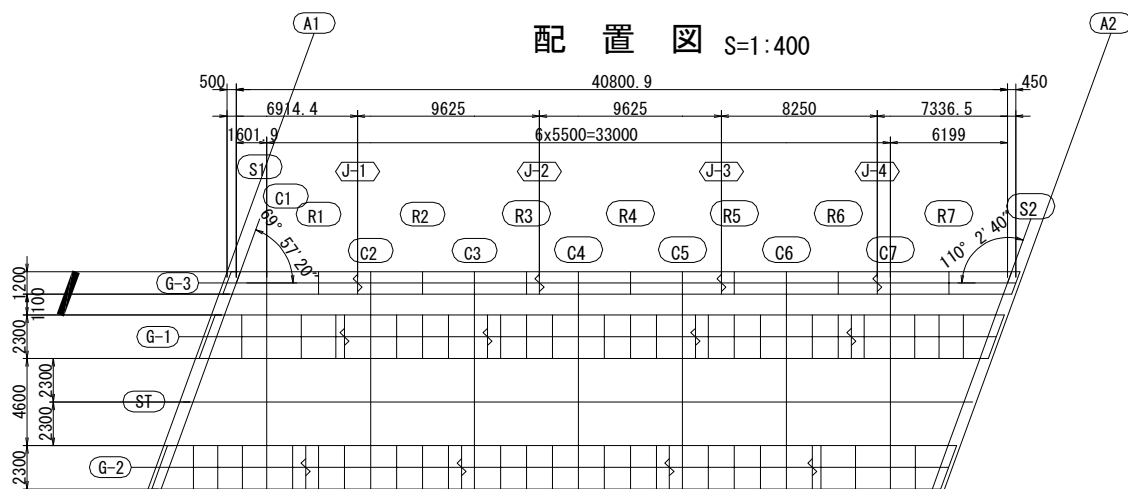
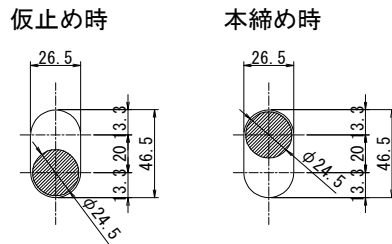
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 主桁図G3(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



S1



仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

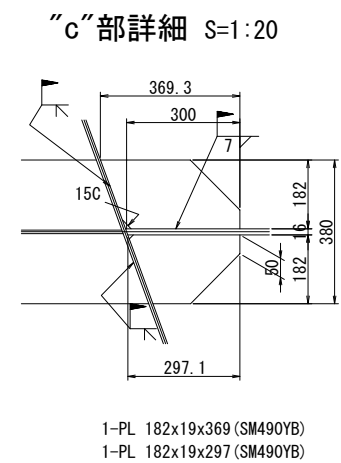
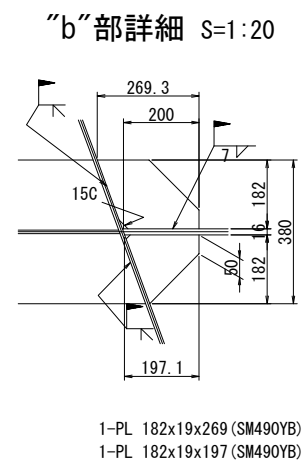
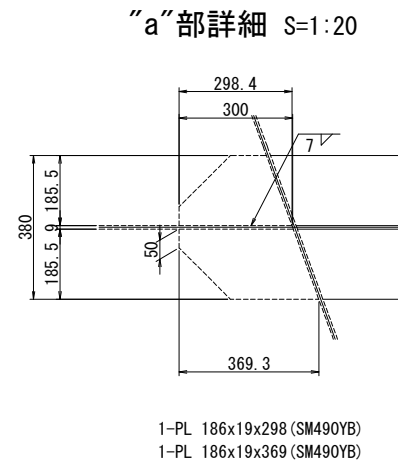
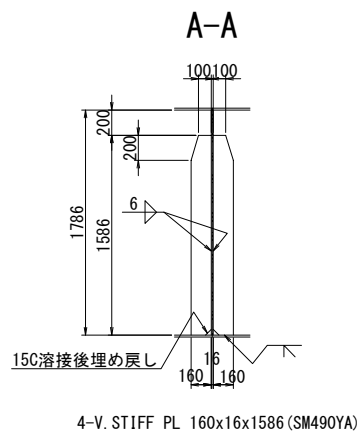
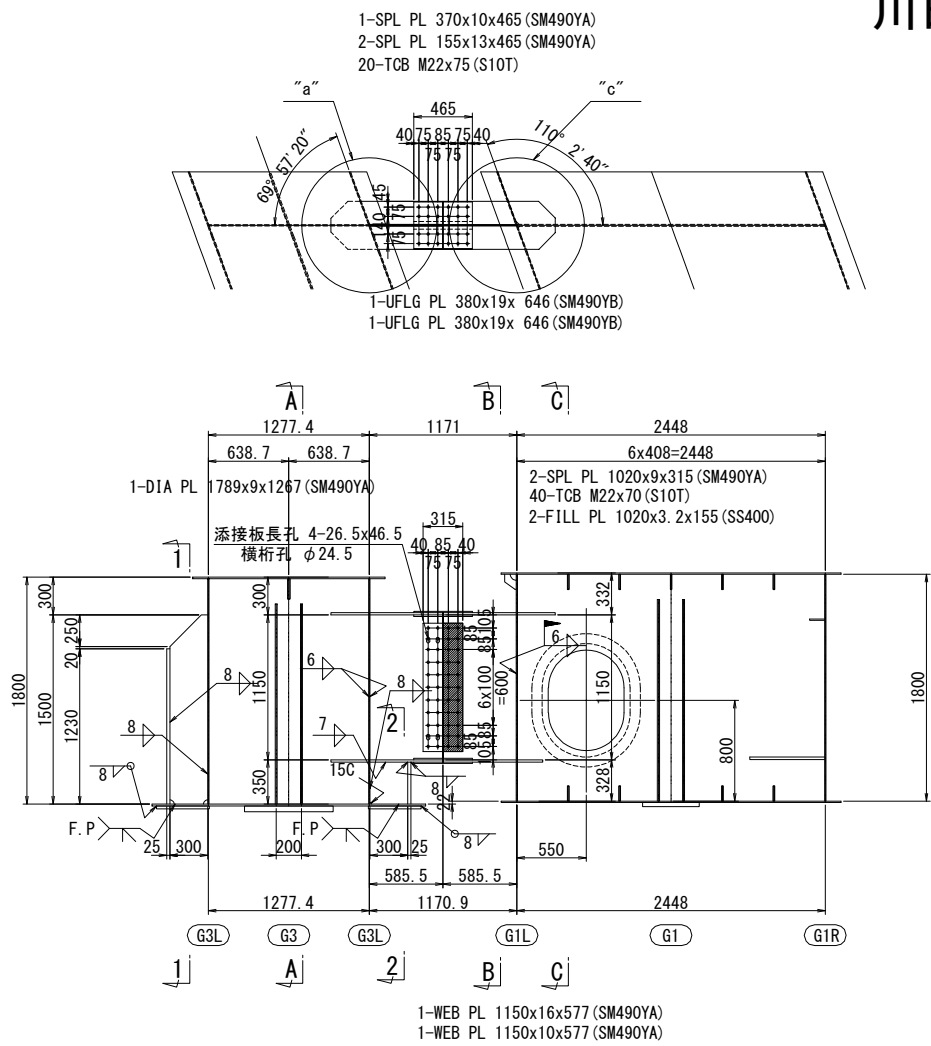


- 注記:
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

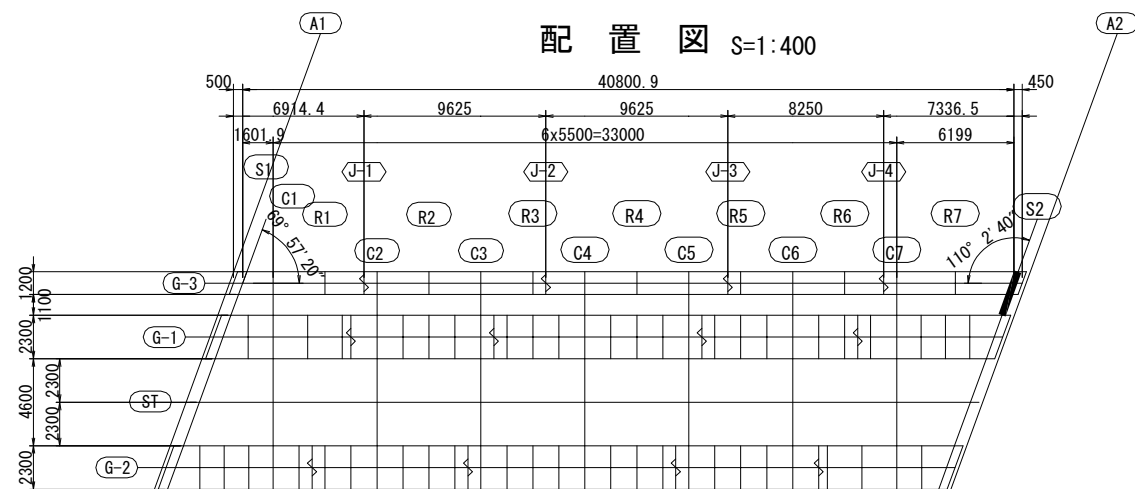
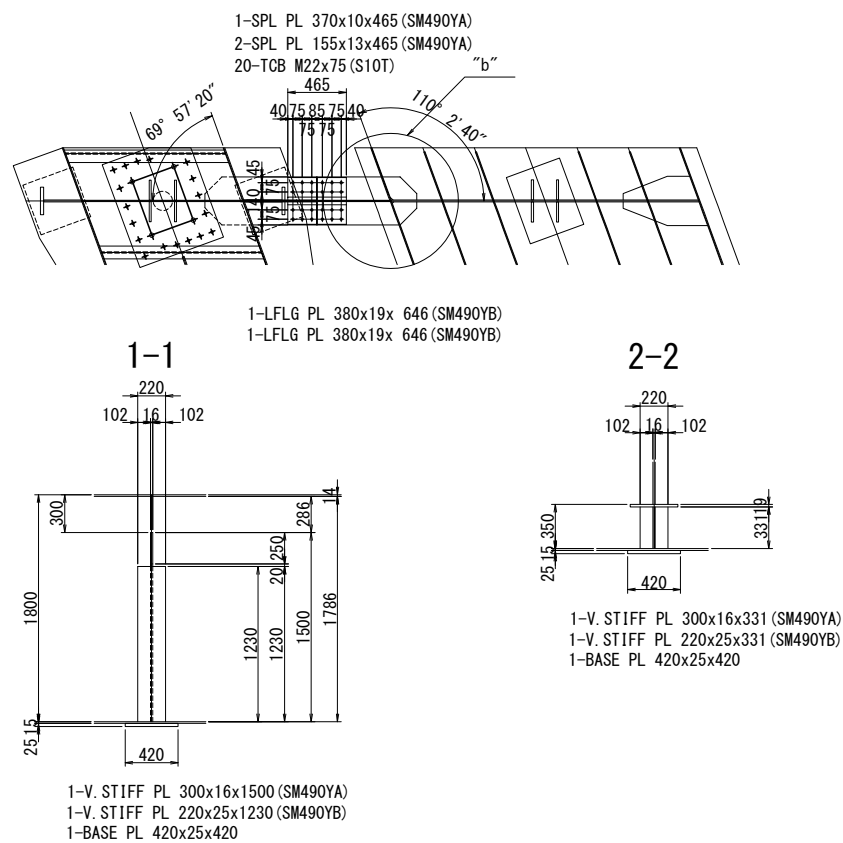
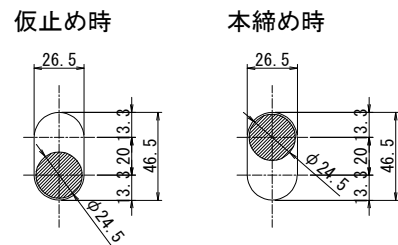
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 端支点上横桁(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）端支点上横桁(その2) S=1:60  
S2



仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4

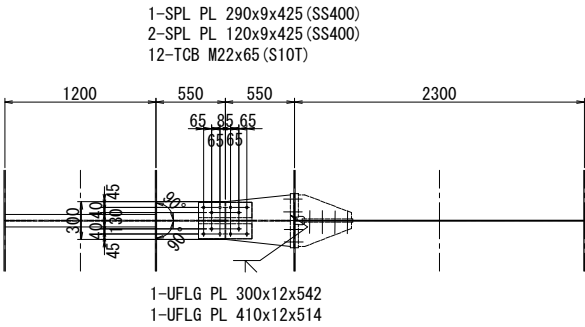


- 注記:
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  - ⌘印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

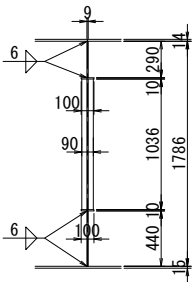
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 端支点上横桁(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



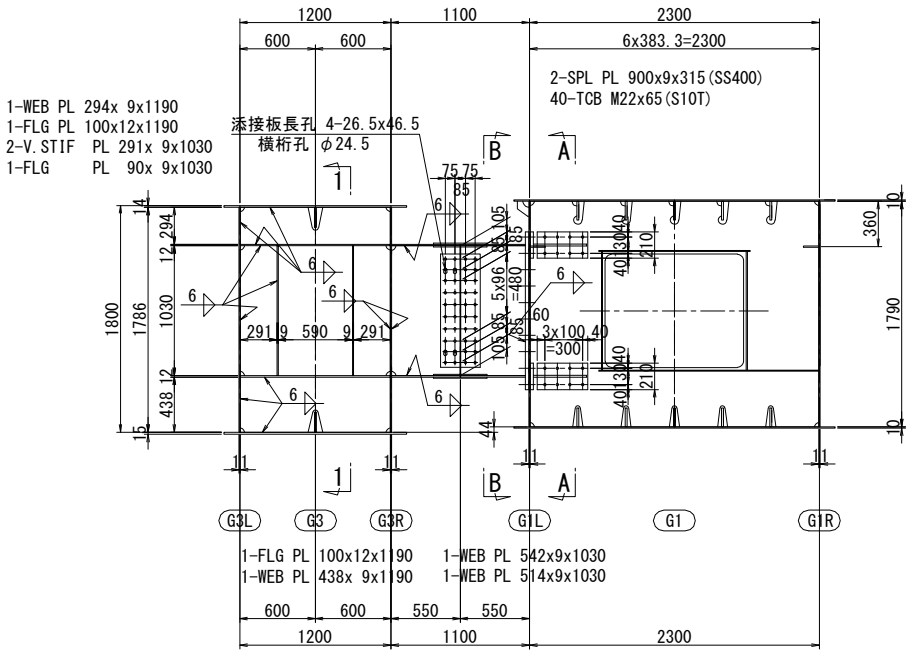
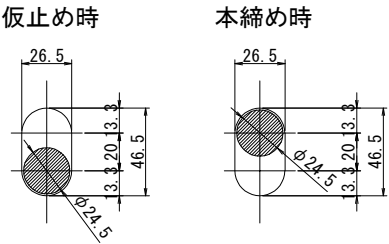
C1



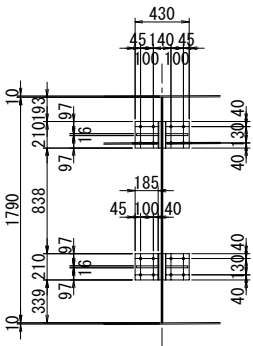
1-1



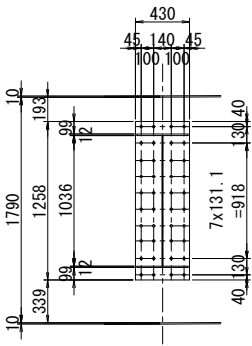
仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4



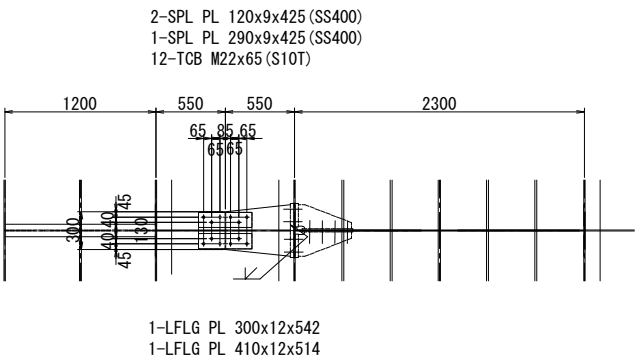
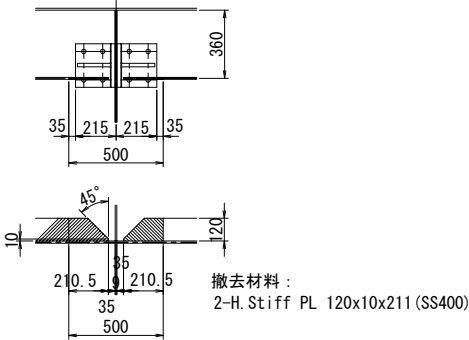
A-A



B-B

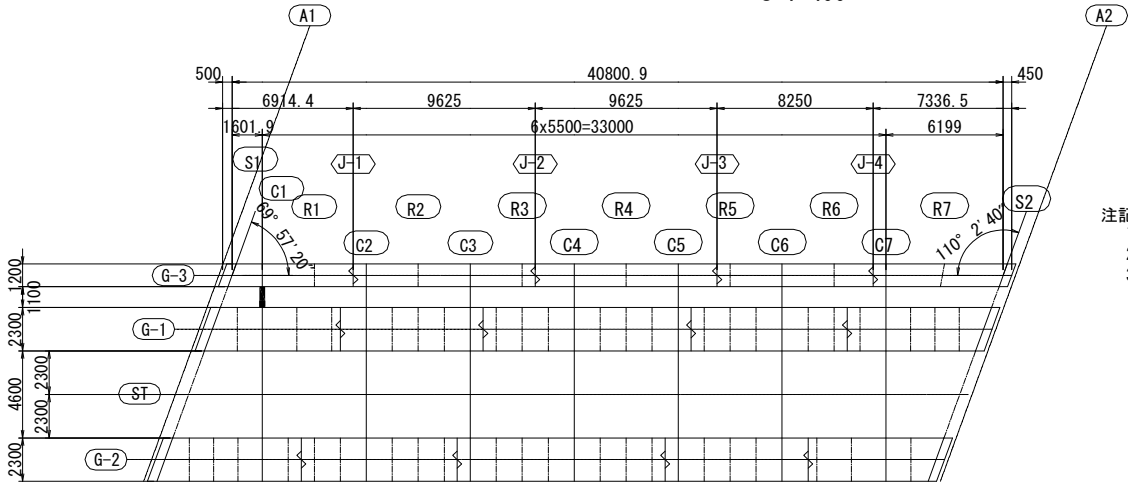


水平補剛材切断撤去 S=1:40

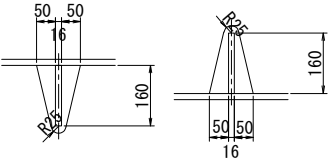


4-BASE PL 210x28x185  
16-TCB M22x110 (S10T) (2-W)  
4-BASE PL 210x9x400  
16-TCB M22x70 (S10T) (2-W)  
4-R1B PL 192x16x420

配置図 S=1:400



スカーラップ詳細 S=1:20



注記:  
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。  
3. 中印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

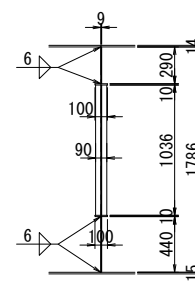
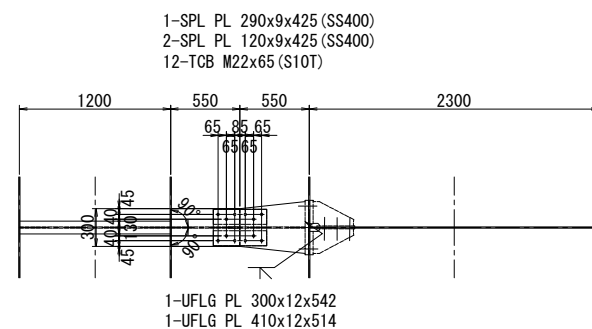
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 中間横桁(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



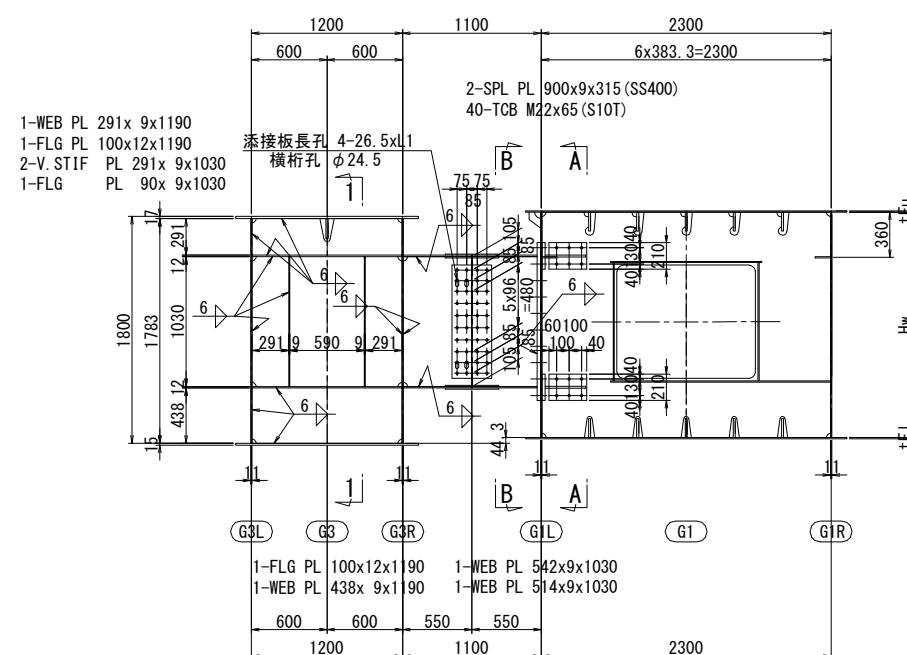
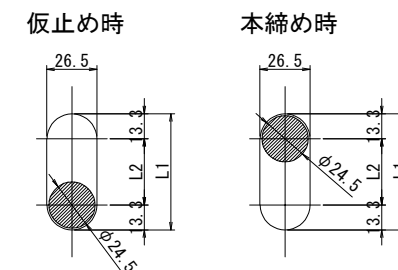
川田橋（下り線） 中間横桁（その2） S=1:60

C2-C6

1-1

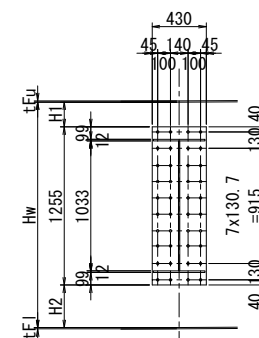
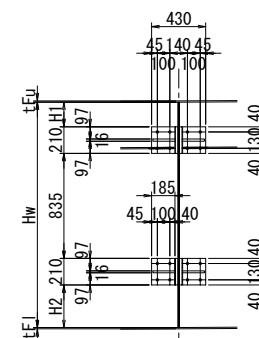


仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4



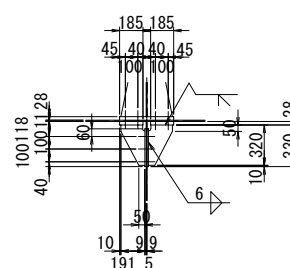
A-A

B-B

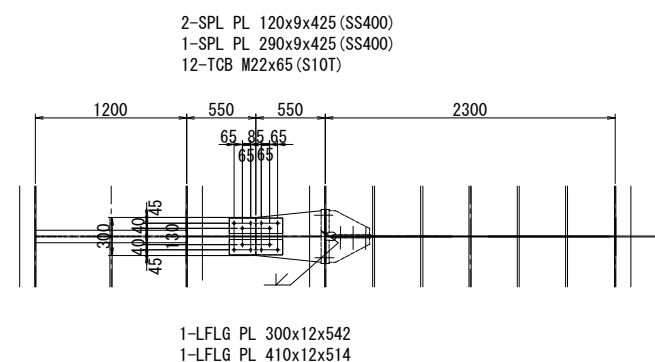


1-BASE PL 430x28x1252  
24-TCB M22x80 (S10T) (2-W)

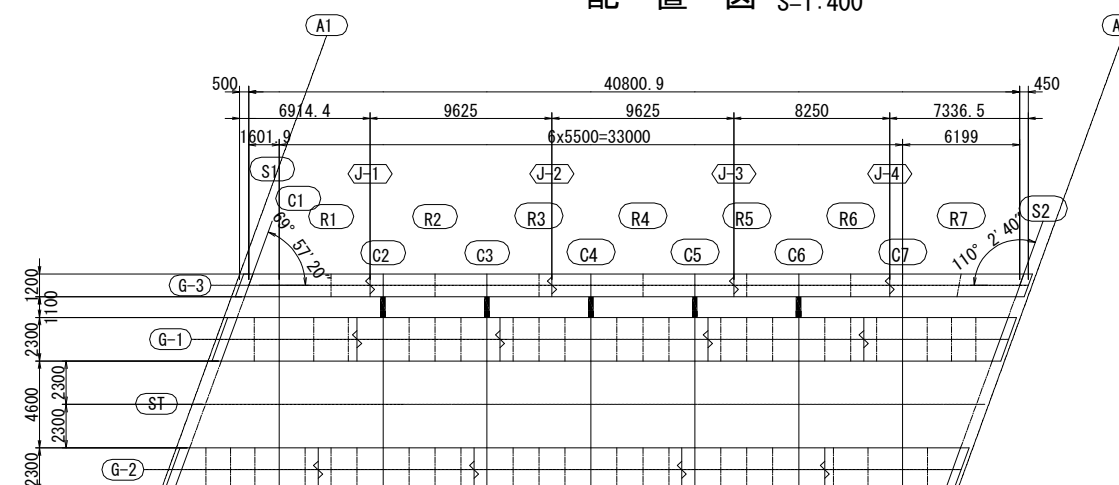
	tFu	Hw	tFl	H1	H2	L1	L2
C2	14	1786	14	239	295	46.5	20
C3	18	1782	22	235	295	61.5	35
C4	18	1782	20	235	295	61.5	35
C5	18	1782	22	235	295	61.5	35
C6	14	1786	14	239	295	61.5	35



4-BASE PL 210x28x185  
16-TCB M22x110 (S10T) (2-W)  
4-BASE PL 210x9x300  
12-TCB M22x70 (S10T) (2-W)  
4-RIB PL 192x16x320



配置図 S=1:400



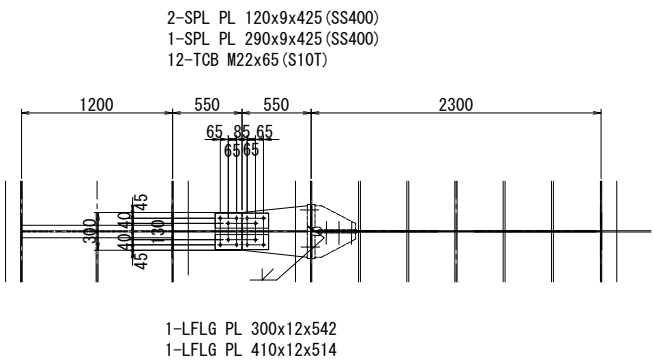
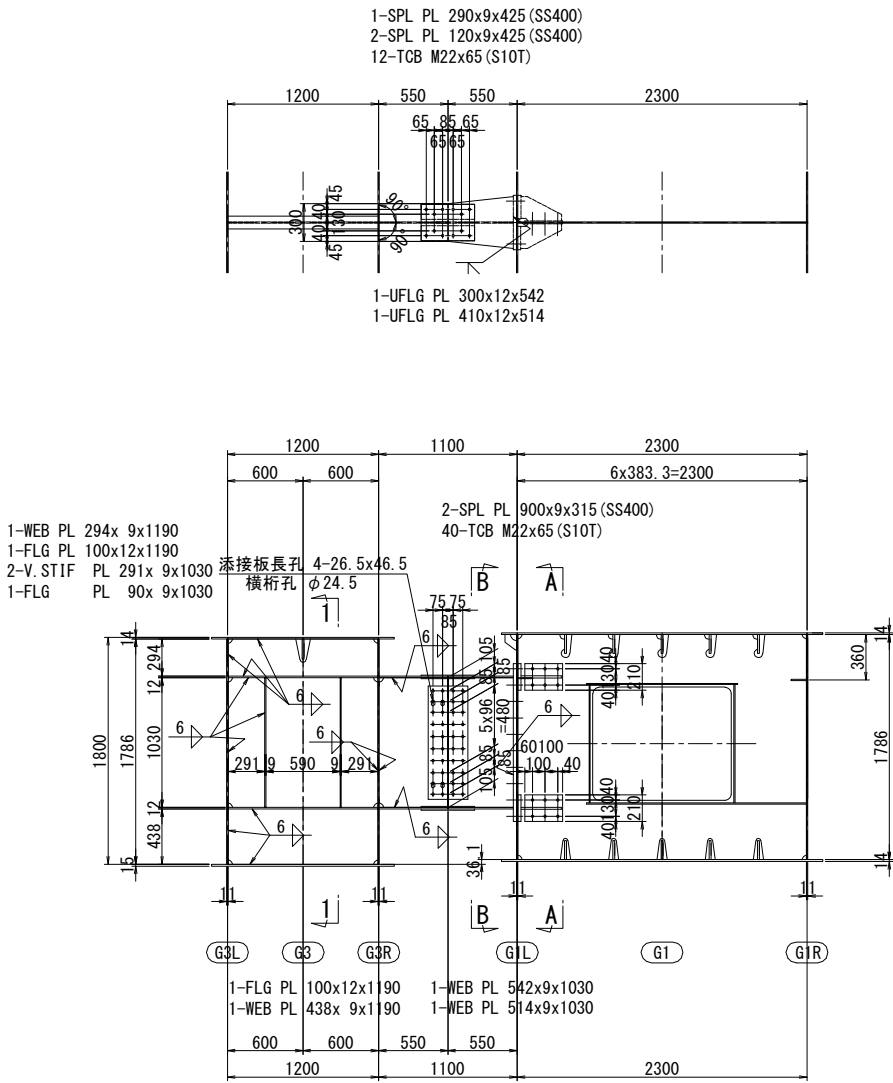
注記：

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
3.  $\phi$  印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。

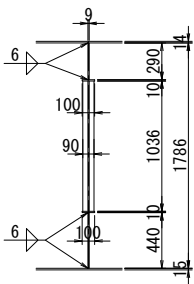
長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上橋工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 中間横切（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



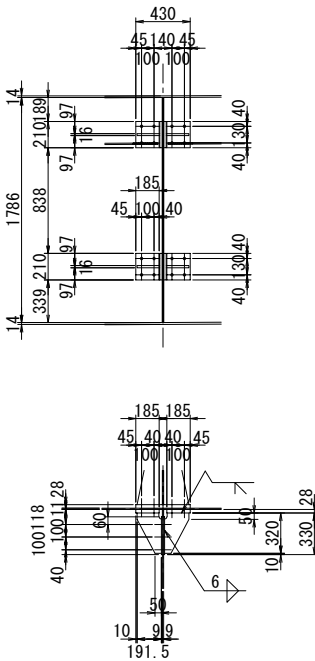
C7



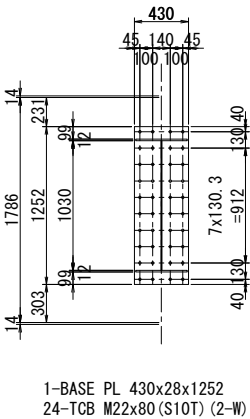
1-1



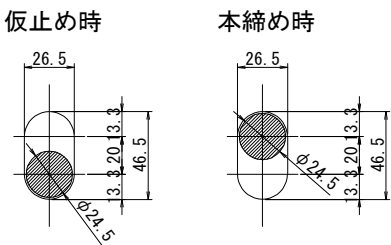
A-A



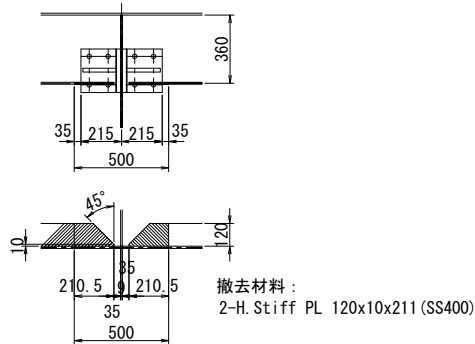
B-B



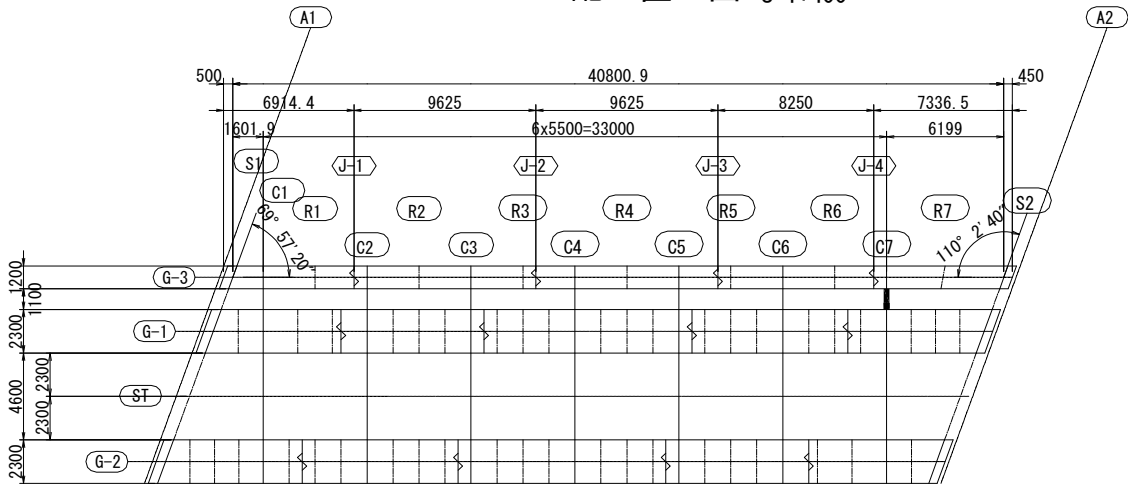
仮締めボルトの長孔詳細 S=1:4



水平補剛材切断撤去 S=1:40



配置図 S=1:400

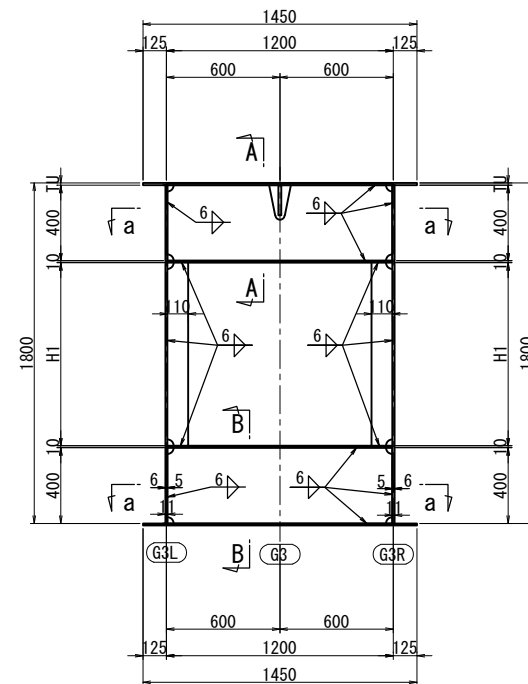
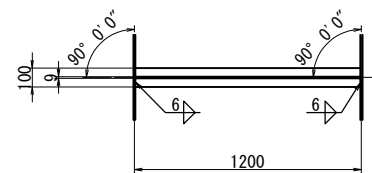


注記：  
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。  
3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

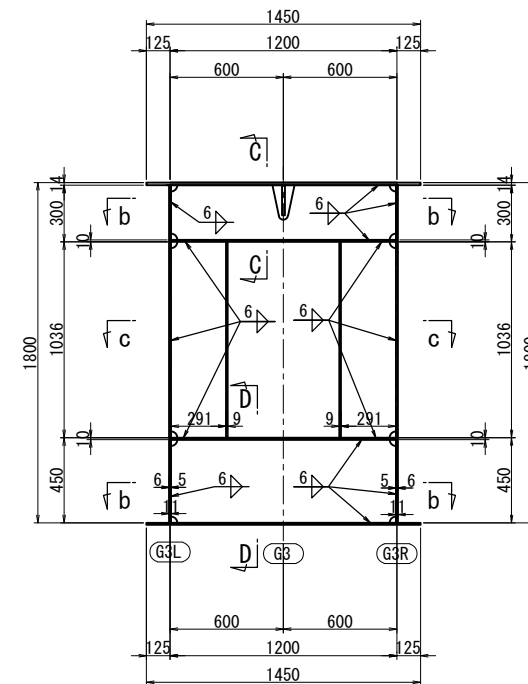
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 中間横桁(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



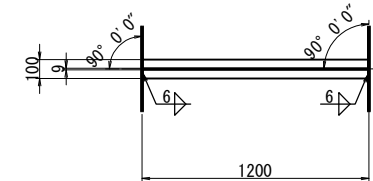
横リブR7


$$a - a$$


- 1-WEB PL 400x9x1190  
1-FLG PL 100x10x1190  
2-V. STIFF PL 110x9xH1  
1-FLG PL 100x10x1190  
1-WEB PL 400x9x1190

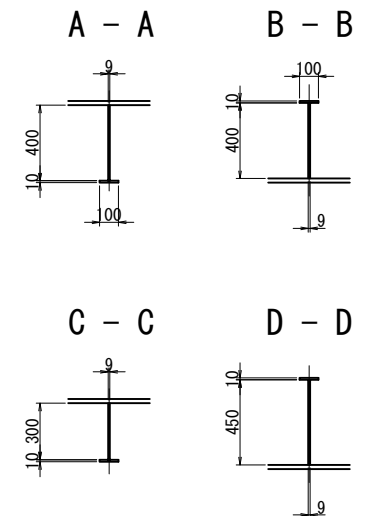
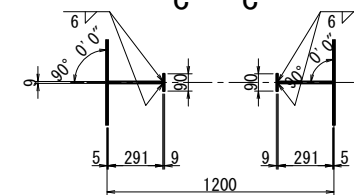


b - b

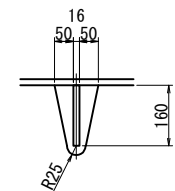


- 1-WEB PL 300x9x1190  
1-FLG PL 100x10x1190  
2-V. STIFF PL 291x9x1030  
2-V. STIFF PL 90x9x1030  
1-FLG PL 100x10x1190  
1-WEB PL 450x9x1190

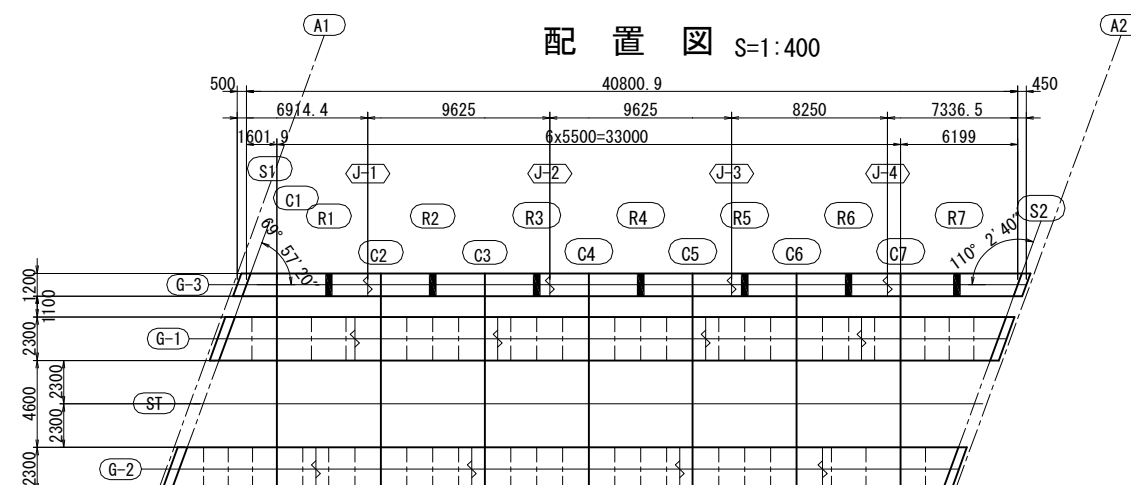
C - C



スカーラップ詳細 s=1:20



配置図 S=1:400



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
TU	14	17	17	17	17	17
H1	966	963	963	963	963	963

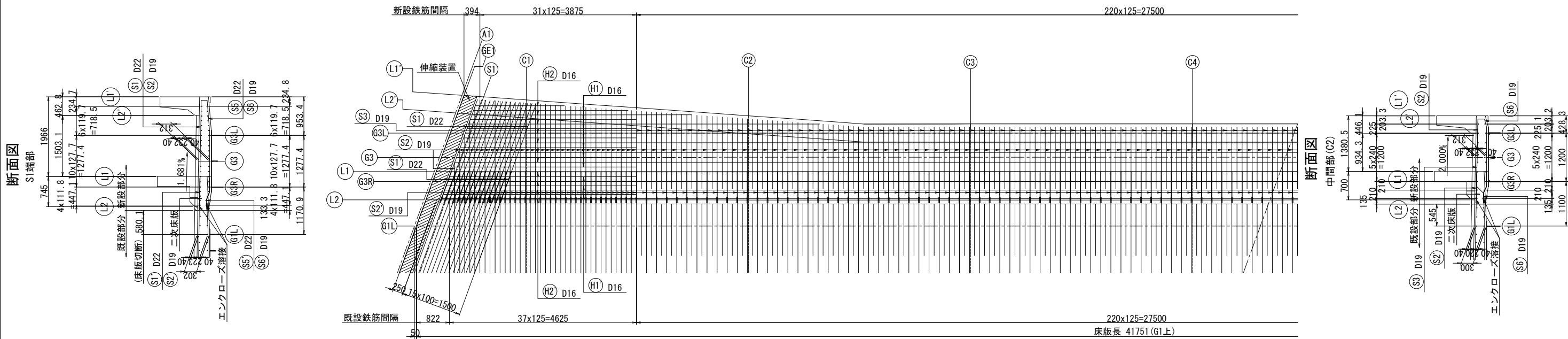
- 注記：
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
  3. 各部詳細は共通詳細図参照。

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 横リブ		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）床版配筋図（その1） S=1:100

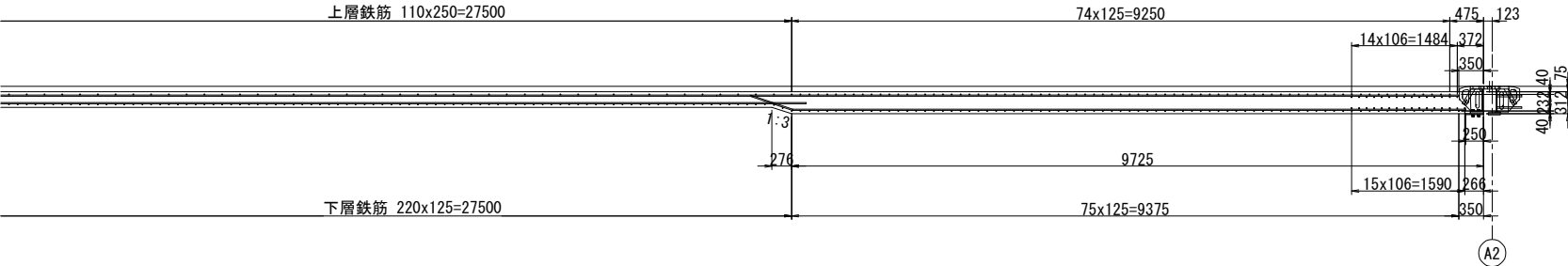
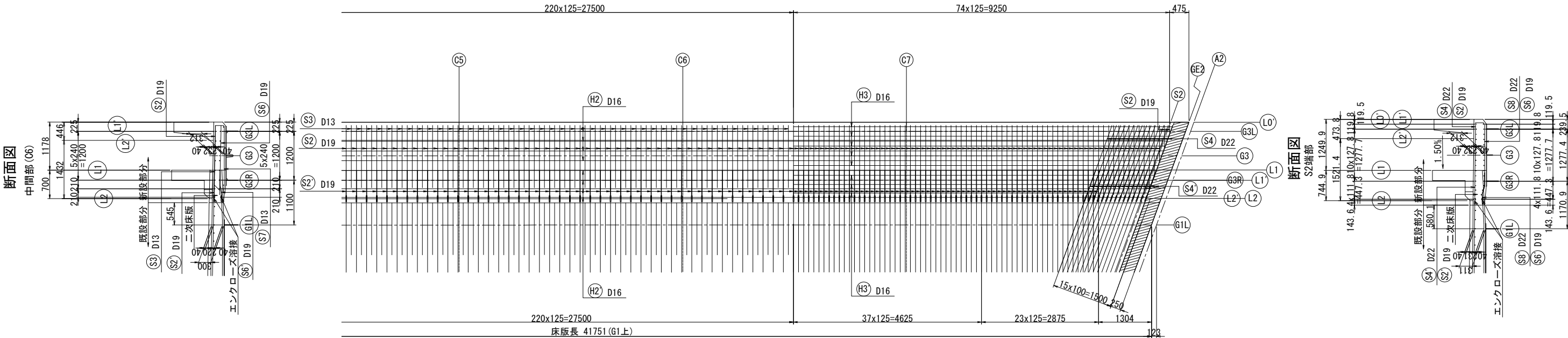
上層鉄筋



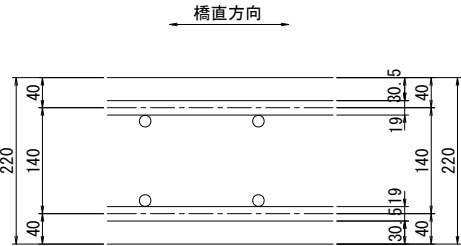


川田橋（下り線）床版配筋図（その2） S=1:100

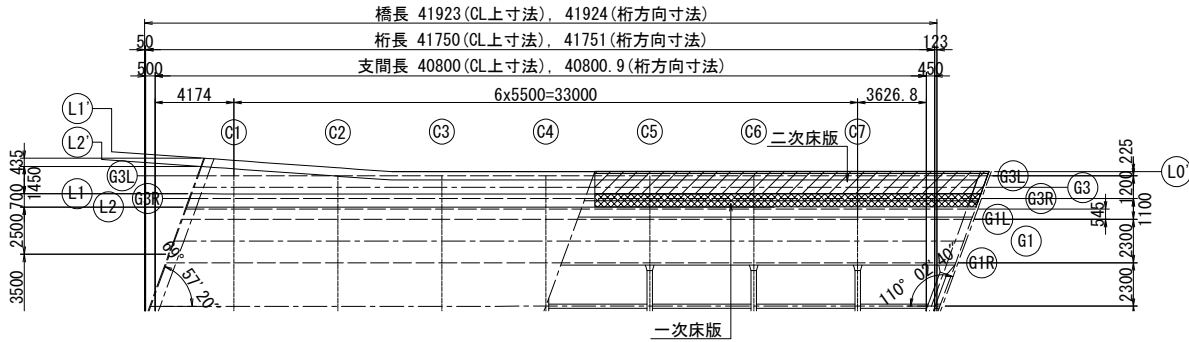
上層鉄筋



かぶり詳細図 S=1:10



配置図 S=1:400



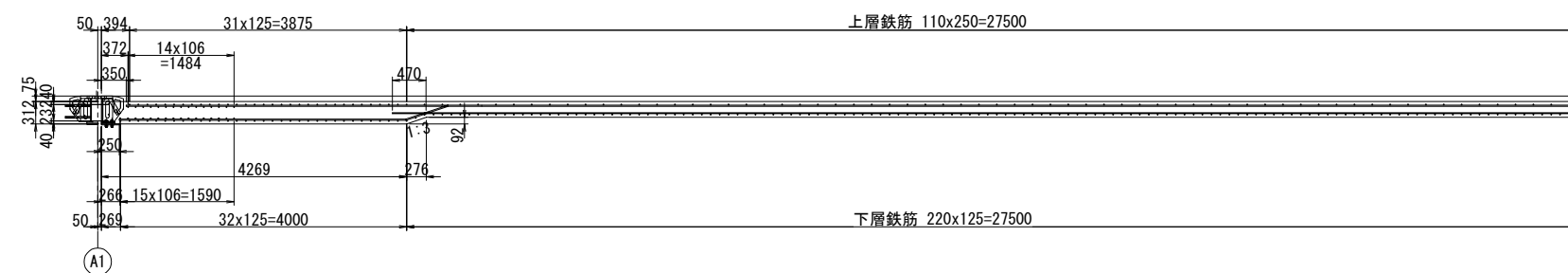
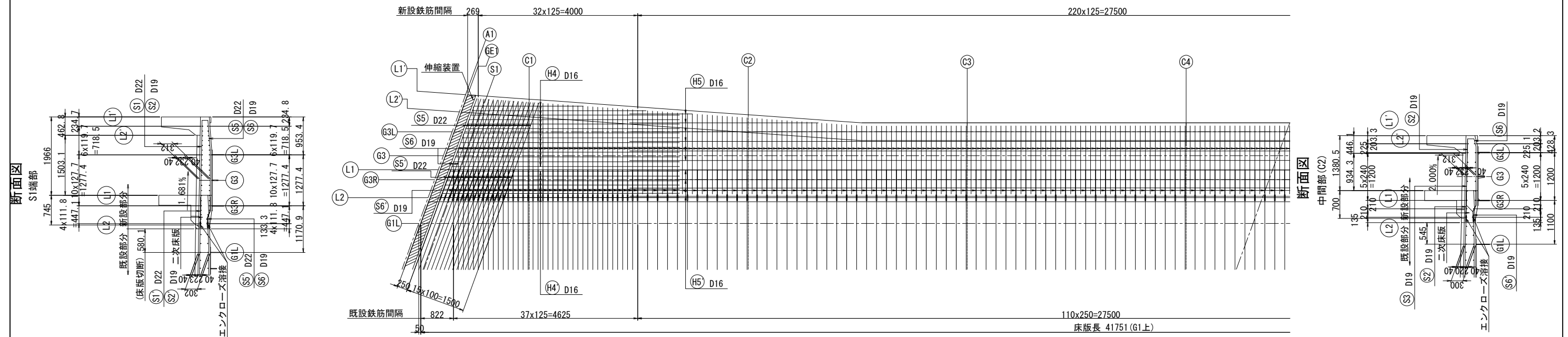
注：  
新設床版のかぶりは既設床版のかぶりに合せる

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 床版配筋図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

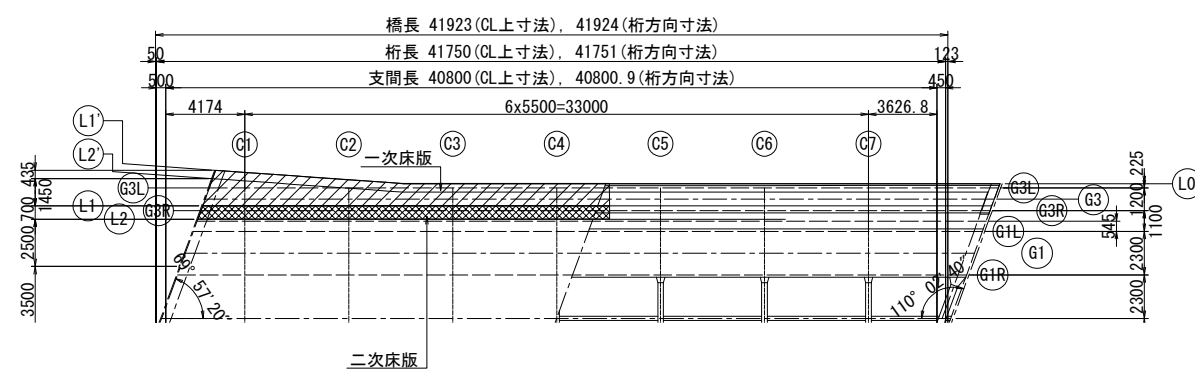


川田橋（下り線）床版配筋図（その3） S=1:100

下層鉄筋



配置図 S=1:400

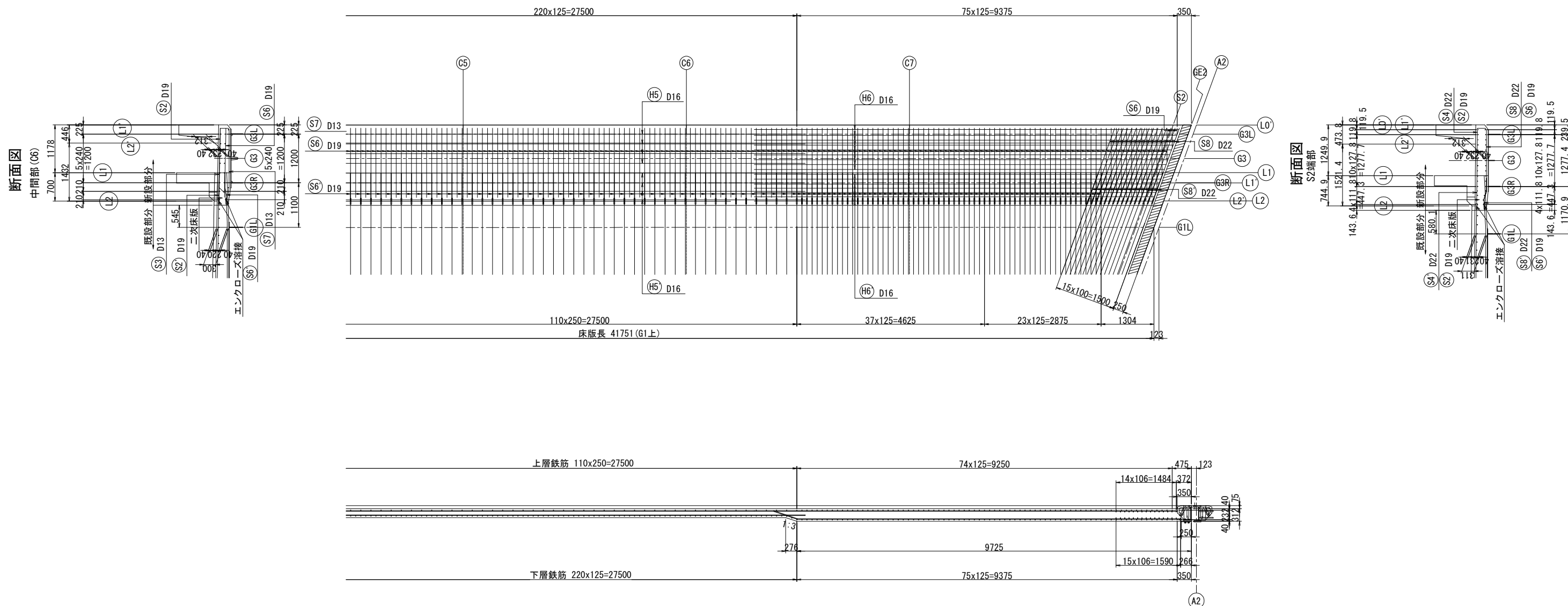


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事		
図面の種類	川田橋（下り線） 床版配筋図（その3）	
縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	

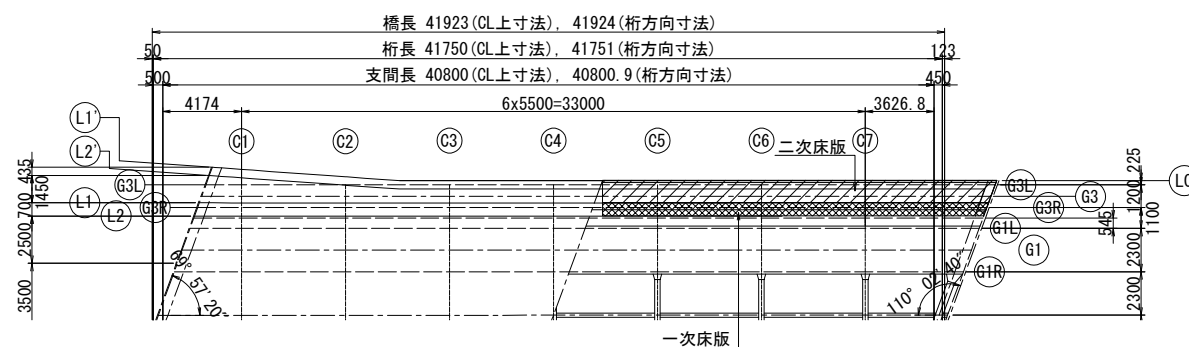


川田橋（下り線）床版配筋図（その4） S=1:100

下層鉄筋



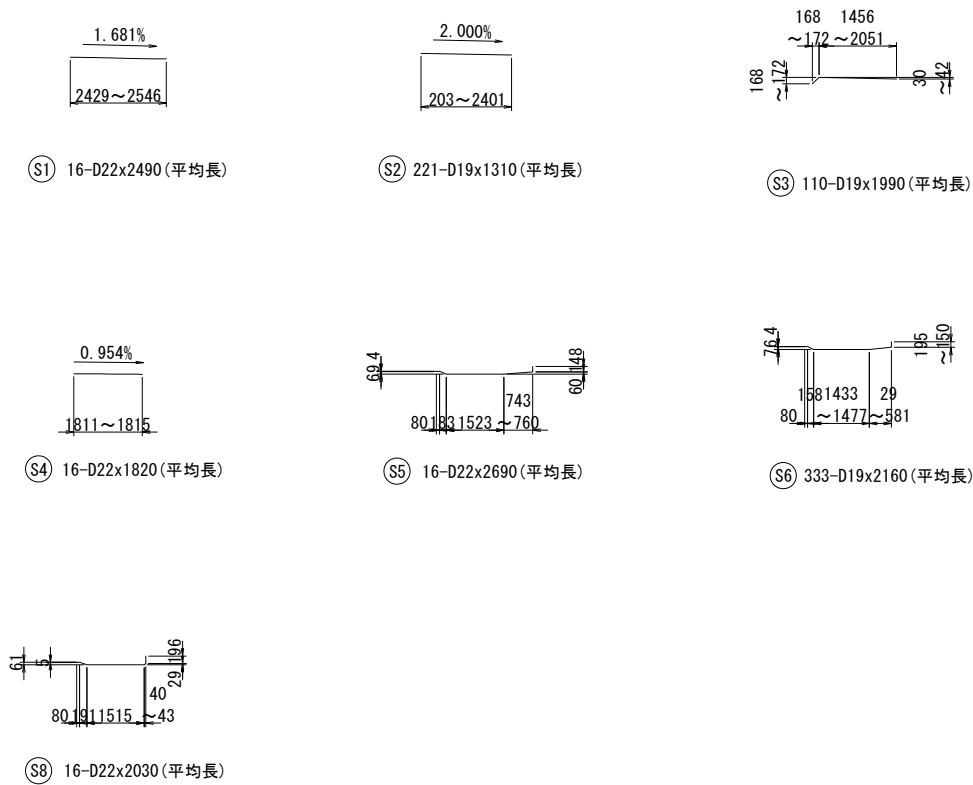
配置図 S=1:400



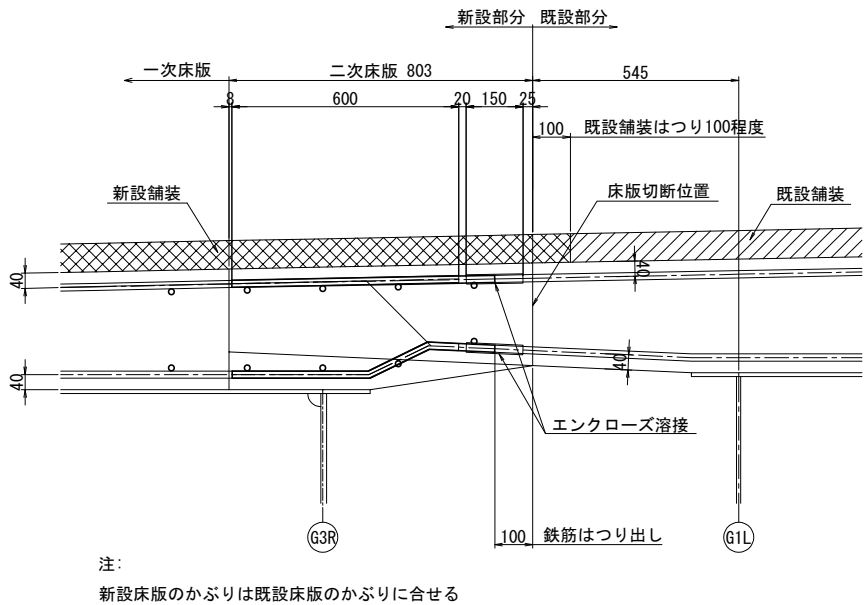
<p>長野自動車道          安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事</p>			
図面の種類	<p>川田橋（下り線）          床版配筋図（その4）</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社          関東支社 長野工務事務所</p>		



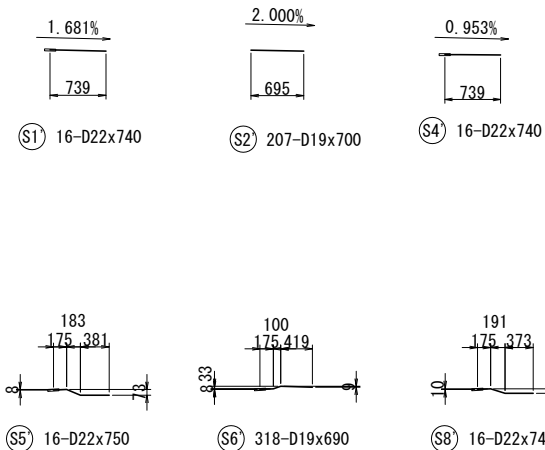
一次床版の主鉄筋詳細



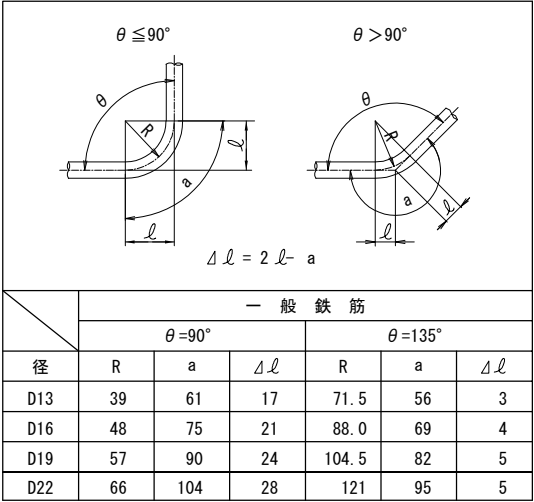
新設鉄筋と既設鉄筋の継手詳細 S=1:20



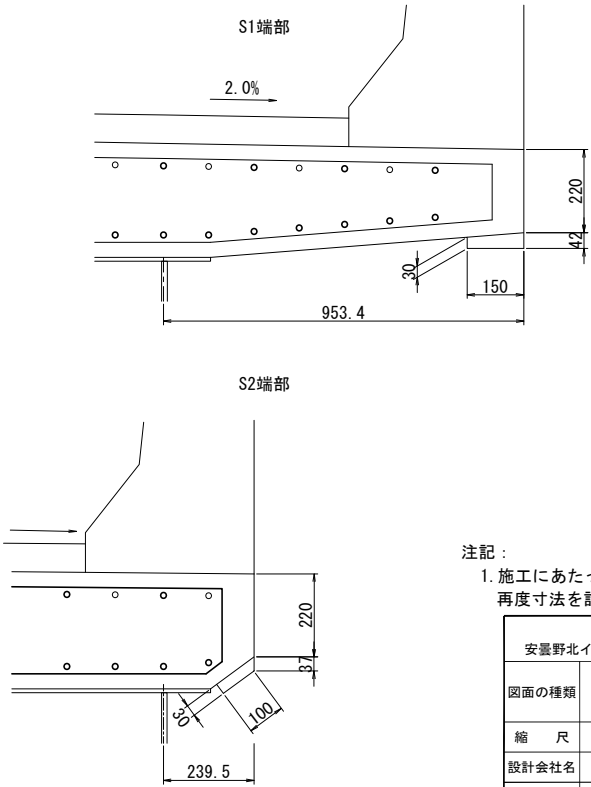
二次床版の主鉄筋詳細



鉄筋曲げ加工表



水切詳細 S=1:10

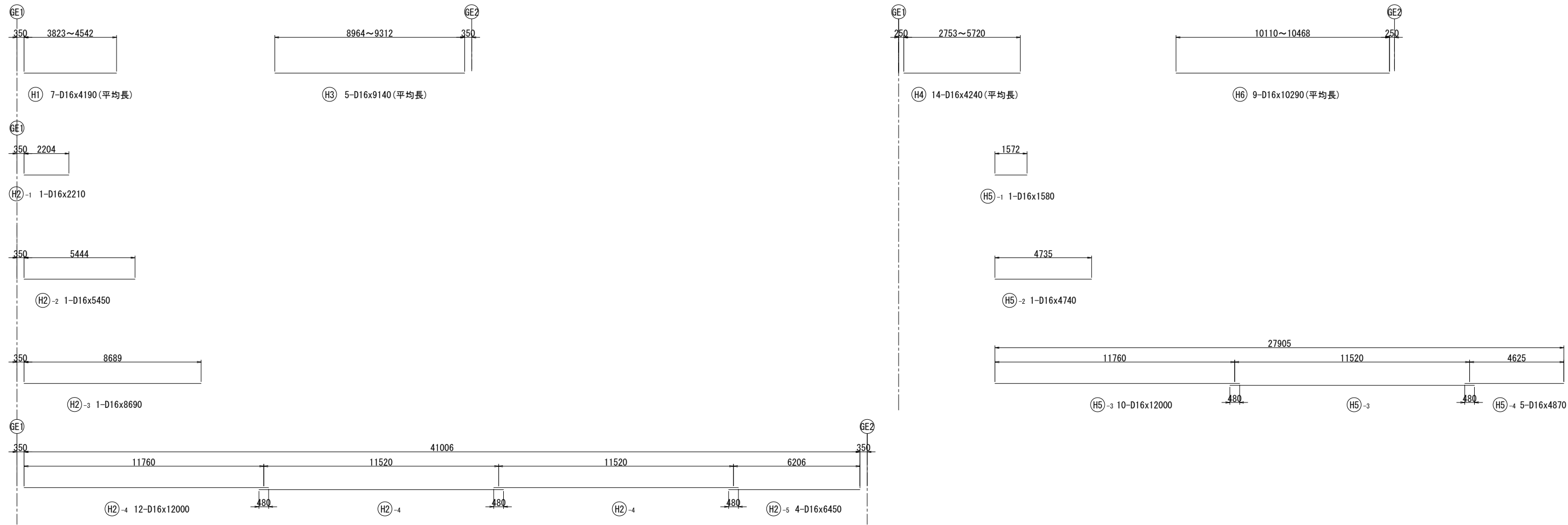


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 床版配筋図(その5)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

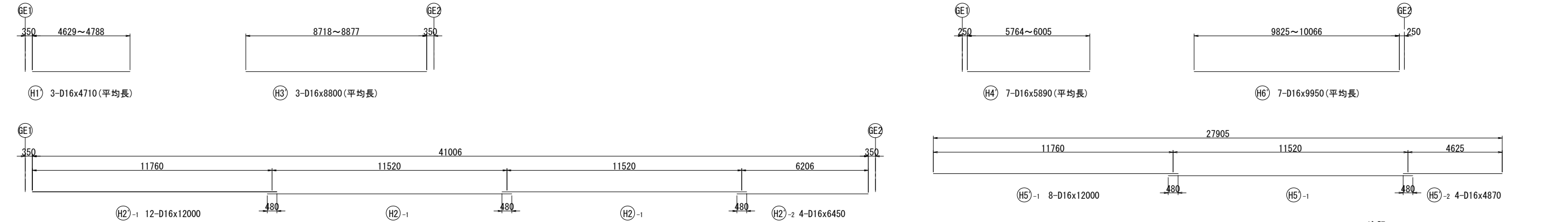


川田橋（下り線）床版配筋図（その6） S=1:200

一次床版の配力筋詳細



二次床版の配力筋詳細



注記：  
1. 施工にあたっては事前に既設鉄筋は現地にて再度寸法を計測し確認後行なうこと。

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 床版配筋図（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



一次床版の鉄筋重量表

種別	径	長 さ	本数	単位重量	1本当り重量	重 量	摘 要
S 1	D22	2490	15	3.04	7.57	114	⎯⎯⎯ (平均長)
S 2	D19	1310	221	2.25	2.95	652	⎯⎯⎯ (平均長)
S 3	D19	1990	110	2.25	4.48	493	⎯⎯ (平均長)
S 4	D22	1820	15	3.04	5.53	83	⎯⎯⎯ (平均長)
S 5	D22	2690	16	3.04	8.18	131	⎯⎯⎯ (平均長)
S 6	D19	2160	333	2.25	4.86	1618	⎯⎯⎯ (平均長)
S 8	D22	2030	16	3.04	6.17	99	⎯⎯⎯ (平均長)
H 1	D16	4190	7	1.56	6.54	46	⎯⎯⎯ (平均長)
H 2-1	D16	2210	1	1.56	3.45	3	⎯⎯⎯
H 2-2	D16	5450	1	1.56	8.50	9	⎯⎯⎯
H 2-3	D16	8690	1	1.56	13.6	14	⎯⎯⎯
H 2-4	D16	12000	12	1.56	18.7	224	⎯⎯⎯
H 2-5	D16	6450	4	1.56	10.1	40	⎯⎯⎯
H 3	D16	9140	5	1.56	14.3	72	⎯⎯⎯ (平均長)
H 4	D16	4240	14	1.56	6.61	93	⎯⎯⎯ (平均長)
H 5-1	D16	1580	1	1.56	2.46	2	⎯⎯⎯
H 5-2	D16	4740	1	1.56	7.39	7	⎯⎯⎯
H 5-3	D16	12000	10	1.56	18.7	187	⎯⎯⎯
H 5-4	D16	4870	5	1.56	7.60	38	⎯⎯⎯
H 6	D16	10290	9	1.56	16.1	145	⎯⎯⎯ (平均長)
D22 (SD345)							427 kg
D19 (SD345)							2763 kg
D16 (SD345)							880 kg
合計							4070 kg
アスファルト舗装面積 (t=75mm)							30.5 m <sup>2</sup>
型 枠 面 積							26.6 m <sup>2</sup>
床版コンクリート体積 (A1-1A)							19.3 m <sup>3</sup>

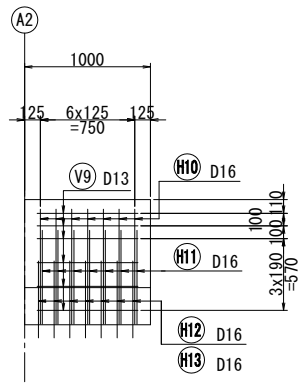
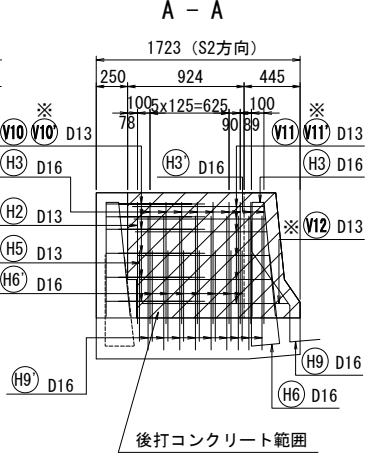
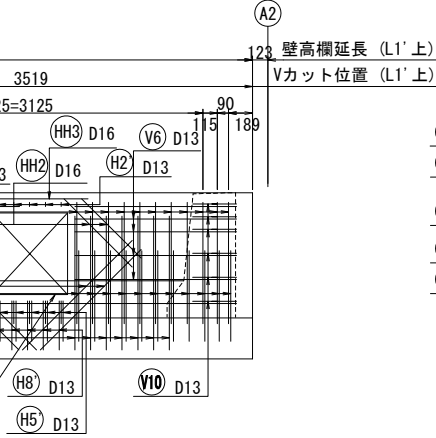
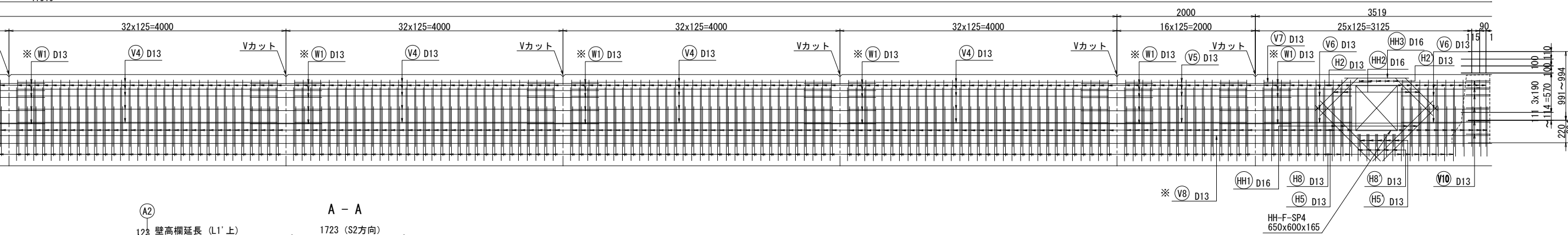
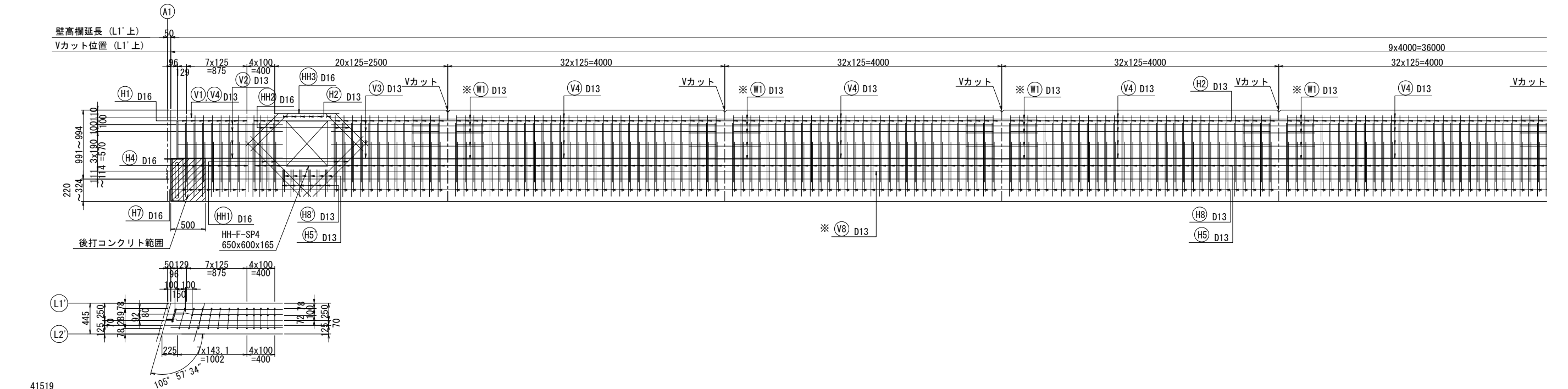
二次床版の鉄筋重量表

種別	径	長 さ	本数	単位重量	1本当り重量	重 量	摘 要
S 1'	D22	740	15	3.04	2.25	34	⎯⎯⎯
S 2'	D19	700	207	2.25	1.58	327	⎯⎯⎯
S 4'	D22	740	15	3.04	2.25	34	⎯⎯⎯
S 5'	D22	750	16	3.04	2.28	36	⎯⎯⎯
S 6'	D19	690	208	2.25	1.55	322	⎯⎯⎯
S 8'	D22	740	16	3.04	2.25	36	⎯⎯⎯
H 1'	D16	4710	3	1.56	7.35	22	⎯⎯⎯ (平均長)
H 2'-1	D16	12000	12	1.56	18.7	224	⎯⎯⎯
H 2'-2	D16	6450	4	1.56	10.1	40	⎯⎯⎯
H 3'	D16	8800	3	1.56	13.7	41	⎯⎯⎯ (平均長)
H 4'	D16	5890	7	1.56	9.19	64	⎯⎯⎯ (平均長)
H 5'-1	D16	12000	8	1.56	18.7	150	⎯⎯⎯
H 5'-2	D16	4870	4	1.56	7.60	30	⎯⎯⎯
H 6'	D16	9950	7	1.56	15.5	109	⎯⎯⎯ (平均長)
D22 (SD345)							140 kg
D19 (SD345)							649 kg
D16 (SD345)							680 kg
合計							1469 kg
アスファルト舗装面積 (t=75mm)							19.5 m <sup>2</sup>
型 枠 面 積							19.0 m <sup>2</sup>
床版コンクリート体積 (A1-1B)							10.4 m <sup>3</sup>
エンクローズ溶接 (D22-62箇所、D19-415箇所)							477 箇所

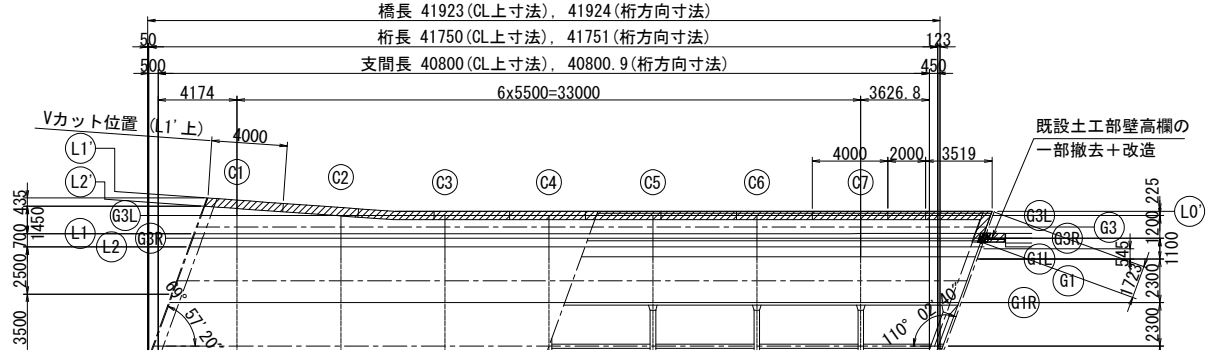
注記：  
1. 施工にあたっては事前に既設鉄筋は現地にて再度寸法を計測し確認後行なうこと。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（ 下り線 ） 床版配筋図(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		





配置図 S=1:400



注記  
1. ※印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。  
2. 管路工が貫通したりその他埋設物により、かぶり70mmを確保できない場合、エポキシ樹脂鉄筋とする。

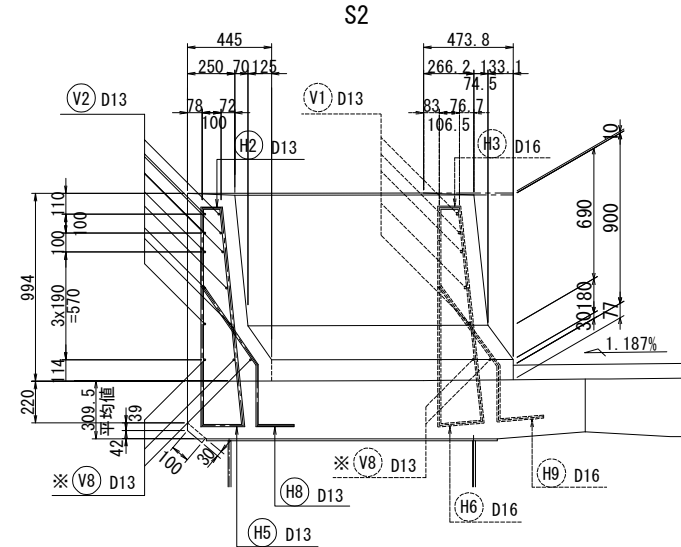
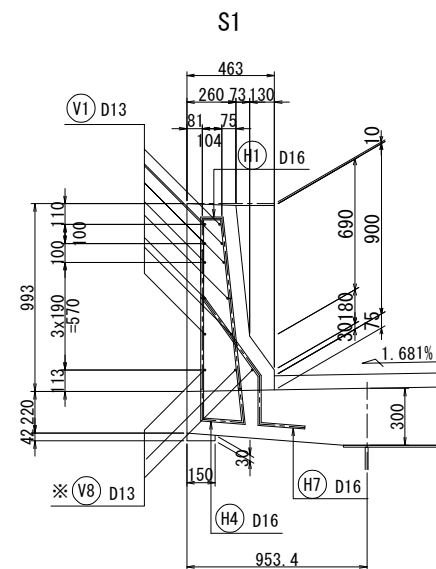
3. ☆印部材は溶融亜鉛めっきを施す。  
付着膜厚は、JIS H8641 とする。  
鋼材、形鋼 t=6mm以上  
" 3.2mm ≤ t < 6mm  
ボルト・ナット類、3.2mm未満の鋼材

HDZT77  
HDZT63  
HDZT49

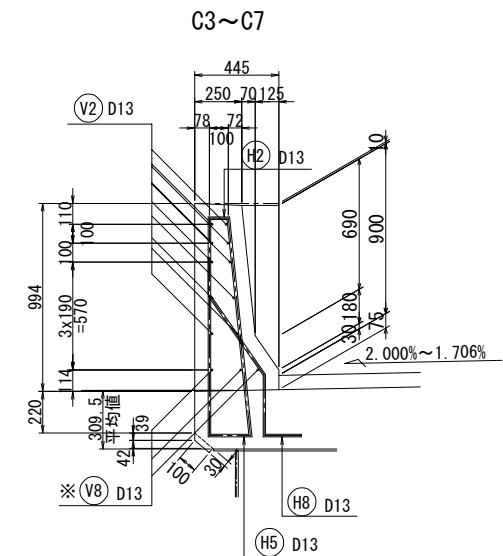
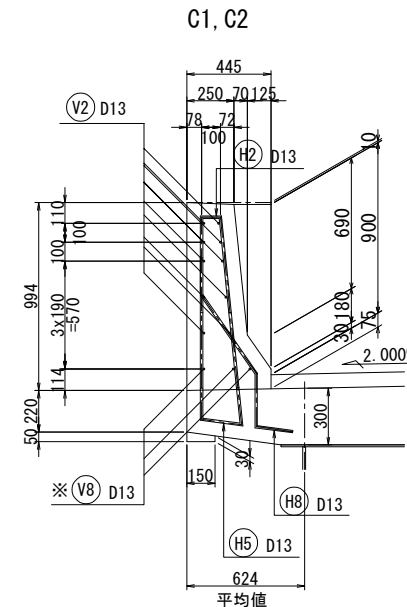
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 壁高欄配筋図（その1）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



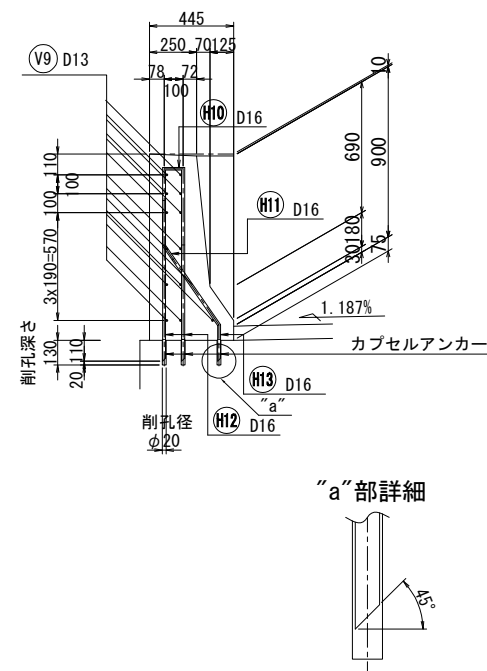
端部断面図



中間部断面図

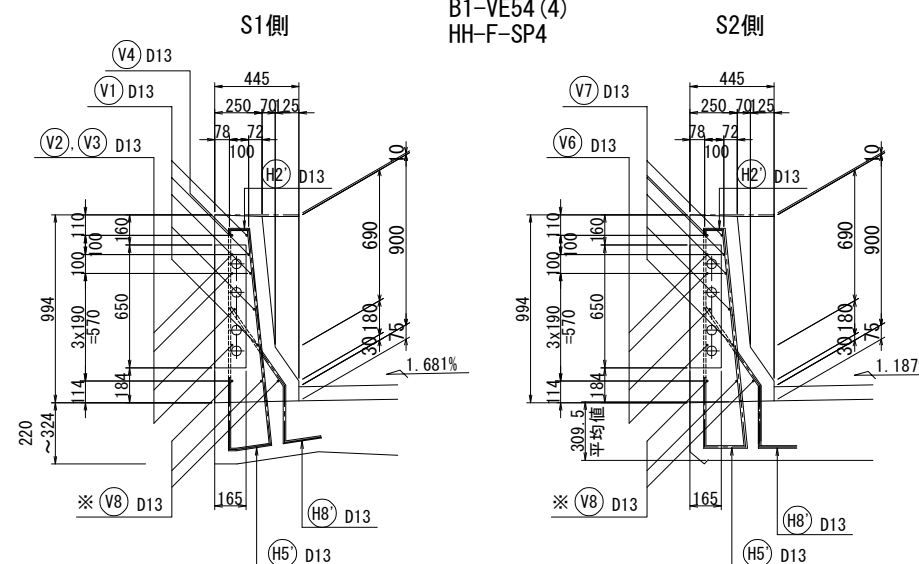


### 土工部と橋梁部接合断面図

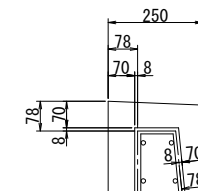


### 配管部断面図

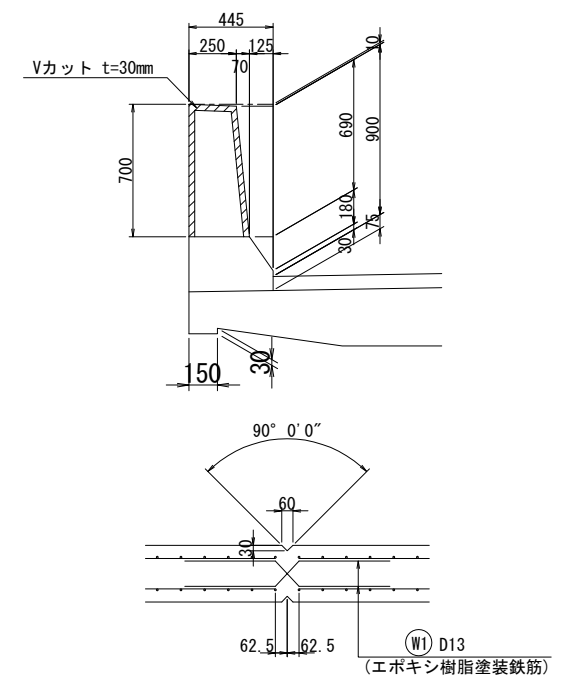
B1-VE54 (4)  
HH-F-SP4



かぶり詳細図 S=1:10



### Vカット断面図



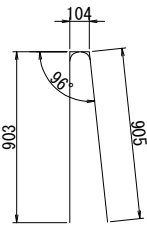
注記

1. アンカー筋(H13)は硬化後に曲げ加工を行う。

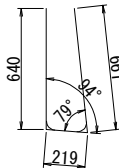
長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 壁高欄配図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



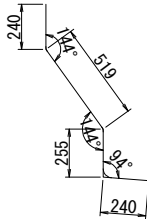
川田橋（下り線）壁高欄配筋図(その3) S=1:40



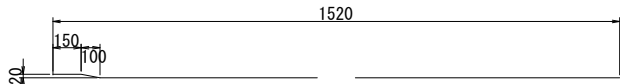
H1 8-D16x1880



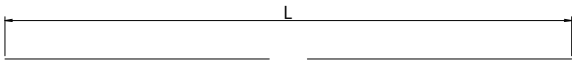
H4 8-D16x1480



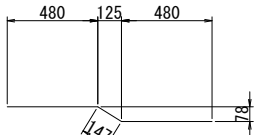
H7 8-D16x1240



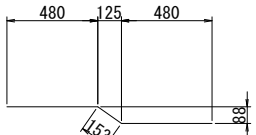
V1 4-D13 x 1530



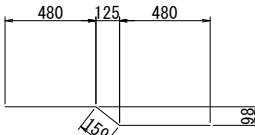
Vn N-D13 x L



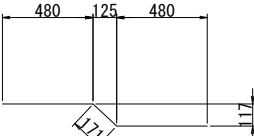
※ W1-1 22-D13 x 1110



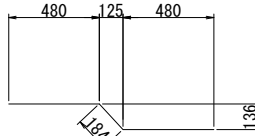
※ W1-2 22-D13 x 1110



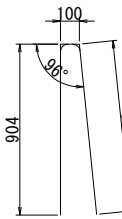
※ W1-3 22-D13 x 1120



※ W1-4 22-D13 x 1130



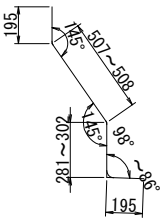
※ W1-5 22-D13 x 1140



H2 271-D13x1880

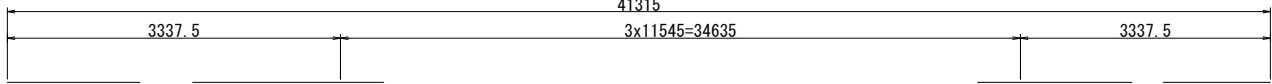


H5 271-D13x1400 (平均長)



H8 267-D13x1180 (平均長)

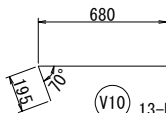
Vn	N	L
V2	4	1520
V3	4	1560
V4	81	3750
V5	10	1750
V6	8	1270
V7	6	3240
V9	13	850



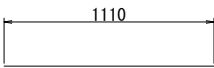
※ V8-1 6-D13x3565

※ V8-2 9-D13x12000

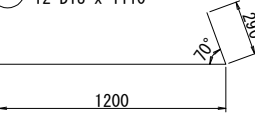
※ V8-1



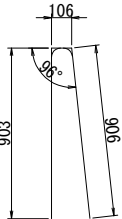
V10 13-D13 x 860



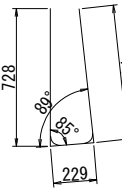
V11 12-D13 x 1110



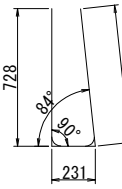
V12 1-D13 x 1470



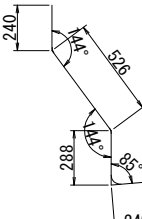
H3 8-D16x1880



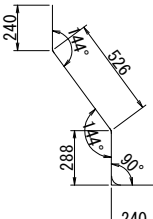
H6 1-D16x1630



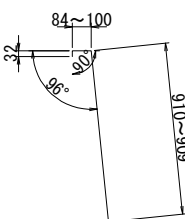
H6' 7-D16x1650



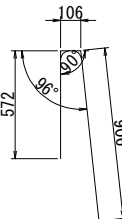
H9 1-D16x1270



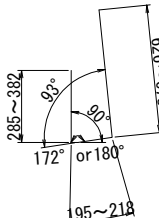
H9' 9-D16x1630



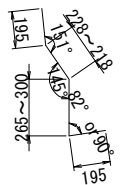
H2' 11-D13x1000 (平均長)



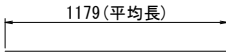
H3' 2-D16x1550



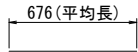
H5' 11-D13x1160 (平均長)



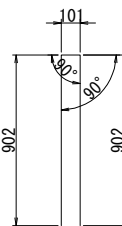
H8' 11-D13x880 (平均長)



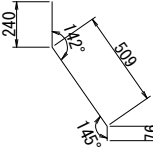
HH1 8-D16x1180 (平均長)



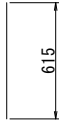
HH2 8-D16x680 (平均長)



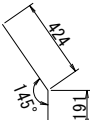
HH3 2-D16x930



HH10 7-D16x1870



HH11 7-D16x820

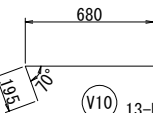


HH12 14-D16x620

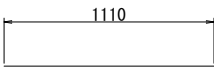
HH13 7-D16x620

材 料 表

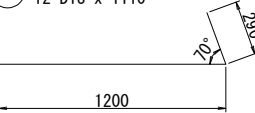
符号	径	長 さ	本数	単位質量	1本当り質量	質 量 摘 要
H1	D16	1880	8	1.56	2.93	23
H2	D13	1880	271	0.995	1.87	507
H2'	D13	1000	11	0.995	0.995	11
H3	D16	1880	8	1.56	2.93	23
H3'	D16	1550	2	1.56	2.42	5
H4	D16	1480	8	1.56	2.31	18
H5	D13	1400	271	0.995	1.39	377
H5'	D13	1160	11	0.995	1.15	13
H6	D16	1630	1	1.56	2.54	3
H7	D16	1240	8	1.56	1.93	15
H8	D13	1180	267	0.995	1.17	312
H8'	D13	880	11	0.995	0.876	10
H9	D16	1270	1	1.56	1.98	2
H10	D16	1870	7	1.56	2.92	20
H11	D16	820	7	1.56	1.28	9
H12	D16	620	14	1.56	0.967	14
H13	D16	620	7	1.56	0.967	7
V1	D13	1530	5	0.995	1.52	8
V2	D13	1520	4	0.995	1.51	6
V3	D13	1560	4	0.995	1.55	6
V4	D13	3750	81	0.995	3.73	302
V5	D13	1750	10	0.995	1.74	17
V6	D13	1270	8	0.995	1.26	10
V7	D13	3240	6	0.995	3.22	19
V8-1	D13	3565	6	0.995	3.55	21
V8-2	D13	12000	9	0.995	11.9	107
V9	D13	850	13	0.995	0.846	11
V10	D13	860	10	0.995	0.856	9
V10'	D13	860	3	0.995	0.856	3
V11	D13	1110	10	0.995	1.10	11
V11'	D13	1110	2	0.995	1.10	2
V12	D13	1470	1	0.995	1.46	1
W1-1	D13	1110	22	0.995	1.10	24
W1-2	D13	1110	22	0.995	1.10	24
W1-3	D13	1120	22	0.995	1.11	24
W1-4	D13	1130	22	0.995	1.12	25
W1-5	D13	1140	22	0.995	1.13	25
HH1	D16	1180	8	1.56	1.84	15
HH2	D16	680	8	1.56	1.06	8
HH3	D16	930	2	1.56	1.45	3
合計					2050	kg
D16					165	kg
D13					1629	kg
D13(エポキシ樹脂塗装鉄筋)					256	kg
コンクリート体積 (A1-4)					14.87	m <sup>3</sup>
型枠面積					94.95	m <sup>2</sup>



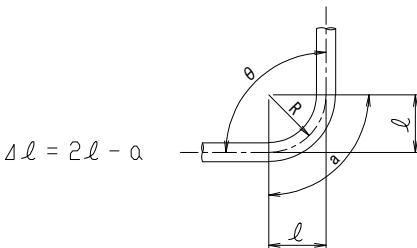
V10 13-D13 x 860



V11 12-D13 x 1110



V12 1-D13 x 1470



鉄筋曲げ加工表

径	θ=90°			θ=135°		
	R	a	Δl	R	a	Δl
D16	48	75	21	88	69	4
D13	39	61	17	71.5	56	3

注記

- ※印鉄筋はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
- 鉄筋加工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 壁高欄配筋図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



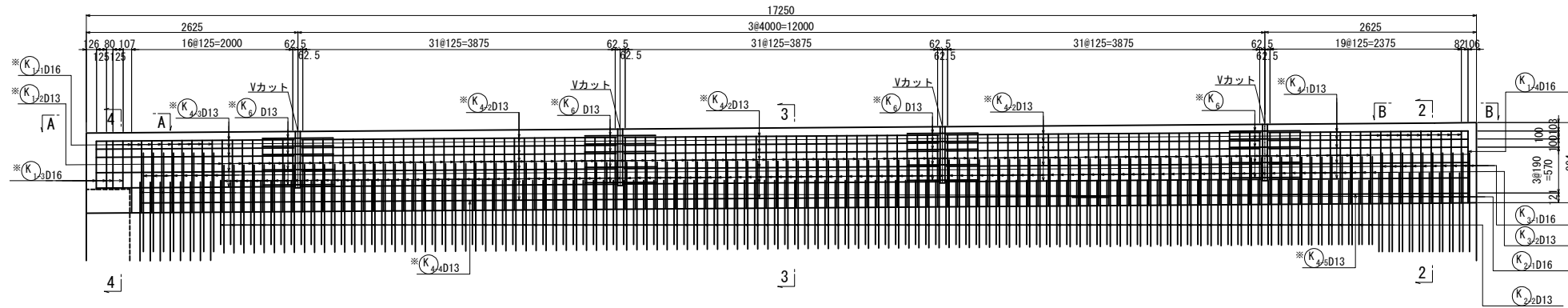
1 - 1

断面図

2 - 2

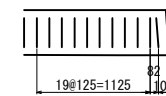
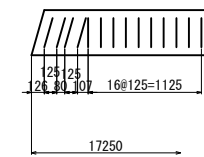
3 - 3

4 - 4

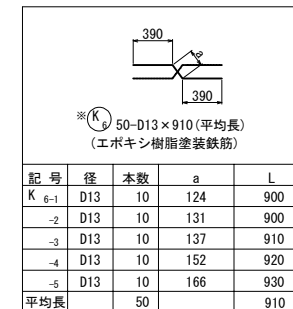
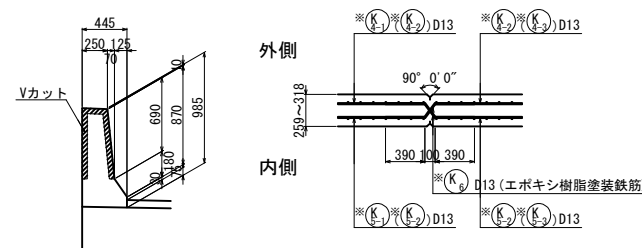
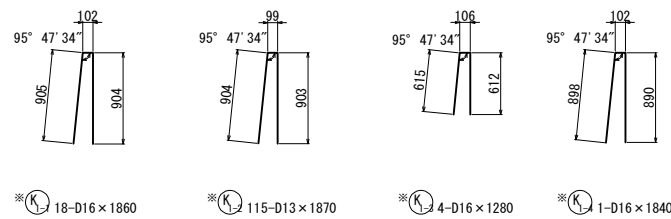


A - A

B - B




### Vカット詳細図



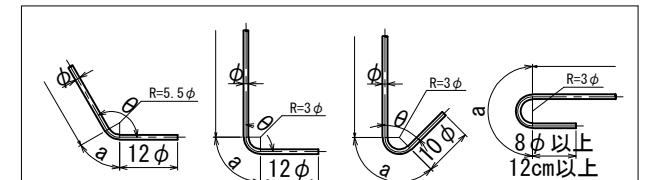
鉄筋表(上部工施工)

	種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
※	K 1-1	D16	1860	18	1.56	2.90	52	Ⅱ
※	K 1-2	D13	1870	115	0.995	1.86	214	Ⅱ
※	K 1-3	D16	1280	4	1.56	2.00	8	Ⅲ
※	K 1-4	D16	1840	1	1.56	2.87	3	Ⅱ
※	K 4-1	D13	2470	5	0.995	2.46	12	Ⅰ
※	K 4-2	D13	3900	15	0.995	3.88	58	—
※	K 4-3	D13	2450	5	0.995	2.44	12	—
※	K 4-4	D13	12000	1	0.995	11.9	12	—
※	K 4-5	D13	4920	1	0.995	4.90	5	—
※	K 5-1	D13	2470	5	0.995	2.46	12	—
※	K 5-2	D13	3900	15	0.995	3.88	58	—
※	K 5-3	D13	3100	5	0.995	3.08	15	—
※	K 5-4	D13	12000	1	0.995	11.9	12	—
	K 5-5	D13	5020	1	0.995	4.99	5	—

478 kg

エポキシ樹脂塗装鉄筋							
※	K 6	D13	910	50	0.995	0.905	45 
							45 kg
鉄筋質量集計 (SD345)							
					総質量		
D13					415		
D16					63		
合 計					478		
エポキシ樹脂塗装鉄筋							
D13					45		
合 計					45		

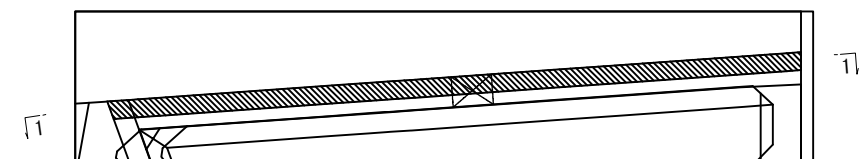
鉄筋曲げ加工表



注) 曲げ半径 ( $R=3\phi$ 、 $5.5\phi$ ) は鉄筋中心までの長さとする。

徑	$\theta \leq 90^\circ$ R=3 ϕ	$\theta > 90^\circ$ R=5.5 ϕ	$\theta = 45^\circ$		$\theta = 60^\circ$		$\theta = 90^\circ$		$\theta = 135^\circ$	
			a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL	a	ΔL
D13	39	71.5	92	96	82	53	61	17	56	3
D16	48	88	113	119	100	66	75	21	69	4

位置図



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
川田橋（下り線） A1橋台壁高欄配筋図			
図面の種類			
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

※印は、上部工施工を示す。



支 承 詳 細 図 (その1) S=1:10  
A1 (G1, G2) B

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 固 定 支 承	
最 大 反 力			Rmax	3299 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	1909 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	2048 kN
最 大 活 荷 重 反 力			RL-i	1252 kN
最 水 平		大 力 橋 軸 方 向	Rheq1	1409 kN
		大 力 橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	689 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	614 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (RL-i/2)			δ cl	0.44 mm
最 大 回 転 角			Σ α e	0.0041 rad
水 変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	Δ L1	0 mm
		橋 軸 方 向	Δ Le1	0 mm
	地 震 時	橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2	0 mm

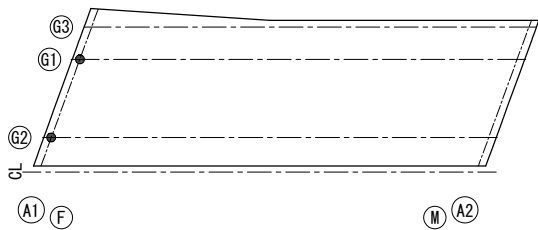
材 料 表

部番	品 名	材 質	個数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	44.8	Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A	1	106.0	
③	ベースプレート	SM490A	1	489.4	
④	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	123.0	
⑤	せん断キー	SM490A	1	14.0	
⑥	アンカーボルト・ナット	SD345	8	89.6	
⑦	リングプレートボルト	-----	16	16.8	座金付
8	上沓取付ボルト	-----	8	7.6	六角穴付ボルト
⑨	せん断キー	SM490A	2	1.4	
⑩	取付プレート	SM490A	1	124.1	
⑪	セットボルト	-----	10	9.5	座金付
全質量 (kg)			1026.2		

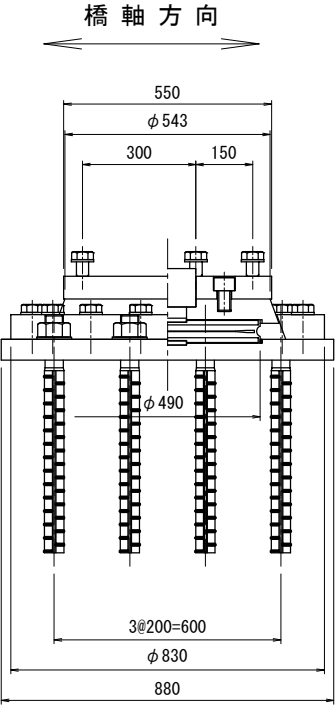
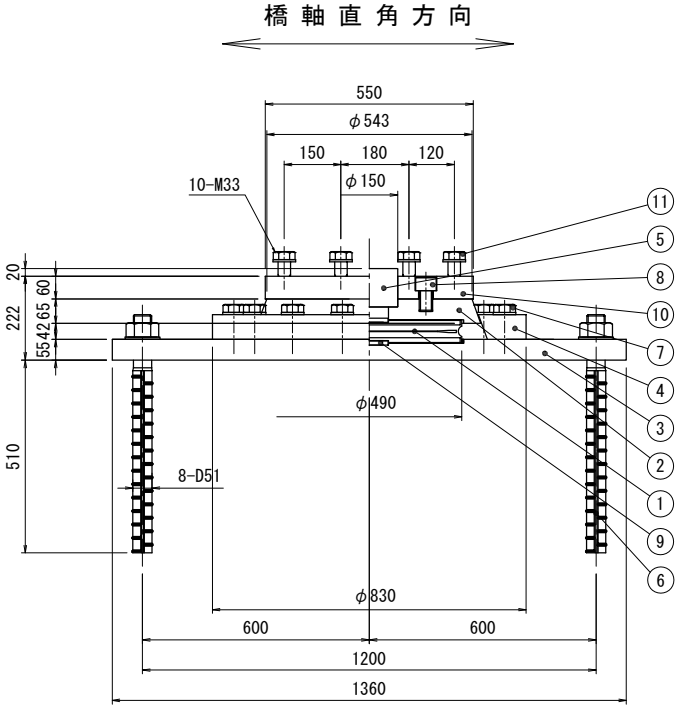
注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. 部番 8 は、黒色酸化皮膜処理とする  
注) 3. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 4. 下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること  
注) 5. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 6. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑦ リングプレートボルト M33x100 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑧ 上沓取付ボルト M36x55 強度区分 10.9
- ⑪ セットボルト M33x85 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

位 置 図

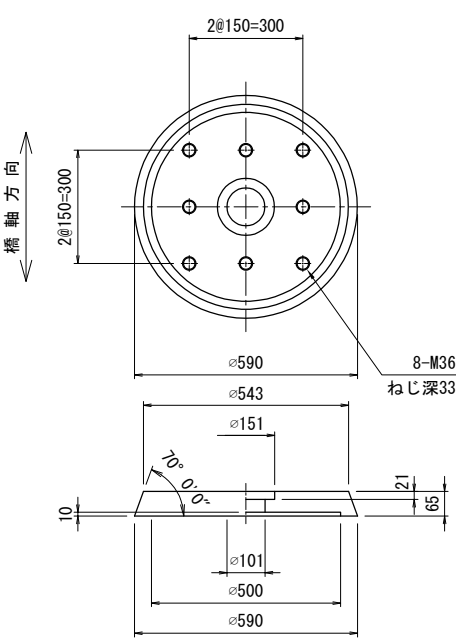
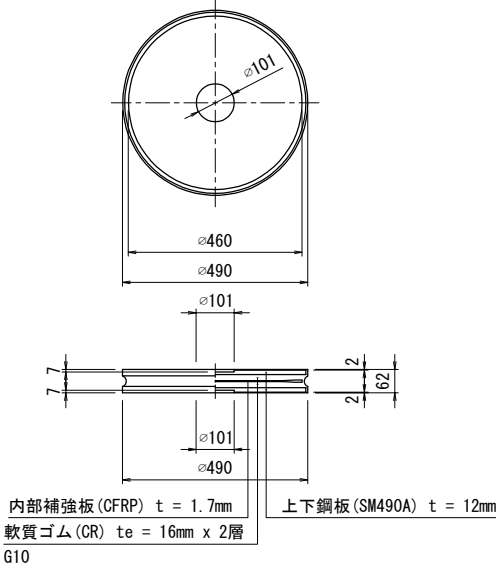


長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事				
図面の種類		川田橋（下り線） 支承詳細図（その1） A1 (G1, G2) B		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 5	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

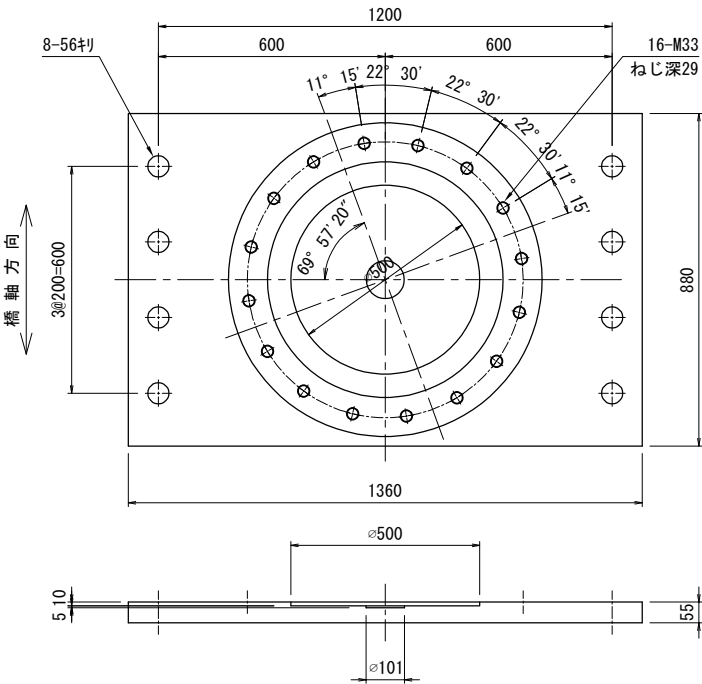


① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP

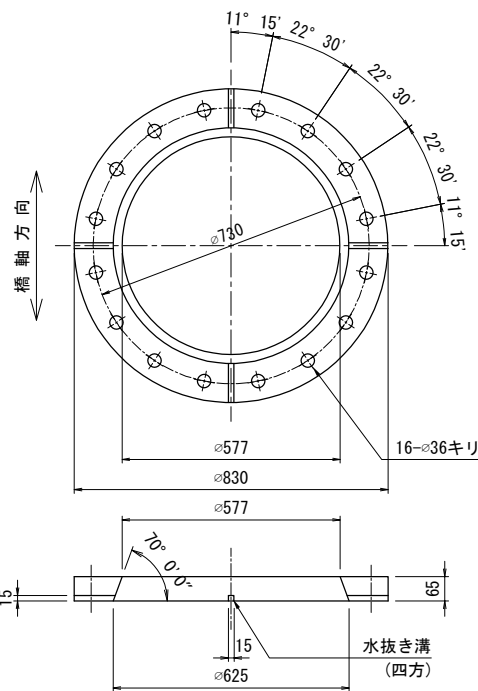
② 上 沓 SM490A



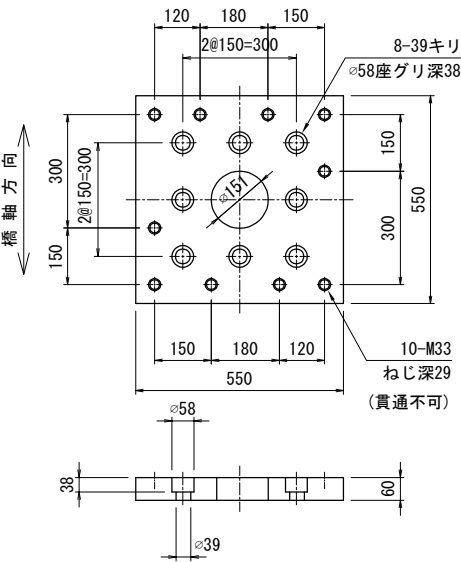
③ ベースプレート SM490A



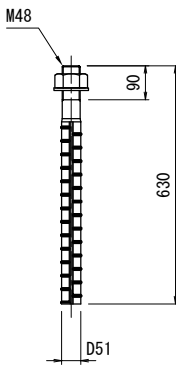
④ 拘束リングプレート SM490A又はS35CN相当以上



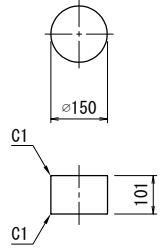
⑩ 取付プレート SM490A



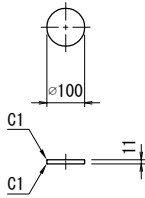
⑥ アンカーボルト SD345



⑤ せん断キー SM490A



⑨ せん断キー SM490A





支 承 詳 細 図 (その2) S=1:10  
A1 (G3) B

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 固 定 支 承	
最 大 反 力			Rmax	3299 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	1909 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	2048 kN
最 大 活 荷 重 反 力			RL-i	1252 kN
最 水 平	大 力	橋 軸 方 向	Rheq1	1409 kN
		橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	689 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	614 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (RL-i/2)			δ c	0.44 mm
最 大 回 転 角			Σ α e	0.0041 rad
水 変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	Δ L1	0 mm
		地 震 時	橋 軸 方 向	Δ Le1
			橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2

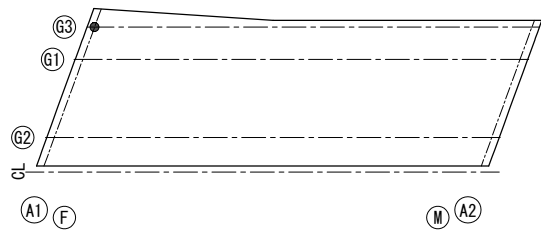
材 料 表

部 番	品 名	材 質	個 数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧ゴム支承	CR+SM490A+CFRP	1	44.8	Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A	1	106.0	
③	ベースプレート	SM490A	1	394.4	
④	拘束リングプレート	SM490A 又は S35CN相当以上	1	123.0	
⑤	せん断キー	SM490A	1	14.0	
⑥	アンカーボルト・ナット	SD345	8	89.6	
⑦	リングプレートボルト	-----	16	16.8	座金付
8	上沓取付ボルト	-----	8	7.6	六角穴付ボルト
⑨	せん断キー	SM490A	2	1.4	
⑩	取付プレート	SM490A	1	124.1	
⑪	セットボルト	-----	10	10.2	座金付
全質量 (kg)				931.9	

注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. 部番 8 は、黒色酸化皮膜処理とする  
注) 3. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 4. 下沓に高面圧ゴム支承を設置後、隙間をコーキング処理すること  
注) 5. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 6. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

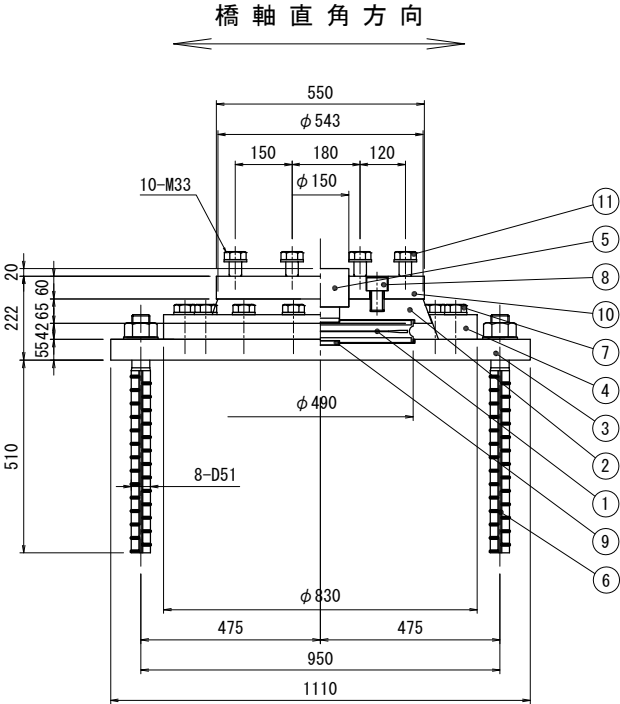
- ⑦ リングプレートボルト M33x100 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑧ 上沓取付ボルト M36x55 強度区分 10.9
- ⑪ セットボルト M33x95 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

位 置 図



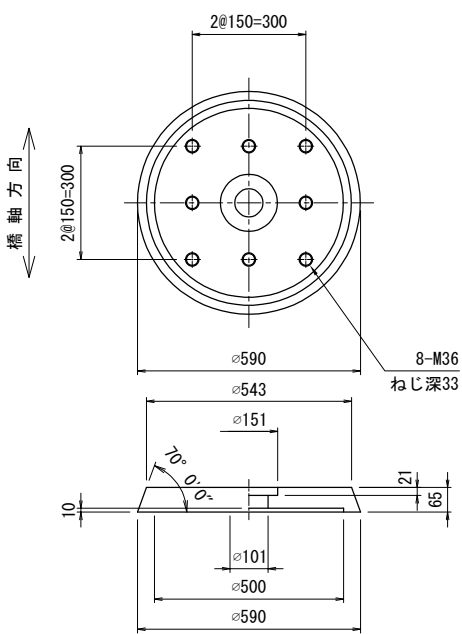
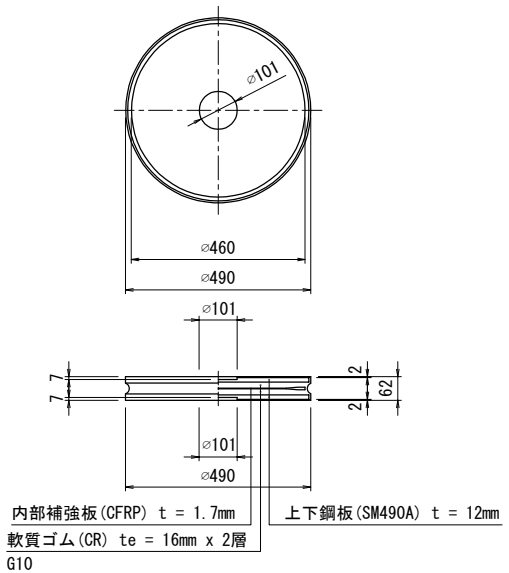
長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事				
図面の種類	川田橋(下り線)			
	支承詳細図(その2) A1(G3)B			
縮尺	図示	図面番号	2 / 5	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			

① 高面圧ゴム支承 CR+SM490A+CFRP

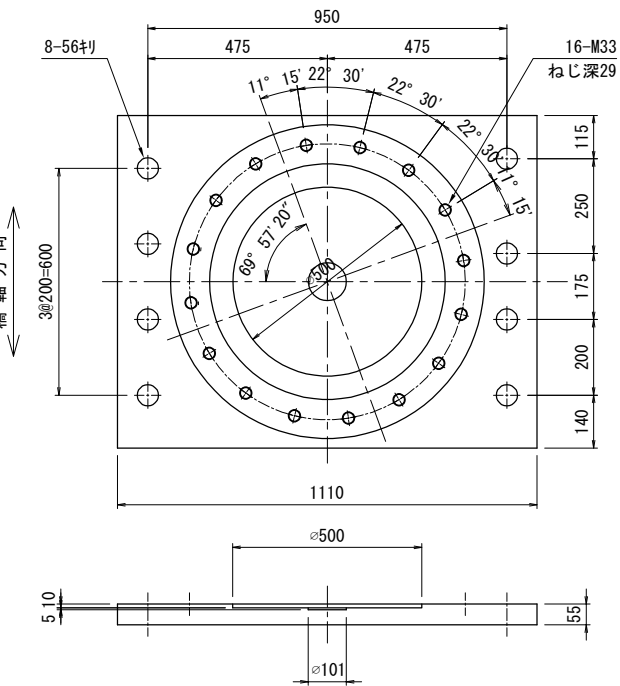


※ ( ) 内寸法は右側を示す。

② 上 沓 SM490A

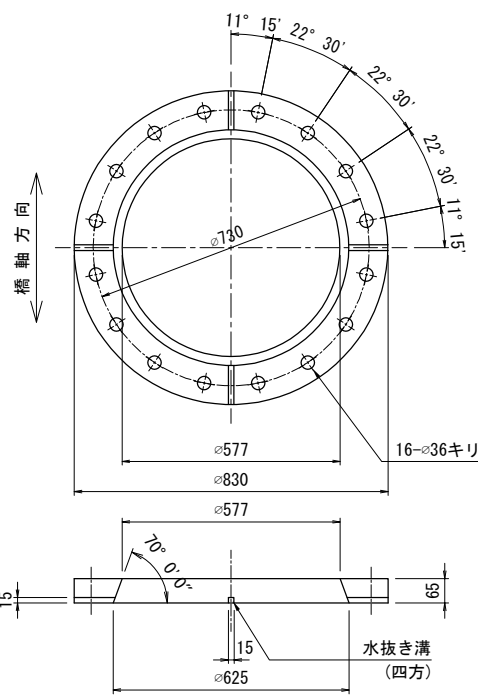


③ ベースプレート SM490A

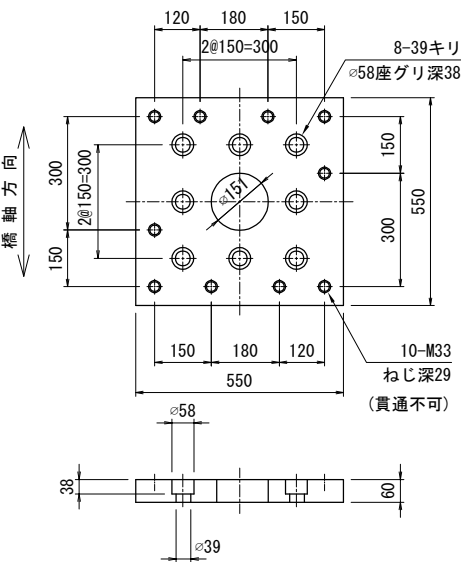


※ ( ) 内寸法はG3桁を示す。

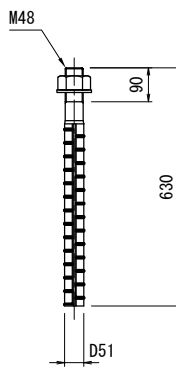
④ 拘束リングプレート SM490A又はS35CN相当以上



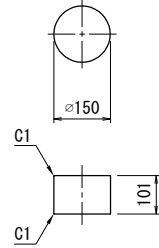
⑩ 取付プレート SM490A



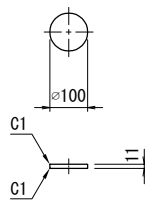
⑥ アンカーボルト SD345



⑤ せん断キー SM490A



⑨ せん断キー SM490A





支 承 詳 細 図 (その3) S=1:10  
A2 (G1) D

設 計 条 件

支 承 条 件		レ ベ ル 2 対 応 可 動 支 承	
最 大 反 力	Rmax	3329	kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用	Rmax2	1614	kN
最 大 死 荷 重 反 力	Rd	2079	kN
最 大 活 荷 重 反 力	Rl	1254	kN
最 水 平 力	大 橋 軸 方 向	Rheq1	368 kN
	橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	832 kN
上 向 きの 地 震 力	Ru	624	kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (R <sub>L</sub> +1/2)	δ cl	0.54	mm
最 大 回 転 角	Σ α e	0.0041	rad
変 位 量	常 時 地震時	橋 軸 方 向	Δ L1 38.5 mm
		橋 軸 方 向	Δ Le1 0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	Δ Le2 0 mm

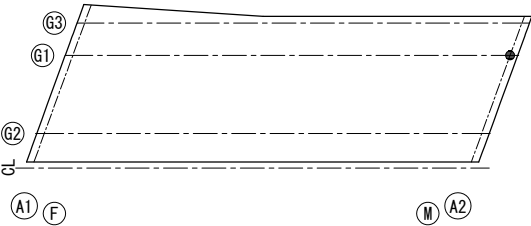
材 料 表

部番	品 名	材 質	個数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧すべりゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	45.5	CR Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A+SUS316	1	181.5	
③	ベースプレート	SM490A	1	458.7	
④	固定枠プレート	SM490A	1	148.2	
⑤	サイドブロック	SM490A	2	27.2	
⑥	せん断キー	SM490A	1	5.7	
⑦	アンカーボルト・ナット	SD345	4	44.4	
⑧	サイドブロックボルト	-----	10	8.9	座金付
⑨	固定枠ボルト	-----	8	4.6	座金付
⑩	セットボルト	-----	4	4.0	座金付
全質量 (kg)			928.7		

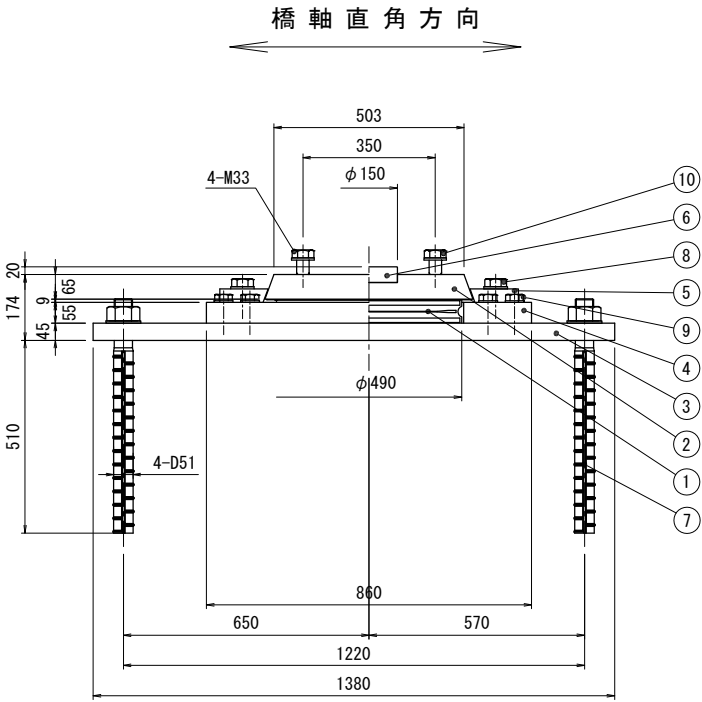
注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄防錆錆塗布とする  
注) 3. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 4. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑧ サイドブロックボルト M33x75 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑨ 固定枠ボルト M27x85 強度区分 8.8  
平座金 (22H)
- ⑩ セットボルト M33x90 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

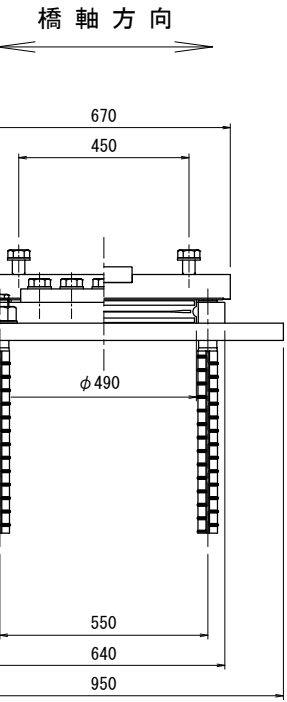
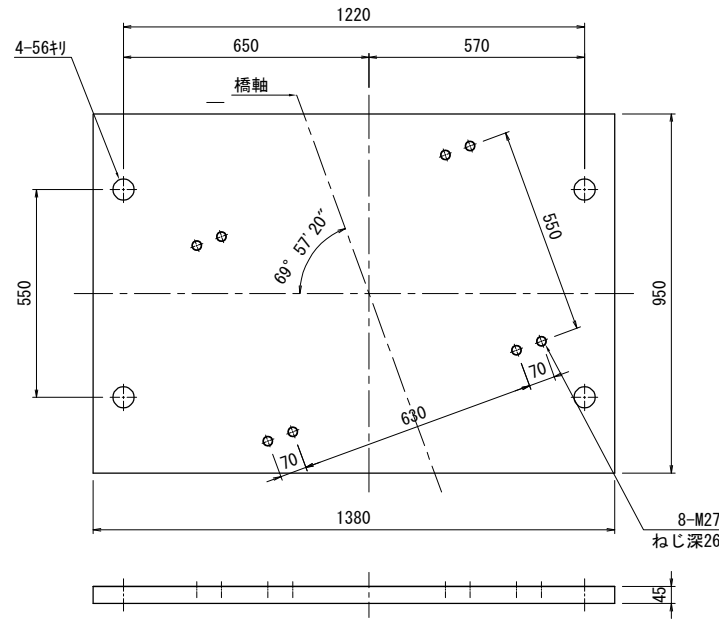
位 置 図



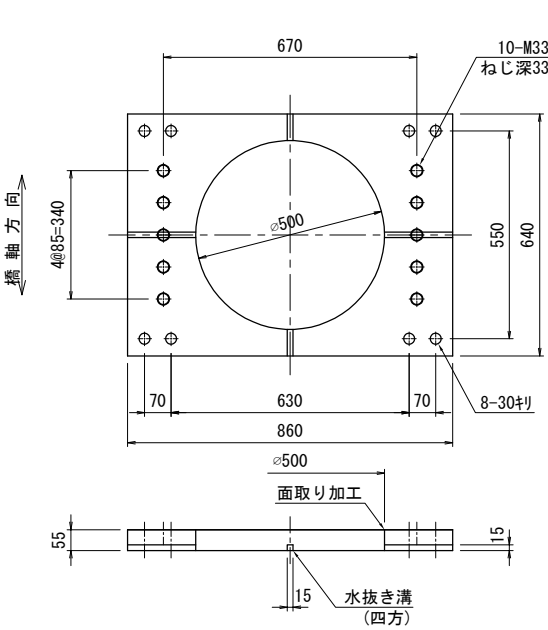
長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事				
川田橋（下り線）				
図面の種類	支承詳細図（その3） A2（G1）D			
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 5	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			



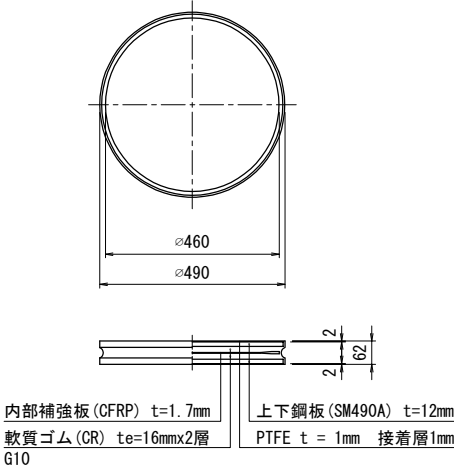
③ ベースプレート SM490A



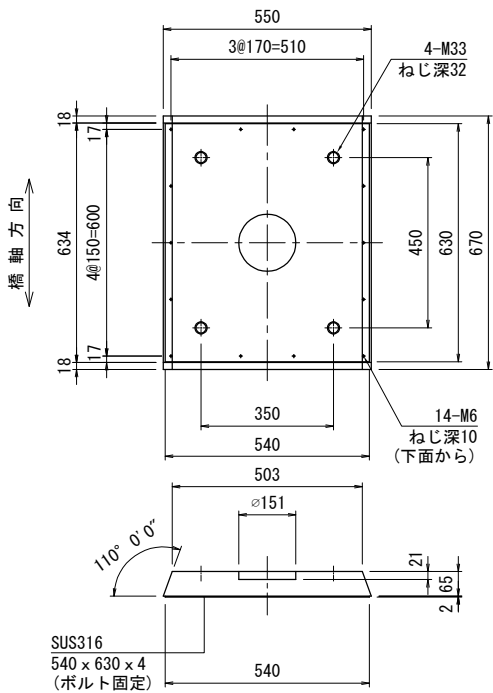
④ 固定枠プレート SM490A



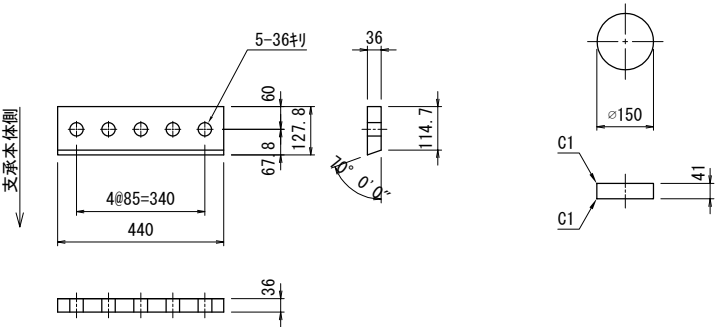
① 高面圧ゴム支承  
CR+SM490A+CFRP+PTFE



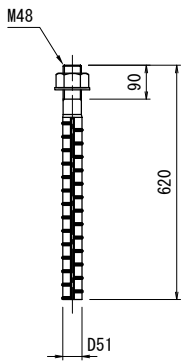
② 上 沓 SM490A+SUS316



⑤ サイドブロック SM490A ⑥ せん断キー SM490A



⑦ アンカーボルト SD345





支 承 詳 細 図 (その4) S=1:10  
A2 (G2) D

設 計 条 件

支 承 条 件		レ ベ ル 2 対 応 可 動 支 承		
最 大 反 力		Rmax	3329 kN	
最 大 反 力 回 転 照 査 用		Rmax2	1614 kN	
最 大 死 荷 重 反 力		Rd	2079 kN	
最 大 活 荷 重 反 力		RI	1254 kN	
最 水 平	大 力 橋 軸 方 向	Rheq1	368 kN	
	大 力 橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	832 kN	
上 向 きの 地 震 力		Ru	624 kN	
照 査 荷 重 時 変 位 量 (R <sub>L</sub> +i/2)		δ <sub>cl</sub>	0.54 mm	
最 大 回 転 角		Σ α <sub>e</sub>	0.0041 rad	
変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	ΔL1	38.5 mm
	地 震 時	橋 軸 方 向	ΔLe1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	ΔLe2	0 mm

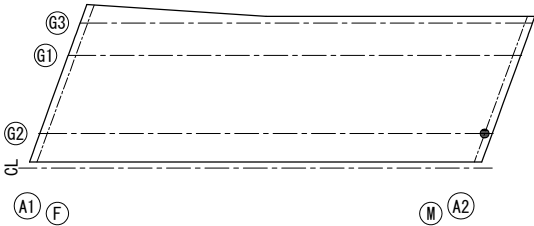
材 料 表

部 番	品 名	材 質	個 数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧すべりゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	45.5	CR Ge=1.0N/mm2
2	上 沓	SM490A+SUS316	1	181.5	
3	ベースプレート	SM490A	1	452.0	
4	固定枠プレート	SM490A	1	148.2	
5	サイドブロック	SM490A	2	27.2	
6	せん断キー	SM490A	1	5.7	
7	アンカーボルト・ナット	SD345	4	44.4	
8	サイドブロックボルト	-----	10	8.9	座金付
9	固定枠ボルト	-----	8	4.6	座金付
10	セットボルト	-----	4	3.8	座金付
全質量 (kg)				921.8	

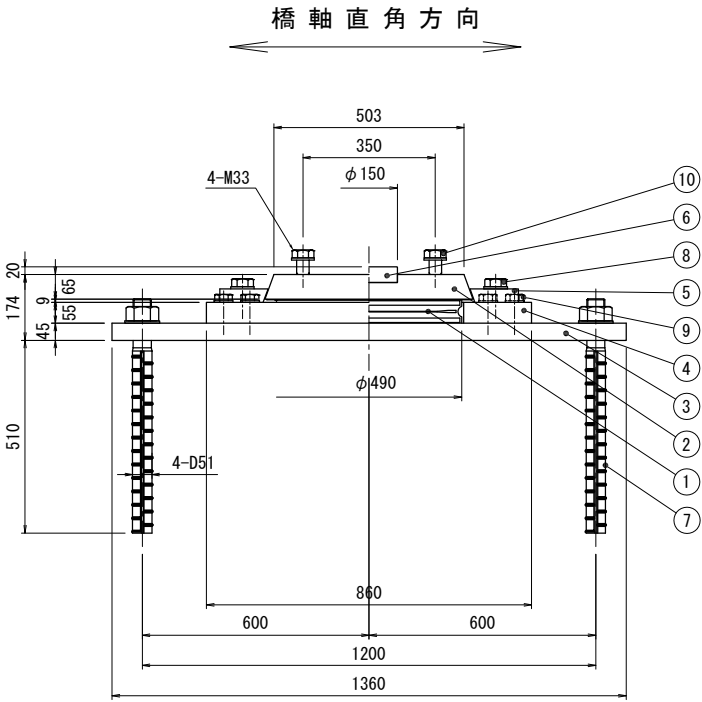
注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 3. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 4. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑧ サイドブロックボルト M33x75 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑨ 固定枠ボルト M27x85 強度区分 8.8  
平座金 (22H)
- ⑩ セットボルト M33x85 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

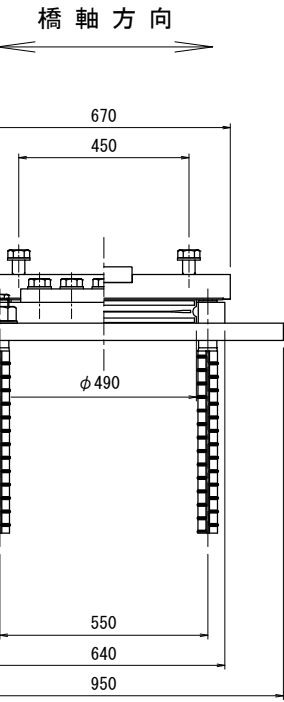
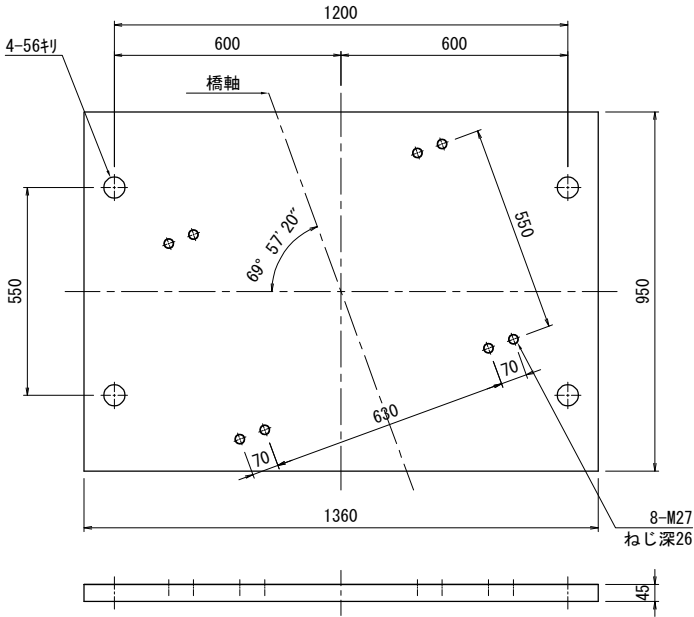
位 置 図



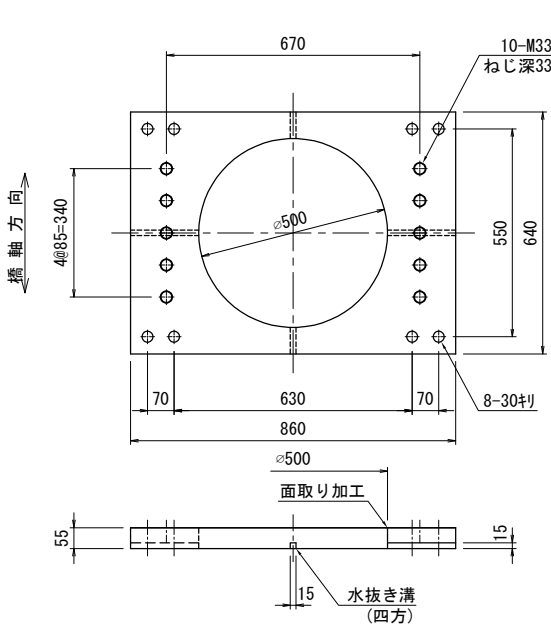
長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事				
川田橋（下り線）				
図面の種類		支承詳細図（その4） A2 (G2) D		
縮	尺	図 示	図面番号	4 / 5
設計会社名		日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



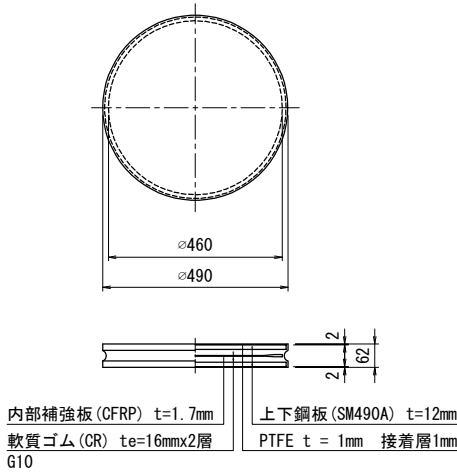
③ ベースプレート SM490A



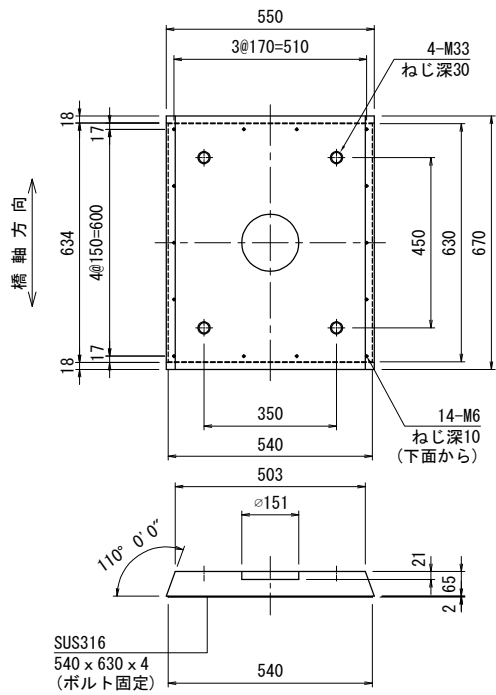
④ 固定枠プレート SM490A



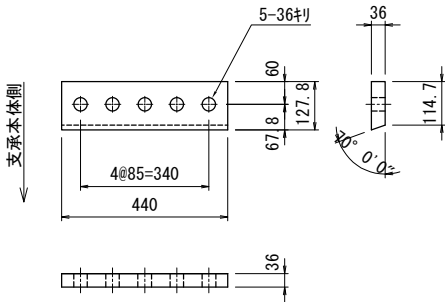
① 高面圧ゴム支承  
CR+SM490A+CFRP+PTFE



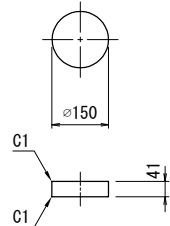
② 上 沓 SM490A+SUS316



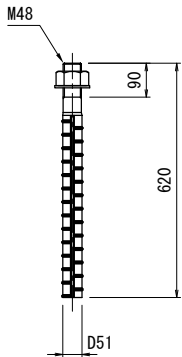
⑤ サイドブロック SM490A



⑥ せん断キー SM490A



⑦ アンカーボルト SD345





支 承 詳 細 図 (その5) S=1:10  
A2 (G3) D

設 計 条 件

支 承 条 件			レ ベ ル 2 対 応 可 動 支 承	
最 大 反 力			Rmax	2077 kN
最 大 反 力 回 転 照 査 用			Rmax2	838 kN
最 大 死 荷 重 反 力			Rd	2079 kN
最 大 活 荷 重 反 力			RI	195 kN
最 水 平	大 力	橋 軸 方 向	Rheq1	368 kN
		橋 軸 直 角 方 向	Rheq2	832 kN
上 向 き の 地 震 力			Ru	624 kN
照 査 荷 重 時 変 位 量 (R <sub>i</sub> +1/2)			δ <sub>cl</sub>	0.13 mm
最 大 回 転 角			Σ α <sub>e</sub>	0.0034 rad
変 位 量	常 時	橋 軸 方 向	ΔL1	38.5 mm
	地 震 時	橋 軸 方 向	ΔLe1	0 mm
		橋 軸 直 角 方 向	ΔLe2	0 mm

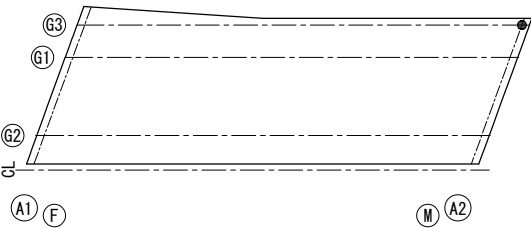
材 料 表

部番	品 名	材 質	個数	質 量 (kg)	備 考
1	高面圧すべりゴム支承	CR+SM490A+CFRP+PTFE	1	34.9	CR Ge=1.0N/mm2
②	上 沓	SM490A+SUS316	1	181.5	
③	ベースプレート	SM490A	1	374.8	
④	固定枠プレート	SM490A	1	167.3	
⑤	サイドブロック	SM490A	2	27.2	
⑥	せん断キー	SM490A	1	5.7	
⑦	アンカーボルト・ナット	SD345	4	44.4	
⑧	サイドブロックボルト	-----	10	8.9	座金付
⑨	固定枠ボルト	-----	8	4.6	座金付
⑩	セットボルト	-----	4	4.1	座金付
全質量 (kg)				853.4	

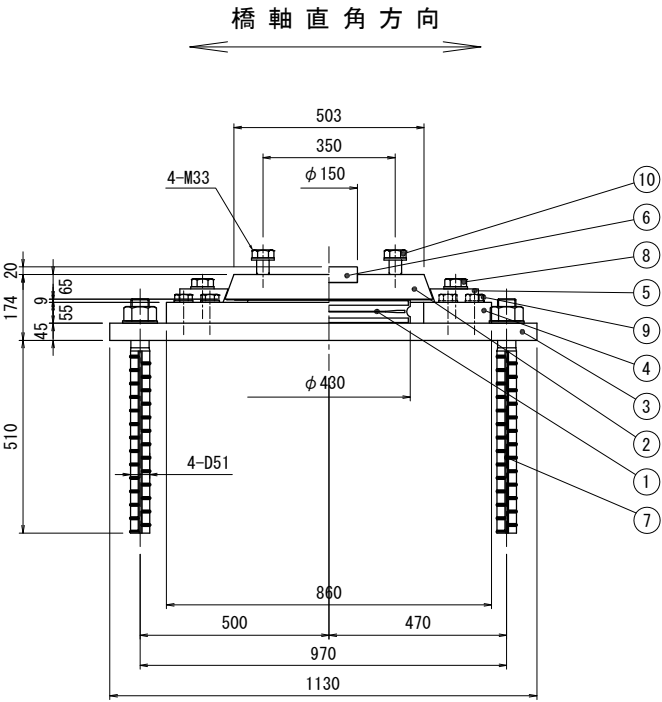
注) 1. ○印は、アルミニウム・マグネシウム合金溶射仕様とする  
注) 2. アンカーボルトのコンクリート接触部は、鉄筋防錆剤塗布とする  
注) 3. 封孔処理後、中塗り・上塗りを施工すること  
注) 4. 高面圧ゴム支承の質量は参考質量とする

- ⑧ サイドブロックボルト M33x75 強度区分 8.8  
平座金 (F35)
- ⑨ 固定枠ボルト M27x85 強度区分 8.8  
平座金 (22H)
- ⑩ セットボルト M33x95 強度区分 8.8  
平座金 (F35)

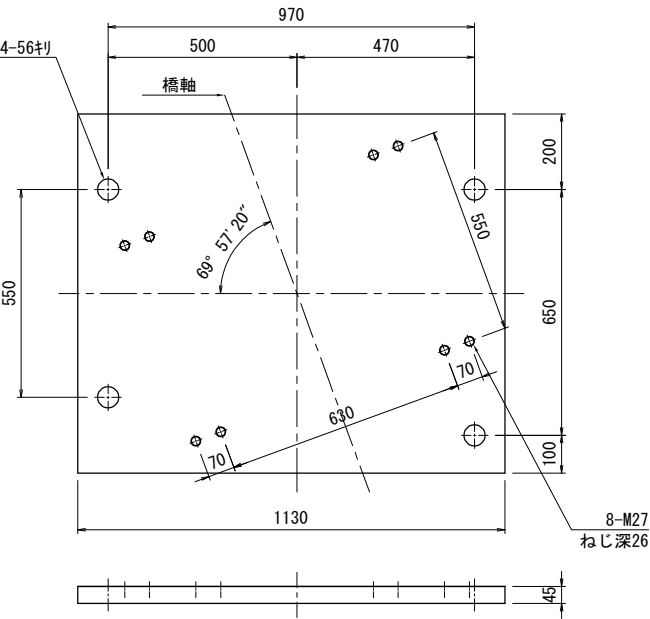
位 置 図



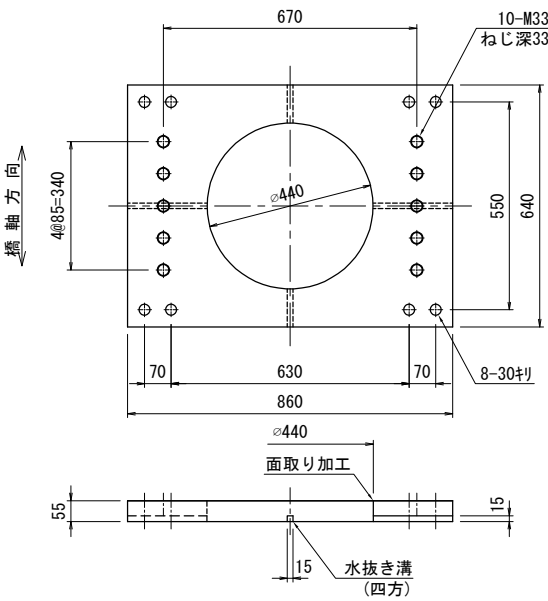
長野自動車道				
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工) 工事				
川田橋(下り線)				
図面の種類	支承詳細図(その5) A2(G3)D			
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 5	
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所			



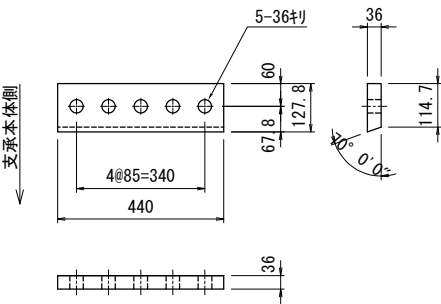
③ ベースプレート SM490A



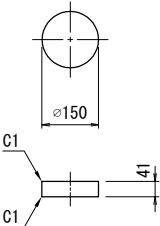
④ 固定枠プレート SM490A



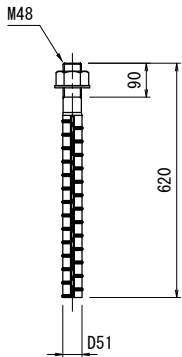
⑤ サイドブロック SM490A



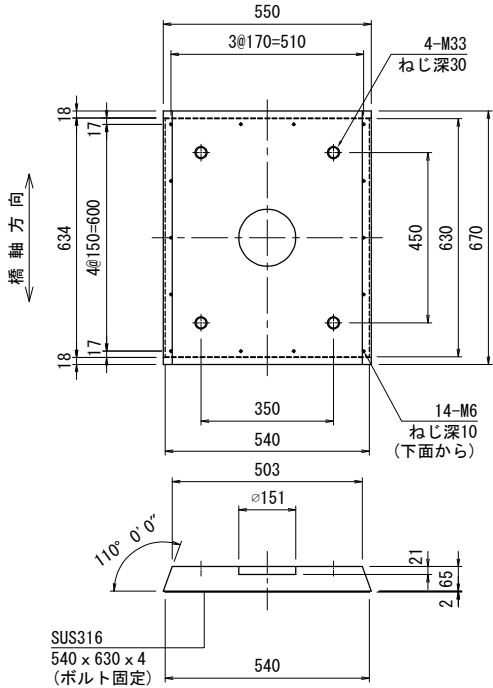
⑥ せん断キー SM490A



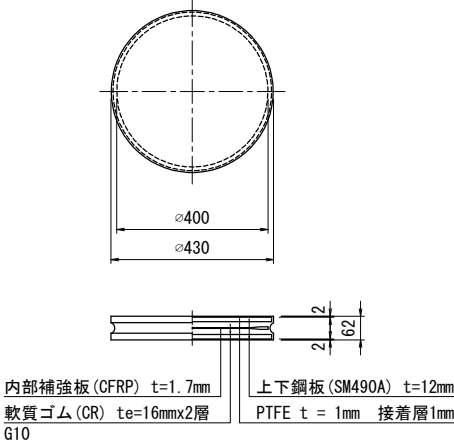
⑦ アンカーボルト SD345



② 上 沓 SM490A+SUS316



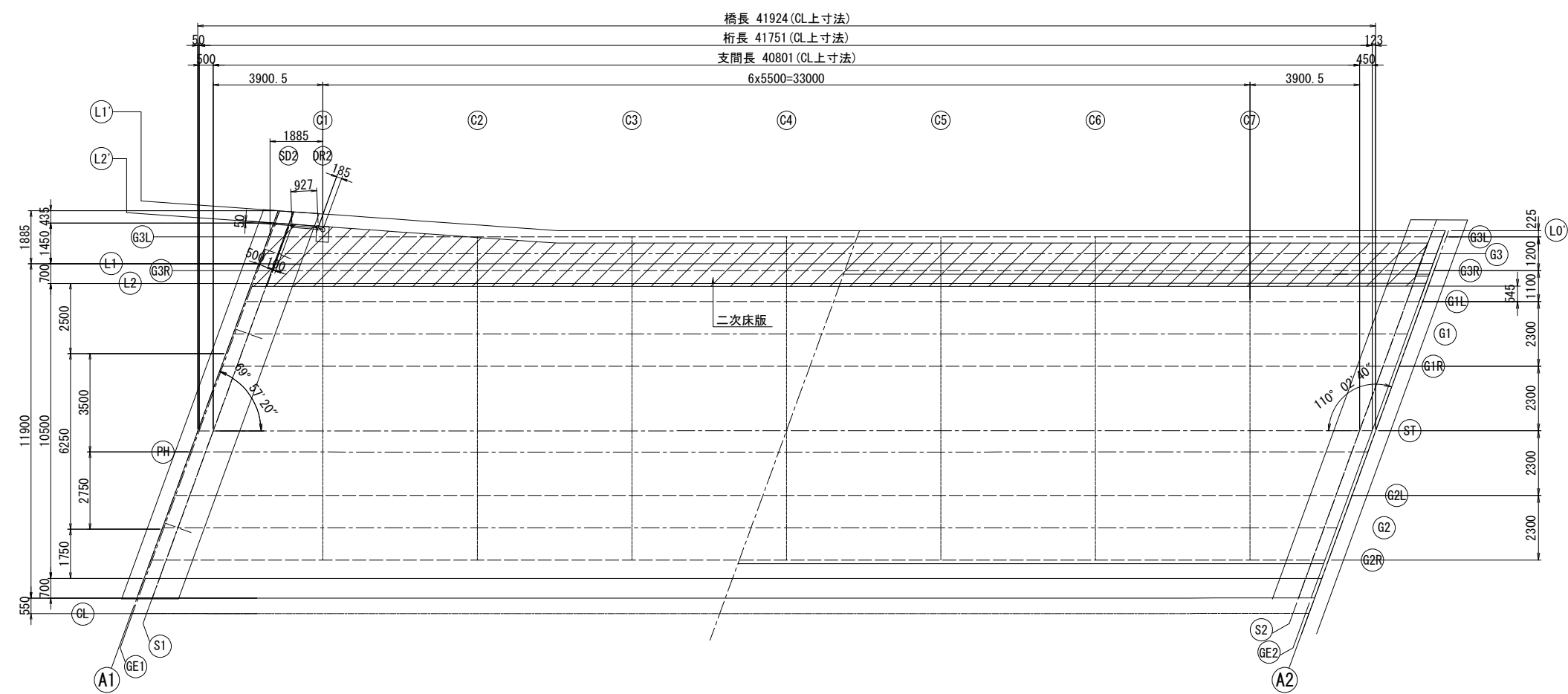
① 高面圧ゴム支承  
CR+SM490A+CFRP+PTFE



※ ( ) 内寸法は右側を示す。

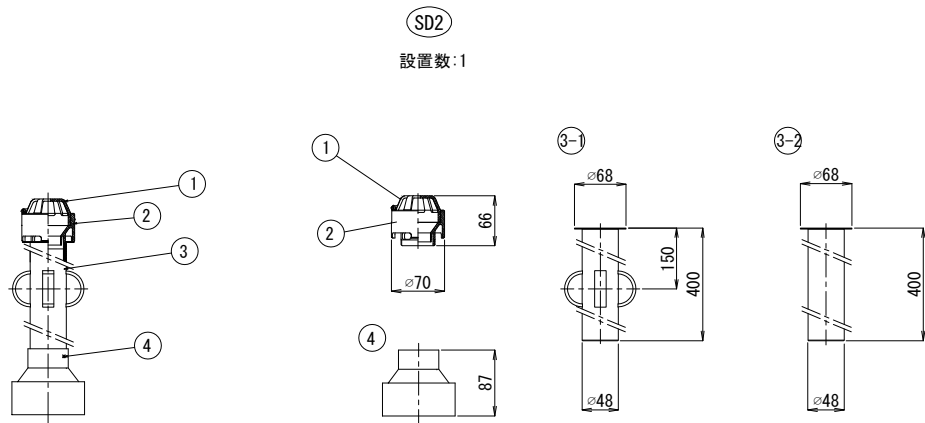


平 面 図





水抜きパイプ詳細図 S=1：5



項目	名前	材料	数量	処理加工	注記
1	グレーチングドーム	SCS14（SUS316相当）	1		
2	アウター本体	PVC	1		色調：グレー
3	アウターパイプ取手付	PVC	1		色調：グレー
4	インクリーザ40*75	PVC	1		色調：グレー

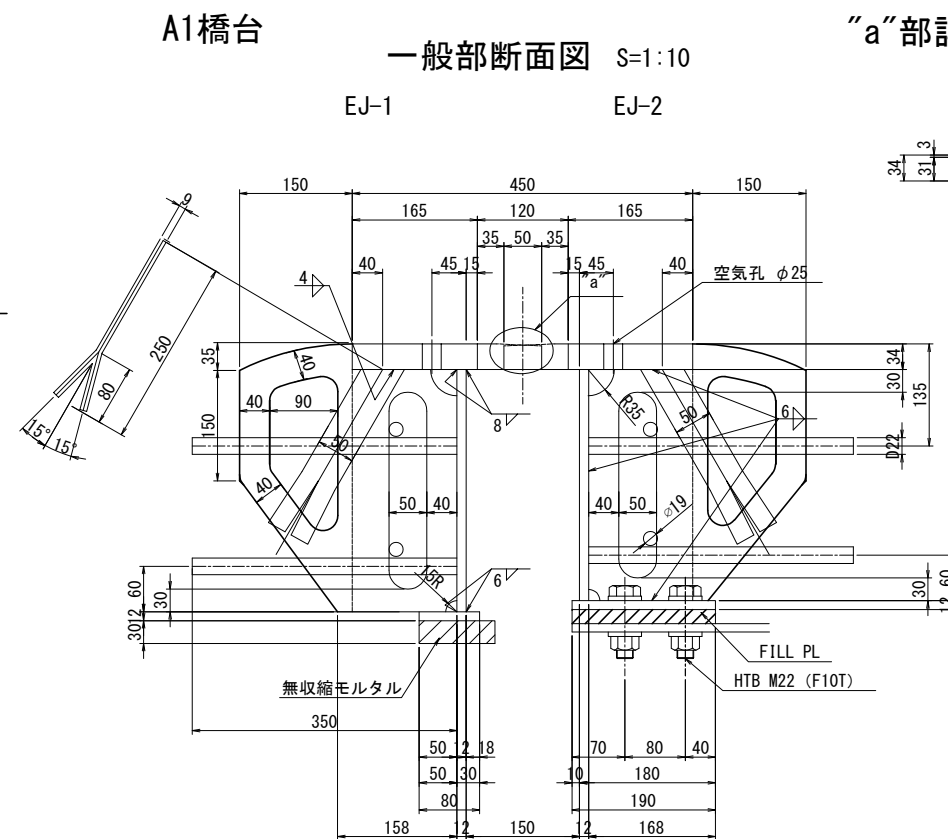
注記：  
1. 施工にあたっては事前に既設鉄筋は現地にて再度寸法を計測し確認後行なうこと。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 橋面排水工（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

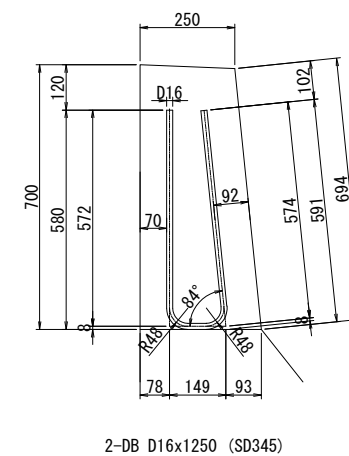


一般部断面図 S=1:10

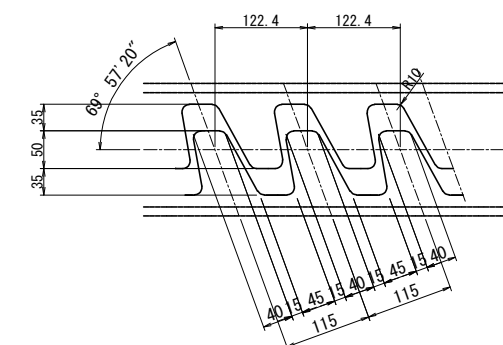
“a”部詳細図 S=1:10



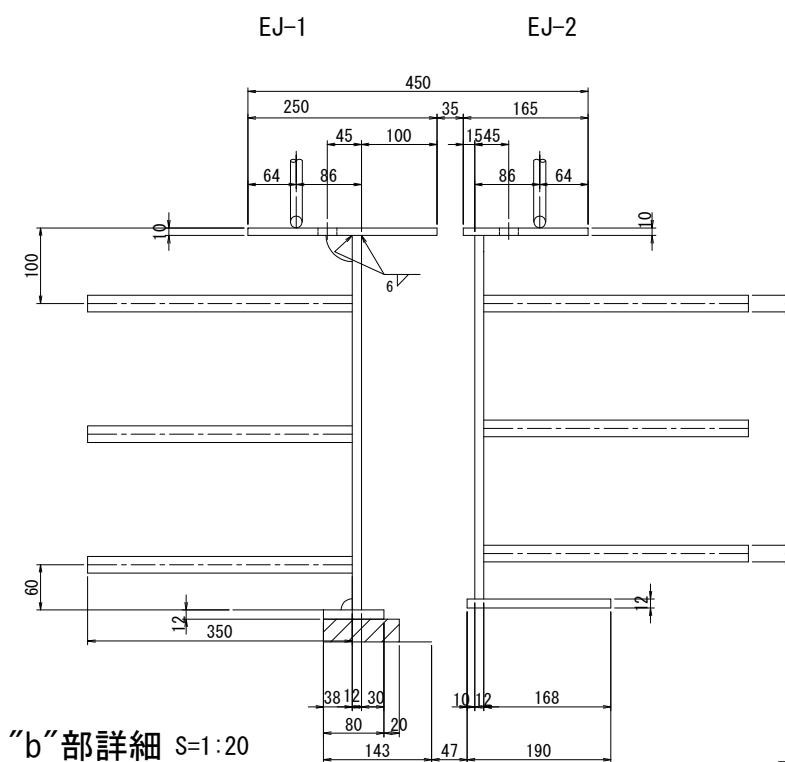
地覆鉄筋詳細 S=1:20



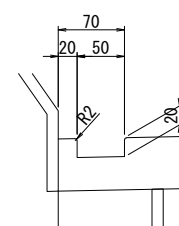
## フィンガー詳細 S=1:10



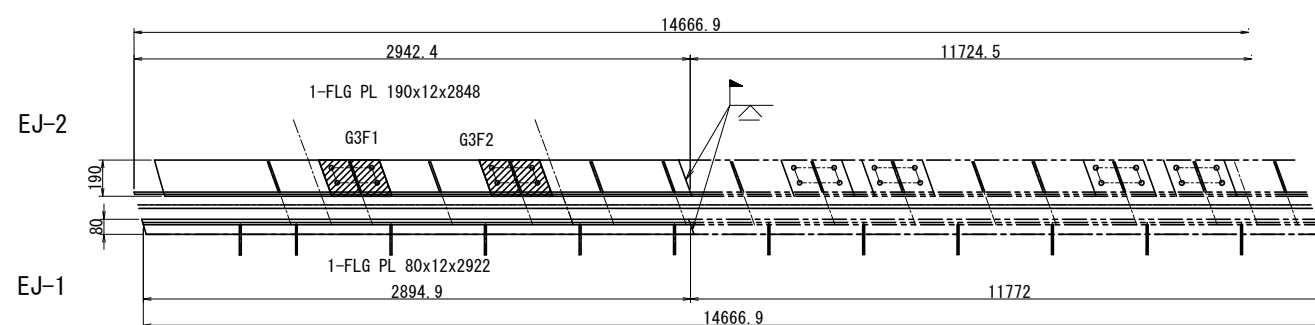
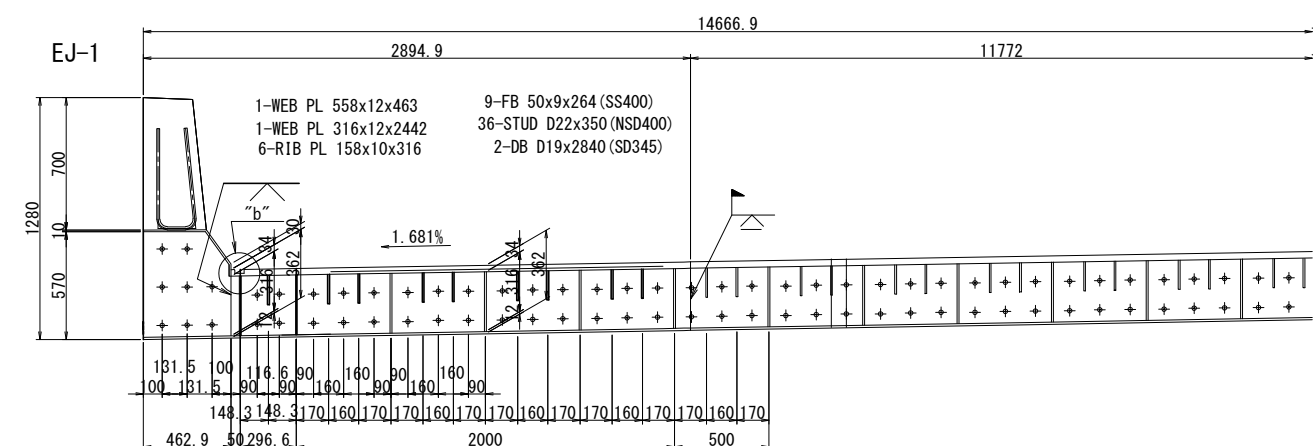
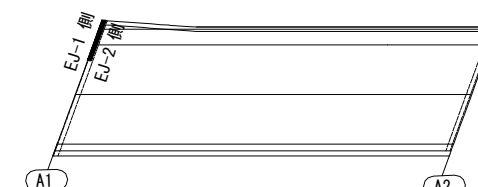
地覆部断面図 S=1:10



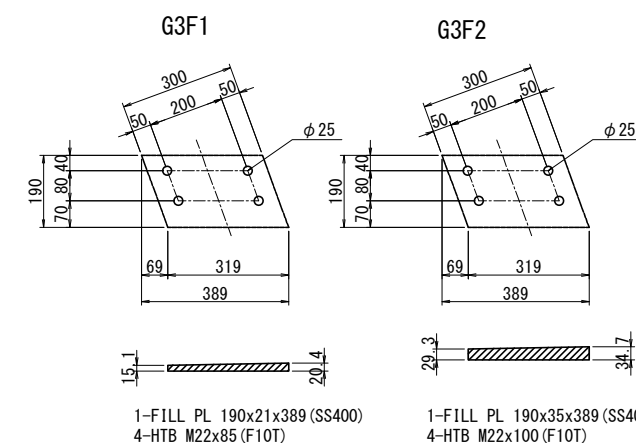
“b”部詳細 s=1:20



配置図 S=1:800



## FILL PL詳細 S=1:20



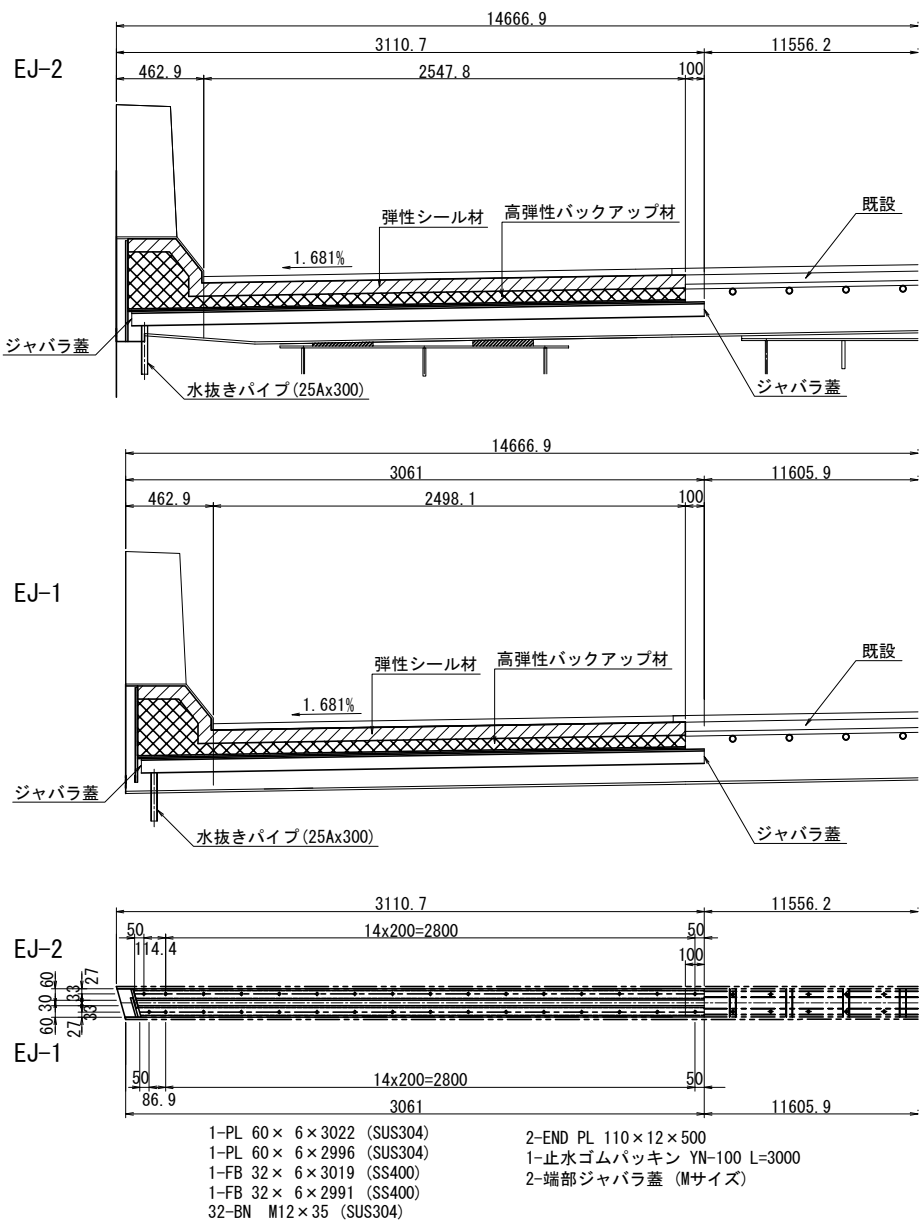
注記

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
3. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工の事。

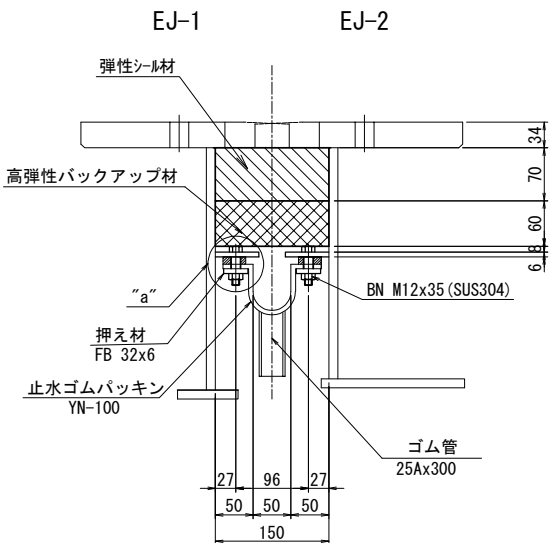
長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 伸縮装置（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



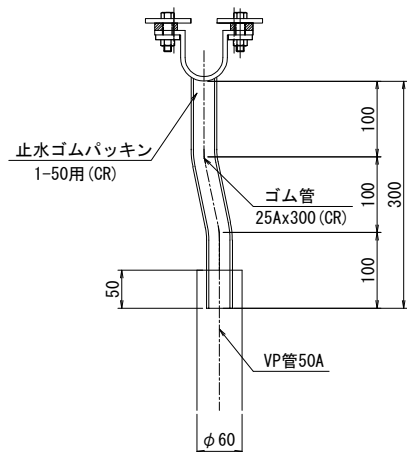
A1橋台



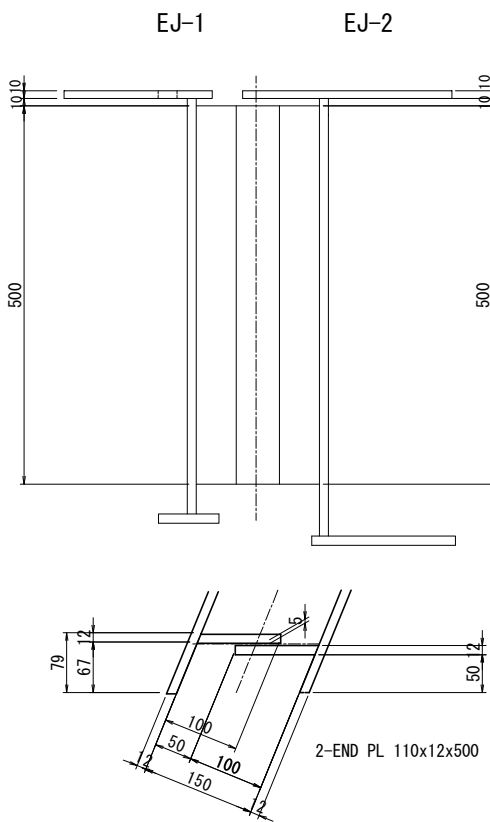
非排水構造断面図 S=1:10



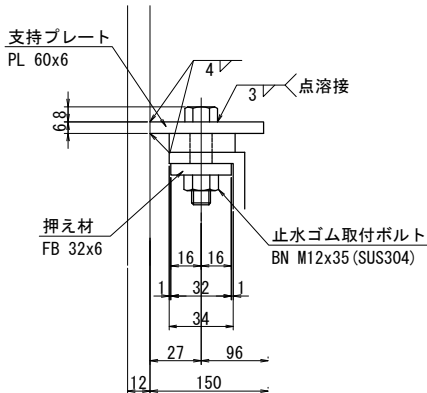
伸縮装置導水管取付詳細 S=1:10



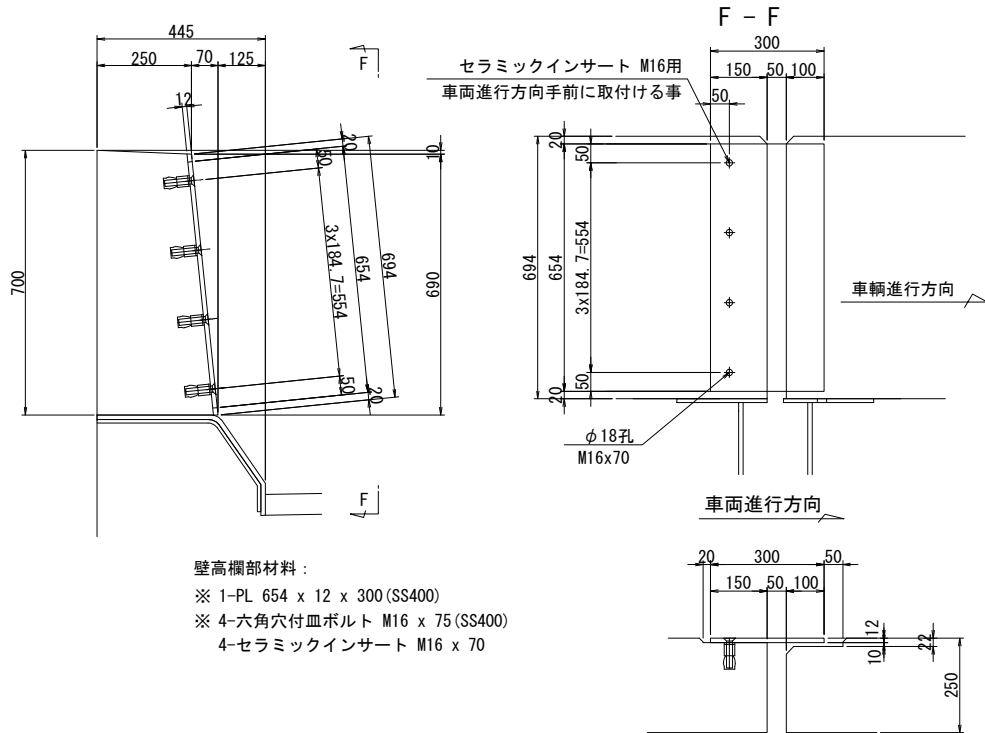
エンドプレート詳細図 S=1:10



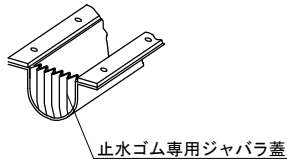
“a”部詳細図 S=1:4



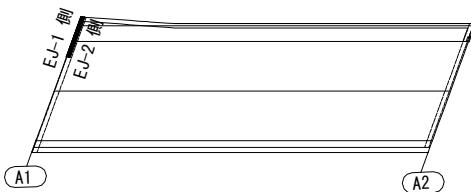
壁高欄塞ぎ板詳細図 S=1:20



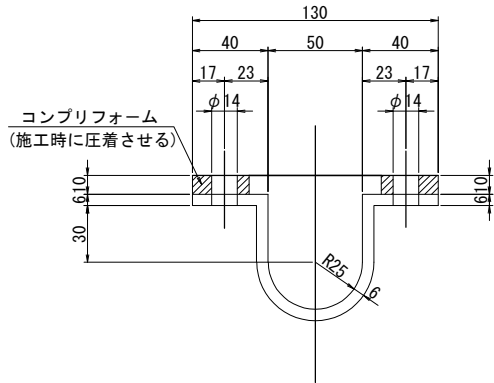
止水ゴムパッキン端部詳細図



配置図 S=1:800



止水ゴムパッキン詳細 S=1:4



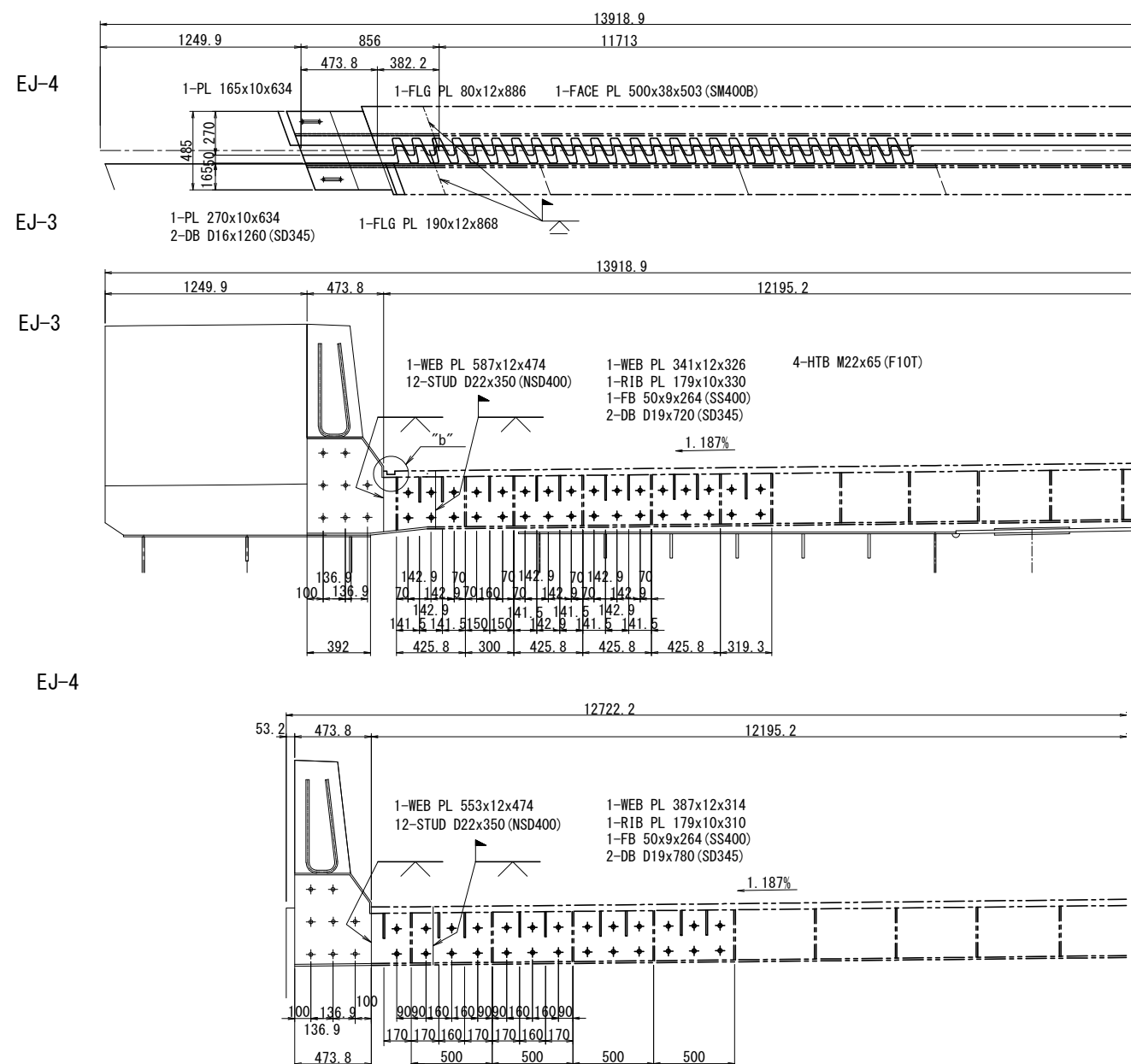
- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
  3. ナットは全て緩み止めナットを使用する。
  4. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工の事。
  5. ※印の材料は、溶融亜鉛メッキ処理とする。  
付着膜厚は、JIS H8641 とする。  
銅材、形鋼 t = 6mm以上 HDZT77  
" 3.2mm ≤ t < 6mm HDZT63  
ボルト・ナット類、3.2mm未満の鋼材 HDZT49

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 伸縮装置(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

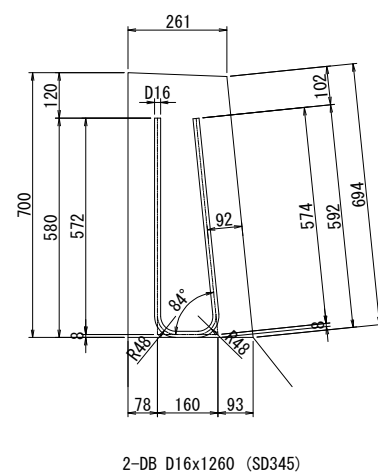


川田橋（下り線）伸縮装置（その3） S=1:40

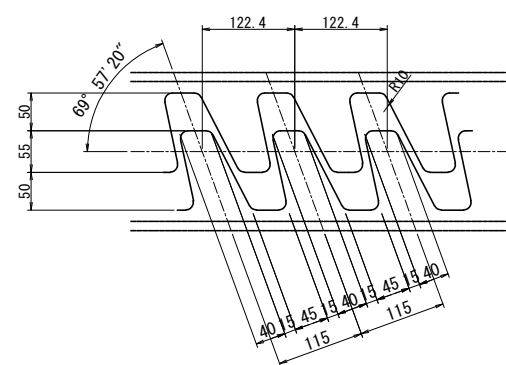
A2橋台



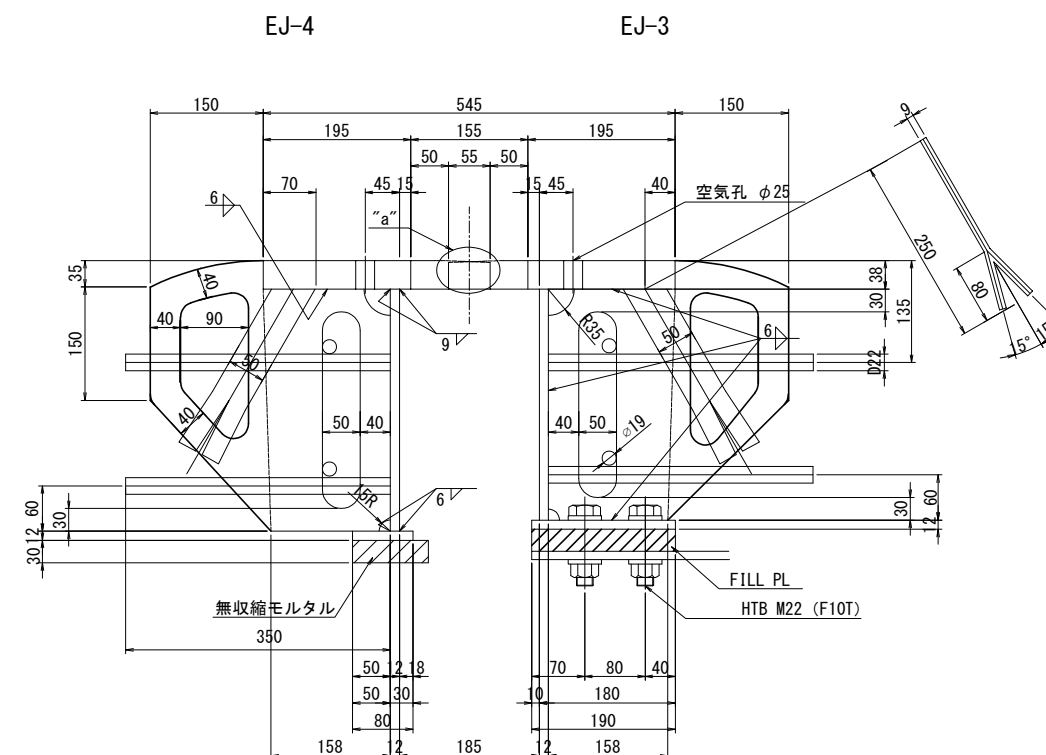
地覆鉄筋詳細 S=1:20



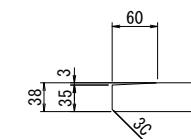
フィンガー詳細 S=1:10



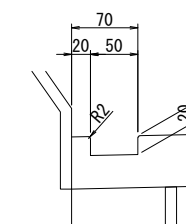
一般部断面図 S=1:10



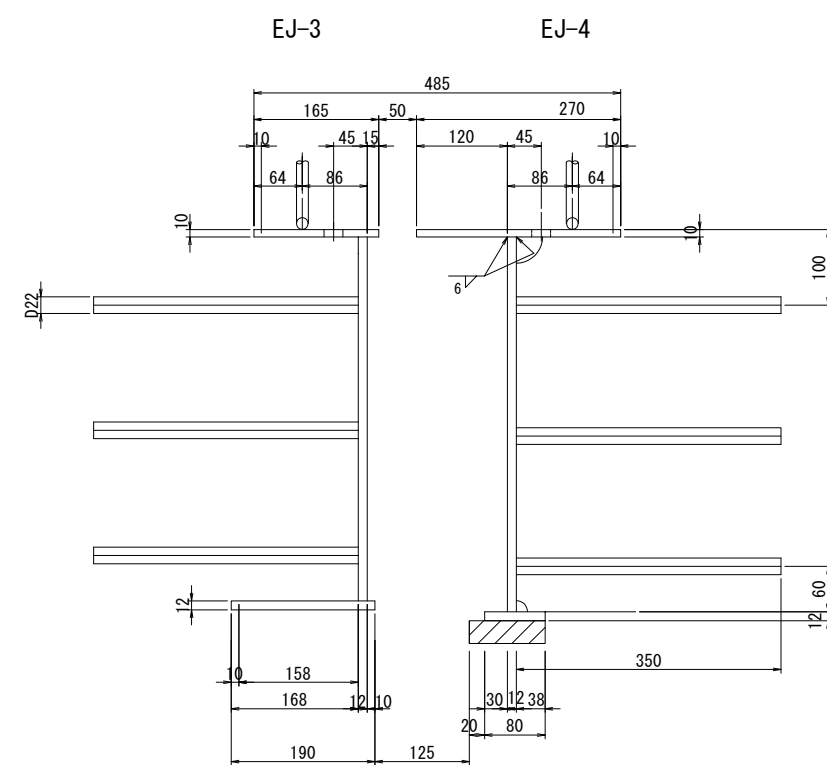
"a"部詳細図 S=1:10



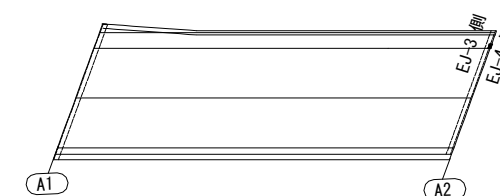
“b”部詳細 S=1:20



地覆部断面図 S=1:10



配置図 S=1:800



- 注記
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
  3. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工の事。

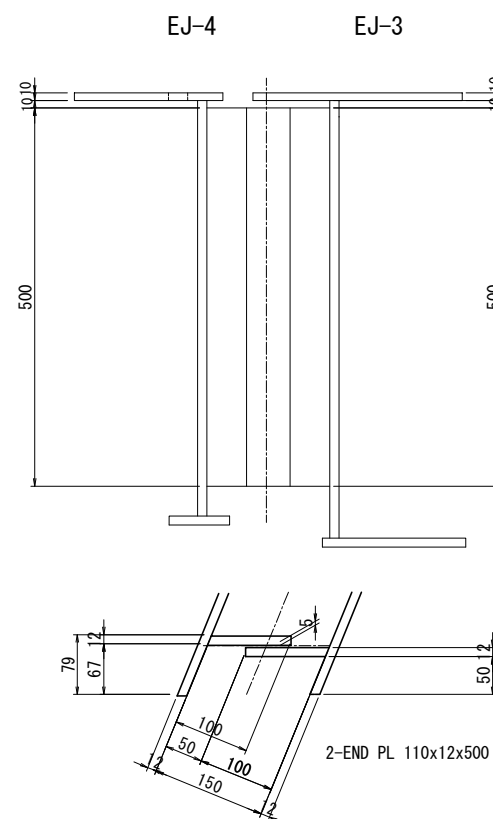
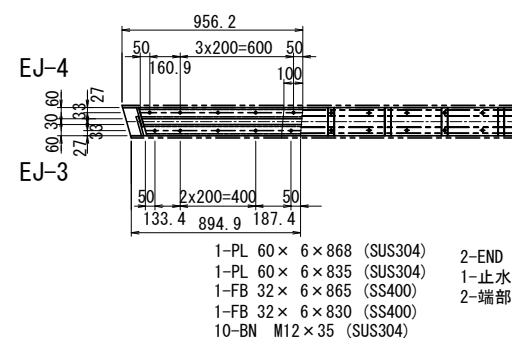
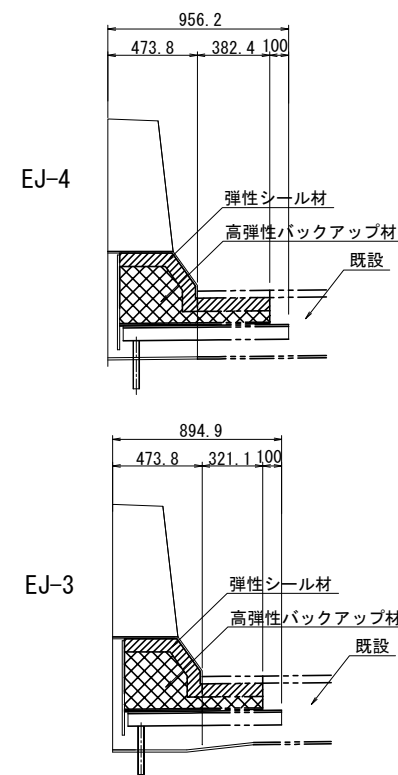
長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 伸縮装置（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



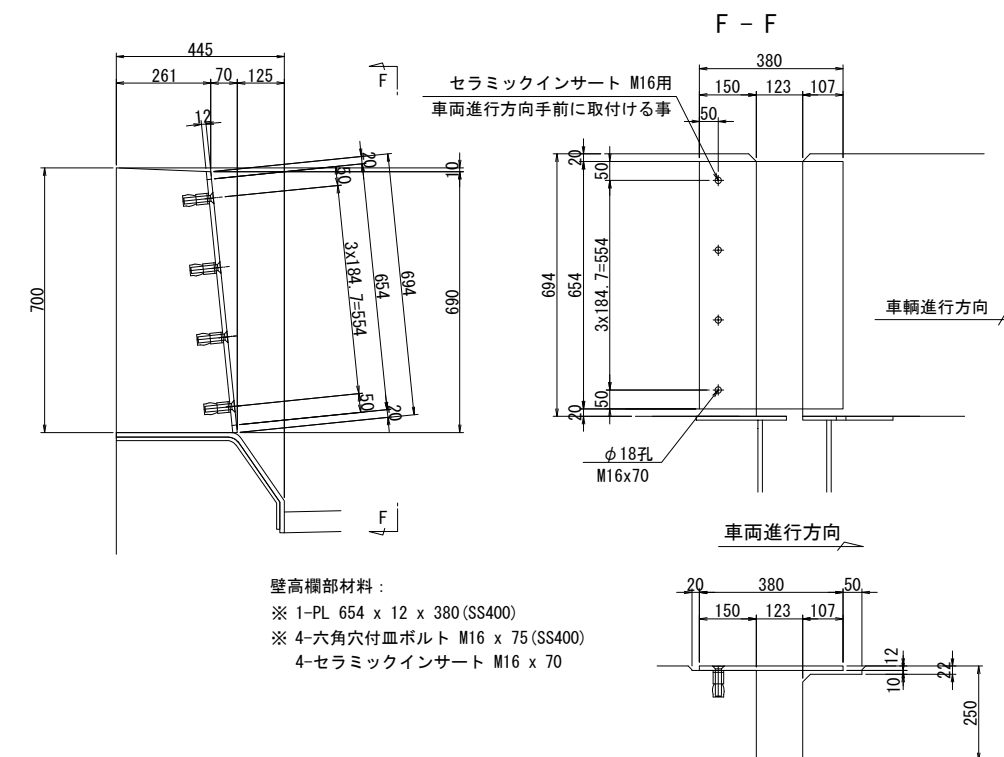
川田橋（下り線）伸縮装置（その4） S=1:40

A2橋台

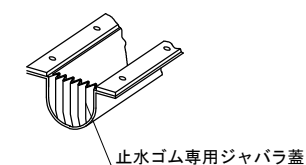
エンドプレート詳細図 S=1:10



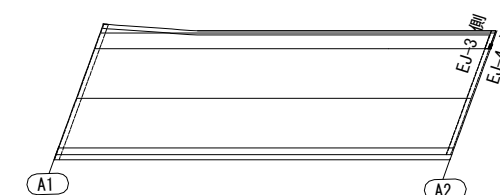
壁高欄塞ぎ板詳細図 S=1:20



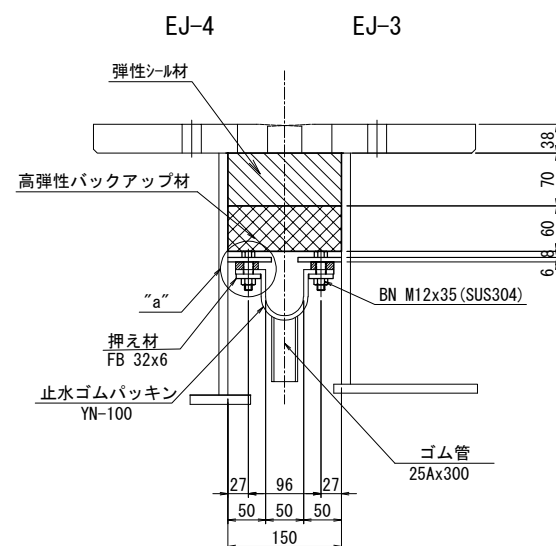
### 止水ゴムパッキン端部詳細図



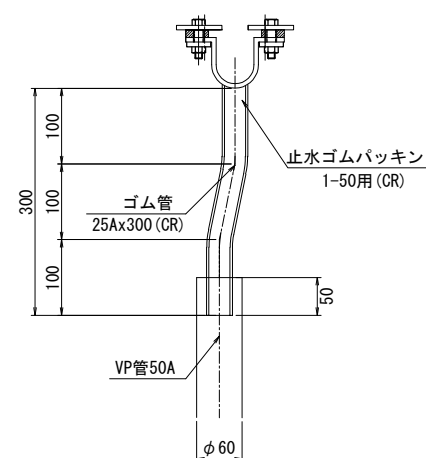
配置図 S=1:800



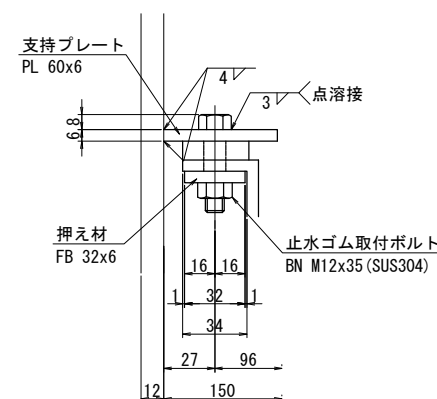
非排水構造断面図 S=1:10



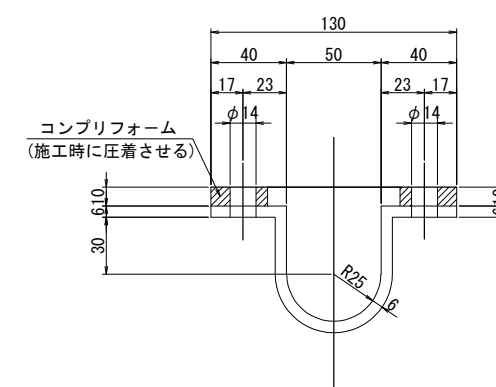
伸縮裝置導水管取付詳細 S=1:10



“a”部詳細図 S=1:4



### 止水ゴムパッキン詳細 S=1:4



注記

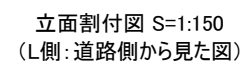
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用する。
4. 施工に当たっては現地計測を行い、再度確認した上加工及び施工する。
5. 付印の材料は、溶融亜鉛メッキ処理とする。  
付着膜厚は、JIS H8641 とする。

鋼材、形鋼	$t = 6\text{mm}$ 以上	HDZT77
〃	$3.2\text{mm} \leq t < 6\text{mm}$	HDZT63
ボルト・ナット類、3.2mm未満の鋼材		HDZT49

長 野 自 動 車 道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上土工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 伸縮装置（その4）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



✖ Level



✖ Level



1連当たり

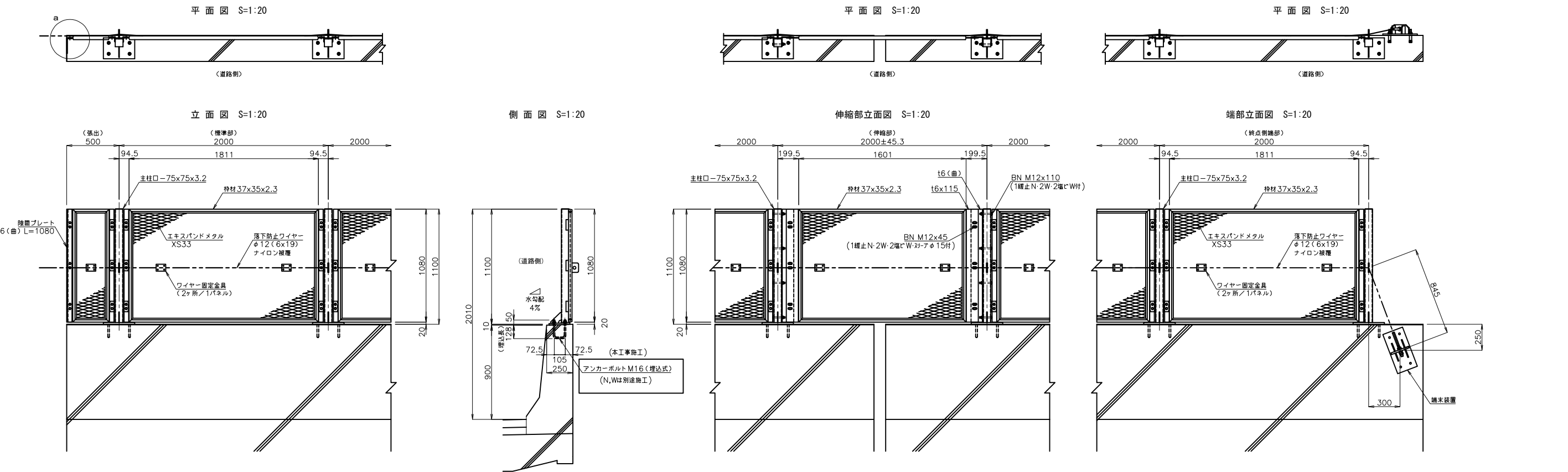
【注記】1.寸法は水平距離を示す。  
2.主柱は縦断勾配レール用(水勾配加工有り)を壁高欄主端に対して直角に設置する。  
3.鋼材・部品類・アンカーボルトは溶融亜鉛めっき仕上げ(HDZT)とする。  
4.アンカーと壁高欄の鉄筋が干渉する場合は、施工時に鉄筋の位置を調整して対応のこと。

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 飛雪防止網（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

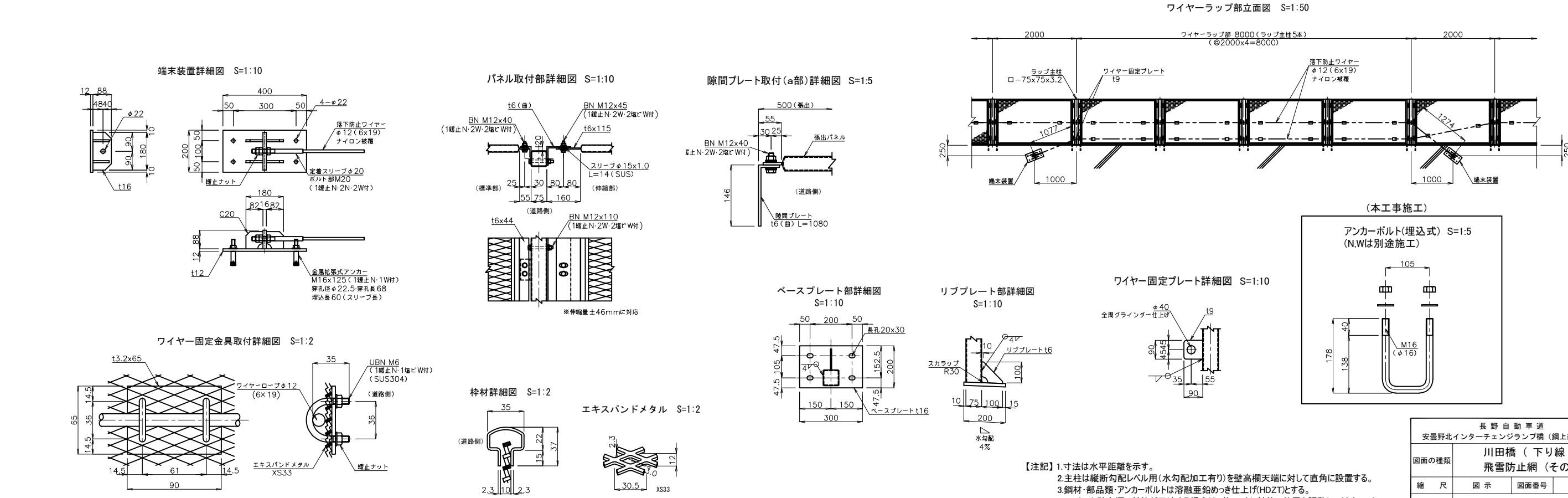


【設計条件】  
風荷重 2.9kN/m<sup>2</sup>  
(300kg/m<sup>2</sup>)

川田橋(下り線) 飛雪防止網 (その2)  
橋梁部 詳細図



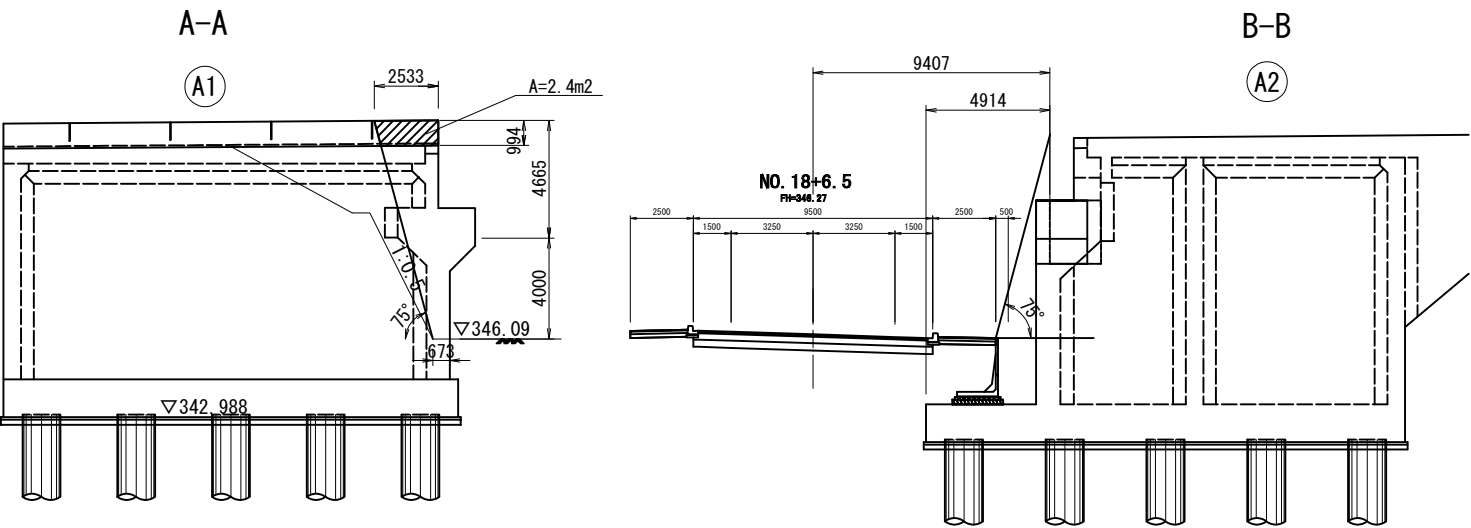
※ 本図は標準スパンを示す。



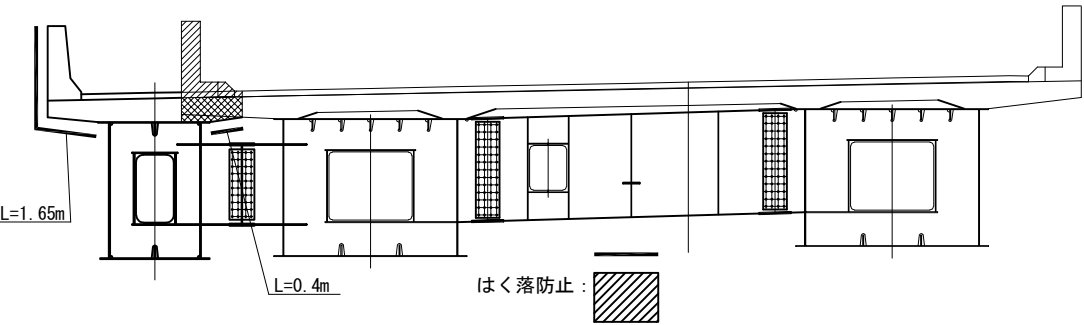
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(下り線) 飛雪防止網(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



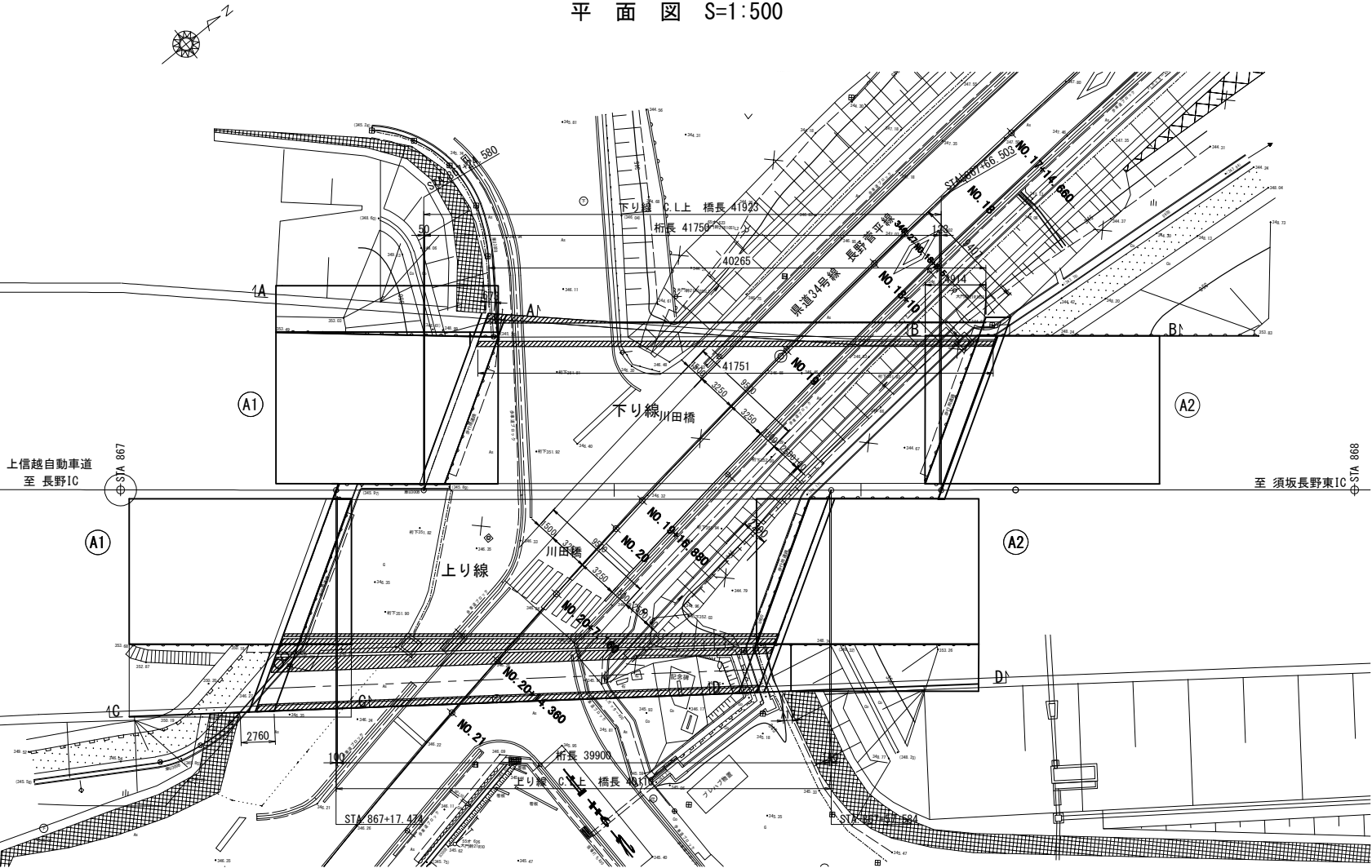
側面図 S=1:300



上部工断面図 S=1:100

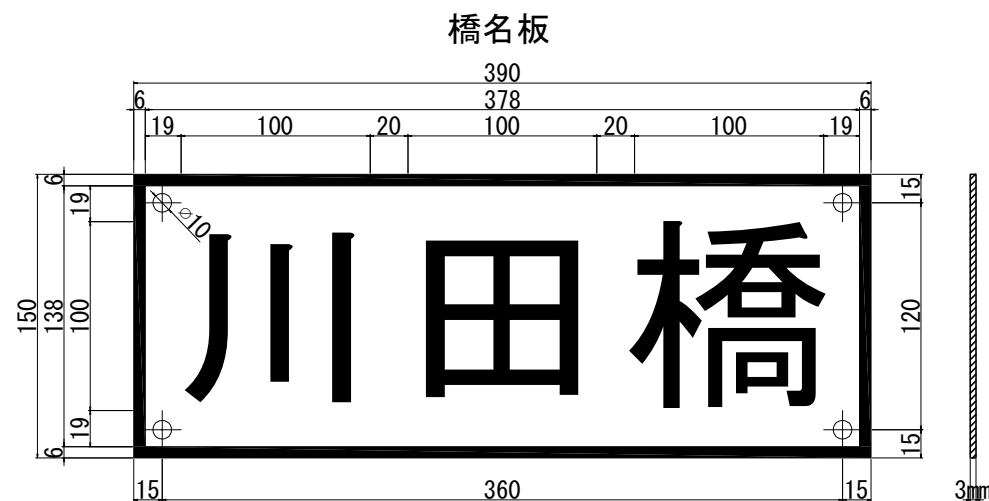


平面図 S=1:500

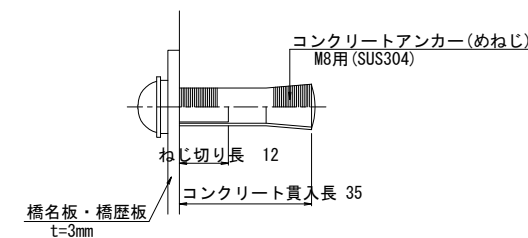


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） はく落防止		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

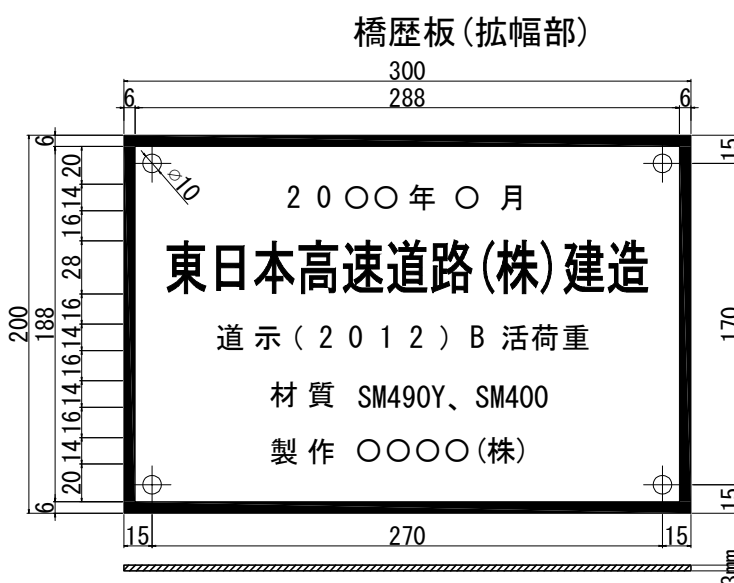
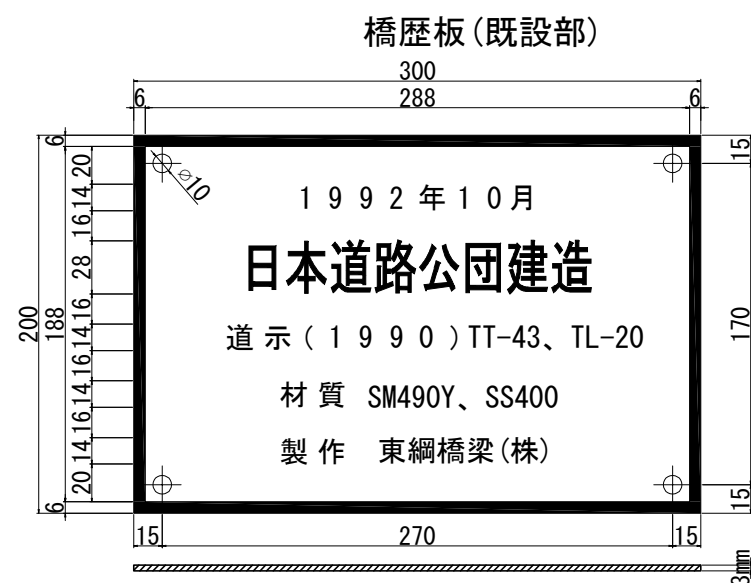




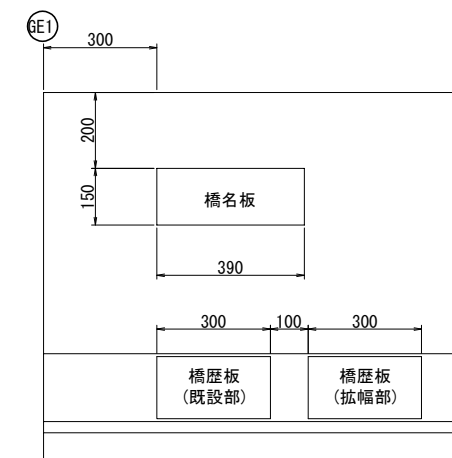
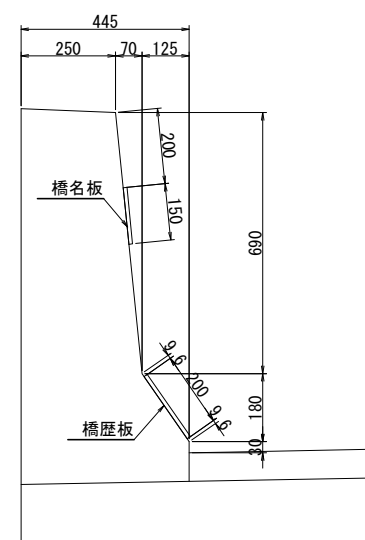
ボルト取付部詳細 S=1:2



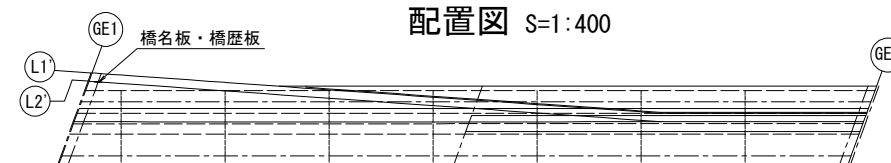
- (1個当たり)
- 4-コンクリートアンカー M8用 (SUS304)
  - 4-BOLT M8x15 (SUS304)
  - 4-ワッシャー M8 (SUS304)
  - 4-スプリングワッシャー M8 (SUS304)



取付位置 S=1:20



配置図 S=1:400



- 注)
1. 材料は、JIS H 4000A 5052P(アルミニウム板)の規定に適合したものを標準とし、表面は透明の高耐候性フィルムにより被覆することとする。
  2. 橋名板の文字は丸ゴシックとする。
  3. 橋歴板の文字はゴシックとする。
  4. 橋歴板及び橋歴板に用いる色は黒地に金色とする。また、縁6mmについても文字と同様に金色とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 橋名板・橋歴板		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

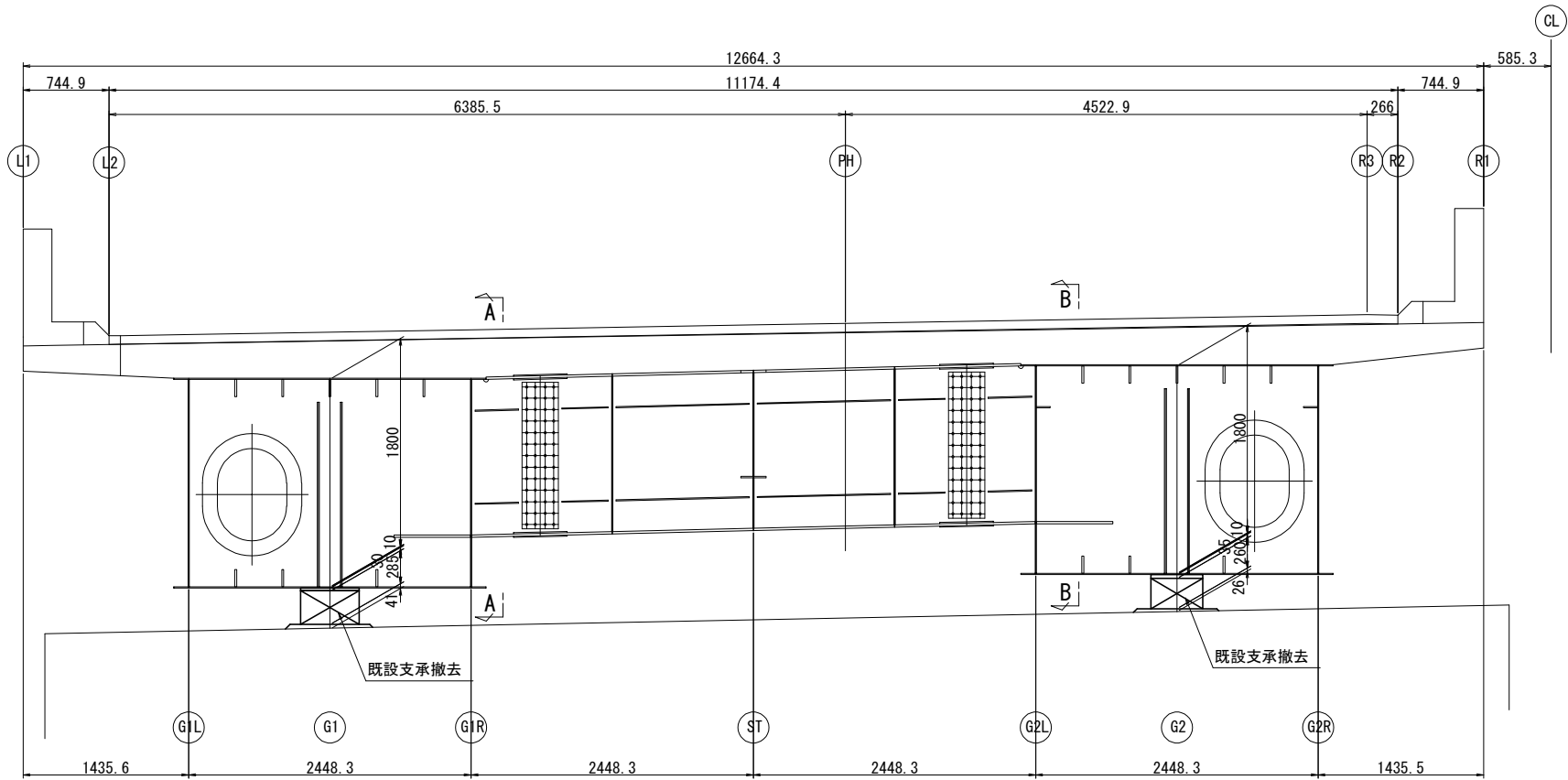


川田橋（下り線）A1橋台支承交換詳細図（その1） S=1:60

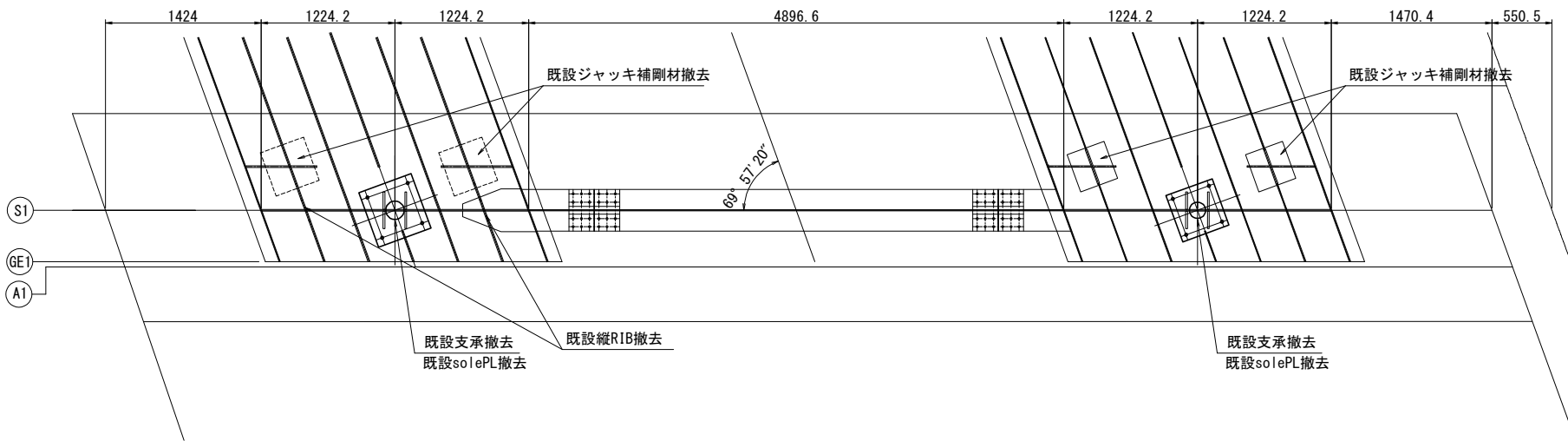
現状

A1支点部

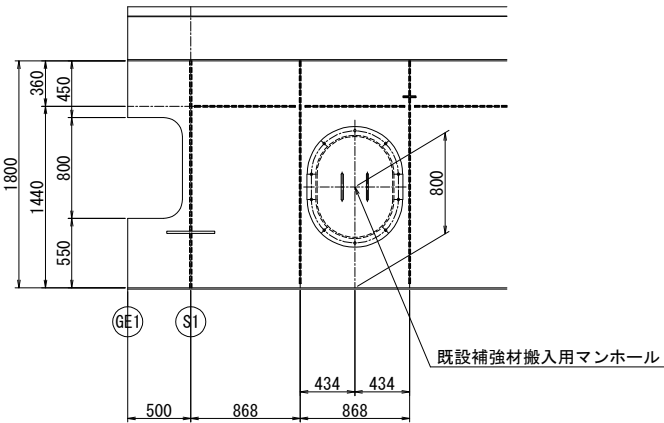
正面図



平面図

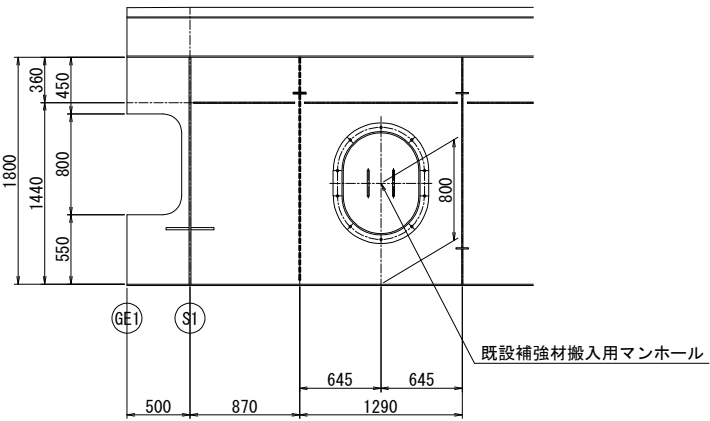


A - A  
G1R側



<製作数：1箇所>  
2-COV PL 760x32x960 (SM490YB)  
1-PL 760x9x960 (SS400)  
2-RB 16φx300 (SS400)  
10-BN M20x120 (1-W) (SS400)

B - B  
G2L側



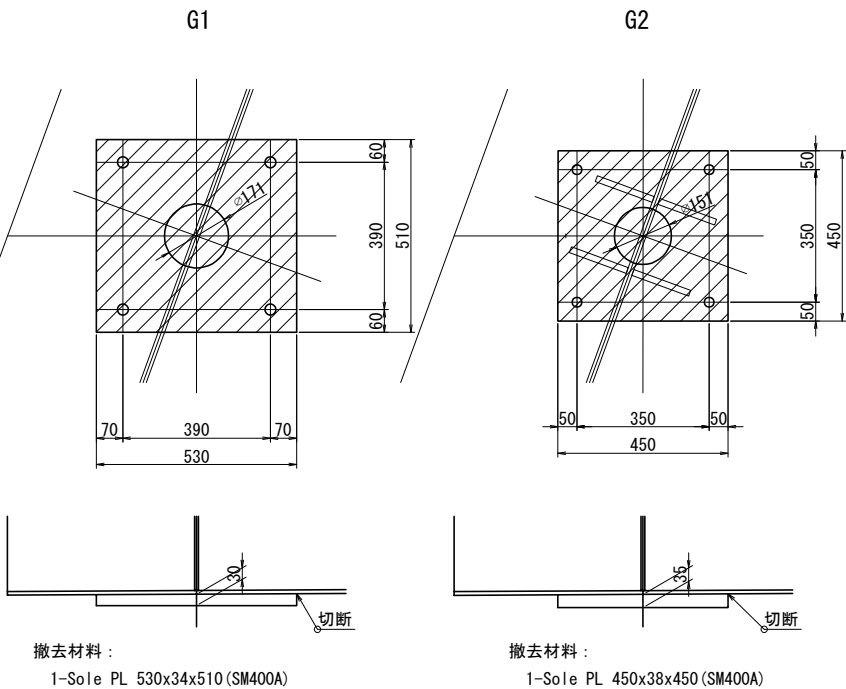
<製作数：1箇所>  
2-COV PL 760x32x960 (SM490YB)  
1-PL 760x9x960 (SS400)  
2-RB 16φx300 (SS400)  
10-BN M20x120 (1-W) (SS400)

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線）		
	A1橋台支承交換詳細図（その1）		
縮尺	S=1:60	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

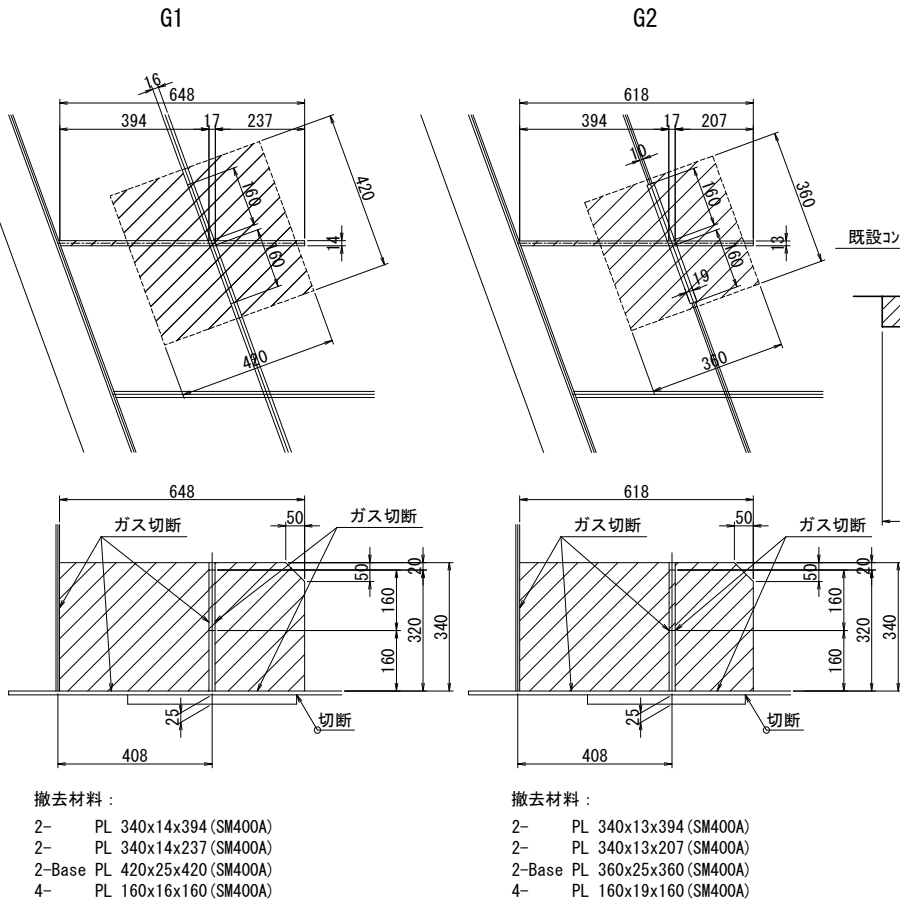


撤去詳細図

既設ソールプレート撤去

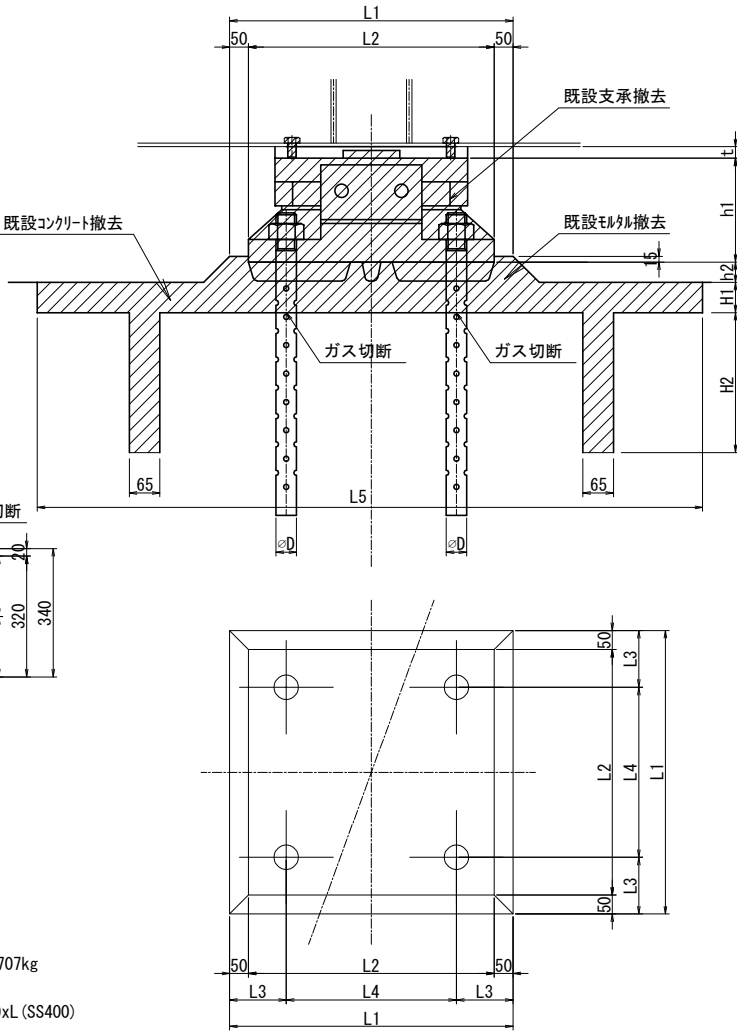


既設ジャッキ補剛材撤去



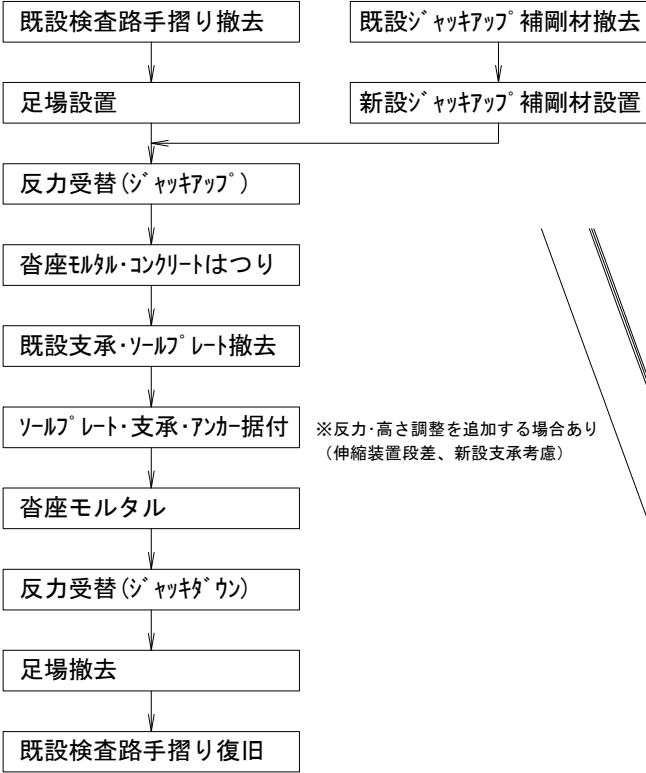
既設支承撤去

(新設支承範囲も含めて撤去)

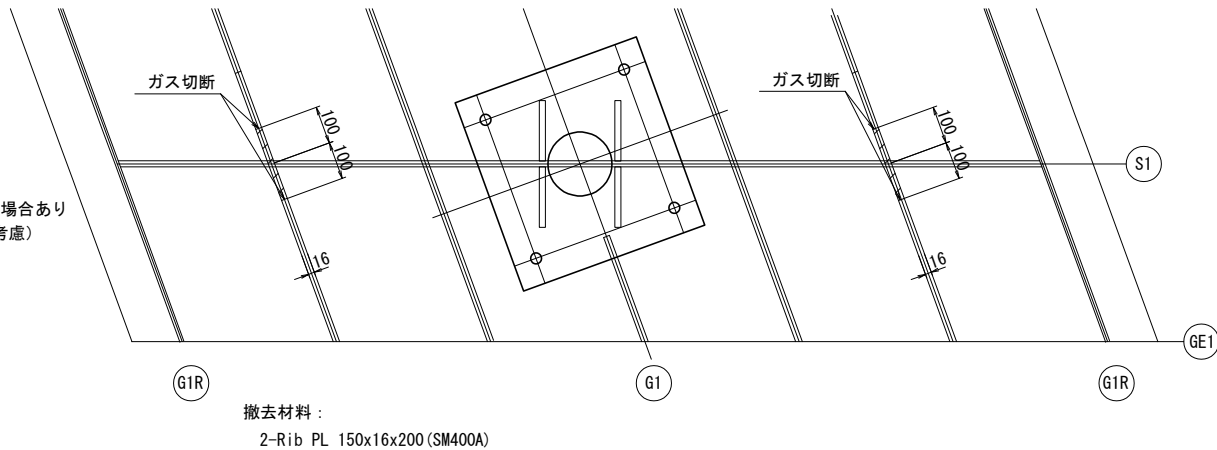


	G1	G2
h1	285	260
h2	30	30
L1	800	730
L2	700	630
L3	155	150
L4	240	240
H1	80	80
L	650	575
t	30	35
D	70	65
L5	1760	1760
L6	1400	1400
L7	1230	1230
H2	370	400

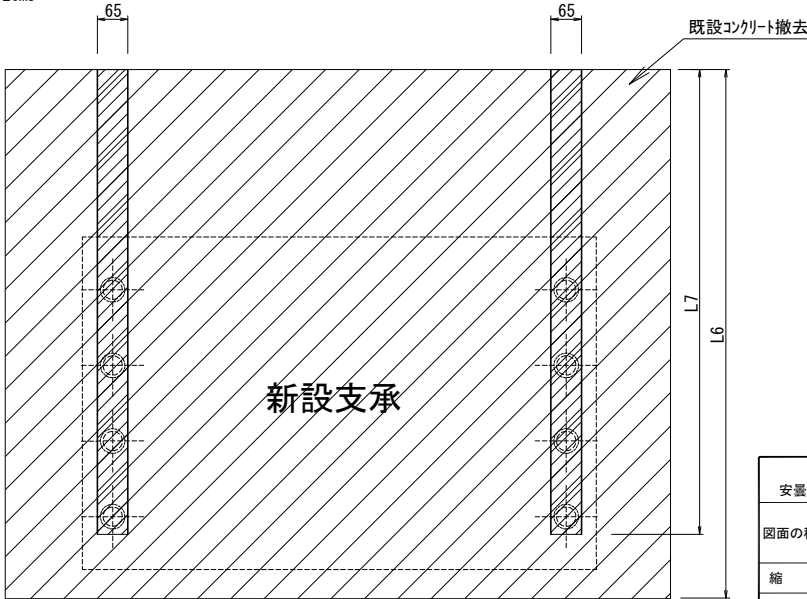
施工ステップ



既設縦RIB撤去



新設支承



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 支承交換詳細図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社		
事務所名	関東支社 長野工事事務所		

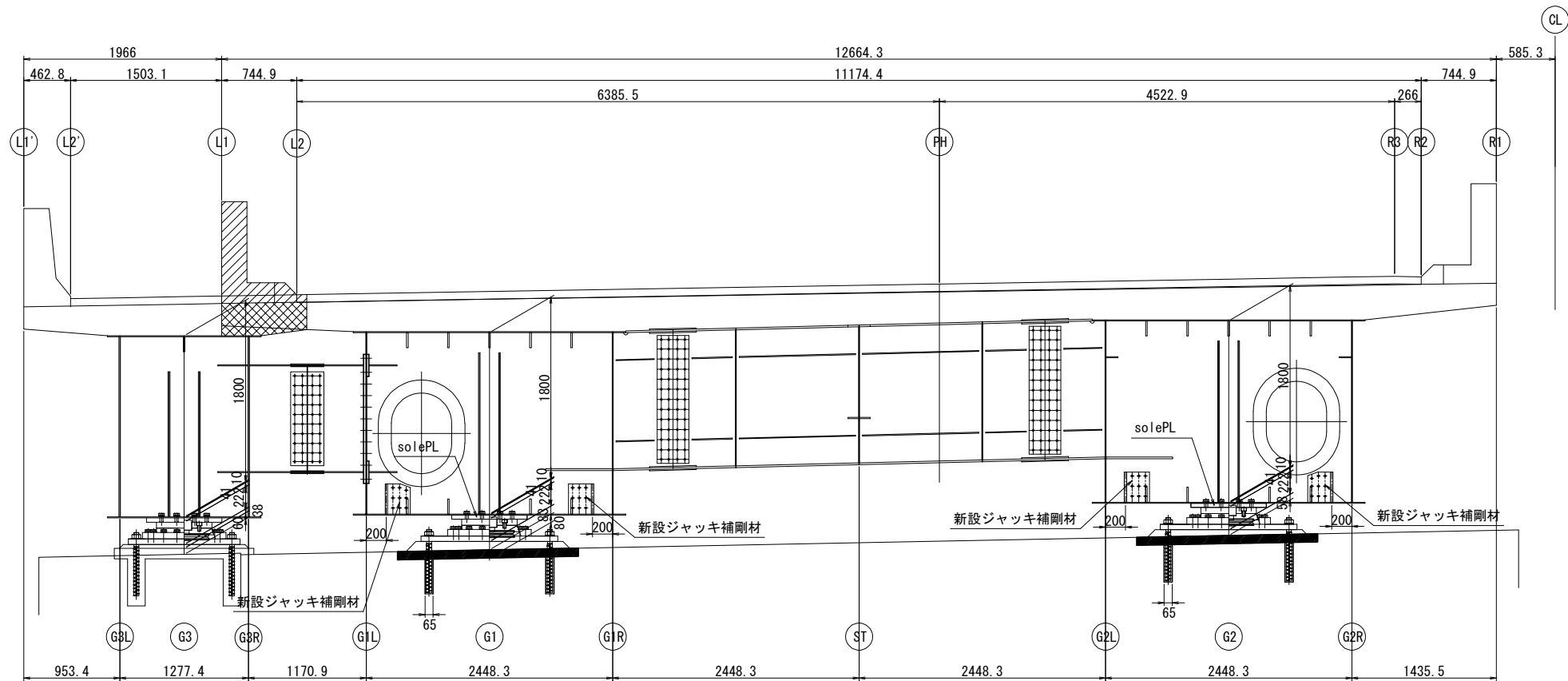


川田橋（下り線）A1橋台支承交換詳細図（その3） S=1:60

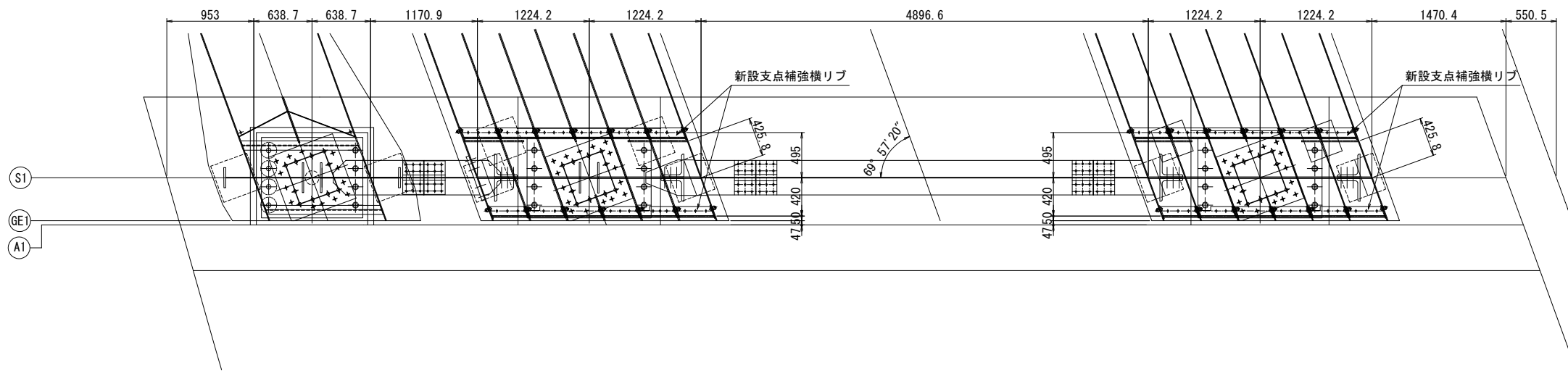
完成図

A1支点部

正面図



平面図



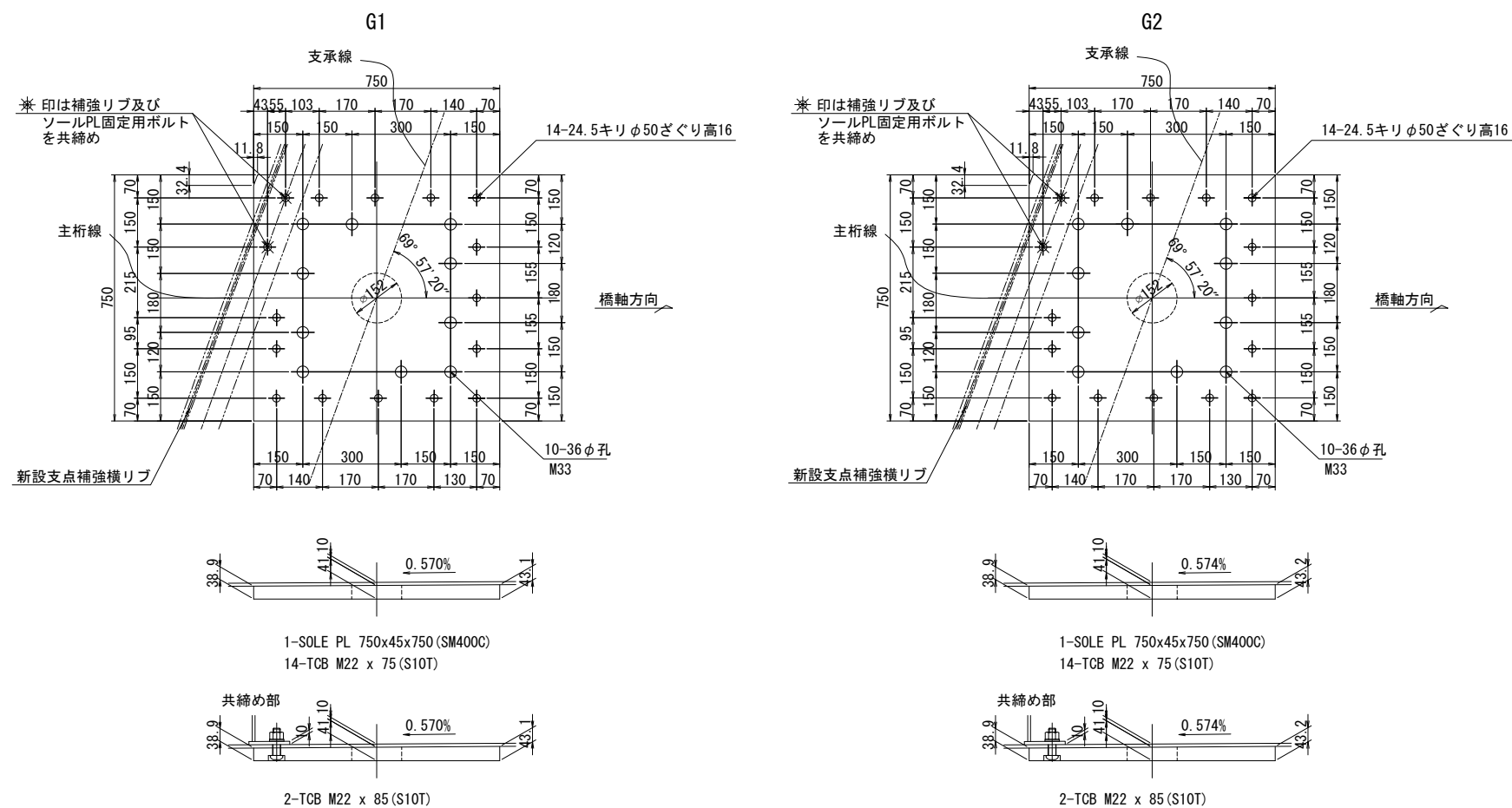
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 支承交換詳細図（その3）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



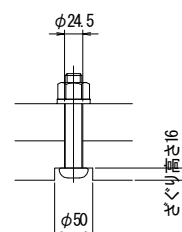
川田橋（下り線）A1橋台支承交換詳細図（その4） S=1:20

補強詳細図

## ソールプレート詳細



## ざぐり部詳細 S=1:10



注記

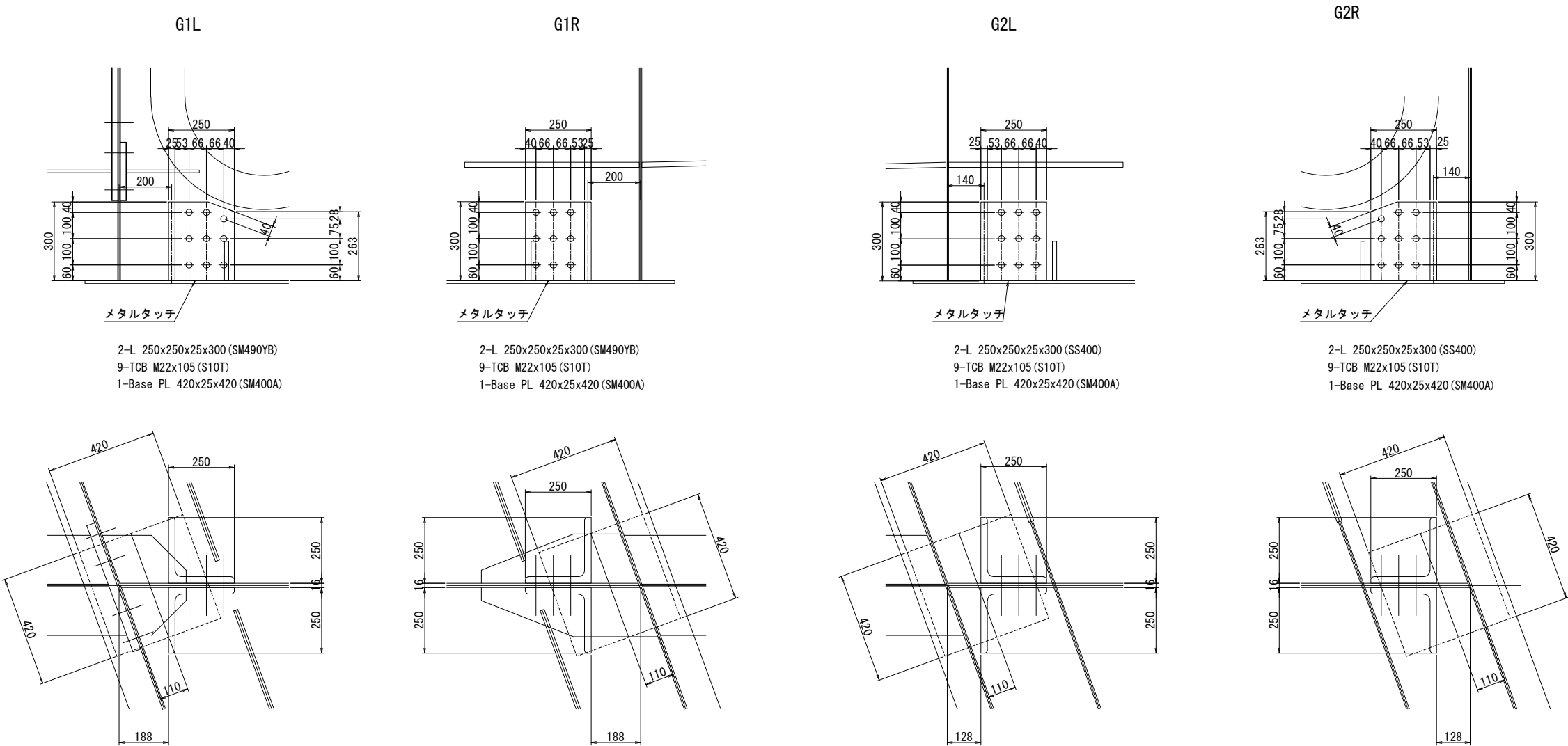
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、 $\phi 26.5$ とする。

<p>長野自動車道          安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事</p>			
図面の種類	<p>川田橋（下り線）          支承交換詳細図（その4）</p>		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	<p>東日本高速道路株式会社          関東支社 長野工務事務所</p>		



補強詳細図

新設ジャッキ補剛材詳細



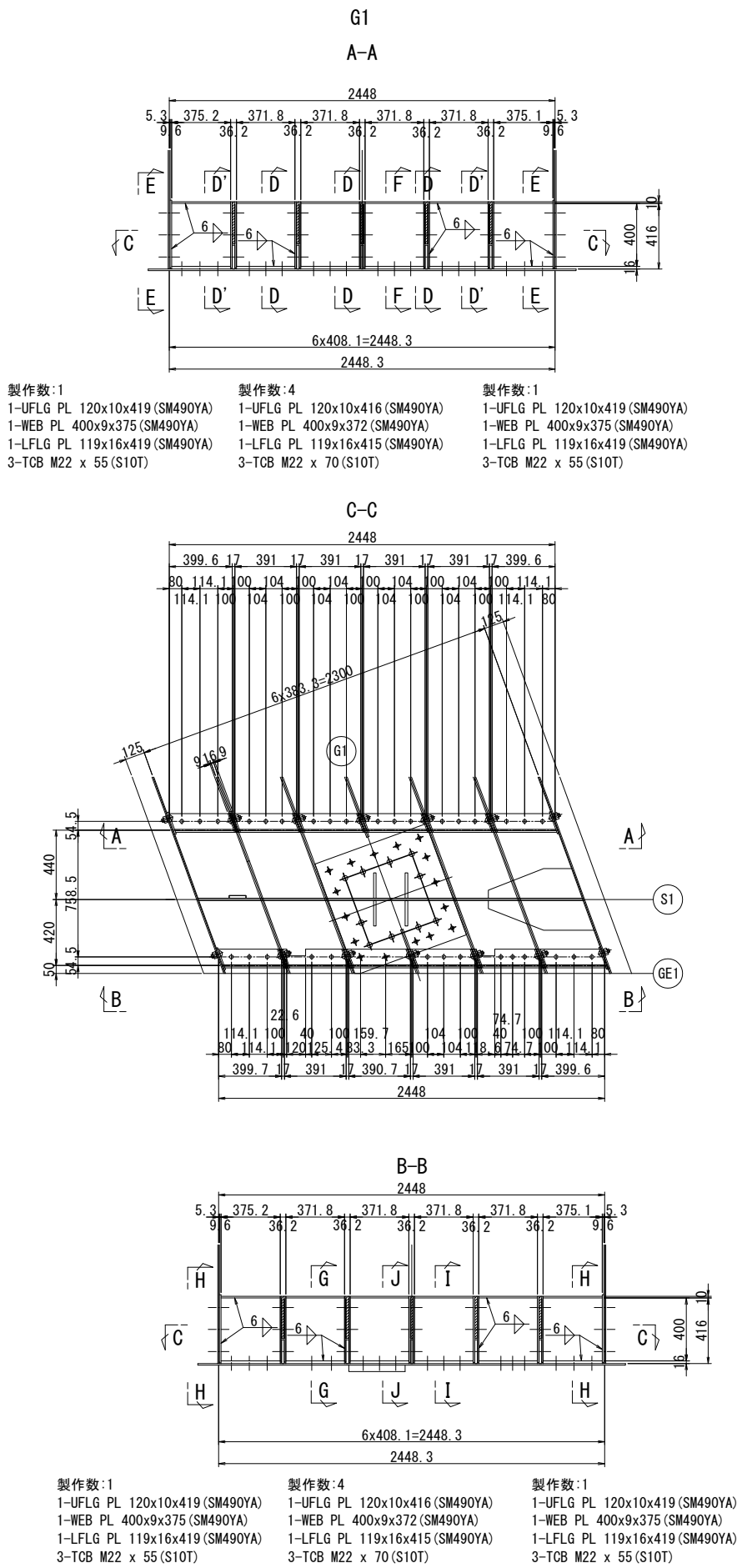
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

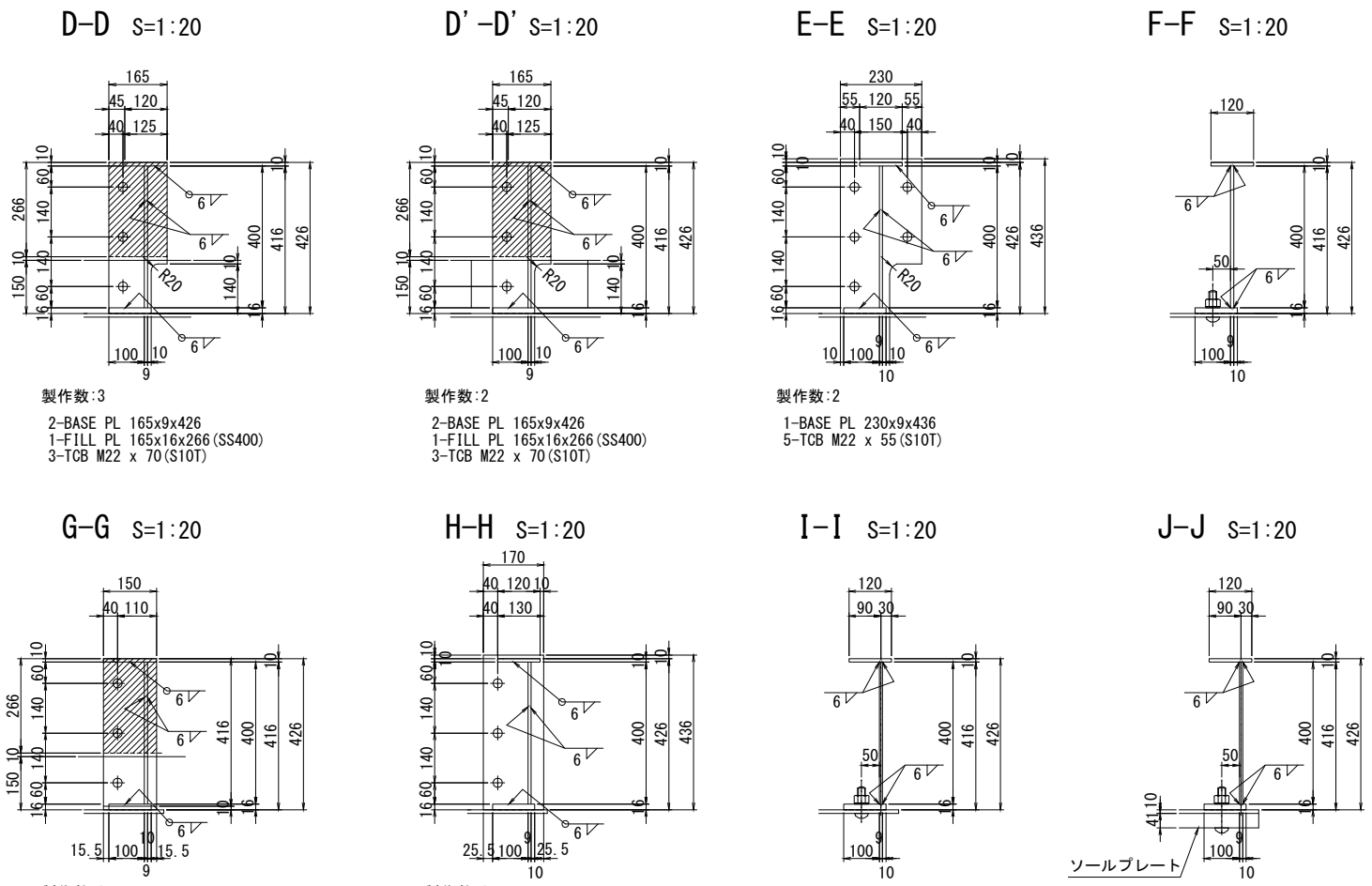
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 支承交換詳細図（その5）		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



既設支点補強横リブの補強詳細



補強詳細図

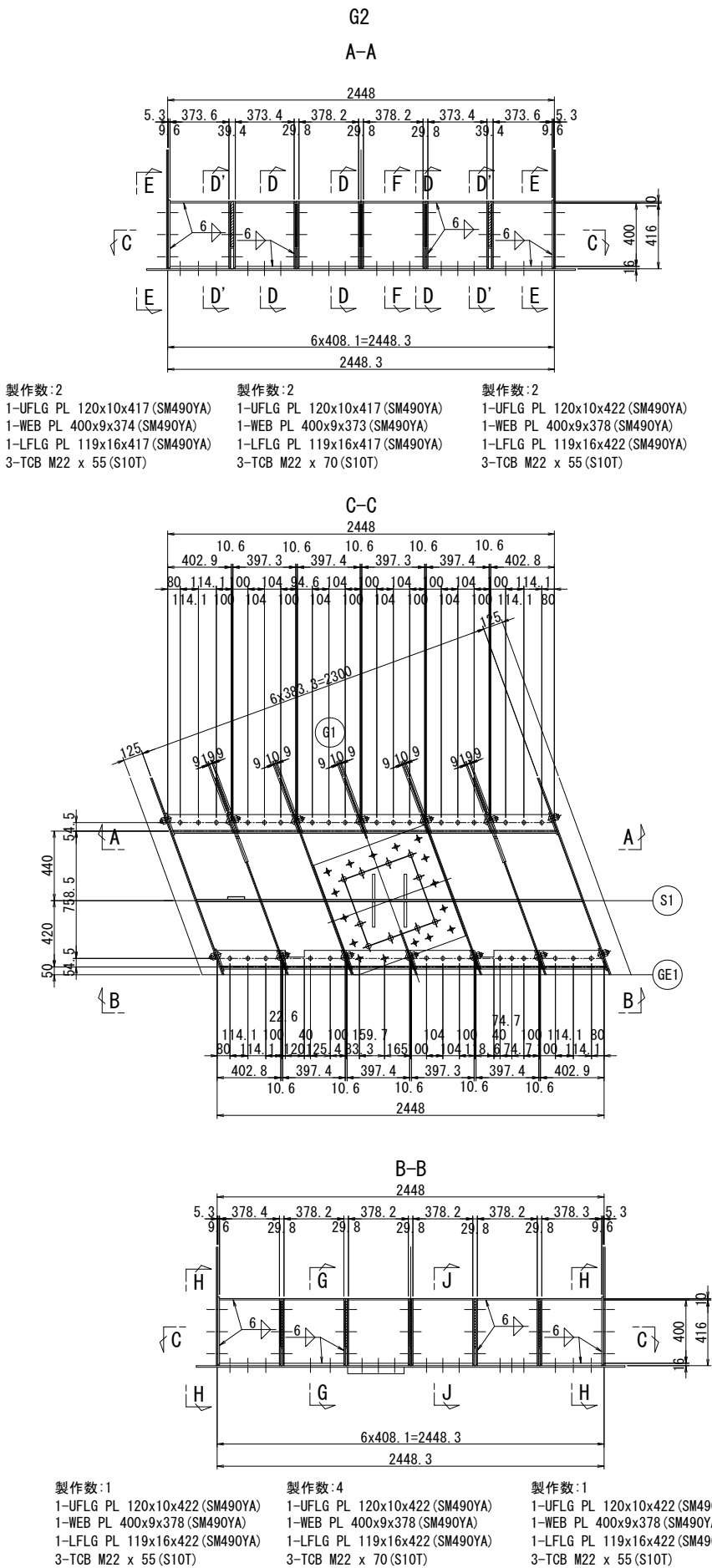


注記  
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。  
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

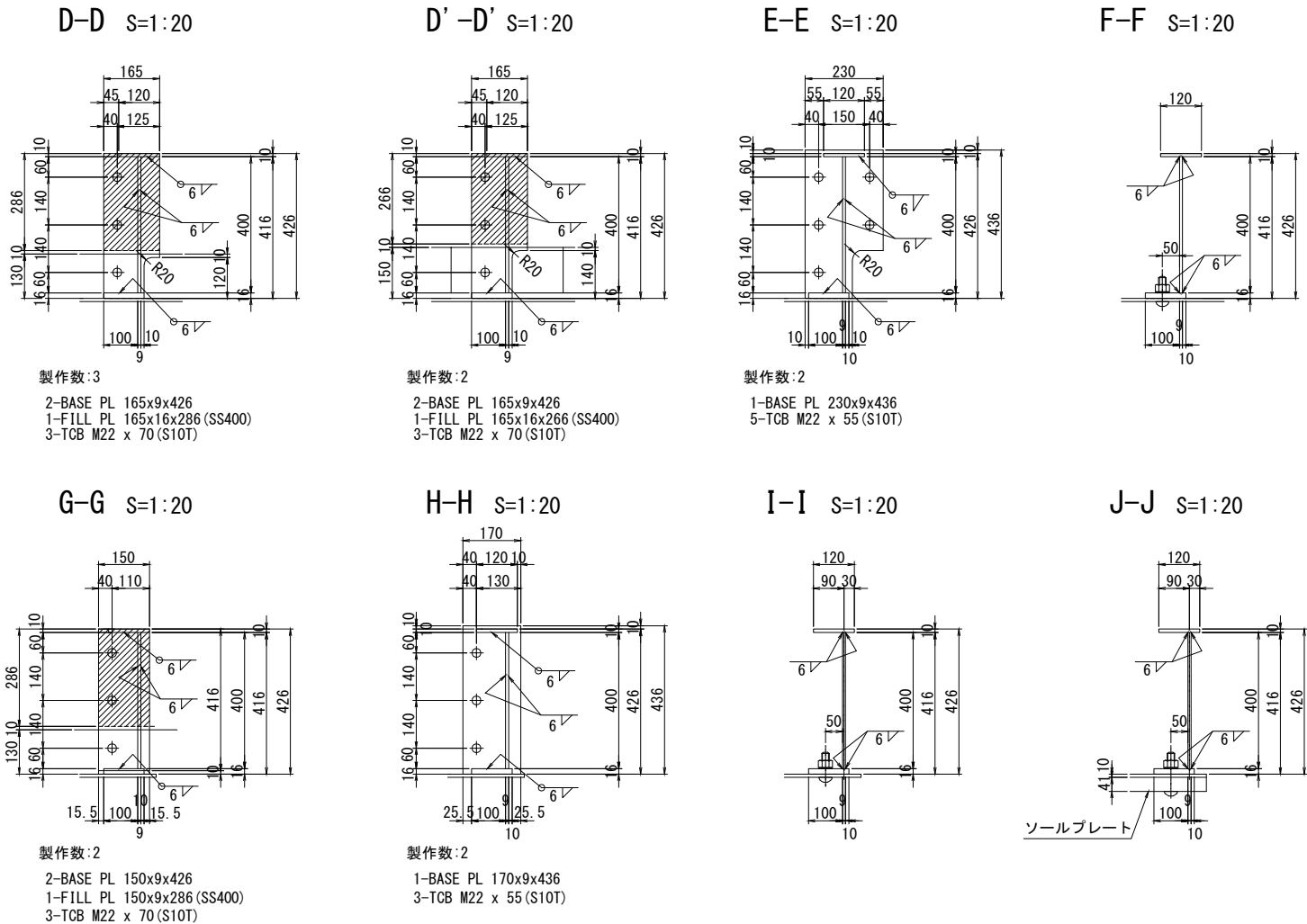
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 支承交換詳細図（その6）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



既設支点補強横リブの補強詳細



補強詳細図



注記  
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。  
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

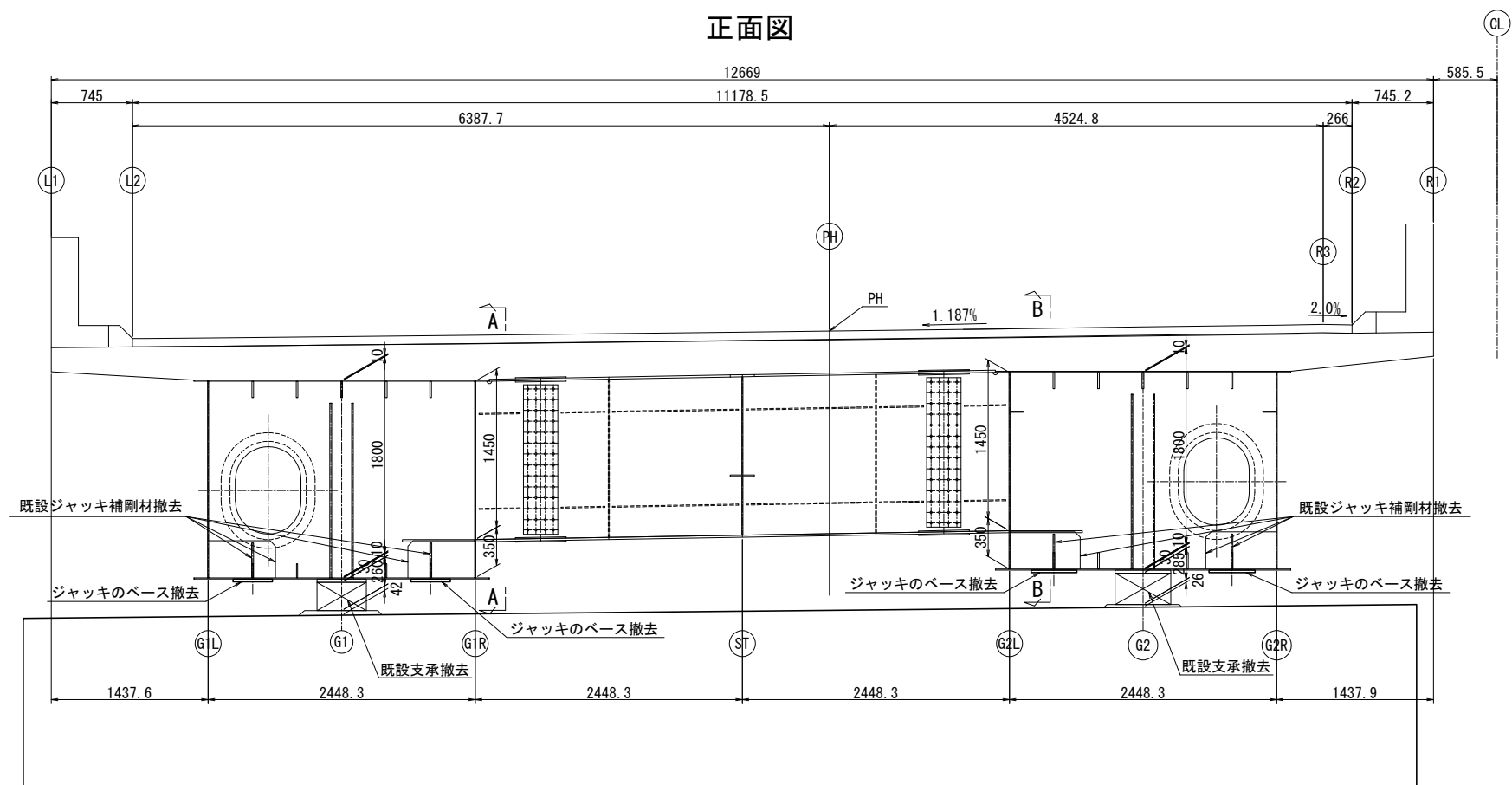
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 支承交換詳細図（その7）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）A2橋台支承交換詳細図（その1） S=1:60

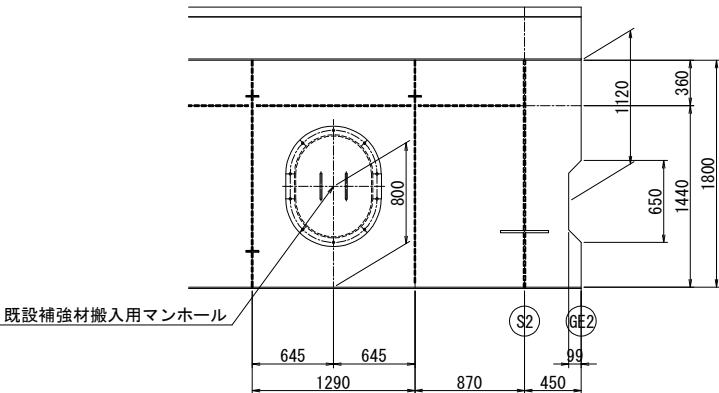
現状

正面図



A - A

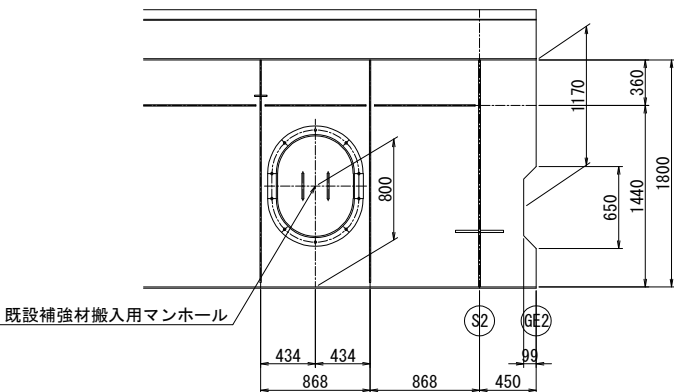
G1R側



<製作数：1箇所>  
2-COV PL 760x32x960 (SM490YB)  
1-PL 760x9x960 (SS400)  
2-RB 16φx300 (SS400)  
10-BN M20x120 (1-W) (SS400)

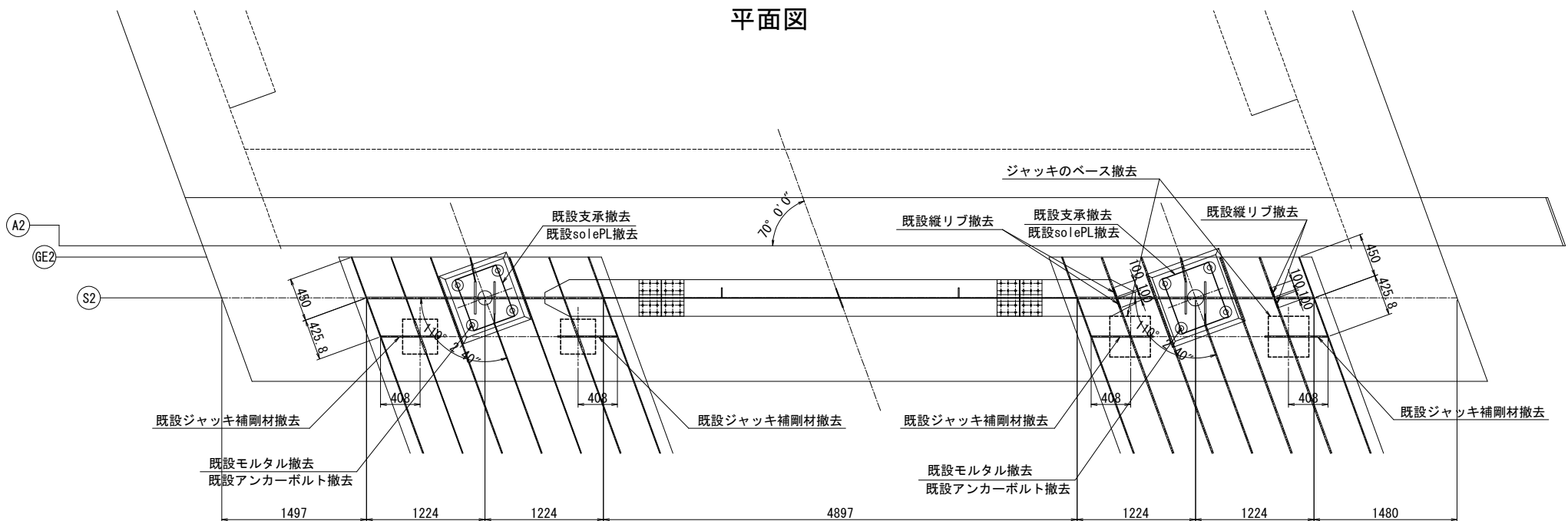
B - B

G2L側



<製作数：1箇所>  
2-COV PL 760x32x960 (SM490YB)  
1-PL 760x9x960 (SS400)  
2-RB 16φx300 (SS400)  
10-BN M20x120 (1-W) (SS400)

平面図

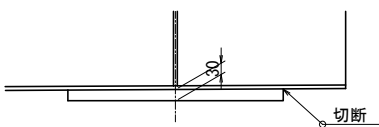
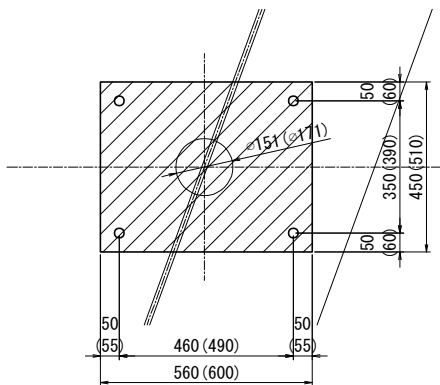


長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線）		
	A2橋台支承交換詳細図（その1）		
縮尺	S=1:60	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



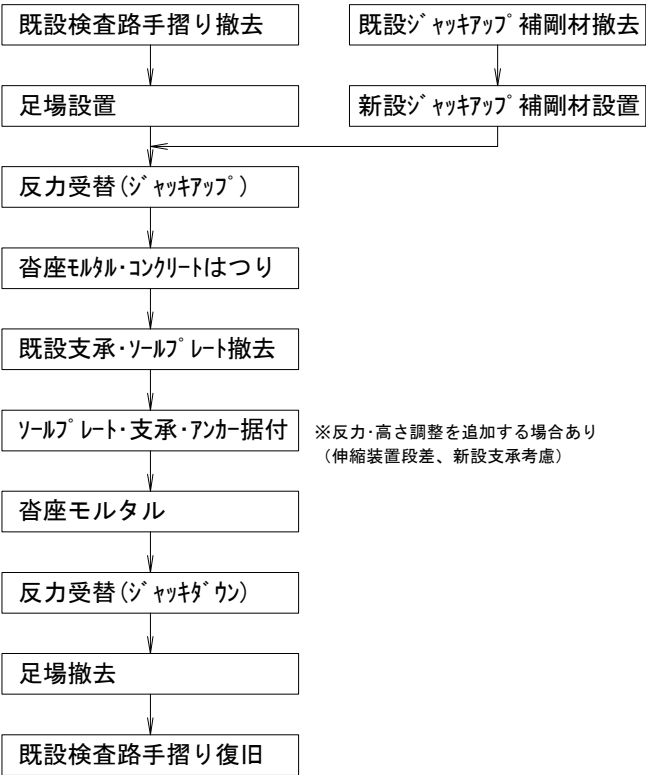
撤去詳細図

既設ソールプレート撤去



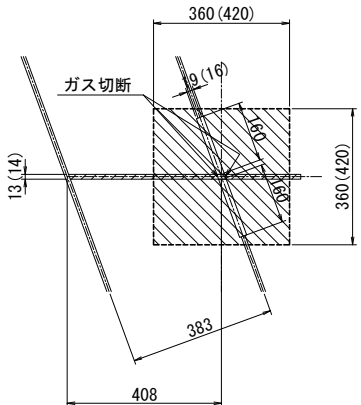
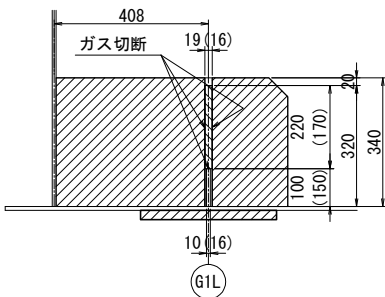
撤去材料：  
G1桁側：1-Sole PL 450x30x560 (SM400A)  
G2桁側：1-Sole PL 510x30x600 (SM400A)  
注：( ) 内寸法はG2桁を示す。

施工ステップ

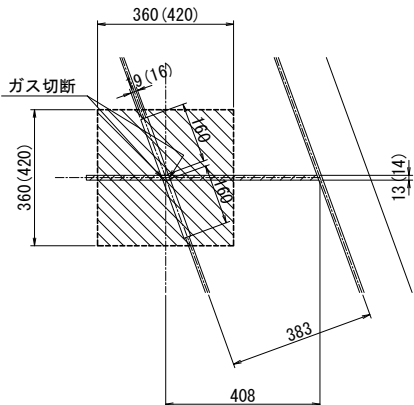
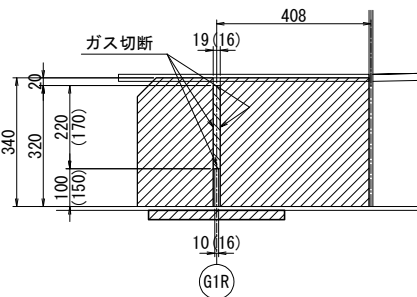


※反力・高さ調整を追加する場合あり  
(伸縮装置段差、新設支承考慮)

既設ジャッキ補剛材とベース撤去

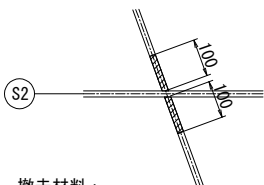
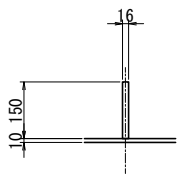


撤去材料：  
G1桁側：1-PL 397x13x340 (SS400)  
1-PL 202x13x340 (SS400)  
1-PL 360x25x360 (SM400A)  
2-PL 160x19x220 (SS400)  
G2桁側：1-PL 399x14x340 (SS400)  
1-PL 229x14x340 (SS400)  
1-PL 420x25x420 (SM400A)  
2-PL 160x16x170 (SS400)



撤去材料：  
G1桁側：1-PL 397x13x340 (SS400)  
1-PL 202x13x340 (SS400)  
1-PL 360x25x360 (SM400A)  
2-PL 160x19x220 (SS400)  
G2桁側：1-PL 399x14x340 (SS400)  
1-PL 229x14x340 (SS400)  
1-PL 420x25x420 (SM400A)  
2-PL 160x16x170 (SS400)

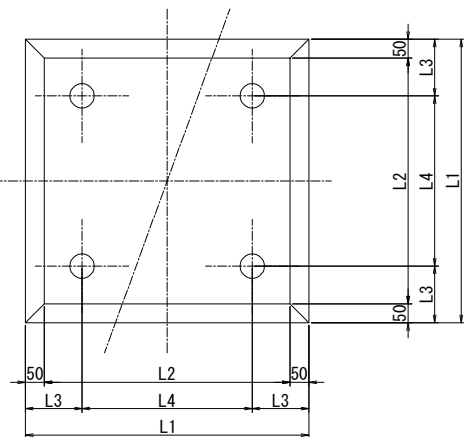
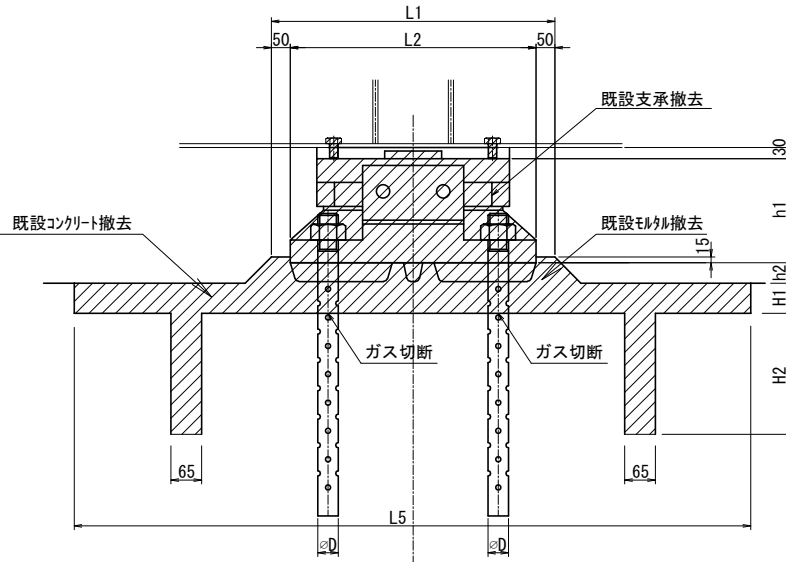
既設縦リブ撤去



撤去材料：  
G2桁側：4-PL 150x16x100 (SM490YA)

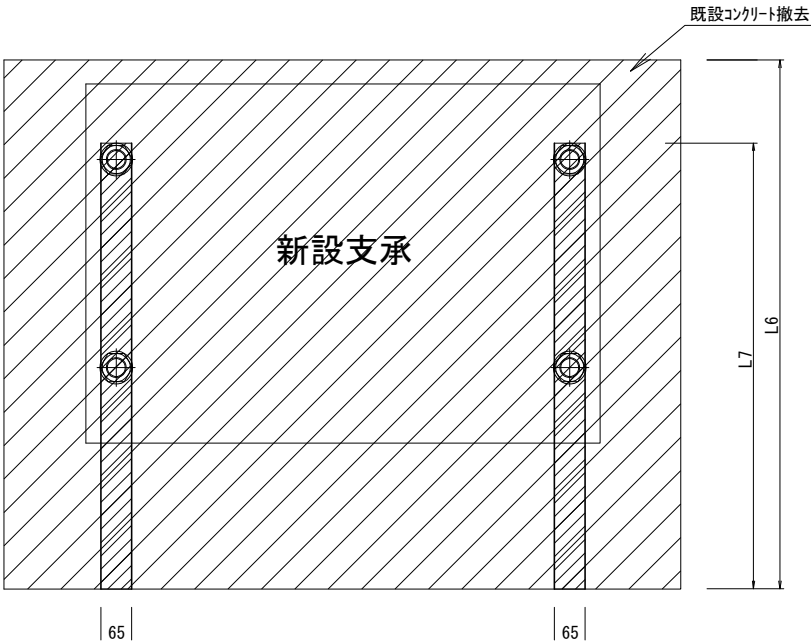
既設支承撤去

(新設支承範囲も含めて撤去)



	G1	G2
h1	260	285
L1	730	800
L2	630	700
L3	150	155
L4	430	490
H1	80	80
D	46	50
h2	27	11
L	235	220
L5	1770	1790
L6	1400	1400
L7	1180	1180
H2	330	320

新設支承



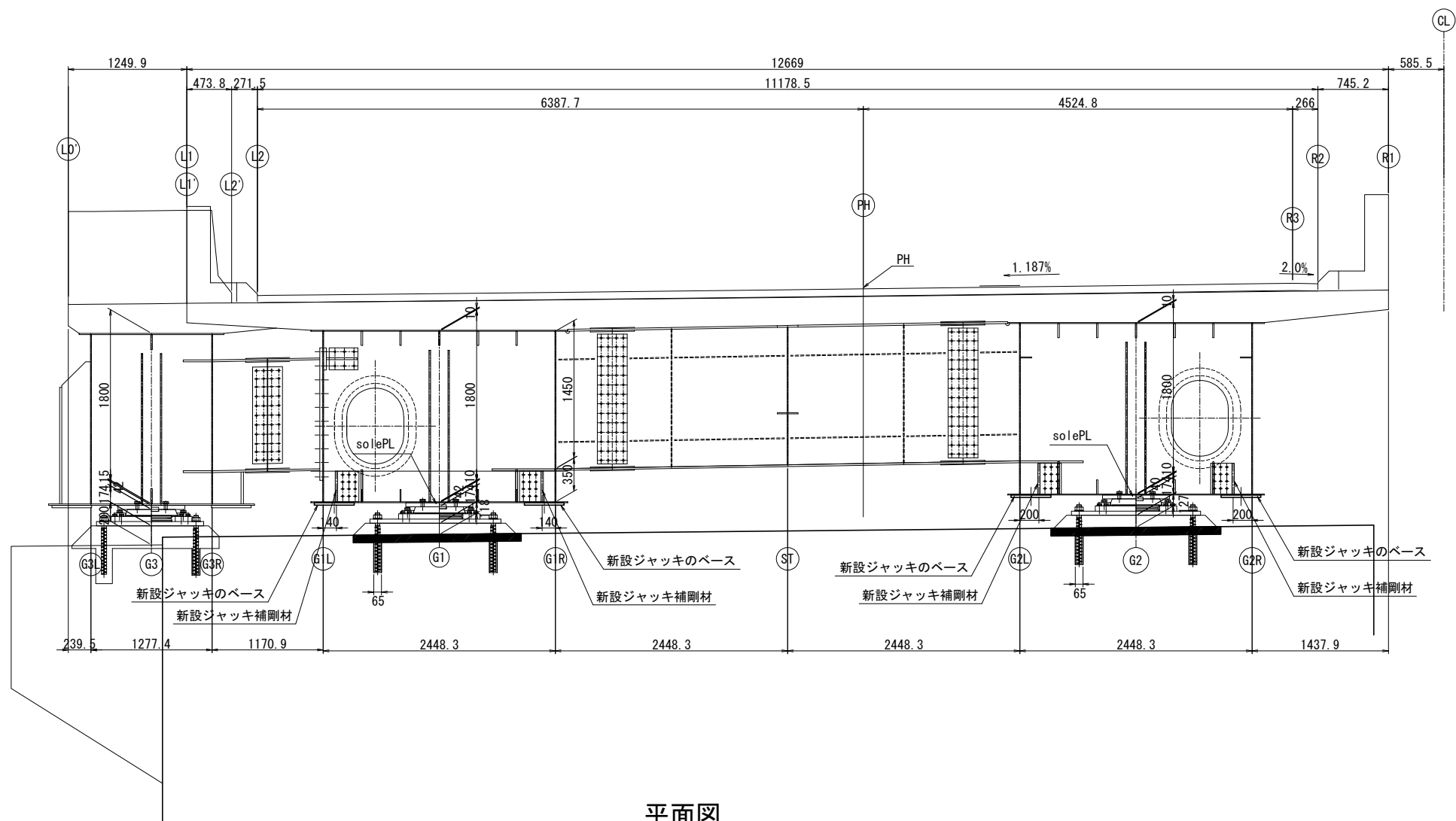
撤去材料：  
既設支承撤去: 2箇所 撤去重量 G1 689kg , G2 906kg  
既設アンカーボルト撤去：  
G1桁4箇所： 1-アンカーボルト 46xL (SS400)  
1-NUT M45 (SS400)  
G2桁4箇所： 1-アンカーボルト 50xL (SS400)  
1-NUT M48 (SS400)  
既設モルタル撤去体積： G1: 0.04m3 , G2: 0.02m3  
既設コンクリート撤去体積： G1: 0.25m3 , G2: 0.25m3

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） A2橋台支承交換詳細図（その2）		
縮尺	S=1:20	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

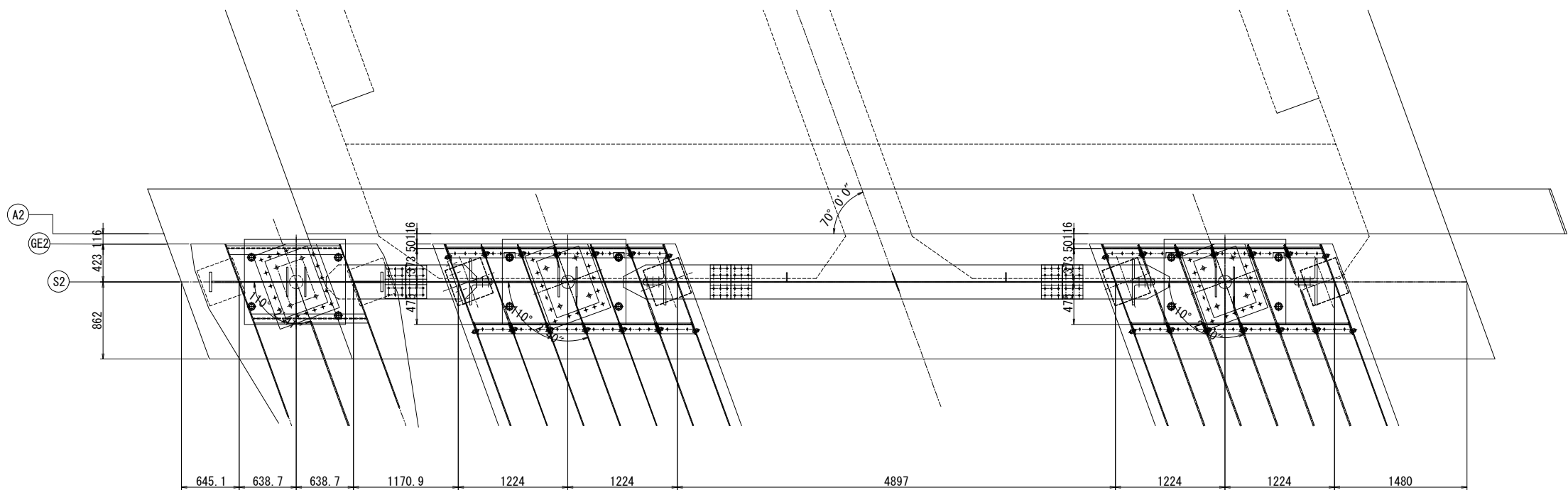


川田橋（下り線）A2橋台支承交換詳細図（その3） S=1:60

完成図



平面図



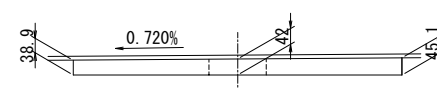
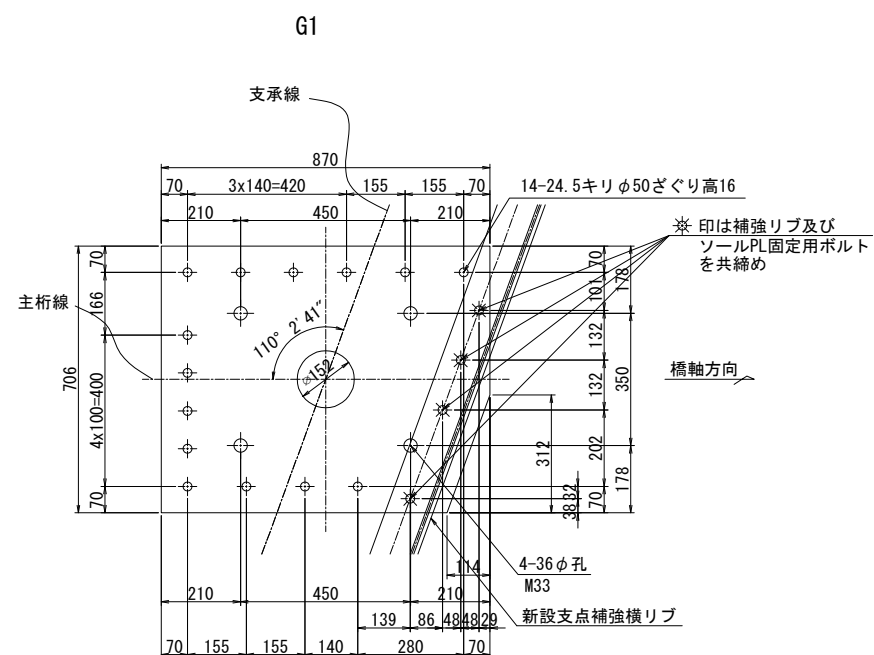
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線）		
	A2橋台支承交換詳細図（その3）		
縮尺	S=1:60	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



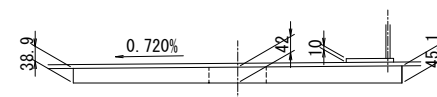
川田橋（下り線）A2橋台支承交換詳細図（その4） S=1:20

補強詳細図

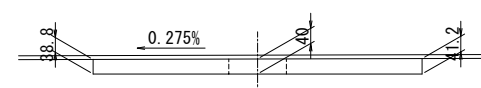
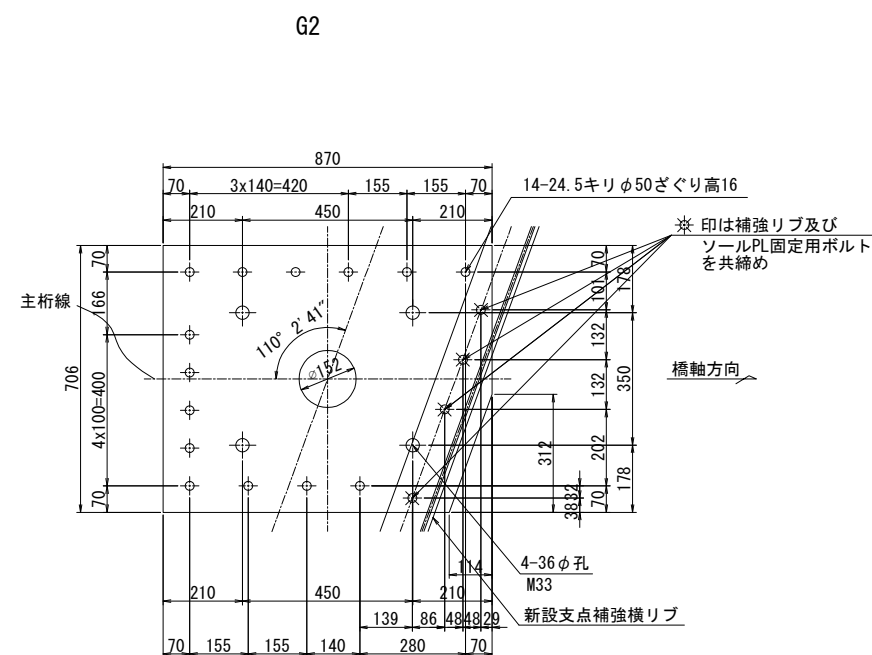
## ソールプレート詳細



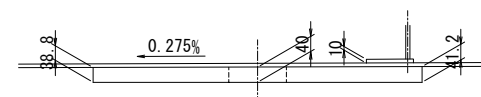
1-SOLE PL 870x47x706 (SM400C)  
14-TCB M22 x 75 (S10T)



4-TCB M22 x 85 (S10T)

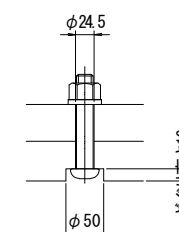


1-SOLE PL 870x44x706 (SM400C)  
14-TCB M22 x 70 (S10T)



4-TCB M22 x 80 (S10T)

## ざぐり部詳細 S=1:10



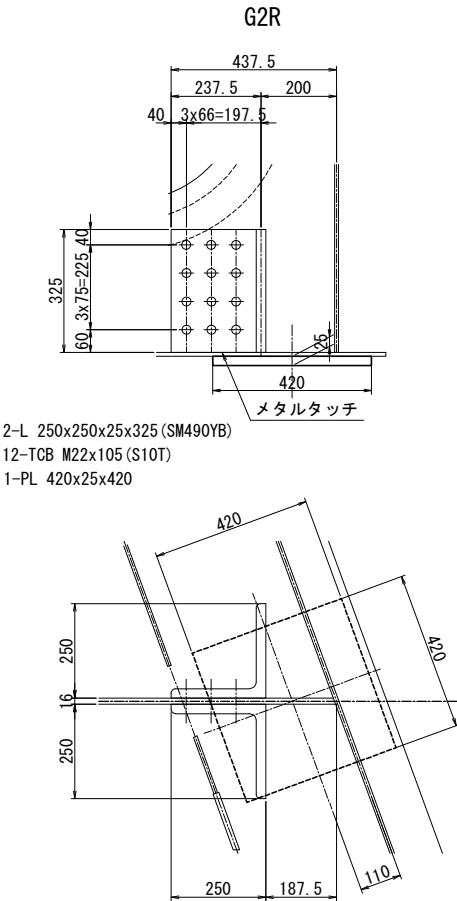
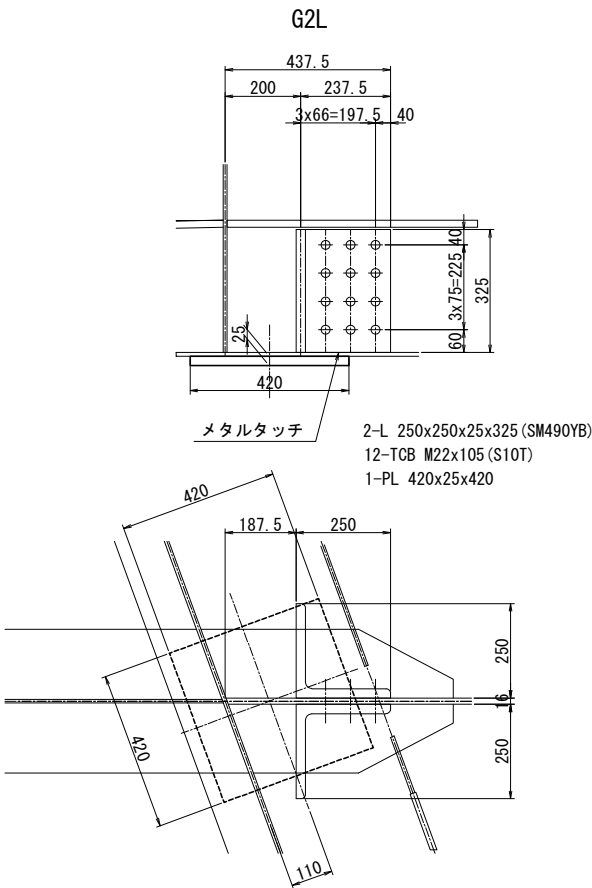
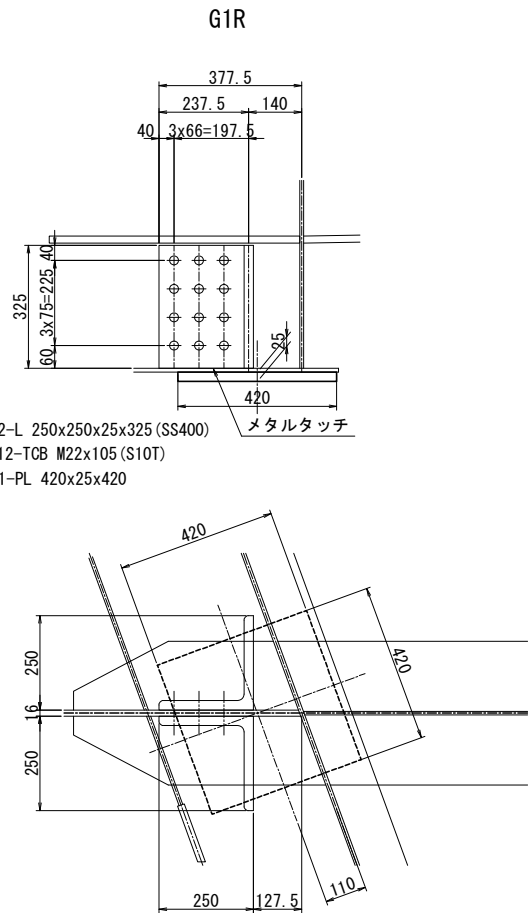
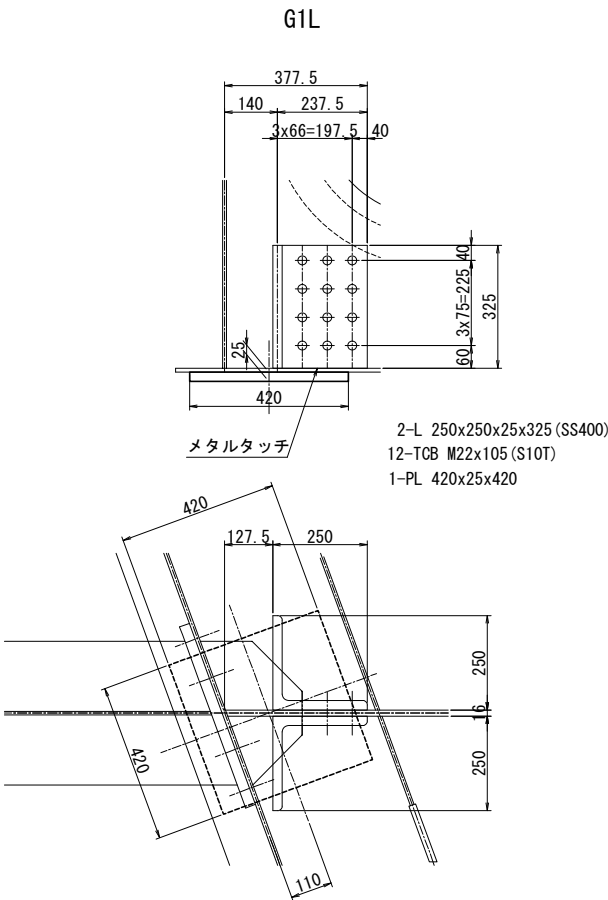
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、 $\phi 26.5$ とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上廊工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） A2橋台支承交換詳細図（その4）		
縮 尺	S=1:20	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



補強詳細図  
新設ジャッキ補剛材とベース詳細



注記

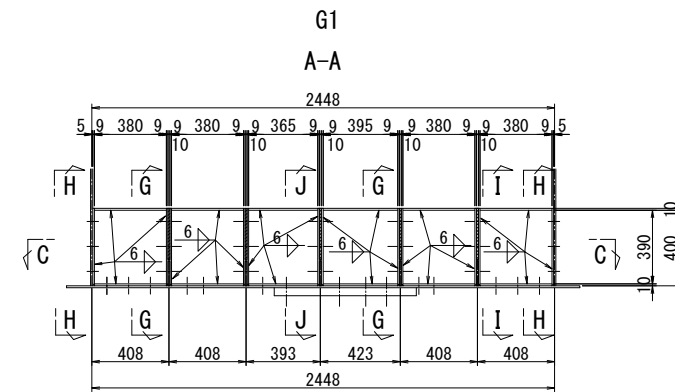
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線）		
	A2橋台支承交換詳細図（その5）		
縮尺	S=1:20	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

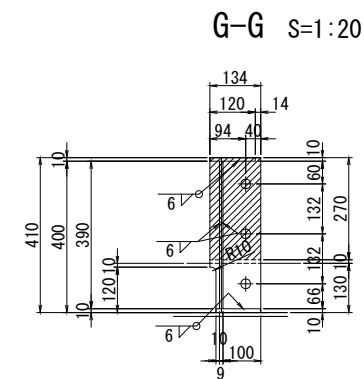


川田橋（下り線）A2橋台支承交換詳細図（その6） S=1:40

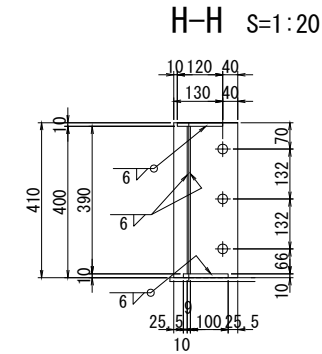
## 補強詳細図



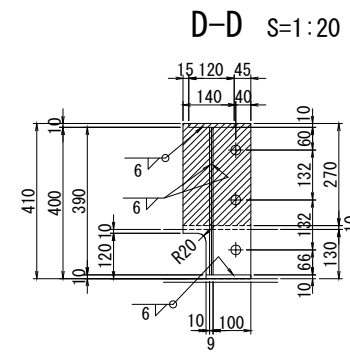
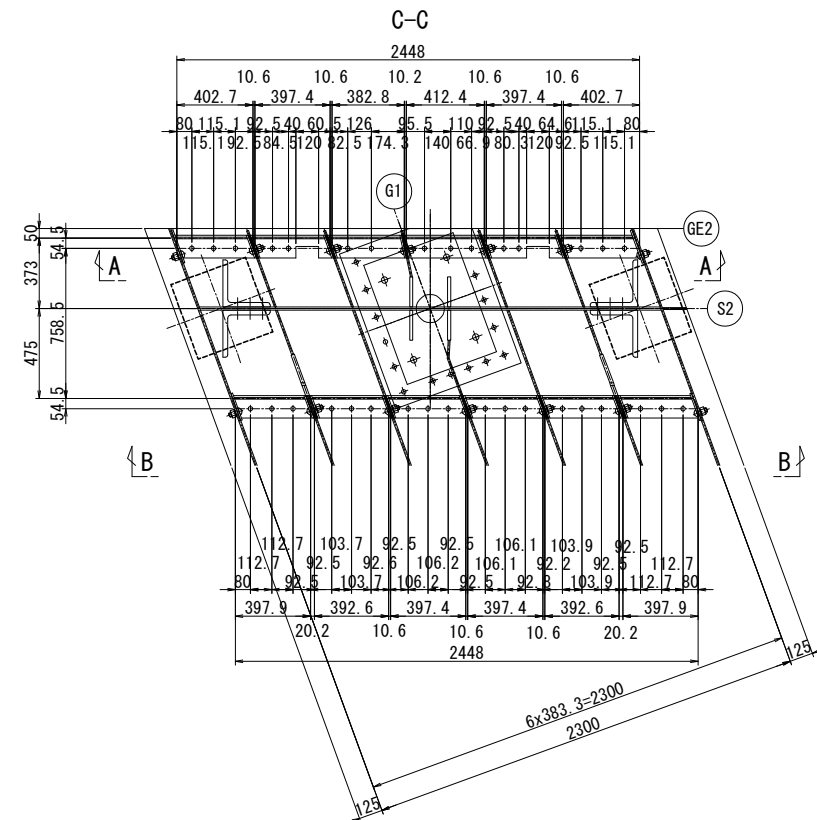
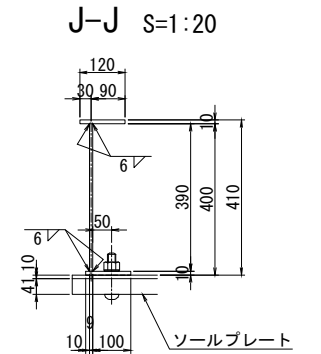
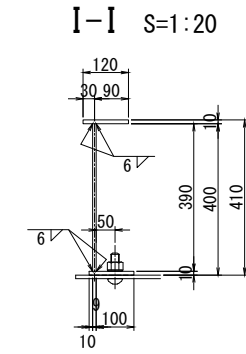
1-UFLG PL 120x10x422	1-UFLG PL 120x10x422	1-UFLG PL 120x10x402
1-WEB PL 390x9x381	1-WEB PL 390x9x382	1-WEB PL 390x9x375
1-LFLG PL 119x10x421	1-LFLG PL 119x10x422	1-LFLG PL 119x10x400
3-TCB M22 x 55 (S10T)	2-TCB M22 x 55 (S10T)	1-TCB M22 x 55 (S10T)
		1-TCB M22 x100 (S10T)
1-UFLG PL 120x10x424	1-UFLG PL 120x10x422	1-UFLG PL 120x10x422
1-WEB PL 390x9x388	1-WEB PL 390x9x382	1-WEB PL 390x9x382
1-LFLG PL 119x10x426	1-LFLG PL 119x10x422	1-LFLG PL 119x10x422
3-TCB M22 x100 (S10T)	2-TCB M22 x 55 (S10T)	3-TCB M22 x 55 (S10T)



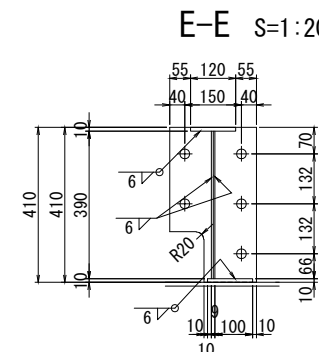
製作数:5  
2-BASE PL 146x9x410  
1-FILL PL 147x10x270 (SS400)  
3-TCB M22 x 65 (S10T)



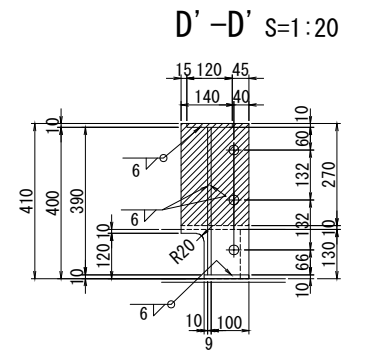
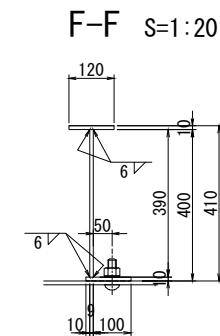
製作数:2  
1-BASE PL 184x9x410  
3-TCB M22 x 55(S10T)



製作数:3  
2-BASE PL 194x9x410  
1-FILL PL 195x10x270 (SS400)  
3-TCB M22 x 65 (S10T)



製作数:2  
1-BASE PL 248x9x410  
5-TCB M22 x 55 (S10T)

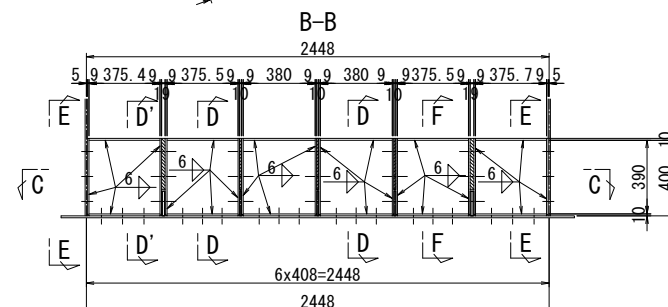


製作数:2

2-BASE PL 194x9x410

1-FILL PL 195x19x270 (SS400)

3-TCB M22 x 75 (S10T)



1-UFLG PL 120x10x417	1-UFLG PL 120x10x417	1-UFLG PL 120x10x422
1-WEB PL 390x9x377	1-WEB PL 390x9x377	1-WEB PL 390x9x382
1-LFLG PL 119x10x417	1-LFLG PL 119x10x417	1-LFLG PL 119x10x422
3-TCB M22 x 55 (S10T)	3-TCB M22 x 55 (S10T)	3-TCB M22 x 55 (S10T)

1-UFLG PL 120x10x422	1-UFLG PL 120x10x417	1-UFLG PL 120x10x417
1-WEB PL 390x9x381	1-WEB PL 390x9x377	1-WEB PL 390x9x377
1-LFLG PL 119x10x421	1-LFLG PL 119x10x417	1-LFLG PL 119x10x417
3-TCB M22 x 55 (S10T)	3-TCB M22 x 55 (S10T)	3-TCB M22 x 55 (S10T)

注記

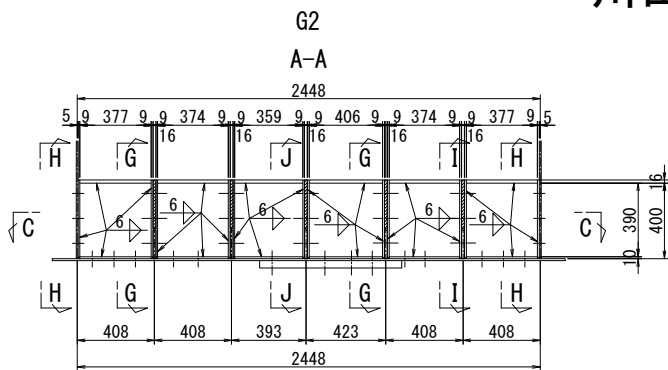
1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。
3. 特記なきボルト孔は、 $\phi 26.5$ とする。

長野自動車道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類		川田橋（下り線） A2橋台支承交換詳細図（その6）	
縮尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

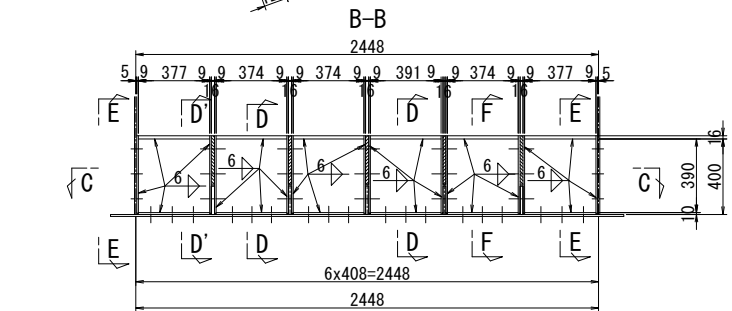
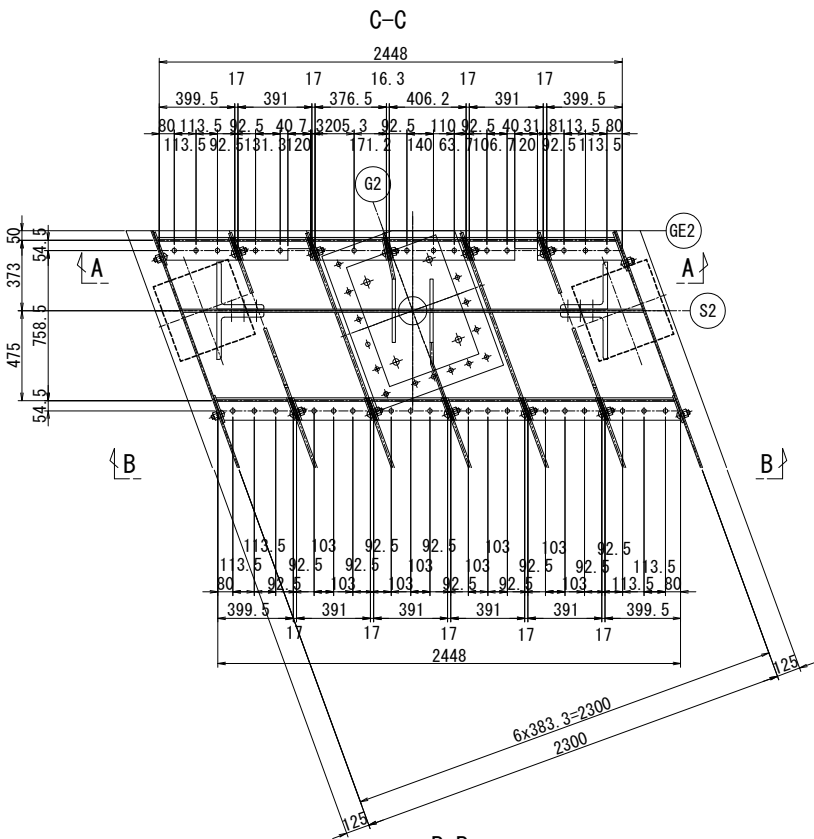


川田橋（下り線）A2橋台支承交換詳細図（その7） S=1:40

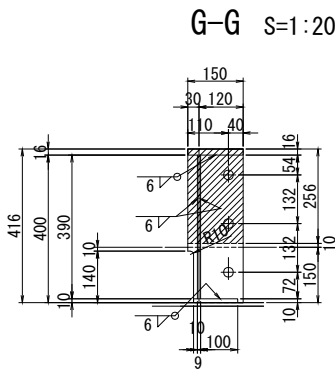
補強詳細図



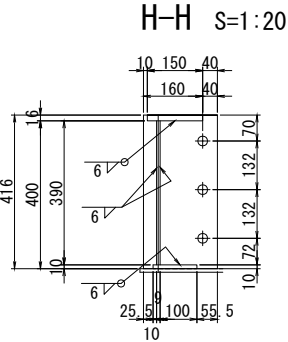
- 1-UFLG PL 150x16x430 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x378 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x418 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x427 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x375 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x415 (SM490YA)  
2-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x402 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x369 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x393 (SM490YA)  
1-TCB M22 x 95 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x429 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x381 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x420 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 95 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x427 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x375 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x415 (SM490YA)  
2-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x430 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x378 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x418 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)



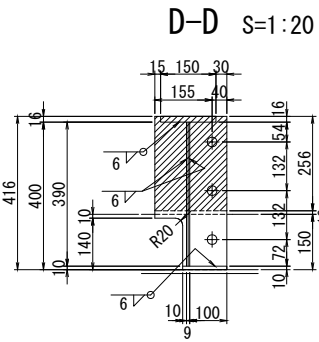
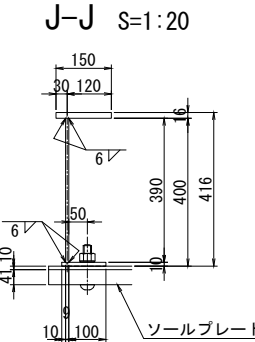
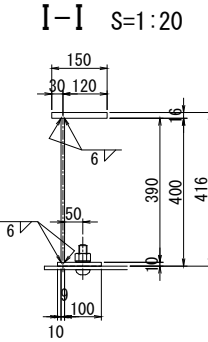
- 1-UFLG PL 150x16x430 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x378 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x418 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x427 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x375 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x415 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x427 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x375 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x415 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x427 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x375 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x415 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x427 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x375 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x415 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)
- 1-UFLG PL 150x16x430 (SM490YA)  
1-WEB PL 390x9x378 (SM490YA)  
1-LFLG PL 119x10x418 (SM490YA)  
3-TCB M22 x 55 (S10T)



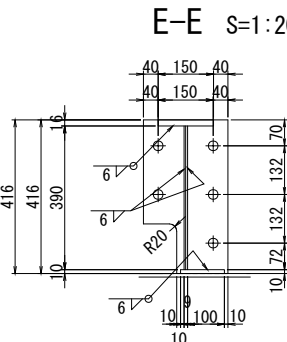
- 製作数: 5  
2-BASE PL 163x9x416  
1-FILL PL 166x16x256 (SS400)  
3-TCB M22 x 65 (S10T)



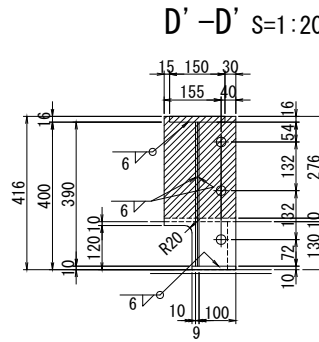
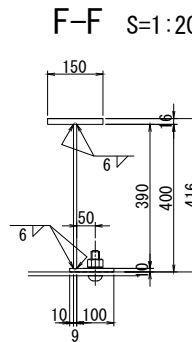
- 製作数: 2  
1-BASE PL 216x9x416  
3-TCB M22 x 55 (S10T)



- 製作数: 3  
2-BASE PL 211x9x416  
1-FILL PL 213x16x256 (SS400)  
3-TCB M22 x 70 (S10T)



- 製作数: 2  
1-BASE PL 248x9x416  
5-TCB M22 x 55 (S10T)



- 製作数: 2  
2-BASE PL 211x9x416  
1-FILL PL 213x16x276 (SS400)  
3-TCB M22 x 70 (S10T)

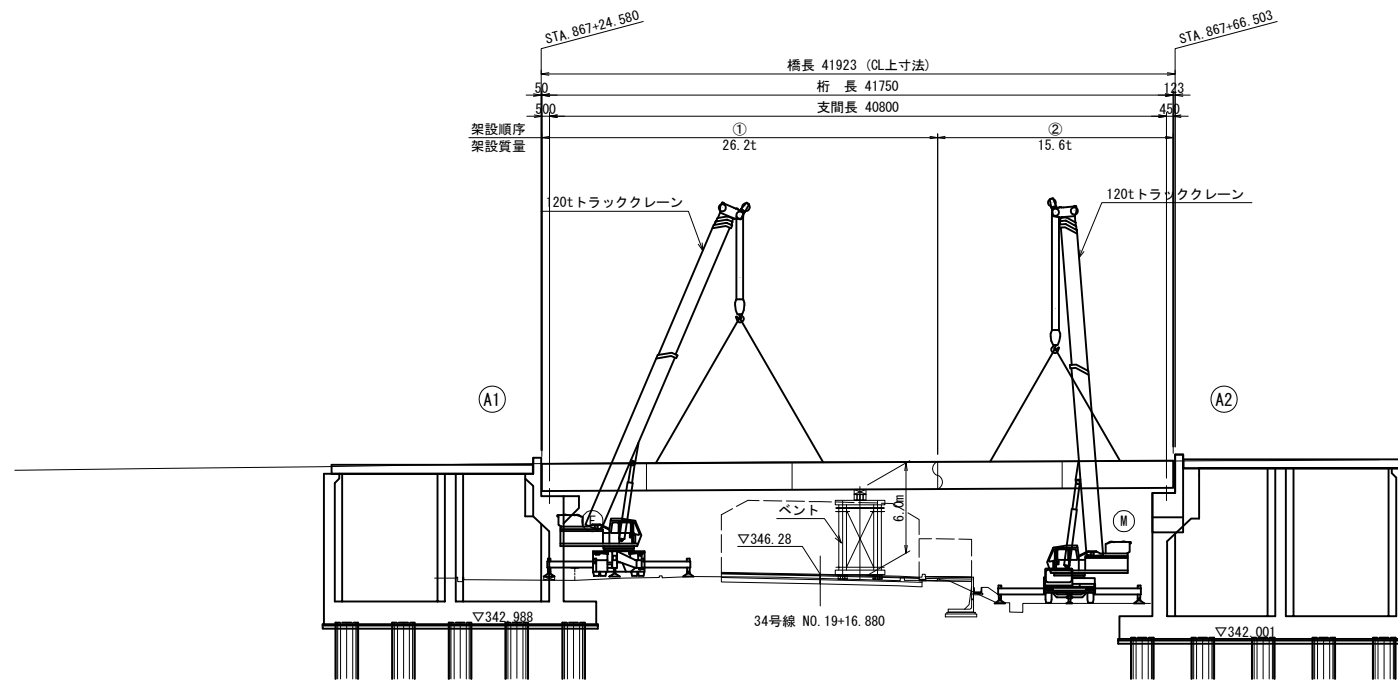
注記

1. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。  
2. 特記なきスカーラップは、全てR35とする。  
3. 特記なきボルト孔は、φ26.5とする。

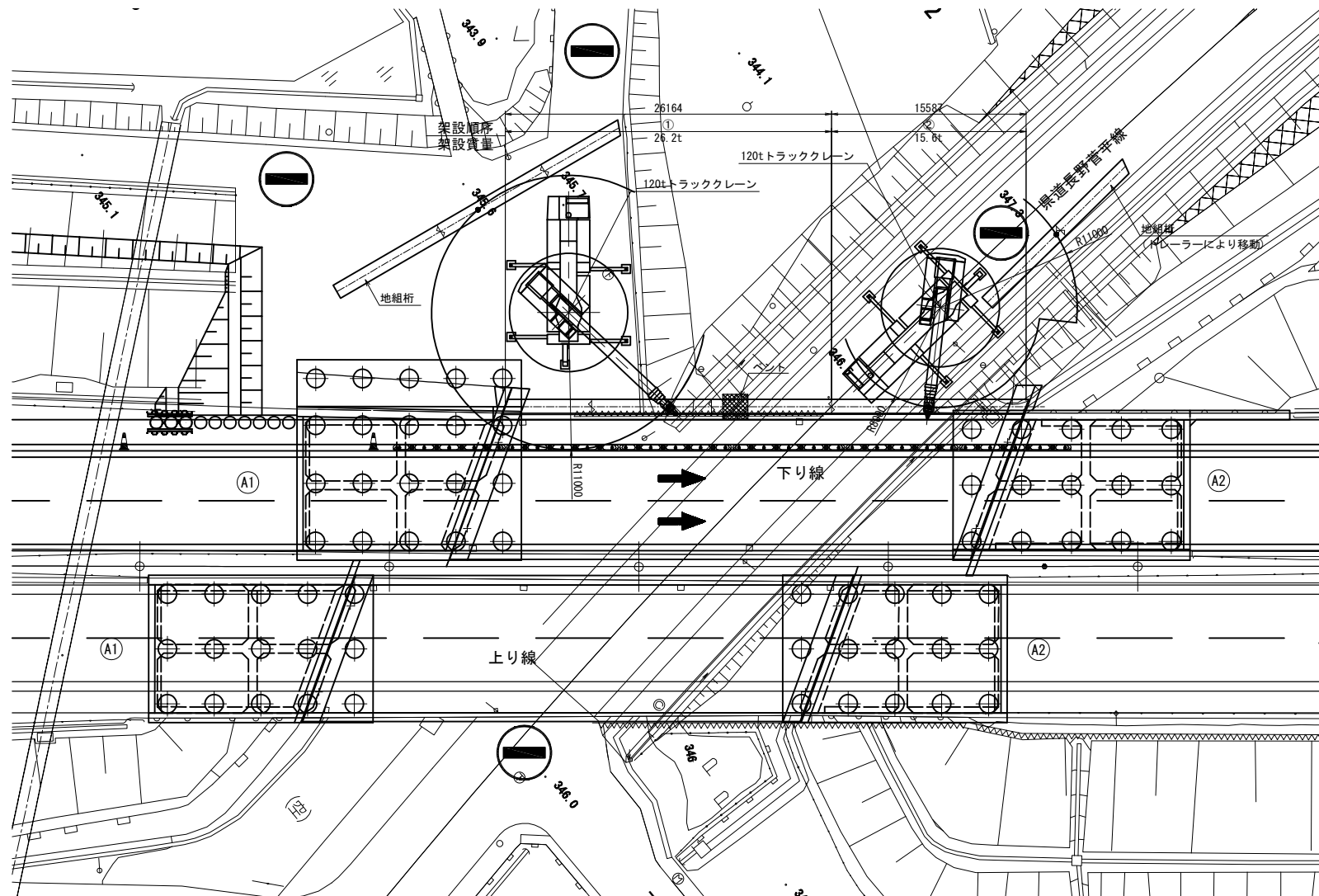
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） A2橋台支承交換詳細図（その7）		
縮尺	S=1:40	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



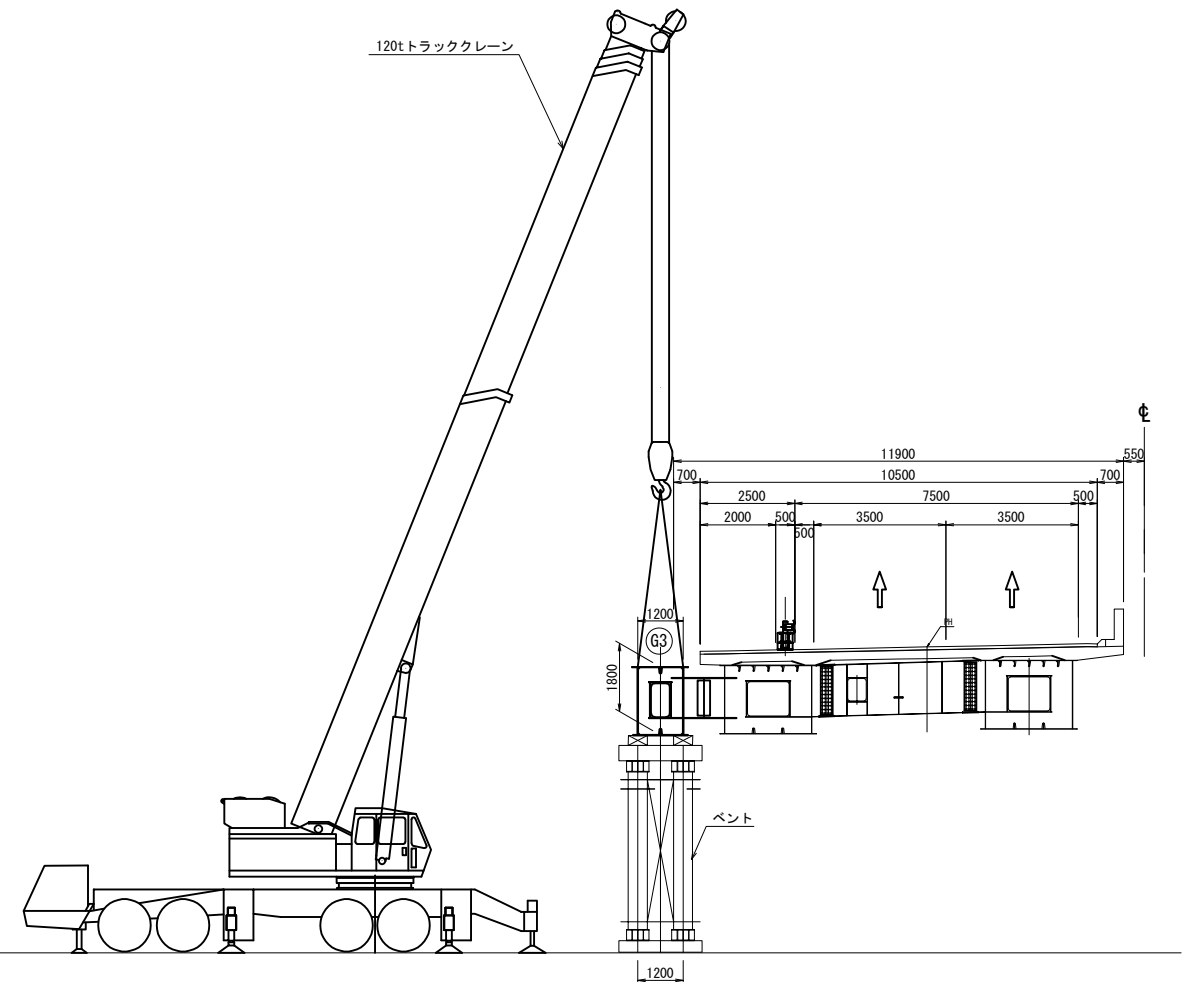
側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



断面図 S=1:200



120t吊トラッククレーン定格総荷重表 (KATO NK-1200-V)

作業半径 (m)	ブーム長			吊上重量 (t)
	L=18.15 m	L=22.7 m	L=31.8 m	
8.0	48.1	47.5	40.1	
9.0	41.5	41.0	36.0	
10.0	36.4	35.8	32.6	
11.0	32.0	31.5	29.7	26.9
12.0	28.2	27.9	27.1	
14.0	22.5	22.1	23.0	
16.0	18.0	17.8	19.7	
18.0		14.3	16.3	
20.0		11.5	13.6	

フック等質量 : 0.7t

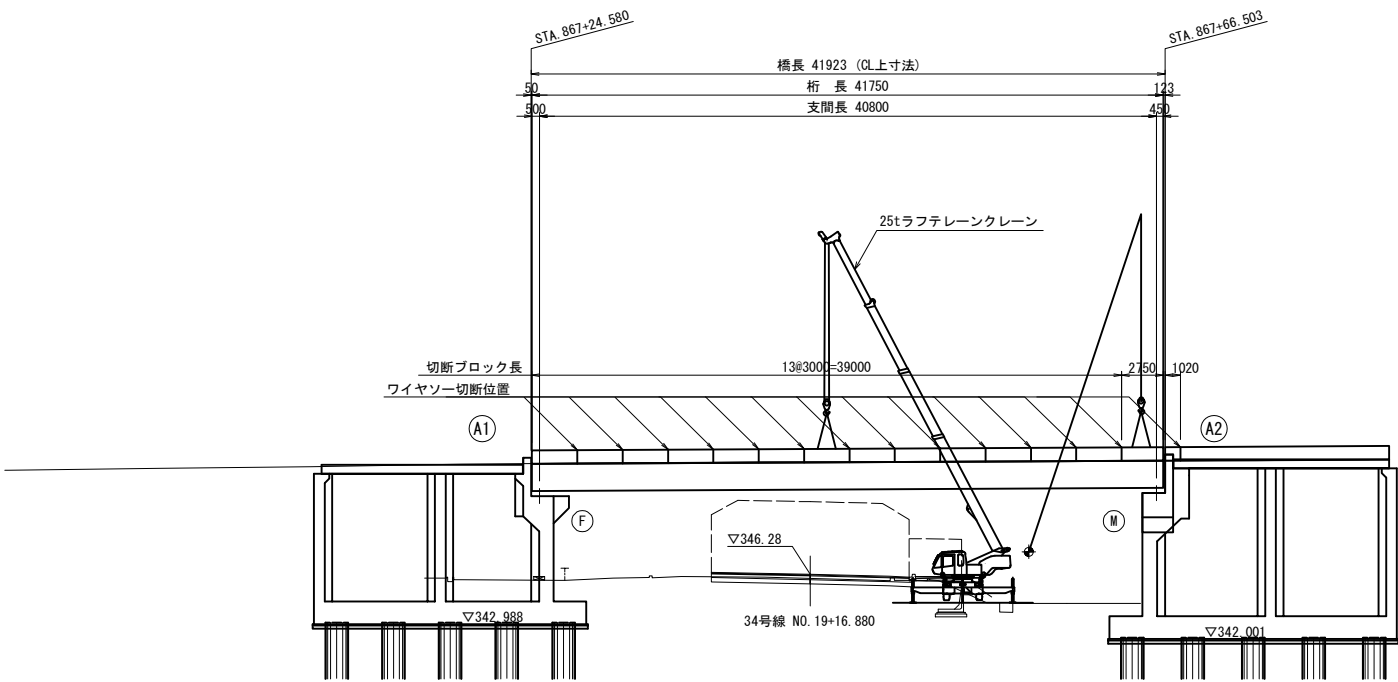
アウトリガー最大反力 : 50.9t

必要地耐力 : 13.4t/m<sup>2</sup>

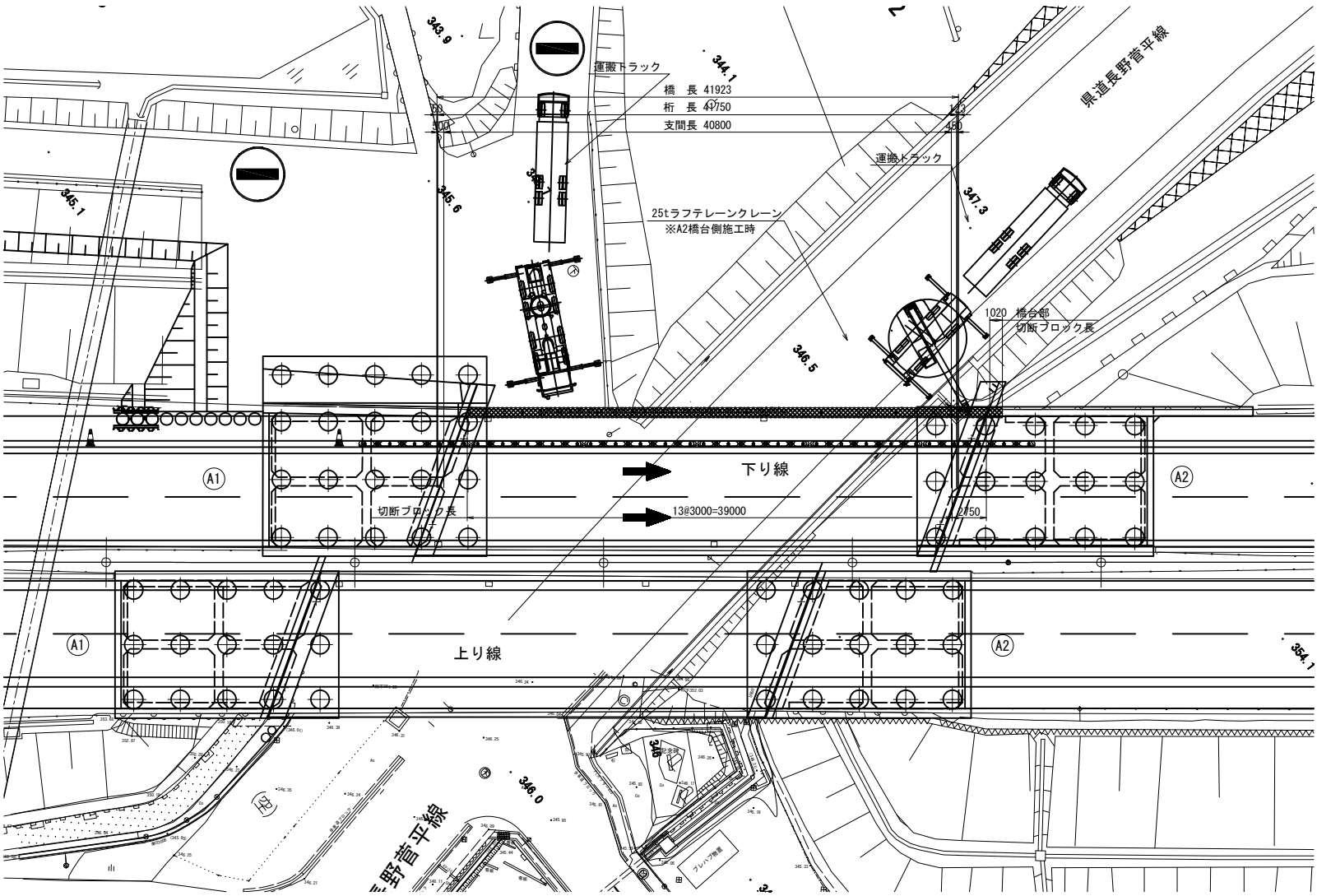
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(下り線) 架設計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



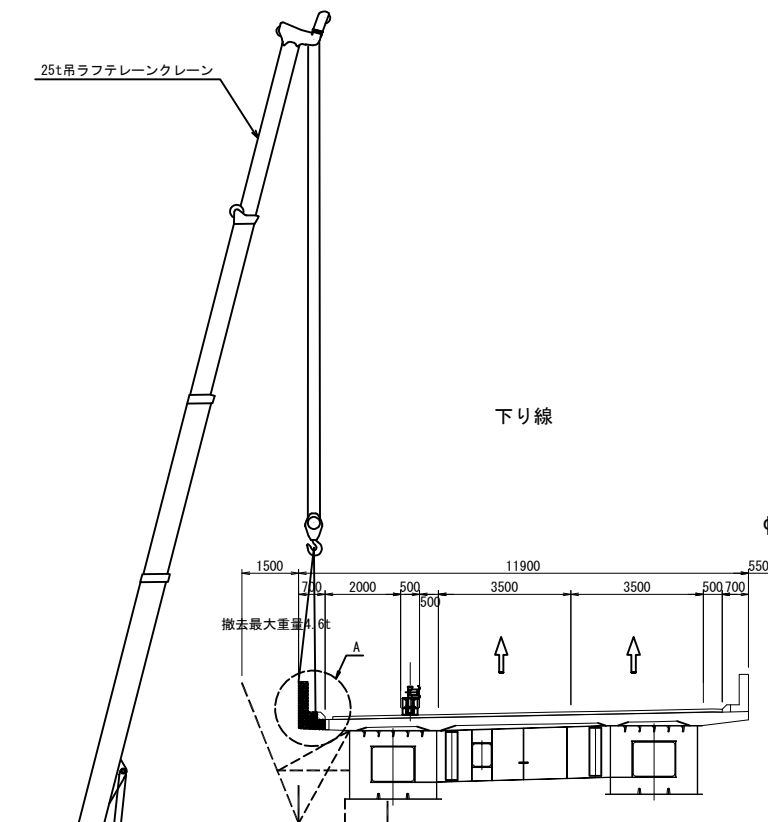
側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



断面図 S=1:200

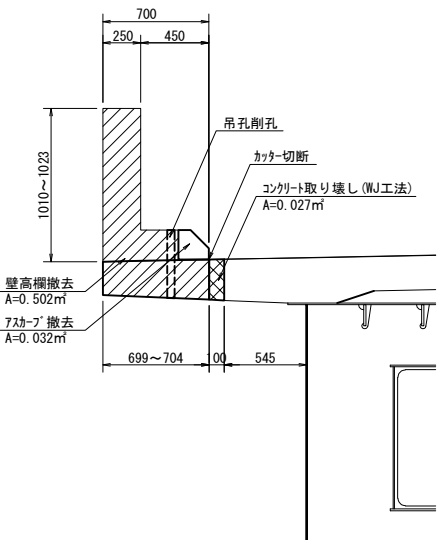


25t吊ラフテレンクレーン 定格総荷重 (KATO SR-250VR)

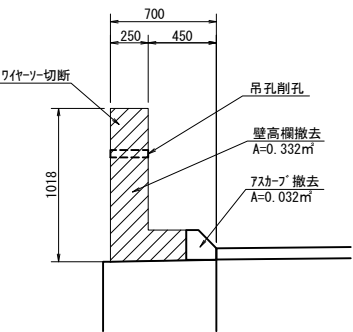
作業半径 (m)	ブーム長			吊上質量
	L= 16.5 m	L= 23.5 m	L= 30.5 m	
8.0	11.4 t	9.1 t	7.0 t	
9.0	9.2 t	8.2 t	6.4 t	
10.0	7.5 t	7.4 t	5.9 t	4.9 t
11.0	6.2 t	6.6 t	5.3 t	
12.0	5.2 t	5.9 t	4.9 t	
13.0	4.4 t	5.0 t	4.5 t	
14.0		4.4 t	4.1 t	
フック質量		フック0.23t		

撤去ブロック最大重量 = 3.8t × 1.2 = 4.6t

A部詳細



(A2橋台部)

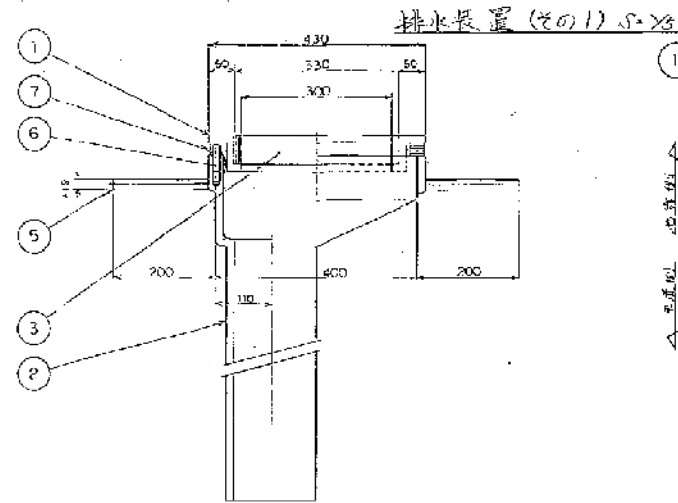
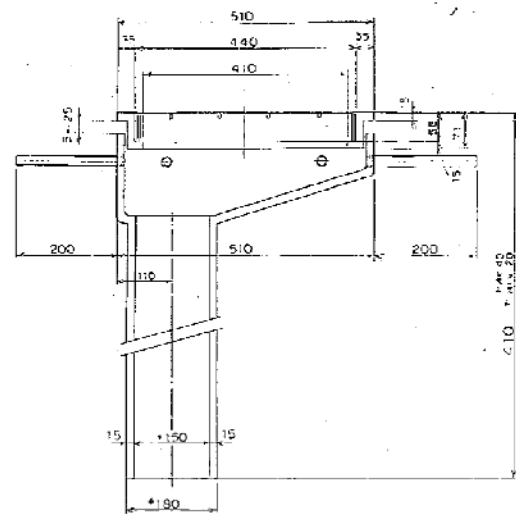


注：朝顔足場は壁高欄撤去後設置とする。

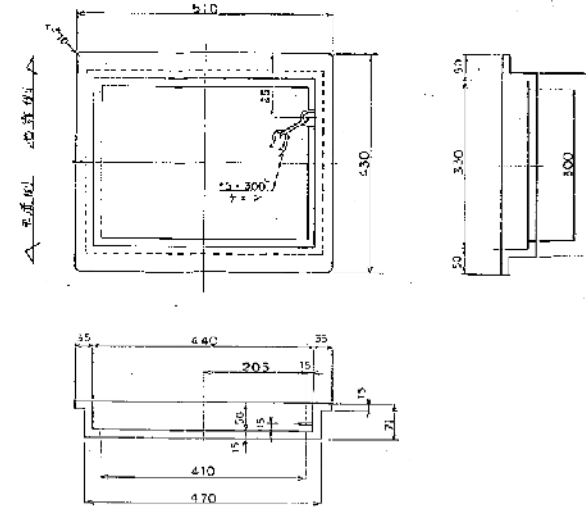
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋(下り線) 壁高欄撤去計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



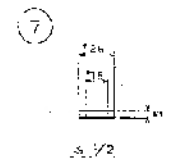
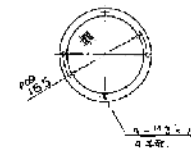
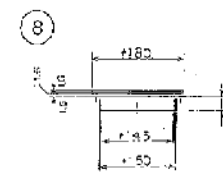
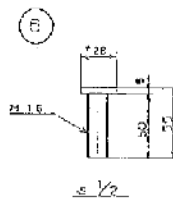
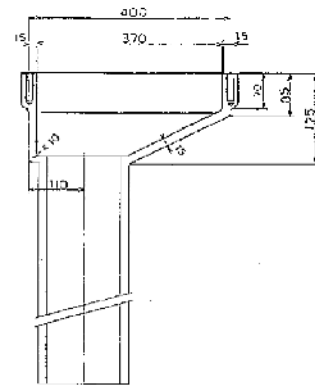
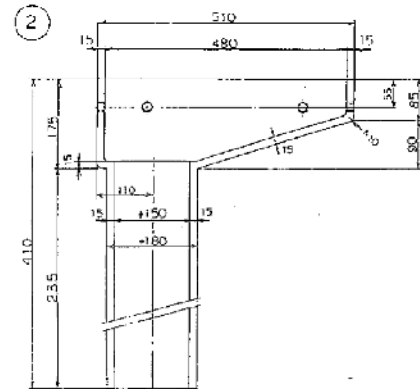
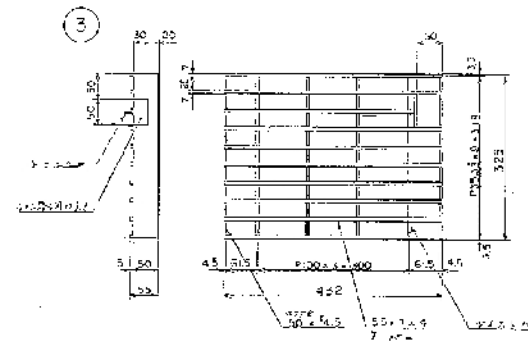
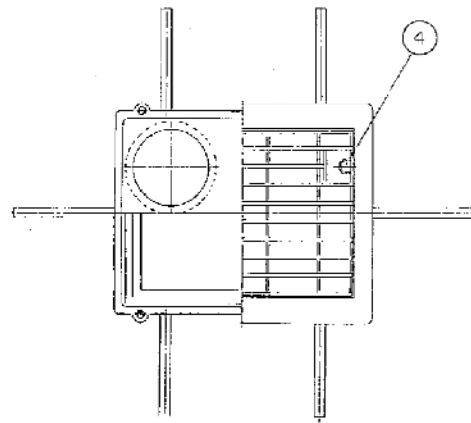
川田橋（下り線）撤去図（その1）（参考図）



川口橋(下り線) 撤去図 (その1)



排水樹DR1, DR2を撤去する。

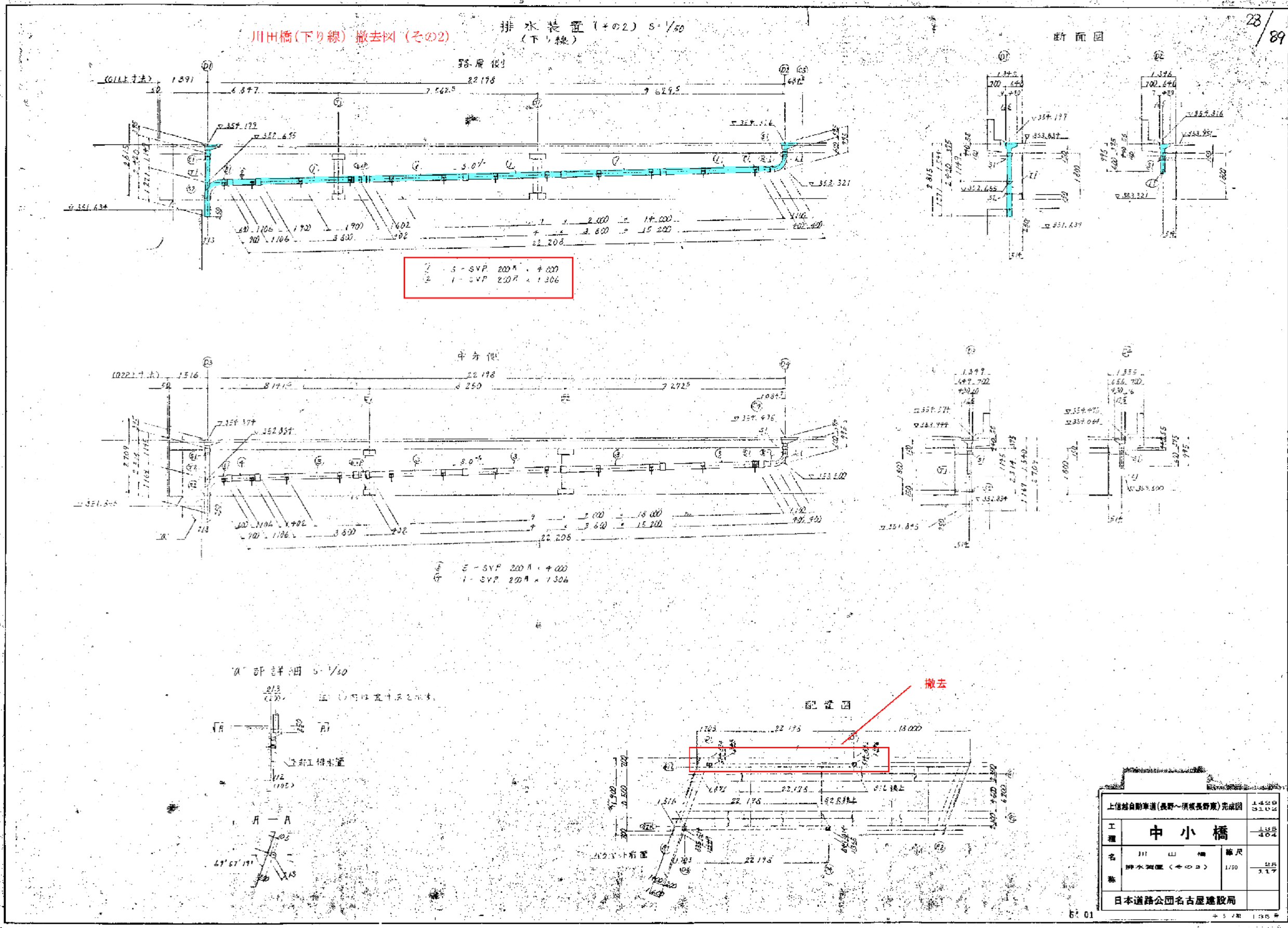


科 表						
番号	部品名	数量	単位	重量	寸法	備考
1	本体・部	PC250	1	20.2		
2	本体下部	PC250	1	46.1		
3	PC・チップ	SS400	1	9.9		
4	ネジ	・	1	0.1		
5	アスパー	・	6	0.49	2.84	
6	スクリュー	・	4	0.14	0.56	
7	フッシャー	・	16	0.01	0.16	
8	ワイヤネット	・	1	0.6		
合計重量			1.52	80.06	PC	

上信越自動車道(長野〜須坂長野県)完成図		上信越自動車道
工種	中 小 橋	橋
名	川 三 橋	橋
称	排水設備(下水道)	1/2
日本道路公団名古屋建設局		

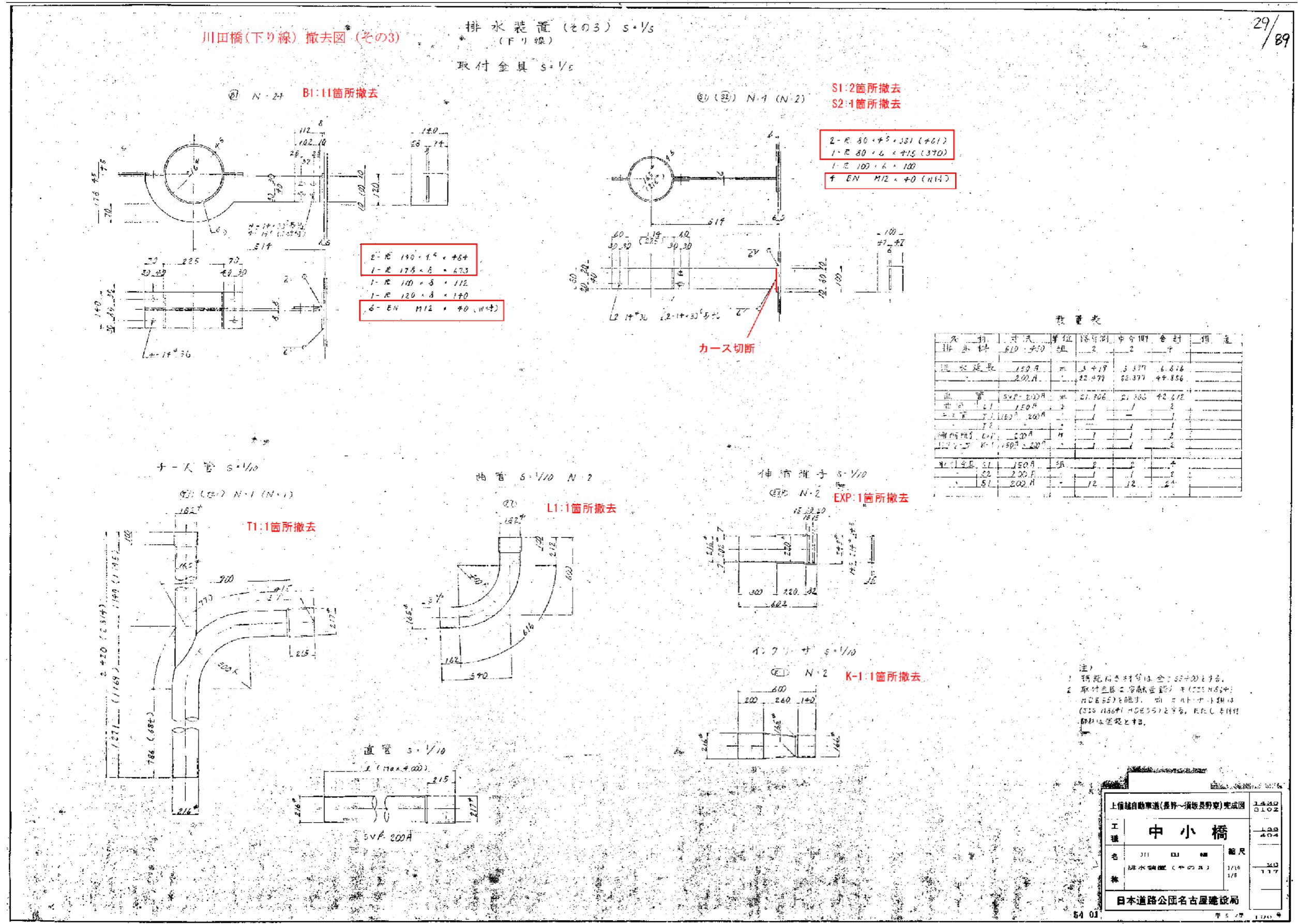
長 野 自 動 車 道		
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事		
図面の種類	川田橋（下り線） 撤去図（その1）（参考図）	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所	





長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 撤去図(その2)（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

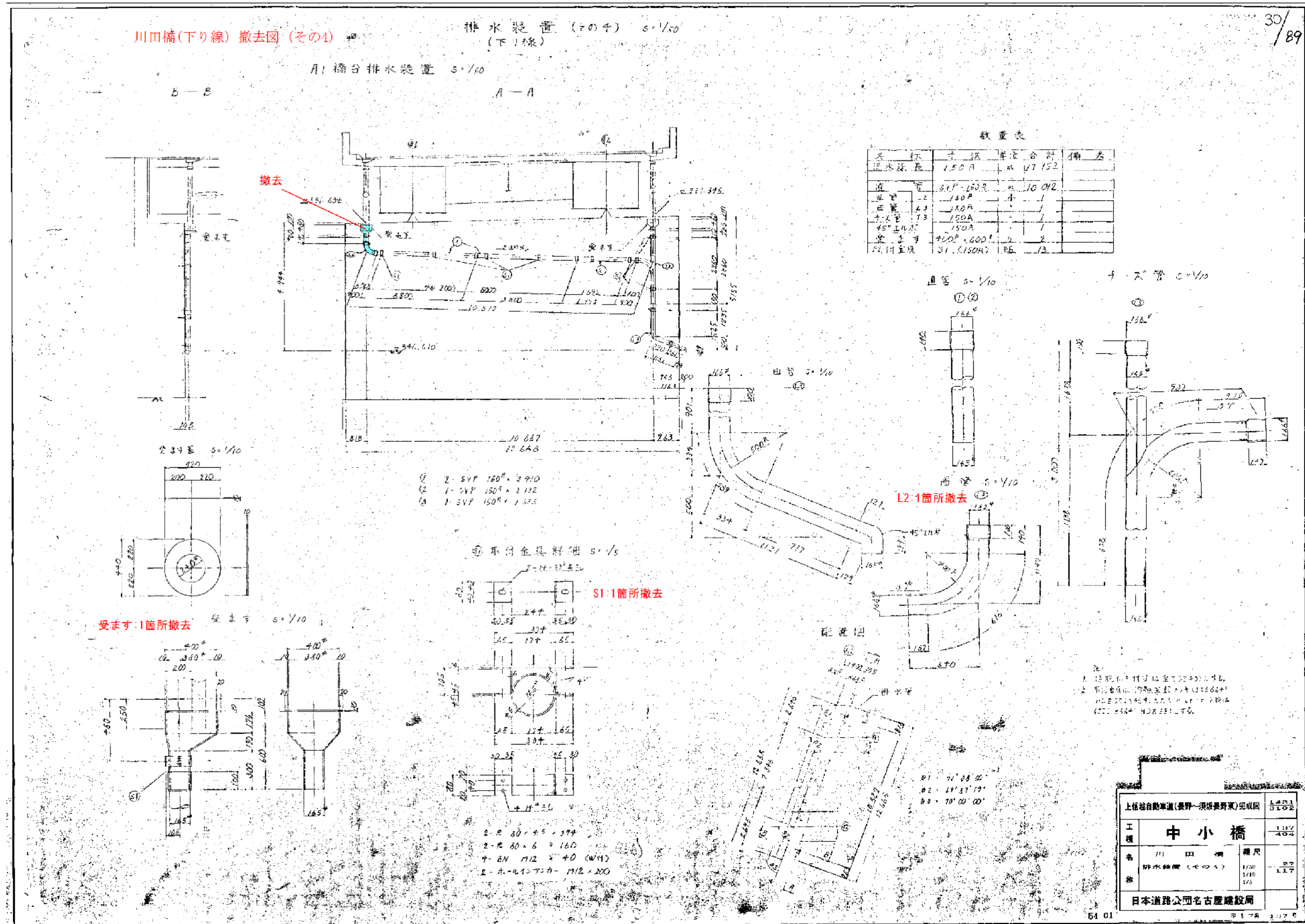




長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事			
図面の種類	川田橋(下り線) 撤去図(その3)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



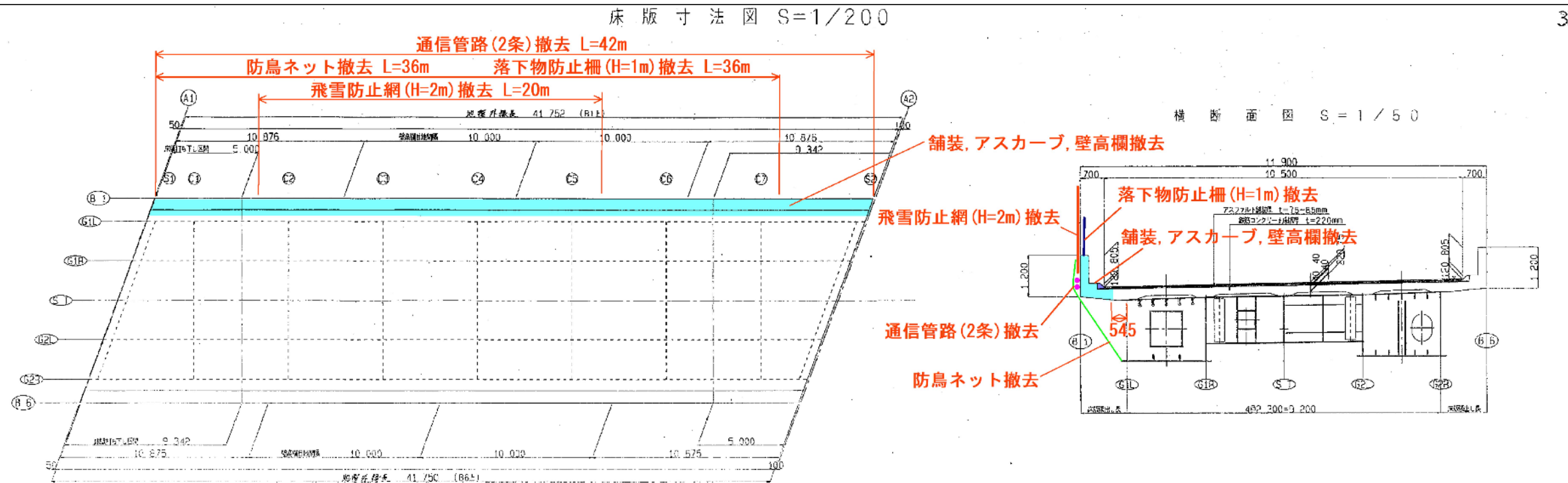
川田橋（下り線）撤去図（その4）（参考図）



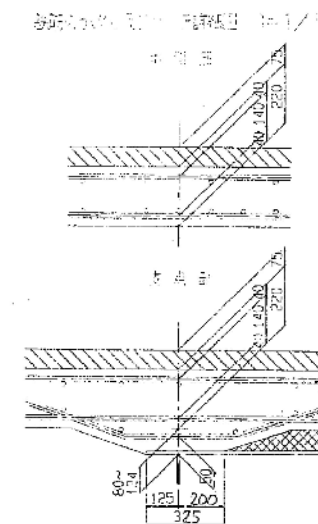
長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	下り橋（下り線） 撤出図（その4）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）撤去図（その5）（参考図）



機 能 区 画	区 画 番 号	ハ・マ・マ・マ						区 画 番 号
		62	5	51	51	51	51	
		62	51	51	51	51	51	
S1	1436	124	50	102	124	80	1435	
C1	1362						1349	
C2	1354						1346	
C3	1355						1345	
C4	1355						1340	
C5	1354						1346	
C6	1355						1347	
C7	1351						1349	
S2	1439	124	80	102	124	80	1436	



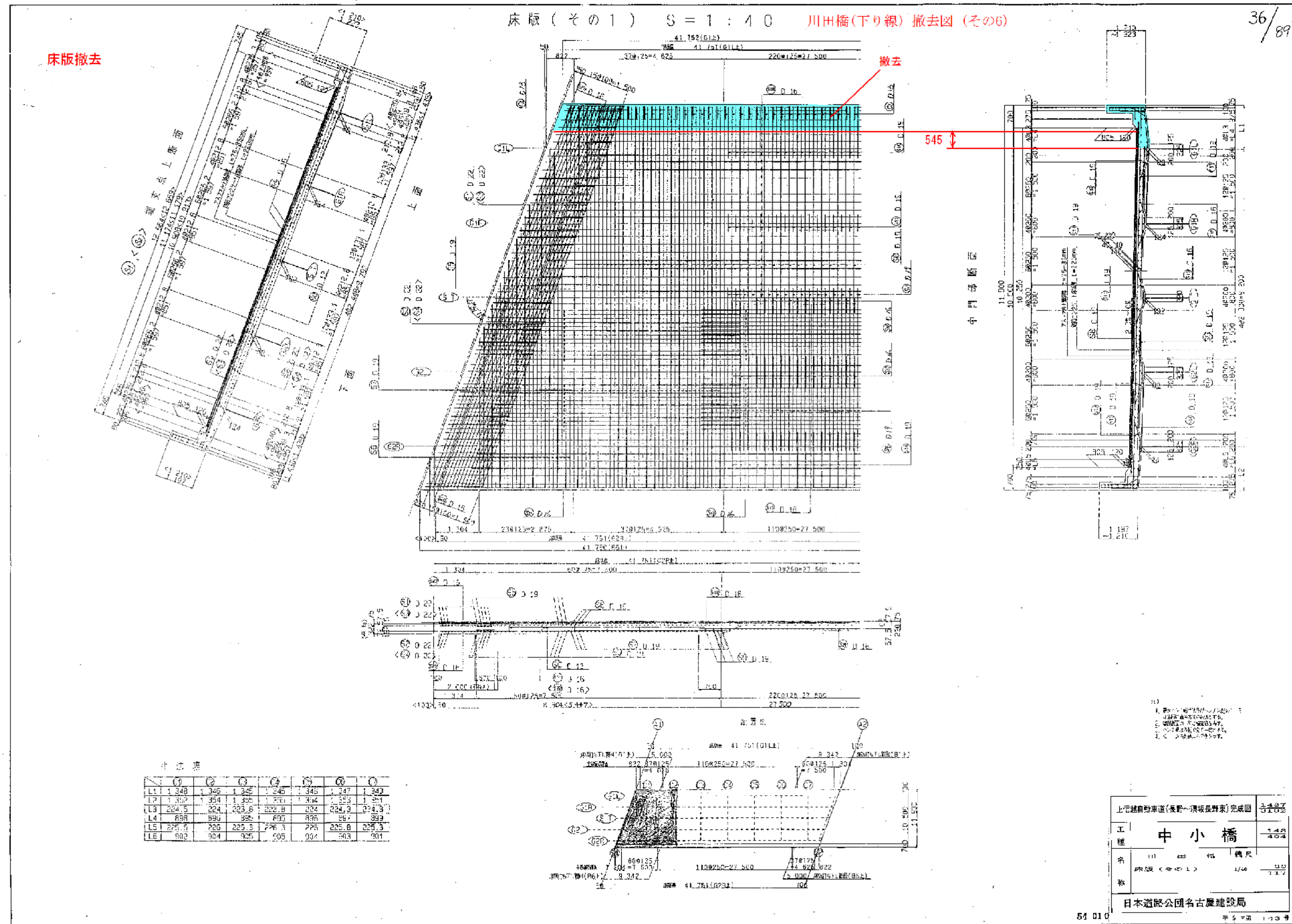
1. 価格の模倣は50.545とやる。

上信越自動車道(長野〜須坂長野東) 完成図			
工 程	中 小 橋		
名	川 田 橋	縮 尺	
数	原版寸法図	1/200	
		1/50	
		1/10	
日本道路公団名古屋建設局			

長 野 自 動 車 道			
安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	川田橋（下り線） 撤去図（その5）（参考図）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		



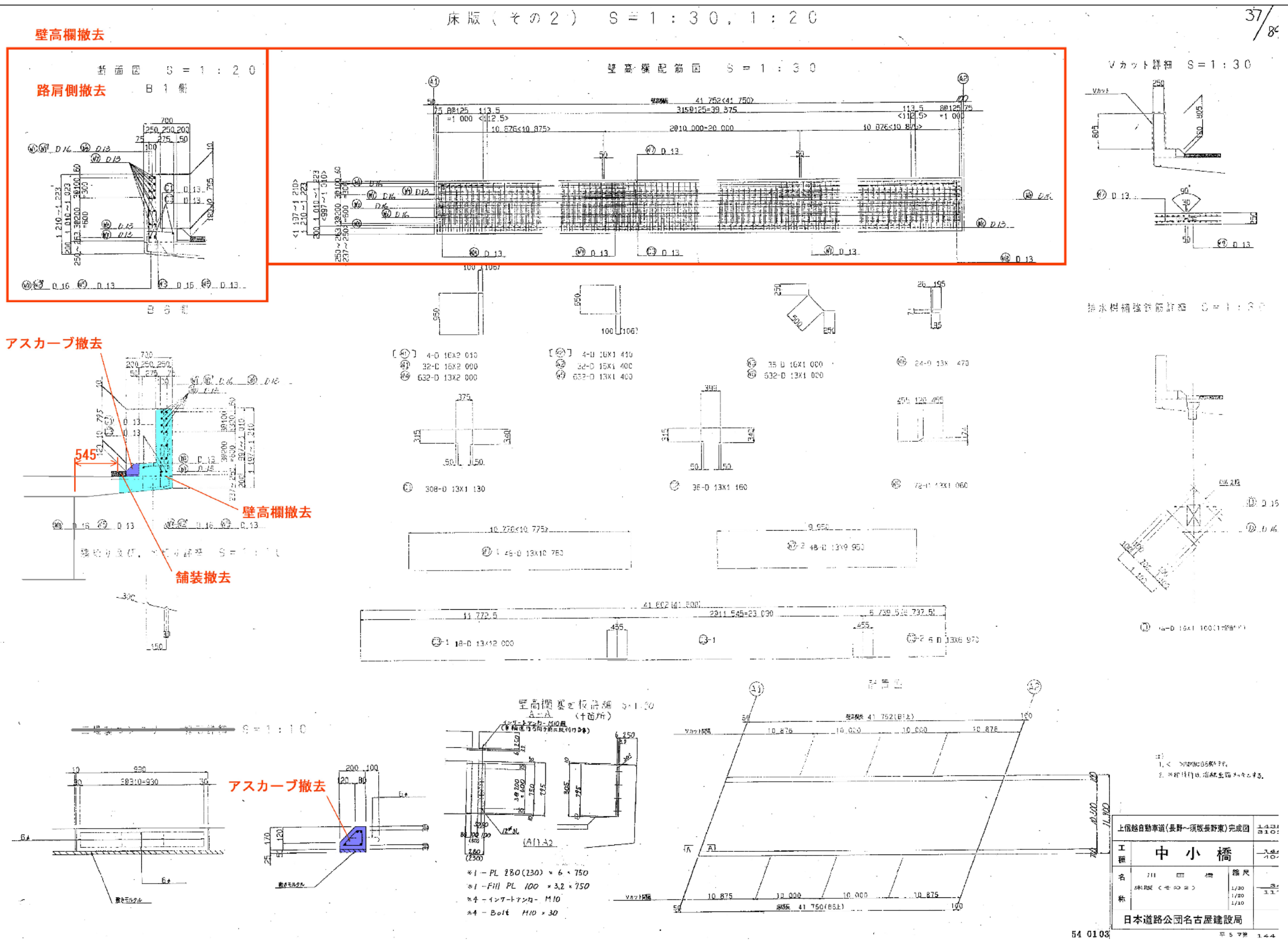
川田橋（下り線）撤去図（その6）（参考図）



長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	下り橋（下り線） 撤出図（その6）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



川田橋（下り線）撤去図(その7)（参考図）



上信越自動車道(長野〜須坂長野東)完成図		1:100
中 小 橋		1:100
名	川田橋 (下り線)	1:100
縮 尺	1/30	1:100
縮 尺	1/20	1:100
縮 尺	1/10	1:100
日本道路公団名古屋建設局		54 0103

長野自動車道	
安曇野北インターチェンジランプ橋(鋼上部工)工事	
図面の種類	川田橋 (下り線) 撤去図(その7) (参考図)
縮 尺	図示 図面番号 /
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所





長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上部工）工事			
図面の種類	下り橋（下り線） 撤出図（その8）（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	日本エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		







[illegible]

名 称	数 量	単 位	備 考
規制標識	8	枚	貸与品
ラバーコーン	必要数	本	貸与品
矢印板	必要数	枚	貸与品
保安ロボット	1	台	貸与品
標識等安全施設（回転警告灯）	1	台	貸与品
標識等安全施設（ジャンボカラーコーン）	1	本	貸与品
標識等安全施設（進入車両強制停止装置）	1	台	受注者持
標識車	1	台	貸与品
発炎筒（設置）	6	本	受注者持
交通監視員（テーパー部）	1	人	
交通監視員（工事車両出入口）	1	人	
交通監視員（施工箇所）	2	人	
交通監視員（規制内巡廻等）	1	人	

※テーパー延長について、100km区間については原則300mとする。  
ただし、線形が悪い箇所についてはこの限りでない。  
※予告標識区間・工事規制区間の可変標識を手動にて○50に変更する  
※工事(作業)区間付近では、他責事故防止対策を実施すること。  
例:保安灯の設置を行う、ラバーコーンの設置間隔を10mとする等  
※夜間規制時は、ラバーコーン(20m間隔)2本に1本自発光デリを設置する。  
※トンネル内は、ラバーコーン(20m間隔)5本に1本自発光デリを設置する。  
※「500m先警戒規制工事中」看板は「500m先車線減少」看板で代用可能とする。  
※補助矢印板は「右(左)へ」を使用してもよい。  
※規制終了部の右礼案内は「ポール添架式標識」又は「立て看板」とする。  
※「左側走行」は「左車線へ」を使用してもよい。

長野自動車道 安曇野北インターチェンジランプ橋（鋼上構工）工事			
図面の種類	川田橋 交通規制図（参考図）		
縮 尺	一	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		